

河内長野市

子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

河内長野市

調査研究業務 受注者
公立大学法人大阪 大阪公立大学

目次

はじめに	2
I 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査内容	3
4. 調査対象者	3
5. 調査実施日	3
6. 調査配布・回収率(数)	3
7. 調査実施主体	5
8. 研究者一覧	5
9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い	5
II 調査結果	7
1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕	7
2. 単純集計結果〔保護者〕	77
3. クロス集計および分析結果	159
3－1. 基本情報	159
(1) 経済状況	159
(2) 家庭状況（制度等）	177
3－2. 雇用	221
3－3. 健康	229
3－4. 家庭生活、学習	272
3－5. 対人関係	331
III 総合考察	398
1) 大阪府共同調査の意義	398
2) 単純集計	398
3) クロス集計	401
まとめ	403
IV 資料編	411

はじめに

2014年1月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことをスタートに、2014年8月「子供の貧困対策に関する大綱」が策定された。これら政府の動きを受けて、大阪市や大阪府内自治体含む大阪府は約10万件にも及ぶ子どもの生活に関する実態調査に共同で取り組んだ。府内すべてを網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、大きい。なぜなら、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。世間でもかなり話題になり、マスコミに多数取り上げられた。この頃には、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつあったが、この大規模な調査の動きは拍車をかけたのみならず、データ数の多さから、全て実証され、以下に示す政策にも少なからず影響をもたらした。

2019年6月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が5年ぶりに見直され、「子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行された。それを受けて、同年11月「子供の貧困対策に関する大綱～日本の将来を担う子供たちを誰一人取り残すことがない社会に向けて～」が再策定された。大綱では、「支援が届いていない、又は届きにくい子ども・家庭に配慮して対策を推進する」、「困窮層が多様であること」、「社会的孤立に陥ることのないように配慮する」など新たな視点が基本方針として追加され、ヤングケアラーと思われる子どもや、外国籍や障がいを持つ子どもたちなど、具体的な困窮層の子どもや家庭が示された。同時に、2023年4月にこども家庭庁が発足され、貧困をはじめとする子どもを取り巻く社会問題にシームレスに向き合い、途切れない政策・支援を打ち立てていくことが期待されている。

こうして子どもの貧困に関する社会的認知や政策が知られるようになったが、子どもの実態はどう変わったのであろうか。政策の効果は表れたであろうか。そんな思いをもって、大阪府では再度府内自治体とともに子どもの生活に関する実態調査が共同実施されることになった。全国的にここまで一体的に実施する都道府県は存在せず、大阪府が、大阪府内の大半を占める大阪市も含めて牽引した役割は大きい。

子どもの貧困については、前回と同様に、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指す相対的貧困率でとらえる。OECDや厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフは公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用（ただし、常に60%基準採用ではない）している。前回同様、60%のラインも含め検討している。子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。内容的には、タウンゼンドの定義を元にChild Poverty Action Group (CPAG) が示している、①所得や資産など経済的資本 (capital) の欠如、②健康や教育など人的資本 (human capital) の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本 (social capital) の欠如、の3つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえる。

I 調査概要

1. 調査の目的

河内長野市では、子どもたちが積極的に自分の生き方を選択し、自立できるよう様々な施策を実施している中、今後、効果的な子どもの貧困対策を検証するために調査を実施し、得られた結果を分析することによって、支援を必要とする子どもや家庭に対する方策を検証することを目的としている。

2. 調査方法

河内長野市内の調査対象の世帯に、学校を通じて調査票を配付し、郵送もしくはWEBにて回収を得たもの。

3. 調査内容

巻末の調査票参照

4. 調査対象者

小学校5年生・その保護者（683世帯） 中学校2年生・その保護者（712世帯）

5. 調査実施日

河内長野市：令和5年7月7日～令和5年7月31日

大阪府内全自治体：令和5年6月27日～令和5年9月30日

6. 調査配布・回収率(数)

表1. 調査票の回収状況

		回収率(%)	回収数	配布数
河内長野市	小学5年生	28.6	195	683
	小学5年生の保護者	28.0	191	683
	中学2年生	21.6	154	712
	中学2年生の保護者	21.5	153	712
	小学5年生・中学2年生合計	25.0	349	1,395
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	24.7	344	1,395
	計	24.8	693	2,790
大阪府全自治体	小学5年生	56.2	23,289	41,458
	小学5年生の保護者	55.0	22,819	41,458
	中学2年生	51.4	19,990	38,911
	中学2年生の保護者	49.8	19,390	38,911
	小学5年生・中学2年生合計	54.0	43,370	80,369
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	53.9	43,358	80,369
	計	54.0	86,728	160,738

※大阪府内全自治体の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91件、保護者：1,149件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

大阪府内全自治体回収状況配布・回収方法別

		回収率(%)	回収数	配布数
学校配布・学校回収	小学5年生	61.6	15,927	25,852
	小学5年生の保護者	62.6	16,178	25,852
	中学2年生	58.3	13,712	23,539
	中学2年生の保護者	58.2	13,707	23,539
	小学5年生・中学2年生合計	60.1	29,674	49,391
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	60.7	29,977	49,391
	計	60.4	59,651	98,782
学校配布・郵送回収	小学5年生	22.6	1,401	6,191
	小学5年生の保護者	22.2	1,376	6,191
	中学2年生	15.3	936	6,099
	中学2年生の保護者	15.5	943	6,099
	小学5年生・中学2年生合計	19.2	2,362	12,290
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	2,361	12,290
	計	19.2	4,723	24,580
郵送配布・郵送回収	小学5年生	21.3	2,003	9,415
	小学5年生の保護者	21.0	1,978	9,415
	中学2年生	17.8	1,646	9,273
	中学2年生の保護者	17.8	1,653	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	19.7	3,676	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.7	3,675	18,688
	計	19.7	7,351	37,376
学校配布・WEB回答	小学5年生	23.0	3,007	13,068
	小学5年生の保護者	17.0	2,228	13,068
	中学2年生	21.3	2,714	12,718
	中学2年生の保護者	16.0	2,037	12,718
	小学5年生・中学2年生合計	22.2	5,723	25,786
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	4,949	25,786
	計	20.7	10,672	51,572
郵送配布・WEB回答	小学5年生	10.1	951	9,415
	小学5年生の保護者	11.2	1,059	9,415
	中学2年生	10.6	982	9,273
	中学2年生の保護者	11.3	1,050	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	10.4	1,935	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	12.8	2,396	18,688
	計	11.6	4,331	37,376

※各配布・回収方法の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91件、保護者：1,149件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の3自治体において実施した。さらに1自治体では、小5・中2以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、19,513件、回収数は、14,626件、回収率75.0%であった。

7. 調査実施主体

河内長野市

調査研究業務受託者

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

8. 研究者一覧

担当者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

教授 山野 則子（業務責任者）

特任講師 橋本 磨和

シニア研究員 永田 麻衣 佐伯 厘咲 李 孟

協力者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

准教授 嵯峨 嘉子

研究補助者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 経済学研究科

准教授 牛 冰

武庫川女子大学 社会情報学部 社会情報学科 助教 駒田 安紀

大阪商業大学 公共学部 公共学科 助教 林 萍萍

奈良佐保短期大学 地域こども学科 講師 河村 信子

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

研究員 黄 健育 渡邊 陽亮

大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 専攻社会福祉学分野 林 慎吾

松浦 孝範 久地井 寿哉 渡邊 祐作

9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、河内長野市と大阪府内全自治体をそれぞれ掲載している。河内長野市のデータについては既に「I 調査概要 2～8」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、大阪府25市町村のデータに共同実施18市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生27問、保護者26問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施18市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象8000件への配布を行いその約30%の回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果、高いところでは70%を超える回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

1点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の2種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

2点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体についてデータの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その場合、どのような基準で選択するのかが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提示した場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「河内長野市」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

Ⅱ 調査結果

1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕

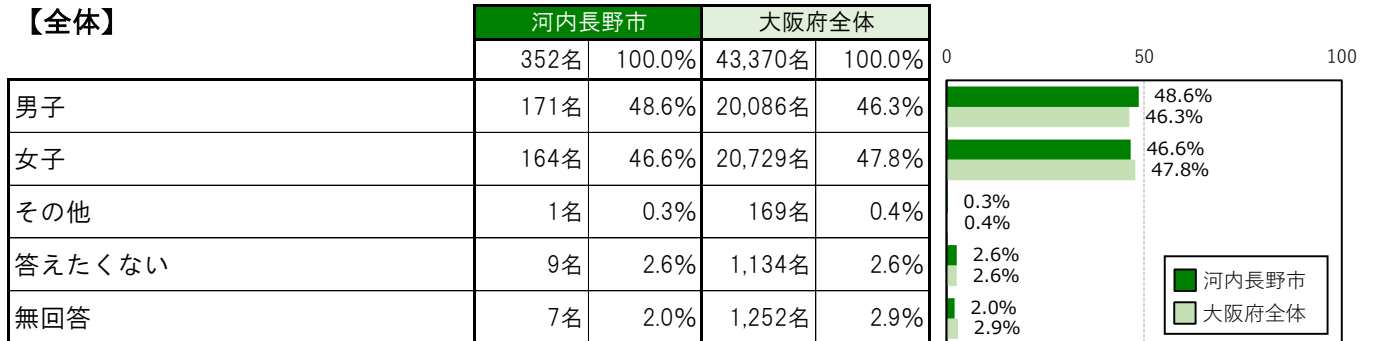
河内長野市

回答者の属性

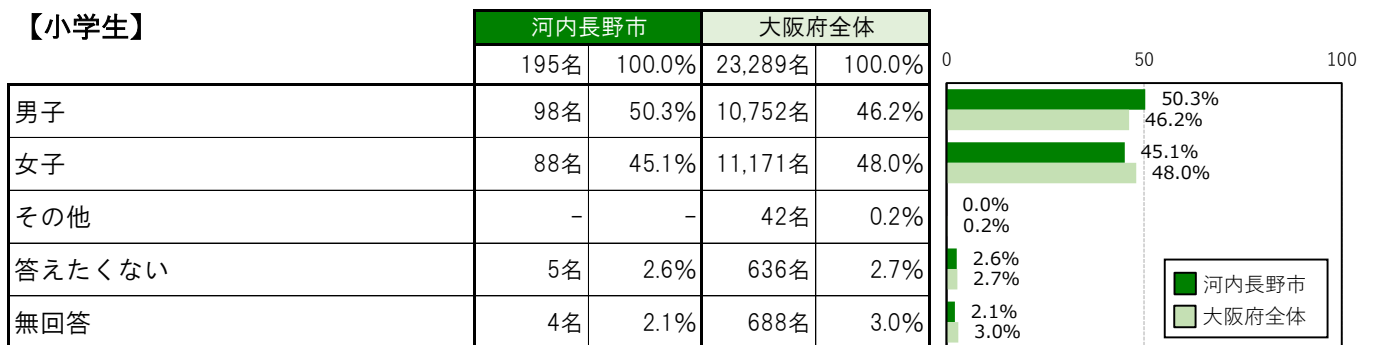
問27 性別

全体は、「男子」が48.6%で最も多く、次いで「女子」が46.6%となっている。
小学生は、「男子」が50.3%で最も多く、次いで「女子」が45.1%となっている。
中学生は、「女子」が48.7%で最も多く、次いで「男子」が46.8%となっている。

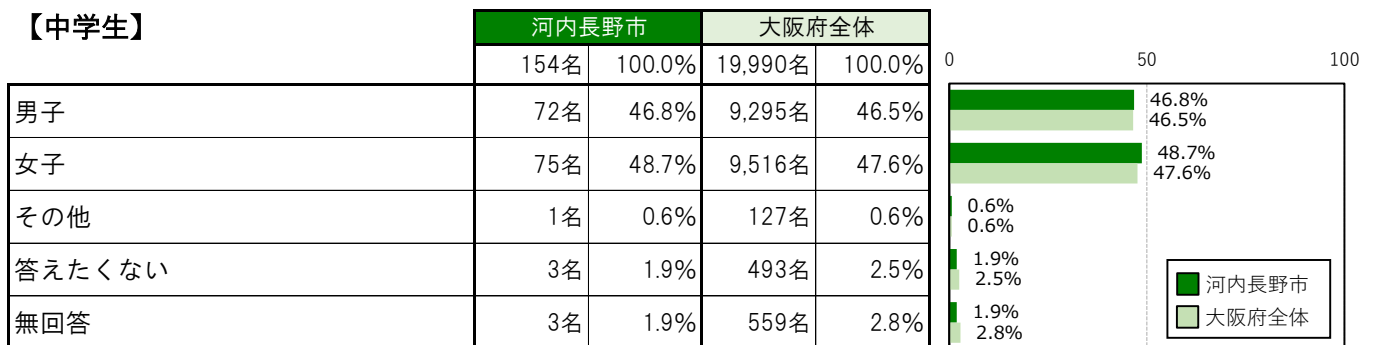
【全体】



【小学生】



【中学生】



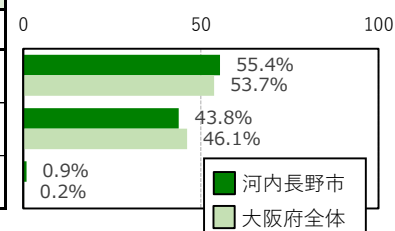
回答者の属性

問1 学年

回答者の学年は、「小学生」が195名・55.4%、「中学生」が154名・43.8%となっている。

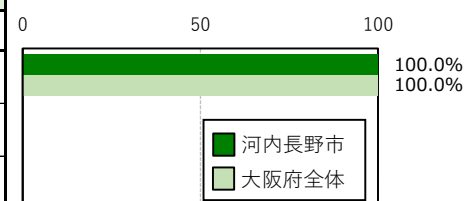
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
小学生	195名	55.4%	23,289名	53.7%
中学生	154名	43.8%	19,990名	46.1%
無回答	3名	0.9%	91名	0.2%



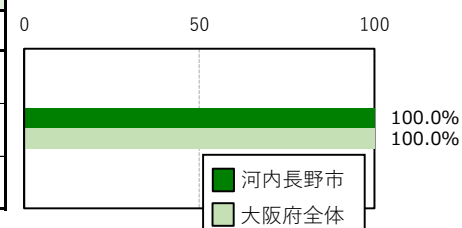
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
小学生	195名	100.0%	23,289名	100.0%
中学生	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
小学生	-	-	-	-
中学生	154名	100.0%	19,990名	100.0%
無回答	-	-	-	-



ふだんの生活のことについて

問2 起床時間の規則性

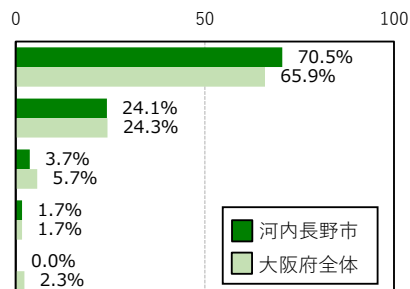
全体は、「起きている」が70.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が24.1%、「あまり、起きていない」が3.7%となっている。

小学生は、「起きている」が68.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が26.2%、「あまり、起きていない」が3.6%となっている。

中学生は、「起きている」が72.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が21.4%、「あまり、起きていない」が3.9%となっている。

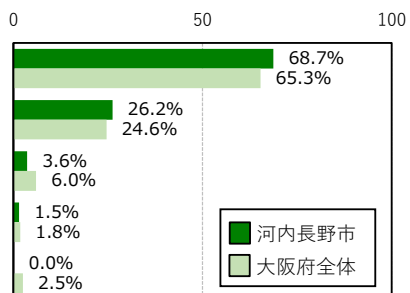
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
起きている	248名	70.5%	28,594名	65.9%
どちらかといえば、起きている	85名	24.1%	10,539名	24.3%
あまり、起きていない	13名	3.7%	2,478名	5.7%
起きていない	6名	1.7%	741名	1.7%
無回答	-	-	1,018名	2.3%



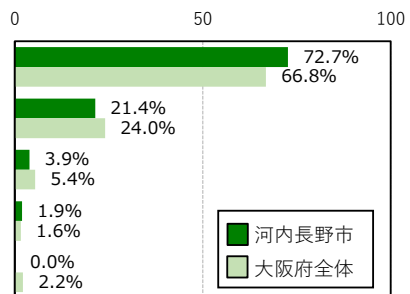
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
起きている	134名	68.7%	15,198名	65.3%
どちらかといえば、起きている	51名	26.2%	5,722名	24.6%
あまり、起きていない	7名	3.6%	1,386名	6.0%
起きていない	3名	1.5%	410名	1.8%
無回答	-	-	573名	2.5%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
起きている	112名	72.7%	13,344名	66.8%
どちらかといえば、起きている	33名	21.4%	4,791名	24.0%
あまり、起きていない	6名	3.9%	1,088名	5.4%
起きていない	3名	1.9%	328名	1.6%
無回答	-	-	439名	2.2%



ふだんの生活のことについて

問3 就寝時間

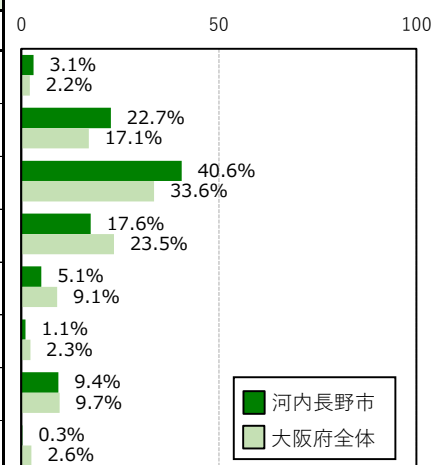
全体は、「午後10時台」が40.6%で最も多く、次いで「午後9時台」が22.7%、「午後11時台」が17.6%、「きまっていない」が9.4%となっている。

小学生は、「午後10時台」が46.2%で最も多く、次いで「午後9時台」が36.4%、「午後11時台」が7.7%、「きまっていない」が4.6%となっている。

中学生は、「午後10時台」が33.8%で最も多く、次いで「午後11時台」が30.5%、「きまっていない」が15.6%、「午前0時台」が11.0%となっている。

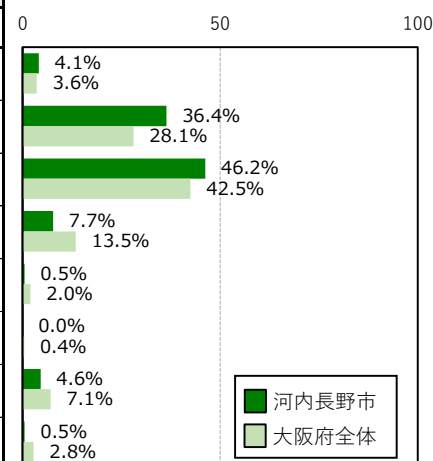
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
午後9時より前	11名	3.1%	963名	2.2%
午後9時台	80名	22.7%	7,400名	17.1%
午後10時台	143名	40.6%	14,573名	33.6%
午後11時台	62名	17.6%	10,204名	23.5%
午前0時台	18名	5.1%	3,927名	9.1%
午前1時より後	4名	1.1%	979名	2.3%
きまっていない	33名	9.4%	4,213名	9.7%
無回答	1名	0.3%	1,111名	2.6%



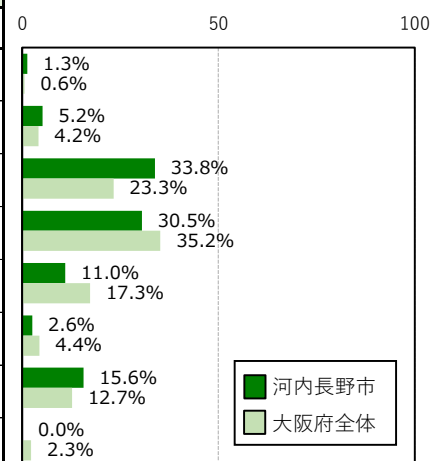
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
午後9時より前	8名	4.1%	845名	3.6%
午後9時台	71名	36.4%	6,553名	28.1%
午後10時台	90名	46.2%	9,894名	42.5%
午後11時台	15名	7.7%	3,139名	13.5%
午前0時台	1名	0.5%	455名	2.0%
午前1時より後	-	-	95名	0.4%
きまっていない	9名	4.6%	1,660名	7.1%
無回答	1名	0.5%	648名	2.8%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
午後9時より前	2名	1.3%	113名	0.6%
午後9時台	8名	5.2%	830名	4.2%
午後10時台	52名	33.8%	4,655名	23.3%
午後11時台	47名	30.5%	7,043名	35.2%
午前0時台	17名	11.0%	3,464名	17.3%
午前1時より後	4名	2.6%	883名	4.4%
きまっていない	24名	15.6%	2,544名	12.7%
無回答	-	-	458名	2.3%



ふだんの生活のことについて

問4（1）朝食の頻度

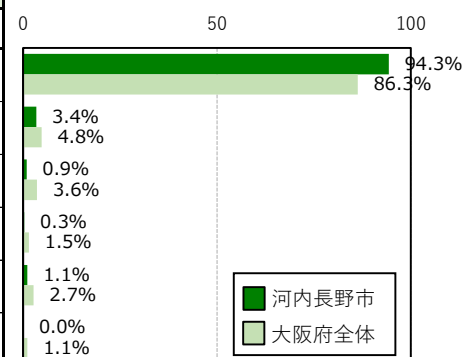
全体は、「毎日またはほとんど毎日」が94.3%で最も多く、次いで「週に4～5回」が3.4%、「食べない」が1.1%、「週に2～3回」が0.9%となっている。

小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が95.9%で最も多く、次いで「週に4～5回」が2.1%、「週に2～3回」が1.0%となっている。

中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が92.9%で最も多く、次いで「週に4～5回」が4.5%、「食べない」が1.9%となっている。

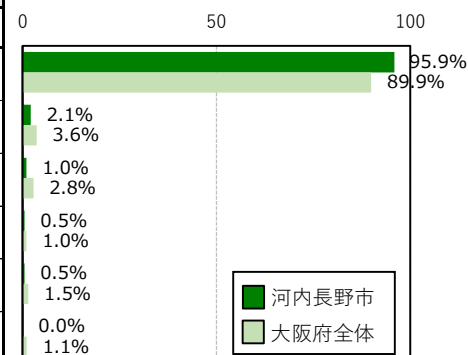
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	332名	94.3%	37,447名	86.3%
週に4～5回	12名	3.4%	2,062名	4.8%
週に2～3回	3名	0.9%	1,564名	3.6%
週に1回程度	1名	0.3%	649名	1.5%
食べない	4名	1.1%	1,180名	2.7%
無回答	-	-	468名	1.1%



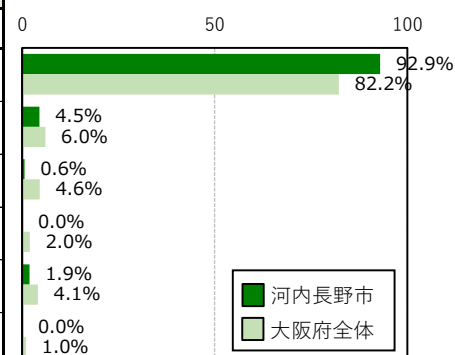
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	187名	95.9%	20,939名	89.9%
週に4～5回	4名	2.1%	849名	3.6%
週に2～3回	2名	1.0%	647名	2.8%
週に1回程度	1名	0.5%	241名	1.0%
食べない	1名	0.5%	359名	1.5%
無回答	-	-	254名	1.1%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	143名	92.9%	16,433名	82.2%
週に4～5回	7名	4.5%	1,207名	6.0%
週に2～3回	1名	0.6%	913名	4.6%
週に1回程度	-	-	408名	2.0%
食べない	3名	1.9%	820名	4.1%
無回答	-	-	209名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問4（2）朝食を食べない理由

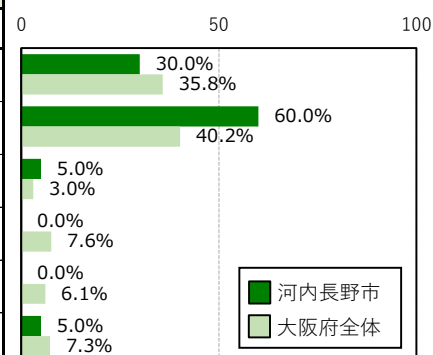
全体は、「おなかがすいていない」が60.0%（12名）で最も多く、次いで「時間がない」が30.0%（6名）、「用意されていない」が5.0%（1名）となっている。

小学生は、「おなかがすいていない」が50.0%（4名）で最も多く、次いで「時間がない」が37.5%（8名）となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が63.6%（7名）で最も多く、次いで「時間がない」が27.3%（3名）、「用意されていない」が9.1%（1名）となっている。

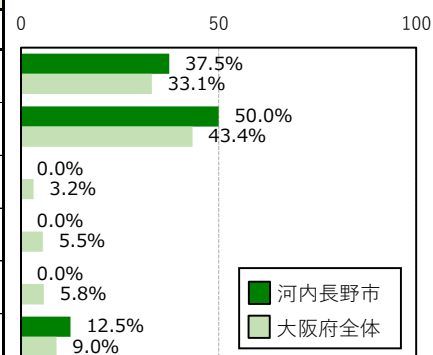
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	20名	100.0%	5,455名	100.0%
時間がない	6名	30.0%	1,954名	35.8%
おなかがすいていない	12名	60.0%	2,194名	40.2%
用意されていない	1名	5.0%	162名	3.0%
食べる習慣がない	-	-	414名	7.6%
わからない	-	-	334名	6.1%
無回答	1名	5.0%	397名	7.3%



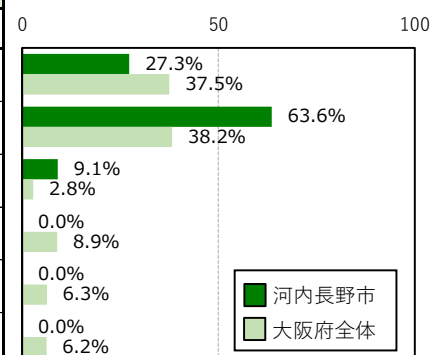
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	8名	100.0%	2,096名	100.0%
時間がない	3名	37.5%	694名	33.1%
おなかがすいていない	4名	50.0%	909名	43.4%
用意されていない	-	-	68名	3.2%
食べる習慣がない	-	-	116名	5.5%
わからない	-	-	121名	5.8%
無回答	1名	12.5%	188名	9.0%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	11名	100.0%	3,348名	100.0%
時間がない	3名	27.3%	1,257名	37.5%
おなかがすいていない	7名	63.6%	1,280名	38.2%
用意されていない	1名	9.1%	94名	2.8%
食べる習慣がない	-	-	298名	8.9%
わからない	-	-	212名	6.3%
無回答	-	-	207名	6.2%



ふだんの生活のことについて

問5（１）夕食の頻度

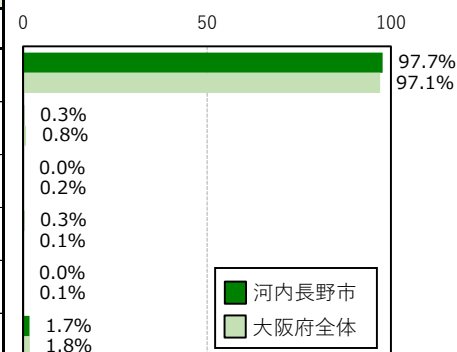
全体は、「毎日またはほとんど毎日」が97.7%で最も多く、次いで「週に4～5回」と「週に1回程度」がそれぞれ0.3%となっている。

小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が96.9%で最も多く、次いで「週に4～5回」と「週に1回程度」がそれぞれ0.5%となっている。

中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が98.7%と最も多くなっている。

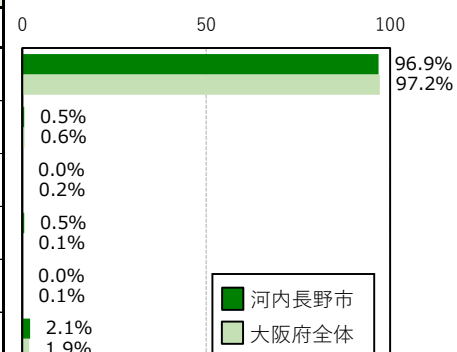
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	344名	97.7%	42,110名	97.1%
週に4～5回	1名	0.3%	327名	0.8%
週に2～3回	-	-	100名	0.2%
週に1回程度	1名	0.3%	31名	0.1%
食べない	-	-	32名	0.1%
無回答	6名	1.7%	770名	1.8%



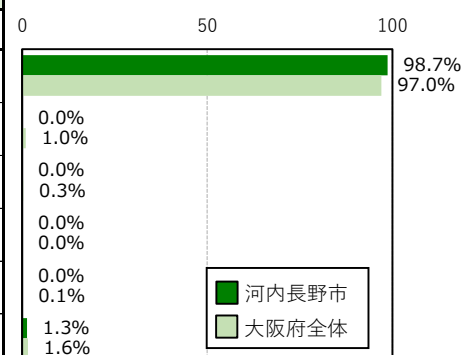
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	189名	96.9%	22,637名	97.2%
週に4～5回	1名	0.5%	132名	0.6%
週に2～3回	-	-	39名	0.2%
週に1回程度	1名	0.5%	23名	0.1%
食べない	-	-	16名	0.1%
無回答	4名	2.1%	442名	1.9%



【中学生】

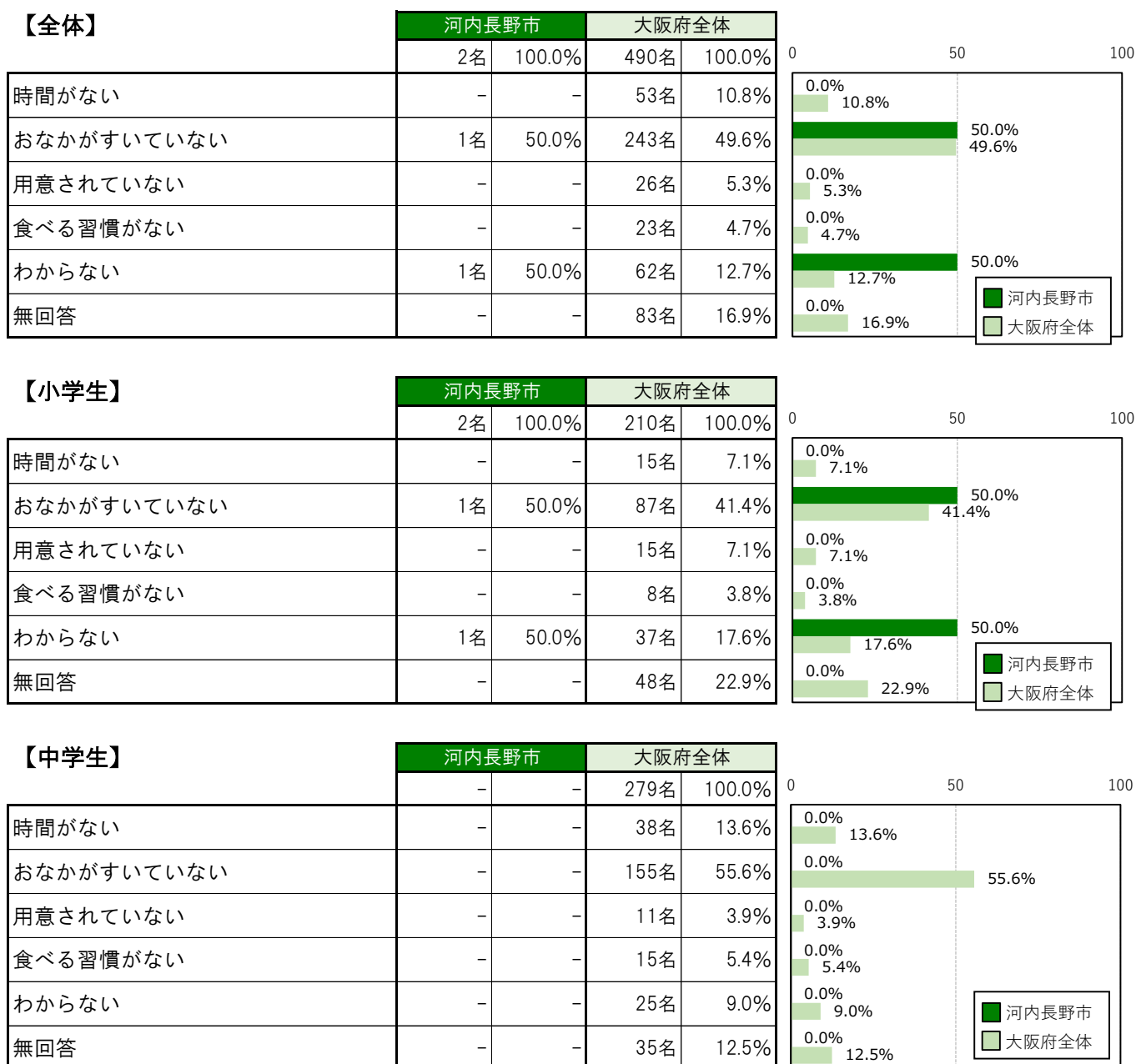
	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	152名	98.7%	19,393名	97.0%
週に4～5回	-	-	195名	1.0%
週に2～3回	-	-	60名	0.3%
週に1回程度	-	-	8名	0.0%
食べない	-	-	16名	0.1%
無回答	2名	1.3%	318名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問5（2）夕食を食べない理由

全体・小学生は、「おなかがすいていない」が50.0%（1名）となっている。



ふだんの生活のことについて

問6（１）休日の昼食の頻度

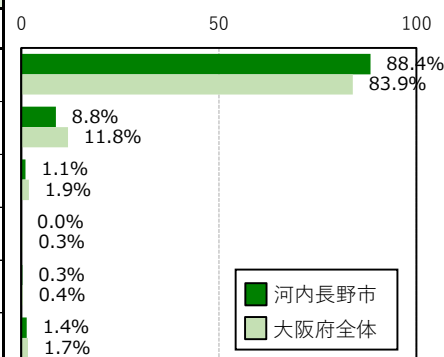
全体は、「必ず食べる」が88.4%で最も多く、次いで「食べることが多い」が8.8%、「食べないことが多い」が1.1%となっている。

小学生は、「必ず食べる」が89.2%で最も多く、次いで「食べることが多い」が7.7%、「食べないことが多い」が1.5%となっている。

中学生は、「必ず食べる」が87.0%で最も多く、次いで「食べることが多い」が10.4%、「食べないことが多い」が0.6%となっている。

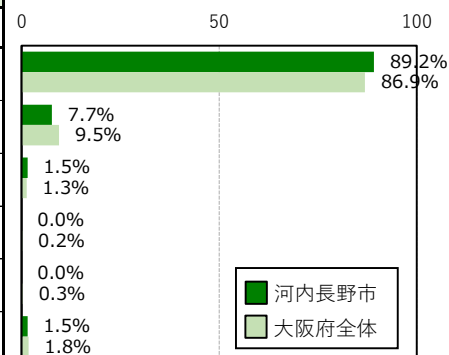
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
必ず食べる	311名	88.4%	36,388名	83.9%
食べるが多い	31名	8.8%	5,118名	11.8%
食べないことが多い	4名	1.1%	830名	1.9%
食べない	-	-	117名	0.3%
わからない	1名	0.3%	180名	0.4%
無回答	5名	1.4%	737名	1.7%



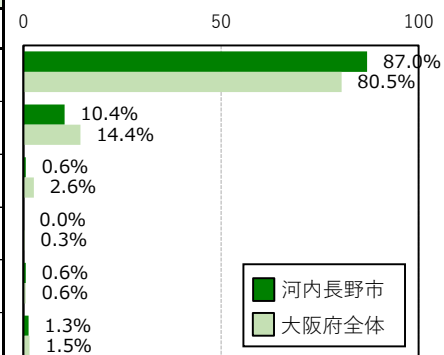
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
必ず食べる	174名	89.2%	20,227名	86.9%
食べるが多い	15名	7.7%	2,221名	9.5%
食べないことが多い	3名	1.5%	306名	1.3%
食べない	-	-	51名	0.2%
わからない	-	-	62名	0.3%
無回答	3名	1.5%	422名	1.8%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
必ず食べる	134名	87.0%	16,090名	80.5%
食べるが多い	16名	10.4%	2,886名	14.4%
食べないことが多い	1名	0.6%	524名	2.6%
食べない	-	-	66名	0.3%
わからない	1名	0.6%	117名	0.6%
無回答	2名	1.3%	307名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問6（2）休日に昼食を食べない理由

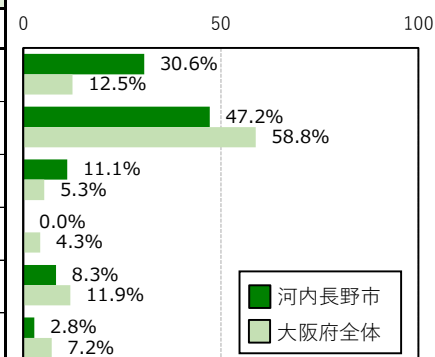
全体は、「おなかがすいていない」が47.2%（17名）で最も多く、次いで「時間がない」が30.6%（11名）、「用意されていない」が11.1%（4名）となっている。

小学生は、「おなかがすいていない」が38.9%（7名）で最も多く、次いで「時間がない」が33.3%（6名）、「用意されていない」が16.7%（3名）となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が55.6%（10名）で最も多く、次いで「時間がない」が27.8%（5名）、「用意されていない」が5.6%（1名）となっている。

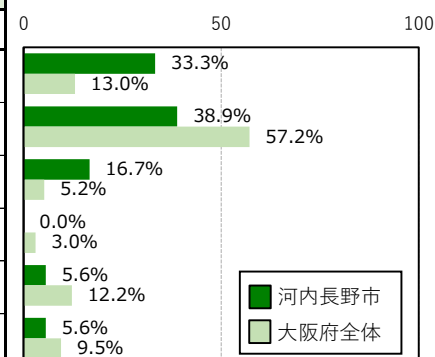
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	36名	100.0%	6,245名	100.0%
時間がない	11名	30.6%	783名	12.5%
おなかがすいていない	17名	47.2%	3,674名	58.8%
用意されていない	4名	11.1%	328名	5.3%
食べる習慣がない	-	-	266名	4.3%
わからない	3名	8.3%	744名	11.9%
無回答	1名	2.8%	450名	7.2%



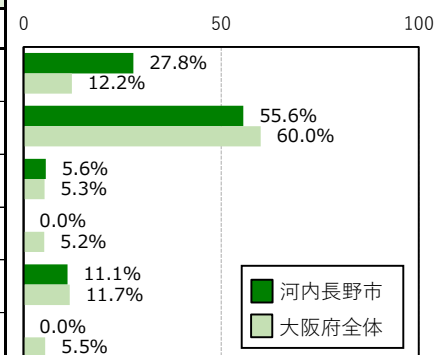
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	18名	100.0%	2,640名	100.0%
時間がない	6名	33.3%	343名	13.0%
おなかがすいていない	7名	38.9%	1,510名	57.2%
用意されていない	3名	16.7%	136名	5.2%
食べる習慣がない	-	-	78名	3.0%
わからない	1名	5.6%	321名	12.2%
無回答	1名	5.6%	252名	9.5%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	18名	100.0%	3,593名	100.0%
時間がない	5名	27.8%	438名	12.2%
おなかがすいていない	10名	55.6%	2,156名	60.0%
用意されていない	1名	5.6%	192名	5.3%
食べる習慣がない	-	-	188名	5.2%
わからない	2名	11.1%	422名	11.7%
無回答	-	-	197名	5.5%



ふだんの生活のことについて

問7 学校への遅刻

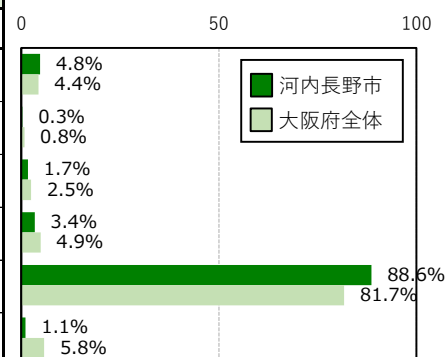
全体は、「遅刻はしない」が88.6%で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が4.8%、「週に1回程度」が3.4%、「週に2～3回」が1.7%となっている。

小学生は、「遅刻はしない」が90.8%で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が5.1%、「週に2～3回」が1.5%となっている。

中学生は、「遅刻はしない」が86.4%で最も多く、次いで「週に1回程度」が5.8%、「毎日またはほとんど毎日」が4.5%、「週に2～3回」が1.9%となっている。

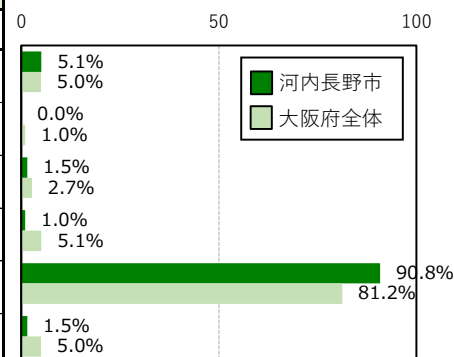
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	17名	4.8%	1,906名	4.4%
週に4～5回	1名	0.3%	333名	0.8%
週に2～3回	6名	1.7%	1,063名	2.5%
週に1回程度	12名	3.4%	2,132名	4.9%
遅刻はしない	312名	88.6%	35,435名	81.7%
無回答	4名	1.1%	2,501名	5.8%



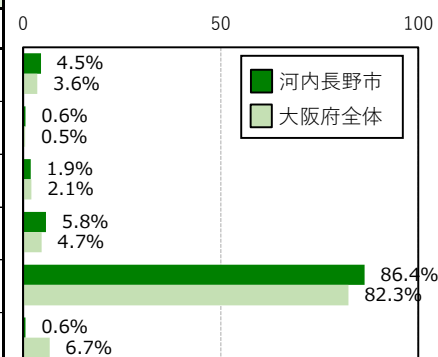
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	10名	5.1%	1,168名	5.0%
週に4～5回	-	-	223名	1.0%
週に2～3回	3名	1.5%	639名	2.7%
週に1回程度	2名	1.0%	1,194名	5.1%
遅刻はしない	177名	90.8%	18,907名	81.2%
無回答	3名	1.5%	1,158名	5.0%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	7名	4.5%	729名	3.6%
週に4～5回	1名	0.6%	109名	0.5%
週に2～3回	3名	1.9%	423名	2.1%
週に1回程度	9名	5.8%	935名	4.7%
遅刻はしない	133名	86.4%	16,459名	82.3%
無回答	1名	0.6%	1,335名	6.7%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ①おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べているか

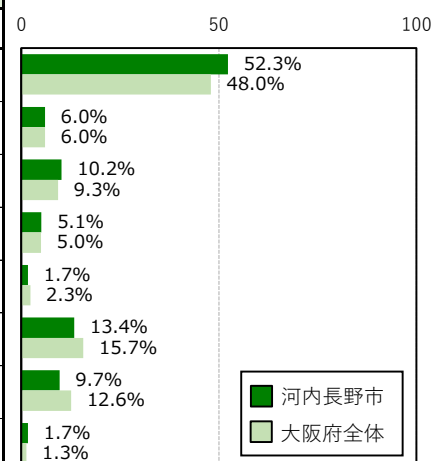
全体は、「ほとんど毎日」が52.3%で最も多く、次いで「ほとんどない」が13.4%、「週に2～3回」が10.2%、「まったくない」が9.7%、「週に4～5回」が6.0%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が59.5%で最も多く、次いで「週に2～3回」と「ほとんどない」がそれぞれ9.2%、「まったくない」が8.2%、「週に4～5回」が6.7%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が44.2%で最も多く、次いで「ほとんどない」が18.2%、「週に2～3回」と「まったくない」がそれぞれ11.0%、「週に1回程度」が6.5%となっている。

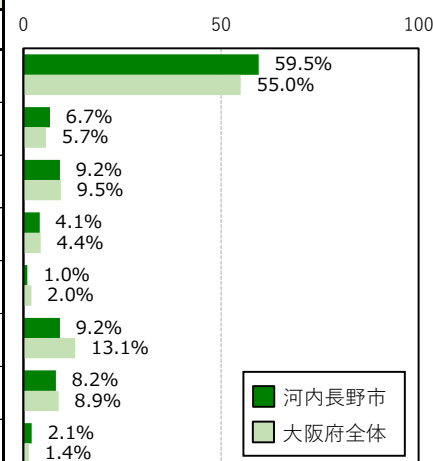
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	184名	52.3%	20,810名	48.0%
週に4～5回	21名	6.0%	2,583名	6.0%
週に2～3回	36名	10.2%	4,012名	9.3%
週に1回程度	18名	5.1%	2,155名	5.0%
月に1～2回	6名	1.7%	995名	2.3%
ほとんどない	47名	13.4%	6,794名	15.7%
まったくない	34名	9.7%	5,475名	12.6%
無回答	6名	1.7%	546名	1.3%



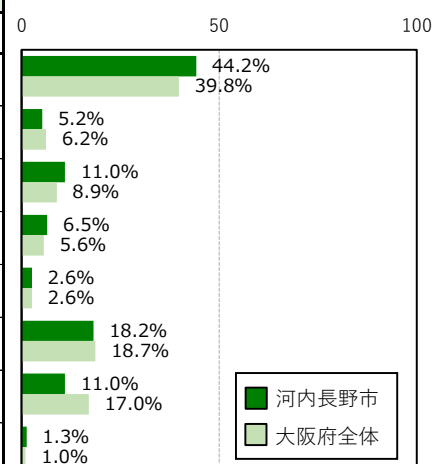
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	116名	59.5%	12,809名	55.0%
週に4～5回	13名	6.7%	1,328名	5.7%
週に2～3回	18名	9.2%	2,222名	9.5%
週に1回程度	8名	4.1%	1,023名	4.4%
月に1～2回	2名	1.0%	469名	2.0%
ほとんどない	18名	9.2%	3,042名	13.1%
まったくない	16名	8.2%	2,065名	8.9%
無回答	4名	2.1%	331名	1.4%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	68名	44.2%	7,962名	39.8%
週に4～5回	8名	5.2%	1,248名	6.2%
週に2～3回	17名	11.0%	1,780名	8.9%
週に1回程度	10名	6.5%	1,128名	5.6%
月に1～2回	4名	2.6%	526名	2.6%
ほとんどない	28名	18.2%	3,737名	18.7%
まったくない	17名	11.0%	3,400名	17.0%
無回答	2名	1.3%	209名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ②おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べているか

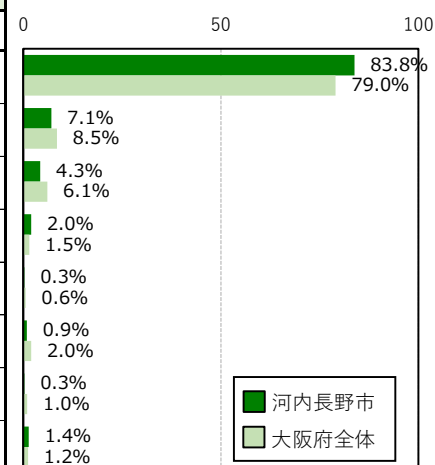
全体は、「ほとんど毎日」が83.8%で最も多く、次いで「週に4～5回」が7.1%、「週に2～3回」が4.3%、「週に1回程度」が2.0%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が91.3%で最も多く、次いで「週に4～5回」が3.1%、「週に2～3回」が1.5%、「週に1回程度」が1.0%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が74.7%で最も多く、次いで「週に4～5回」が12.3%、「週に2～3回」が7.8%、「週に1回程度」が2.6%となっている。

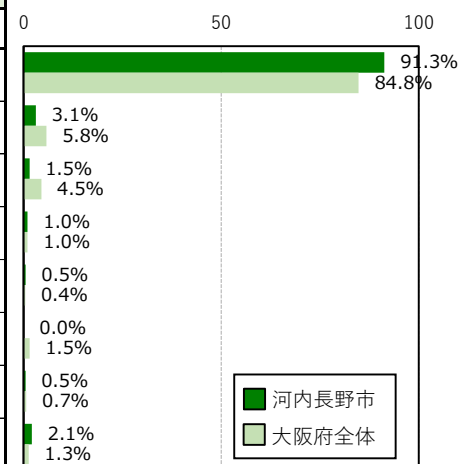
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	295名	83.8%	34,246名	79.0%
週に4～5回	25名	7.1%	3,679名	8.5%
週に2～3回	15名	4.3%	2,667名	6.1%
週に1回程度	7名	2.0%	656名	1.5%
月に1～2回	1名	0.3%	262名	0.6%
ほとんどない	3名	0.9%	889名	2.0%
まったくない	1名	0.3%	455名	1.0%
無回答	5名	1.4%	516名	1.2%



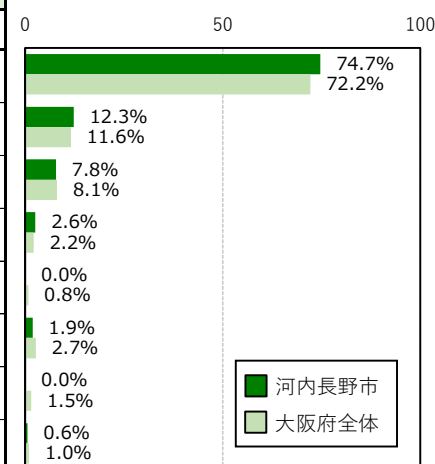
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	178名	91.3%	19,748名	84.8%
週に4～5回	6名	3.1%	1,360名	5.8%
週に2～3回	3名	1.5%	1,048名	4.5%
週に1回程度	2名	1.0%	222名	1.0%
月に1～2回	1名	0.5%	100名	0.4%
ほとんどない	-	-	349名	1.5%
まったくない	1名	0.5%	154名	0.7%
無回答	4名	2.1%	308名	1.3%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	115名	74.7%	14,429名	72.2%
週に4～5回	19名	12.3%	2,310名	11.6%
週に2～3回	12名	7.8%	1,616名	8.1%
週に1回程度	4名	2.6%	431名	2.2%
月に1～2回	-	-	162名	0.8%
ほとんどない	3名	1.9%	539名	2.7%
まったくない	-	-	301名	1.5%
無回答	1名	0.6%	202名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ③おうちの大人の人に朝、起こしてもらうか

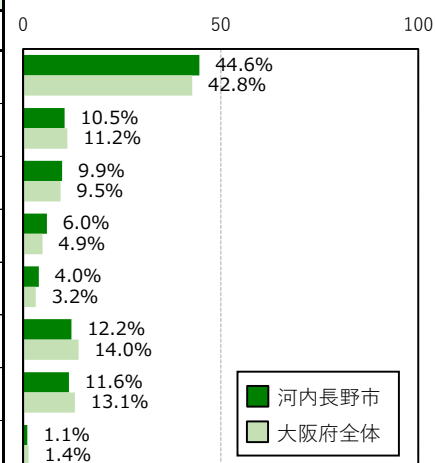
全体は、「ほとんど毎日」が44.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が12.2%、「まったくない」が11.6%、「週に4～5回」が10.5%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が47.7%で最も多く、次いで「まったくない」が11.8%、「週に4～5回」が11.3%、「週に2～3回」と「ほとんどない」がそれぞれ9.7%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が41.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が14.3%、「まったくない」が11.0%、「週に2～3回」が10.4%となっている。

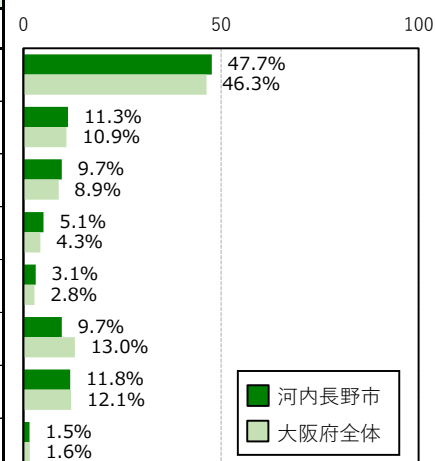
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	157名	44.6%	18,563名	42.8%
週に4～5回	37名	10.5%	4,840名	11.2%
週に2～3回	35名	9.9%	4,123名	9.5%
週に1回程度	21名	6.0%	2,130名	4.9%
月に1～2回	14名	4.0%	1,371名	3.2%
ほとんどない	43名	12.2%	6,057名	14.0%
まったくない	41名	11.6%	5,677名	13.1%
無回答	4名	1.1%	609名	1.4%



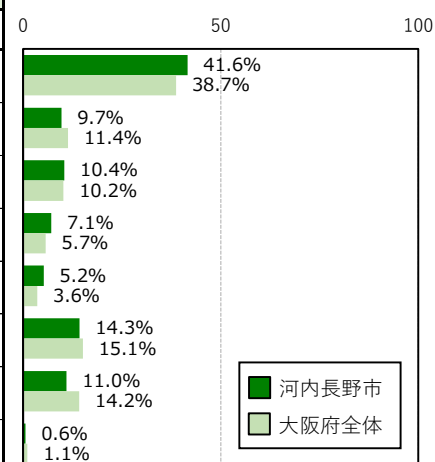
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	93名	47.7%	10,794名	46.3%
週に4～5回	22名	11.3%	2,544名	10.9%
週に2～3回	19名	9.7%	2,074名	8.9%
週に1回程度	10名	5.1%	992名	4.3%
月に1～2回	6名	3.1%	656名	2.8%
ほとんどない	19名	9.7%	3,036名	13.0%
まったくない	23名	11.8%	2,819名	12.1%
無回答	3名	1.5%	374名	1.6%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	64名	41.6%	7,736名	38.7%
週に4～5回	15名	9.7%	2,285名	11.4%
週に2～3回	16名	10.4%	2,040名	10.2%
週に1回程度	11名	7.1%	1,137名	5.7%
月に1～2回	8名	5.2%	711名	3.6%
ほとんどない	22名	14.3%	3,009名	15.1%
まったくない	17名	11.0%	2,843名	14.2%
無回答	1名	0.6%	229名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ④おうちの手伝いをしているか

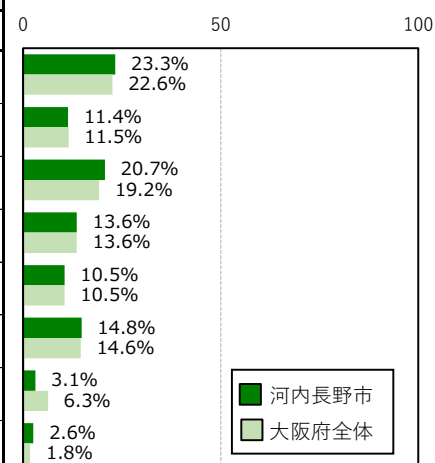
全体は、「ほとんど毎日」が23.3%で最も多く、次いで「週に2～3回」が20.7%、「ほとんどない」が14.8%、「週に1回程度」が13.6%となっている。

小学生は、「週に2～3回」が26.2%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が24.6%、「週に4～5回」が12.8%、「週に1回程度」が11.8%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」、「ほとんどない」がそれぞれ22.1%で最も多く、次いで「週に1回程度」が16.2%、「週に2～3回」が13.0%、「月に1～2回」が11.0%となっている。

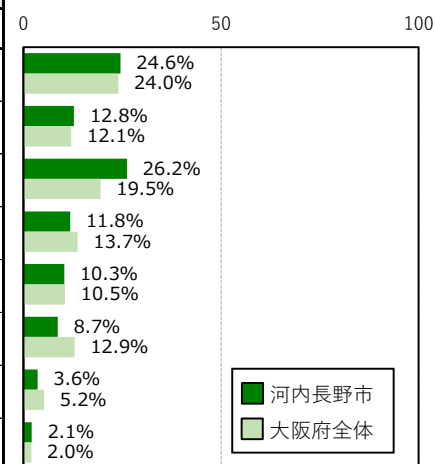
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	82名	23.3%	9,795名	22.6%
週に4～5回	40名	11.4%	5,006名	11.5%
週に2～3回	73名	20.7%	8,307名	19.2%
週に1回程度	48名	13.6%	5,879名	13.6%
月に1～2回	37名	10.5%	4,561名	10.5%
ほとんどない	52名	14.8%	6,329名	14.6%
まったくない	11名	3.1%	2,722名	6.3%
無回答	9名	2.6%	771名	1.8%



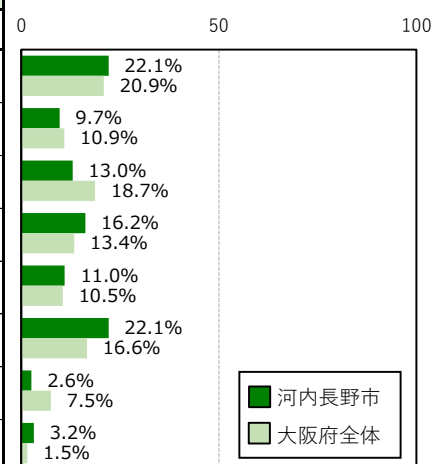
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	48名	24.6%	5,601名	24.0%
週に4～5回	25名	12.8%	2,812名	12.1%
週に2～3回	51名	26.2%	4,552名	19.5%
週に1回程度	23名	11.8%	3,186名	13.7%
月に1～2回	20名	10.3%	2,448名	10.5%
ほとんどない	17名	8.7%	3,000名	12.9%
まったくない	7名	3.6%	1,219名	5.2%
無回答	4名	2.1%	471名	2.0%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	34名	22.1%	4,171名	20.9%
週に4～5回	15名	9.7%	2,187名	10.9%
週に2～3回	20名	13.0%	3,741名	18.7%
週に1回程度	25名	16.2%	2,684名	13.4%
月に1～2回	17名	11.0%	2,103名	10.5%
ほとんどない	34名	22.1%	3,319名	16.6%
まったくない	4名	2.6%	1,494名	7.5%
無回答	5名	3.2%	291名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

全体は、「ほとんどない」が29.0%で最も多く、次いで「まったくない」が22.4%、「ほとんど毎日」が15.9%、「週に1回程度」が11.4%となっている。

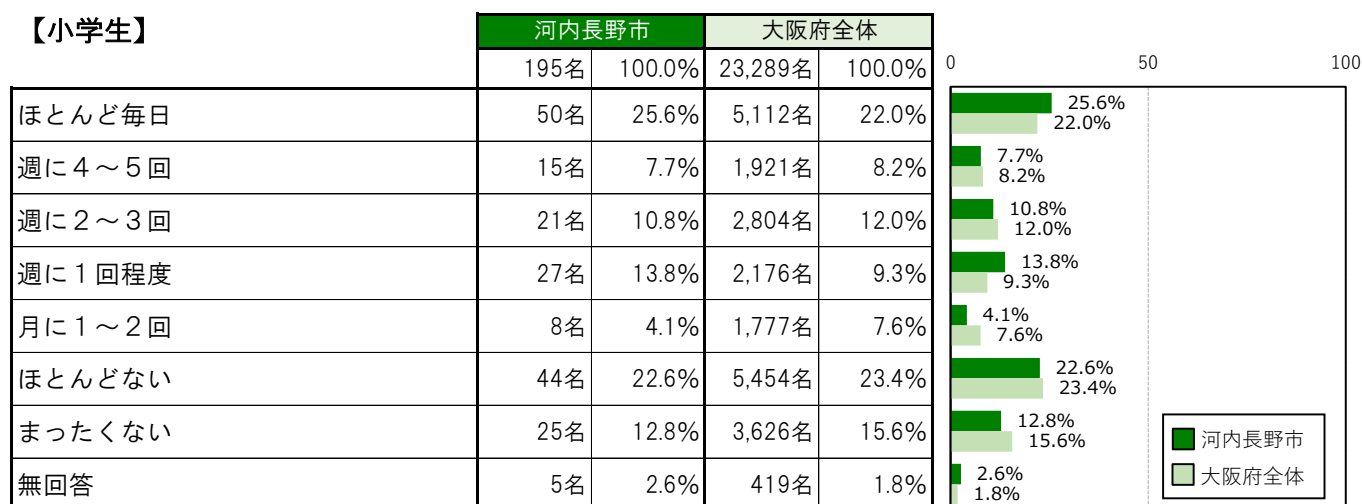
小学生は、「ほとんど毎日」が25.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が22.6%、「週に1回程度」が13.8%、「まったくない」が12.8%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が35.7%で最も多く、次いで「まったくない」が35.1%、「月に1～2回」が9.1%、「週に1回程度」が8.4%となっている。

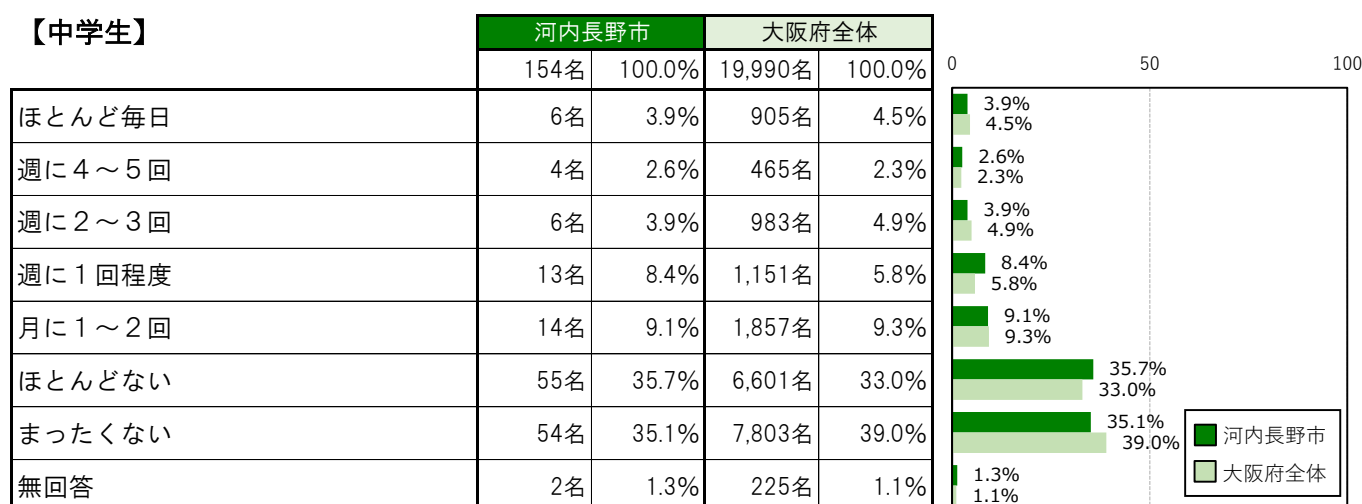
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑥おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか

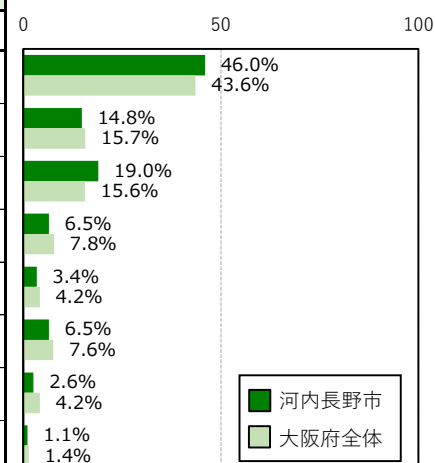
全体は、「ほとんど毎日」が46.0%で最も多く、次いで「週に2～3回」が19.0%、「週に4～5回」が14.8%、「週に1回程度」と「ほとんどない」がそれぞれ6.5%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が50.3%で最も多く、次いで「週に2～3回」が19.5%、「週に4～5回」が13.8%、「週に1回程度」が5.6%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が41.6%で最も多く、次いで「週に2～3回」が18.2%、「週に4～5回」が16.2%、「ほとんどない」が10.4%となっている。

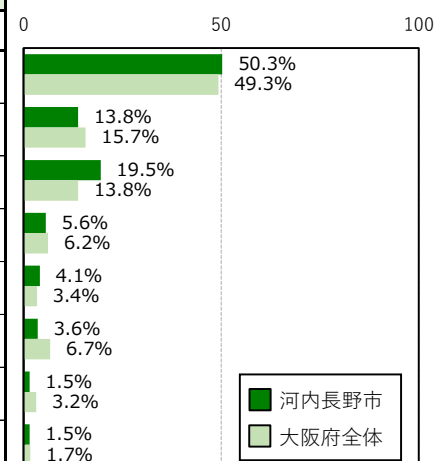
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	162名	46.0%	18,891名	43.6%
週に4～5回	52名	14.8%	6,809名	15.7%
週に2～3回	67名	19.0%	6,773名	15.6%
週に1回程度	23名	6.5%	3,386名	7.8%
月に1～2回	12名	3.4%	1,801名	4.2%
ほとんどない	23名	6.5%	3,283名	7.6%
まったくない	9名	2.6%	1,802名	4.2%
無回答	4名	1.1%	625名	1.4%



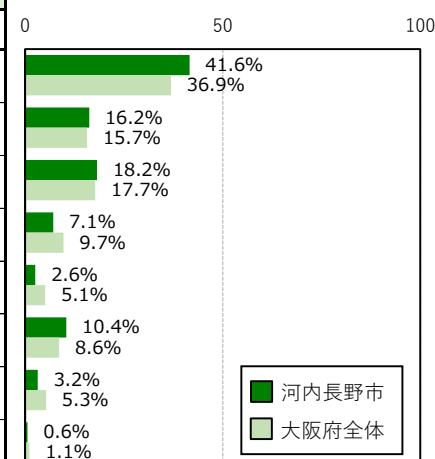
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	98名	50.3%	11,483名	49.3%
週に4～5回	27名	13.8%	3,660名	15.7%
週に2～3回	38名	19.5%	3,225名	13.8%
週に1回程度	11名	5.6%	1,447名	6.2%
月に1～2回	8名	4.1%	783名	3.4%
ほとんどない	7名	3.6%	1,558名	6.7%
まったくない	3名	1.5%	739名	3.2%
無回答	3名	1.5%	394名	1.7%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	64名	41.6%	7,374名	36.9%
週に4～5回	25名	16.2%	3,138名	15.7%
週に2～3回	28名	18.2%	3,533名	17.7%
週に1回程度	11名	7.1%	1,933名	9.7%
月に1～2回	4名	2.6%	1,015名	5.1%
ほとんどない	16名	10.4%	1,716名	8.6%
まったくない	5名	3.2%	1,056名	5.3%
無回答	1名	0.6%	225名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑦おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか

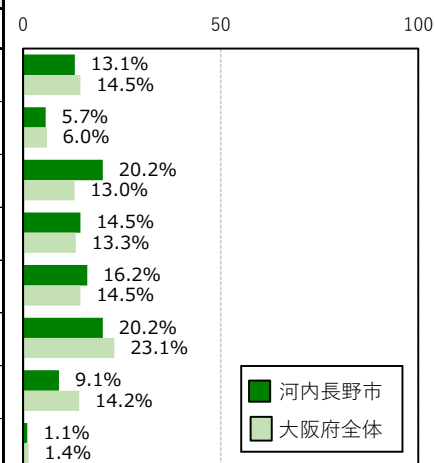
全体は、「週に2～3回」と「ほとんどない」がそれぞれ20.2%で最も多く、次いで「月に1～2回」が16.2%、「週に1回程度」が14.5%、「ほとんど毎日」が13.1%となっている。

小学生は、「週に2～3回」が24.6%で最も多く、次いで「週に1回程度」が15.9%、「ほとんど毎日」と「月に1～2回」、「ほとんどない」がそれぞれ14.9%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が26.6%で最も多く、次いで「月に1～2回」が17.5%、「週に2～3回」が14.9%、「まったくない」が14.3%となっている。

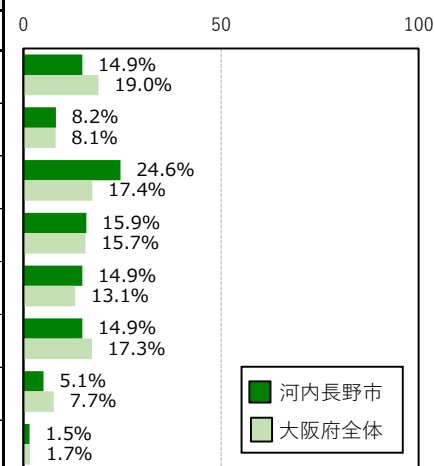
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	46名	13.1%	6,287名	14.5%
週に4～5回	20名	5.7%	2,582名	6.0%
週に2～3回	71名	20.2%	5,629名	13.0%
週に1回程度	51名	14.5%	5,782名	13.3%
月に1～2回	57名	16.2%	6,304名	14.5%
ほとんどない	71名	20.2%	10,004名	23.1%
まったくない	32名	9.1%	6,164名	14.2%
無回答	4名	1.1%	618名	1.4%



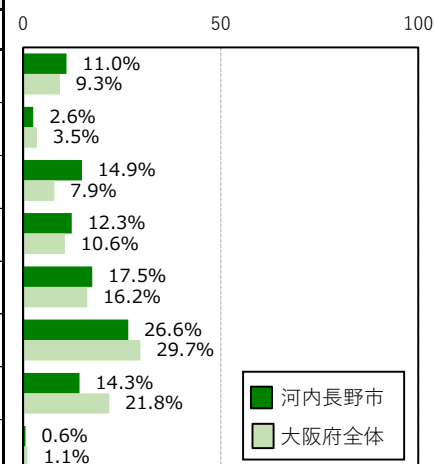
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	29名	14.9%	4,417名	19.0%
週に4～5回	16名	8.2%	1,880名	8.1%
週に2～3回	48名	24.6%	4,047名	17.4%
週に1回程度	31名	15.9%	3,656名	15.7%
月に1～2回	29名	14.9%	3,054名	13.1%
ほとんどない	29名	14.9%	4,038名	17.3%
まったくない	10名	5.1%	1,801名	7.7%
無回答	3名	1.5%	396名	1.7%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	17名	11.0%	1,860名	9.3%
週に4～5回	4名	2.6%	693名	3.5%
週に2～3回	23名	14.9%	1,571名	7.9%
週に1回程度	19名	12.3%	2,114名	10.6%
月に1～2回	27名	17.5%	3,240名	16.2%
ほとんどない	41名	26.6%	5,944名	29.7%
まったくない	22名	14.3%	4,352名	21.8%
無回答	1名	0.6%	216名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑧おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか

全体は、「ほとんど毎日」が21.6%で最も多く、次いで「週に2～3回」が20.5%、「ほとんどない」が17.6%、「週に4～5回」が13.9%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が23.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が19.0%、「週に2～3回」が18.5%、「週に4～5回」が13.3%となっている。

中学生は、「週に2～3回」が22.7%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が19.5%、「ほとんどない」が15.6%、「週に4～5回」が14.9%となっている。

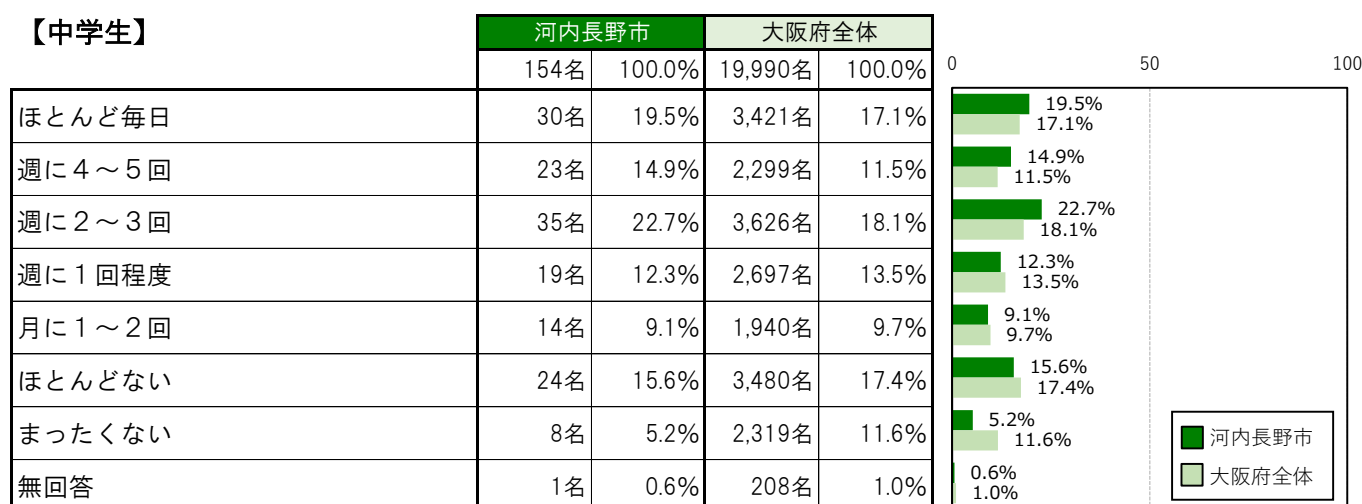
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問 8 保護者との関係性 ⑨おうちの大人のひとと文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をするか

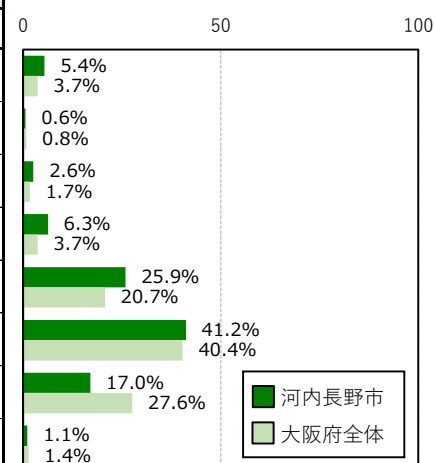
全体は、「ほとんどない」が41.2%で最も多く、次いで「月に1～2回」が25.9%、「まったくない」が17.0%、「週に1回程度」が6.3%となっている。

小学生は、「ほとんどない」が41.5%で最も多く、次いで「月に1～2回」が27.7%、「まったくない」が11.8%、「ほとんど毎日」が7.2%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が40.9%で最も多く、次いで「月に1～2回」と「まったくない」がそれぞれ23.4%、「週に1回程度」が5.8%となっている。

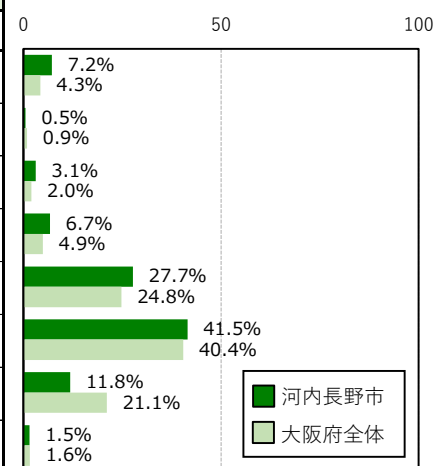
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	19名	5.4%	1,596名	3.7%
週に4～5回	2名	0.6%	344名	0.8%
週に2～3回	9名	2.6%	730名	1.7%
週に1回程度	22名	6.3%	1,609名	3.7%
月に1～2回	91名	25.9%	8,999名	20.7%
ほとんどない	145名	41.2%	17,538名	40.4%
まったくない	60名	17.0%	11,956名	27.6%
無回答	4名	1.1%	598名	1.4%



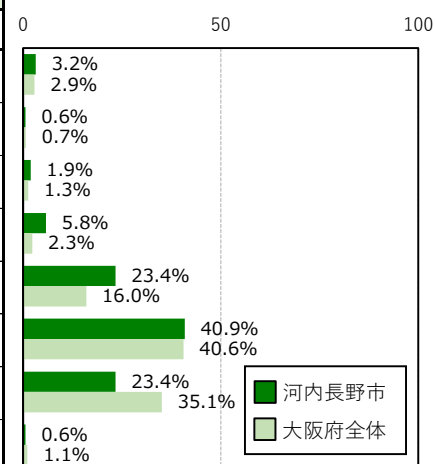
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	14名	7.2%	1,008名	4.3%
週に4～5回	1名	0.5%	204名	0.9%
週に2～3回	6名	3.1%	471名	2.0%
週に1回程度	13名	6.7%	1,140名	4.9%
月に1～2回	54名	27.7%	5,780名	24.8%
ほとんどない	81名	41.5%	9,401名	40.4%
まったくない	23名	11.8%	4,910名	21.1%
無回答	3名	1.5%	375名	1.6%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	5名	3.2%	583名	2.9%
週に4～5回	1名	0.6%	140名	0.7%
週に2～3回	3名	1.9%	257名	1.3%
週に1回程度	9名	5.8%	466名	2.3%
月に1～2回	36名	23.4%	3,195名	16.0%
ほとんどない	63名	40.9%	8,112名	40.6%
まったくない	36名	23.4%	7,020名	35.1%
無回答	1名	0.6%	217名	1.1%



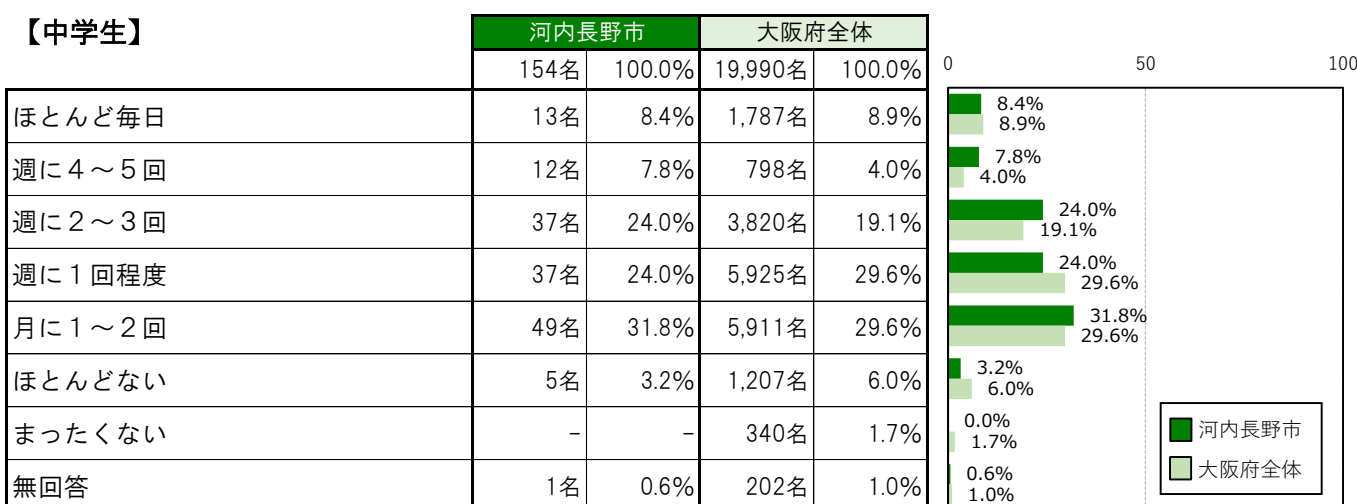
ふだんの生活のことについて

問 8 保護者との関係性 ⑩おうちの大人の人と一緒に外出するか（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）

全体は、「週に2～3回」が28.1%で最も多く、次いで「週に1回程度」が24.7%、「月に1～2回」が21.3%、「ほとんど毎日」が12.2%となっている。

小学生は、「週に2～3回」が31.8%で最も多く、次いで「週に1回程度」が24.6%、「ほとんど毎日」が15.4%、「月に1～2回」が12.8%となっている。

中学生は、「月に1～2回」が31.8%で最も多く、次いで「週に2～3回」と「週に1回程度」がそれぞれ24.0%、「ほとんど毎日」が8.4%となっている。



ふだんの生活のことについて

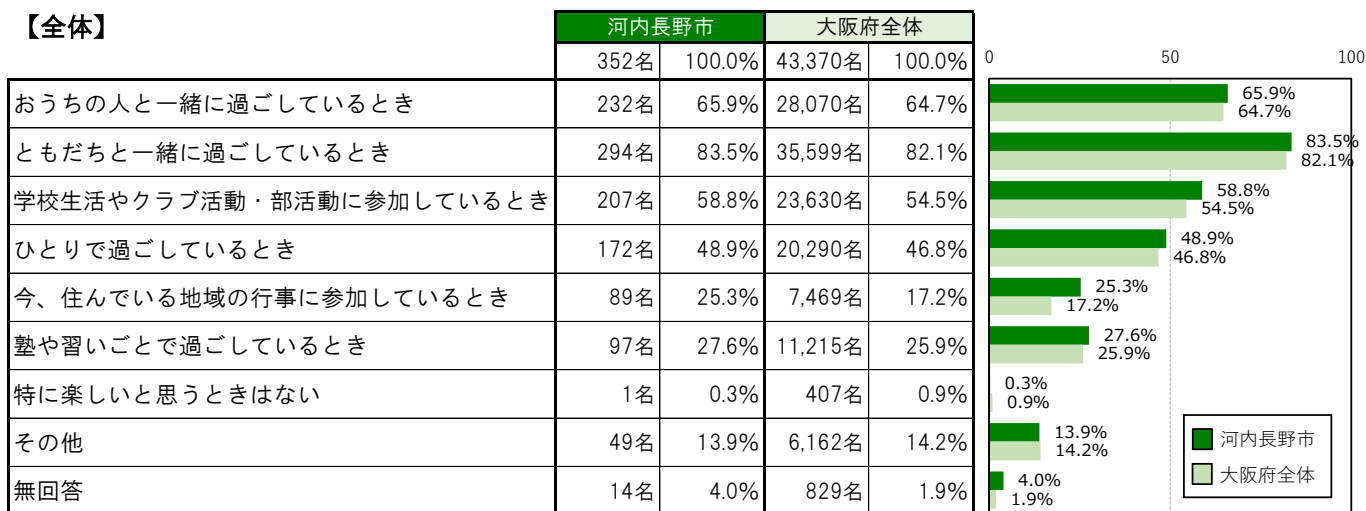
問9 毎日の生活で楽しいこと

全体は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が83.5%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が65.9%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が58.8%、「ひとりで過ごしているとき」が48.9%となっている。

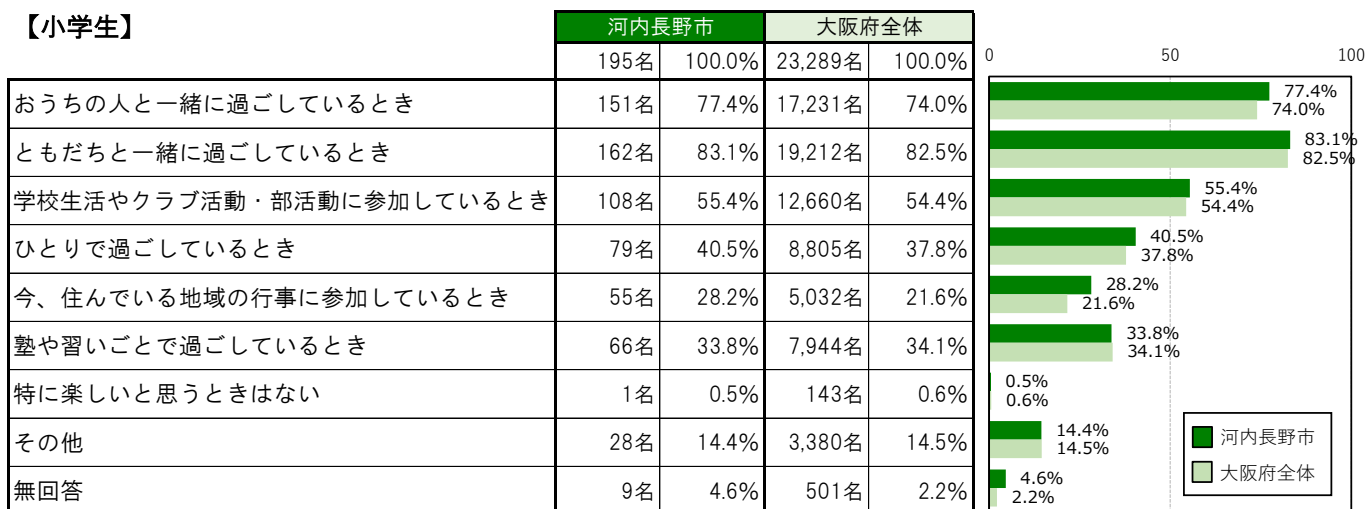
小学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が83.1%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が77.4%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が55.4%、「ひとりで過ごしているとき」が40.5%となっている。

中学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が84.4%で最も多く、次いで「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が63.0%、「ひとりで過ごしているとき」が59.1%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が51.9%となっている。

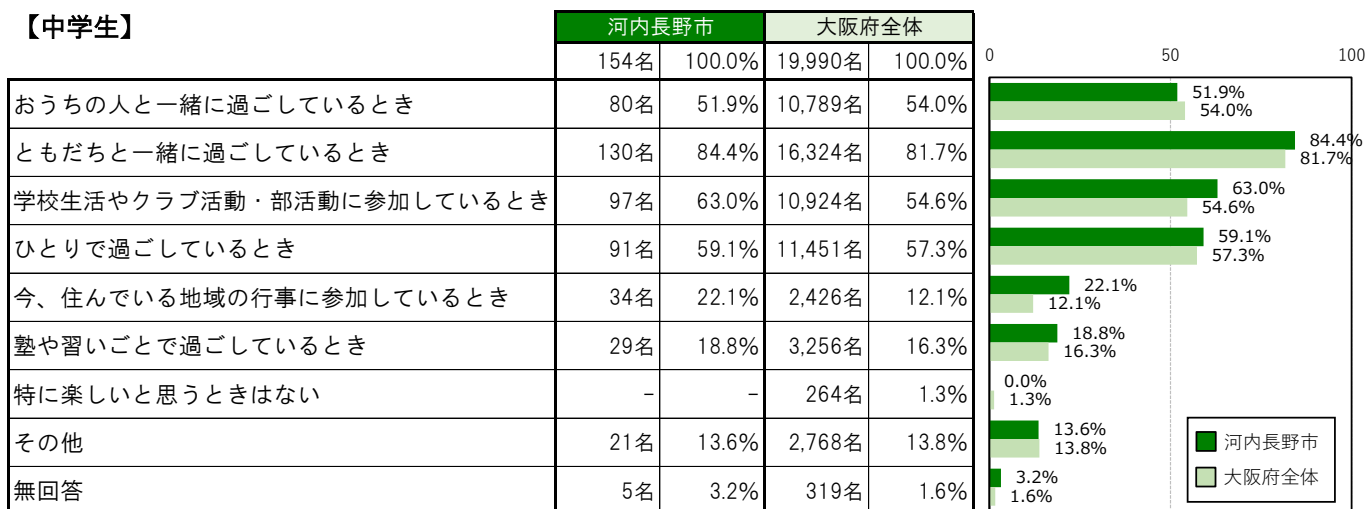
【全体】



【小学生】



【中学生】



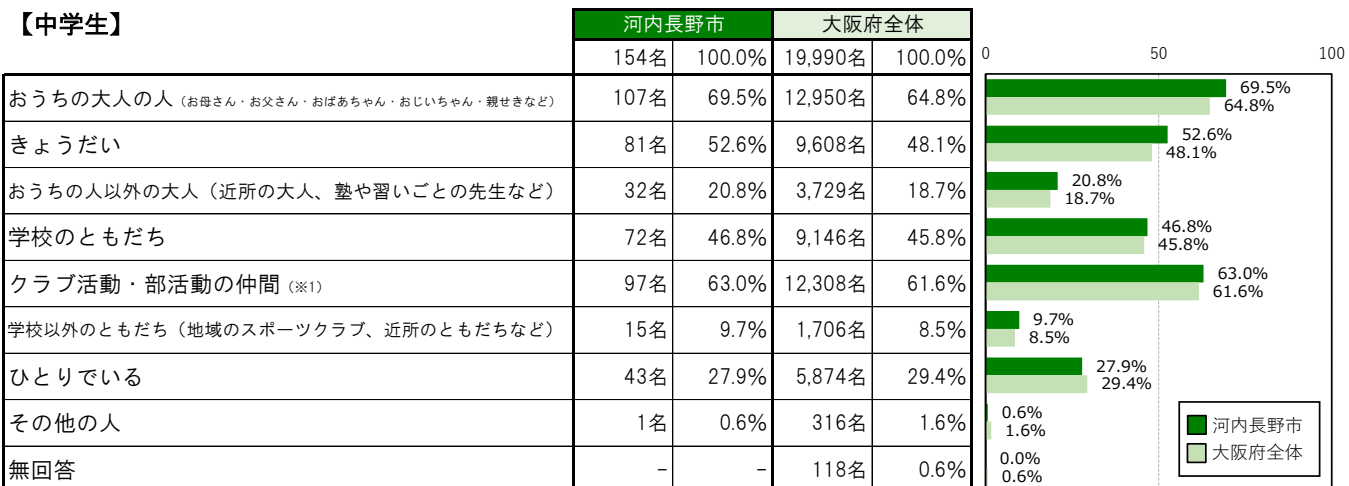
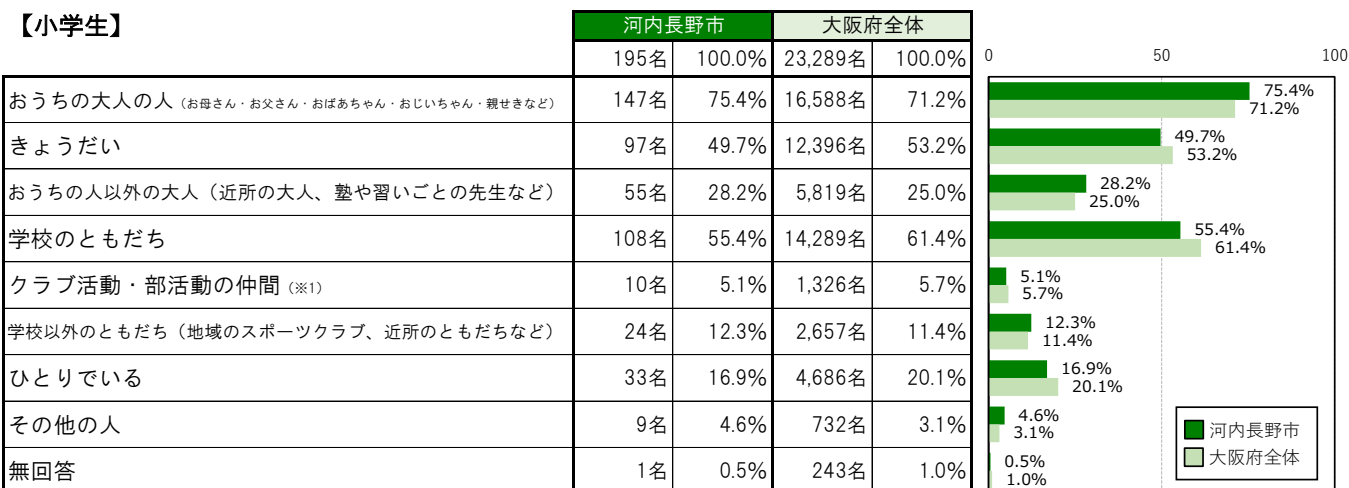
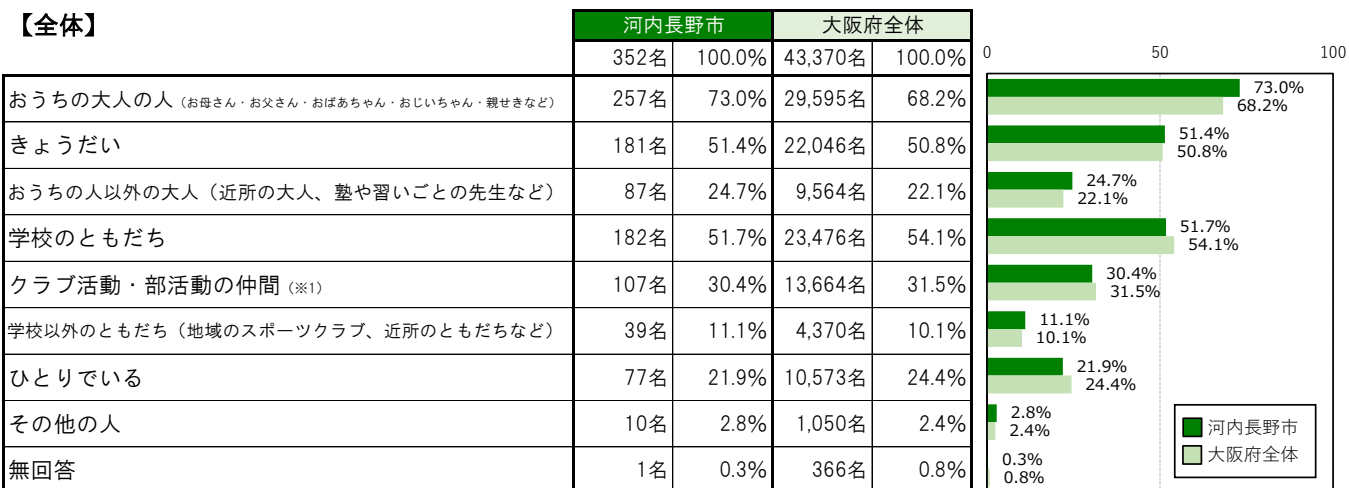
ふだんの生活のことについて

問10 放課後を一緒に過ごす人

全体は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が73.0%で最も多く、次いで「学校のともだち」が51.7%、「きょうだい」が51.4%、「クラブ活動・部活動の仲間」が30.4%となっている。

小学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が75.4%で最も多く、次いで「学校のともだち」が55.4%、「きょうだい」が49.7%、「おうちの人以外の大人」が28.2%となっている。

中学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が69.5%で最も多く、次いで「クラブ活動・部活動の仲間」が63.0%、「きょうだい」が52.6%、「学校のともだち」が46.8%となっている。



ふだんの生活のことについて

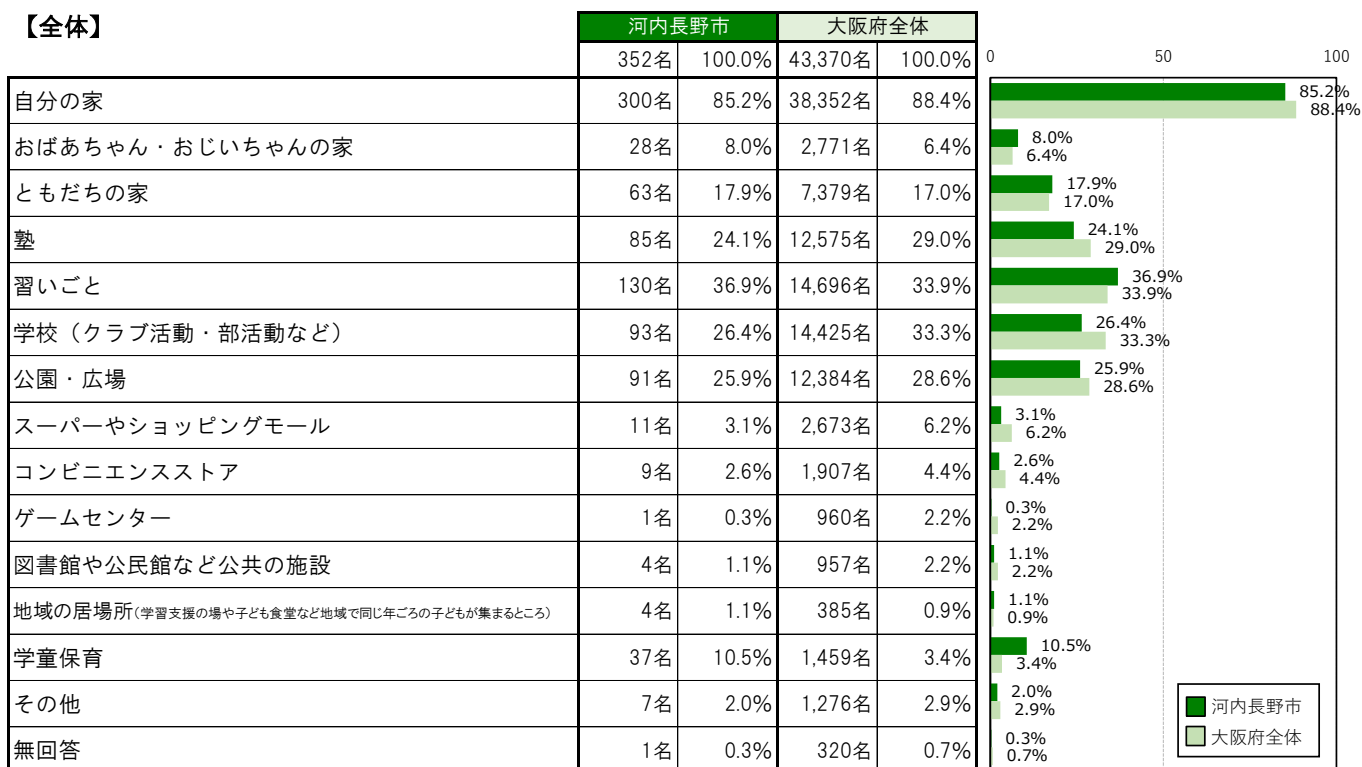
問11 放課後を過ごす場所

全体は、「自分の家」が85.2%で最も多く、次いで「習いごと」が36.9%、「学校（クラブ活動・部活動など）」が26.4%、「公園・広場」が25.9%となっている。

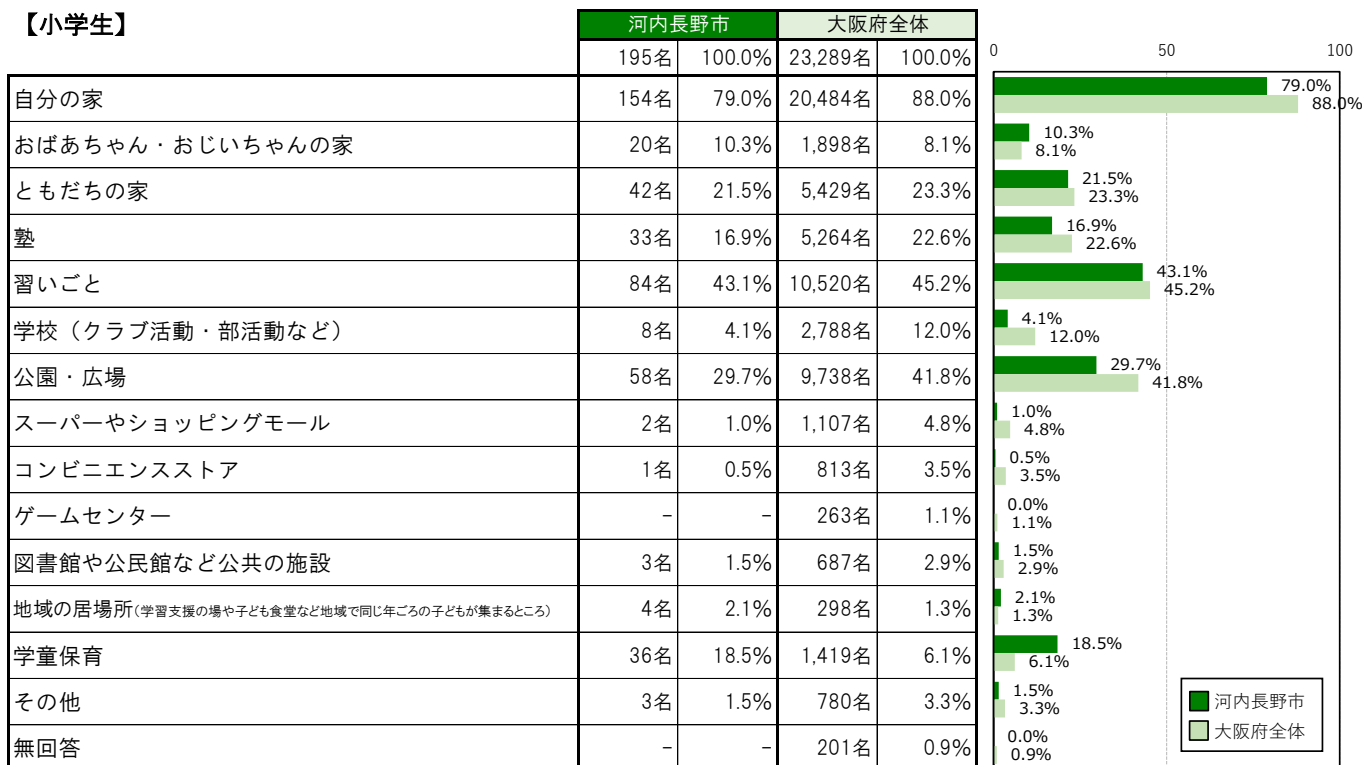
小学生は、「自分の家」が79.0%で最も多く、次いで「習いごと」が43.1%、「公園・広場」が29.7%、「ともだちの家」が21.5%となっている。

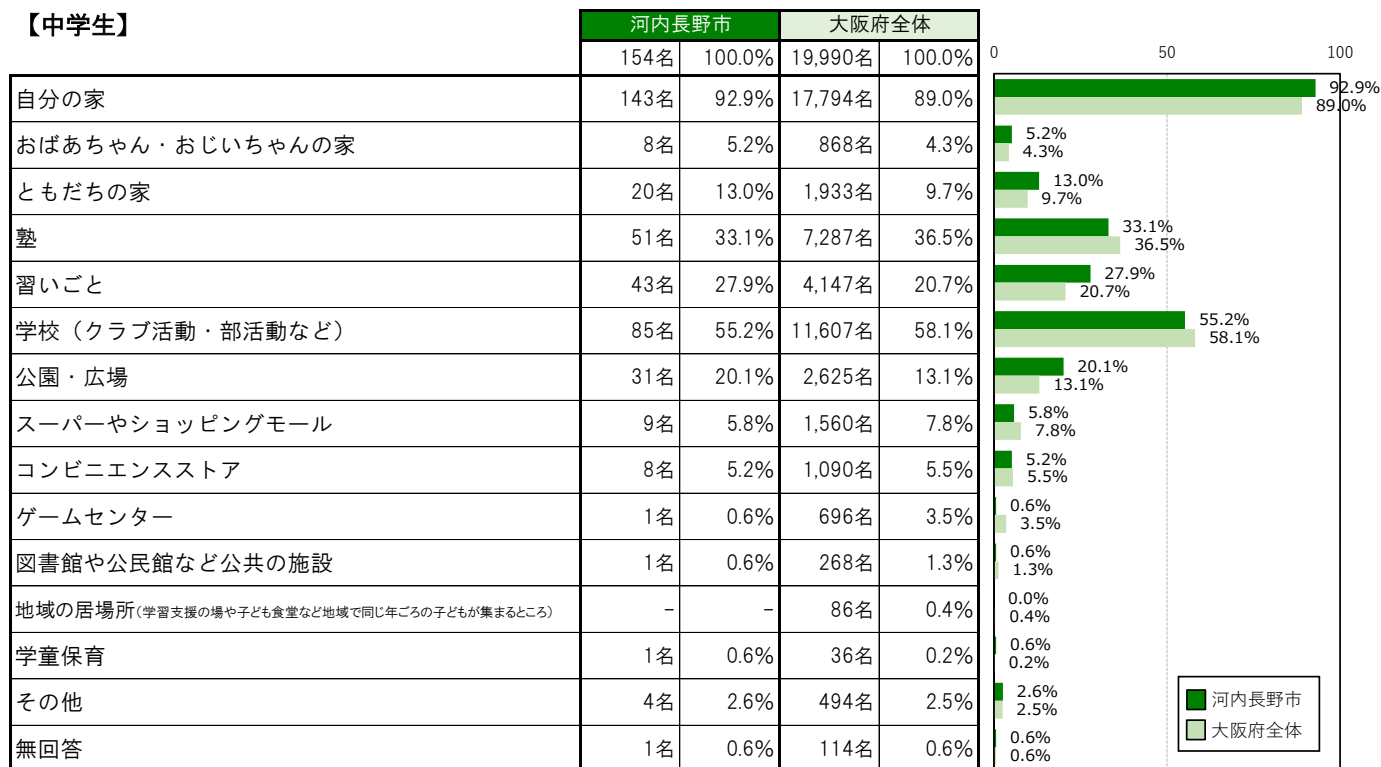
中学生は、「自分の家」が92.9%で最も多く、次いで「学校（クラブ活動・部活動など）」が55.2%、「塾」が33.1%、「習いごと」が27.9%となっている。

【全体】



【小学生】





ふだんの生活のことについて

問12 授業以外の勉強状況

全体は、「自分で勉強する」が71.0%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が42.3%、「おうちの人に教えてもらう」が39.2%、「ともだちと勉強する」が18.8%となっている。

小学生は、「自分で勉強する」が72.3%で最も多く、次いで「おうちの人に教えてもらう」が51.3%、「塾で勉強する」が31.3%、「ともだちと勉強する」が17.4%となっている。

中学生は、「自分で勉強する」が68.8%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が56.5%、「おうちの人に教えてもらう」が24.0%、「ともだちと勉強する」が20.8%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）

全体は、「30分以上、1時間より少ない」が26.1%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が23.6%、「30分より少ない」が19.3%、「2時間以上、3時間より少ない」が9.9%となっている。

小学生は、「30分以上、1時間より少ない」が33.3%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が20.5%、「30分より少ない」が18.5%、「2時間以上、3時間より少ない」と「3時間以上」がそれぞれ7.7%となっている。

中学生は、「1時間以上、2時間より少ない」が27.9%で最も多く、次いで「30分より少ない」が20.8%、「30分以上、1時間より少ない」が16.9%、「2時間以上、3時間より少ない」が12.3%となっている。

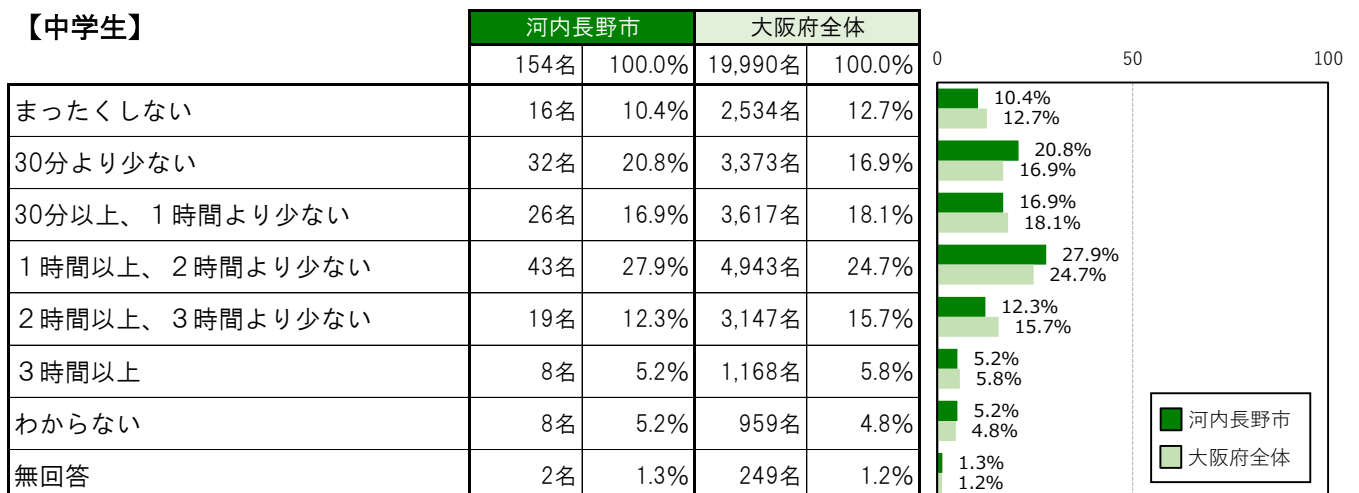
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）

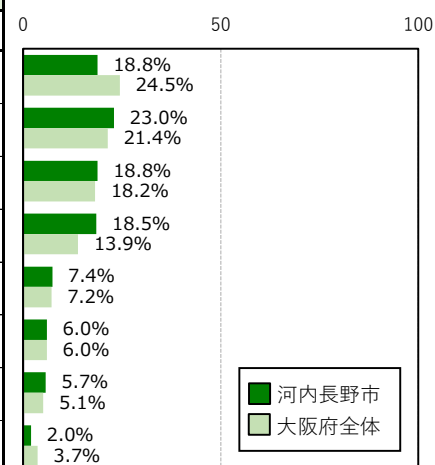
全体は、「30分より少ない」が23.0%で最も多く、次いで「まったくしない」と「30分以上、1時間より少ない」がそれぞれ18.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が18.5%となっている。

小学生は、「30分より少ない」が23.6%で最も多く、次いで「まったくしない」が20.5%、「30分以上、1時間より少ない」が20.0%、「1時間以上、2時間より少ない」が14.4%となっている。

中学生は、「1時間以上、2時間より少ない」が24.0%で最も多く、次いで「30分より少ない」が22.1%、「30分以上、1時間より少ない」が17.5%、「まったくしない」が16.9%となっている。

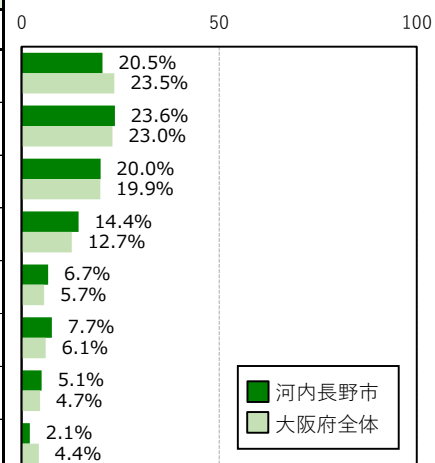
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
まったくしない	66名	18.8%	10,617名	24.5%
30分より少ない	81名	23.0%	9,301名	21.4%
30分以上、1時間より少ない	66名	18.8%	7,881名	18.2%
1時間以上、2時間より少ない	65名	18.5%	6,032名	13.9%
2時間以上、3時間より少ない	26名	7.4%	3,102名	7.2%
3時間以上	21名	6.0%	2,622名	6.0%
わからない	20名	5.7%	2,218名	5.1%
無回答	7名	2.0%	1,597名	3.7%



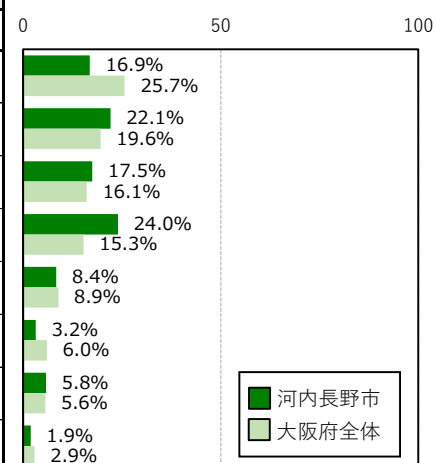
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
まったくしない	40名	20.5%	5,472名	23.5%
30分より少ない	46名	23.6%	5,361名	23.0%
30分以上、1時間より少ない	39名	20.0%	4,646名	19.9%
1時間以上、2時間より少ない	28名	14.4%	2,957名	12.7%
2時間以上、3時間より少ない	13名	6.7%	1,319名	5.7%
3時間以上	15名	7.7%	1,424名	6.1%
わからない	10名	5.1%	1,096名	4.7%
無回答	4名	2.1%	1,014名	4.4%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
まったくしない	26名	16.9%	5,131名	25.7%
30分より少ない	34名	22.1%	3,919名	19.6%
30分以上、1時間より少ない	27名	17.5%	3,226名	16.1%
1時間以上、2時間より少ない	37名	24.0%	3,060名	15.3%
2時間以上、3時間より少ない	13名	8.4%	1,777名	8.9%
3時間以上	5名	3.2%	1,192名	6.0%
わからない	9名	5.8%	1,112名	5.6%
無回答	3名	1.9%	573名	2.9%



ふだんの生活のことについて

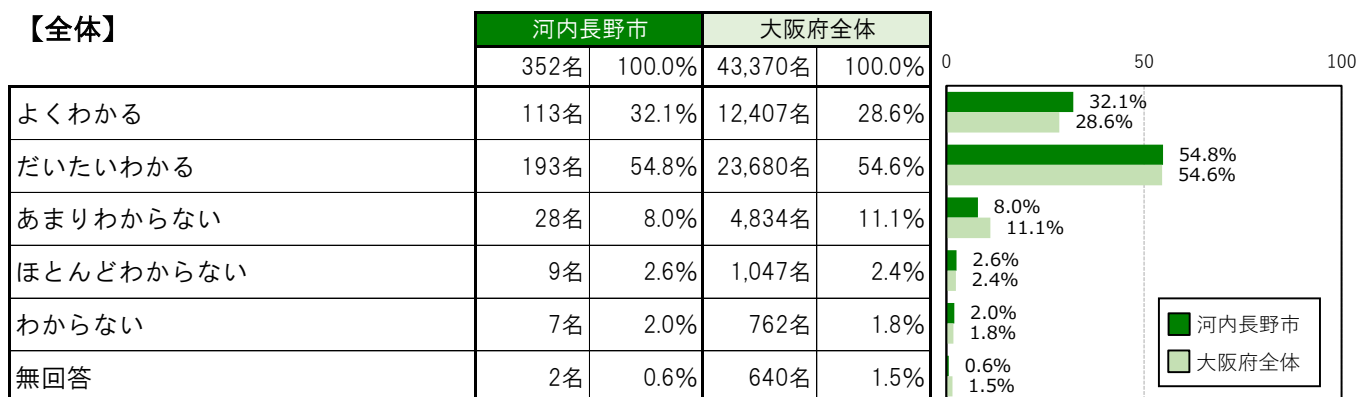
問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

全体は、「だいたいわかる」が54.8%で最も多く、次いで「よくわかる」が32.1%、「あまりわからない」が8.0%となっている。

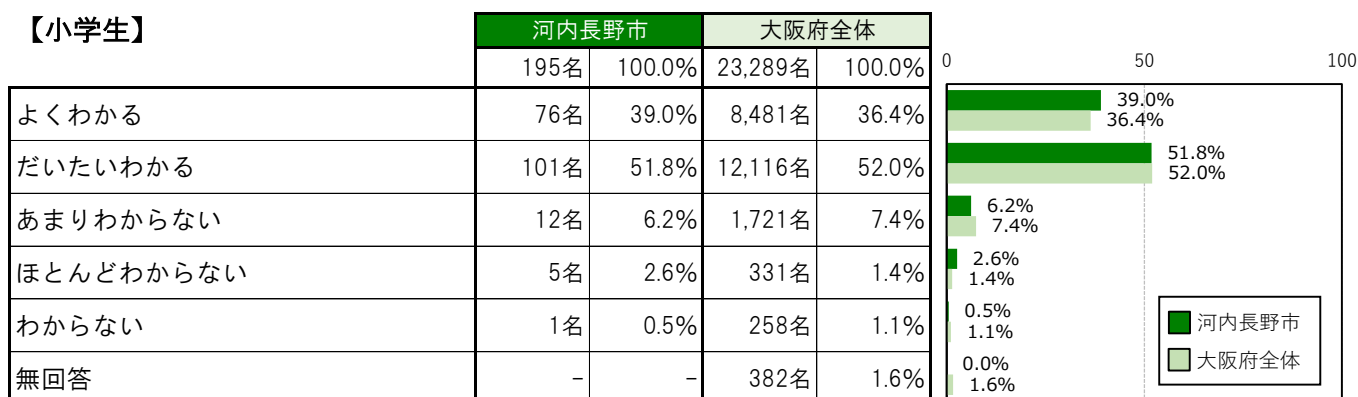
小学生は、「だいたいわかる」が51.8%で最も多く、次いで「よくわかる」が39.0%、「あまりわからない」が6.2%となっている。

中学生は、「だいたいわかる」が59.7%で最も多く、次いで「よくわかる」が22.1%、「あまりわからない」が10.4%となっている。

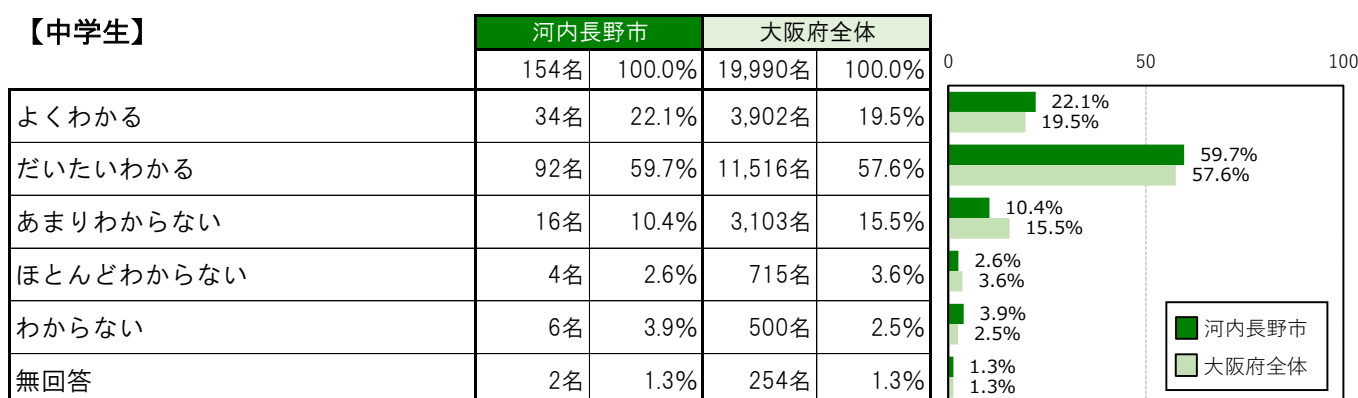
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

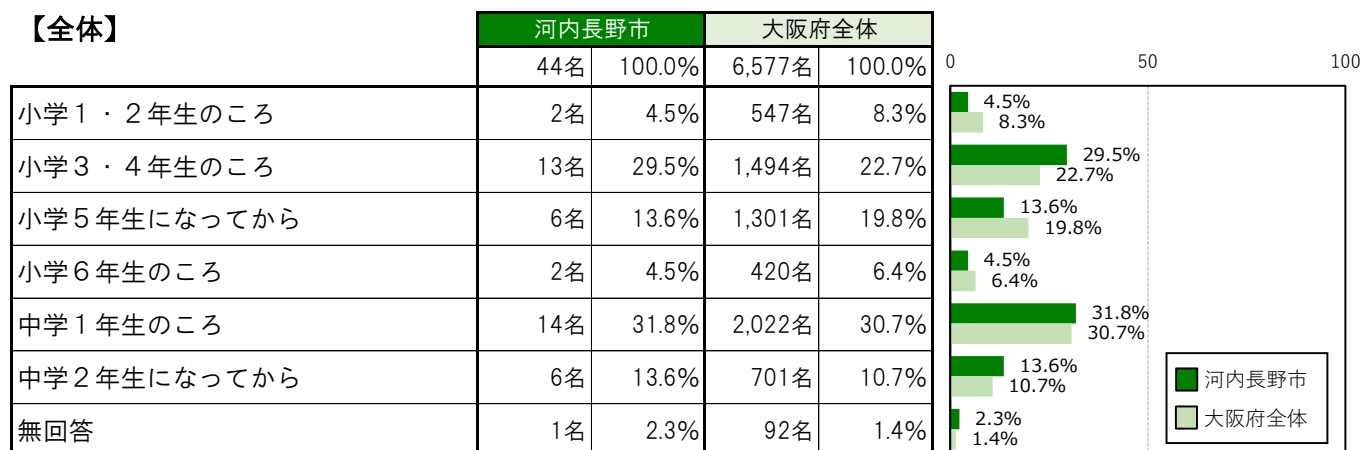
問14（2）授業がわからなくなった時期

全体は、「中学1年生のころ」が31.8%で最も多く、次いで「小学3・4年生のころ」が29.5%、「小学5年生になってから」と「中学2年生になってから」がそれぞれ13.6%となっている。

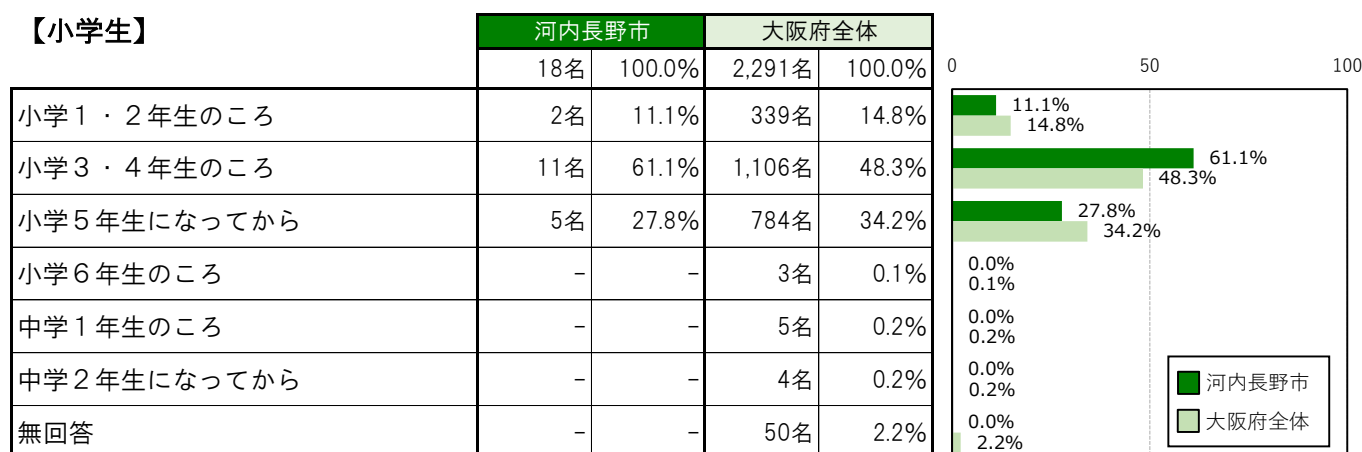
小学生は、「小学3・4年生のころ」が61.1%で最も多く、次いで「小学5年生になってから」が27.8%、「小学1・2年生のころ」が11.1%となっている。

中学生は、「中学1年生のころ」が53.8%で最も多く、次いで「中学2年生になってから」が23.1%、「小学3・4年生のころ」と「小学6年生のころ」がそれぞれ7.7%となっている。

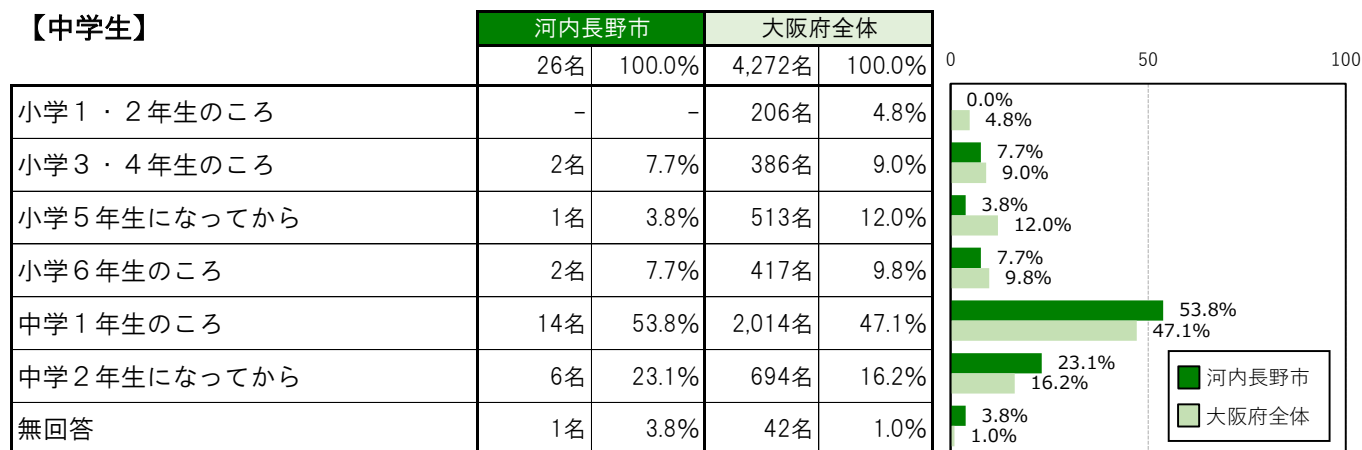
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問15 授業以外の読書時間

全体は、「まったくしない」が38.1%で最も多く、次いで「30分より少ない」が32.1%、「30分以上、1時間より少ない」が16.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.7%となっている。

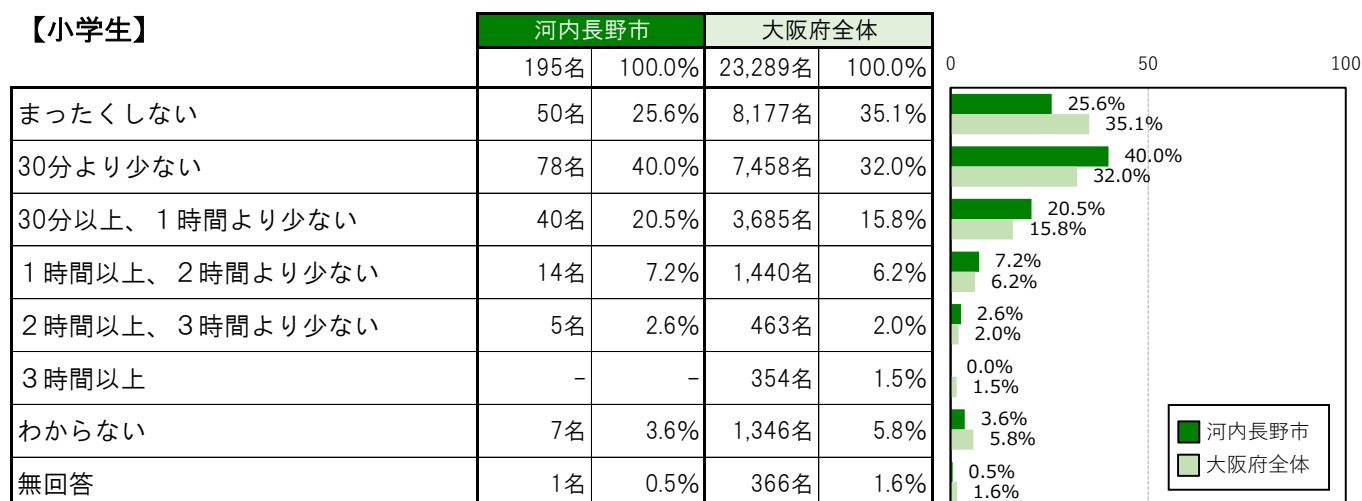
小学生は、「30分より少ない」が40.0%で最も多く、次いで「まったくしない」が25.6%、「30分以上、1時間より少ない」が20.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.2%となっている。

中学生は、「まったくしない」が53.9%で最も多く、次いで「30分より少ない」が22.1%、「30分以上、1時間より少ない」が11.7%、「1時間以上、2時間より少ない」が8.4%となっている。

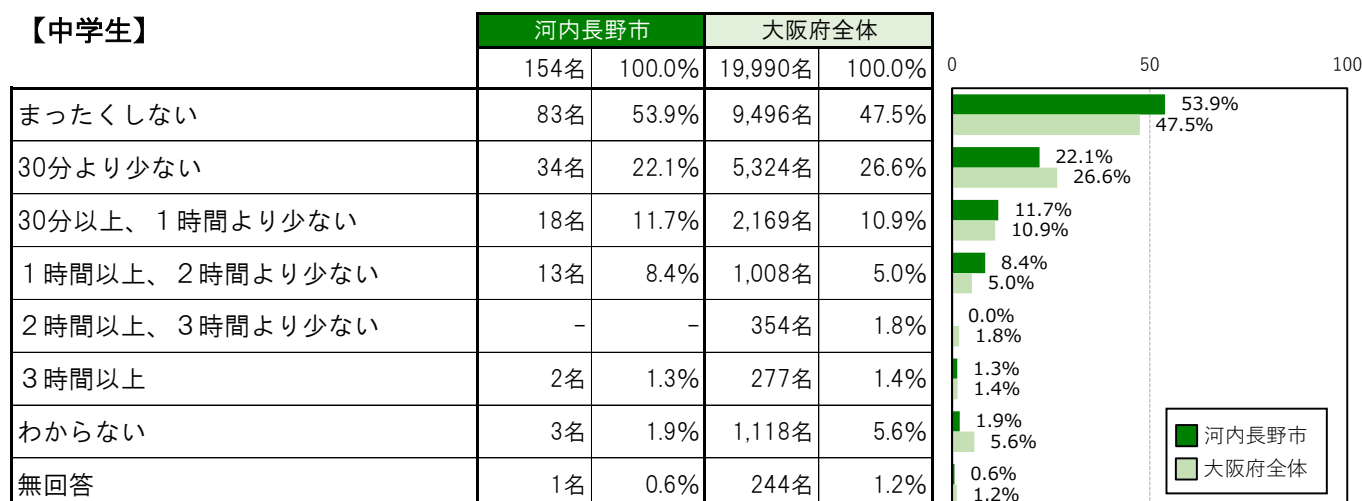
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

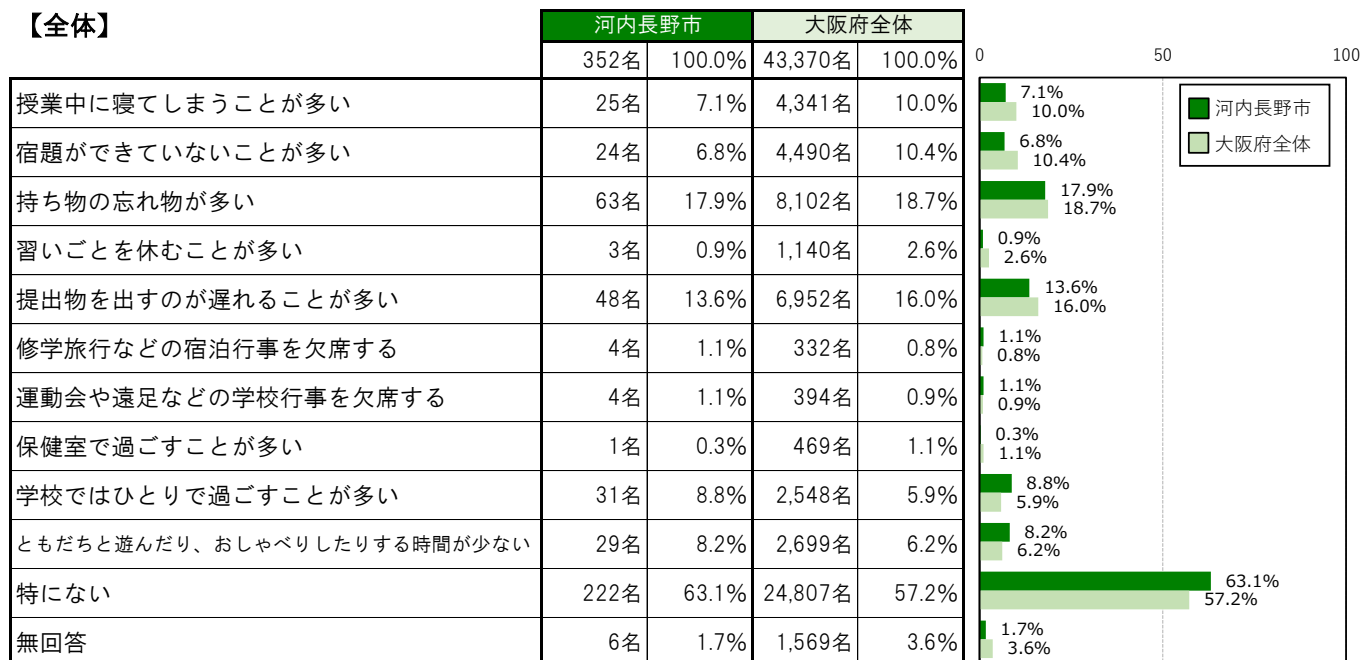
問16 学校や学校の行事等の状況

全体は、「持ち物の忘れ物が多い」が17.9%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が13.6%、「学校ではひとりで過ごすことが多い」が8.8%、「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」が8.2%となっている。一方、「特にない」は63.1%となっている。

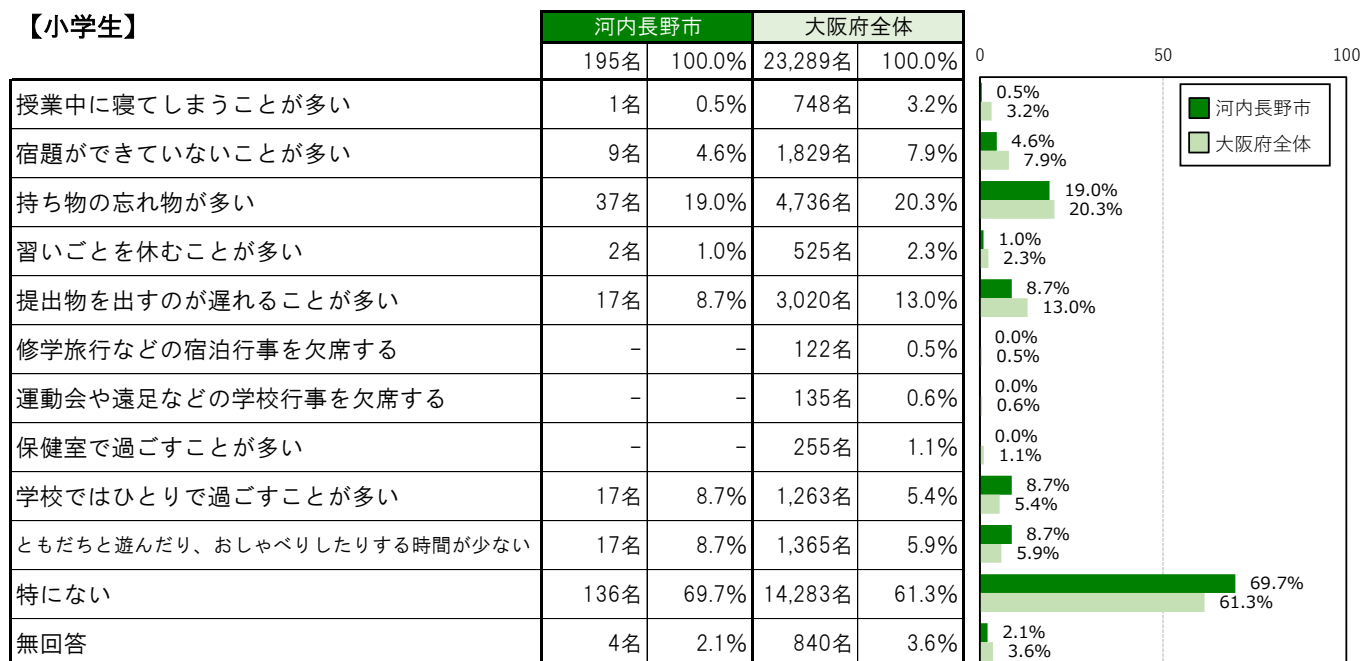
小学生は、「持ち物の忘れ物が多い」が19.0%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」と「学校ではひとりで過ごすことが多い」と「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」がそれぞれ8.7%となっている。一方、「特にない」は69.7%となっている。

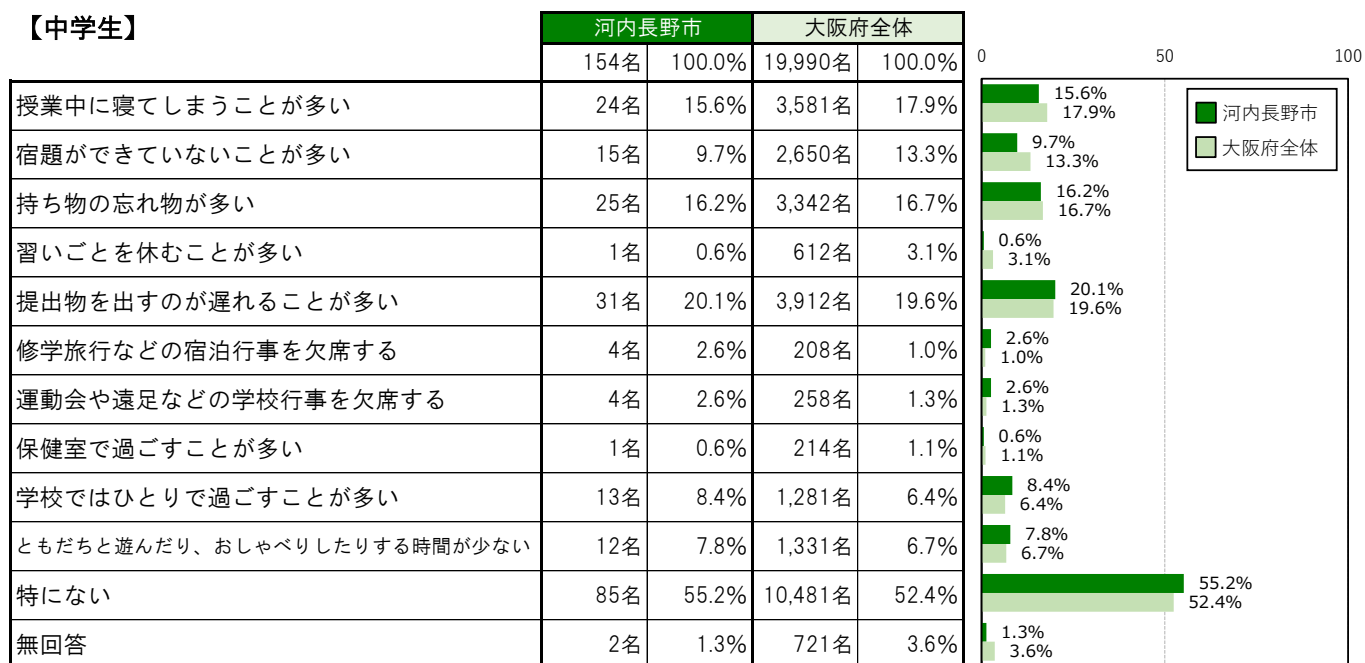
中学生は、「提出物を出すのが遅れることが多い」が20.1%で最も多く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」が16.2%、「授業中に寝てしまうことが多い」が15.6%、「宿題ができていないことが多い」が9.7%となっている。一方、「特にない」は55.2%となっている。

【全体】



【小学生】





ふだんの生活のことについて

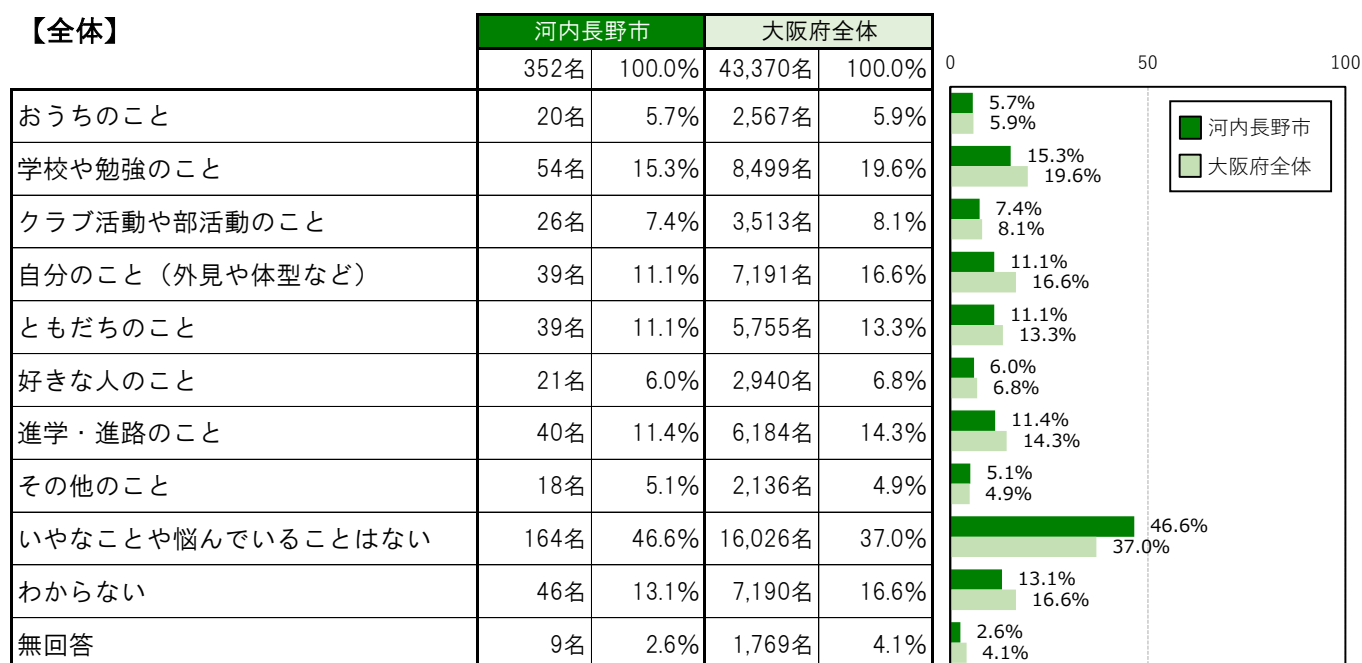
問17 嫌なことや悩んでいること

全体は、「いやなことや悩んでいることはない」が46.6%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が15.3%、「進学・進路のこと」が11.4%、「自分のこと（外見や体型など）」と「ともだちのこと」がそれぞれ11.1%となっている。

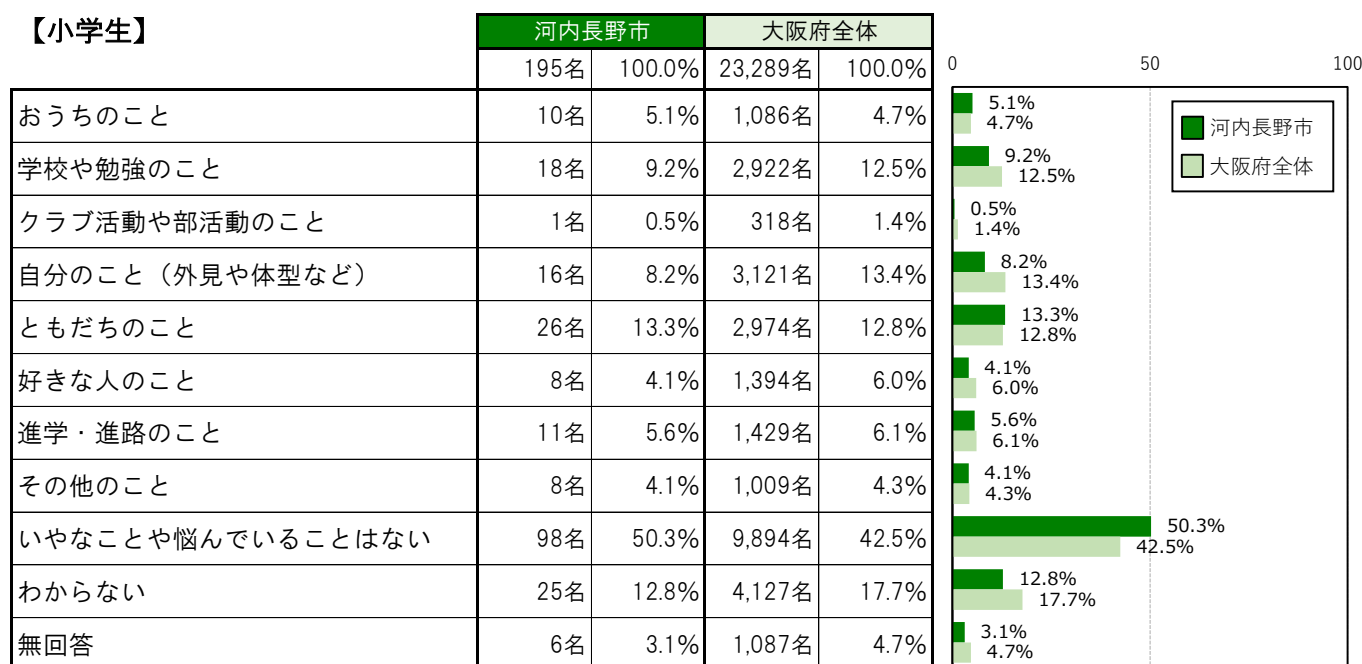
小学生は、「いやなことや悩んでいることはない」が50.3%で最も多く、次いで「ともだちのこと」が13.3%、「学校や勉強のこと」が9.2%、「自分のこと（外見や体型など）」が8.2%となっている。

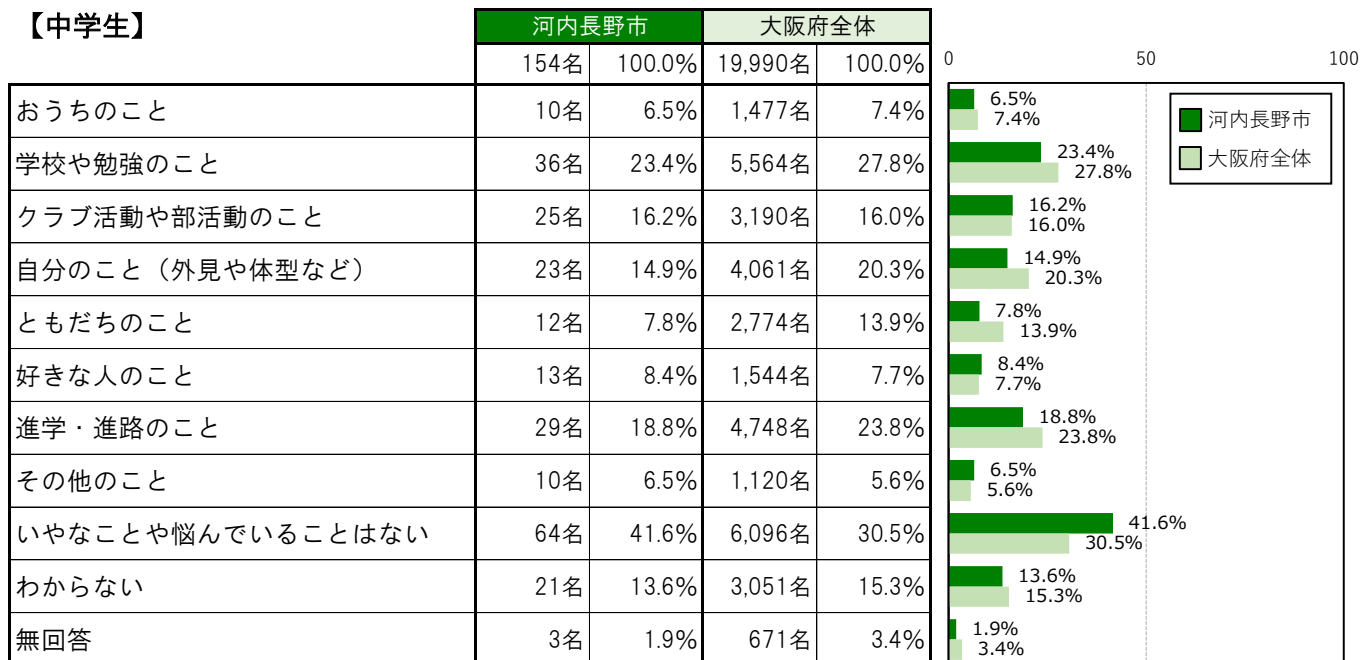
中学生は、「いやなことや悩んでいることはない」が41.6%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が23.4%、「進学・進路のこと」が18.8%、「クラブ活動や部活動のこと」が16.2%となっている。

【全体】



【小学生】





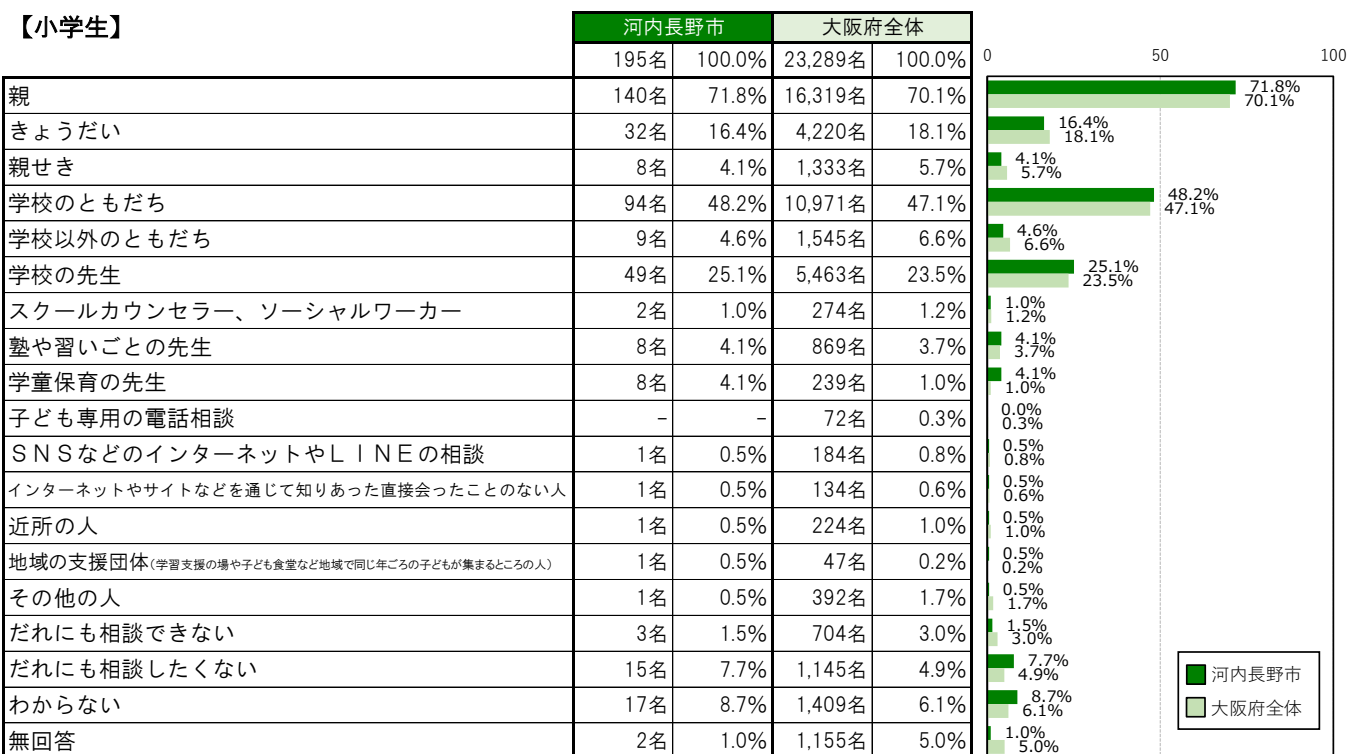
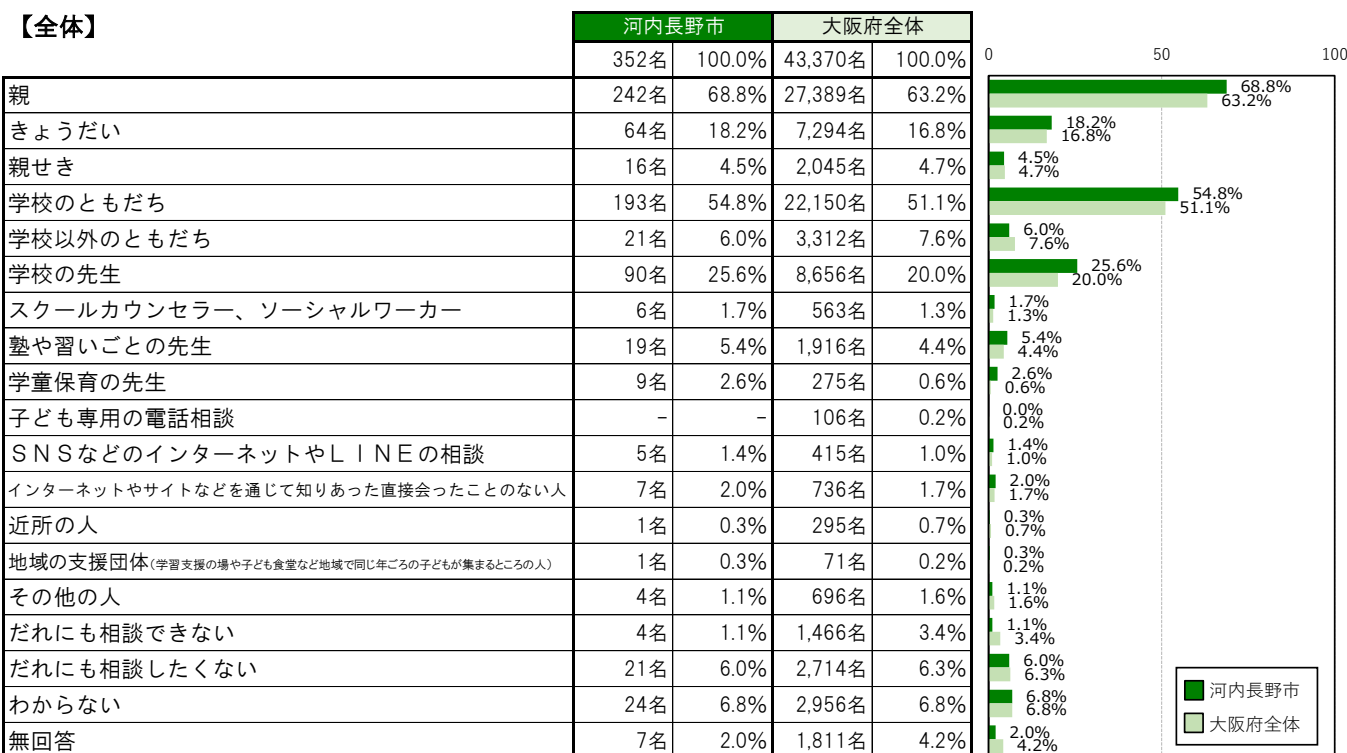
ふだんの生活のことについて

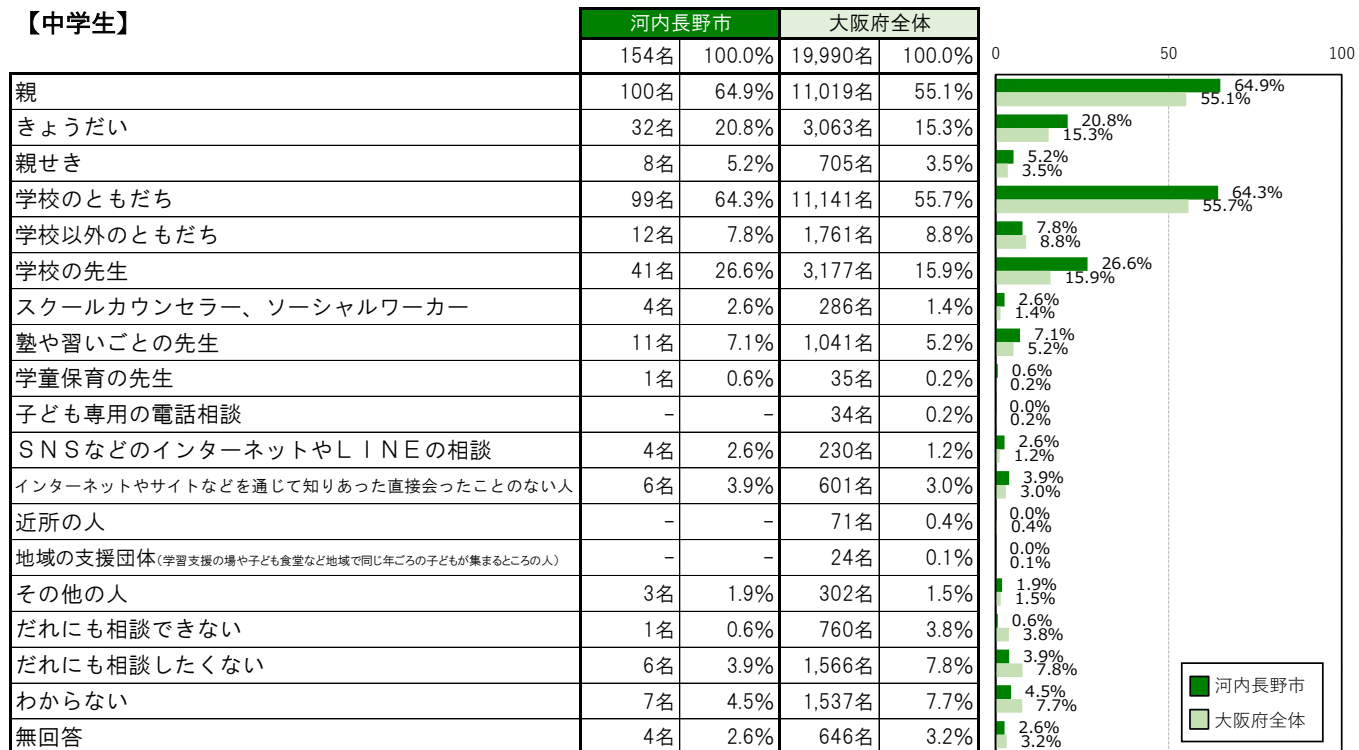
問18 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

全体は、「親」が68.8%で最も多く、次いで「学校のともだち」が54.8%、「学校の先生」が25.6%、「きょうだい」が18.2%となっている。

小学生は、「親」が71.8%で最も多く、次いで「学校のともだち」が48.2%、「学校の先生」が25.1%、「きょうだい」が16.4%となっている。

中学生は、「親」が64.9%で最も多く、次いで「学校のともだち」が64.3%、「学校の先生」が26.6%、「きょうだい」が20.8%となっている。





ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

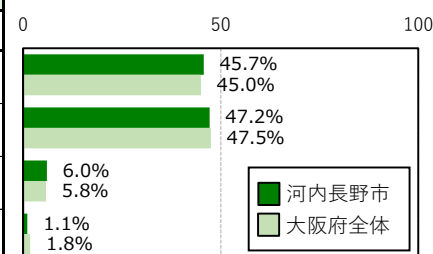
全体は、「ときどきそうだ」が47.2%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が45.7%、「そんなことはない」が6.0%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が48.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が46.2%、「そんなことはない」が4.1%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が48.7%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が42.2%、「そんなことはない」が8.4%となっている。

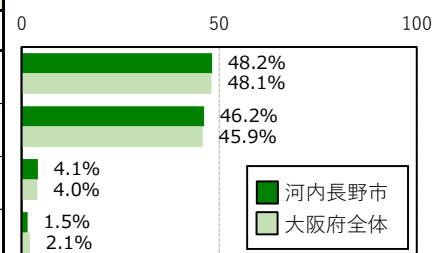
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	161名	45.7%	19,505名	45.0%
ときどきそうだ	166名	47.2%	20,583名	47.5%
そんなことはない	21名	6.0%	2,517名	5.8%
無回答	4名	1.1%	765名	1.8%



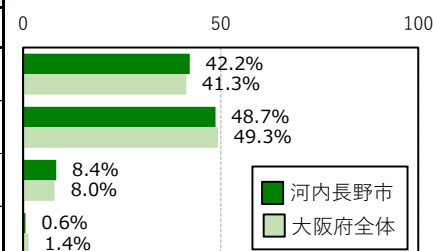
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	94名	48.2%	11,206名	48.1%
ときどきそうだ	90名	46.2%	10,683名	45.9%
そんなことはない	8名	4.1%	922名	4.0%
無回答	3名	1.5%	478名	2.1%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	65名	42.2%	8,256名	41.3%
ときどきそうだ	75名	48.7%	9,858名	49.3%
そんなことはない	13名	8.4%	1,595名	8.0%
無回答	1名	0.6%	281名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

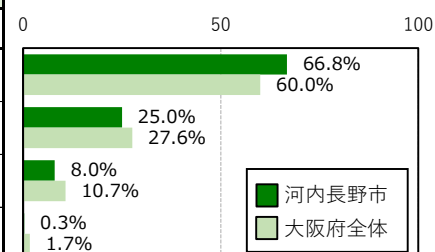
全体は、「いつもそうだ」が66.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が25.0%、「そんなことはない」が8.0%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が67.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が26.7%、「そんなことはない」が5.6%となっている。

中学生は、「いつもそうだ」が67.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が22.1%、「そんなことはない」が10.4%となっている。

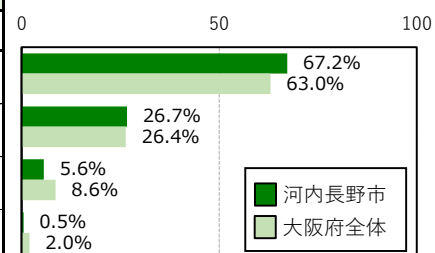
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	235名	66.8%	26,039名	60.0%
ときどきそうだ	88名	25.0%	11,956名	27.6%
そんなことはない	28名	8.0%	4,638名	10.7%
無回答	1名	0.3%	737名	1.7%



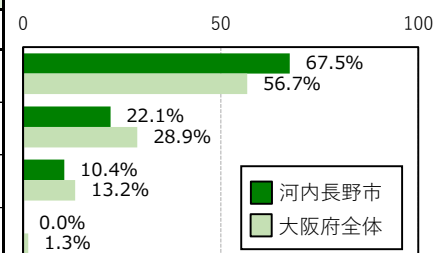
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	131名	67.2%	14,666名	63.0%
ときどきそうだ	52名	26.7%	6,154名	26.4%
そんなことはない	11名	5.6%	1,996名	8.6%
無回答	1名	0.5%	473名	2.0%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	104名	67.5%	11,325名	56.7%
ときどきそうだ	34名	22.1%	5,773名	28.9%
そんなことはない	16名	10.4%	2,634名	13.2%
無回答	-	-	258名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

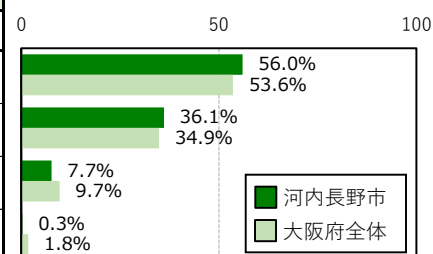
全体は、「いつもそうだ」が56.0%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が36.1%、「そんなことはない」が7.7%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が61.0%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.4%、「そんなことはない」が4.1%となっている。

中学生は、「いつもそうだ」が50.0%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が37.7%、「そんなことはない」が12.3%となっている。

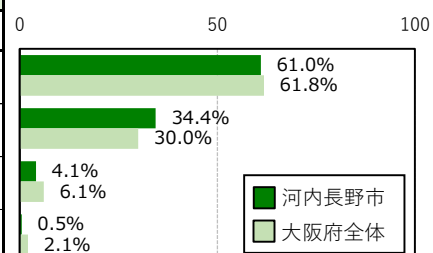
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	197名	56.0%	23,234名	53.6%
ときどきそうだ	127名	36.1%	15,146名	34.9%
そんなことはない	27名	7.7%	4,217名	9.7%
無回答	1名	0.3%	773名	1.8%



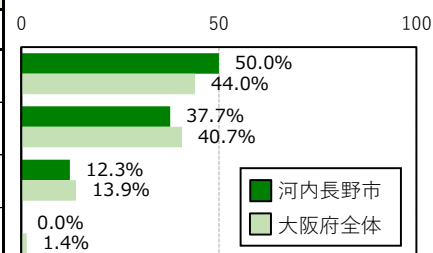
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	119名	61.0%	14,397名	61.8%
ときどきそうだ	67名	34.4%	6,978名	30.0%
そんなことはない	8名	4.1%	1,431名	6.1%
無回答	1名	0.5%	483名	2.1%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	77名	50.0%	8,796名	44.0%
ときどきそうだ	58名	37.7%	8,128名	40.7%
そんなことはない	19名	12.3%	2,782名	13.9%
無回答	-	-	284名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

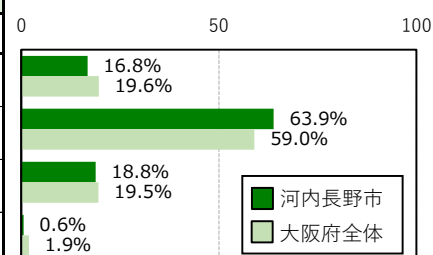
全体は、「ときどきそうだ」が63.9%で最も多く、次いで「そんなことはない」が18.8%、「いつもそうだ」が16.8%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が64.6%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が18.5%、「そんなことはない」が15.9%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が63.6%で最も多く、次いで「そんなことはない」が21.4%、「いつもそうだ」が14.9%となっている。

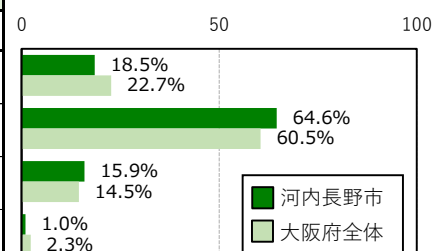
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	59名	16.8%	8,503名	19.6%
ときどきそうだ	225名	63.9%	25,567名	59.0%
そんなことはない	66名	18.8%	8,460名	19.5%
無回答	2名	0.6%	840名	1.9%



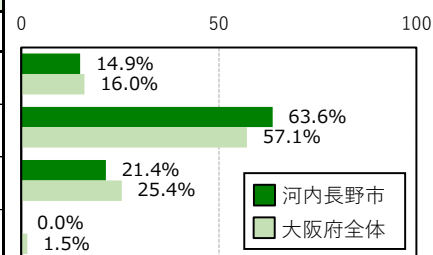
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	36名	18.5%	5,283名	22.7%
ときどきそうだ	126名	64.6%	14,099名	60.5%
そんなことはない	31名	15.9%	3,367名	14.5%
無回答	2名	1.0%	540名	2.3%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	23名	14.9%	3,199名	16.0%
ときどきそうだ	98名	63.6%	11,416名	57.1%
そんなことはない	33名	21.4%	5,081名	25.4%
無回答	-	-	294名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

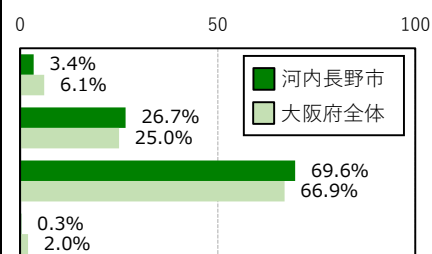
全体は、「そんなことはない」が69.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が26.7%、「いつもそうだ」が3.4%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が72.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が24.1%、「いつもそうだ」が2.6%となっている。

中学生は、「そんなことはない」が66.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が29.2%、「いつもそうだ」が4.5%となっている。

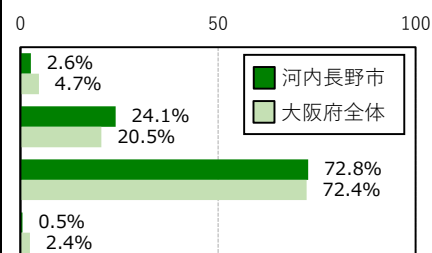
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	12名	3.4%	2,628名	6.1%
ときどきそうだ	94名	26.7%	10,860名	25.0%
そんなことはない	245名	69.6%	29,021名	66.9%
無回答	1名	0.3%	861名	2.0%



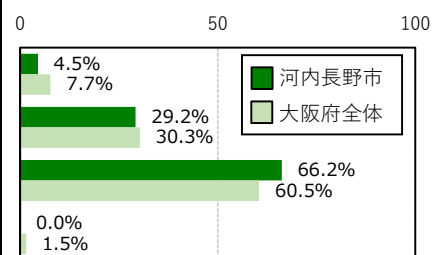
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	5名	2.6%	1,091名	4.7%
ときどきそうだ	47名	24.1%	4,776名	20.5%
そんなことはない	142名	72.8%	16,872名	72.4%
無回答	1名	0.5%	550名	2.4%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	7名	4.5%	1,534名	7.7%
ときどきそうだ	45名	29.2%	6,057名	30.3%
そんなことはない	102名	66.2%	12,095名	60.5%
無回答	-	-	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

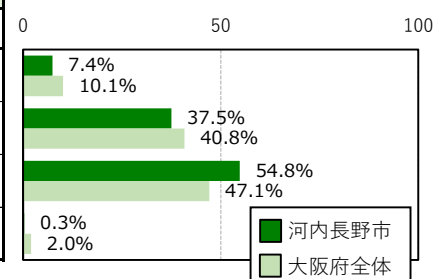
全体は、「そんなことはない」が54.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が37.5%、「いつもそうだ」が7.4%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が56.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が39.5%、「いつもそうだ」が3.6%となっている。

中学生は、「そんなことはない」が51.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が35.7%、「いつもそうだ」が12.3%となっている。

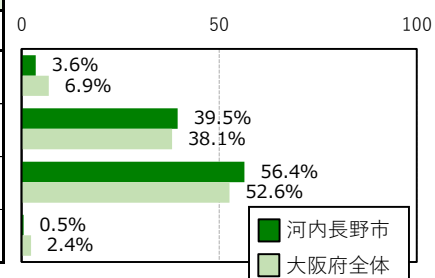
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	26名	7.4%	4,369名	10.1%
ときどきそうだ	132名	37.5%	17,713名	40.8%
そんなことはない	193名	54.8%	20,421名	47.1%
無回答	1名	0.3%	867名	2.0%



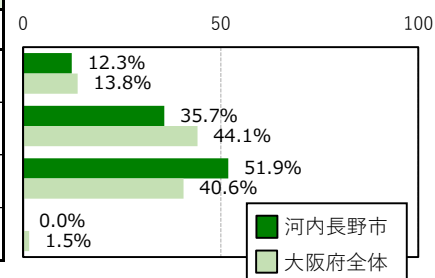
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	7名	3.6%	1,616名	6.9%
ときどきそうだ	77名	39.5%	8,865名	38.1%
そんなことはない	110名	56.4%	12,251名	52.6%
無回答	1名	0.5%	557名	2.4%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	19名	12.3%	2,750名	13.8%
ときどきそうだ	55名	35.7%	8,814名	44.1%
そんなことはない	80名	51.9%	8,122名	40.6%
無回答	-	-	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

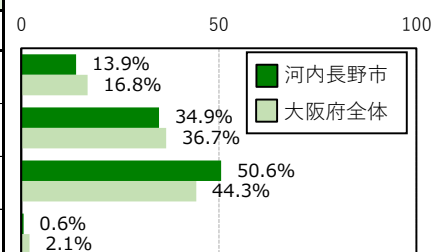
全体は、「そんなことはない」が50.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.9%、「いつもそうだ」が13.9%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が55.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が30.8%、「いつもそうだ」が12.3%となっている。

中学生は、「そんなことはない」が44.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が39.6%、「いつもそうだ」が16.2%となっている。

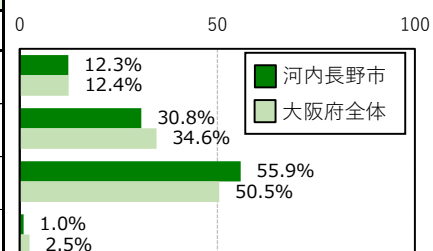
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	49名	13.9%	7,300名	16.8%
ときどきそうだ	123名	34.9%	15,932名	36.7%
そんなことはない	178名	50.6%	19,222名	44.3%
無回答	2名	0.6%	916名	2.1%



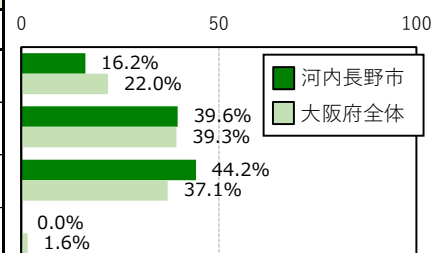
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	24名	12.3%	2,893名	12.4%
ときどきそうだ	60名	30.8%	8,049名	34.6%
そんなことはない	109名	55.9%	11,759名	50.5%
無回答	2名	1.0%	588名	2.5%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	25名	16.2%	4,399名	22.0%
ときどきそうだ	61名	39.6%	7,848名	39.3%
そんなことはない	68名	44.2%	7,422名	37.1%
無回答	-	-	321名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

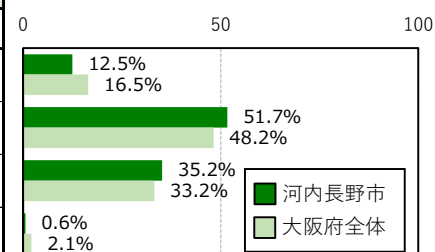
全体は、「ときどきそうだ」が51.7%で最も多く、次いで「そんなことはない」が35.2%、「いつもそうだ」が12.5%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が50.8%で最も多く、次いで「そんなことはない」が41.0%、「いつもそうだ」が7.2%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が52.6%で最も多く、次いで「そんなことはない」が27.9%、「いつもそうだ」が19.5%となっている。

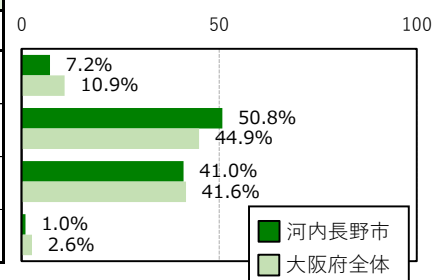
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	44名	12.5%	7,152名	16.5%
ときどきそうだ	182名	51.7%	20,902名	48.2%
そんなことはない	124名	35.2%	14,387名	33.2%
無回答	2名	0.6%	929名	2.1%



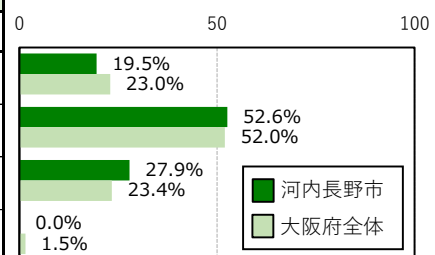
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	14名	7.2%	2,541名	10.9%
ときどきそうだ	99名	50.8%	10,454名	44.9%
そんなことはない	80名	41.0%	9,677名	41.6%
無回答	2名	1.0%	617名	2.6%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	30名	19.5%	4,606名	23.0%
ときどきそうだ	81名	52.6%	10,396名	52.0%
そんなことはない	43名	27.9%	4,682名	23.4%
無回答	-	-	306名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする

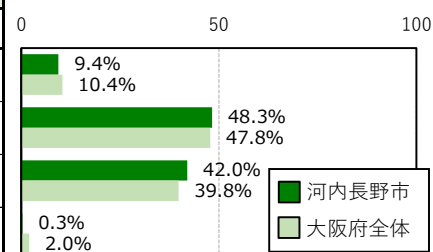
全体は、「ときどきそうだ」が48.3%で最も多く、次いで「そんなことはない」が42.0%、「いつもそうだ」が9.4%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が49.2%で最も多く、次いで「そんなことはない」が42.6%、「いつもそうだ」が7.7%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が47.4%で最も多く、次いで「そんなことはない」が42.2%、「いつもそうだ」が10.4%となっている。

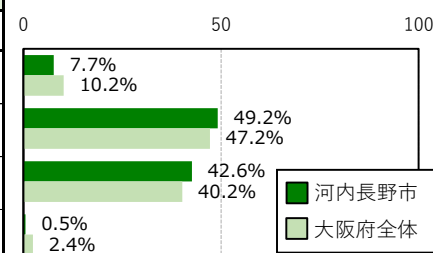
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	33名	9.4%	4,525名	10.4%
ときどきそうだ	170名	48.3%	20,712名	47.8%
そんなことはない	148名	42.0%	17,270名	39.8%
無回答	1名	0.3%	863名	2.0%



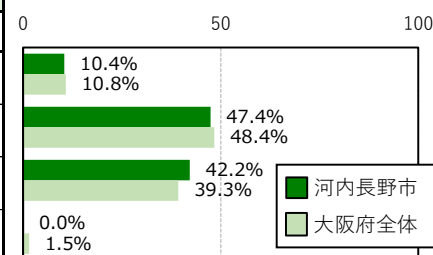
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	15名	7.7%	2,364名	10.2%
ときどきそうだ	96名	49.2%	10,997名	47.2%
そんなことはない	83名	42.6%	9,370名	40.2%
無回答	1名	0.5%	558名	2.4%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	16名	10.4%	2,152名	10.8%
ときどきそうだ	73名	47.4%	9,674名	48.4%
そんなことはない	65名	42.2%	7,865名	39.3%
無回答	-	-	299名	1.5%



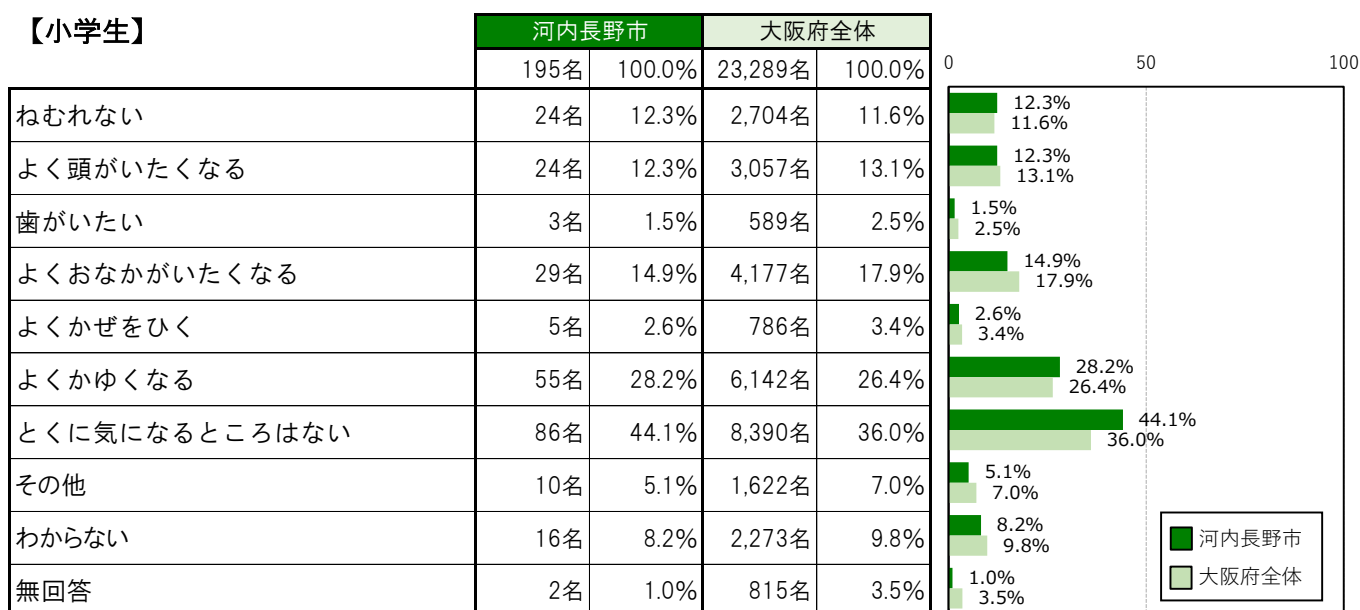
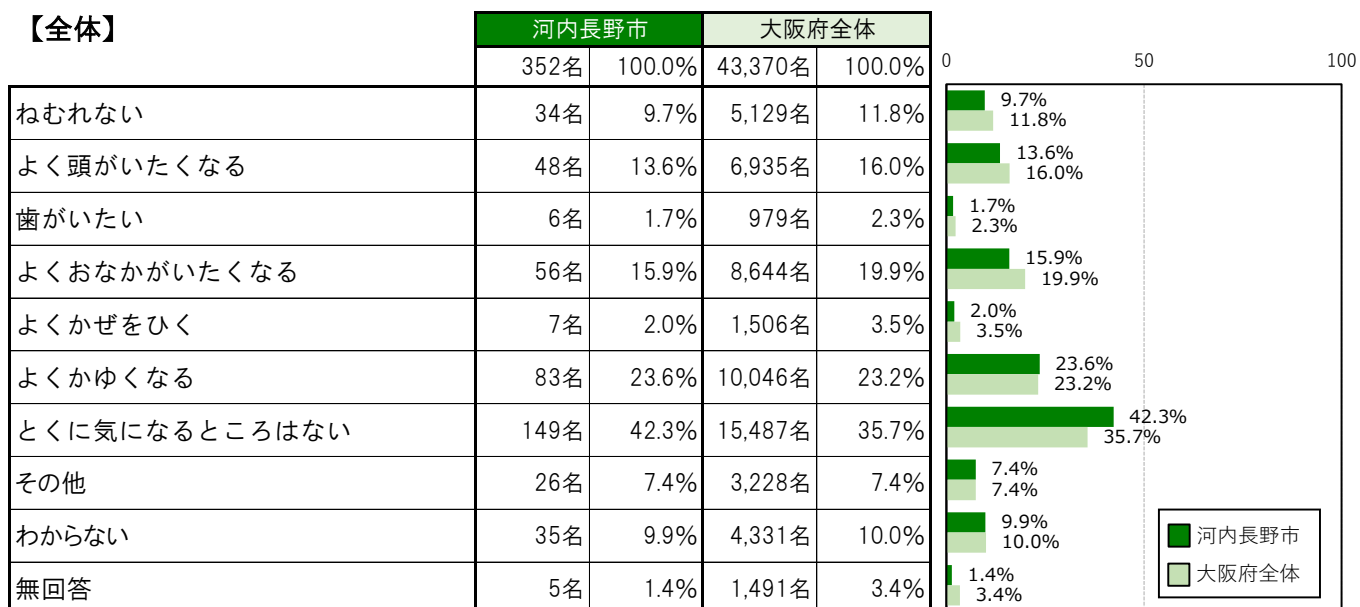
ふだんの生活のことについて

問20 自分の体の状態で気になること

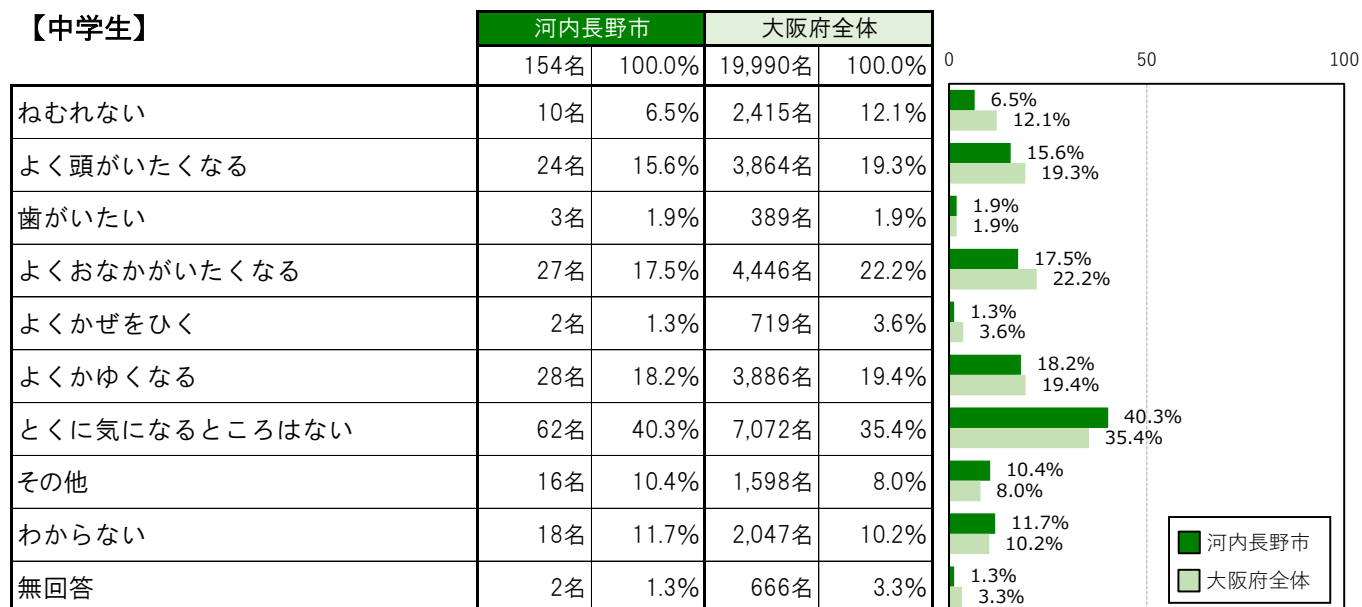
全体は、「とくに気になるところはない」が42.3%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が23.6%、「よくおなかがいたくなる」が15.9%、「よく頭がいたくなる」が13.6%となっている。

小学生は、「とくに気になるところはない」が44.1%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が28.2%、「よくおなかがいたくなる」が14.9%、「ねむれない」と「よく頭がいたくなる」がそれぞれ12.3%となっている。

中学生は、「とくに気になるところはない」が40.3%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が18.2%、「よくおなかがいたくなる」が17.5%、「よく頭がいたくなる」が15.6%となっている。



【中学生】



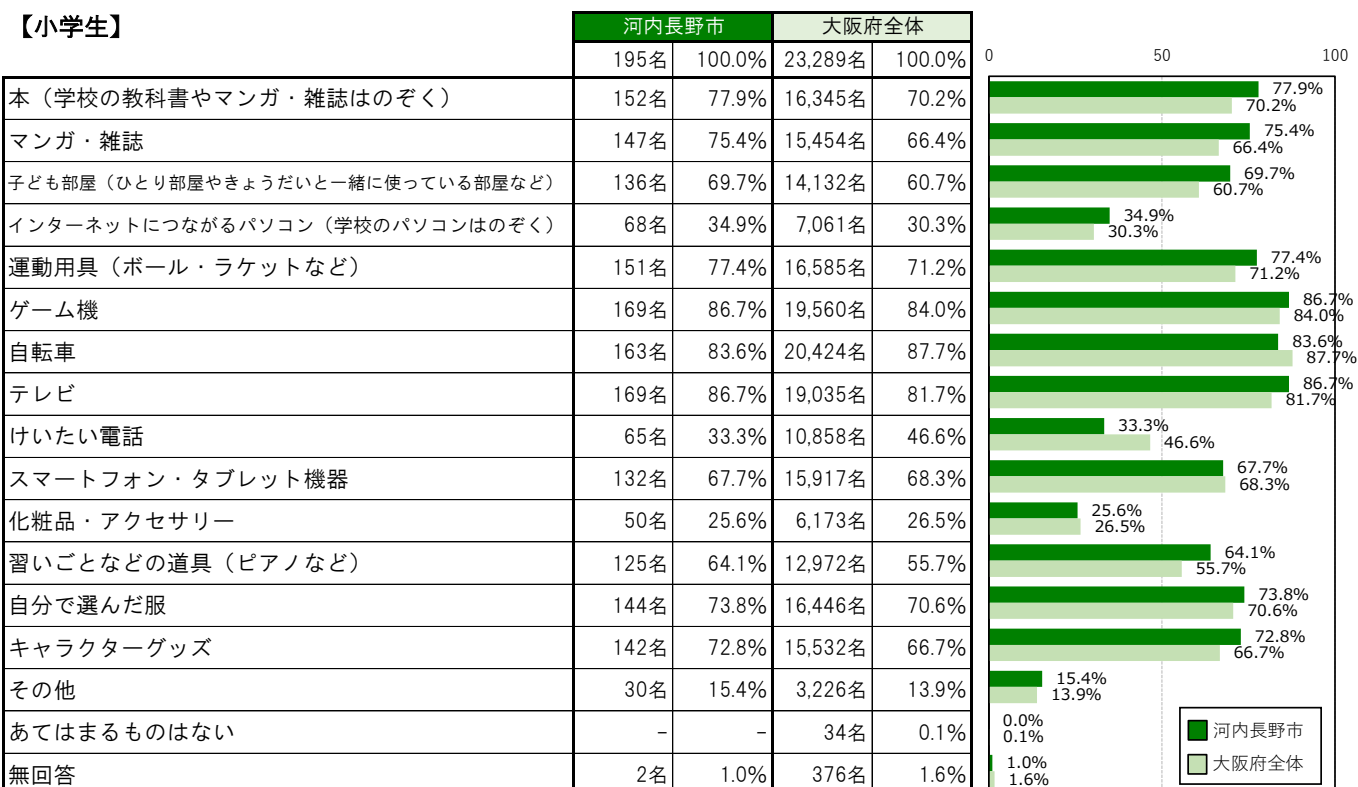
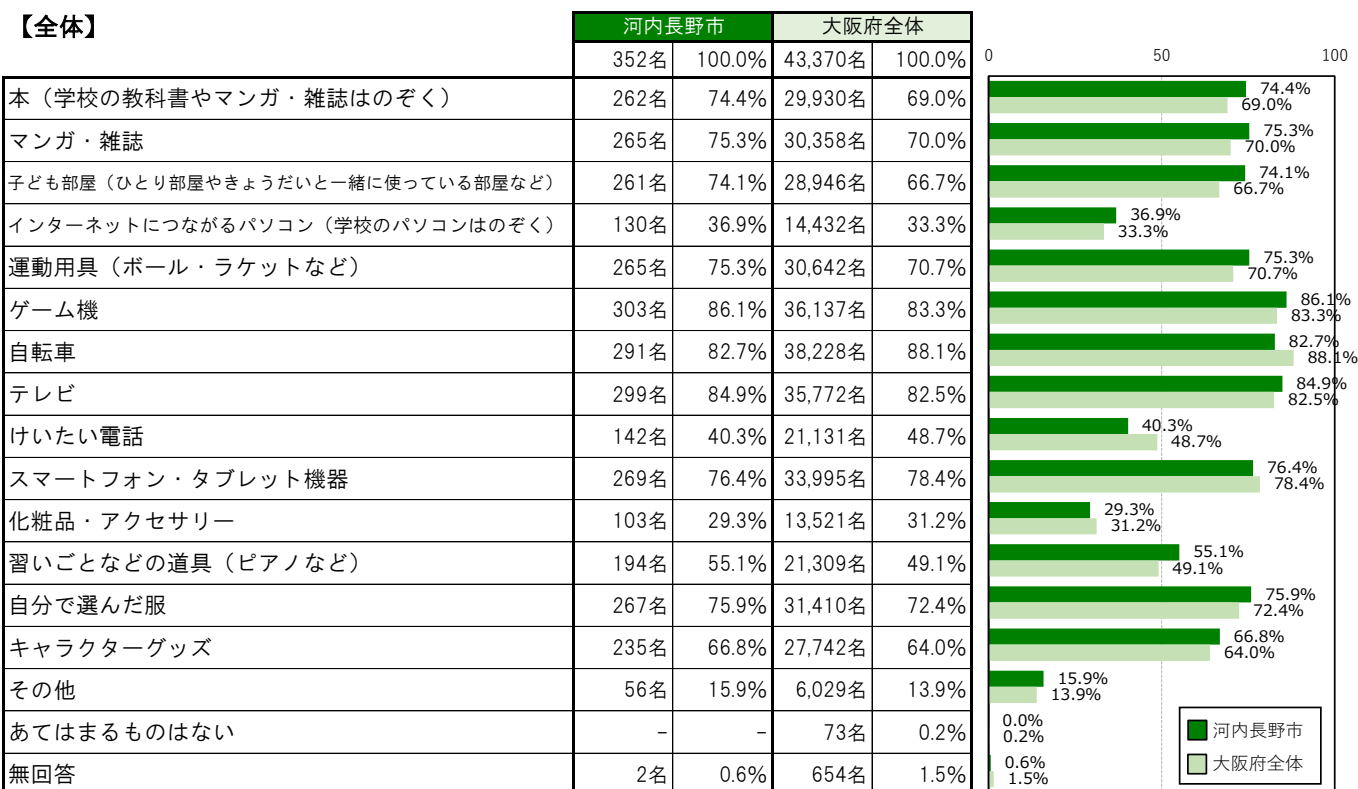
ふだんの生活のことについて

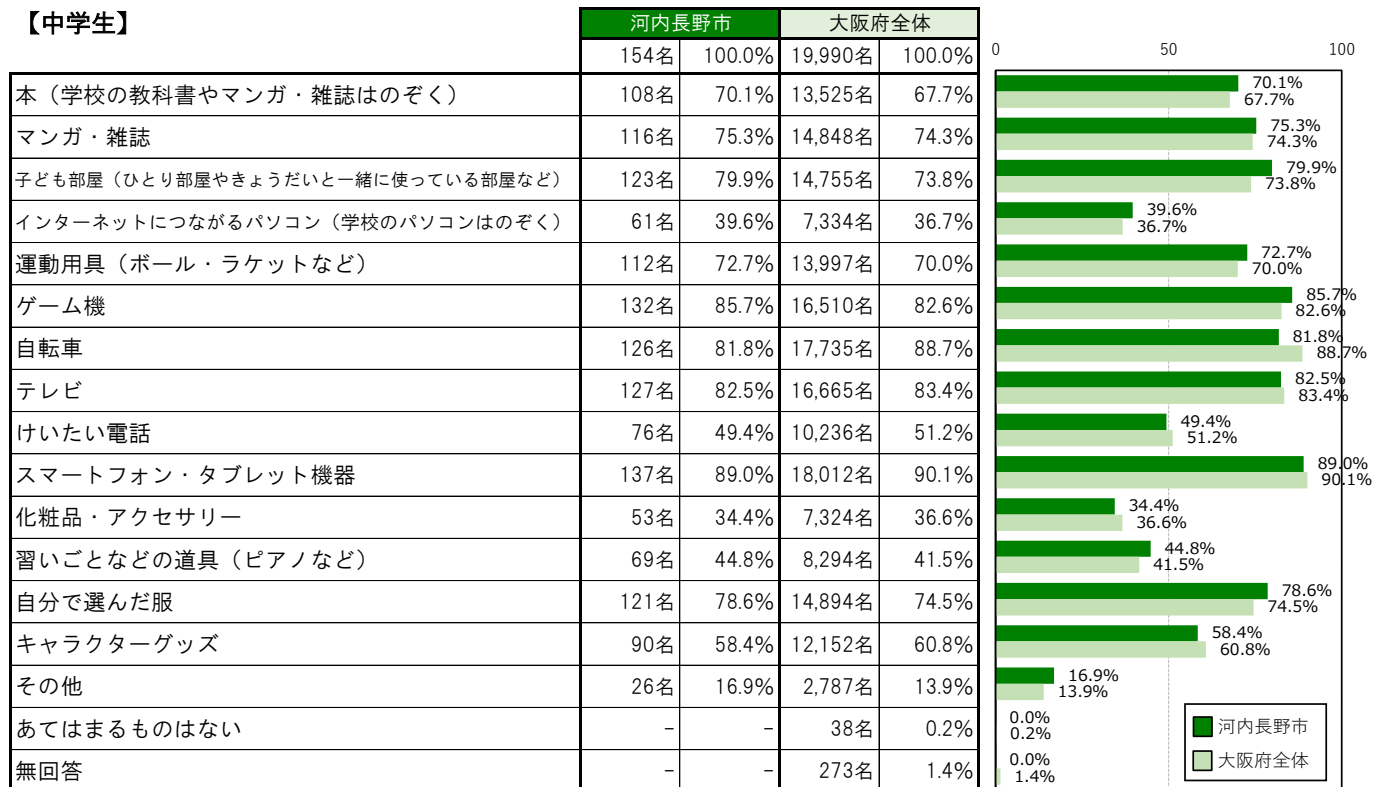
問21 持っているもの、使うことができるもの

全体は、「ゲーム機」が86.1%で最も多く、次いで「テレビ」が84.9%、「自転車」が82.7%、「スマートフォン・タブレット機器」が76.4%となっている。

小学生は、「ゲーム機」、「テレビ」がそれぞれ86.7%で最も多く、次いで「自転車」が83.6%、「本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）」が77.9%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が77.4%となっている。

中学生は、「スマートフォン・タブレット機器」が89.0%で最も多く、次いで「ゲーム機」が85.7%、「テレビ」が82.5%、「自転車」が81.8%となっている。





ふだん考えていることについて

問22 すぐに立ち直ることができる

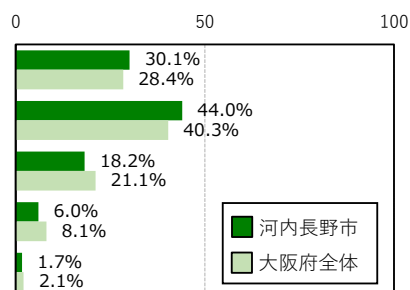
全体は、「どちらかというと思う」が44.0%で最も多く、次いで「そう思う」が30.1%、「どちらかというと思わない」が18.2%、「そう思わない」が6.0%となっている。

小学生は、「どちらかというと思う」が44.1%で最も多く、次いで「そう思う」が33.3%、「どちらかというと思わない」が13.8%、「そう思わない」が6.2%となっている。

中学生は、「どちらかというと思う」が43.5%で最も多く、次いで「そう思う」が26.6%、「どちらかというと思わない」が24.0%、「そう思わない」が5.8%となっている。

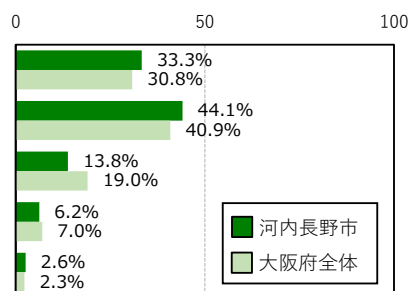
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
そう思う	106名	30.1%	12,318名	28.4%
どちらかというと思う	155名	44.0%	17,480名	40.3%
どちらかというと思わない	64名	18.2%	9,144名	21.1%
そう思わない	21名	6.0%	3,521名	8.1%
無回答	6名	1.7%	907名	2.1%



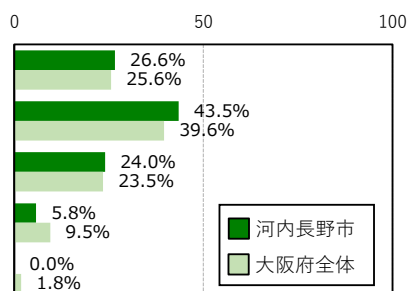
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
そう思う	65名	33.3%	7,172名	30.8%
どちらかというと思う	86名	44.1%	9,521名	40.9%
どちらかというと思わない	27名	13.8%	4,431名	19.0%
そう思わない	12名	6.2%	1,625名	7.0%
無回答	5名	2.6%	540名	2.3%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
そう思う	41名	26.6%	5,119名	25.6%
どちらかというと思う	67名	43.5%	7,917名	39.6%
どちらかというと思わない	37名	24.0%	4,703名	23.5%
そう思わない	9名	5.8%	1,891名	9.5%
無回答	-	-	360名	1.8%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（１）自分に自信がある

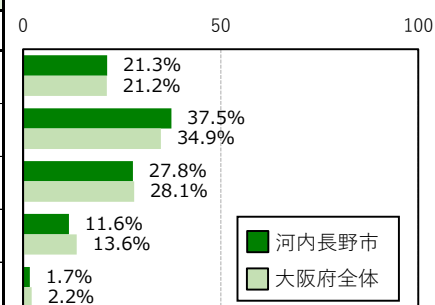
全体は、「どちらかというところある」が37.5%で最も多く、次いで「どちらかというところない」が27.8%、「ある」が21.3%、「ない」が11.6%となっている。

小学生は、「どちらかというところある」が40.0%で最も多く、次いで「ある」が25.6%、「どちらかというところない」が21.0%、「ない」が11.3%となっている。

中学生は、「どちらかというところない」が37.0%で最も多く、次いで「どちらかというところある」が34.4%、「ある」が16.2%、「ない」が11.7%となっている。

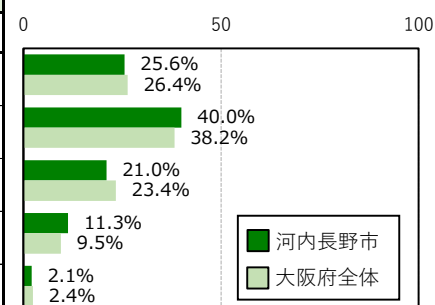
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
ある	75名	21.3%	9,192名	21.2%
どちらかというところある	132名	37.5%	15,132名	34.9%
どちらかというところない	98名	27.8%	12,192名	28.1%
ない	41名	11.6%	5,898名	13.6%
無回答	6名	1.7%	956名	2.2%



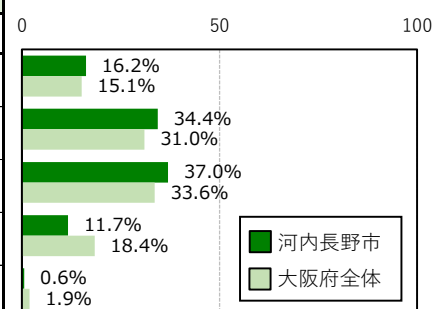
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
ある	50名	25.6%	6,157名	26.4%
どちらかというところある	78名	40.0%	8,904名	38.2%
どちらかというところない	41名	21.0%	5,450名	23.4%
ない	22名	11.3%	2,211名	9.5%
無回答	4名	2.1%	567名	2.4%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
ある	25名	16.2%	3,011名	15.1%
どちらかというところある	53名	34.4%	6,202名	31.0%
どちらかというところない	57名	37.0%	6,716名	33.6%
ない	18名	11.7%	3,679名	18.4%
無回答	1名	0.6%	382名	1.9%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（２）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

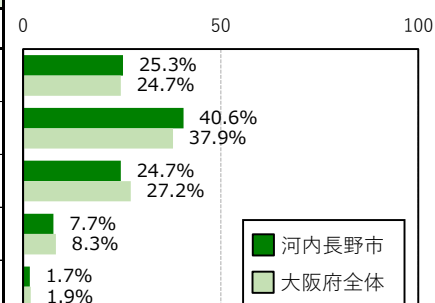
全体は、「どちらかというところ」が40.6%で最も多く、次いで「できる」が25.3%、「どちらかというところできない」が24.7%、「できない」が7.7%となっている。

小学生は、「どちらかというところ」が41.5%で最も多く、次いで「できる」が24.1%、「どちらかというところできない」が23.1%、「できない」が8.2%となっている。

中学生は、「どちらかというところ」が39.6%で最も多く、次いで「できる」、「どちらかというところできない」がそれぞれ26.6%、「できない」が7.1%となっている。

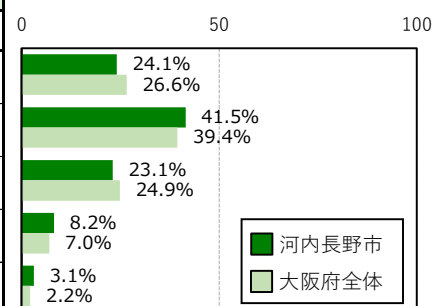
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	352名	100.0%	43,370名	100.0%
できる	89名	25.3%	10,725名	24.7%
どちらかというところ	143名	40.6%	16,421名	37.9%
どちらかというところできない	87名	24.7%	11,801名	27.2%
できない	27名	7.7%	3,582名	8.3%
無回答	6名	1.7%	841名	1.9%



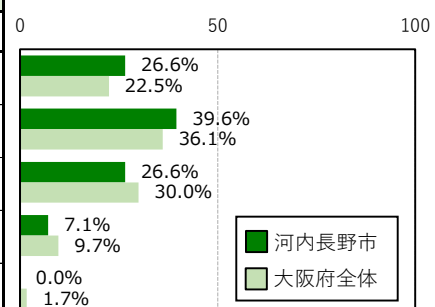
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	195名	100.0%	23,289名	100.0%
できる	47名	24.1%	6,187名	26.6%
どちらかというところ	81名	41.5%	9,180名	39.4%
どちらかというところできない	45名	23.1%	5,791名	24.9%
できない	16名	8.2%	1,629名	7.0%
無回答	6名	3.1%	502名	2.2%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	154名	100.0%	19,990名	100.0%
できる	41名	26.6%	4,507名	22.5%
どちらかというところ	61名	39.6%	7,209名	36.1%
どちらかというところできない	41名	26.6%	5,993名	30.0%
できない	11名	7.1%	1,947名	9.7%
無回答	-	-	334名	1.7%



ふだん考えていることについて

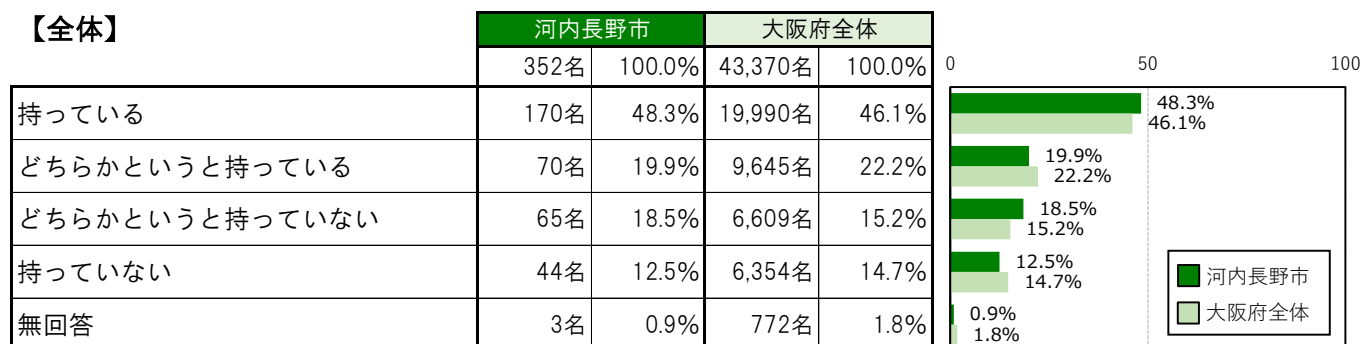
問23 ふだん考えていること（3）自分の将来の夢や目標を持っている

全体は、「持っている」が48.3%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が19.9%、「どちらかというを持っていない」が18.5%、「持っていない」が12.5%となっている。

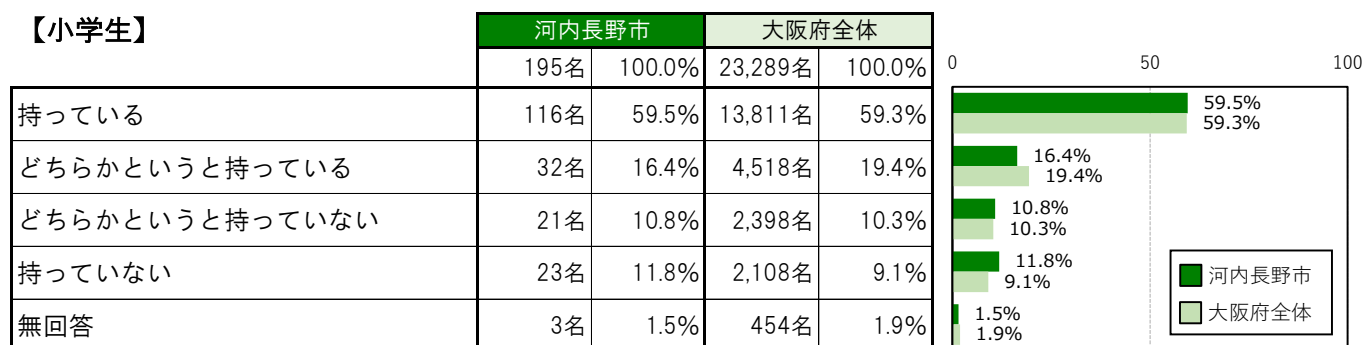
小学生は、「持っている」が59.5%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が16.4%、「持っていない」が11.8%、「どちらかというを持っていない」が10.8%となっている。

中学生は、「持っている」が34.4%で最も多く、次いで「どちらかというを持っていない」が27.9%、「どちらかというを持っている」が24.0%、「持っていない」が13.6%となっている。

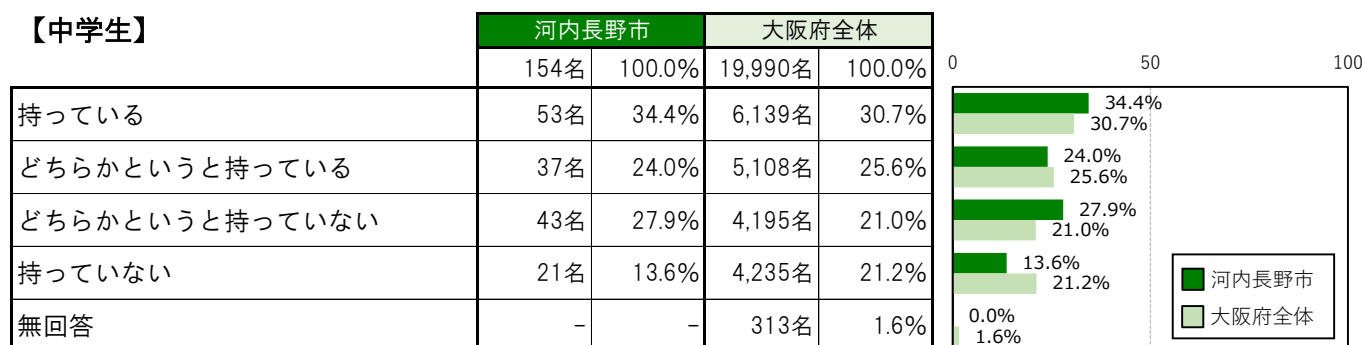
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだん考えていることについて

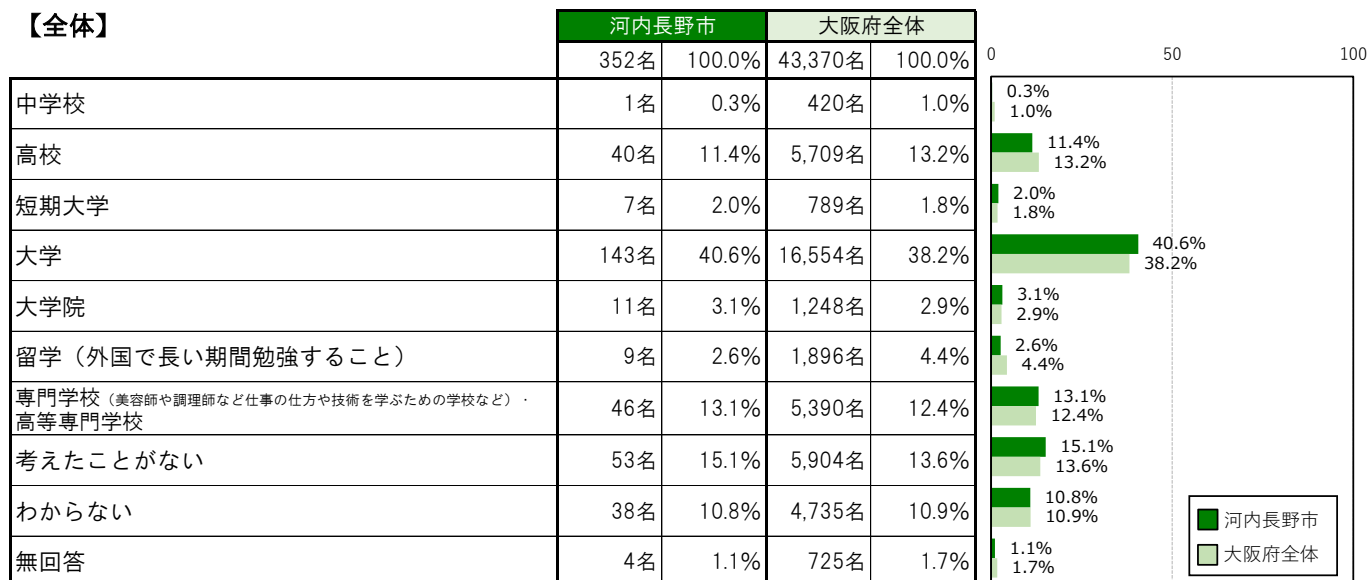
問24 希望する進学先

全体は、「大学」が40.6%で最も多く、次いで「考えたことがない」が15.1%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が13.1%、「高校」が11.4%となっている。

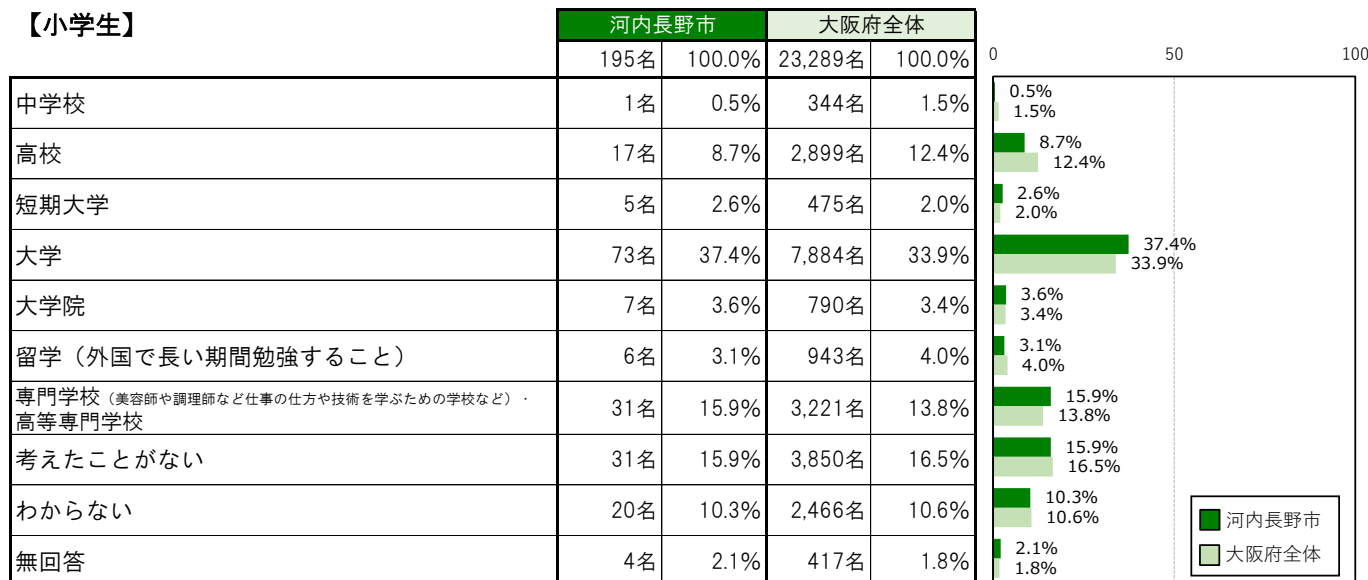
小学生は、「大学」が37.4%で最も多く、次いで「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」と「考えたことがない」がそれぞれ15.9%、「高校」が8.7%となっている。

中学生は、「大学」が44.8%で最も多く、次いで「高校」が14.9%、「考えたことがない」が13.6%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が9.7%となっている。

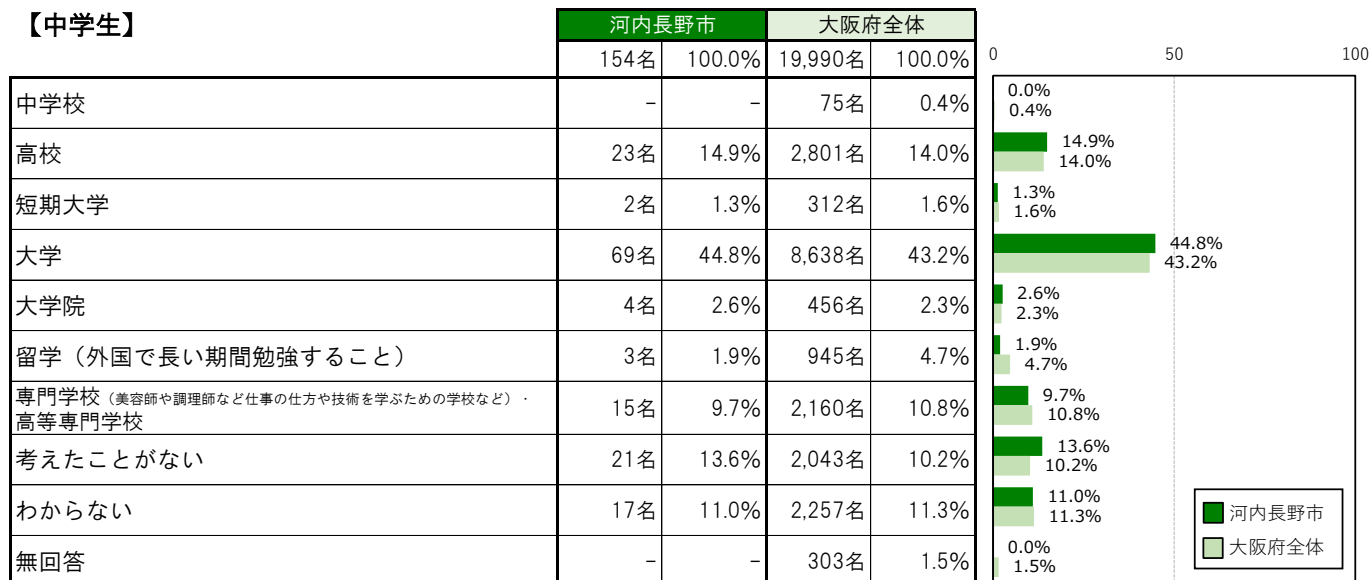
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

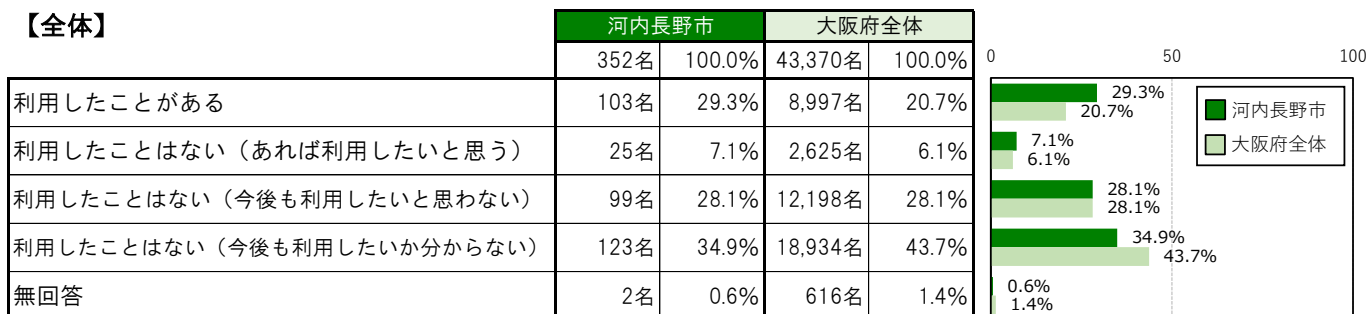
問25（１）子どもの居場所の利用状況 ①平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が34.9%で最も多く、次いで「利用したことがある」が29.3%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.1%となっている。

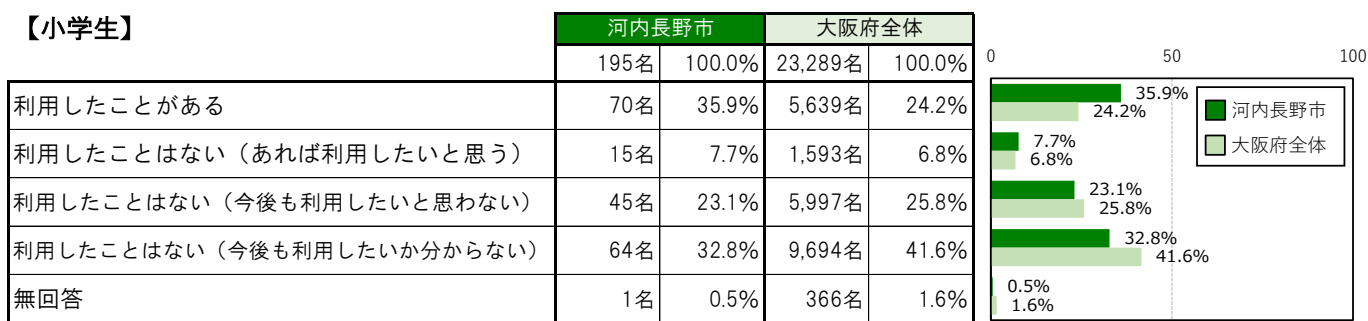
小学生は、「利用したことがある」が35.9%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が32.8%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.1%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が37.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が34.4%、「利用したことがある」が20.8%となっている。

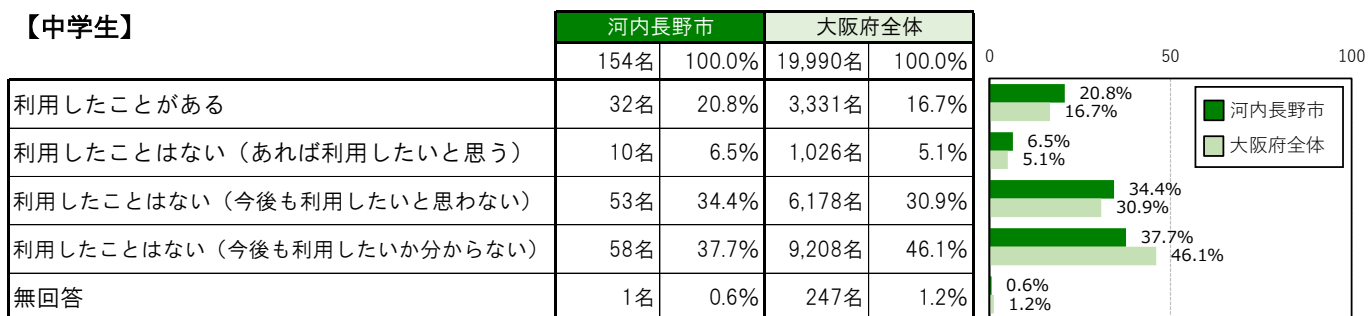
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

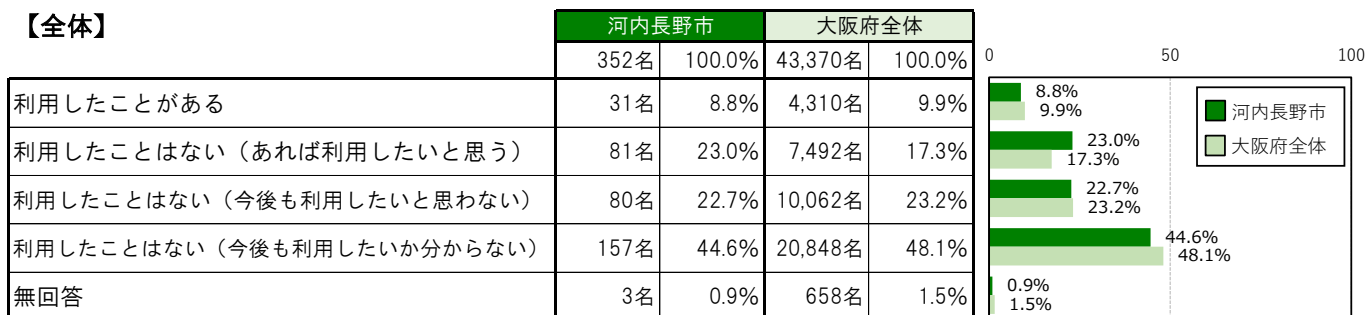
②昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が44.6%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が23.0%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が22.7%となっている。

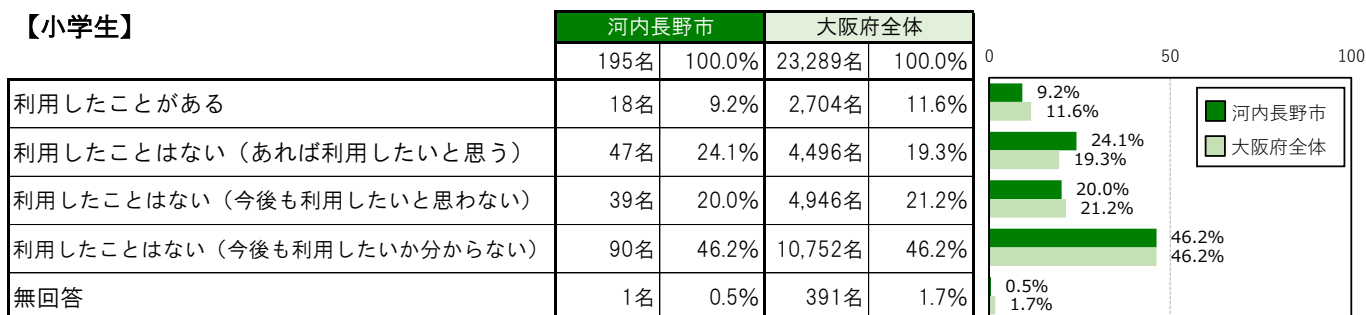
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が46.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が24.1%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が20.0%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が42.9%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が26.0%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が22.1%となっている。

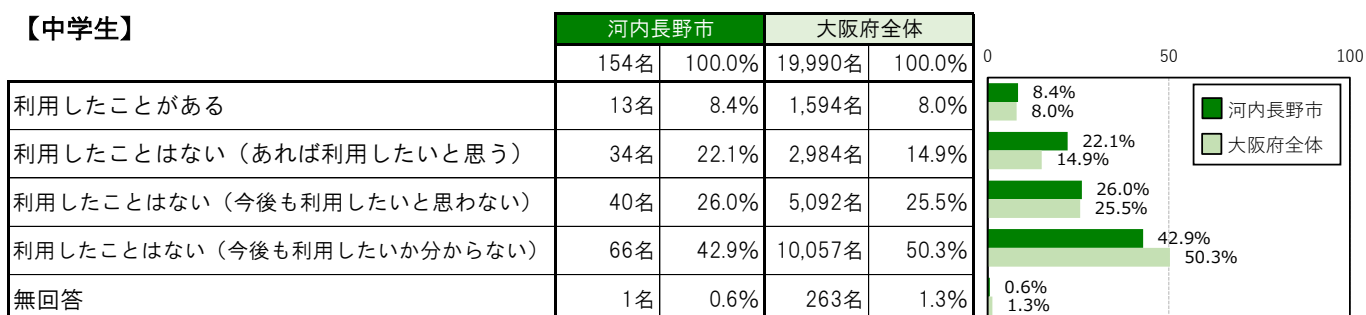
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

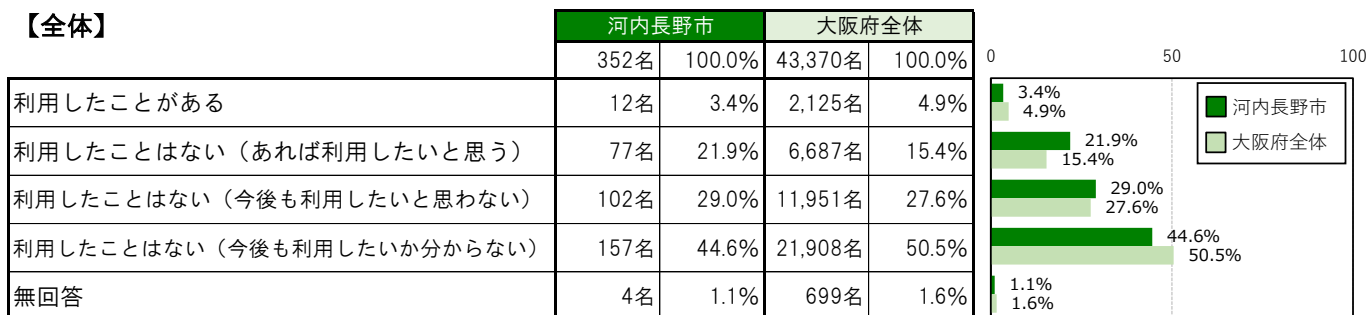
③勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（一般的な学習塾とはちがう学習支援など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が44.6%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が29.0%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が21.9%となっている。

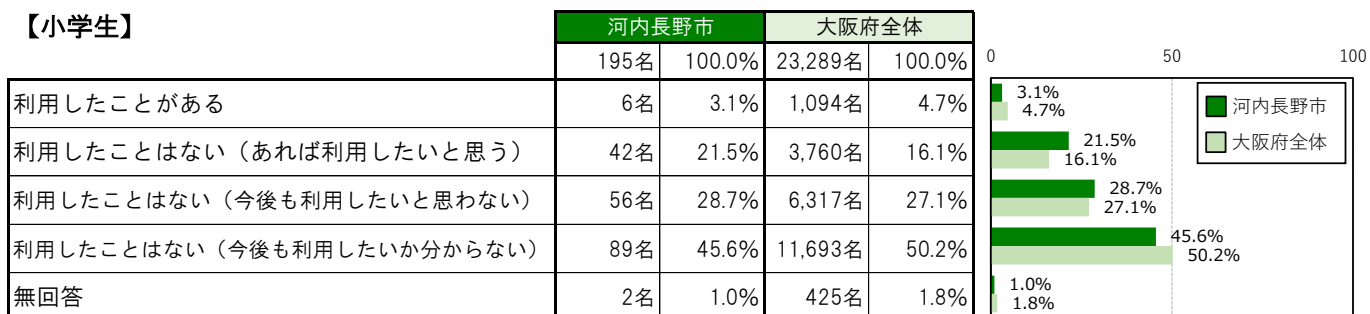
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が45.6%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.7%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が21.5%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が43.5%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が29.2%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が22.7%となっている。

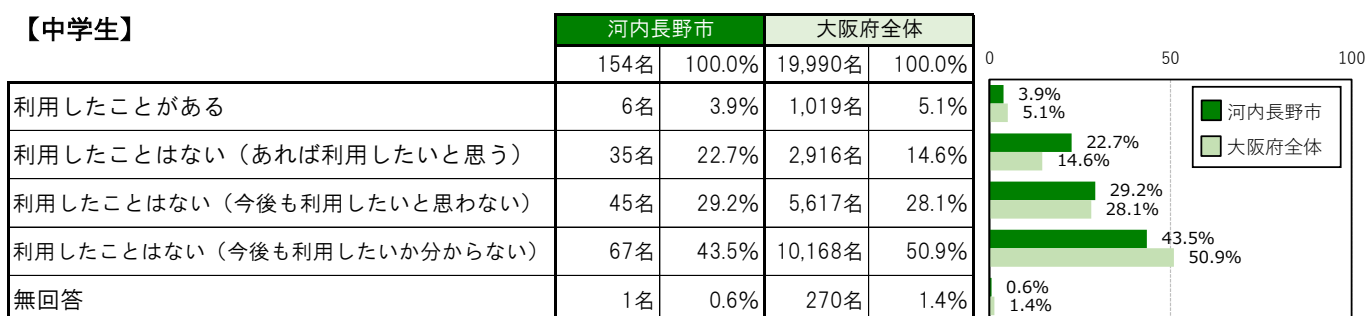
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

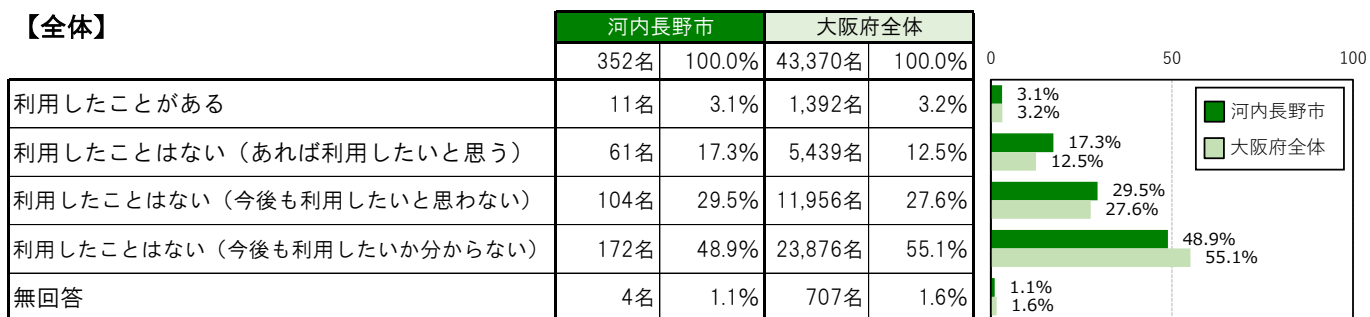
問25 (1) 子どもの居場所の利用状況 ④何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が48.9%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が29.5%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.3%となっている。

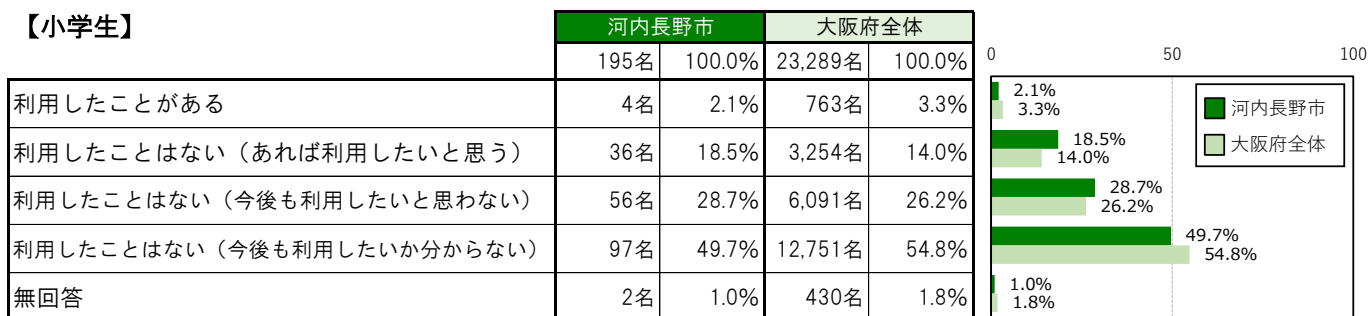
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が49.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.7%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が18.5%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が48.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が30.5%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が16.2%となっている。

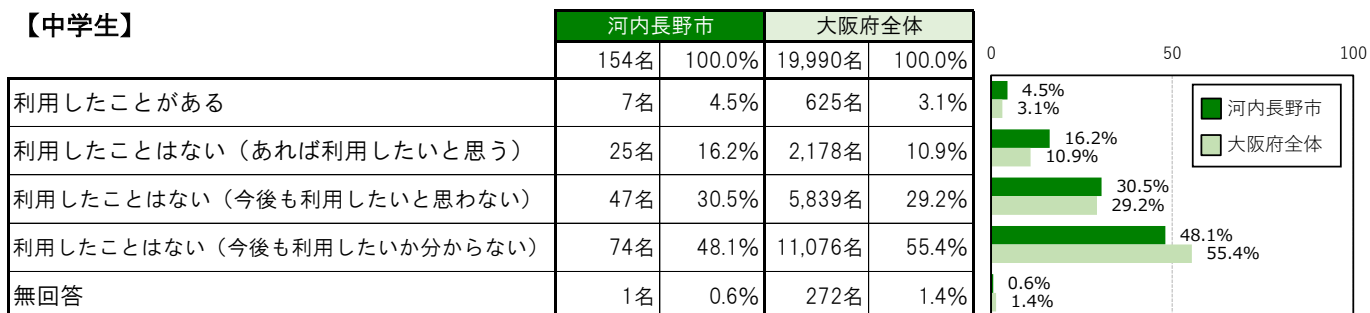
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

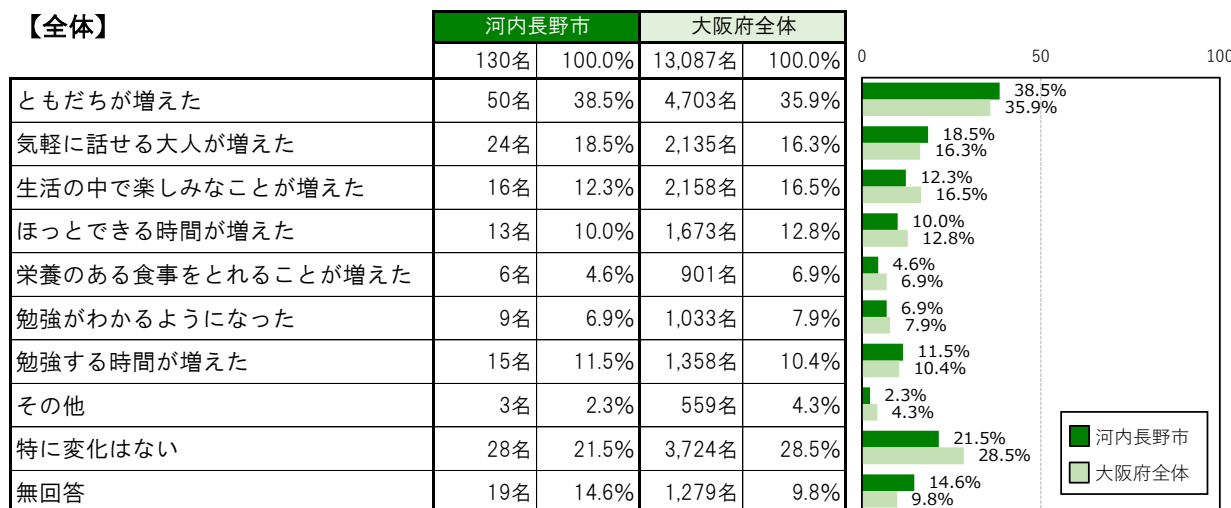
問25（２）子どもの居場所を利用したときの変化

全体は、「ともだちが増えた」が38.5%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」が18.5%、「生活の中で楽しいことが増えた」が12.3%、「勉強する時間が増えた」が11.5%となっている。

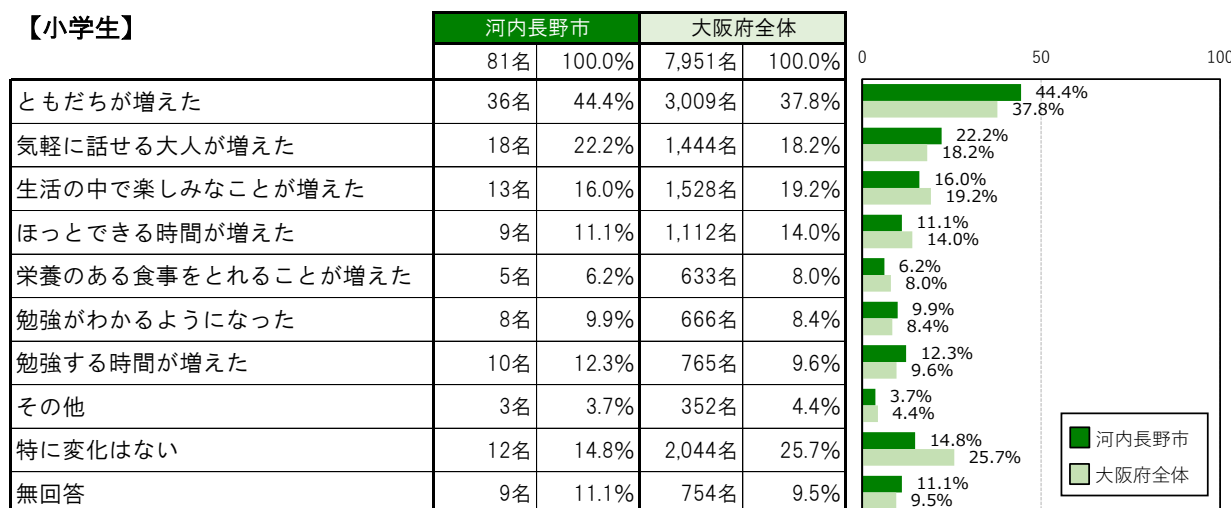
小学生は、「ともだちが増えた」が44.4%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」が22.2%、「生活の中で楽しいことが増えた」が16.0%、「勉強する時間が増えた」が12.3%となっている。

中学生は、「ともだちが増えた」が29.2%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」が12.5%、「勉強する時間が増えた」が10.4%、「ほっとできる時間が増えた」が8.3%となっている。一方、「特に変化はない」は31.3%となっている。

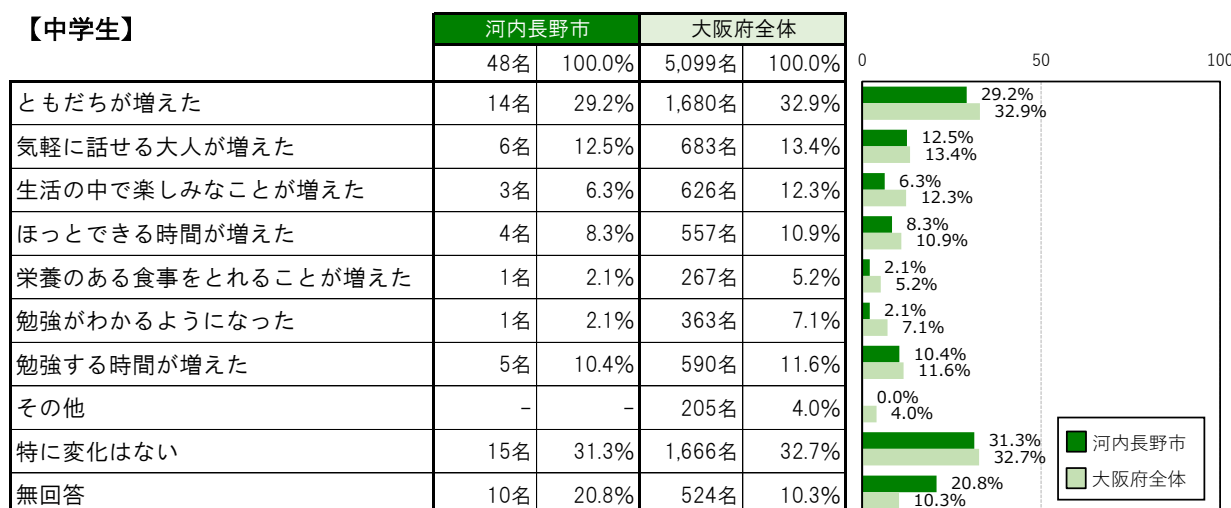
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

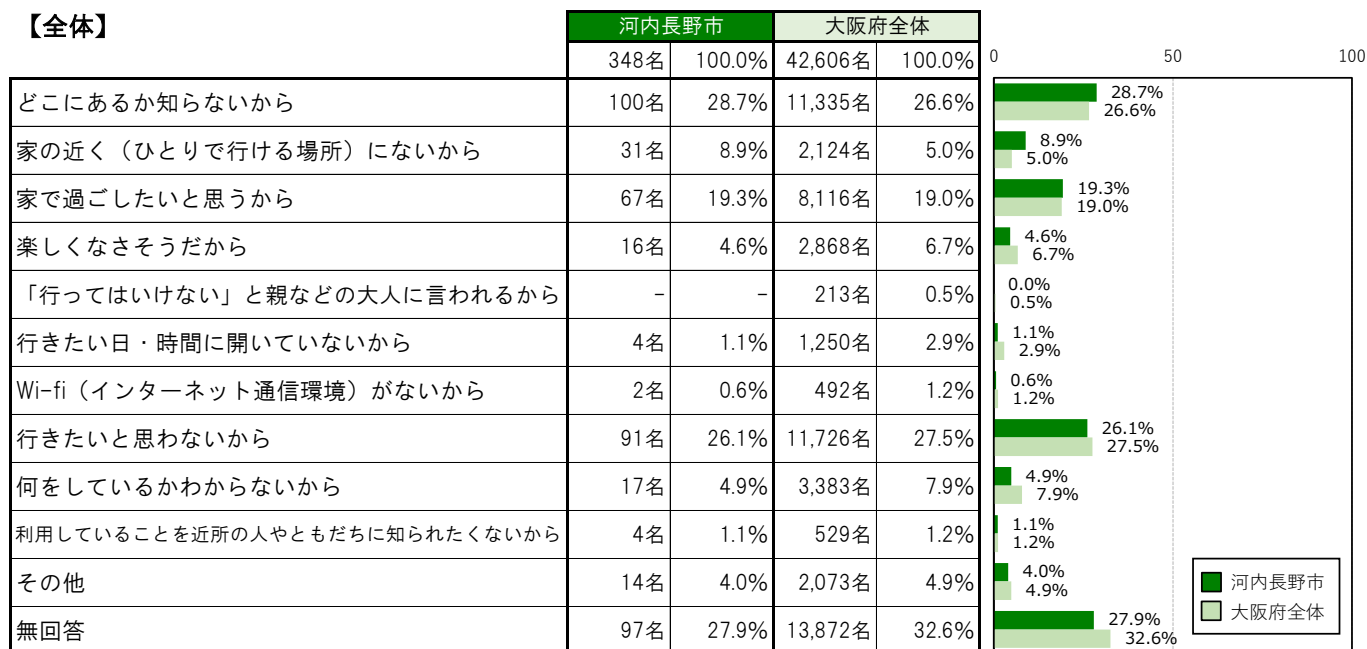
問25（3）子どもの居場所を利用したことがない理由

全体は、「どこにあるか知らないから」が28.7%で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が26.1%、「家で過ごしたいと思うから」が19.3%、「家の近く（ひとりでできる場所）にないから」が8.9%となっている。

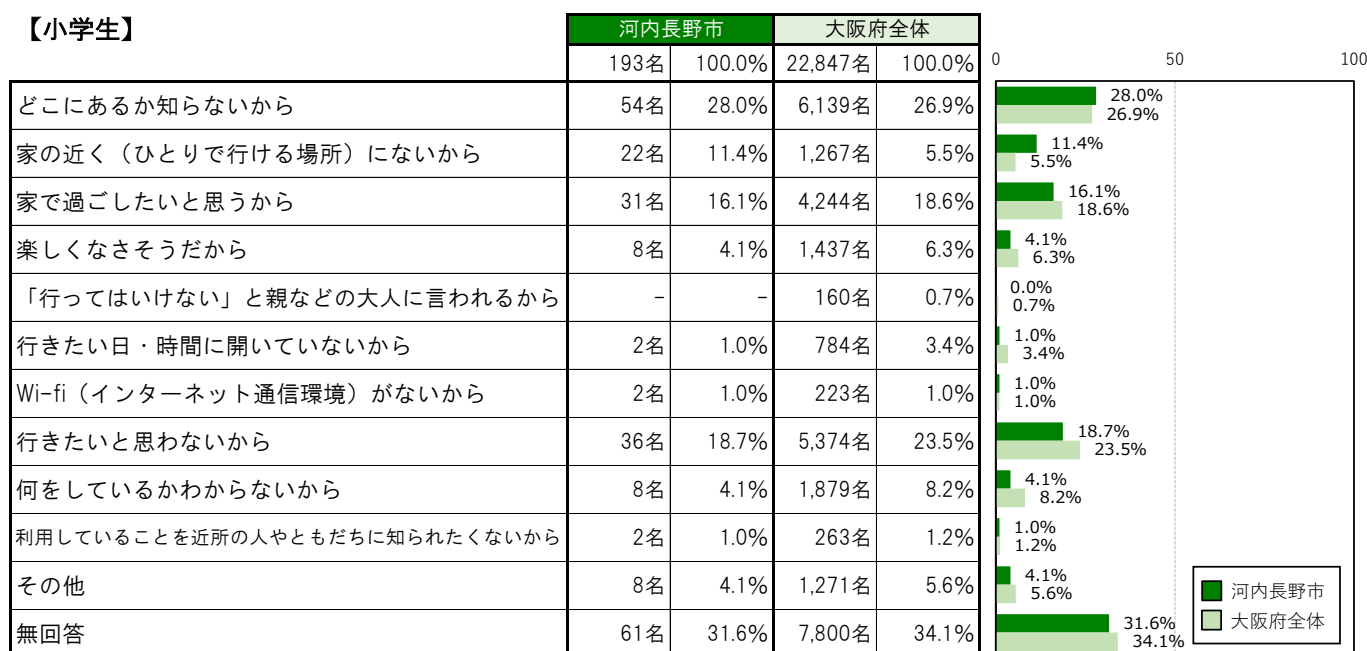
小学生は、「どこにあるか知らないから」が28.0%で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が18.7%、「家で過ごしたいと思うから」が16.1%、「家の近く（ひとりでできる場所）にないから」が11.4%となっている。

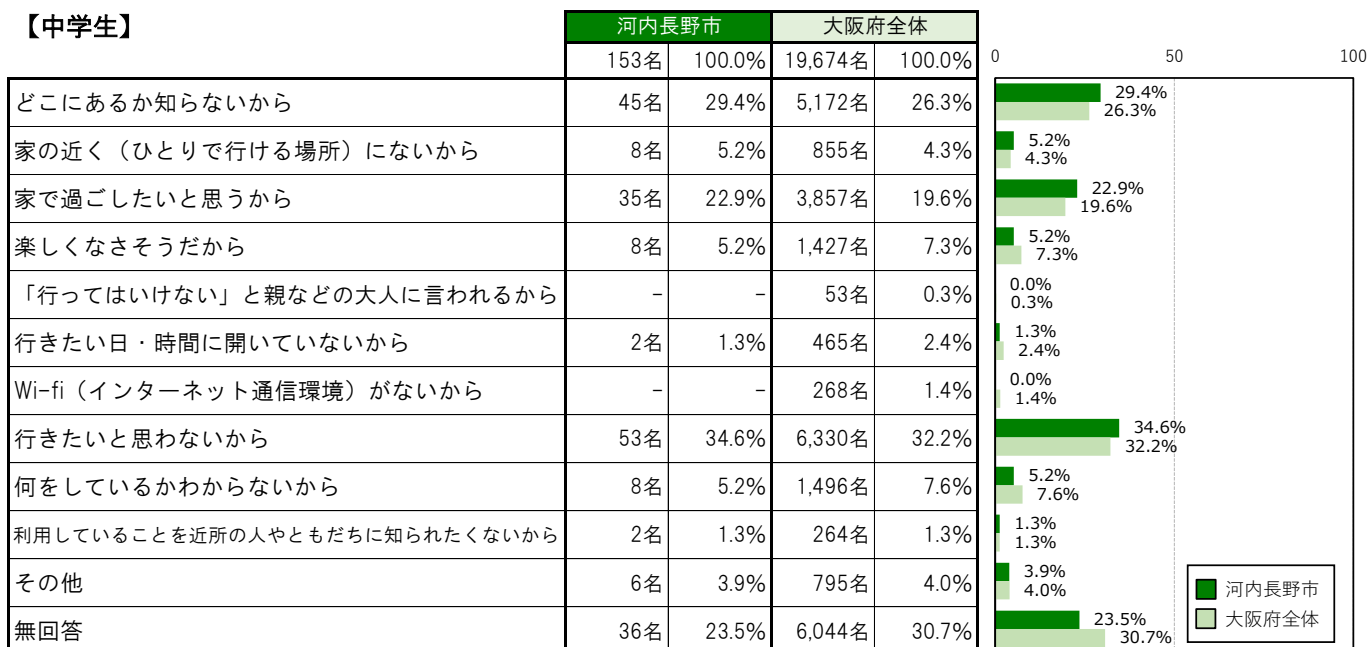
中学生は、「行きたいと思わないから」が34.6%で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が29.4%、「家で過ごしたいと思うから」が22.9%、「家の近く（ひとりでできる場所）にないから」と「楽しくなさそうだから」、「何をしているかわからないから」がそれぞれ5.2%となっている。

【全体】



【小学生】

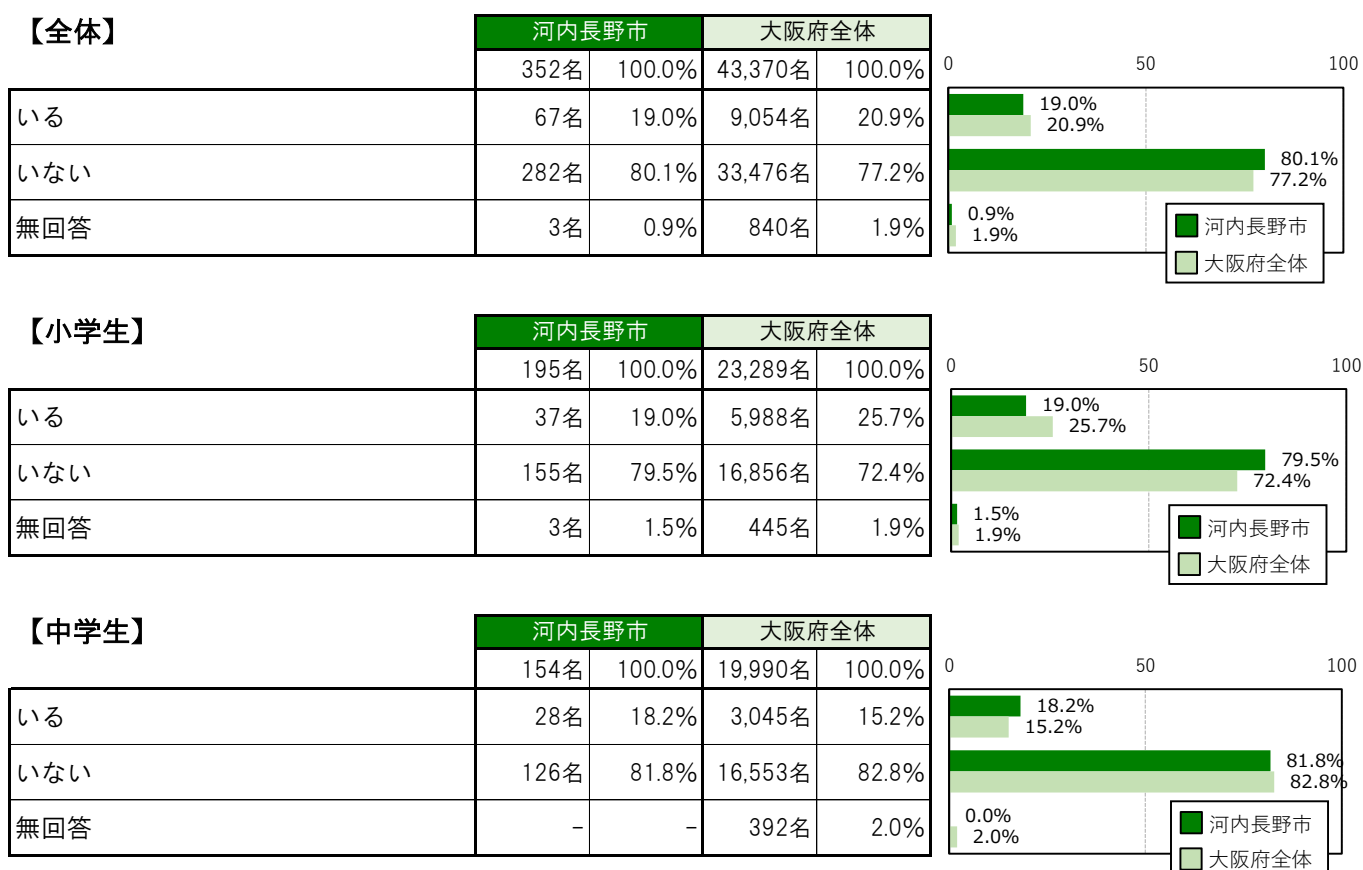




あなたのことについて

問26（１）自分が世話をしている人の有無

全体は、「いる」が19.0%、「いない」が80.1%となっている。
 小学生は、「いる」が19.0%、「いない」が79.5%となっている。
 中学生は、「いる」が18.2%、「いない」が81.8%となっている。



あなたのことについて

問26（2）世話をしている相手

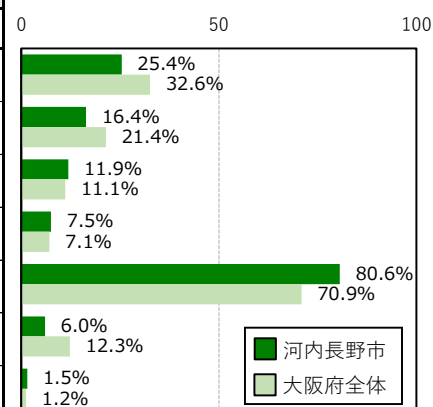
全体は、「きょうだい」が80.6%で最も多く、次いで「お母さん」が25.4%、「お父さん」が16.4%、「おばあちゃん」が11.9%となっている。

小学生は、「きょうだい」が81.1%で最も多く、次いで「お母さん」が32.4%、「お父さん」が21.6%、「おばあちゃん」と「おじいちゃん」がそれぞれ10.8%となっている。

中学生は、「きょうだい」が78.6%で最も多く、次いで「お母さん」が17.9%、「おばあちゃん」が14.3%、「お父さん」が10.7%となっている。

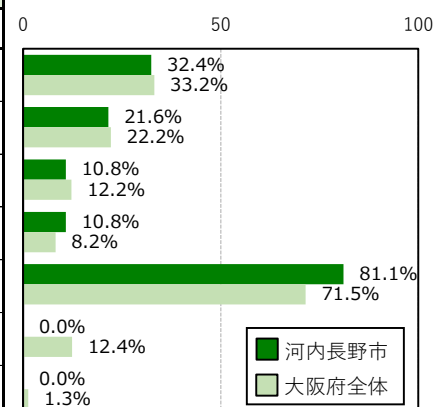
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	67名	100.0%	9,054名	100.0%
お母さん	17名	25.4%	2,954名	32.6%
お父さん	11名	16.4%	1,939名	21.4%
おばあちゃん	8名	11.9%	1,009名	11.1%
おじいちゃん	5名	7.5%	647名	7.1%
きょうだい	54名	80.6%	6,419名	70.9%
その他	4名	6.0%	1,117名	12.3%
無回答	1名	1.5%	112名	1.2%



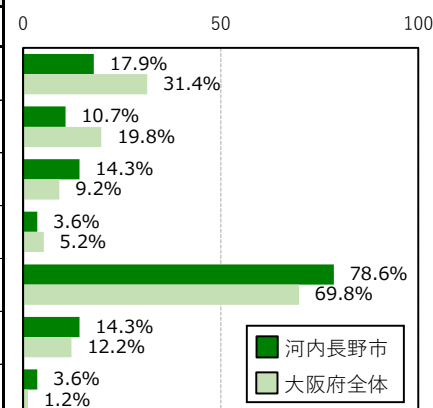
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	37名	100.0%	5,988名	100.0%
お母さん	12名	32.4%	1,990名	33.2%
お父さん	8名	21.6%	1,332名	22.2%
おばあちゃん	4名	10.8%	728名	12.2%
おじいちゃん	4名	10.8%	489名	8.2%
きょうだい	30名	81.1%	4,280名	71.5%
その他	-	-	741名	12.4%
無回答	-	-	75名	1.3%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	28名	100.0%	3,045名	100.0%
お母さん	5名	17.9%	957名	31.4%
お父さん	3名	10.7%	604名	19.8%
おばあちゃん	4名	14.3%	280名	9.2%
おじいちゃん	1名	3.6%	157名	5.2%
きょうだい	22名	78.6%	2,125名	69.8%
その他	4名	14.3%	370名	12.2%
無回答	1名	3.6%	37名	1.2%



あなたのことについて

問26（3）世話をしている内容

全体は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が67.2%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が23.9%、「そうじやゴミ捨てなど」が17.9%、「洗濯など」が16.4%となっている。

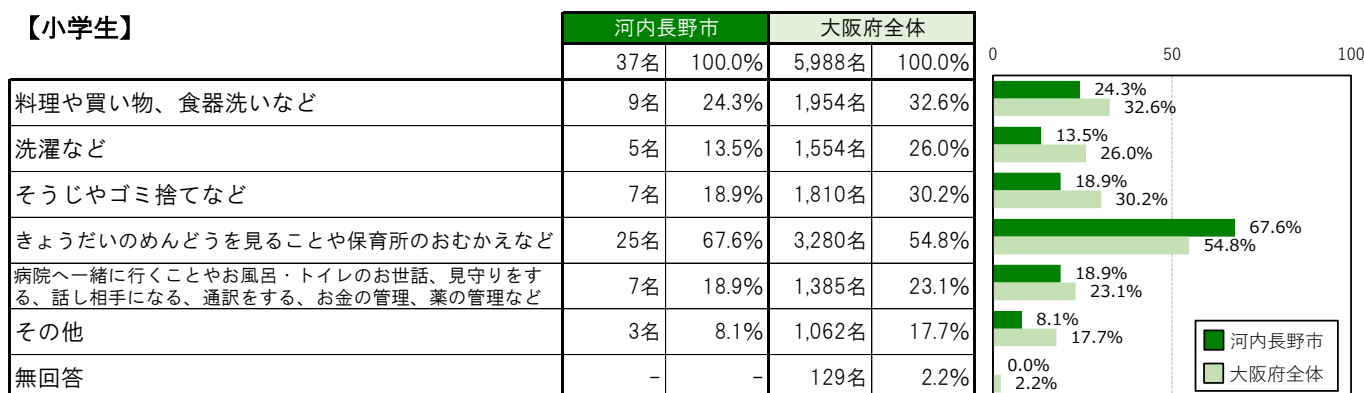
小学生は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が67.6%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が24.3%、「そうじやゴミ捨てなど」と「病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など」がそれぞれ18.9%となっている。

中学生は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が64.3%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が25.0%、「洗濯など」が21.4%、「そうじやゴミ捨てなど」が17.9%となっている。

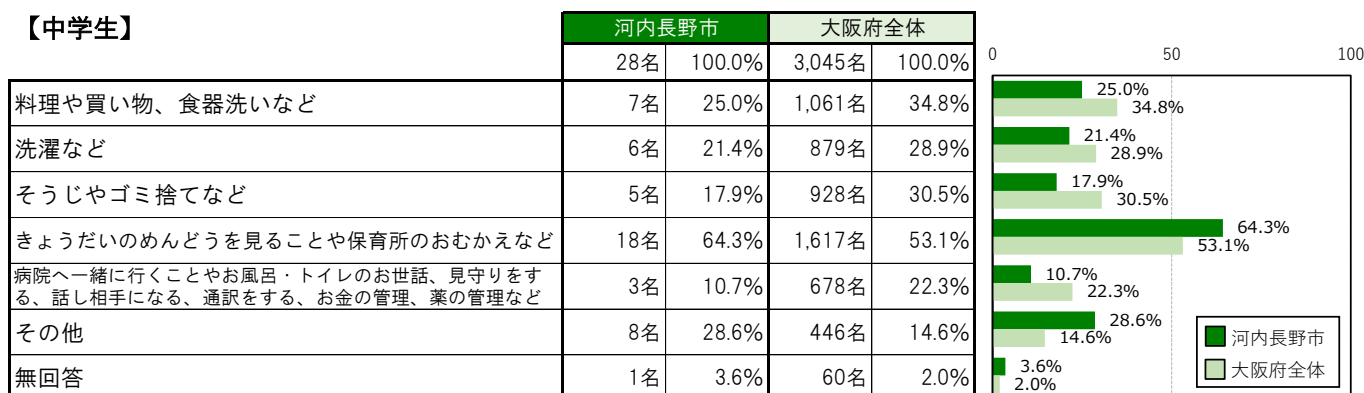
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問26（５）世話をする頻度

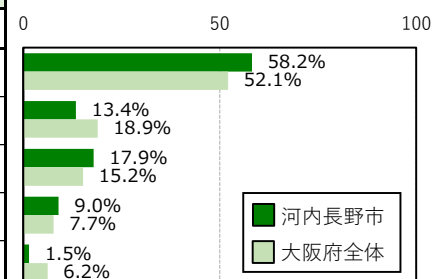
全体は、「ほぼ毎日」が58.2%で最も多く、次いで「週に１日または２日」が17.9%、「週に３日～５日」が13.4%となっている。

小学生は、「ほぼ毎日」が59.5%で最も多く、次いで「週に１日または２日」が16.2%、「１か月に数日」が13.5%となっている。

中学生は、「ほぼ毎日」が53.6%で最も多く、次いで「週に１日または２日」が21.4%、「週に３日～５日」が17.9%となっている。

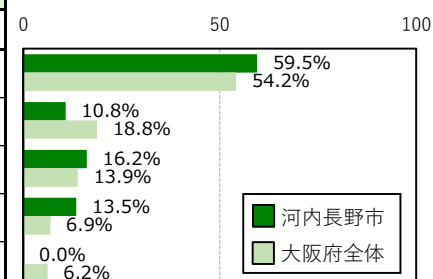
【全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
ほぼ毎日	39名	58.2%	4,716名	52.1%
週に３日～５日	9名	13.4%	1,708名	18.9%
週に１日または２日	12名	17.9%	1,375名	15.2%
１か月に数日	6名	9.0%	694名	7.7%
無回答	1名	1.5%	561名	6.2%



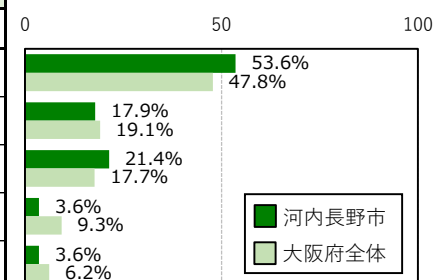
【小学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
ほぼ毎日	22名	59.5%	3,246名	54.2%
週に３日～５日	4名	10.8%	1,125名	18.8%
週に１日または２日	6名	16.2%	832名	13.9%
１か月に数日	5名	13.5%	412名	6.9%
無回答	-	-	373名	6.2%



【中学生】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
ほぼ毎日	15名	53.6%	1,455名	47.8%
週に３日～５日	5名	17.9%	582名	19.1%
週に１日または２日	6名	21.4%	538名	17.7%
１か月に数日	1名	3.6%	282名	9.3%
無回答	1名	3.6%	188名	6.2%



あなたのことについて

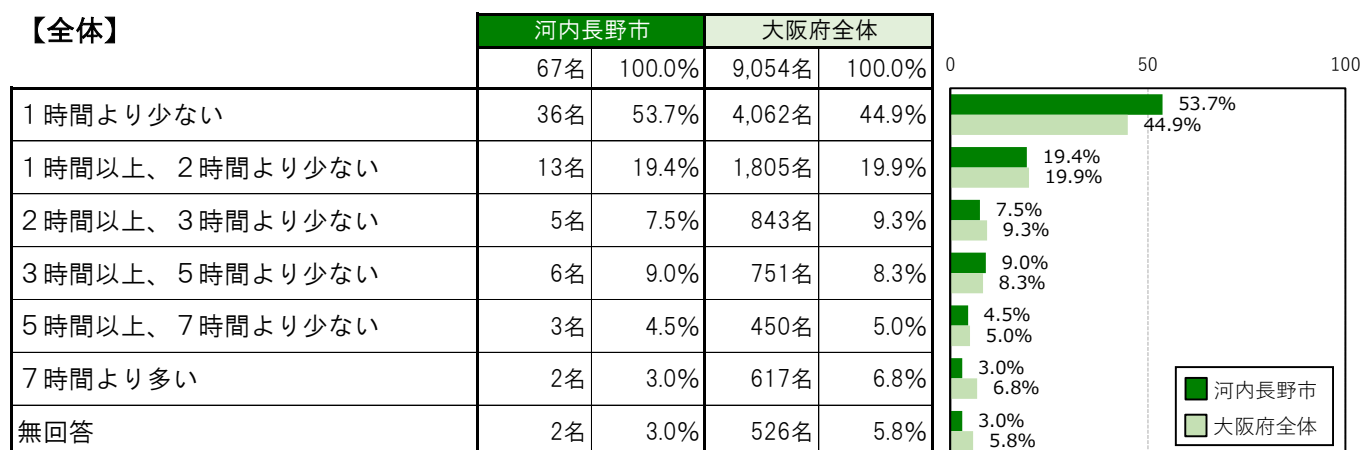
問26（6）学校がある日に世話をする1日の時間

全体は、「1時間より少ない」が53.7%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が19.4%、「3時間以上、5時間より少ない」が9.0%、「2時間以上、3時間より少ない」が7.5%となっている。

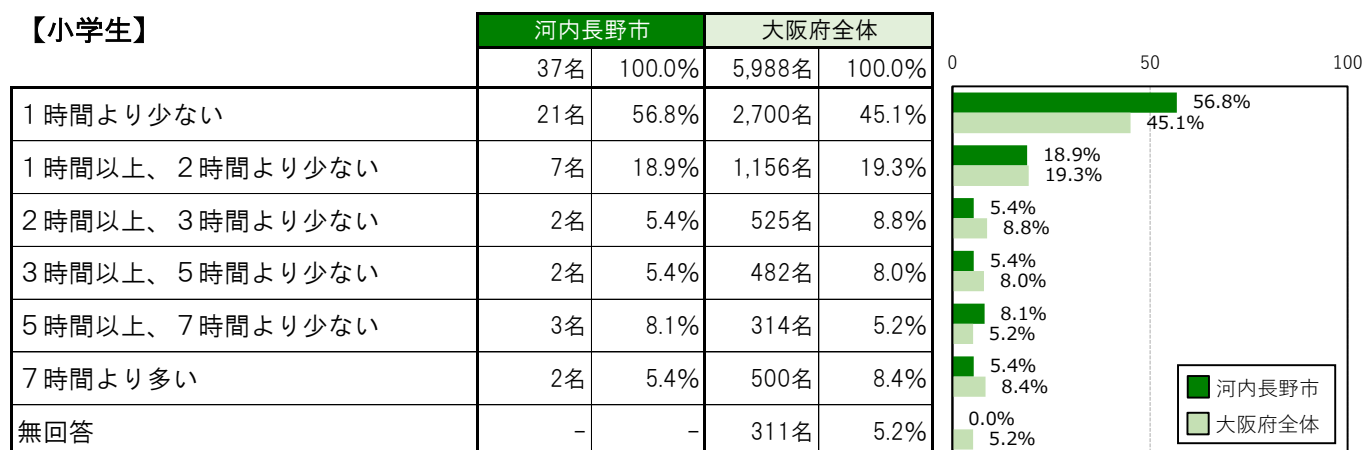
小学生は、「1時間より少ない」が56.8%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が18.9%、「5時間以上、7時間より少ない」が8.1%となっている。

中学生は、「1時間より少ない」が50.0%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が21.4%、「2時間以上、3時間より少ない」と「3時間以上、5時間より少ない」がそれぞれ10.7%となっている。

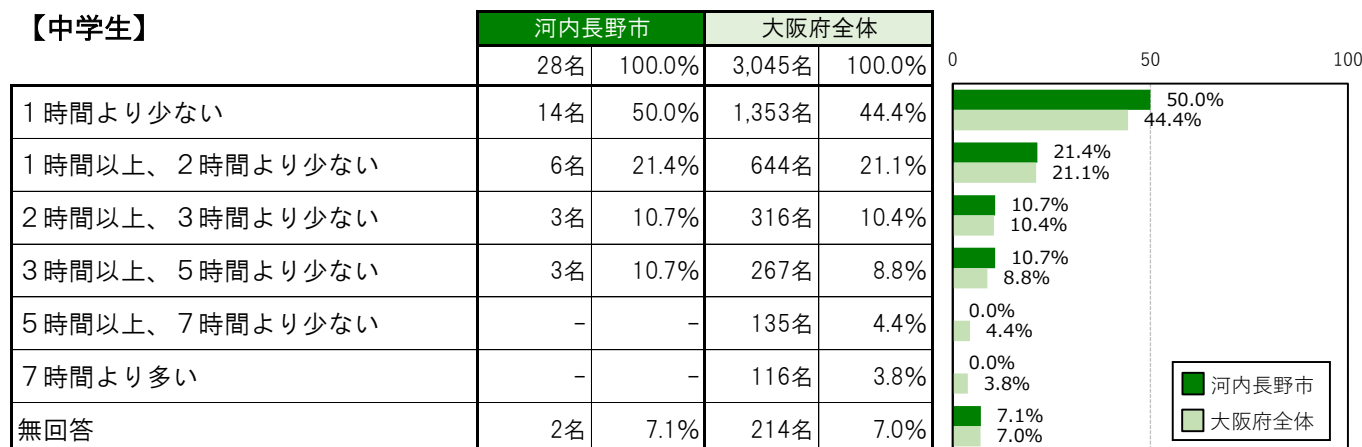
【全体】



【小学生】



【中学生】



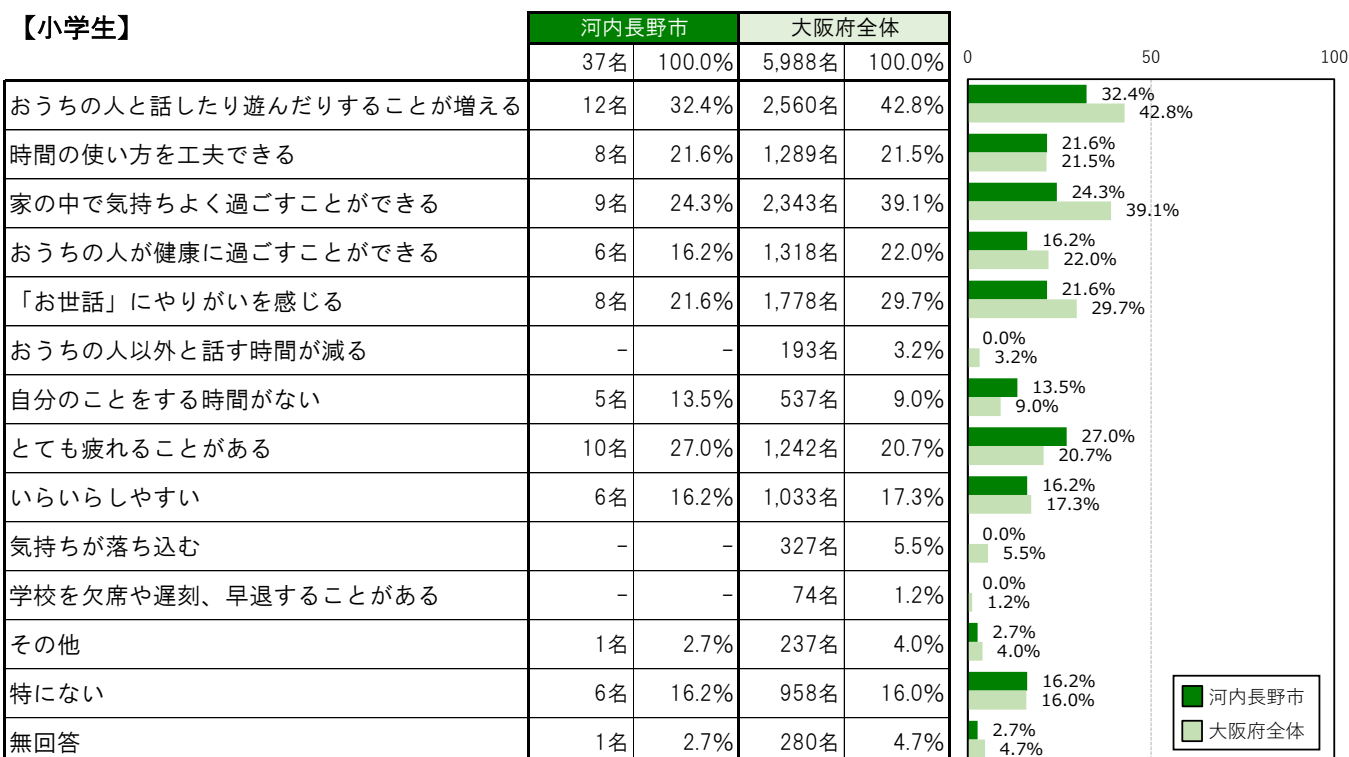
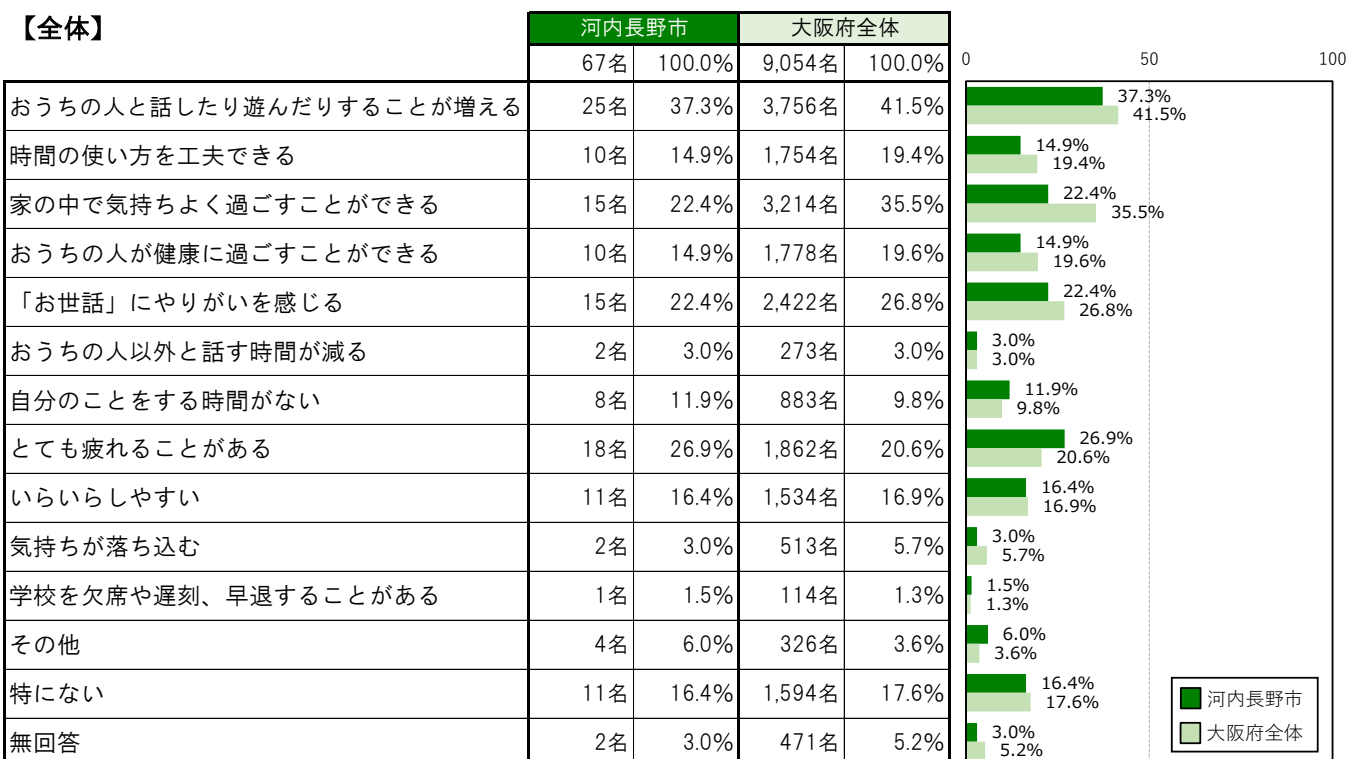
あなたのことについて

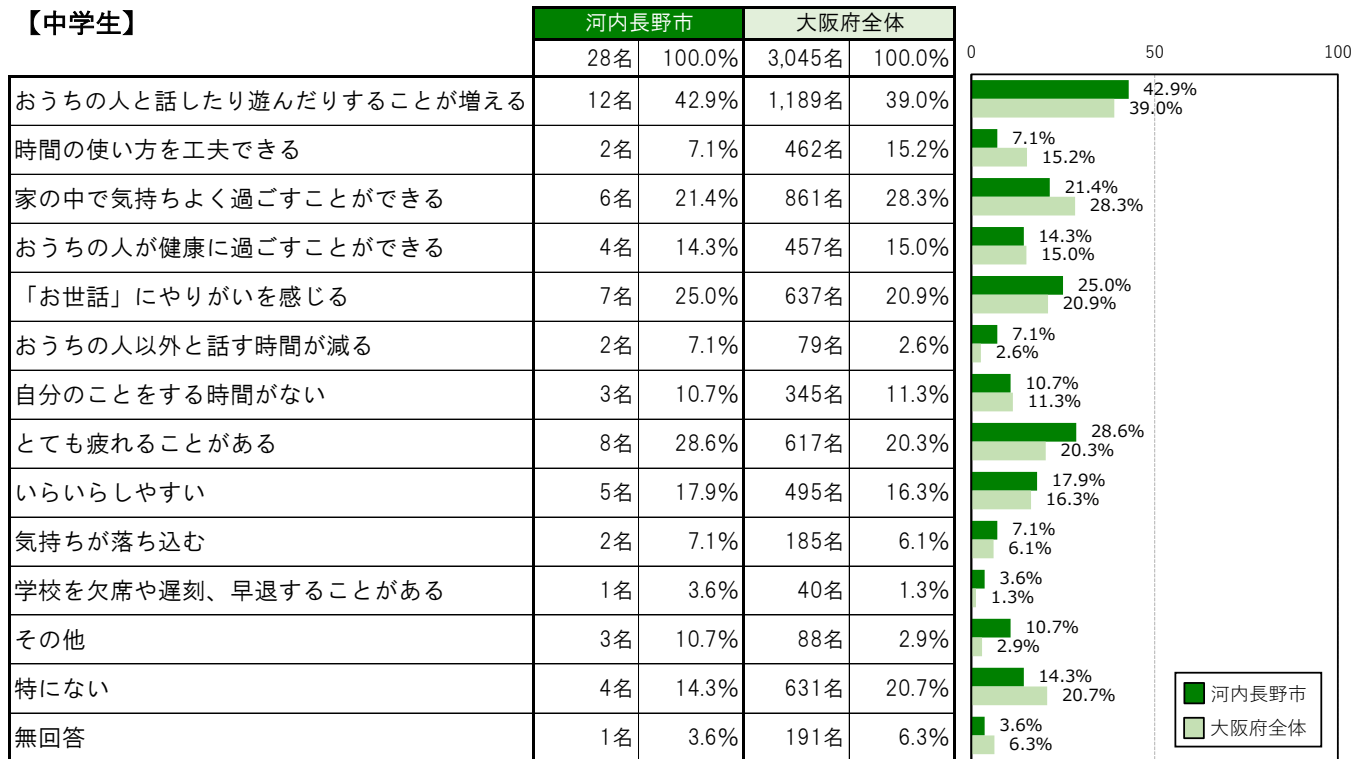
問26（7）世話をしていることの影響

全体は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が37.3%で最も多く、次いで「とても疲れることがある」が26.9%、「家の中で気持ちよく過ごすことができる」と「「お世話」にやりがいを感じる」がそれぞれ22.4%、「いらいらしやすい」が16.4%となっている。

小学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が32.4%で最も多く、次いで「とても疲れることがある」が27.0%、「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が24.3%、「時間の使い方を工夫できる」と「「お世話」にやりがいを感じる」がそれぞれ21.6%となっている。

中学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が42.9%で最も多く、次いで「とても疲れることがある」が28.6%、「「お世話」にやりがいを感じる」が25.0%、「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が21.4%となっている。





2. 単純集計結果〔保護者〕

河内長野市

子どもとの関係について

問1 子どもとの続柄

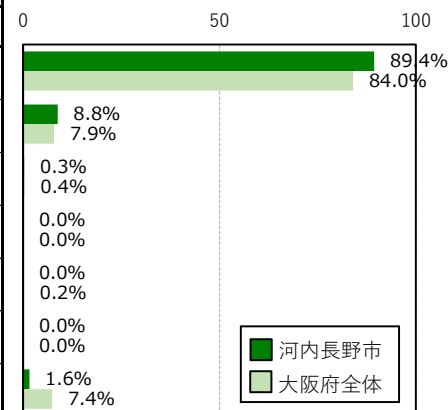
保護者全体は、「お母さん」が89.4%で最も多く、次いで「お父さん」が8.8%、「おじいさん・おばあさん」が0.3%となっている。

小学生の保護者は、「お母さん」が87.4%で最も多く、次いで「お父さん」が10.5%となっている。

中学生の保護者は、「お母さん」が92.2%で最も多く、次いで「お父さん」が5.9%、「おじいさん・おばあさん」が0.7%となっている。

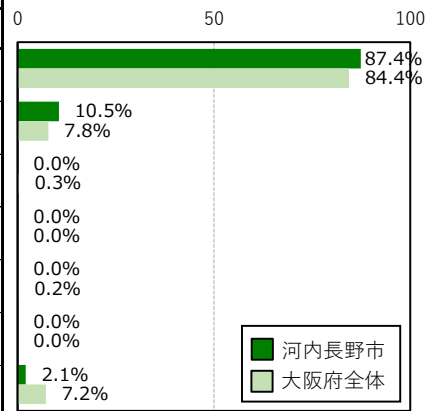
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,358名	100.0%
お母さん	346名	89.4%	36,436名	84.0%
お父さん	34名	8.8%	3,426名	7.9%
おじいさん・おばあさん	1名	0.3%	154名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	15名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	91名	0.2%
その他の人	-	-	14名	0.0%
無回答	6名	1.6%	3,222名	7.4%



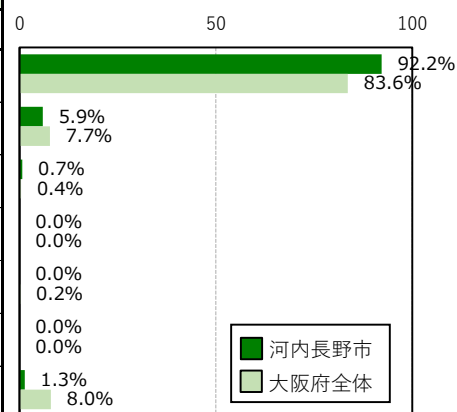
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,819名	100.0%
お母さん	167名	87.4%	19,261名	84.4%
お父さん	20名	10.5%	1,776名	7.8%
おじいさん・おばあさん	-	-	75名	0.3%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	47名	0.2%
その他の人	-	-	3名	0.0%
無回答	4名	2.1%	1,650名	7.2%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,390名	100.0%
お母さん	141名	92.2%	16,208名	83.6%
お父さん	9名	5.9%	1,488名	7.7%
おじいさん・おばあさん	1名	0.7%	77名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	44名	0.2%
その他の人	-	-	8名	0.0%
無回答	2名	1.3%	1,558名	8.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ①おばあさん

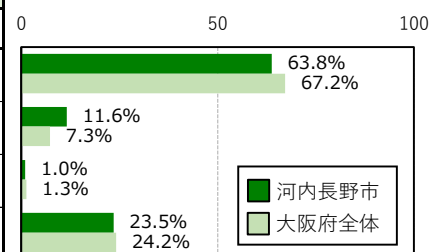
保護者全体は、「いない」が63.8%で最も多く、次いで「1人」が11.6%、「2人」が1.0%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が67.0%で最も多く、次いで「1人」が8.9%、「2人」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が59.5%で最も多く、次いで「1人」が14.4%、「2人」が2.0%となっている。

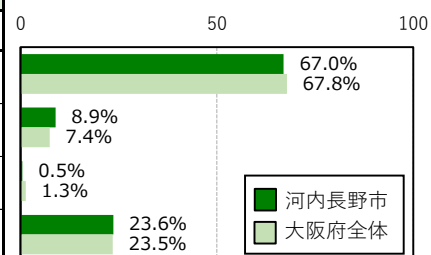
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
いない	247名	63.8%	29,081名	67.2%
1人	45名	11.6%	3,181名	7.3%
2人	4名	1.0%	555名	1.3%
無回答	91名	23.5%	10,483名	24.2%



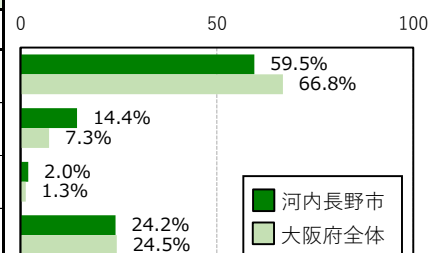
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
いない	128名	67.0%	15,456名	67.8%
1人	17名	8.9%	1,681名	7.4%
2人	1名	0.5%	286名	1.3%
無回答	45名	23.6%	5,363名	23.5%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
いない	91名	59.5%	12,942名	66.8%
1人	22名	14.4%	1,422名	7.3%
2人	3名	2.0%	257名	1.3%
無回答	37名	24.2%	4,744名	24.5%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ②おじいさん

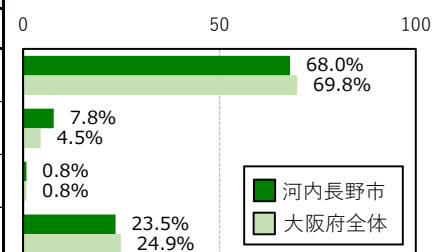
保護者全体は、「いない」が68.0%で最も多く、次いで「1人」が7.8%、「2人」が0.8%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が69.6%で最も多く、次いで「1人」が6.3%、「2人」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が65.4%で最も多く、次いで「1人」が9.2%、「2人」が1.3%となっている。

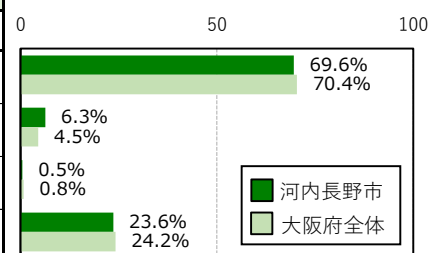
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	263名	68.0%	30,230名	69.8%
1人	30名	7.8%	1,932名	4.5%
2人	3名	0.8%	340名	0.8%
無回答	91名	23.5%	10,798名	24.9%



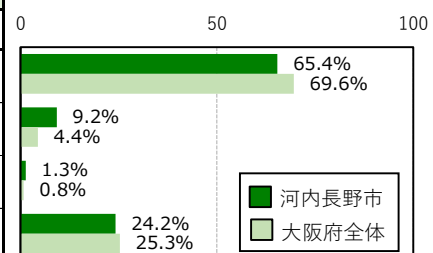
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	133名	69.6%	16,050名	70.4%
1人	12名	6.3%	1,031名	4.5%
2人	1名	0.5%	186名	0.8%
無回答	45名	23.6%	5,519名	24.2%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	100名	65.4%	13,474名	69.6%
1人	14名	9.2%	853名	4.4%
2人	2名	1.3%	148名	0.8%
無回答	37名	24.2%	4,890名	25.3%



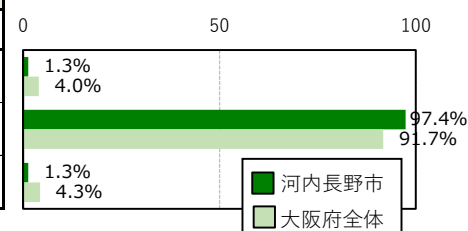
世帯の状況について

問2 世帯構成 ③お母さん

保護者全体は、「いない」が1.3%、「1人」が97.4%となっている。
 小学生の保護者は、「いない」が1.0%、「1人」が96.9%となっている。
 中学生の保護者は、「いない」が1.3%、「1人」が98.0%となっている。

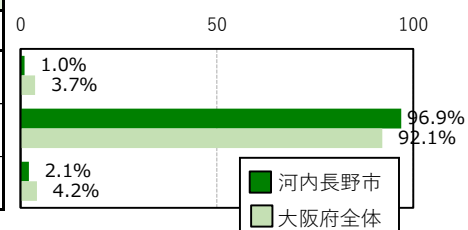
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	5名	1.3%	1,729名	4.0%
1人	377名	97.4%	39,706名	91.7%
無回答	5名	1.3%	1,865名	4.3%



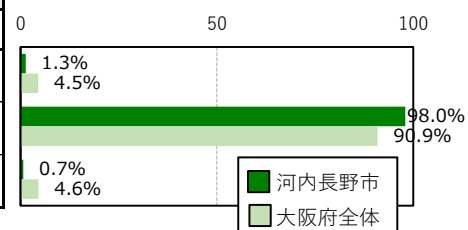
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	2名	1.0%	841名	3.7%
1人	185名	96.9%	20,990名	92.1%
無回答	4名	2.1%	955名	4.2%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	2名	1.3%	872名	4.5%
1人	150名	98.0%	17,597名	90.9%
無回答	1名	0.7%	896名	4.6%



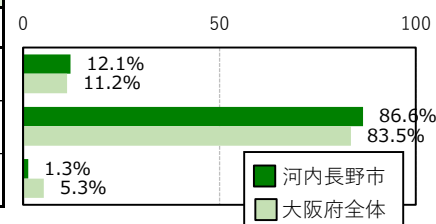
世帯の状況について

問2 世帯構成 ④お父さん

保護者全体は、「いない」が12.1%、「1人」が86.6%となっている。
 小学生の保護者は、「いない」が9.4%、「1人」が89.5%となっている。
 中学生の保護者は、「いない」が15.7%、「1人」が83.0%となっている。

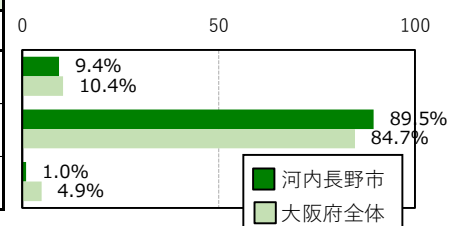
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	47名	12.1%	4,852名	11.2%
1人	335名	86.6%	36,166名	83.5%
無回答	5名	1.3%	2,282名	5.3%



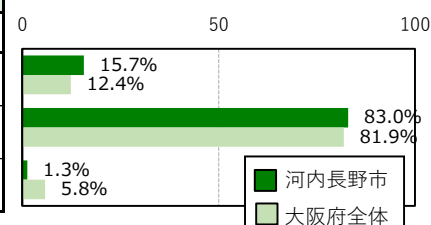
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	18名	9.4%	2,372名	10.4%
1人	171名	89.5%	19,301名	84.7%
無回答	2名	1.0%	1,113名	4.9%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	24名	15.7%	2,394名	12.4%
1人	127名	83.0%	15,852名	81.9%
無回答	2名	1.3%	1,119名	5.8%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑤姉・兄

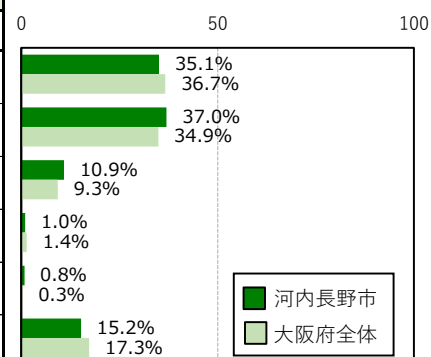
保護者全体は、「1人」が37.0%で最も多く、次いで「いない」が35.1%、「2人」が10.9%、「3人」が1.0%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が37.2%で最も多く、次いで「1人」が30.9%、「2人」が12.0%、「3人」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「1人」が39.9%で最も多く、次いで「いない」が36.6%、「2人」が8.5%となっている。

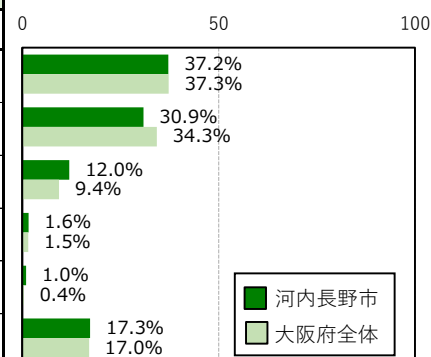
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	136名	35.1%	15,909名	36.7%
1人	143名	37.0%	15,123名	34.9%
2人	42名	10.9%	4,039名	9.3%
3人	4名	1.0%	601名	1.4%
4人以上	3名	0.8%	145名	0.3%
無回答	59名	15.2%	7,483名	17.3%



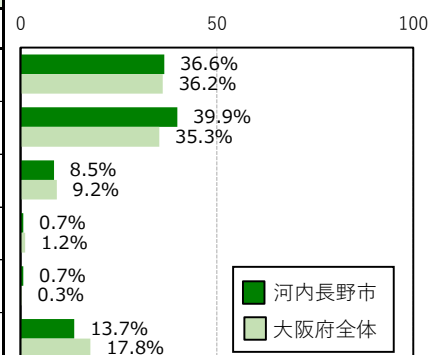
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	71名	37.2%	8,507名	37.3%
1人	59名	30.9%	7,823名	34.3%
2人	23名	12.0%	2,148名	9.4%
3人	3名	1.6%	350名	1.5%
4人以上	2名	1.0%	90名	0.4%
無回答	33名	17.3%	3,868名	17.0%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	56名	36.6%	7,016名	36.2%
1人	61名	39.9%	6,827名	35.3%
2人	13名	8.5%	1,782名	9.2%
3人	1名	0.7%	239名	1.2%
4人以上	1名	0.7%	50名	0.3%
無回答	21名	13.7%	3,451名	17.8%



世帯の状況について

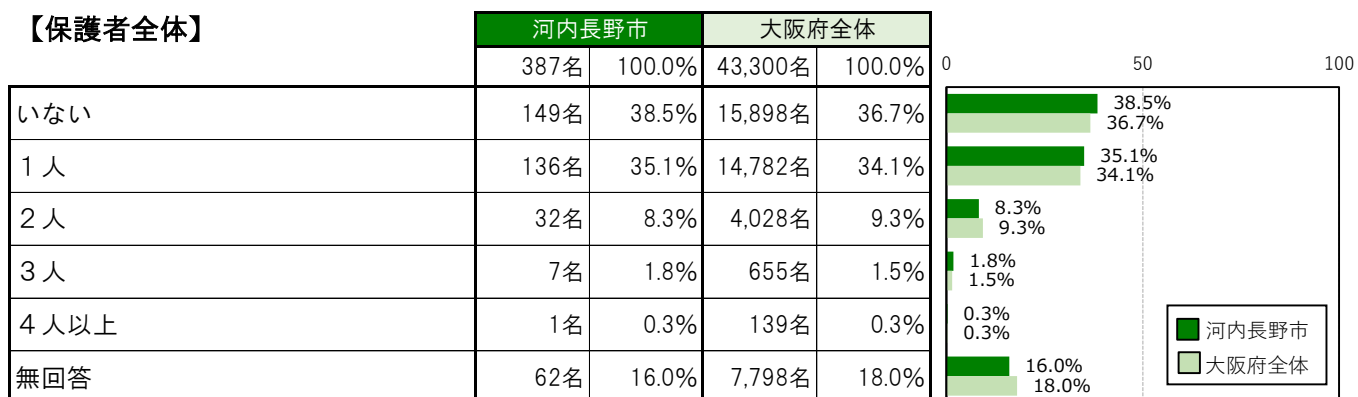
問2 世帯構成 ⑥妹・弟

保護者全体は、「いない」が38.5%、「1人」が35.1%、「2人」が8.3%、「3人」が1.8%となっている。

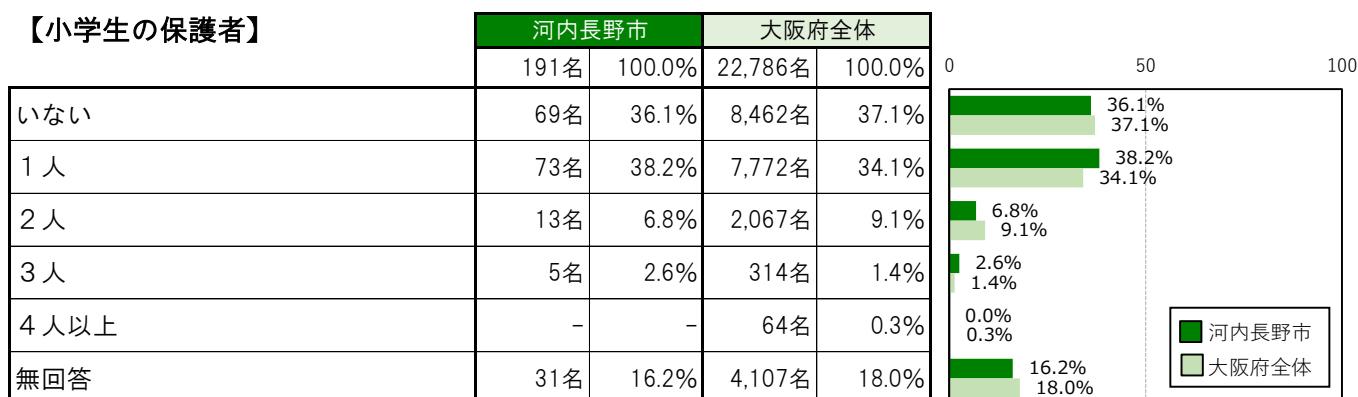
小学生の保護者は、「1人」が38.2%で最も多く、次いで「いない」が36.1%、「2人」が6.8%、「3人」が2.6%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が40.5%で最も多く、次いで「1人」が31.4%、「2人」が10.5%、「3人」が1.3%となっている。

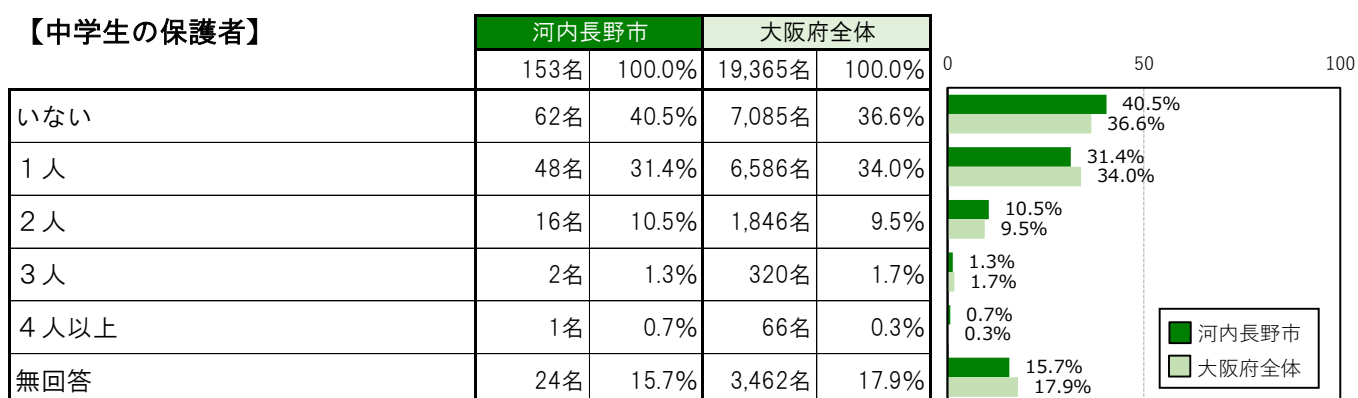
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑦その他

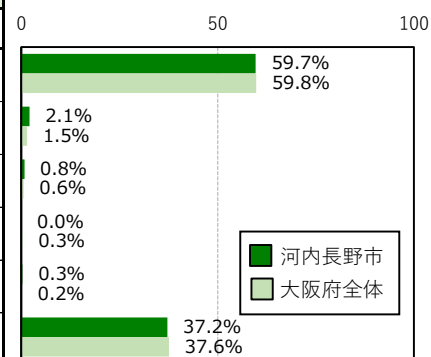
保護者全体は、「いない」が59.7%で最も多く、次いで「1人」が2.1%、「2人」が0.8%、「4人以上」が0.3%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が59.7%で最も多く、次いで「1人」が1.0%、「2人」と「4人以上」がそれぞれ0.5%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が58.2%で最も多く、次いで「1人」が3.3%、「2人」が0.7%となっている。

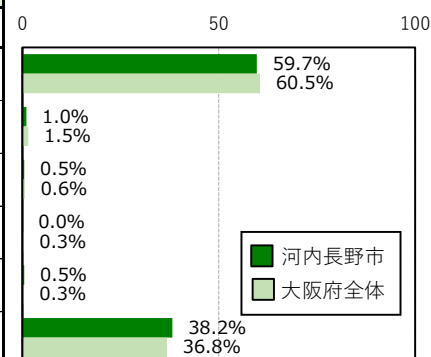
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	231名	59.7%	25,890名	59.8%
1人	8名	2.1%	628名	1.5%
2人	3名	0.8%	261名	0.6%
3人	-	-	133名	0.3%
4人以上	1名	0.3%	98名	0.2%
無回答	144名	37.2%	16,290名	37.6%



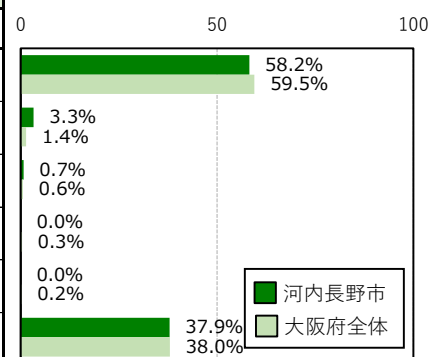
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	114名	59.7%	13,780名	60.5%
1人	2名	1.0%	347名	1.5%
2人	1名	0.5%	139名	0.6%
3人	-	-	73名	0.3%
4人以上	1名	0.5%	59名	0.3%
無回答	73名	38.2%	8,388名	36.8%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	89名	58.2%	11,529名	59.5%
1人	5名	3.3%	275名	1.4%
2人	1名	0.7%	119名	0.6%
3人	-	-	55名	0.3%
4人以上	-	-	36名	0.2%
無回答	58名	37.9%	7,351名	38.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ＜世帯員の続柄＞

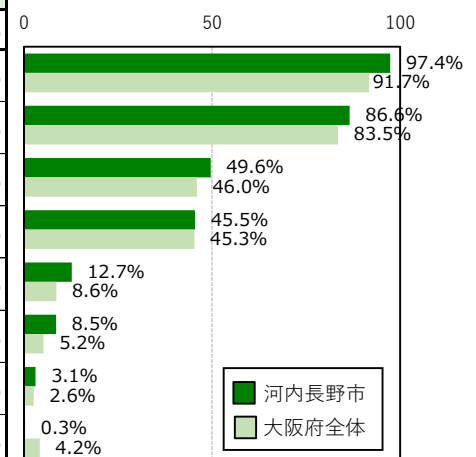
保護者全体は、「お母さん」が97.4%で最も多く、次いで「お父さん」が86.6%、「姉・兄」が49.6%、「妹・弟」が45.5%となっている。

小学生の保護者は、「お母さん」が96.9%で最も多く、次いで「お父さん」が89.5%、「妹・弟」が47.6%、「姉・兄」が45.5%となっている。

中学生の保護者は、「お母さん」が98.0%で最も多く、次いで「お父さん」が83.0%、「姉・兄」が49.7%、「妹・弟」が43.8%となっている。

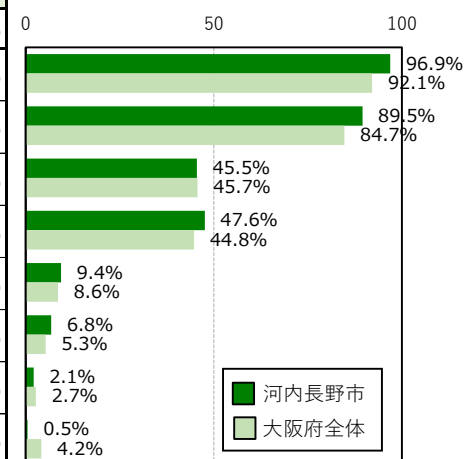
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	377名	97.4%	39,706名	91.7%
お父さん	335名	86.6%	36,166名	83.5%
姉・兄	192名	49.6%	19,908名	46.0%
妹・弟	176名	45.5%	19,604名	45.3%
おばあさん	49名	12.7%	3,736名	8.6%
おじいさん	33名	8.5%	2,272名	5.2%
その他	12名	3.1%	1,120名	2.6%
無回答	1名	0.3%	1,839名	4.2%



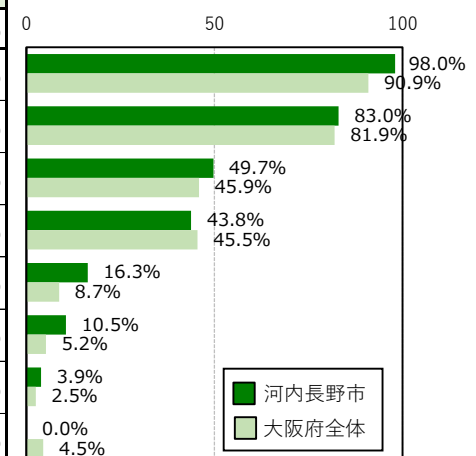
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	185名	96.9%	20,990名	92.1%
お父さん	171名	89.5%	19,301名	84.7%
姉・兄	87名	45.5%	10,411名	45.7%
妹・弟	91名	47.6%	10,217名	44.8%
おばあさん	18名	9.4%	1,967名	8.6%
おじいさん	13名	6.8%	1,217名	5.3%
その他	4名	2.1%	618名	2.7%
無回答	1名	0.5%	953名	4.2%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	150名	98.0%	17,597名	90.9%
お父さん	127名	83.0%	15,852名	81.9%
姉・兄	76名	49.7%	8,898名	45.9%
妹・弟	67名	43.8%	8,818名	45.5%
おばあさん	25名	16.3%	1,679名	8.7%
おじいさん	16名	10.5%	1,001名	5.2%
その他	6名	3.9%	485名	2.5%
無回答	-	-	876名	4.5%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑧世帯人数

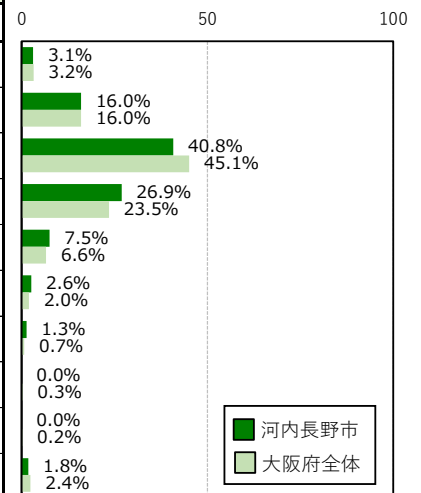
保護者全体は、「4人」が40.8%で最も多く、次いで「5人」が26.9%、「3人」が16.0%、「6人」が7.5%となっている。

小学生の保護者は、「4人」が41.9%で最も多く、次いで「5人」が26.2%、「3人」が15.2%、「6人」が7.3%となっている。

中学生の保護者は、「4人」が42.5%で最も多く、次いで「5人」が26.1%、「3人」が15.7%、「6人」が8.5%となっている。

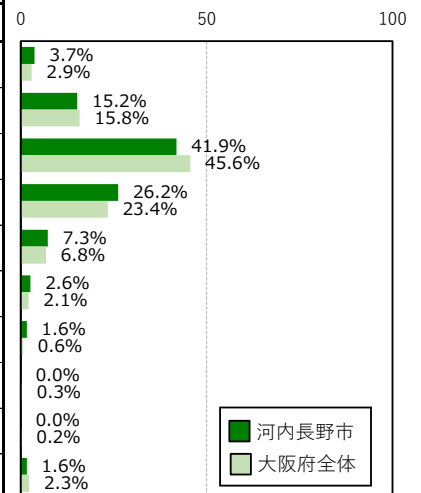
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
2人	12名	3.1%	1,367名	3.2%
3人	62名	16.0%	6,918名	16.0%
4人	158名	40.8%	19,537名	45.1%
5人	104名	26.9%	10,172名	23.5%
6人	29名	7.5%	2,865名	6.6%
7人	10名	2.6%	877名	2.0%
8人	5名	1.3%	319名	0.7%
9人	-	-	112名	0.3%
10人以上	-	-	96名	0.2%
無回答	7名	1.8%	1,037名	2.4%



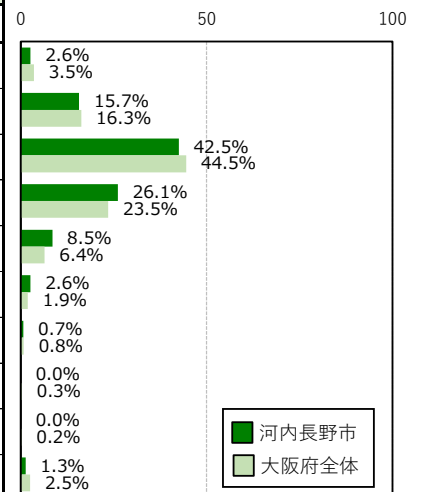
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
2人	7名	3.7%	658名	2.9%
3人	29名	15.2%	3,609名	15.8%
4人	80名	41.9%	10,388名	45.6%
5人	50名	26.2%	5,323名	23.4%
6人	14名	7.3%	1,543名	6.8%
7人	5名	2.6%	481名	2.1%
8人	3名	1.6%	147名	0.6%
9人	-	-	60名	0.3%
10人以上	-	-	50名	0.2%
無回答	3名	1.6%	527名	2.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
2人	4名	2.6%	680名	3.5%
3人	24名	15.7%	3,151名	16.3%
4人	65名	42.5%	8,626名	44.5%
5人	40名	26.1%	4,559名	23.5%
6人	13名	8.5%	1,237名	6.4%
7人	4名	2.6%	377名	1.9%
8人	1名	0.7%	161名	0.8%
9人	-	-	50名	0.3%
10人以上	-	-	45名	0.2%
無回答	2名	1.3%	479名	2.5%



世帯の状況について

問3 親の婚姻状況

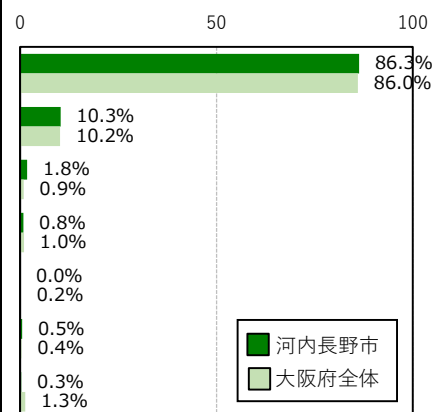
保護者全体は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が86.3%で最も多く、次いで「離婚」が10.3%、「死別」が1.8%となっている。

小学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が89.0%で最も多く、次いで「離婚」が8.9%となっている。

中学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が83.7%で最も多く、次いで「離婚」が11.8%、「死別」が2.6%となっている。

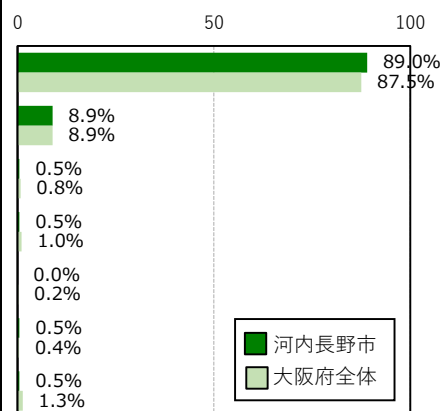
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	334名	86.3%	37,253名	86.0%
離婚	40名	10.3%	4,407名	10.2%
死別	7名	1.8%	400名	0.9%
未婚	3名	0.8%	412名	1.0%
わからない	-	-	77名	0.2%
いない	2名	0.5%	177名	0.4%
無回答	1名	0.3%	574名	1.3%



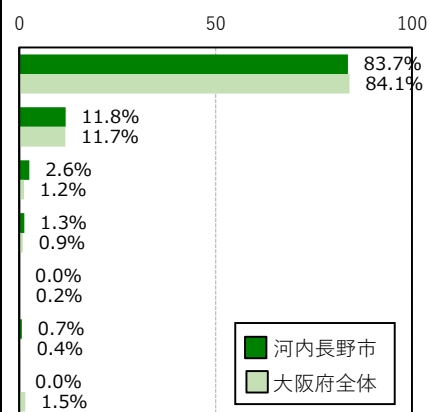
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	170名	89.0%	19,949名	87.5%
離婚	17名	8.9%	2,030名	8.9%
死別	1名	0.5%	172名	0.8%
未婚	1名	0.5%	224名	1.0%
わからない	-	-	39名	0.2%
いない	1名	0.5%	84名	0.4%
無回答	1名	0.5%	288名	1.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	128名	83.7%	16,290名	84.1%
離婚	18名	11.8%	2,273名	11.7%
死別	4名	2.6%	223名	1.2%
未婚	2名	1.3%	181名	0.9%
わからない	-	-	34名	0.2%
いない	1名	0.7%	82名	0.4%
無回答	-	-	282名	1.5%



世帯の状況について

問4 離婚相手との養育費の取り決めや受け取り

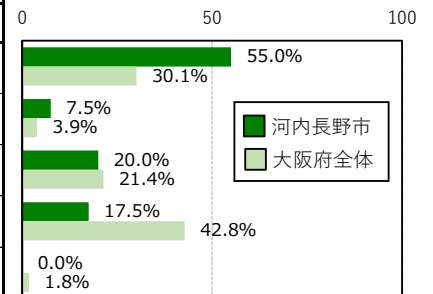
保護者全体は、「取り決めをしており、受け取っている」が55.0%で最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」が20.0%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が17.5%となっている。

小学生の保護者は、「取り決めをしており、受け取っている」が64.7%（11名）で最も多く、次いで「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が17.6%（3名）、「取り決めをしているが、受け取っていない」が11.8%（2名）となっている。

中学生の保護者は、「取り決めをしており、受け取っている」が44.4%（8名）で最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」が33.3%（6名）となっている。

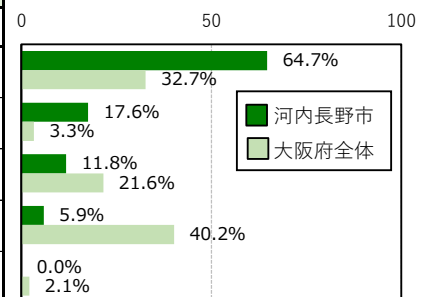
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	40名	100.0%	4,407名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	22名	55.0%	1,325名	30.1%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	3名	7.5%	174名	3.9%
取り決めをしているが、受け取っていない	8名	20.0%	941名	21.4%
取り決めをしておらず、受け取っていない	7名	17.5%	1,888名	42.8%
無回答	-	-	79名	1.8%



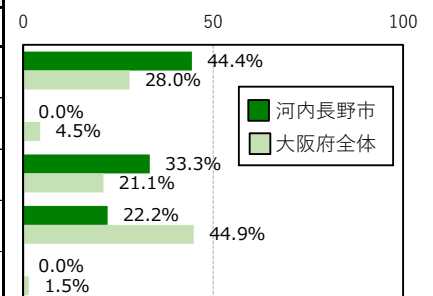
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	17名	100.0%	2,030名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	11名	64.7%	664名	32.7%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	3名	17.6%	68名	3.3%
取り決めをしているが、受け取っていない	2名	11.8%	438名	21.6%
取り決めをしておらず、受け取っていない	1名	5.9%	817名	40.2%
無回答	-	-	43名	2.1%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	18名	100.0%	2,273名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	8名	44.4%	636名	28.0%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	-	-	103名	4.5%
取り決めをしているが、受け取っていない	6名	33.3%	479名	21.1%
取り決めをしておらず、受け取っていない	4名	22.2%	1,020名	44.9%
無回答	-	-	35名	1.5%



世帯の状況について

問5 住居形態

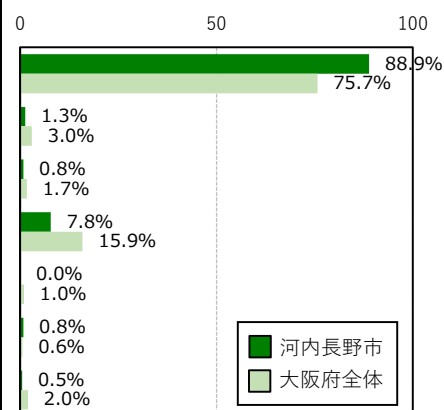
保護者全体は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が88.9%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が7.8%、「府営・市営の住宅」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が89.0%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が6.3%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が88.2%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が9.8%、「府営・市営の住宅」が1.3%となっている。

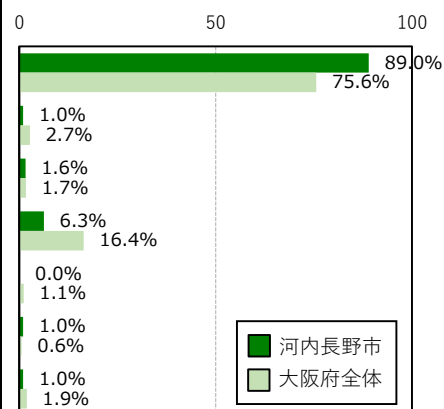
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	344名	88.9%	32,784名	75.7%
府営・市営の住宅	5名	1.3%	1,316名	3.0%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	3名	0.8%	752名	1.7%
民間の賃貸住宅	30名	7.8%	6,890名	15.9%
官舎・社宅	-	-	438名	1.0%
その他	3名	0.8%	257名	0.6%
無回答	2名	0.5%	863名	2.0%



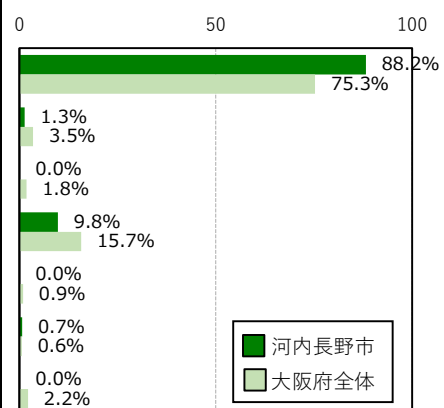
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	170名	89.0%	17,221名	75.6%
府営・市営の住宅	2名	1.0%	620名	2.7%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	3名	1.6%	386名	1.7%
民間の賃貸住宅	12名	6.3%	3,738名	16.4%
官舎・社宅	-	-	255名	1.1%
その他	2名	1.0%	129名	0.6%
無回答	2名	1.0%	437名	1.9%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	135名	88.2%	14,585名	75.3%
府営・市営の住宅	2名	1.3%	676名	3.5%
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	-	-	356名	1.8%
民間の賃貸住宅	15名	9.8%	3,036名	15.7%
官舎・社宅	-	-	171名	0.9%
その他	1名	0.7%	121名	0.6%
無回答	-	-	420名	2.2%



世帯の状況について

問6(1) 家計の状況

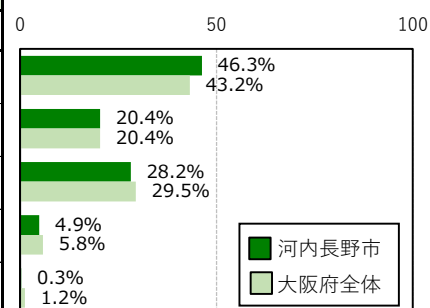
保護者全体は、「貯蓄ができています」が46.3%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が28.2%、「赤字である」が20.4%となっている。

小学生の保護者は、「貯蓄ができています」が49.7%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が25.7%、「赤字である」が19.9%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄ができています」が44.4%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が30.1%、「赤字である」が20.3%となっている。

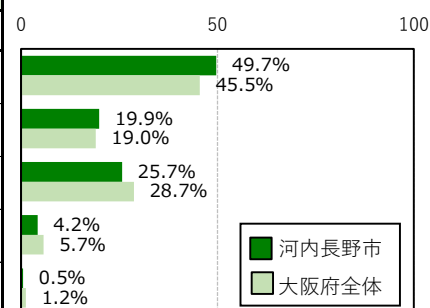
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
貯蓄ができています	179名	46.3%	18,686名	43.2%
赤字である	79名	20.4%	8,818名	20.4%
赤字でもなく黒字でもない	109名	28.2%	12,767名	29.5%
わからない	19名	4.9%	2,523名	5.8%
無回答	1名	0.3%	506名	1.2%



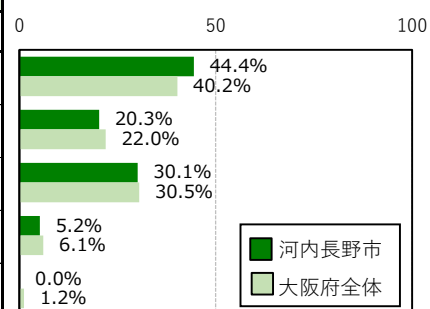
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
貯蓄ができています	95名	49.7%	10,376名	45.5%
赤字である	38名	19.9%	4,319名	19.0%
赤字でもなく黒字でもない	49名	25.7%	6,535名	28.7%
わからない	8名	4.2%	1,292名	5.7%
無回答	1名	0.5%	264名	1.2%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
貯蓄ができています	68名	44.4%	7,790名	40.2%
赤字である	31名	20.3%	4,255名	22.0%
赤字でもなく黒字でもない	46名	30.1%	5,912名	30.5%
わからない	8名	5.2%	1,173名	6.1%
無回答	-	-	235名	1.2%



世帯の状況について

問6（2）子どもの将来のための貯蓄状況

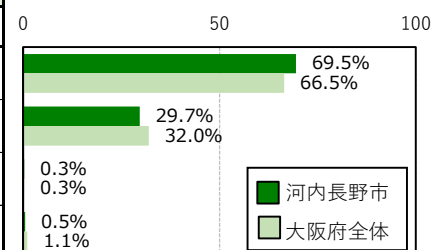
保護者全体は、「貯蓄をしている」が69.5%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が29.7%、「貯蓄をするつもりはない」が0.3%となっている。

小学生の保護者は、「貯蓄をしている」が72.3%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が26.2%、「貯蓄をするつもりはない」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄をしている」が69.3%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が30.7%となっている。

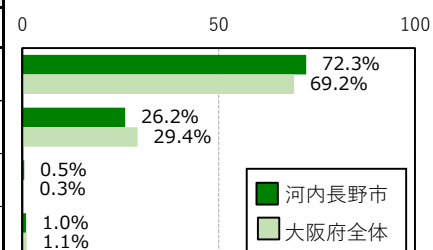
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
貯蓄をしている	269名	69.5%	28,802名	66.5%
貯蓄をしたいが、できていない	115名	29.7%	13,877名	32.0%
貯蓄をするつもりはない	1名	0.3%	138名	0.3%
無回答	2名	0.5%	483名	1.1%



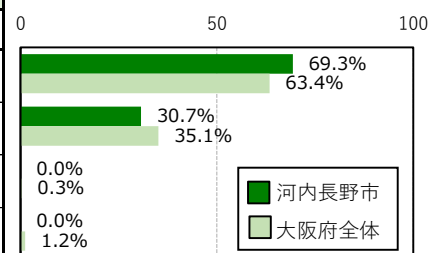
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
貯蓄をしている	138名	72.3%	15,765名	69.2%
貯蓄をしたいが、できていない	50名	26.2%	6,698名	29.4%
貯蓄をするつもりはない	1名	0.5%	74名	0.3%
無回答	2名	1.0%	249名	1.1%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
貯蓄をしている	106名	69.3%	12,277名	63.4%
貯蓄をしたいが、できていない	47名	30.7%	6,798名	35.1%
貯蓄をするつもりはない	-	-	63名	0.3%
無回答	-	-	227名	1.2%



世帯の状況について

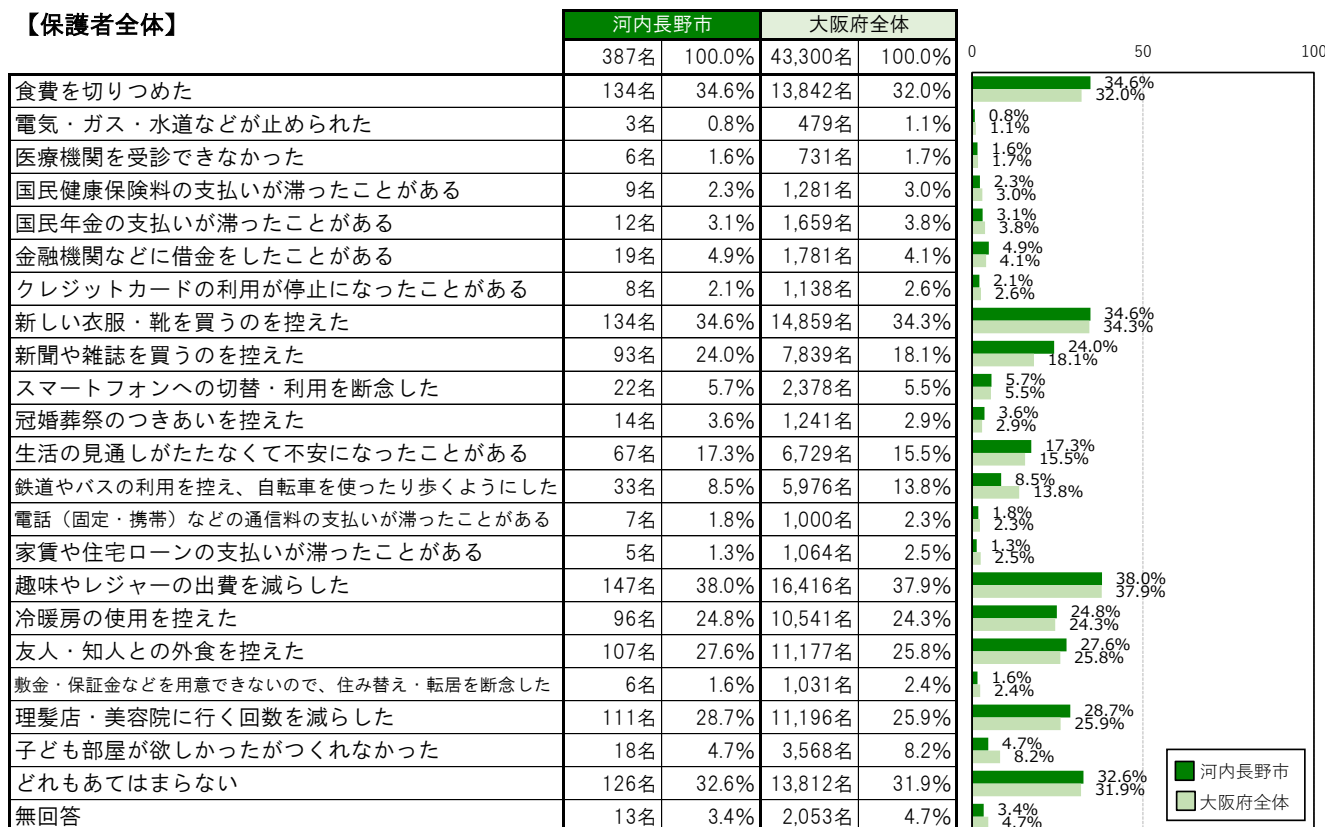
問7 経済的な理由による経験

保護者全体は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が38.0%で最も多く、次いで「食費を切りつめた」と「新しい衣服・靴を買うのを控えた」がそれぞれ34.6%、「どれもあてはまらない」が32.6%となっている。

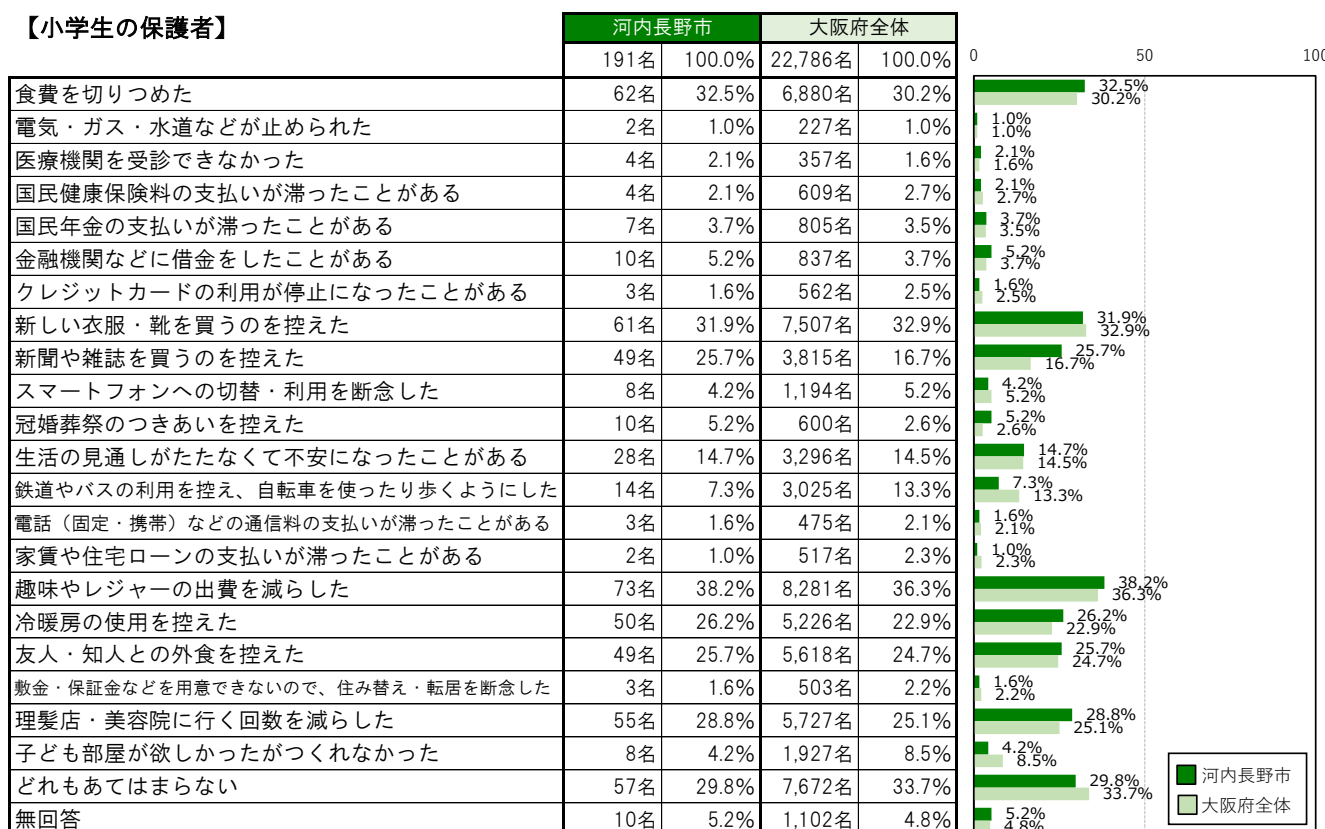
小学生の保護者は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が38.2%で最も多く、次いで「食費を切りつめた」が32.5%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が31.9%、「どれもあてはまらない」が29.8%となっている。

中学生の保護者は、「食費を切りつめた」が39.2%で最も多く、次いで「趣味やレジャーの出費を減らした」が37.9%、「どれもあてはまらない」が35.9%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が35.3%となっている。

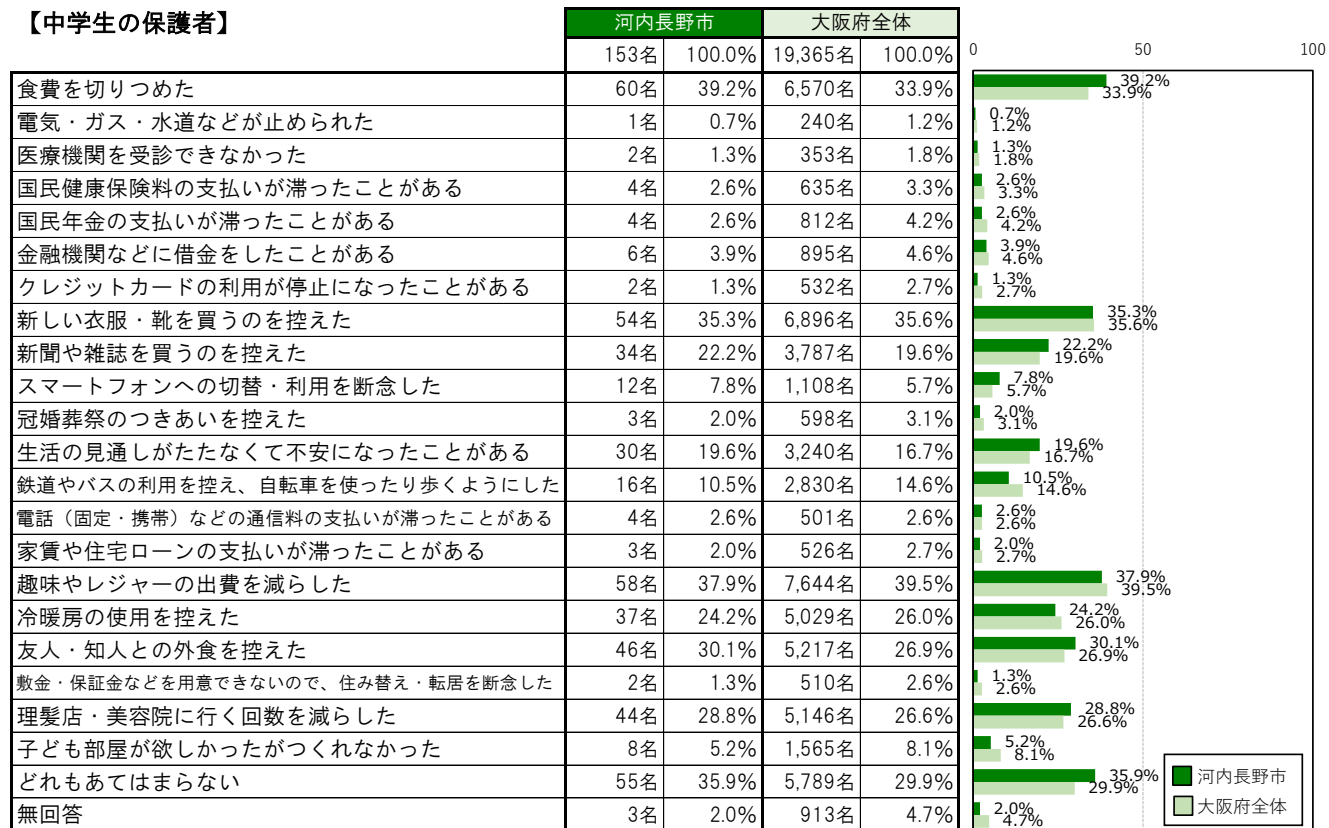
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問7 経済的な理由による経験（はく奪指標）

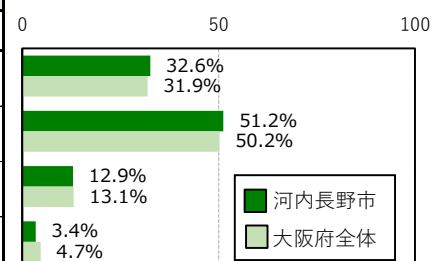
経済的な理由による経験について、はく奪指標でみると、保護者全体は、「1～6個に該当」が51.2%で最も多く、次いで「該当なし」が32.6%、「7個以上に該当」が12.9%となっている。

小学生の保護者は、「1～6個に該当」が55.0%で最も多く、次いで「該当なし」が29.8%、「7個以上に該当」が9.9%となっている。

中学生の保護者は、「1～6個に該当」が45.1%で最も多く、次いで「該当なし」が35.9%、「7個以上に該当」が17.0%となっている。

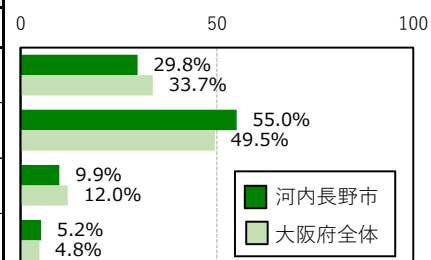
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
該当なし	126名	32.6%	13,812名	31.9%
1～6個に該当	198名	51.2%	21,747名	50.2%
7個以上に該当	50名	12.9%	5,688名	13.1%
無回答	13名	3.4%	2,053名	4.7%



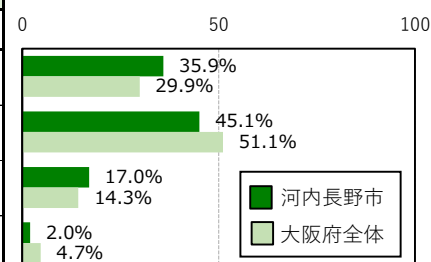
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
該当なし	57名	29.8%	7,672名	33.7%
1～6個に該当	105名	55.0%	11,270名	49.5%
7個以上に該当	19名	9.9%	2,742名	12.0%
無回答	10名	5.2%	1,102名	4.8%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
該当なし	55名	35.9%	5,789名	29.9%
1～6個に該当	69名	45.1%	9,888名	51.1%
7個以上に該当	26名	17.0%	2,775名	14.3%
無回答	3名	2.0%	913名	4.7%



世帯の状況について

問8 お母さんの最終学歴

保護者全体は、「高専、短大、専門学校等卒業」が46.5%で最も多く、次いで「大学卒業」が28.7%、「高等学校卒業」が17.3%、「高等学校中途退学」が2.8%となっている。

小学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が45.5%で最も多く、次いで「大学卒業」が31.4%、「高等学校卒業」が14.7%、「高等学校中途退学」が3.1%となっている。

中学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が47.7%で最も多く、次いで「大学卒業」が26.8%、「高等学校卒業」が19.6%、「高等学校中途退学」が3.3%となっている。

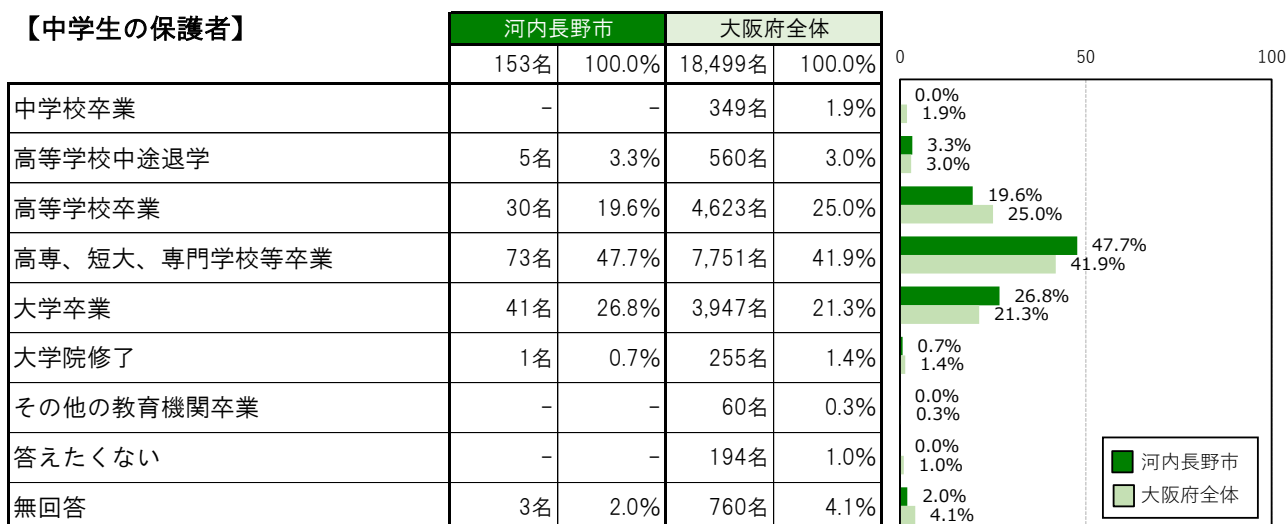
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問8 お父さんの最終学歴

保護者全体は、「大学卒業」が39.8%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が24.8%、「高専、短大、専門学校等卒業」が16.0%、「大学院修了」が5.2%となっている。

小学生の保護者は、「大学卒業」が40.3%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が23.0%、「高専、短大、専門学校等卒業」が17.8%、「大学院修了」が5.2%となっている。

中学生の保護者は、「大学卒業」が39.2%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が28.1%、「高専、短大、専門学校等卒業」が13.1%、「大学院修了」が3.9%となっている。

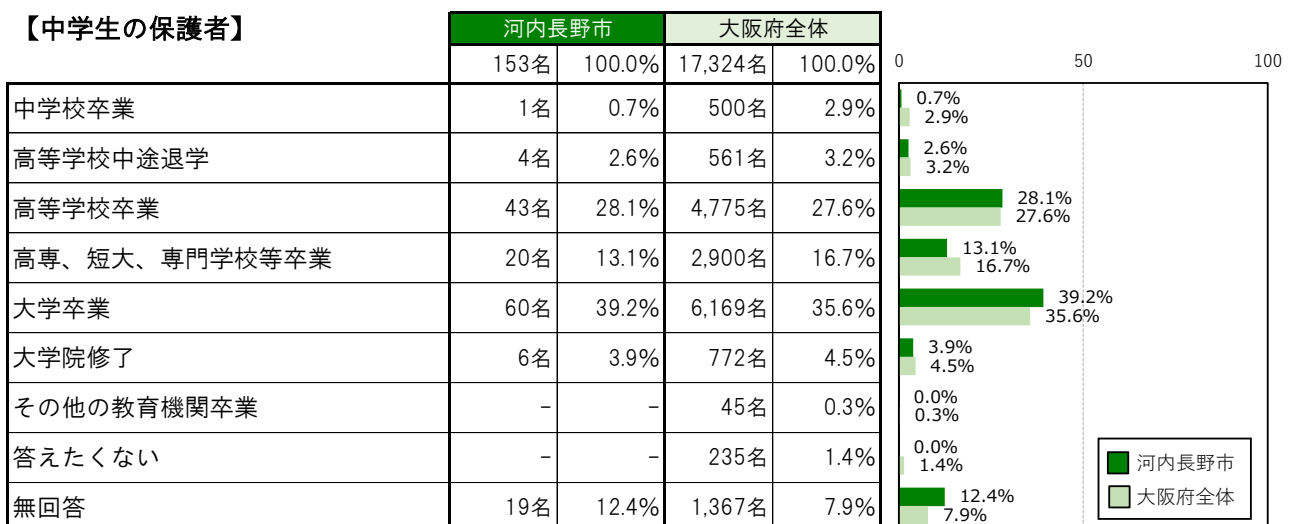
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



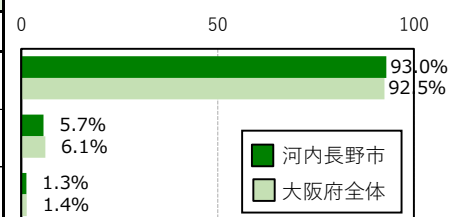
世帯の状況について

問9 お母さんの有無

保護者全体は、「いる」が93.0%、「いない」が5.7%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が94.8%、「いない」が4.2%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が92.2%、「いない」が7.2%となっている。

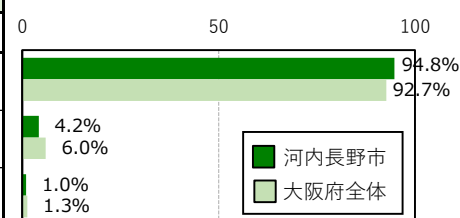
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	360名	93.0%	40,053名	92.5%
いない	22名	5.7%	2,634名	6.1%
無回答	5名	1.3%	613名	1.4%



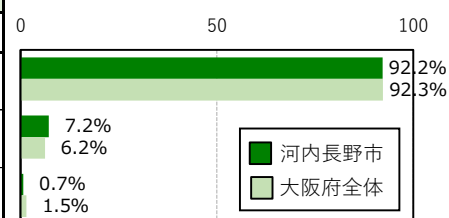
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	181名	94.8%	21,115名	92.7%
いない	8名	4.2%	1,368名	6.0%
無回答	2名	1.0%	303名	1.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	141名	92.2%	17,877名	92.3%
いない	11名	7.2%	1,192名	6.2%
無回答	1名	0.7%	296名	1.5%



世帯の状況について

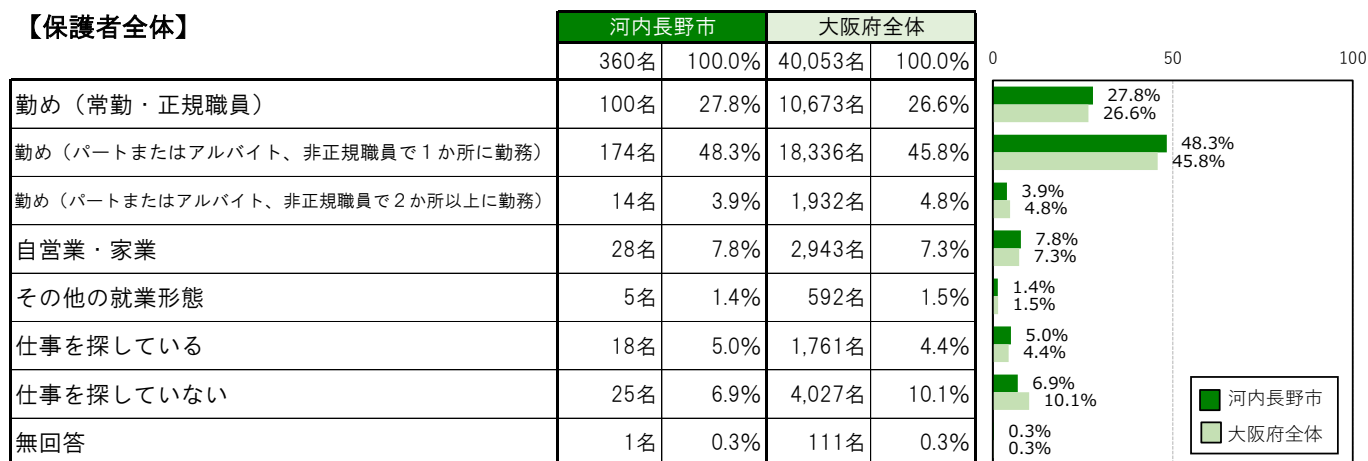
問9 お母さんの就業状況

保護者全体は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が48.3%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が27.8%、「自営業・家業」が7.8%、「仕事を探していない」が6.9%となっている。

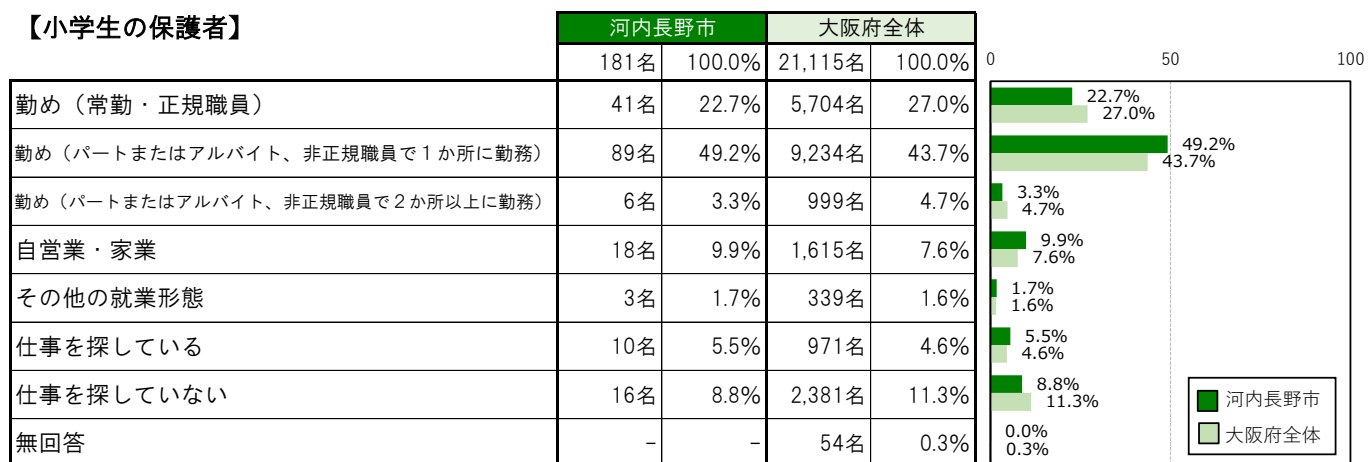
小学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が49.2%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が22.7%、「自営業・家業」が9.9%、「仕事を探していない」が8.8%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が51.8%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が32.6%、「自営業・家業」が6.4%、「仕事を探していない」が3.5%となっている。

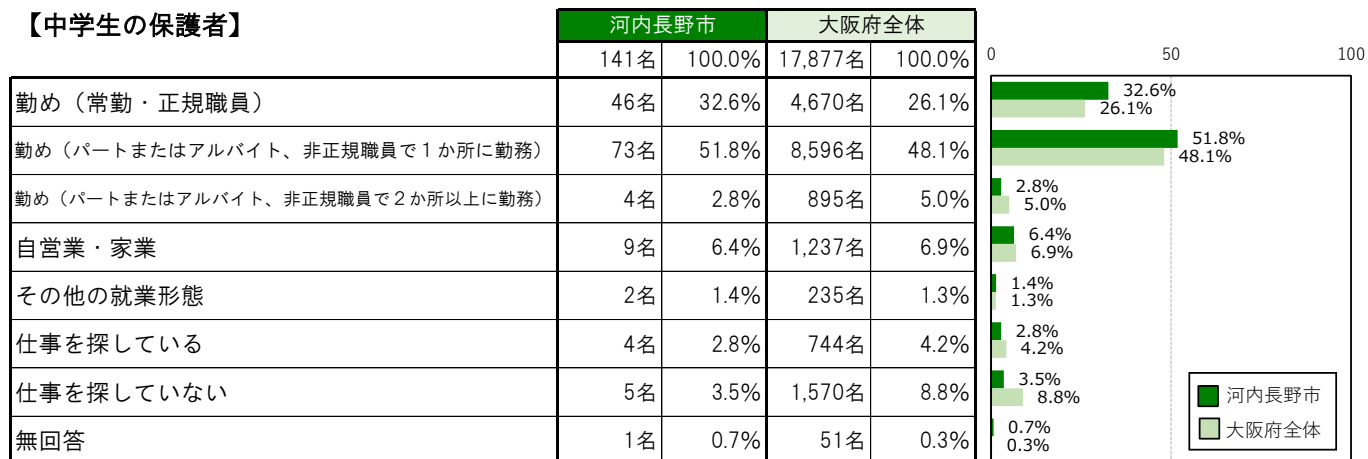
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



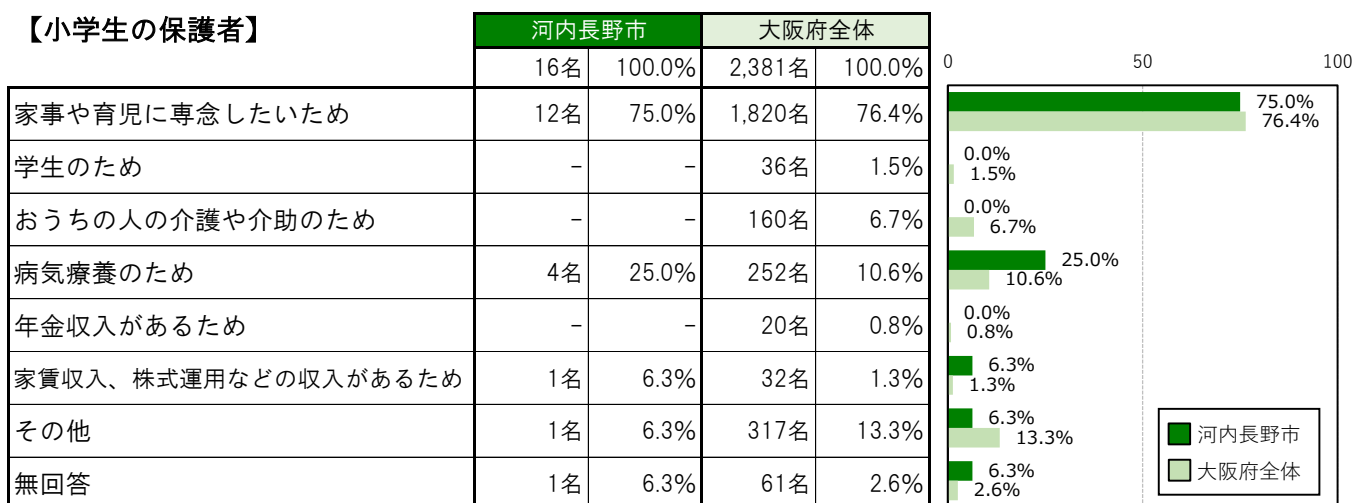
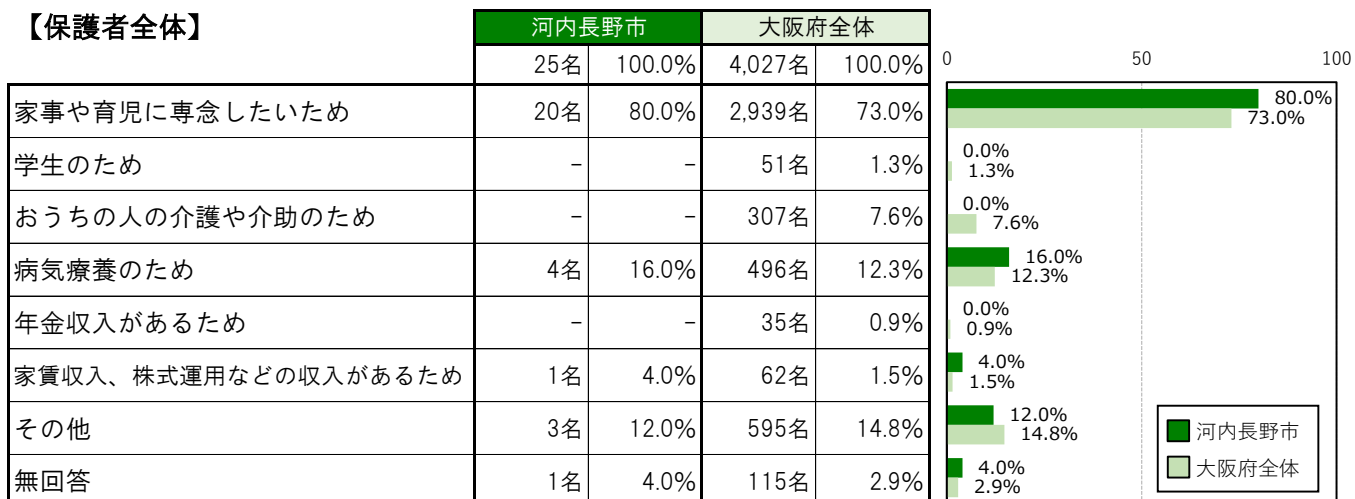
世帯の状況について

問9 お母さんが仕事を探していない理由

保護者全体は、「家事や育児に専念したいため」が80.0%（20名）で最も多く、次いで「病気療養のため」が16.0%（4名）、「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が4.0%（1名）となっている。

小学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が75.0%（12名）で最も多く、次いで「病気療養のため」が25.0%（4名）、「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が6.3%（1名）となっている。

中学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が80.0%（4名）となっている。



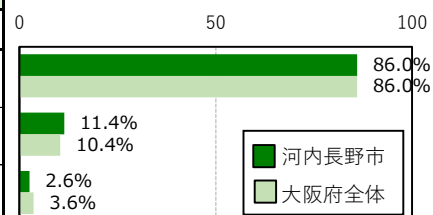
世帯の状況について

問9 お父さんの有無

保護者全体は、「いる」が86.0%、「いない」が11.4%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が89.5%、「いない」が9.9%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が83.0%、「いない」が12.4%となっている。

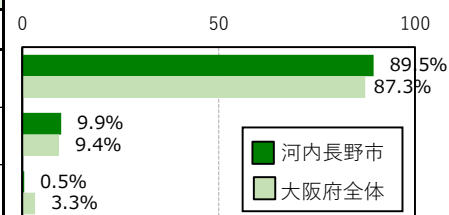
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	333名	86.0%	37,256名	86.0%
いない	44名	11.4%	4,504名	10.4%
無回答	10名	2.6%	1,540名	3.6%



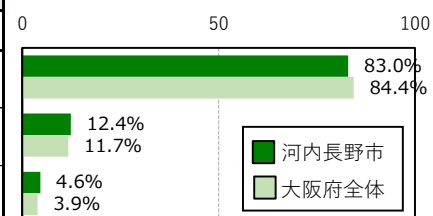
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	171名	89.5%	19,882名	87.3%
いない	19名	9.9%	2,149名	9.4%
無回答	1名	0.5%	755名	3.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	127名	83.0%	16,352名	84.4%
いない	19名	12.4%	2,261名	11.7%
無回答	7名	4.6%	752名	3.9%



世帯の状況について

問9 お父さんの就業状況

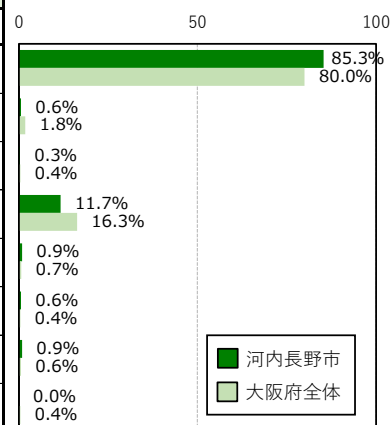
保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が85.3%で最も多く、次いで「自営業・家業」が11.7%、「その他の就業形態」と「仕事を探していない」がそれぞれ0.9%となっている。

小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が82.5%で最も多く、次いで「自営業・家業」が13.5%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」と「仕事を探していない」がそれぞれ1.2%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が87.4%で最も多く、次いで「自営業・家業」が11.0%となっている。

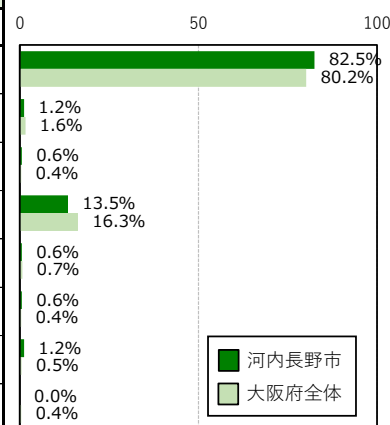
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	333名	100.0%	37,256名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	284名	85.3%	29,790名	80.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	2名	0.6%	660名	1.8%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	1名	0.3%	161名	0.4%
自営業・家業	39名	11.7%	6,063名	16.3%
その他の就業形態	3名	0.9%	258名	0.7%
仕事を探している	2名	0.6%	154名	0.4%
仕事を探していない	3名	0.9%	206名	0.6%
無回答	-	-	163名	0.4%



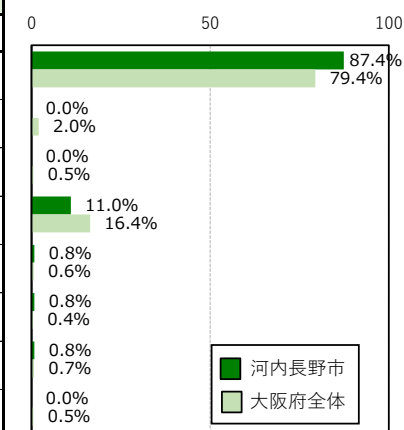
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	171名	100.0%	19,882名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	141名	82.5%	15,955名	80.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	2名	1.2%	324名	1.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	1名	0.6%	80名	0.4%
自営業・家業	23名	13.5%	3,232名	16.3%
その他の就業形態	1名	0.6%	143名	0.7%
仕事を探している	1名	0.6%	80名	0.4%
仕事を探していない	2名	1.2%	95名	0.5%
無回答	-	-	77名	0.4%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	127名	100.0%	16,352名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	111名	87.4%	12,988名	79.4%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	-	-	323名	2.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	-	-	79名	0.5%
自営業・家業	14名	11.0%	2,675名	16.4%
その他の就業形態	1名	0.8%	106名	0.6%
仕事を探している	1名	0.8%	72名	0.4%
仕事を探していない	1名	0.8%	109名	0.7%
無回答	-	-	82名	0.5%

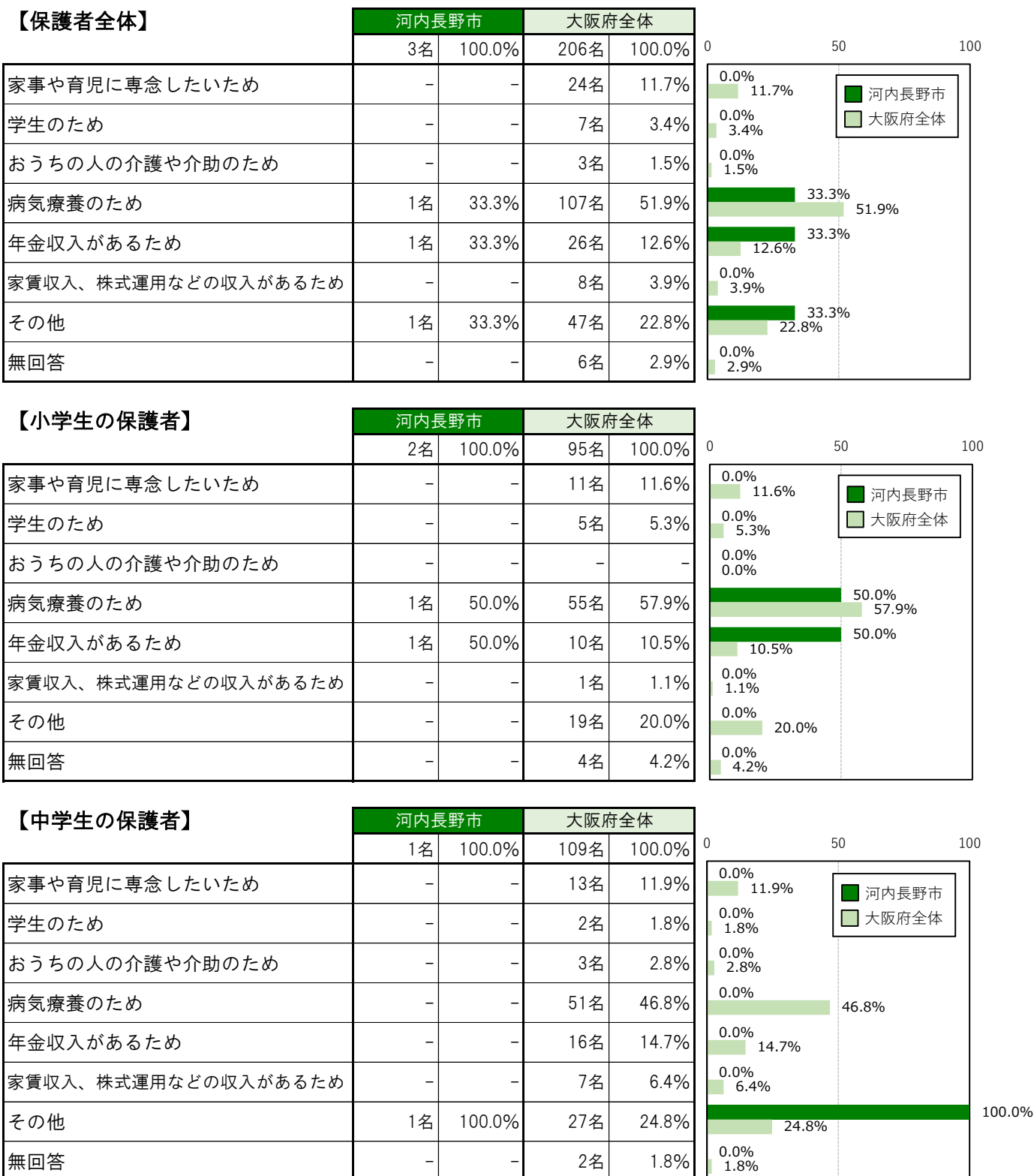


世帯の状況について

問9 お父さんが仕事を探していない理由

保護者全体は、「病気療養のため」と「年金収入があるため」がそれぞれ33.3%（1名）となっている。

小学生の保護者は、「病気療養のため」と「年金収入があるため」がそれぞれ50.0%（1名）となっている。



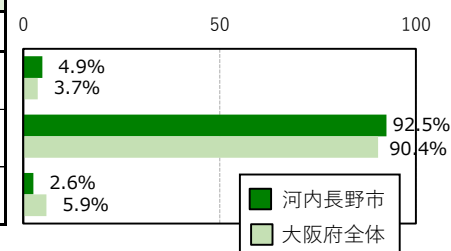
世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人の有無

保護者全体は、「いる」が4.9%、「いない」が92.5%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が3.7%、「いない」が94.2%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が5.2%、「いない」が92.2%となっている。

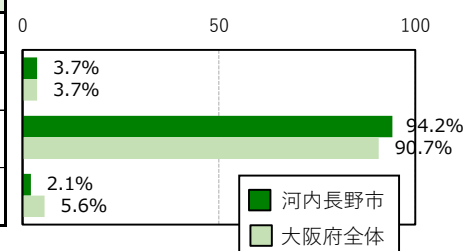
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	19名	4.9%	1,611名	3.7%
いない	358名	92.5%	39,140名	90.4%
無回答	10名	2.6%	2,549名	5.9%



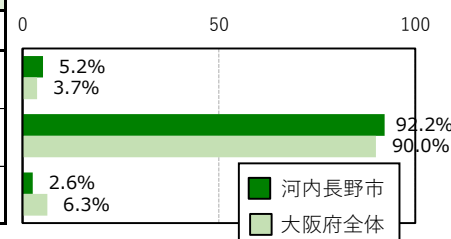
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	7名	3.7%	854名	3.7%
いない	180名	94.2%	20,666名	90.7%
無回答	4名	2.1%	1,266名	5.6%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	8名	5.2%	718名	3.7%
いない	141名	92.2%	17,432名	90.0%
無回答	4名	2.6%	1,215名	6.3%



世帯の状況について

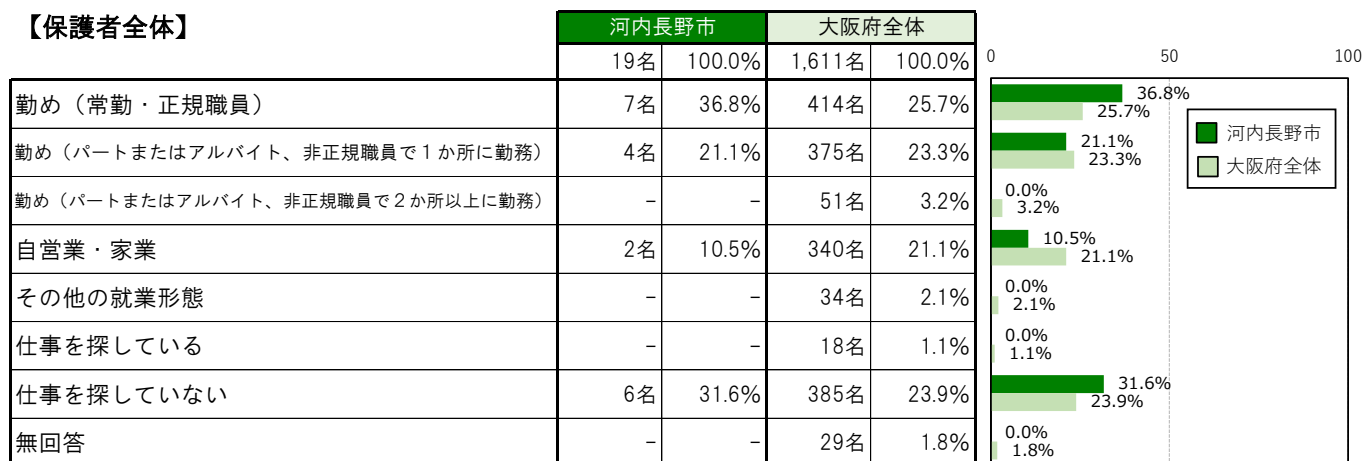
問9 親以外に主として家計を支えている人の就業状況

保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が36.8%で最も多く、次いで「仕事を探していない」が31.6%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が21.1%となっている。

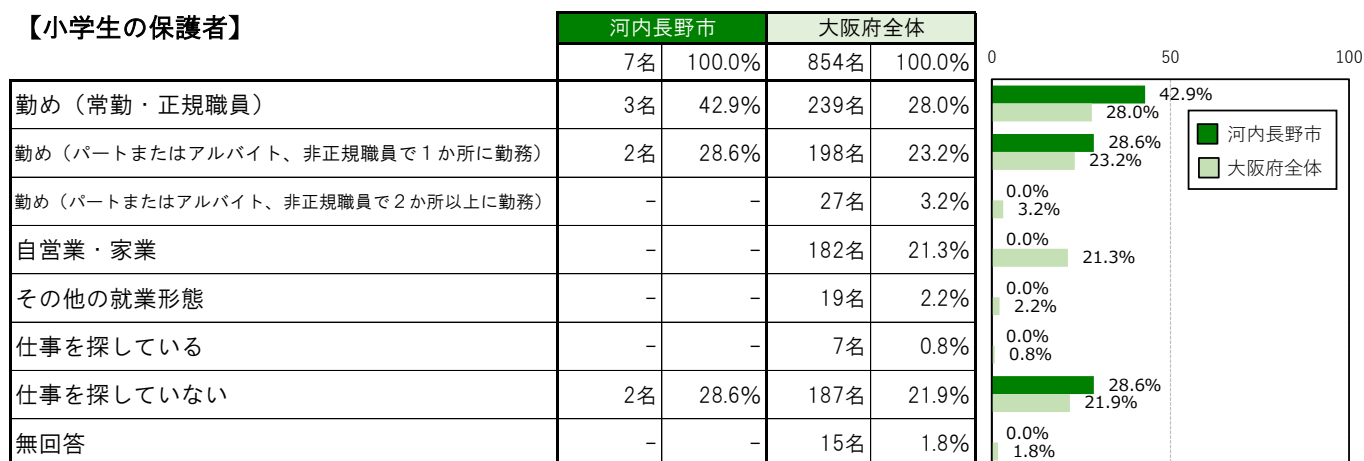
小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が42.9%で最も多く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」と「仕事を探していない」がそれぞれ28.6%となっている。

中学生の保護者は、「仕事を探していない」が37.5%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」と「自営業・家業」がそれぞれ25.0%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が12.5%となっている。

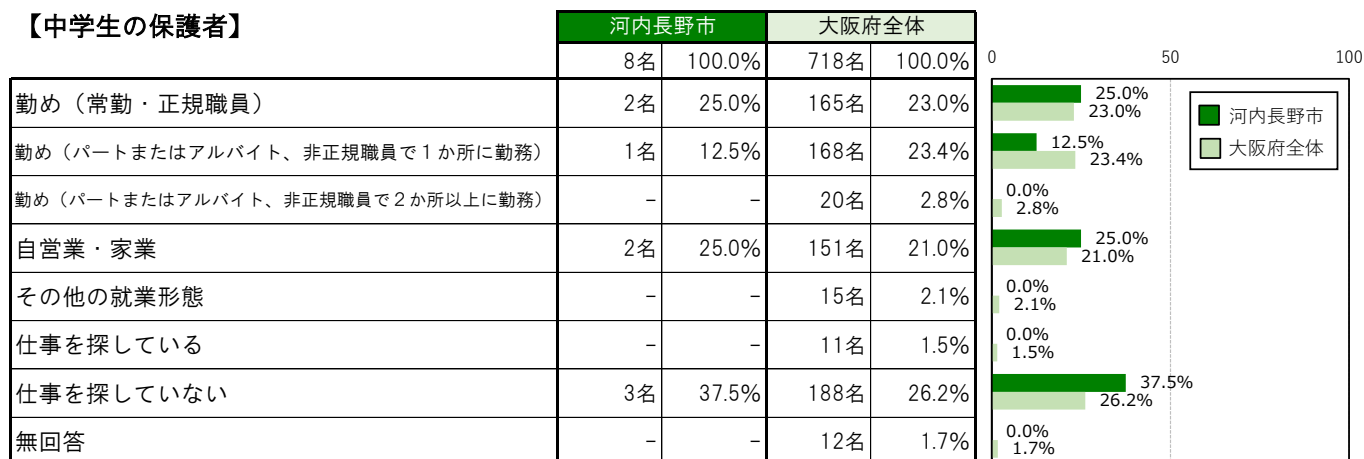
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

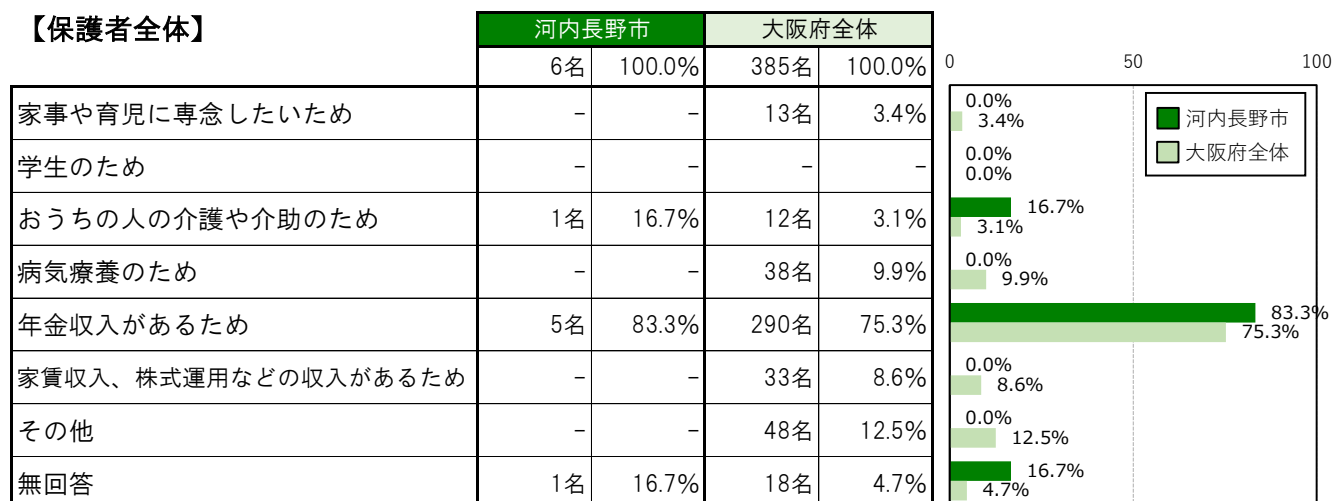
問9 親以外に主として家計を支えている人が仕事を探していない理由

保護者全体は、「年金収入があるため」が83.3%（5名）で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が16.7%（1名）となっている。

小学生の保護者は、「年金収入があるため」が100.0%（2名）で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が50.0%（1名）となっている。

中学生の保護者は、「年金収入があるため」が66.7%（2名）となっている。

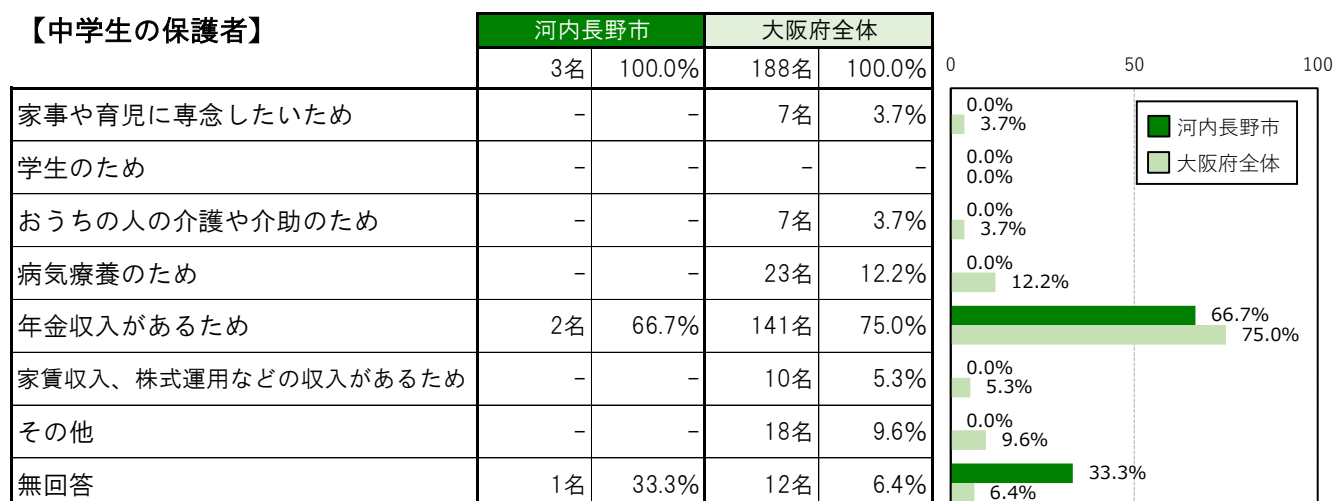
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問10 保護者が家にいる時間帯

保護者全体は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が48.8%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が44.7%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が2.8%となっている。

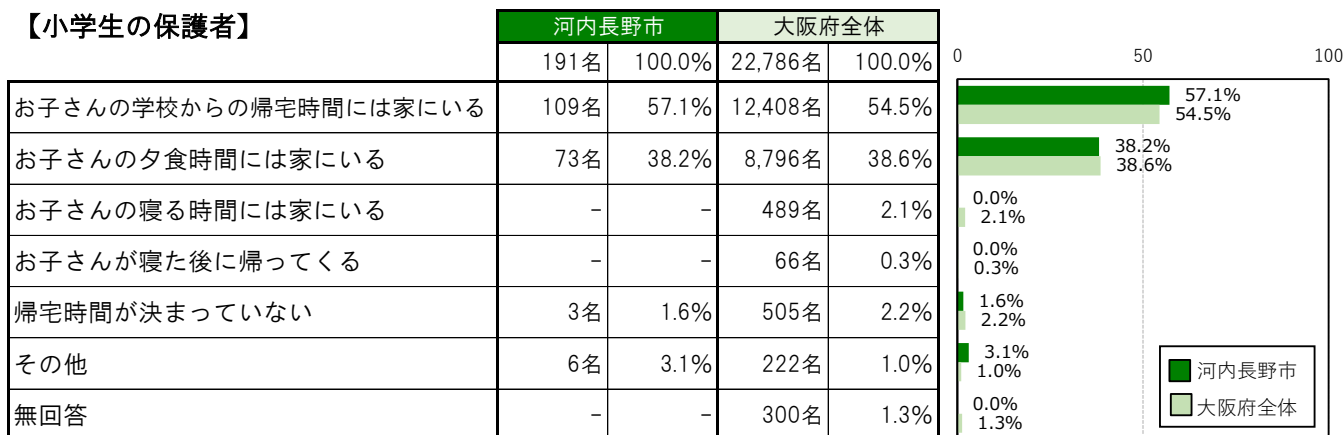
小学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が57.1%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が38.2%、「帰宅時間が決まっていない」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんの夕食時間には家にいる」が52.3%で最も多く、次いで「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が39.9%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が5.2%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問11 日本語以外の言語の使用状況

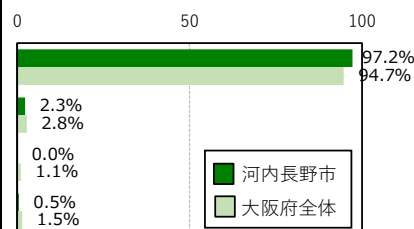
保護者全体は、「日本語のみを使用している」が97.2%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.3%となっている。

小学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が97.4%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.1%となっている。

中学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が98.0%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.0%となっている。

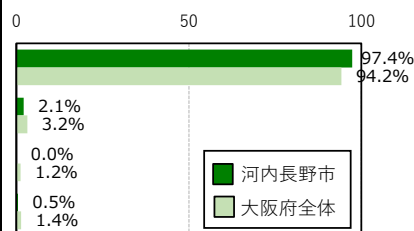
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
日本語のみを使用している	376名	97.2%	40,991名	94.7%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	9名	2.3%	1,201名	2.8%
日本語以外の言語を使うことが多い	-	-	476名	1.1%
無回答	2名	0.5%	632名	1.5%



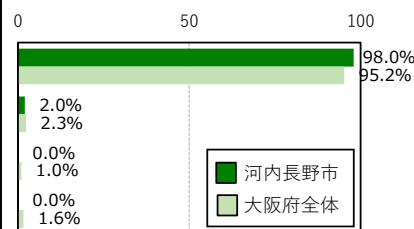
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
日本語のみを使用している	186名	97.4%	21,457名	94.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	4名	2.1%	729名	3.2%
日本語以外の言語を使うことが多い	-	-	280名	1.2%
無回答	1名	0.5%	320名	1.4%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
日本語のみを使用している	150名	98.0%	18,426名	95.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	3名	2.0%	446名	2.3%
日本語以外の言語を使うことが多い	-	-	188名	1.0%
無回答	-	-	305名	1.6%



子どもに関することについて

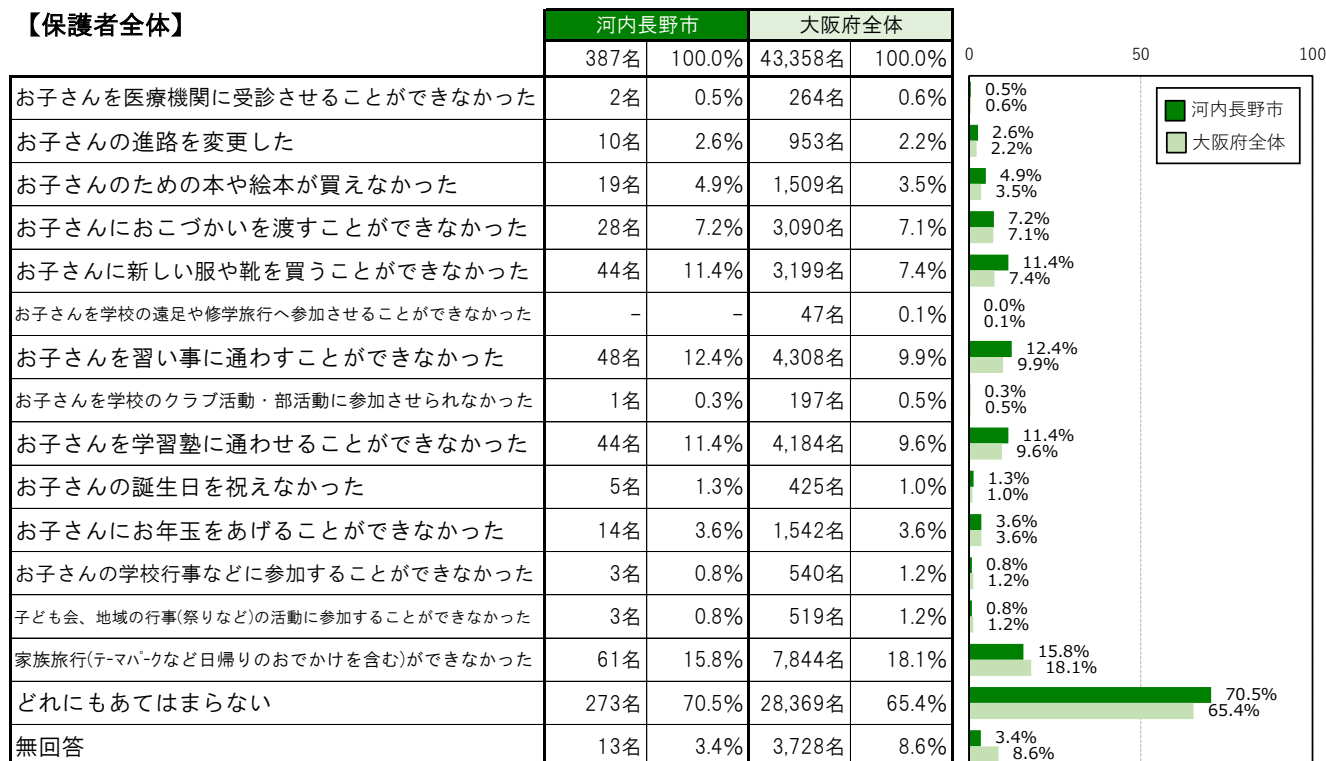
問12 経済的な理由による子どもに関する経験

保護者全体は、「どれにもあてはまらない」が70.5%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が15.8%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が12.4%、「お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった」と「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」がそれぞれ11.4%となっている。

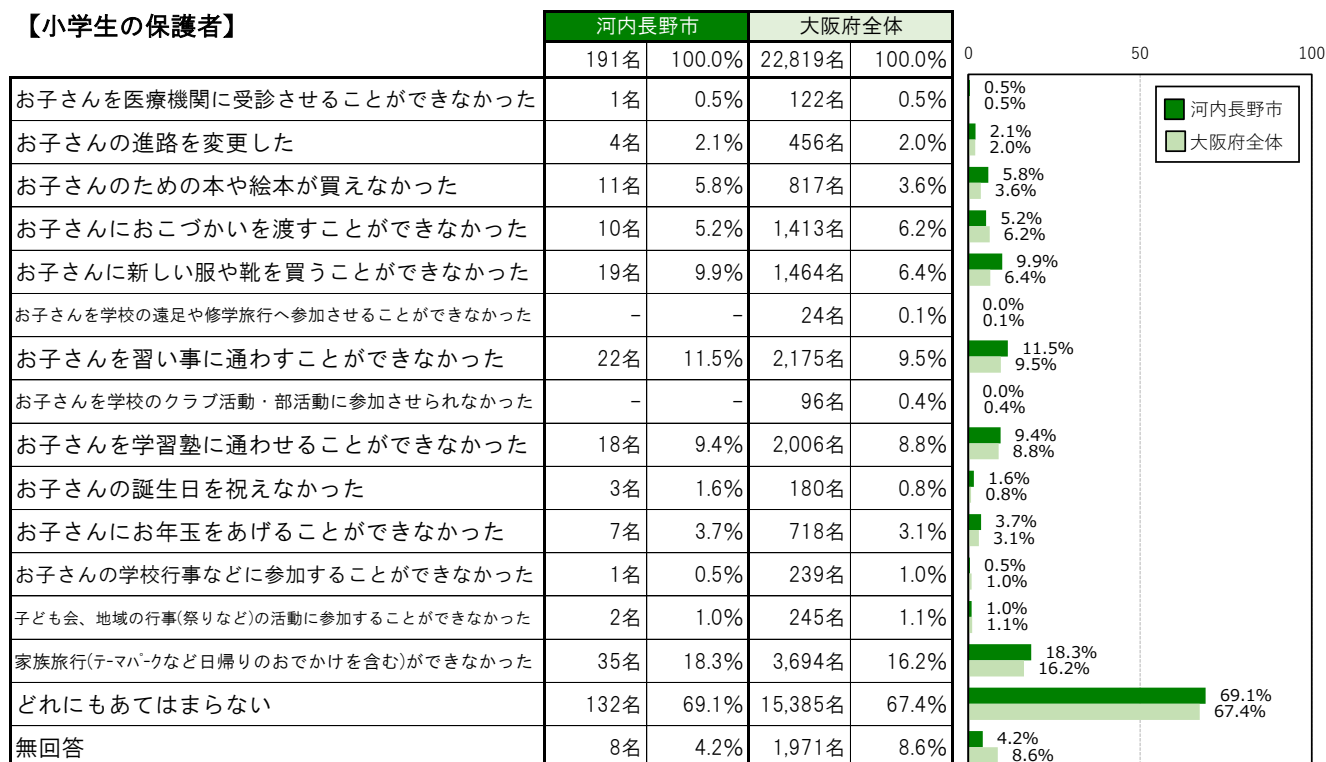
小学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が69.1%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が18.3%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が11.5%となっている。

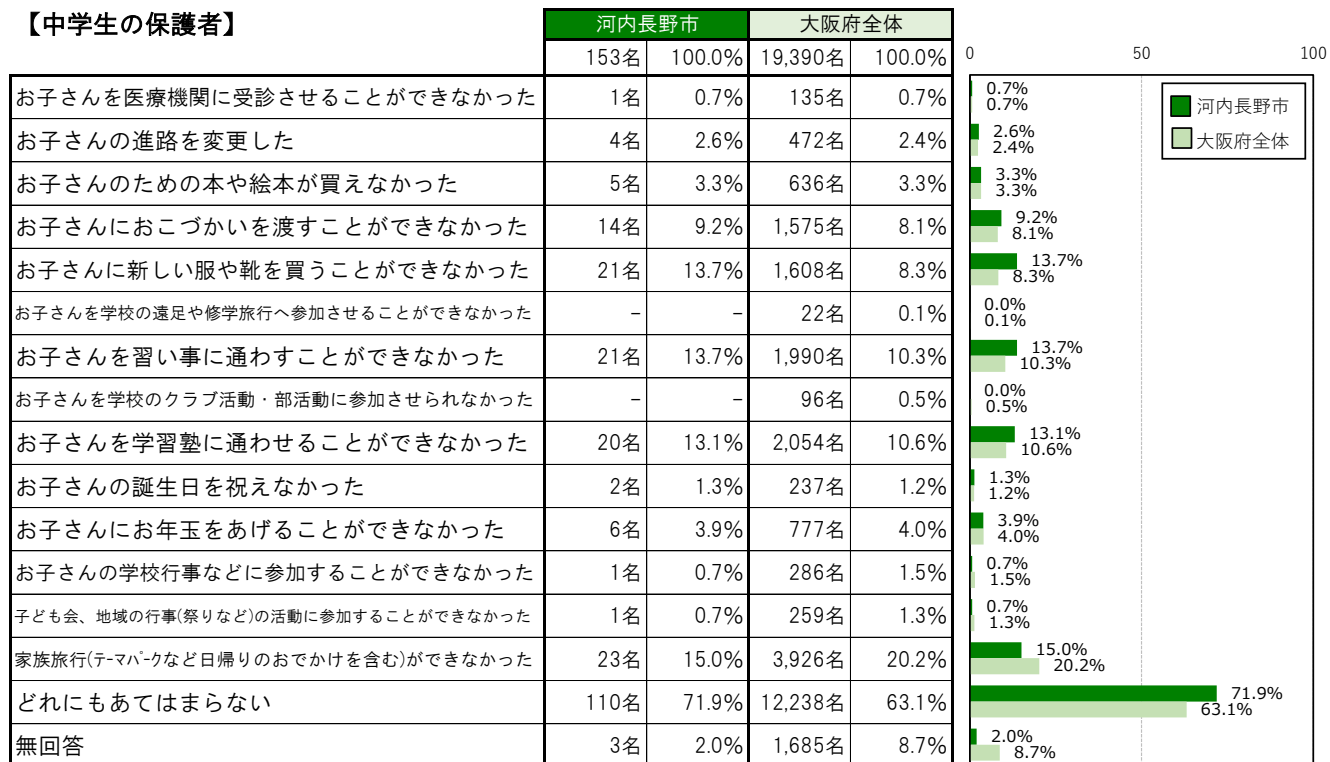
中学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が71.9%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が15.0%、「お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった」と「お子さんを習い事に通わすことができなかった」がそれぞれ13.7%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





子どもに関することについて

問13（１）子どもへの信頼度

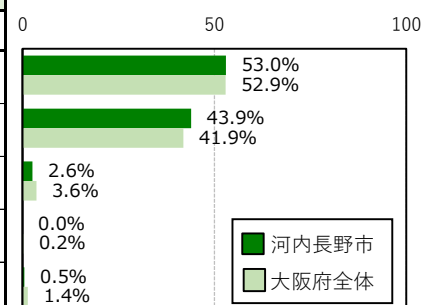
保護者全体は、「とても信頼している」が53.0%で最も多く、次いで「信頼している」が43.9%、「あまり信頼していない」が2.6%となっている。

小学生の保護者は、「とても信頼している」が59.7%で最も多く、次いで「信頼している」が38.2%、「あまり信頼していない」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「信頼している」が51.0%で最も多く、次いで「とても信頼している」が45.1%、「あまり信頼していない」が3.3%となっている。

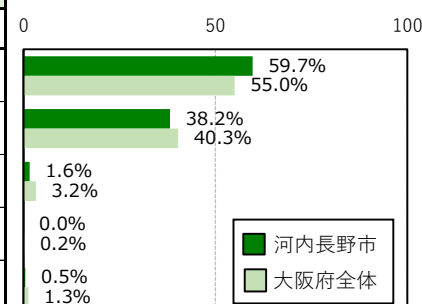
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,358名	100.0%
とても信頼している	205名	53.0%	22,948名	52.9%
信頼している	170名	43.9%	18,151名	41.9%
あまり信頼していない	10名	2.6%	1,566名	3.6%
信頼していない	-	-	101名	0.2%
無回答	2名	0.5%	592名	1.4%



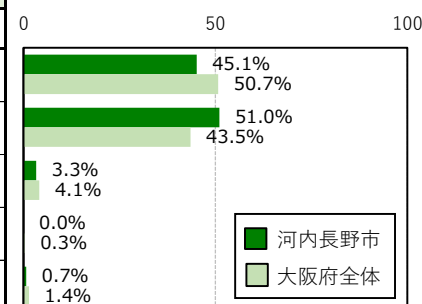
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,819名	100.0%
とても信頼している	114名	59.7%	12,553名	55.0%
信頼している	73名	38.2%	9,191名	40.3%
あまり信頼していない	3名	1.6%	720名	3.2%
信頼していない	-	-	48名	0.2%
無回答	1名	0.5%	307名	1.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,390名	100.0%
とても信頼している	69名	45.1%	9,835名	50.7%
信頼している	78名	51.0%	8,429名	43.5%
あまり信頼していない	5名	3.3%	796名	4.1%
信頼していない	-	-	50名	0.3%
無回答	1名	0.7%	280名	1.4%



子どもに関することについて

問13（２）子どもとの会話頻度

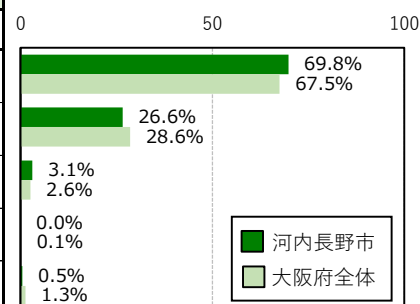
保護者全体は、「よくする」が69.8%で最も多く、次いで「する」が26.6%、「あまりしない」が3.1%となっている。

小学生の保護者は、「よくする」が73.8%で最も多く、次いで「する」が25.7%となっている。

中学生の保護者は、「よくする」が65.4%で最も多く、次いで「する」が27.5%、「あまりしない」が6.5%となっている。

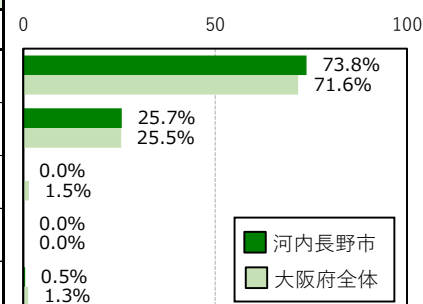
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,358名	100.0%
よくする	270名	69.8%	29,262名	67.5%
する	103名	26.6%	12,391名	28.6%
あまりしない	12名	3.1%	1,110名	2.6%
しない	-	-	30名	0.1%
無回答	2名	0.5%	565名	1.3%



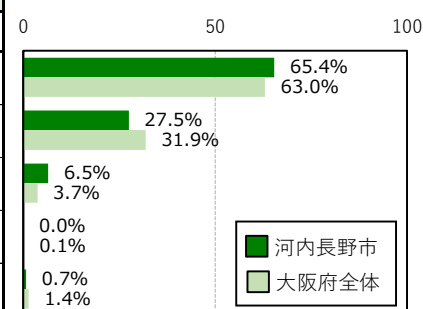
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,819名	100.0%
よくする	141名	73.8%	16,345名	71.6%
する	49名	25.7%	5,827名	25.5%
あまりしない	-	-	337名	1.5%
しない	-	-	10名	0.0%
無回答	1名	0.5%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,390名	100.0%
よくする	100名	65.4%	12,214名	63.0%
する	42名	27.5%	6,176名	31.9%
あまりしない	10名	6.5%	719名	3.7%
しない	-	-	19名	0.1%
無回答	1名	0.7%	262名	1.4%



子どもに関することについて

問13（３）平日での子どもとの関わり時間

保護者全体は、「１時間～２時間未満」が26.9%で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が21.2%、「２時間～３時間未満」が18.9%、「４時間以上」が13.7%となっている。

小学生の保護者は、「１時間～２時間未満」が30.9%で最も多く、次いで「４時間以上」が19.4%、「30分～１時間未満」が16.8%、「２時間～３時間未満」が16.2%となっている。

中学生の保護者は、「１時間～２時間未満」が25.5%で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が22.9%、「２時間～３時間未満」が22.2%、「３時間～４時間未満」が10.5%となっている。

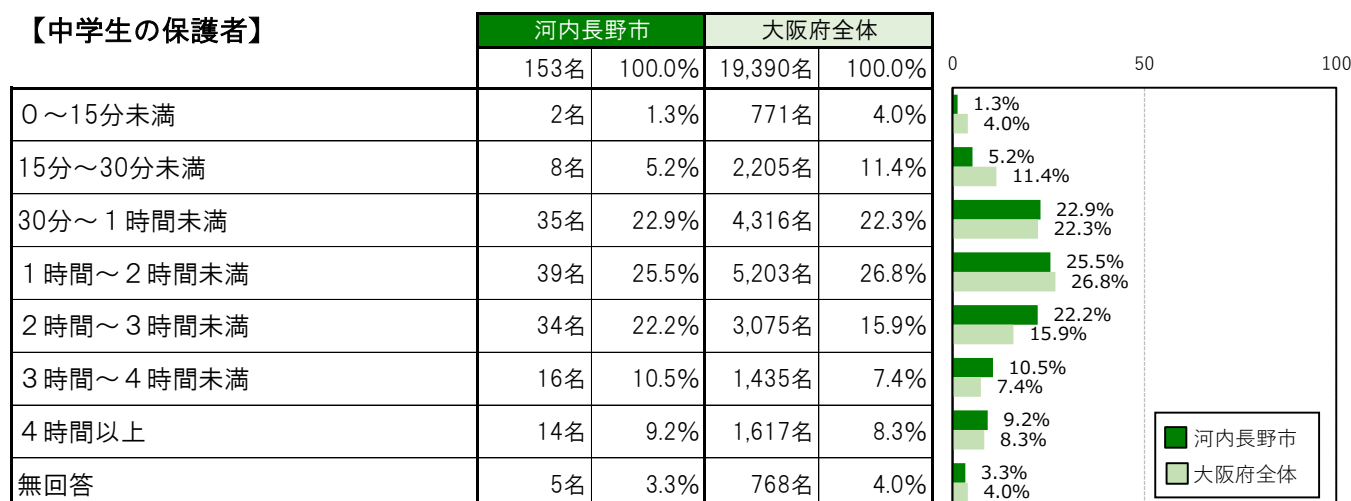
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



子どもに関することについて

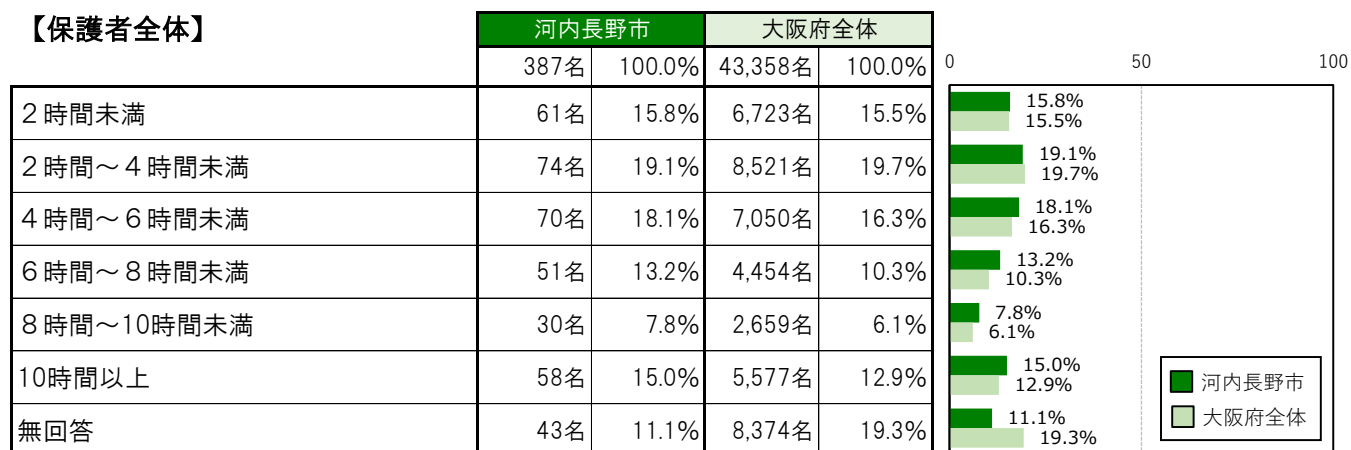
問13（３）休日での子どもとの関わり時間

保護者全体は、「２時間～４時間未満」が19.1%で最も多く、次いで「４時間～６時間未満」が18.1%、「２時間未満」が15.8%、「10時間以上」が15.0%となっている。

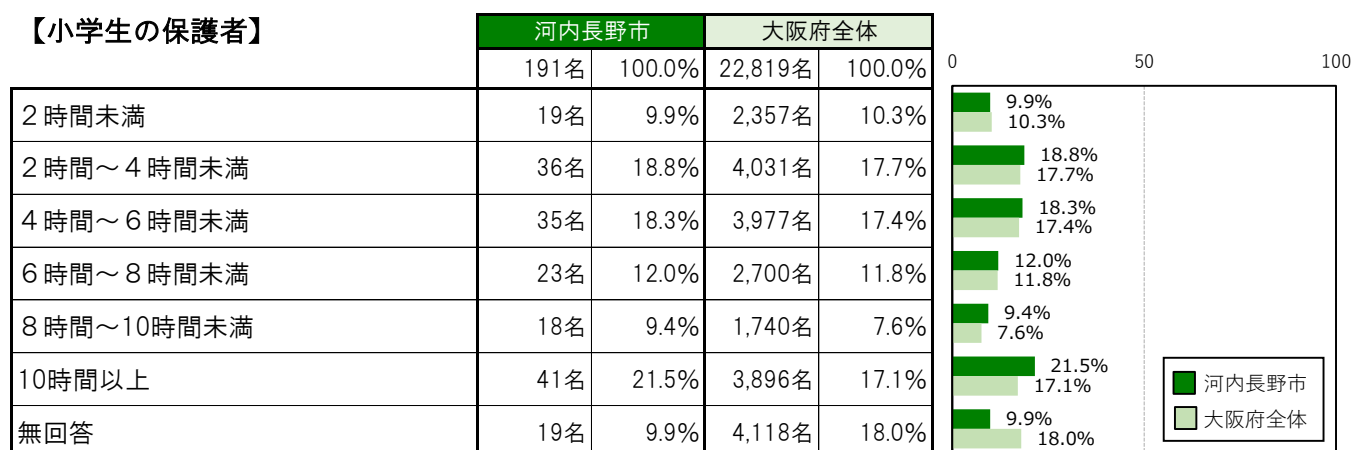
小学生の保護者は、「10時間以上」が21.5%で最も多く、次いで「２時間～４時間未満」が18.8%、「４時間～６時間未満」が18.3%、「６時間～８時間未満」が12.0%となっている。

中学生の保護者は、「２時間～４時間未満」が23.5%で最も多く、次いで「４時間～６時間未満」が18.3%、「２時間未満」が17.6%、「６時間～８時間未満」が13.1%となっている。

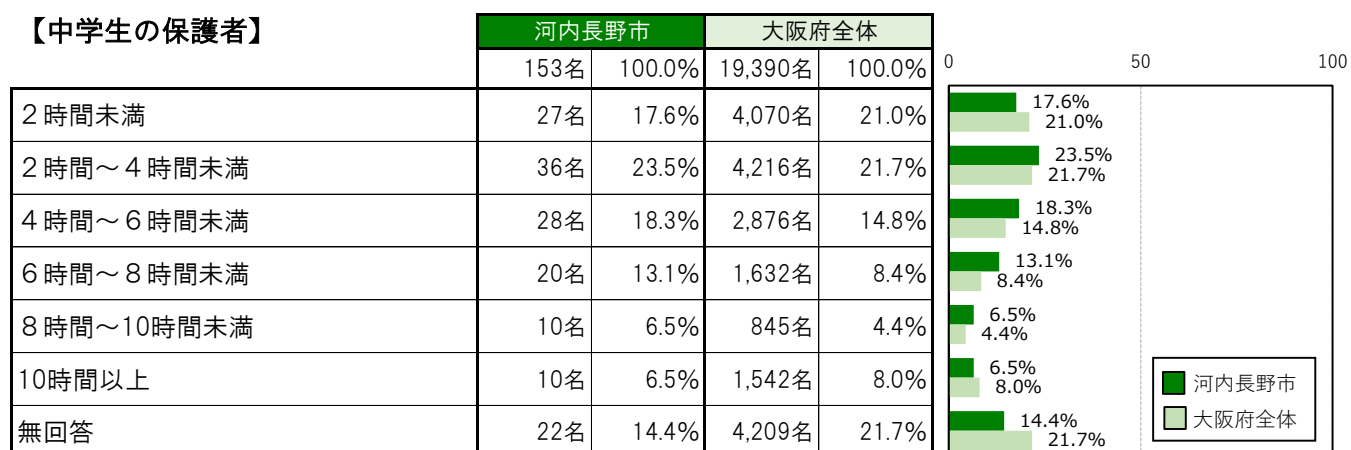
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



子どもに関することについて

問13（４）子どもの将来への期待度

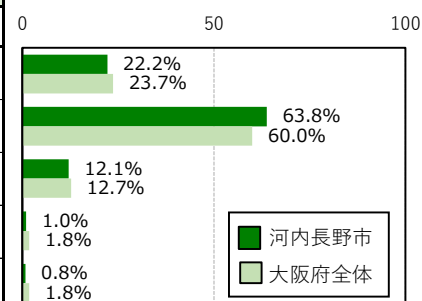
保護者全体は、「期待している」が63.8%で最も多く、次いで「とても期待している」が22.2%、「あまり期待していない」が12.1%となっている。

小学生の保護者は、「期待している」が59.7%で最も多く、次いで「とても期待している」が29.8%、「あまり期待していない」が9.4%となっている。

中学生の保護者は、「期待している」が69.3%で最も多く、次いで「あまり期待していない」が15.0%、「とても期待している」が12.4%となっている。

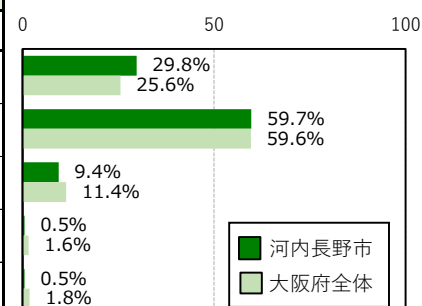
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
とても期待している	86名	22.2%	10,264名	23.7%
期待している	247名	63.8%	26,035名	60.0%
あまり期待していない	47名	12.1%	5,485名	12.7%
期待していない	4名	1.0%	779名	1.8%
無回答	3名	0.8%	795名	1.8%



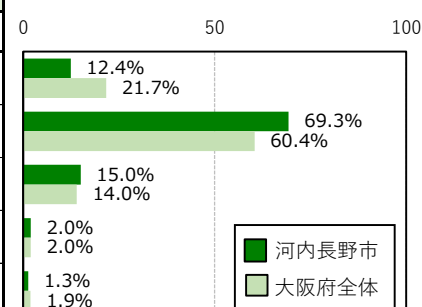
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
とても期待している	57名	29.8%	5,831名	25.6%
期待している	114名	59.7%	13,610名	59.6%
あまり期待していない	18名	9.4%	2,603名	11.4%
期待していない	1名	0.5%	363名	1.6%
無回答	1名	0.5%	412名	1.8%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
とても期待している	19名	12.4%	4,207名	21.7%
期待している	106名	69.3%	11,704名	60.4%
あまり期待していない	23名	15.0%	2,717名	14.0%
期待していない	3名	2.0%	388名	2.0%
無回答	2名	1.3%	374名	1.9%



子どもに関することについて

問13（５）子どもの授業参観や運動会などの学校行事への参加状況

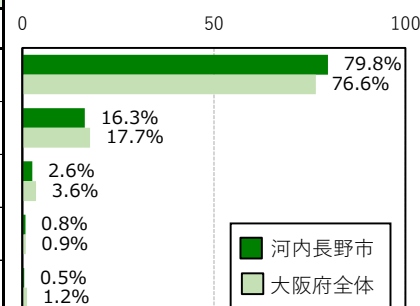
保護者全体は、「よく参加している」が79.8%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が16.3%、「あまり参加していない」が2.6%となっている。

小学生の保護者は、「よく参加している」が90.6%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が7.9%、「あまり参加していない」と「まったく参加していない」がそれぞれ0.5%となっている。

中学生の保護者は、「よく参加している」が68.6%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が25.5%、「あまり参加していない」が3.9%、「まったく参加していない」が1.3%となっている。

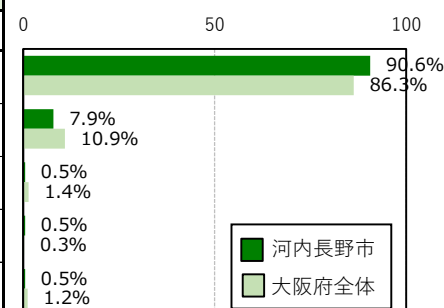
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,358名	100.0%
よく参加している	309名	79.8%	33,215名	76.6%
ときどき参加している	63名	16.3%	7,691名	17.7%
あまり参加していない	10名	2.6%	1,550名	3.6%
まったく参加していない	3名	0.8%	376名	0.9%
無回答	2名	0.5%	526名	1.2%



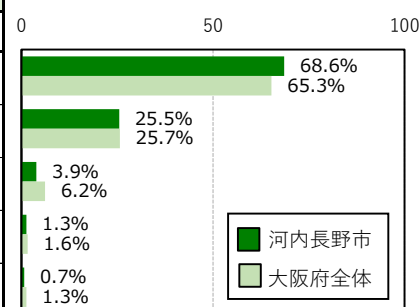
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,819名	100.0%
よく参加している	173名	90.6%	19,697名	86.3%
ときどき参加している	15名	7.9%	2,477名	10.9%
あまり参加していない	1名	0.5%	309名	1.4%
まったく参加していない	1名	0.5%	58名	0.3%
無回答	1名	0.5%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,390名	100.0%
よく参加している	105名	68.6%	12,665名	65.3%
ときどき参加している	39名	25.5%	4,975名	25.7%
あまり参加していない	6名	3.9%	1,202名	6.2%
まったく参加していない	2名	1.3%	304名	1.6%
無回答	1名	0.7%	244名	1.3%



子どもに関することについて

問14 子どもに希望する進学

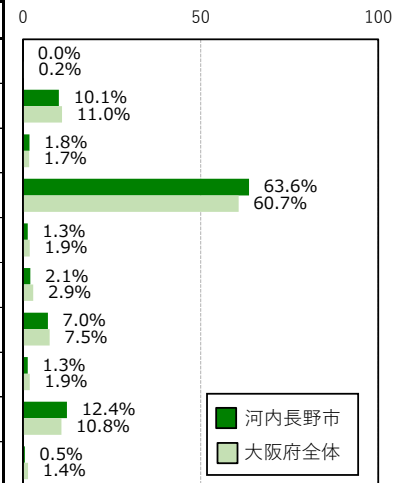
保護者全体は、「大学」が63.6%で最も多く、次いで「高校」が10.1%、「専門学校・高等専門学校」が7.0%、「留学」が2.1%となっている。

小学生の保護者は、「大学」が64.9%で最も多く、次いで「専門学校・高等専門学校」が7.3%、「高校」が5.8%、「考えたことがない」が2.6%となっている。

中学生の保護者は、「大学」が63.4%で最も多く、次いで「高校」が15.7%、「専門学校・高等専門学校」が6.5%、「留学」が2.6%となっている。

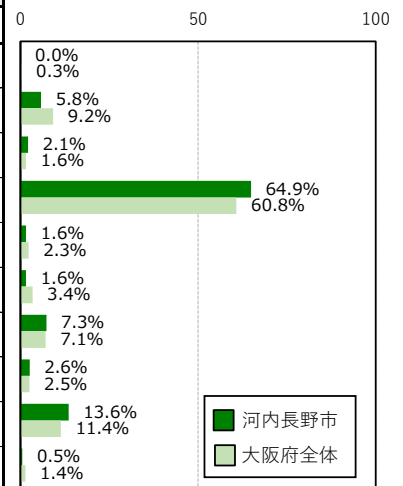
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,358名	100.0%
中学校	-	-	106名	0.2%
高校	39名	10.1%	4,765名	11.0%
短期大学	7名	1.8%	716名	1.7%
大学	246名	63.6%	26,334名	60.7%
大学院	5名	1.3%	827名	1.9%
留学	8名	2.1%	1,261名	2.9%
専門学校・高等専門学校	27名	7.0%	3,262名	7.5%
考えたことがない	5名	1.3%	818名	1.9%
わからない	48名	12.4%	4,674名	10.8%
無回答	2名	0.5%	595名	1.4%



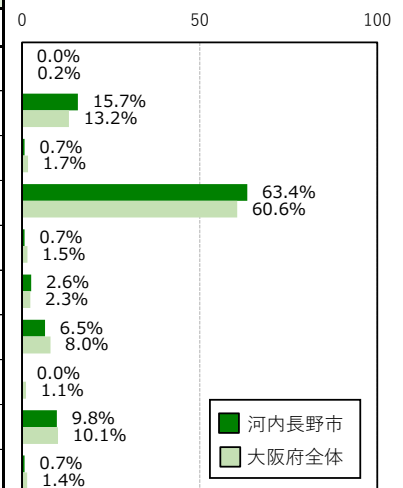
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,819名	100.0%
中学校	-	-	72名	0.3%
高校	11名	5.8%	2,090名	9.2%
短期大学	4名	2.1%	366名	1.6%
大学	124名	64.9%	13,868名	60.8%
大学院	3名	1.6%	519名	2.3%
留学	3名	1.6%	786名	3.4%
専門学校・高等専門学校	14名	7.3%	1,631名	7.1%
考えたことがない	5名	2.6%	579名	2.5%
わからない	26名	13.6%	2,592名	11.4%
無回答	1名	0.5%	316名	1.4%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,390名	100.0%
中学校	-	-	31名	0.2%
高校	24名	15.7%	2,557名	13.2%
短期大学	1名	0.7%	322名	1.7%
大学	97名	63.4%	11,753名	60.6%
大学院	1名	0.7%	285名	1.5%
留学	4名	2.6%	451名	2.3%
専門学校・高等専門学校	10名	6.5%	1,548名	8.0%
考えたことがない	-	-	219名	1.1%
わからない	15名	9.8%	1,951名	10.1%
無回答	1名	0.7%	273名	1.4%



子どもに関することについて

問15 子どもの通学状況

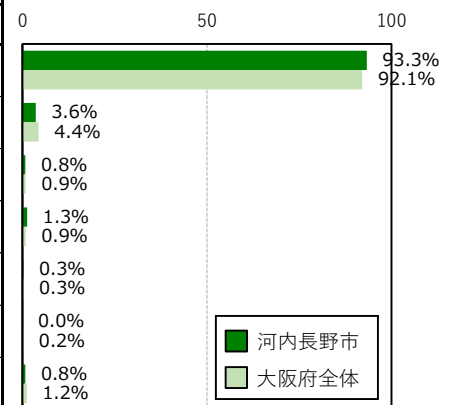
保護者全体は、「ほぼ毎日通っている」が93.3%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が3.6%、「欠席が年間60日以上、1年未満である」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が96.9%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が1.6%、「欠席が年間60日以上、1年未満である」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が88.9%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が6.5%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が2.0%となっている。

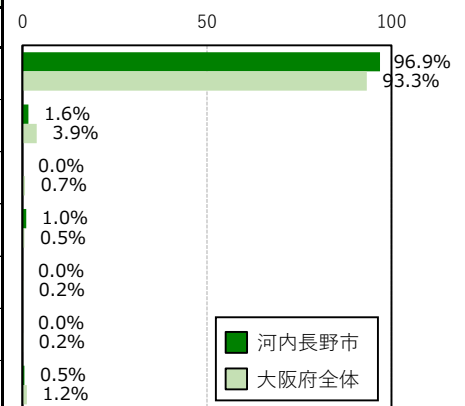
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,358名	100.0%
ほぼ毎日通っている	361名	93.3%	39,916名	92.1%
欠席は年間30日未満である	14名	3.6%	1,900名	4.4%
欠席が年間30日以上、60日未満である	3名	0.8%	406名	0.9%
欠席が年間60日以上、1年未満である	5名	1.3%	379名	0.9%
欠席が1年以上続いている	1名	0.3%	127名	0.3%
わからない	-	-	108名	0.2%
無回答	3名	0.8%	522名	1.2%



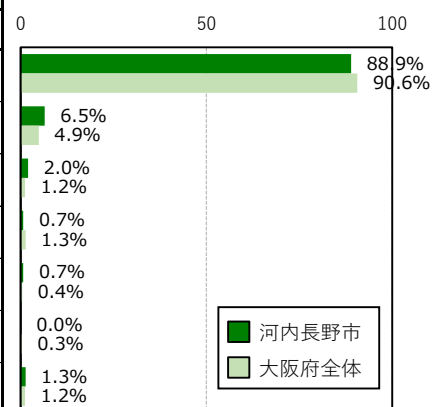
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,819名	100.0%
ほぼ毎日通っている	185名	96.9%	21,301名	93.3%
欠席は年間30日未満である	3名	1.6%	895名	3.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	-	-	158名	0.7%
欠席が年間60日以上、1年未満である	2名	1.0%	107名	0.5%
欠席が1年以上続いている	-	-	36名	0.2%
わからない	-	-	44名	0.2%
無回答	1名	0.5%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,390名	100.0%
ほぼ毎日通っている	136名	88.9%	17,568名	90.6%
欠席は年間30日未満である	10名	6.5%	945名	4.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	3名	2.0%	232名	1.2%
欠席が年間60日以上、1年未満である	1名	0.7%	257名	1.3%
欠席が1年以上続いている	1名	0.7%	86名	0.4%
わからない	-	-	62名	0.3%
無回答	2名	1.3%	240名	1.2%



子どもに関することについて

問16（１）子どもの居場所の利用経験

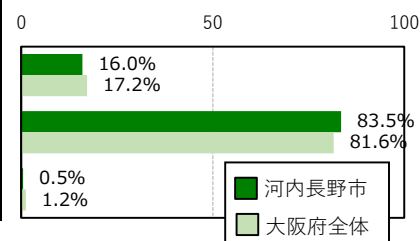
保護者全体は、「利用したことがある」が16.0%、「利用したことがない」が83.5%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがある」が21.5%、「利用したことがない」が78.0%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがある」が9.2%、「利用したことがない」が90.2%となっている。

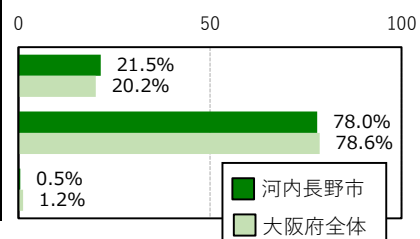
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,358名	100.0%
利用したことがある	62名	16.0%	7,459名	17.2%
利用したことがない	323名	83.5%	35,367名	81.6%
無回答	2名	0.5%	532名	1.2%



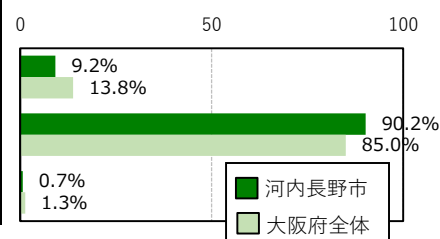
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,819名	100.0%
利用したことがある	41名	21.5%	4,599名	20.2%
利用したことがない	149名	78.0%	17,945名	78.6%
無回答	1名	0.5%	275名	1.2%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,390名	100.0%
利用したことがある	14名	9.2%	2,667名	13.8%
利用したことがない	138名	90.2%	16,472名	85.0%
無回答	1名	0.7%	251名	1.3%



子どもに関することについて

問16（２）子どもの居場所を利用することで良いと思うこと

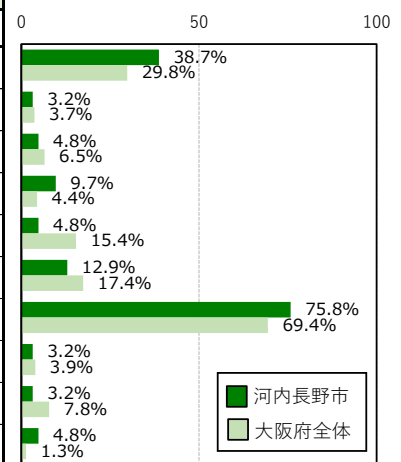
保護者全体は、「お子さんが楽しんでいるから」が75.8%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が38.7%、「宿題など勉強を見てくれるから」が12.9%、「運営者が相談に乗ってくれるから」が9.7%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」（32名）が78.0%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」（17名）が41.5%、「宿題など勉強を見てくれるから」（3名）が7.3%、「お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから」（2名）と「栄養バランスがとれた食事がとれるから」（2名）、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」（2名）がそれぞれ4.9%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が57.1%（8名）で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が42.9%（6名）、「運営者が相談に乗ってくれるから」と「宿題など勉強を見てくれるから」がそれぞれ28.6%（4名）となっている。

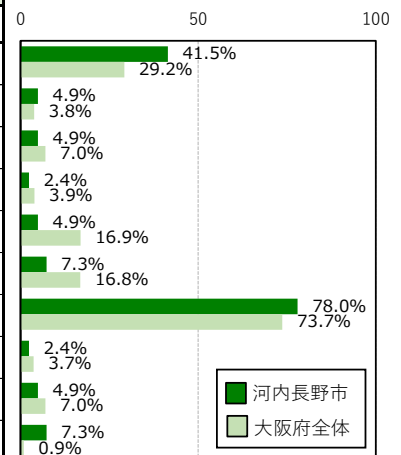
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	62名	100.0%	7,459名	100.0%
地域の人とつながれるから	24名	38.7%	2,226名	29.8%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	2名	3.2%	275名	3.7%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	3名	4.8%	484名	6.5%
運営者が相談に乗ってくれるから	6名	9.7%	329名	4.4%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	3名	4.8%	1,152名	15.4%
宿題など勉強を見てくれるから	8名	12.9%	1,301名	17.4%
お子さんが楽しんでいるから	47名	75.8%	5,178名	69.4%
特になし	2名	3.2%	291名	3.9%
その他	2名	3.2%	579名	7.8%
無回答	3名	4.8%	95名	1.3%



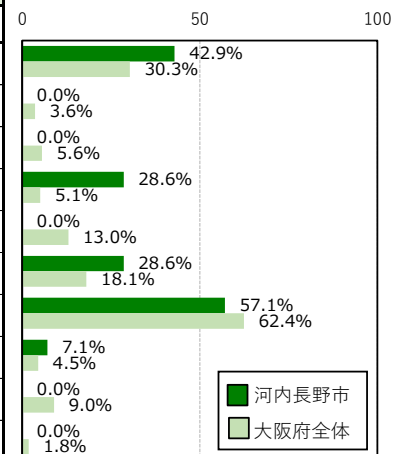
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	41名	100.0%	4,599名	100.0%
地域の人とつながれるから	17名	41.5%	1,344名	29.2%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	2名	4.9%	173名	3.8%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	2名	4.9%	322名	7.0%
運営者が相談に乗ってくれるから	1名	2.4%	180名	3.9%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	2名	4.9%	778名	16.9%
宿題など勉強を見てくれるから	3名	7.3%	773名	16.8%
お子さんが楽しんでいるから	32名	78.0%	3,388名	73.7%
特になし	1名	2.4%	168名	3.7%
その他	2名	4.9%	324名	7.0%
無回答	3名	7.3%	43名	0.9%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	14名	100.0%	2,667名	100.0%
地域の人とつながれるから	6名	42.9%	808名	30.3%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	-	-	97名	3.6%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	-	-	150名	5.6%
運営者が相談に乗ってくれるから	4名	28.6%	136名	5.1%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	-	-	348名	13.0%
宿題など勉強を見てくれるから	4名	28.6%	482名	18.1%
お子さんが楽しんでいるから	8名	57.1%	1,664名	62.4%
特になし	1名	7.1%	120名	4.5%
その他	-	-	241名	9.0%
無回答	-	-	47名	1.8%



子どもに関することについて

問16（３）子どもの居場所を利用しない理由

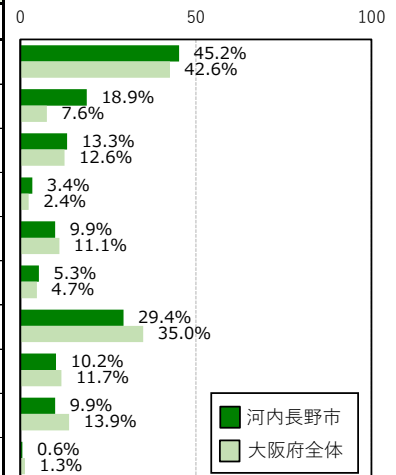
保護者全体は、「どこにあるか知らないから」が45.2%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が29.4%、「家の近く（小学校区内）にないから」が18.9%、「家で過ごしてほしいと思うから」が13.3%となっている。

小学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が46.3%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が25.5%、「家の近く（小学校区内）にないから」が22.1%、「家で過ごしてほしいと思うから」が13.4%となっている。

中学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が45.7%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が29.7%、「家の近く（小学校区内）にないから」が15.9%となっている。

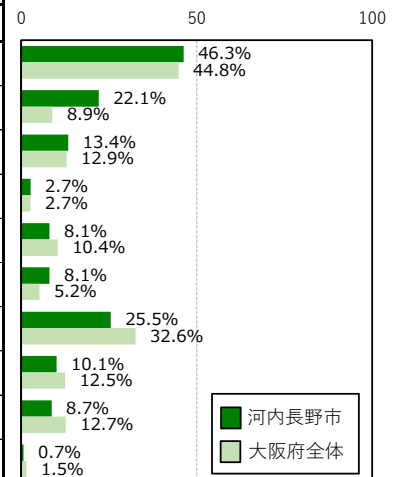
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	323名	100.0%	35,367名	100.0%
どこにあるか知らないから	146名	45.2%	15,060名	42.6%
家の近く（小学校区内）にないから	61名	18.9%	2,697名	7.6%
家で過ごしてほしいと思うから	43名	13.3%	4,452名	12.6%
居場所のイメージがよくないから	11名	3.4%	862名	2.4%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	32名	9.9%	3,936名	11.1%
行きたい日・時間に開いていないから	17名	5.3%	1,647名	4.7%
利用したいと思わないから	95名	29.4%	12,386名	35.0%
何をしているかわからないから	33名	10.2%	4,149名	11.7%
その他	32名	9.9%	4,908名	13.9%
無回答	2名	0.6%	473名	1.3%



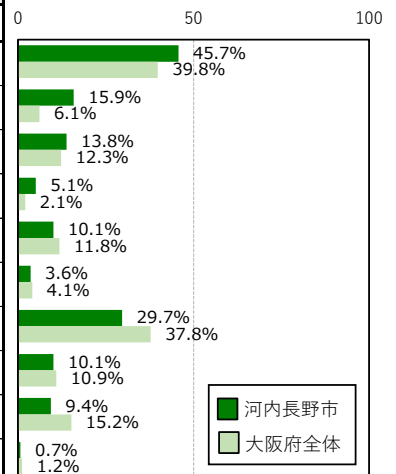
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	149名	100.0%	17,945名	100.0%
どこにあるか知らないから	69名	46.3%	8,048名	44.8%
家の近く（小学校区内）にないから	33名	22.1%	1,594名	8.9%
家で過ごしてほしいと思うから	20名	13.4%	2,318名	12.9%
居場所のイメージがよくないから	4名	2.7%	476名	2.7%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	12名	8.1%	1,873名	10.4%
行きたい日・時間に開いていないから	12名	8.1%	936名	5.2%
利用したいと思わないから	38名	25.5%	5,849名	32.6%
何をしているかわからないから	15名	10.1%	2,243名	12.5%
その他	13名	8.7%	2,278名	12.7%
無回答	1名	0.7%	261名	1.5%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	138名	100.0%	16,472名	100.0%
どこにあるか知らないから	63名	45.7%	6,563名	39.8%
家の近く（小学校区内）にないから	22名	15.9%	1,006名	6.1%
家で過ごしてほしいと思うから	19名	13.8%	2,030名	12.3%
居場所のイメージがよくないから	7名	5.1%	347名	2.1%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	14名	10.1%	1,950名	11.8%
行きたい日・時間に開いていないから	5名	3.6%	673名	4.1%
利用したいと思わないから	41名	29.7%	6,227名	37.8%
何をしているかわからないから	14名	10.1%	1,797名	10.9%
その他	13名	9.4%	2,509名	15.2%
無回答	1名	0.7%	195名	1.2%



保護者のことについて

問17 初めて親となった年齢

保護者全体は、「27～30歳」が36.2%で最も多く、次いで「31～34歳」が22.0%、「24～26歳」が19.4%、「35～39歳」が11.6%となっている。

小学生の保護者は、「27～30歳」が30.4%で最も多く、次いで「31～34歳」が26.2%、「24～26歳」が19.4%、「35～39歳」が14.7%となっている。

中学生の保護者は、「27～30歳」が41.2%で最も多く、次いで「24～26歳」が19.0%、「31～34歳」が18.3%、「20～23歳」が9.2%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

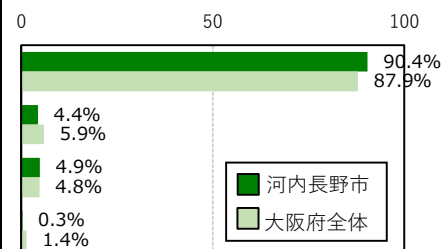
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

①心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

保護者全体は、「いる」が90.4%、「いない」が4.4%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が89.0%、「いない」が5.2%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が90.8%、「いない」が4.6%となっている。

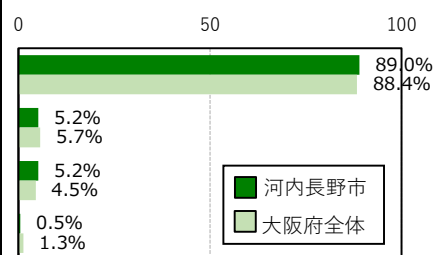
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	350名	90.4%	38,049名	87.9%
いない	17名	4.4%	2,548名	5.9%
わからない	19名	4.9%	2,099名	4.8%
無回答	1名	0.3%	604名	1.4%



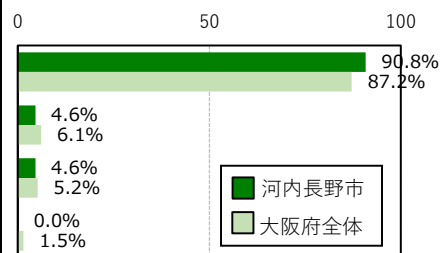
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	170名	89.0%	20,150名	88.4%
いない	10名	5.2%	1,304名	5.7%
わからない	10名	5.2%	1,026名	4.5%
無回答	1名	0.5%	306名	1.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	139名	90.8%	16,885名	87.2%
いない	7名	4.6%	1,173名	6.1%
わからない	7名	4.6%	1,016名	5.2%
無回答	-	-	291名	1.5%



保護者のことについて

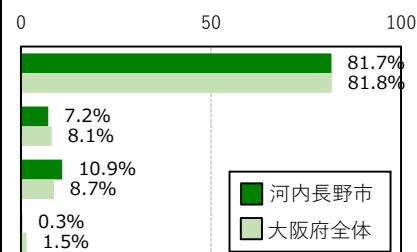
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

②気持ちを察して思いやってくれる人

保護者全体は、「いる」が81.7%、「いない」が7.2%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が78.0%、「いない」が7.9%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が84.3%、「いない」が7.8%となっている。

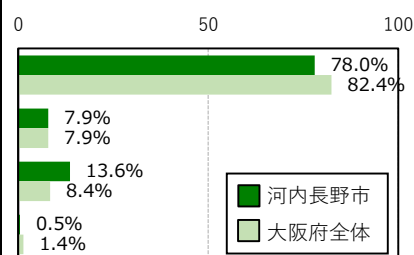
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
いる	316名	81.7%	35,406名	81.8%
いない	28名	7.2%	3,491名	8.1%
わからない	42名	10.9%	3,748名	8.7%
無回答	1名	0.3%	655名	1.5%



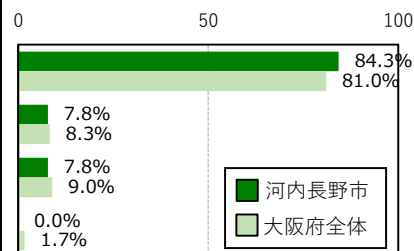
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
いる	149名	78.0%	18,767名	82.4%
いない	15名	7.9%	1,791名	7.9%
わからない	26名	13.6%	1,904名	8.4%
無回答	1名	0.5%	324名	1.4%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	名	割合	名	割合
いる	129名	84.3%	15,691名	81.0%
いない	12名	7.8%	1,610名	8.3%
わからない	12名	7.8%	1,741名	9.0%
無回答	-	-	323名	1.7%



保護者のことについて

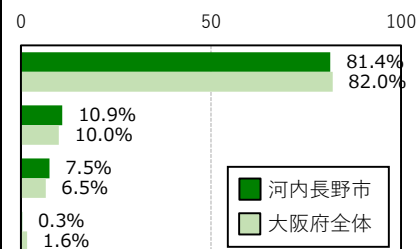
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者全体は、「いる」が81.4%、「いない」が10.9%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が81.2%、「いない」が10.5%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が81.0%、「いない」が10.5%となっている。

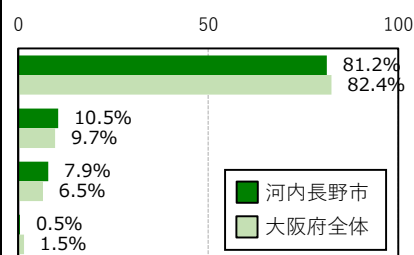
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	315名	81.4%	35,496名	82.0%
いない	42名	10.9%	4,317名	10.0%
わからない	29名	7.5%	2,806名	6.5%
無回答	1名	0.3%	681名	1.6%



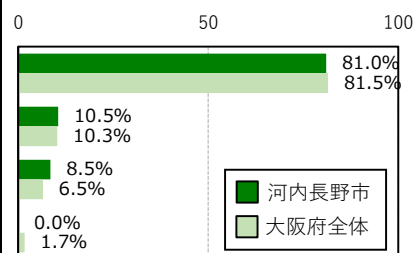
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	155名	81.2%	18,771名	82.4%
いない	20名	10.5%	2,201名	9.7%
わからない	15名	7.9%	1,474名	6.5%
無回答	1名	0.5%	340名	1.5%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	124名	81.0%	15,782名	81.5%
いない	16名	10.5%	1,990名	10.3%
わからない	13名	8.5%	1,259名	6.5%
無回答	-	-	334名	1.7%



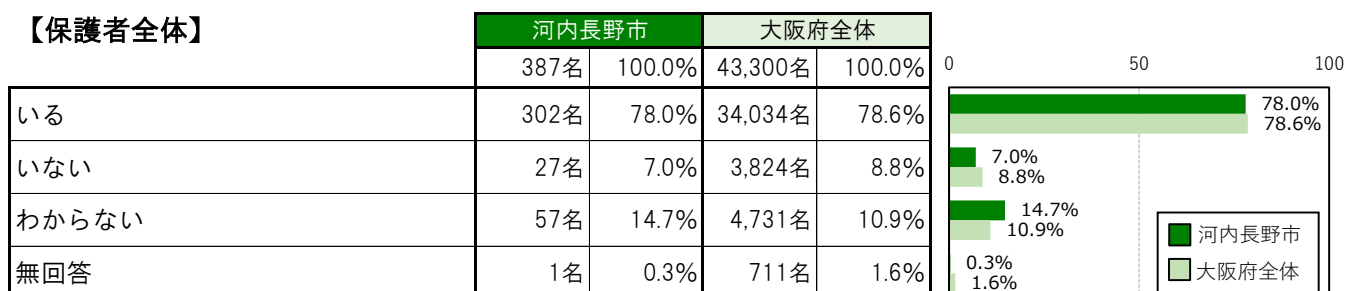
保護者のことについて

問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

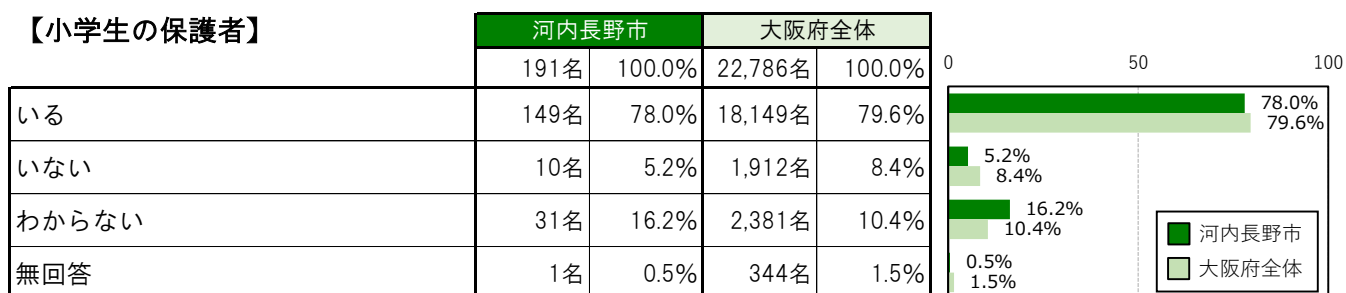
④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者全体は、「いる」が78.0%、「いない」が7.0%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が78.0%、「いない」が5.2%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が75.8%、「いない」が9.8%となっている。

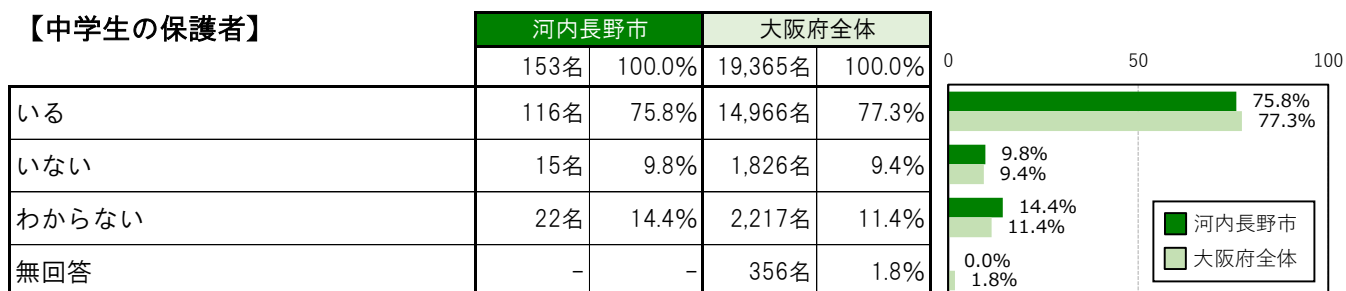
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



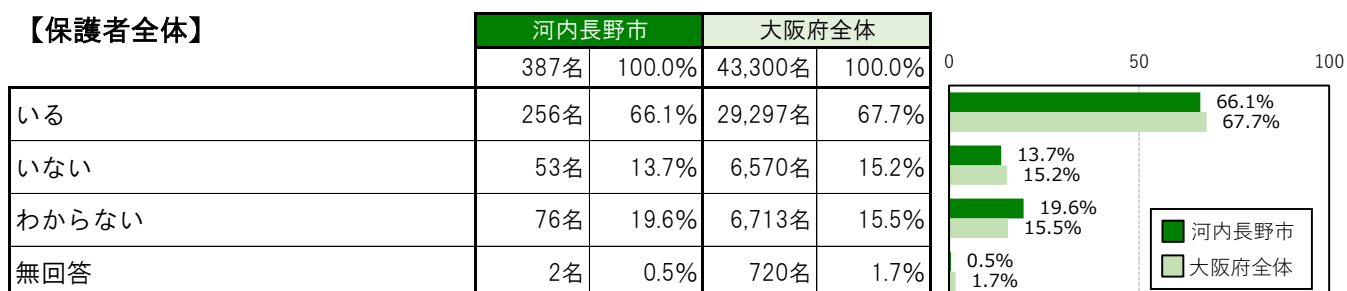
保護者のことについて

問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

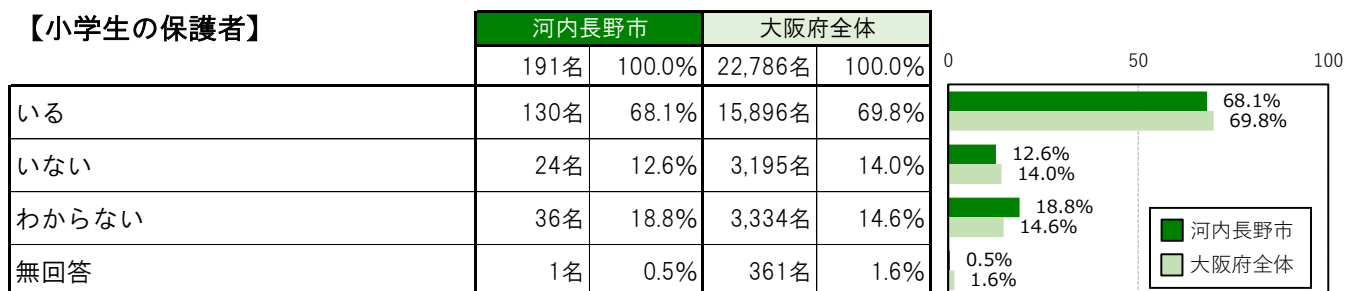
⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者全体は、「いる」が66.1%、「いない」が13.7%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が68.1%、「いない」が12.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が63.4%、「いない」が15.0%となっている。

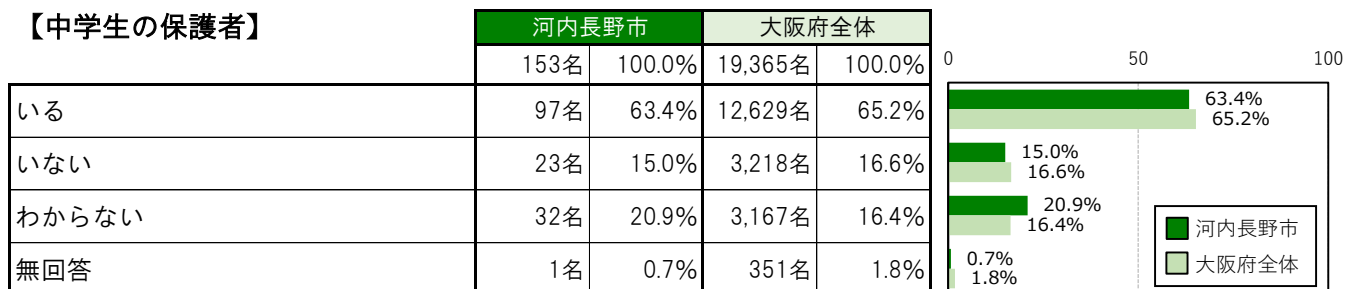
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



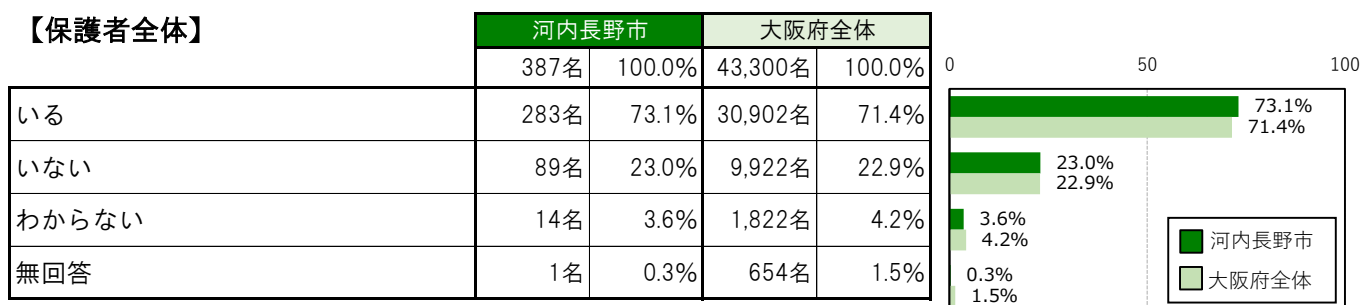
保護者のことについて

問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

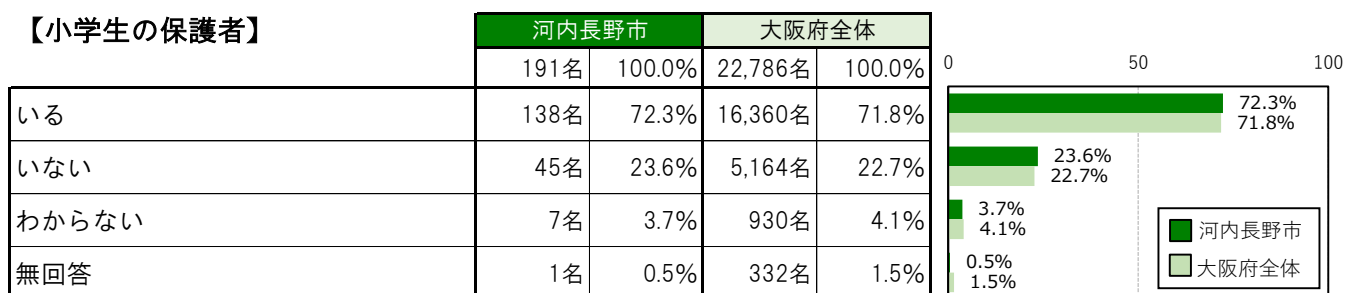
⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者全体は、「いる」が73.1%、「いない」が23.0%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が72.3%、「いない」が23.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が71.9%、「いない」が23.5%となっている。

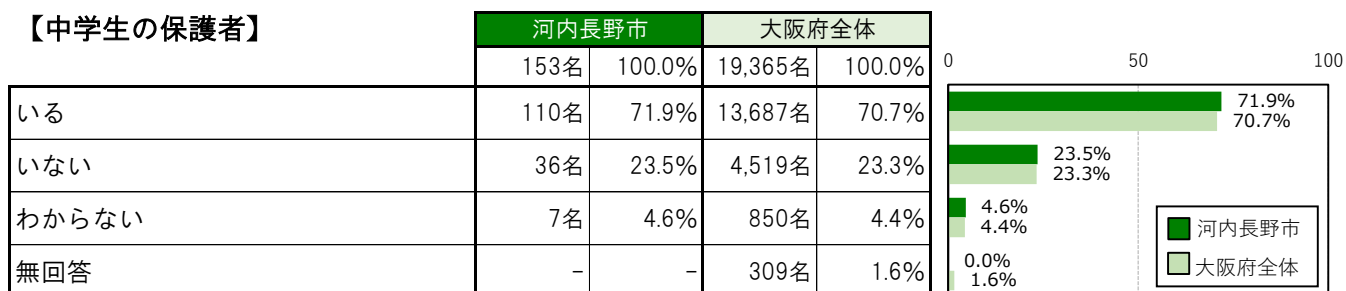
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

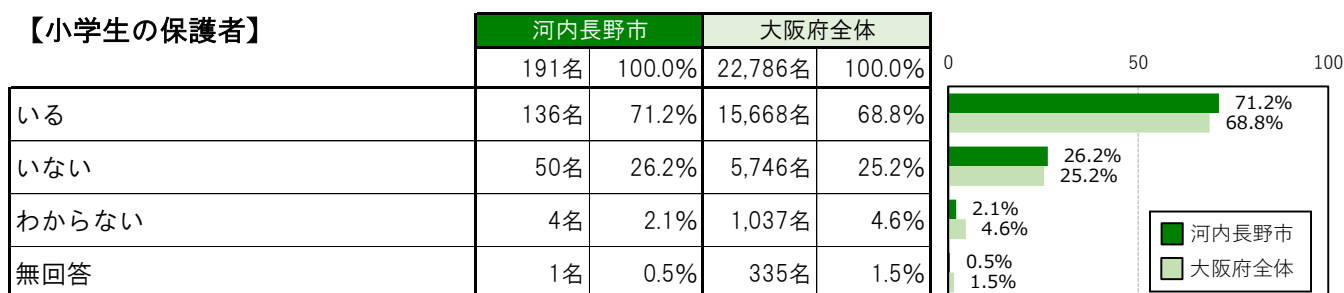
⑦留守を頼める人

保護者全体は、「いる」が73.6%、「いない」が23.0%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が71.2%、「いない」が26.2%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が73.2%、「いない」が22.2%となっている。

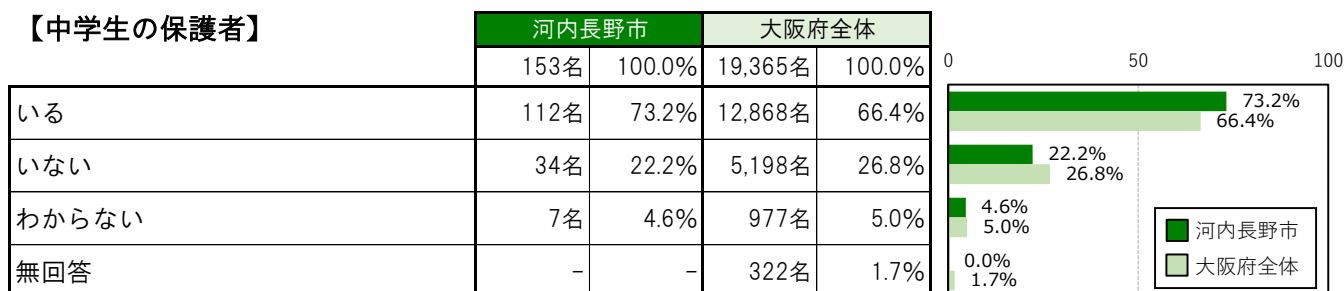
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

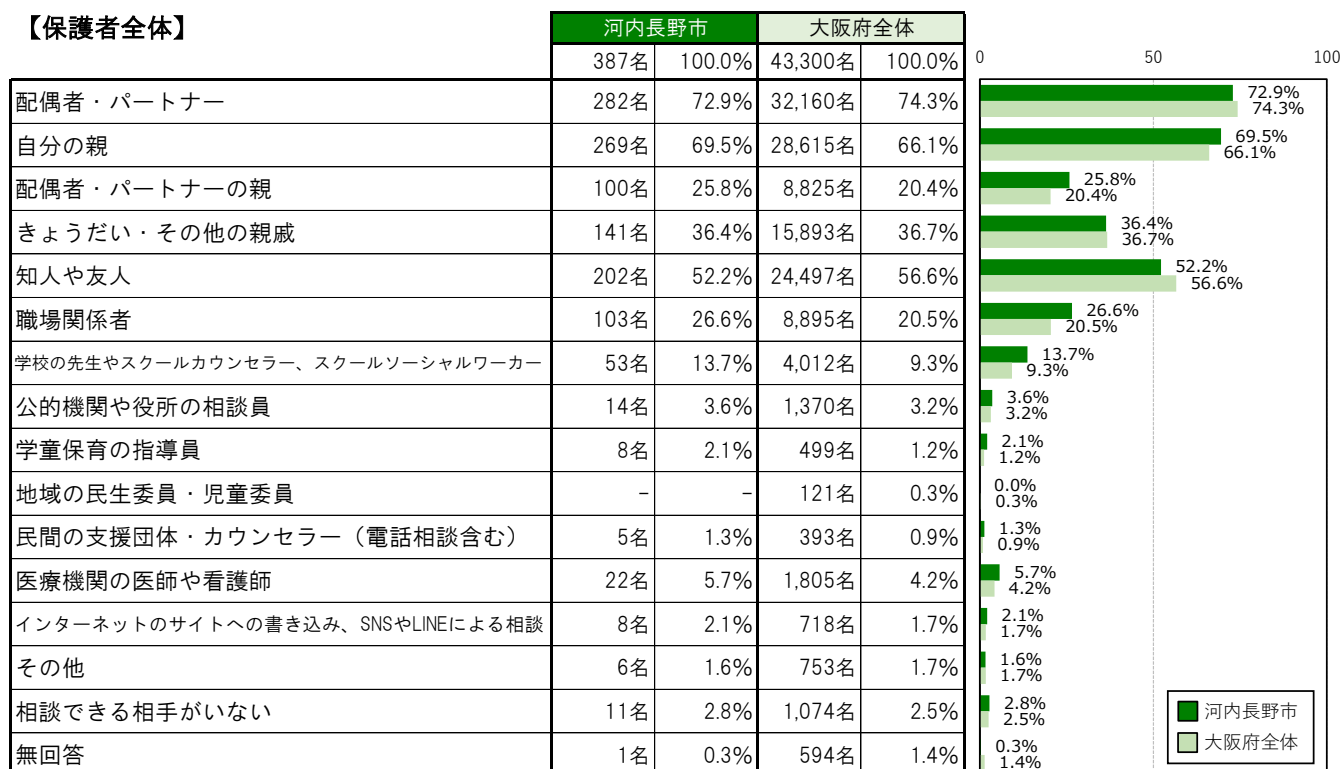
問19 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

保護者全体は、「配偶者・パートナー」が72.9%で最も多く、次いで「自分の親」が69.5%、「知人や友人」が52.2%、「きょうだい・その他の親戚」が36.4%となっている。

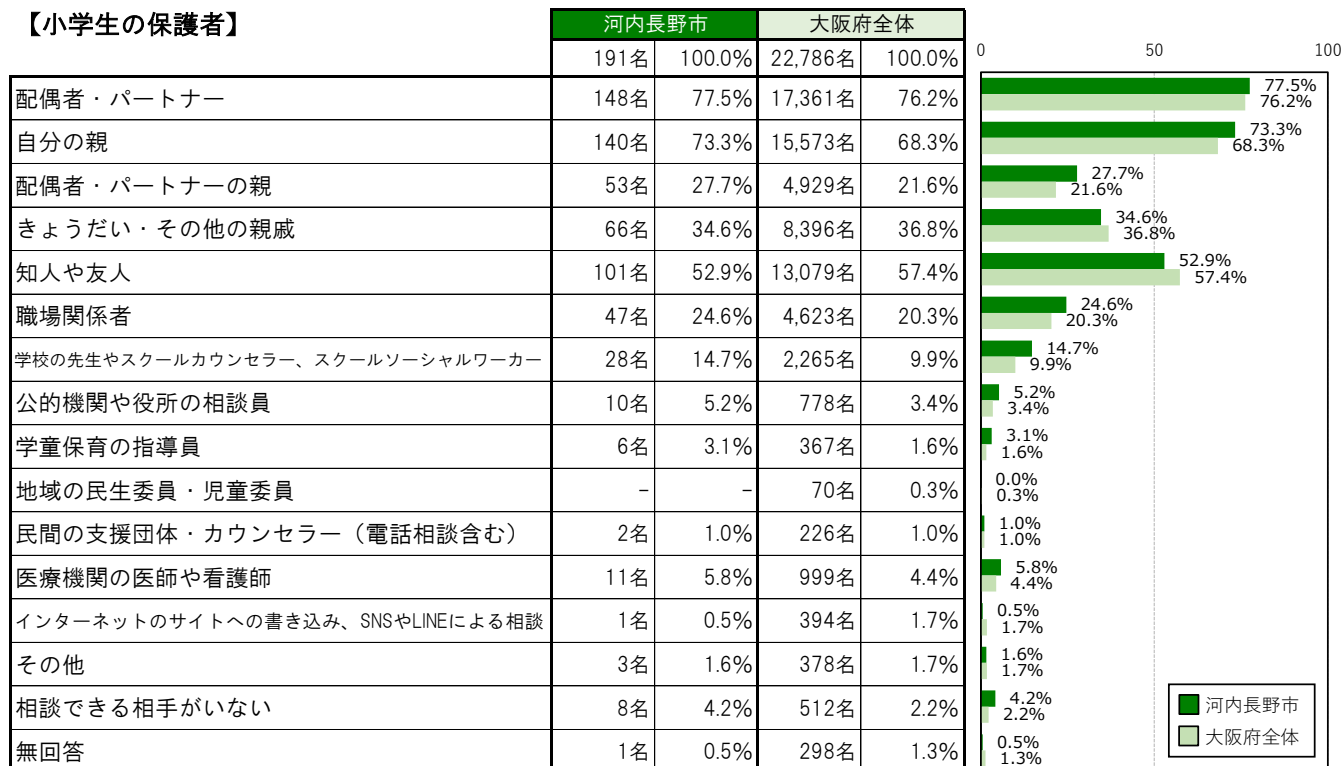
小学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が77.5%で最も多く、次いで「自分の親」が73.3%、「知人や友人」が52.9%、「きょうだい・その他の親戚」が34.6%となっている。

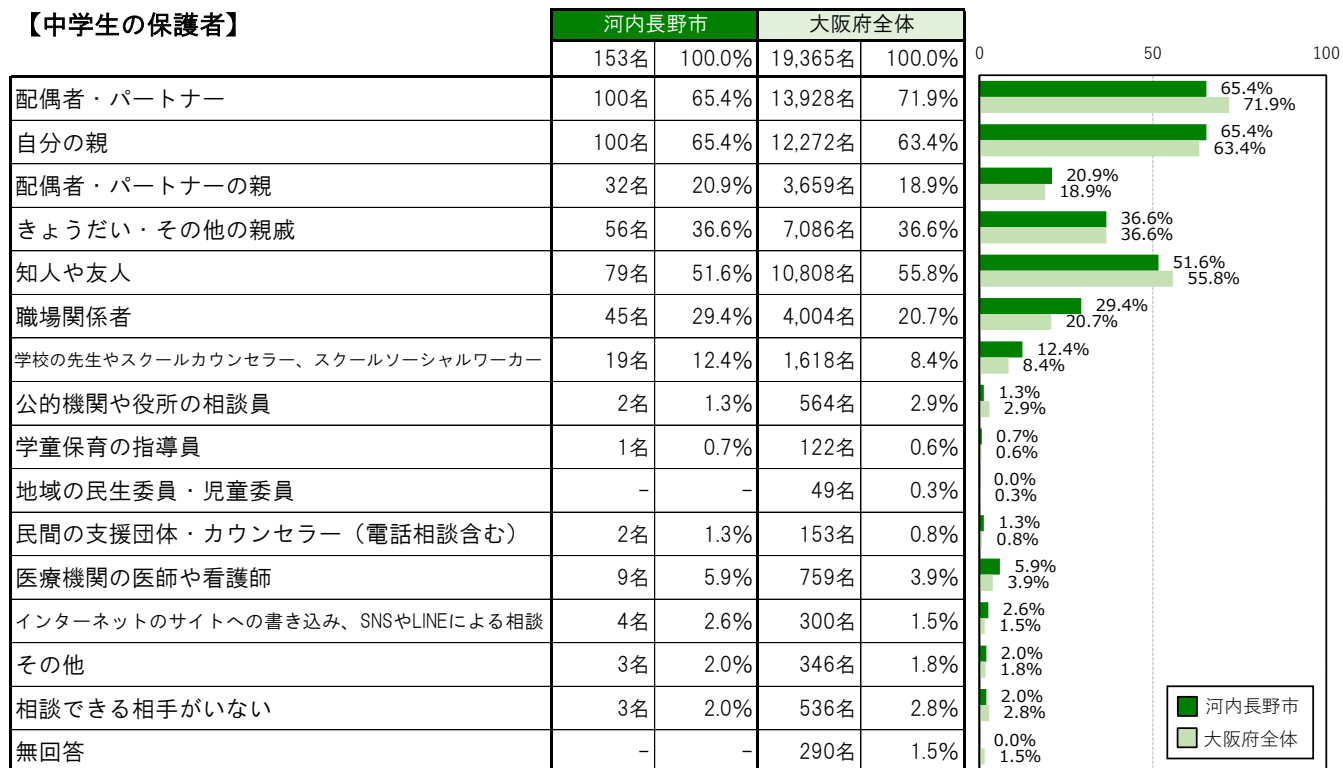
中学生の保護者は、「配偶者・パートナー」と「自分の親」がそれぞれ65.4%で最も多く、次いで「知人や友人」が51.6%、「きょうだい・その他の親戚」が36.6%、「職場関係者」が29.4%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





保護者のことについて

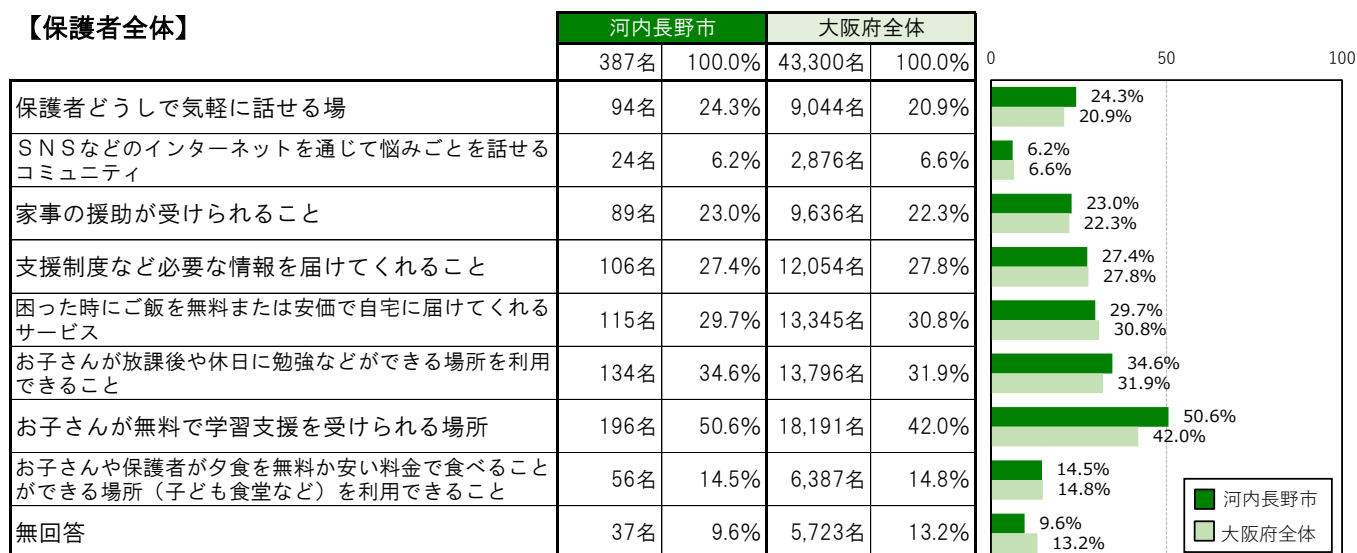
問20 身近にあると思うこと

保護者全体は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が50.6%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が34.6%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が29.7%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が27.4%となっている。

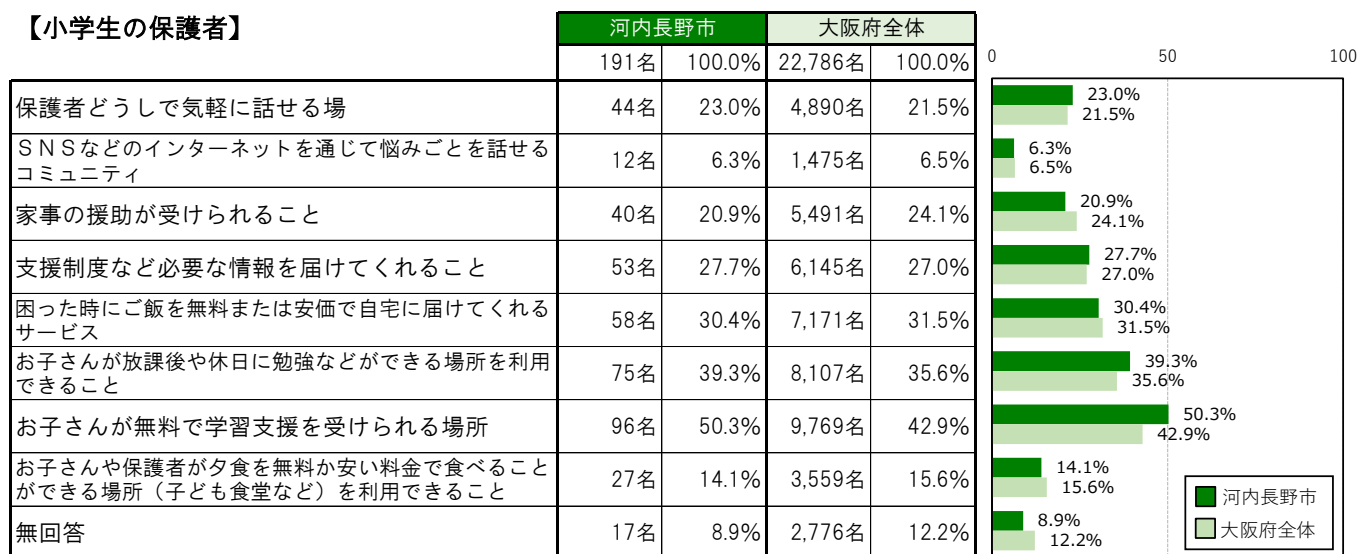
小学生の保護者は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が50.3%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が39.3%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が30.4%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が27.7%となっている。

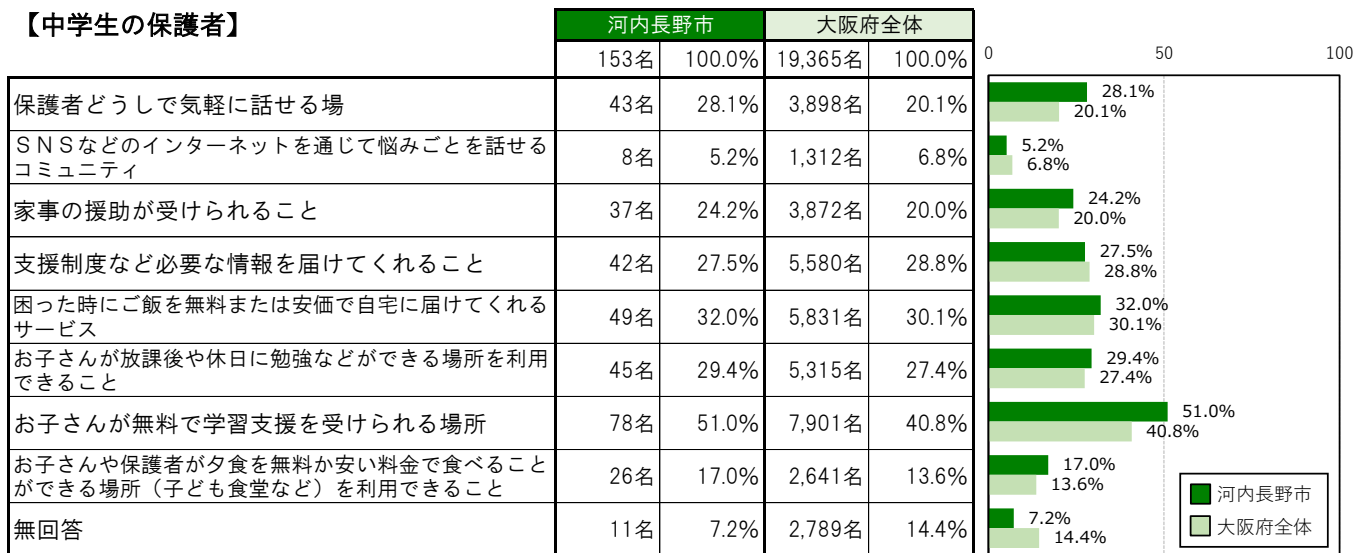
中学生の保護者は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が51.0%で最も多く、次いで「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が32.0%、「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が29.4%、「保護者どうして気軽に話せる場」が28.1%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





保護者のことについて

問21（１）生活を楽しんでいるか

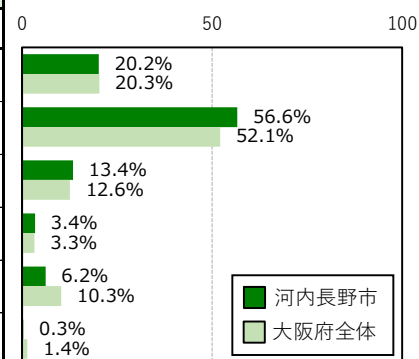
保護者全体は、「楽しんでいる」が56.6%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が20.2%、「あまり楽しんでいない」が13.4%、「楽しんでいない」が3.4%となっている。

小学生の保護者は、「楽しんでいる」が56.0%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が21.5%、「あまり楽しんでいない」が13.1%、「楽しんでいない」が2.6%となっている。

中学生の保護者は、「楽しんでいる」が59.5%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が16.3%、「あまり楽しんでいない」が13.7%、「楽しんでいない」が3.9%となっている。

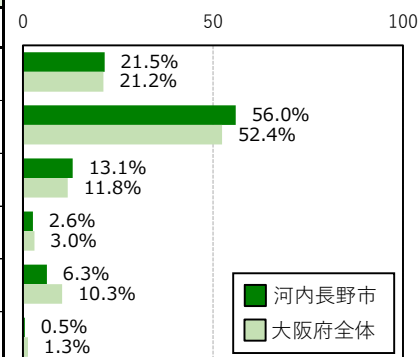
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
とても楽しんでいる	78名	20.2%	8,791名	20.3%
楽しんでいる	219名	56.6%	22,555名	52.1%
あまり楽しんでいない	52名	13.4%	5,466名	12.6%
楽しんでいない	13名	3.4%	1,411名	3.3%
わからない	24名	6.2%	4,473名	10.3%
無回答	1名	0.3%	604名	1.4%



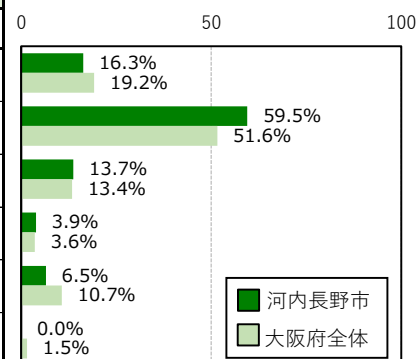
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
とても楽しんでいる	41名	21.5%	4,835名	21.2%
楽しんでいる	107名	56.0%	11,934名	52.4%
あまり楽しんでいない	25名	13.1%	2,699名	11.8%
楽しんでいない	5名	2.6%	680名	3.0%
わからない	12名	6.3%	2,340名	10.3%
無回答	1名	0.5%	298名	1.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
とても楽しんでいる	25名	16.3%	3,719名	19.2%
楽しんでいる	91名	59.5%	9,994名	51.6%
あまり楽しんでいない	21名	13.7%	2,592名	13.4%
楽しんでいない	6名	3.9%	690名	3.6%
わからない	10名	6.5%	2,070名	10.7%
無回答	-	-	300名	1.5%



保護者のことについて

問21（２）将来に対して希望を持っているか

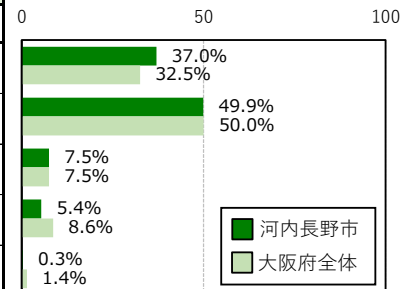
保護者全体は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が49.9%で最も多く、次いで「希望が持てる」が37.0%、「希望が持てない」が7.5%となっている。

小学生の保護者は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が48.7%で最も多く、次いで「希望が持てる」が37.7%、「希望が持てない」が7.3%となっている。

中学生の保護者は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が47.7%で最も多く、次いで「希望が持てる」が37.9%、「希望が持てない」が8.5%となっている。

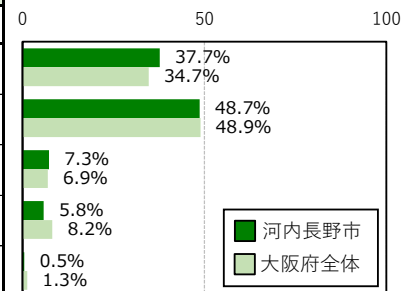
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
希望が持てる	143名	37.0%	14,080名	32.5%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	193名	49.9%	21,662名	50.0%
希望が持てない	29名	7.5%	3,239名	7.5%
わからない	21名	5.4%	3,718名	8.6%
無回答	1名	0.3%	601名	1.4%



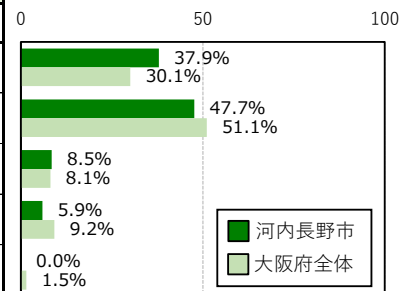
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
希望が持てる	72名	37.7%	7,896名	34.7%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	93名	48.7%	11,142名	48.9%
希望が持てない	14名	7.3%	1,575名	6.9%
わからない	11名	5.8%	1,874名	8.2%
無回答	1名	0.5%	299名	1.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
希望が持てる	58名	37.9%	5,831名	30.1%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	73名	47.7%	9,890名	51.1%
希望が持てない	13名	8.5%	1,574名	8.1%
わからない	9名	5.9%	1,774名	9.2%
無回答	-	-	296名	1.5%



保護者のことについて

問21（3）ストレスを発散できるものがあるか

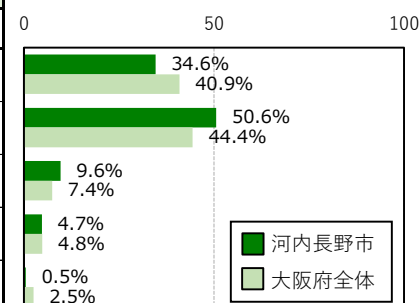
保護者全体は、「あるときもあれば、ないときもある」が50.6%で最も多く、次いで「ある」が34.6%、「ない」が9.6%となっている。

小学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が50.3%で最も多く、次いで「ある」が34.6%、「ない」が8.9%となっている。

中学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が51.6%で最も多く、次いで「ある」が34.0%、「ない」が10.5%となっている。

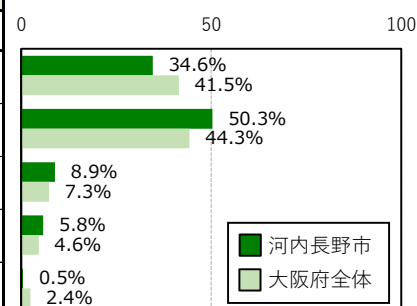
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
ある	134名	34.6%	17,707名	40.9%
あるときもあれば、ないときもある	196名	50.6%	19,240名	44.4%
ない	37名	9.6%	3,221名	7.4%
わからない	18名	4.7%	2,061名	4.8%
無回答	2名	0.5%	1,071名	2.5%



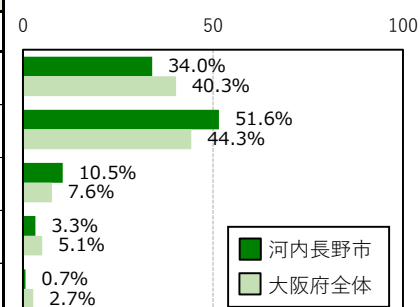
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
ある	66名	34.6%	9,455名	41.5%
あるときもあれば、ないときもある	96名	50.3%	10,090名	44.3%
ない	17名	8.9%	1,668名	7.3%
わからない	11名	5.8%	1,037名	4.6%
無回答	1名	0.5%	536名	2.4%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
ある	52名	34.0%	7,803名	40.3%
あるときもあれば、ないときもある	79名	51.6%	8,576名	44.3%
ない	16名	10.5%	1,467名	7.6%
わからない	5名	3.3%	990名	5.1%
無回答	1名	0.7%	529名	2.7%



保護者のことについて

問21（４）自分が幸せだと思うか

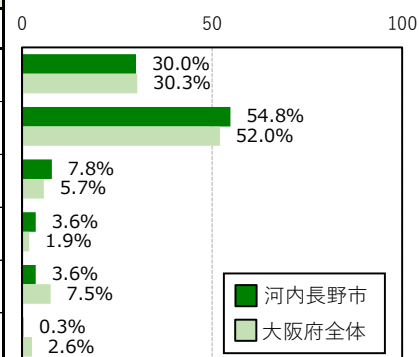
保護者全体は、「幸せだと思う」が54.8%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が30.0%、「あまり幸せだと思わない」が7.8%、「幸せだと思わない」が3.6%となっている。

小学生の保護者は、「幸せだと思う」が52.9%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が31.4%、「あまり幸せだと思わない」が6.8%、「幸せだと思わない」が3.7%となっている。

中学生の保護者は、「幸せだと思う」が60.1%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が24.2%、「あまり幸せだと思わない」が10.5%、「幸せだと思わない」が2.6%となっている。

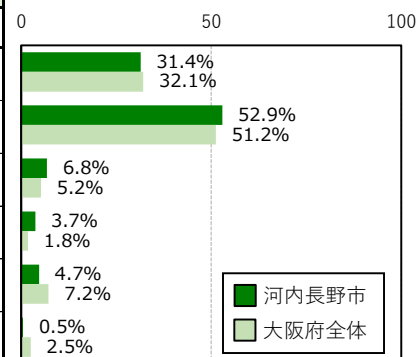
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
とても幸せだと思う	116名	30.0%	13,119名	30.3%
幸せだと思う	212名	54.8%	22,517名	52.0%
あまり幸せだと思わない	30名	7.8%	2,464名	5.7%
幸せだと思わない	14名	3.6%	819名	1.9%
わからない	14名	3.6%	3,246名	7.5%
無回答	1名	0.3%	1,135名	2.6%



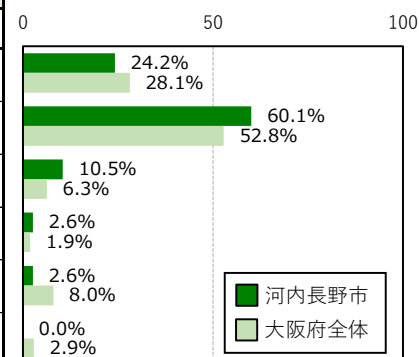
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
とても幸せだと思う	60名	31.4%	7,323名	32.1%
幸せだと思う	101名	52.9%	11,664名	51.2%
あまり幸せだと思わない	13名	6.8%	1,176名	5.2%
幸せだと思わない	7名	3.7%	413名	1.8%
わからない	9名	4.7%	1,640名	7.2%
無回答	1名	0.5%	570名	2.5%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
とても幸せだと思う	37名	24.2%	5,439名	28.1%
幸せだと思う	92名	60.1%	10,225名	52.8%
あまり幸せだと思わない	16名	10.5%	1,211名	6.3%
幸せだと思わない	4名	2.6%	376名	1.9%
わからない	4名	2.6%	1,555名	8.0%
無回答	-	-	559名	2.9%



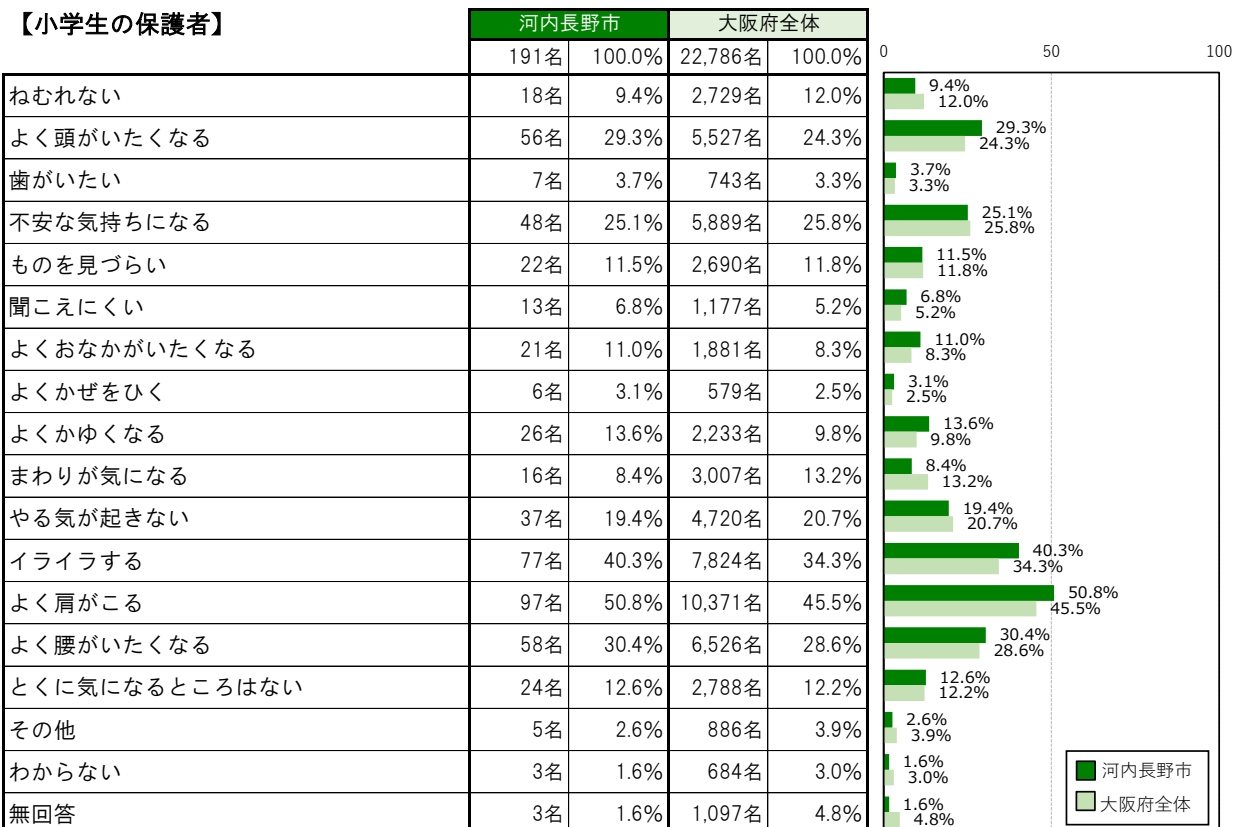
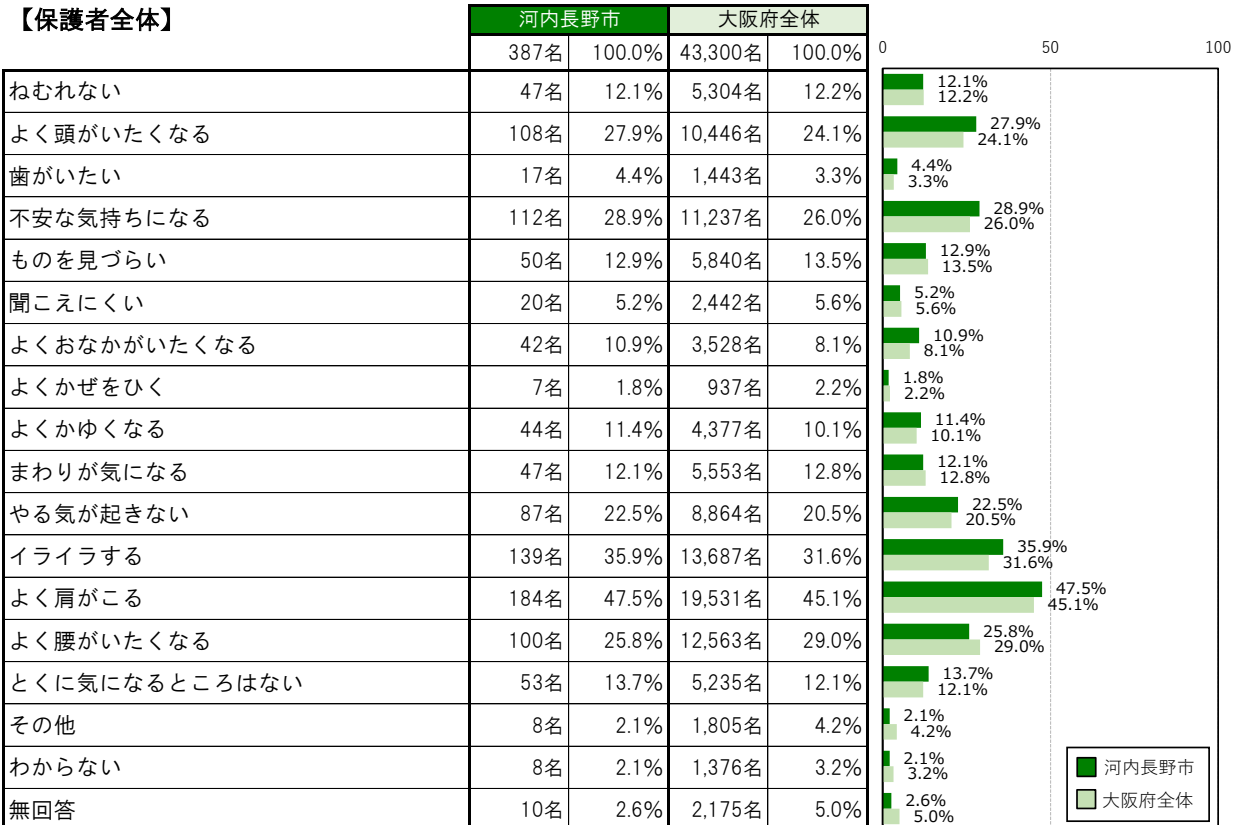
保護者のことについて

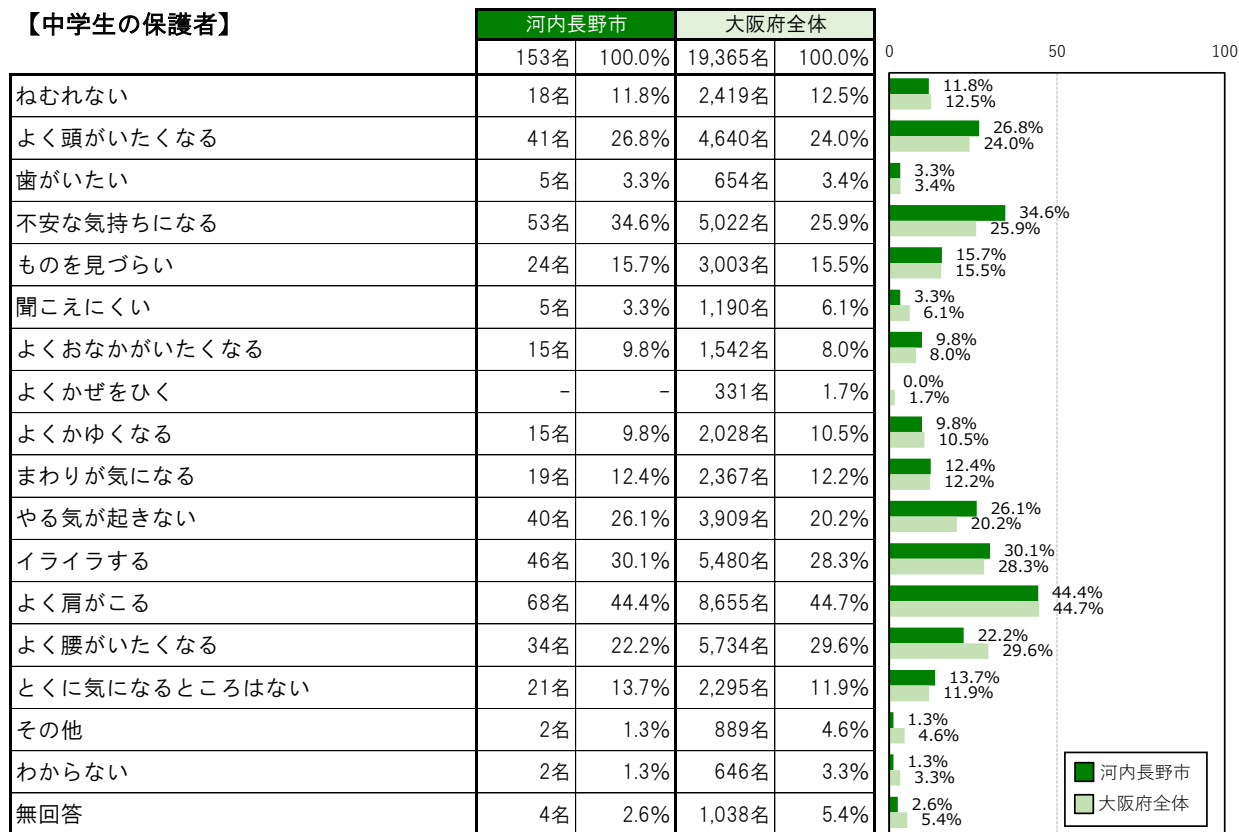
問22 自分の体や気持ちで気になること

保護者全体は、「よく肩がこる」が47.5%で最も多く、次いで「イライラする」が35.9%、「不安な気持ちになる」が28.9%、「よく頭がいたくなる」が27.9%となっている。

小学生の保護者は、「よく肩がこる」が50.8%で最も多く、次いで「イライラする」が40.3%、「よく腰がいたくなる」が30.4%、「よく頭がいたくなる」が29.3%となっている。

中学生の保護者は、「よく肩がこる」が44.4%で最も多く、次いで「不安な気持ちになる」が34.6%、「イライラする」が30.1%、「よく頭がいたくなる」が26.8%となっている。





保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 a 就学援助

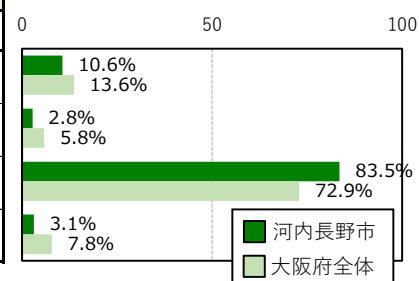
保護者全体は、「利用したことがない」が83.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が10.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.8%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が84.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が11.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.1%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が82.4%で最も多く、次いで「現在利用している」が9.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.3%となっている。

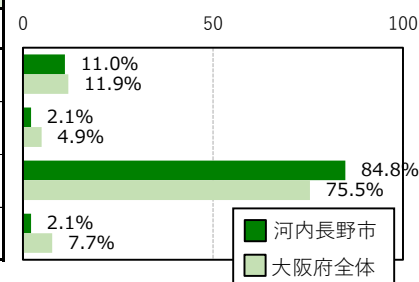
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	41名	10.6%	5,869名	13.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	11名	2.8%	2,503名	5.8%
利用したことがない	323名	83.5%	31,557名	72.9%
無回答	12名	3.1%	3,371名	7.8%



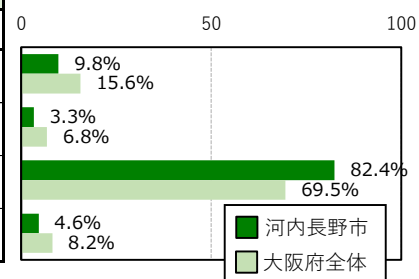
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	21名	11.0%	2,714名	11.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	2.1%	1,110名	4.9%
利用したことがない	162名	84.8%	17,198名	75.5%
無回答	4名	2.1%	1,764名	7.7%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	15名	9.8%	3,020名	15.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	5名	3.3%	1,308名	6.8%
利用したことがない	126名	82.4%	13,453名	69.5%
無回答	7名	4.6%	1,584名	8.2%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 a 就学援助 <利用したことがない理由>

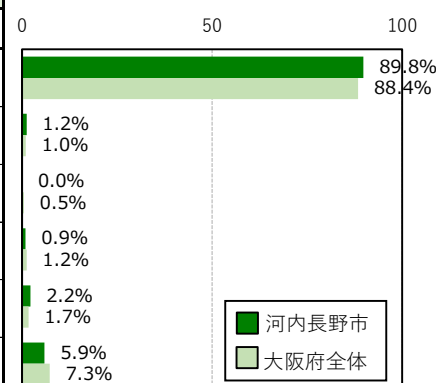
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.2%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が0.6%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.7%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」、それぞれ1.6%となっている。

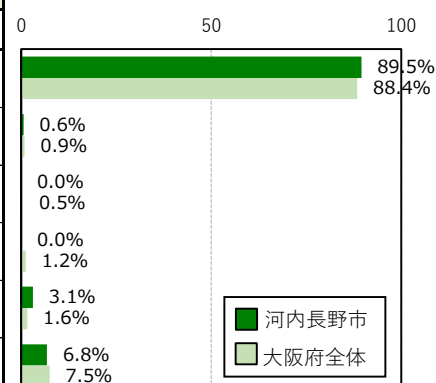
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	323名	100.0%	31,557名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	290名	89.8%	27,883名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4名	1.2%	315名	1.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	161名	0.5%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	0.9%	382名	1.2%
それ以外の理由	7名	2.2%	524名	1.7%
無回答	19名	5.9%	2,292名	7.3%



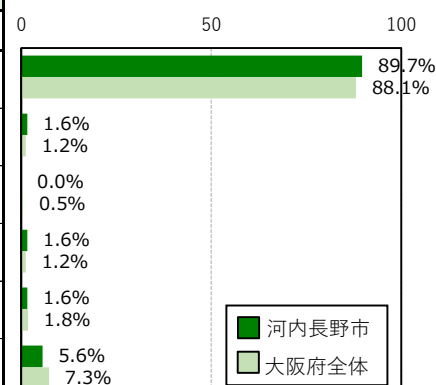
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	162名	100.0%	17,198名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	145名	89.5%	15,195名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	1名	0.6%	153名	0.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	87名	0.5%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	209名	1.2%
それ以外の理由	5名	3.1%	270名	1.6%
無回答	11名	6.8%	1,284名	7.5%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	126名	100.0%	13,453名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	113名	89.7%	11,847名	88.1%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	1.6%	157名	1.2%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	69名	0.5%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	2名	1.6%	156名	1.2%
それ以外の理由	2名	1.6%	236名	1.8%
無回答	7名	5.6%	988名	7.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 b 生活保護

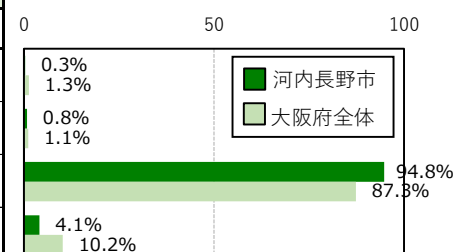
保護者全体は、「利用したことがない」が94.8%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.8%、「現在利用している」が0.3%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が94.8%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が94.1%で最も多く、次いで「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」がそれぞれ0.7%となっている。

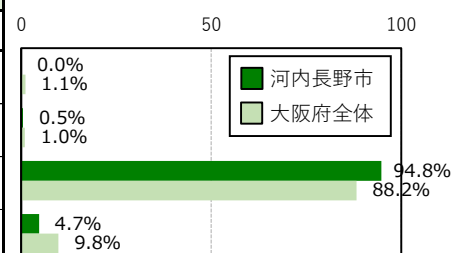
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	1名	0.3%	580名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	0.8%	497名	1.1%
利用したことがない	367名	94.8%	37,793名	87.3%
無回答	16名	4.1%	4,430名	10.2%



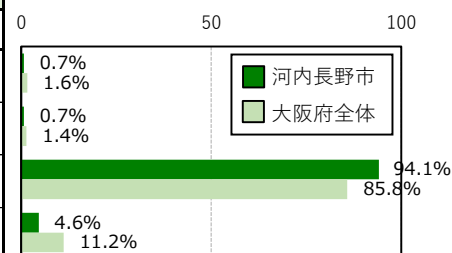
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	-	-	254名	1.1%
現在利用していないが、以前利用したことがある	1名	0.5%	218名	1.0%
利用したことがない	181名	94.8%	20,090名	88.2%
無回答	9名	4.7%	2,224名	9.8%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	1名	0.7%	316名	1.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	1名	0.7%	267名	1.4%
利用したことがない	144名	94.1%	16,608名	85.8%
無回答	7名	4.6%	2,174名	11.2%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 b 生活保護 <利用したことがない理由>

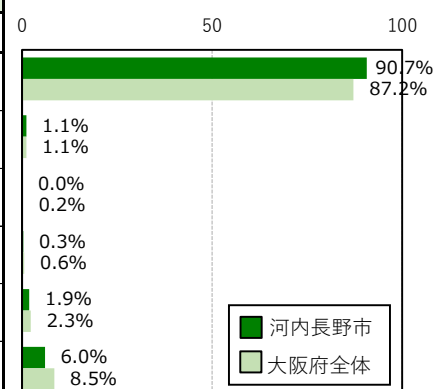
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.7%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.9%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.1%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.1%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が91.0%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.4%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が0.7%となっている。

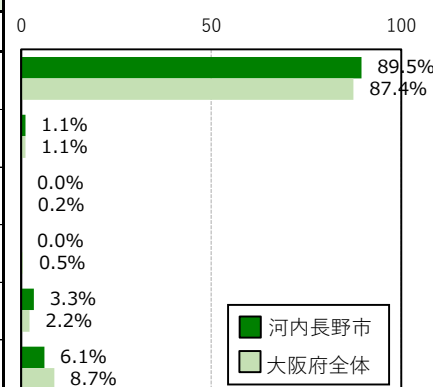
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	367名	100.0%	37,793名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	333名	90.7%	32,964名	87.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4名	1.1%	434名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	73名	0.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.3%	230名	0.6%
それ以外の理由	7名	1.9%	867名	2.3%
無回答	22名	6.0%	3,225名	8.5%



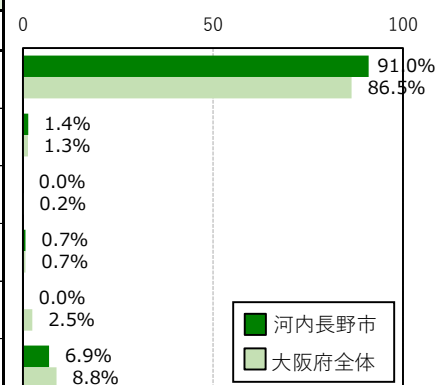
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	181名	100.0%	20,090名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	162名	89.5%	17,567名	87.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	1.1%	211名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	31名	0.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	104名	0.5%
それ以外の理由	6名	3.3%	433名	2.2%
無回答	11名	6.1%	1,744名	8.7%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	144名	100.0%	16,608名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	131名	91.0%	14,367名	86.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	1.4%	219名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	40名	0.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.7%	117名	0.7%
それ以外の理由	-	-	411名	2.5%
無回答	10名	6.9%	1,454名	8.8%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口

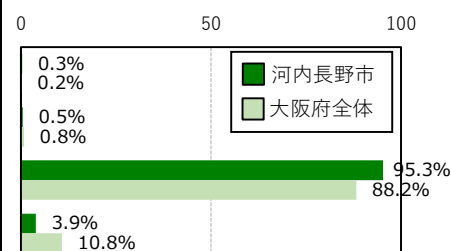
保護者全体は、「利用したことがない」が95.3%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、「現在利用している」が0.3%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が93.7%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が96.1%となっている。

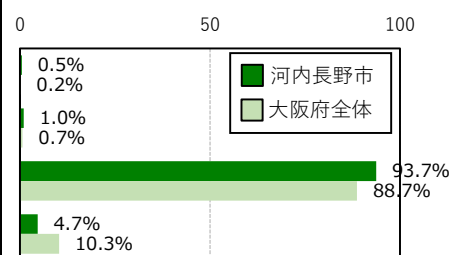
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	1名	0.3%	101名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	0.5%	338名	0.8%
利用したことがない	369名	95.3%	38,173名	88.2%
無回答	15名	3.9%	4,688名	10.8%



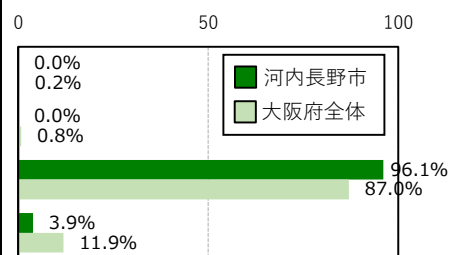
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	1名	0.5%	55名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	1.0%	163名	0.7%
利用したことがない	179名	93.7%	20,220名	88.7%
無回答	9名	4.7%	2,348名	10.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	-	-	44名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	-	-	162名	0.8%
利用したことがない	147名	96.1%	16,851名	87.0%
無回答	6名	3.9%	2,308名	11.9%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口 <利用したことがない理由>

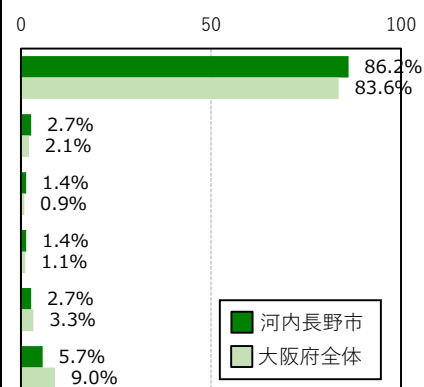
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.2%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「それ以外の理由」がそれぞれ2.7%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.2%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が3.4%、「それ以外の理由」が2.2%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.7%で最も多く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が3.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.7%となっている。

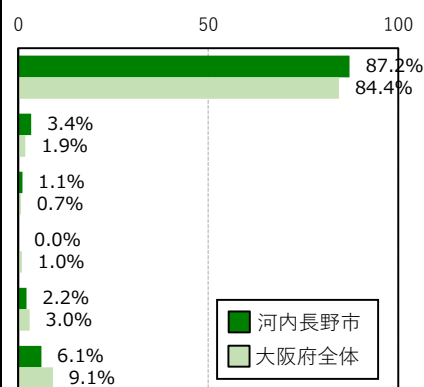
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	369名	100.0%	38,173名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	318名	86.2%	31,919名	83.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	10名	2.7%	790名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	5名	1.4%	332名	0.9%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	5名	1.4%	410名	1.1%
それ以外の理由	10名	2.7%	1,275名	3.3%
無回答	21名	5.7%	3,447名	9.0%



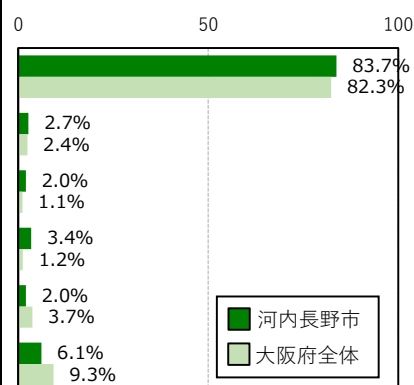
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	179名	100.0%	20,220名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	156名	87.2%	17,059名	84.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	6名	3.4%	382名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	1.1%	134名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	193名	1.0%
それ以外の理由	4名	2.2%	609名	3.0%
無回答	11名	6.1%	1,843名	9.1%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	147名	100.0%	16,851名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	123名	83.7%	13,863名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4名	2.7%	397名	2.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	2.0%	192名	1.1%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	5名	3.4%	204名	1.2%
それ以外の理由	3名	2.0%	625名	3.7%
無回答	9名	6.1%	1,570名	9.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当（ひとり親世帯のみ）

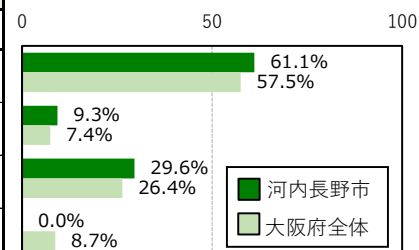
ひとり親世帯のみでみると、保護者全体は、「現在利用している」が61.1%で最も多く、次いで「利用したことがない」が29.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が9.3%となっている。

小学生の保護者は、「現在利用している」が63.6%で最も多く、次いで「利用したことがない」が27.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が9.1%となっている。

中学生の保護者は、「現在利用している」が68.0%で最も多く、次いで「利用したことがない」が24.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が8.0%となっている。

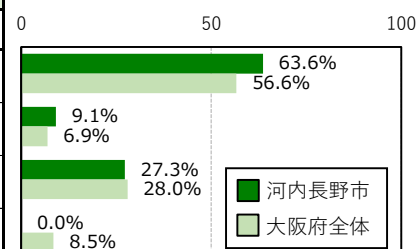
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
現在利用している	33名	61.1%	2,948名	57.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	5名	9.3%	380名	7.4%
利用したことがない	16名	29.6%	1,354名	26.4%
無回答	-	-	444名	8.7%



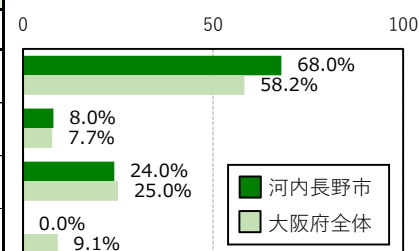
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
現在利用している	14名	63.6%	1,385名	56.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	9.1%	168名	6.9%
利用したことがない	6名	27.3%	686名	28.0%
無回答	-	-	208名	8.5%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
現在利用している	17名	68.0%	1,483名	58.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	8.0%	196名	7.7%
利用したことがない	6名	24.0%	636名	25.0%
無回答	-	-	232名	9.1%



※ひとり親世帯のみ

保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当 <利用したことがない理由> (ひとり親世帯のみ)

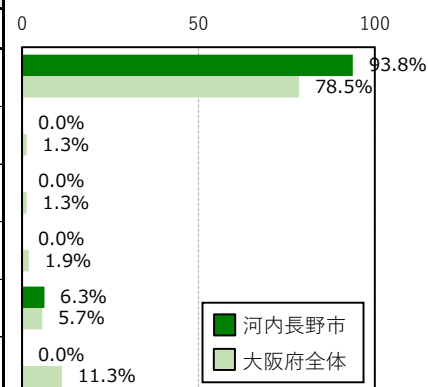
ひとり親世帯のみでみると、保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が93.8%（15名）で最も多く、次いで「それ以外の理由」が6.3%（1名）となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が100.0%（6名）と最も多くなっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が100.0%（6名）と最も多くなっている。

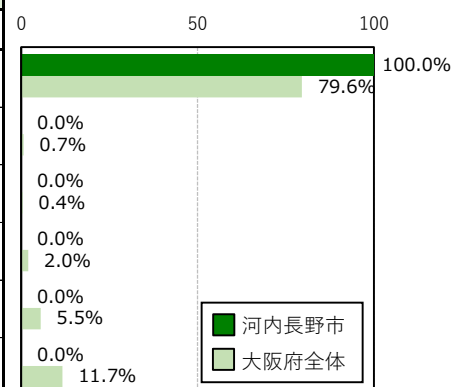
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	16名	100.0%	1,354名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	15名	93.8%	1,063名	78.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	17名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	18名	1.3%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	26名	1.9%
それ以外の理由	1名	6.3%	77名	5.7%
無回答	-	-	153名	11.3%



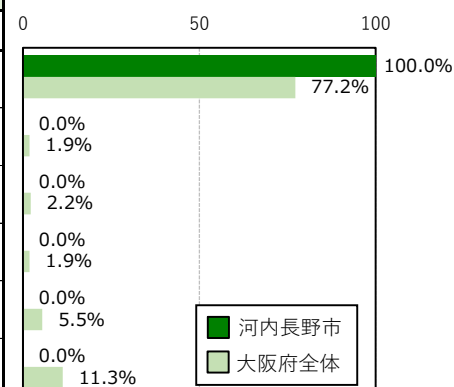
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	6名	100.0%	686名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	6名	100.0%	546名	79.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	5名	0.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	3名	0.4%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	14名	2.0%
それ以外の理由	-	-	38名	5.5%
無回答	-	-	80名	11.7%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	6名	100.0%	636名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	6名	100.0%	491名	77.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	12名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	14名	2.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	12名	1.9%
それ以外の理由	-	-	35名	5.5%
無回答	-	-	72名	11.3%



※ひとり親世帯のみ

保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター

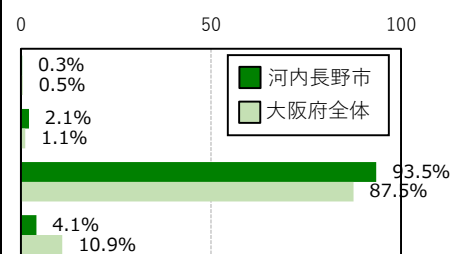
保護者全体は、「利用したことがない」が93.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.1%、「現在利用している」が0.3%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が93.7%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.6%、「現在利用している」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が91.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.3%となっている。

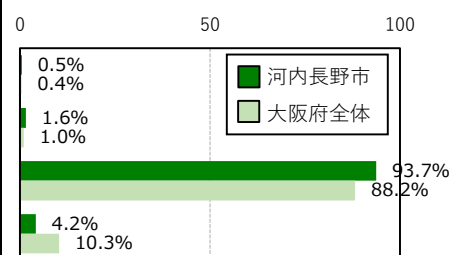
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	1名	0.3%	200名	0.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	8名	2.1%	496名	1.1%
利用したことがない	362名	93.5%	37,904名	87.5%
無回答	16名	4.1%	4,700名	10.9%



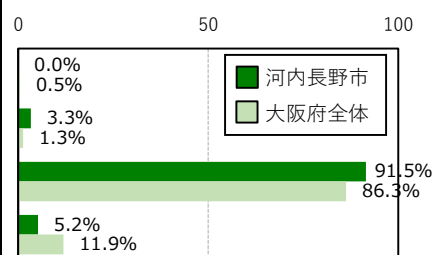
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	1名	0.5%	100名	0.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	1.6%	236名	1.0%
利用したことがない	179名	93.7%	20,103名	88.2%
無回答	8名	4.2%	2,347名	10.3%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	-	-	98名	0.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	5名	3.3%	246名	1.3%
利用したことがない	140名	91.5%	16,713名	86.3%
無回答	8名	5.2%	2,308名	11.9%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター <利用したことがない理由>

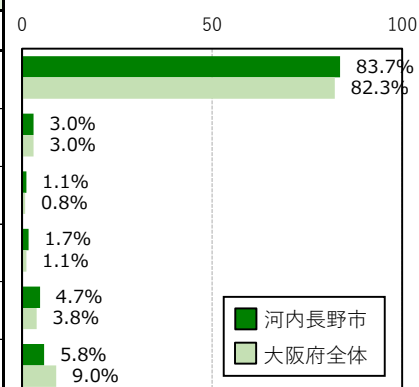
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.7%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が3.0%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.7%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.8%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が4.5%、「それ以外の理由」が3.9%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が82.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.3%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が3.6%となっている。

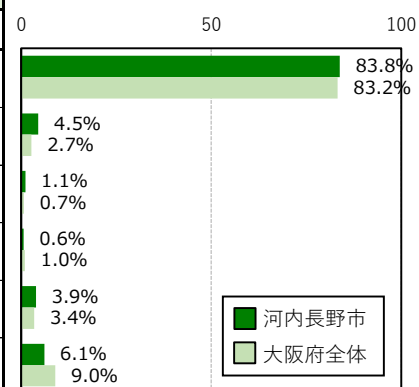
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	362名	100.0%	37,904名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	303名	83.7%	31,197名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	11名	3.0%	1,139名	3.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	4名	1.1%	316名	0.8%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	6名	1.7%	401名	1.1%
それ以外の理由	17名	4.7%	1,448名	3.8%
無回答	21名	5.8%	3,403名	9.0%



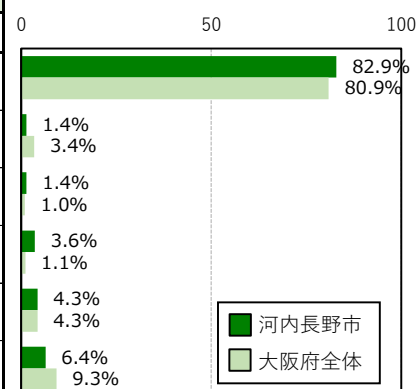
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	179名	100.0%	20,103名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	150名	83.8%	16,718名	83.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	8名	4.5%	540名	2.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	1.1%	138名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.6%	203名	1.0%
それ以外の理由	7名	3.9%	686名	3.4%
無回答	11名	6.1%	1,818名	9.0%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	140名	100.0%	16,713名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	116名	82.9%	13,516名	80.9%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	1.4%	572名	3.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	1.4%	169名	1.0%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	5名	3.6%	188名	1.1%
それ以外の理由	6名	4.3%	714名	4.3%
無回答	9名	6.4%	1,554名	9.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

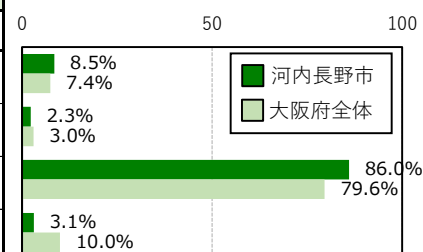
保護者全体は、「利用したことがない」が86.0%で最も多く、次いで「現在利用している」が8.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.3%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が86.9%で最も多く、次いで「現在利用している」が8.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.1%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が83.7%で最も多く、次いで「現在利用している」が8.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.6%となっている。

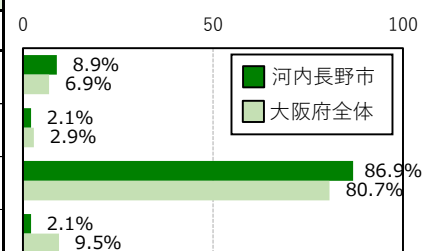
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	33名	8.5%	3,205名	7.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	9名	2.3%	1,293名	3.0%
利用したことがない	333名	86.0%	34,472名	79.6%
無回答	12名	3.1%	4,330名	10.0%



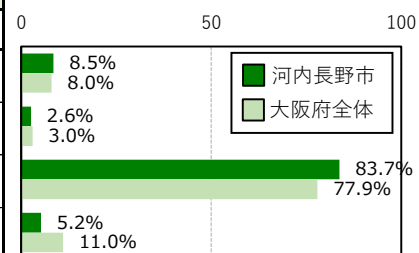
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	17名	8.9%	1,562名	6.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	2.1%	672名	2.9%
利用したことがない	166名	86.9%	18,390名	80.7%
無回答	4名	2.1%	2,162名	9.5%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	13名	8.5%	1,557名	8.0%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	2.6%	588名	3.0%
利用したことがない	128名	83.7%	15,094名	77.9%
無回答	8名	5.2%	2,126名	11.0%



保護者のことについて

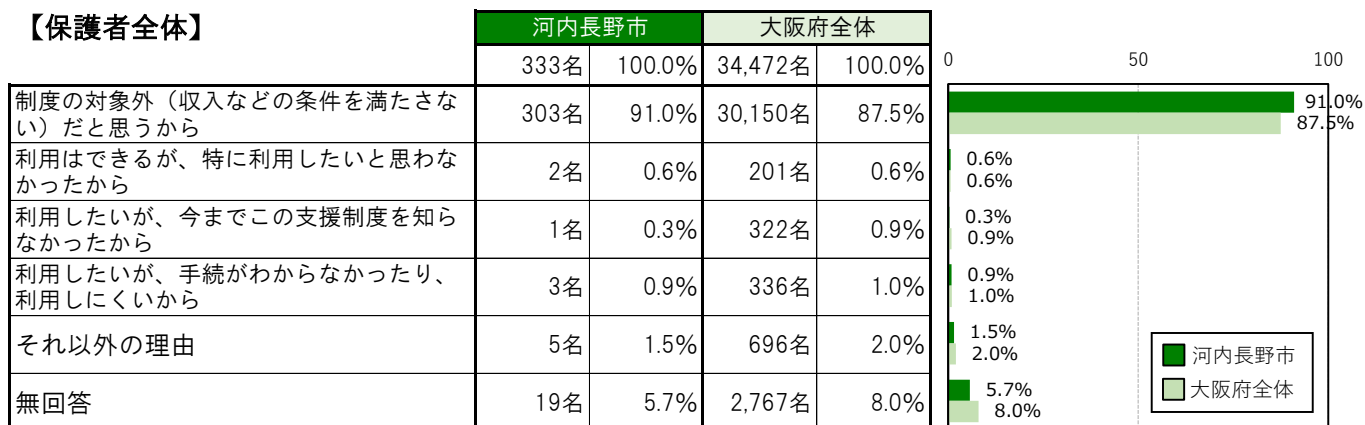
問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金
＜利用したことがない理由＞

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が91.0%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が0.9%となっている。

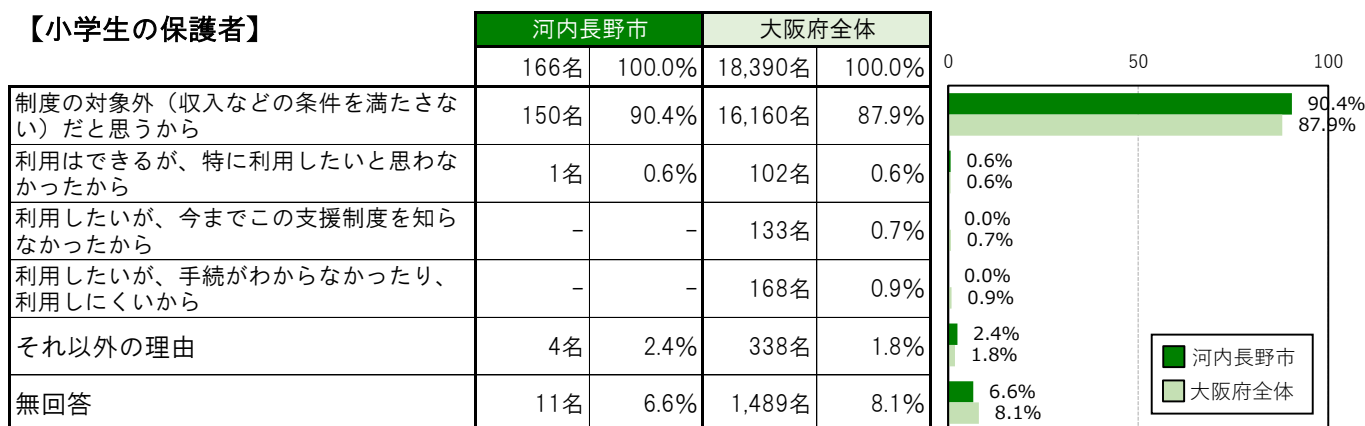
小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.4%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.8%で最も多く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が2.3%となっている。

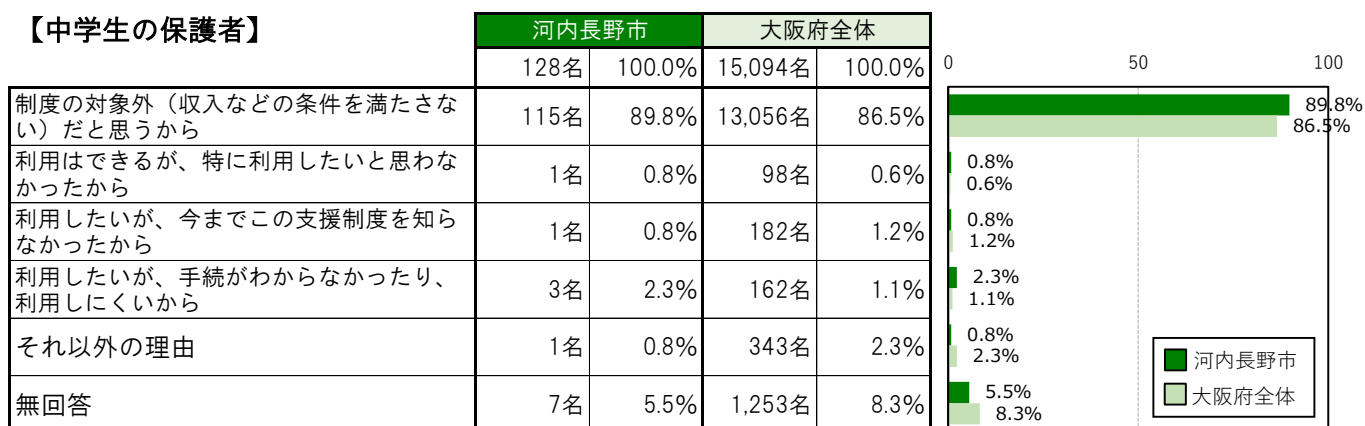
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）

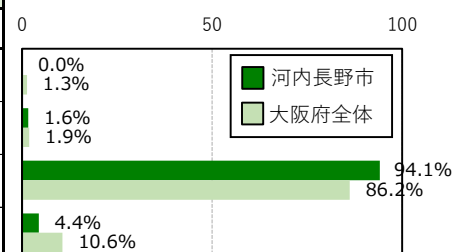
保護者全体は、「利用したことがない」が94.1%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.6%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が93.7%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が93.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.3%となっている。

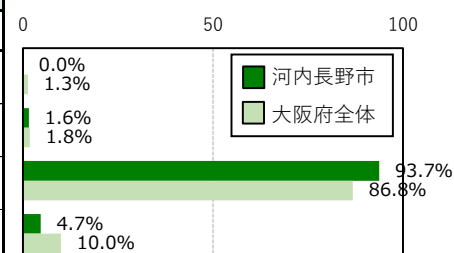
【保護者全体】

	河内長野市		大阪府全体	
	387名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	-	-	569名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	6名	1.6%	814名	1.9%
利用したことがない	364名	94.1%	37,313名	86.2%
無回答	17名	4.4%	4,604名	10.6%



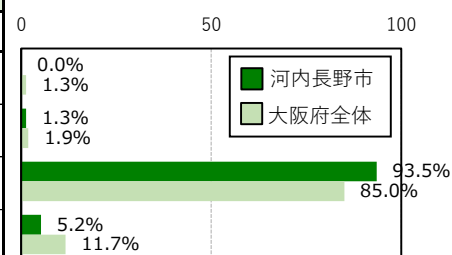
【小学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	191名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	-	-	298名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	1.6%	419名	1.8%
利用したことがない	179名	93.7%	19,782名	86.8%
無回答	9名	4.7%	2,287名	10.0%



【中学生の保護者】

	河内長野市		大阪府全体	
	153名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	-	-	258名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	1.3%	372名	1.9%
利用したことがない	143名	93.5%	16,467名	85.0%
無回答	8名	5.2%	2,268名	11.7%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）
＜利用したことがない理由＞

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が85.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.6%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.4%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.0%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.2%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が85.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が2.1%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



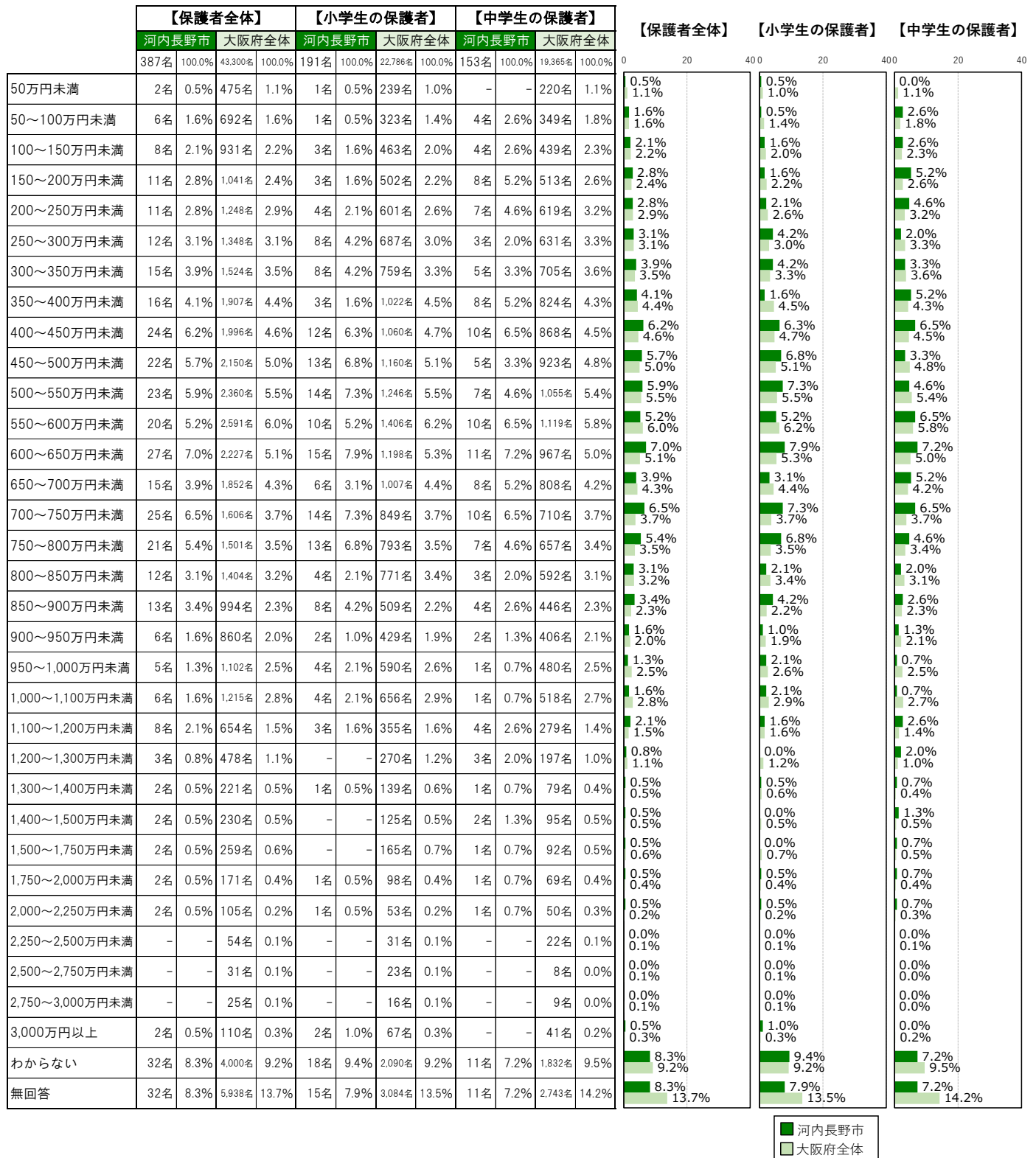
保護者のことについて

問24 世帯収入

保護者全体は、「600～650万円未満」が7.0%で最も多く、次いで「700～750万円未満」が6.5%、「400～450万円未満」が6.2%、「500～550万円未満」が5.9%となっている。

小学生の保護者は、「600～650万円未満」が7.9%で最も多く、次いで「500～550万円未満」と「700～750万円未満」がそれぞれ7.3%、「450～500万円未満」と「750～800万円未満」がそれぞれ6.8%となっている。

中学生の保護者は、「600～650万円未満」が7.2%で最も多く、次いで「400～450万円未満」と「550～600万円未満」、「700～750万円未満」がそれぞれ6.5%となっている。



世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要がある、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf>

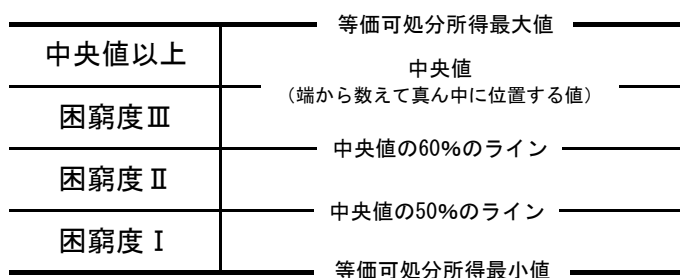
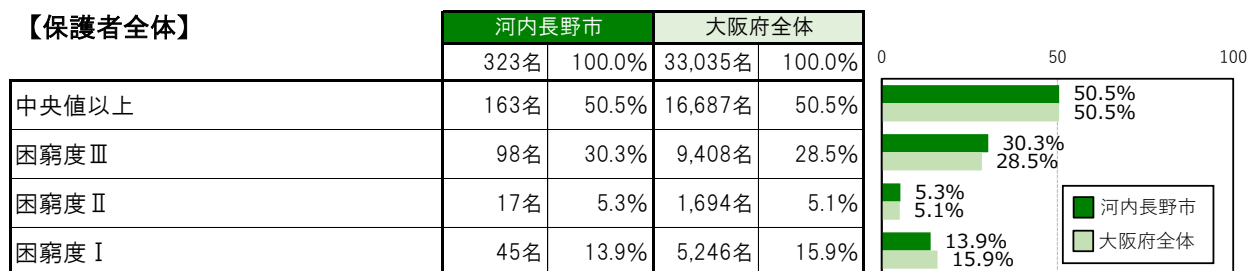


図 困窮度の分類と基準

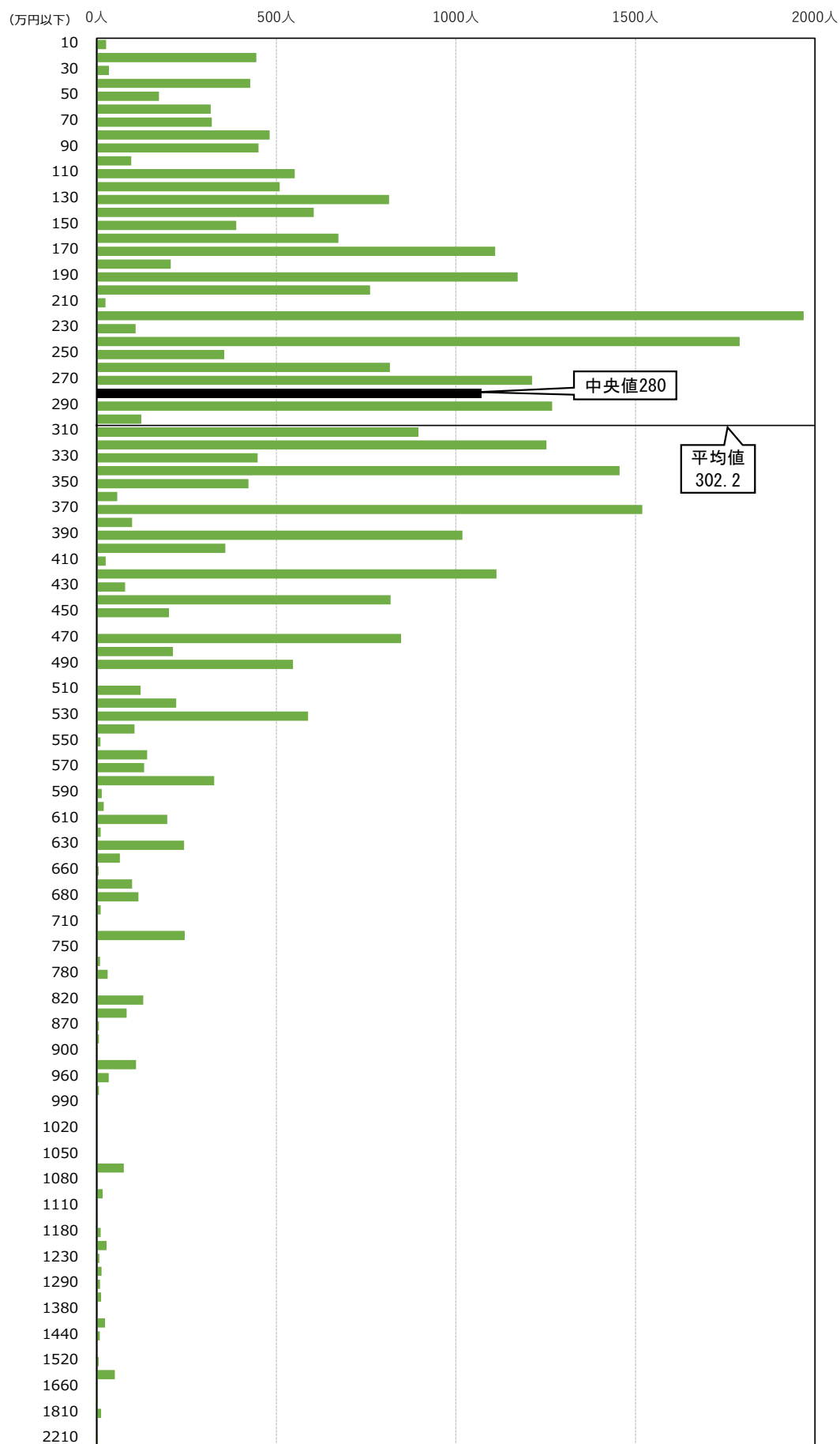
中央値は280万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は13.9%であった。

なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は15.9%であった。

【保護者全体】



保護者全体は、「中央値以上」が50.5%で最も多く、次いで「困窮度Ⅲ」が30.3%、「困窮度Ⅰ」が13.9%、「困窮度Ⅱ」が5.3%となっている。



※ 2016年度調査では、中央値255万円、平均値272.7万円であった。
注) 2023年度調査ではグラフ作成方法を改訂している。

図 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布

保護者のことについて

問25 同居家族が新型コロナウイルスに感染した延べ回数

保護者全体は、「いない」が31.8%で最も多く、次いで「1回」が17.1%、「2回」が15.8%、「4回」が12.1%となっている。

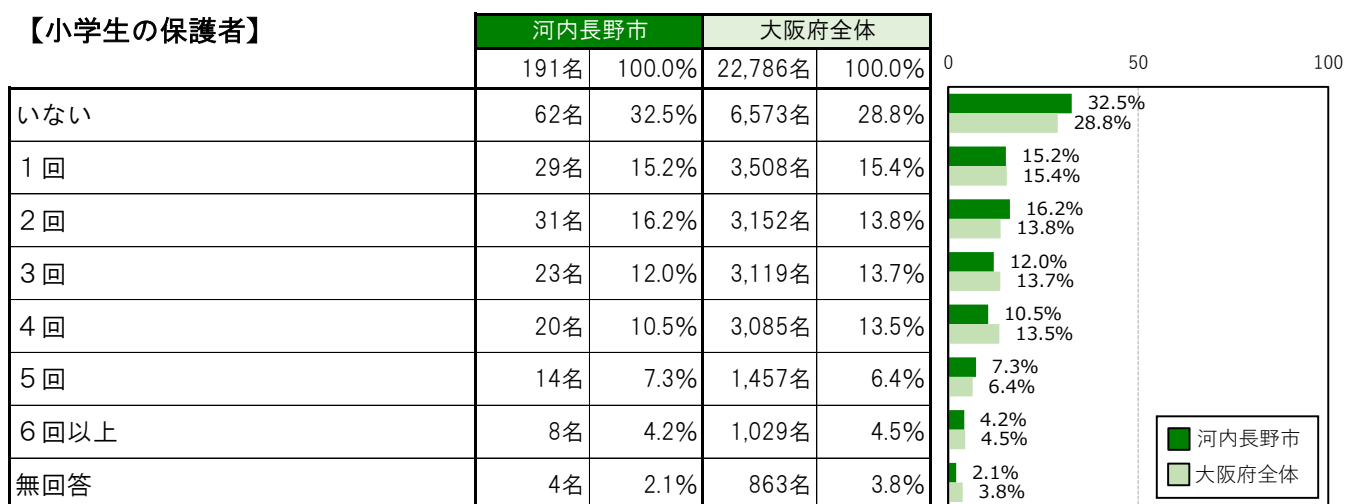
小学生の保護者は、「いない」が32.5%で最も多く、次いで「2回」が16.2%、「1回」が15.2%、「3回」が12.0%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が31.4%で最も多く、次いで「1回」が21.6%、「2回」が15.7%、「4回」が12.4%となっている。

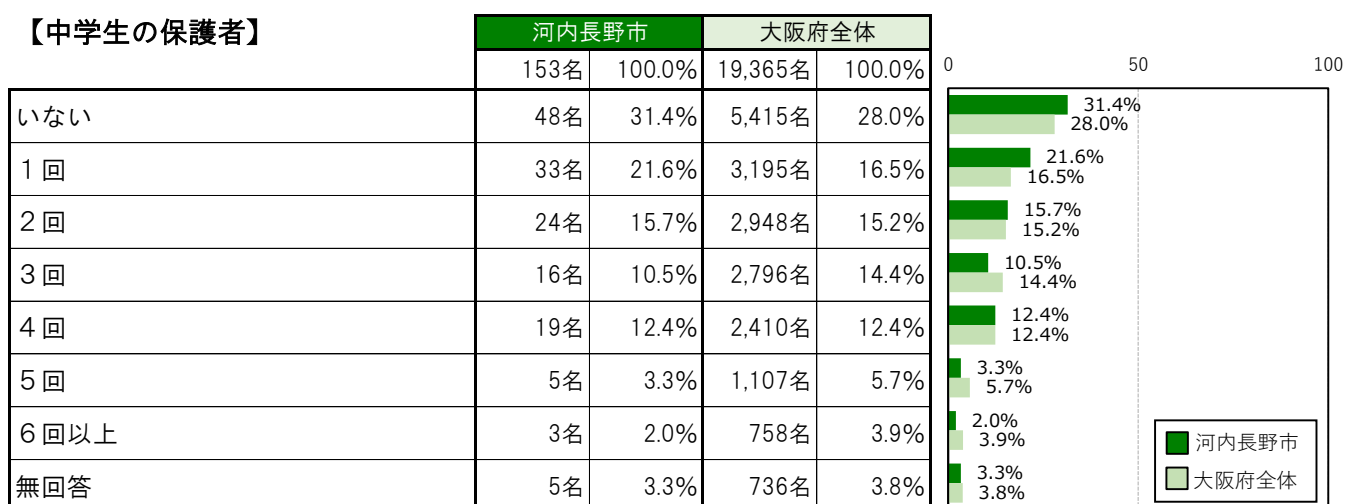
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

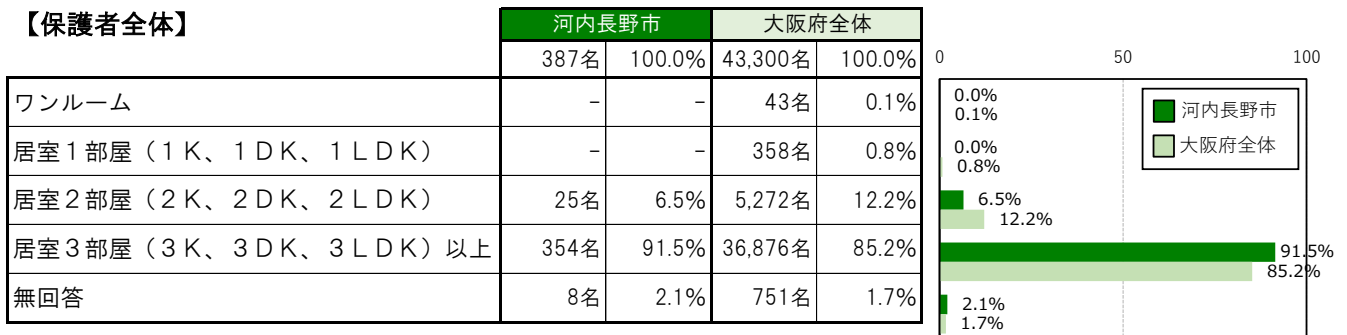
問26（１）住居の間取り

保護者全体は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が91.5%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が6.5%となっている。

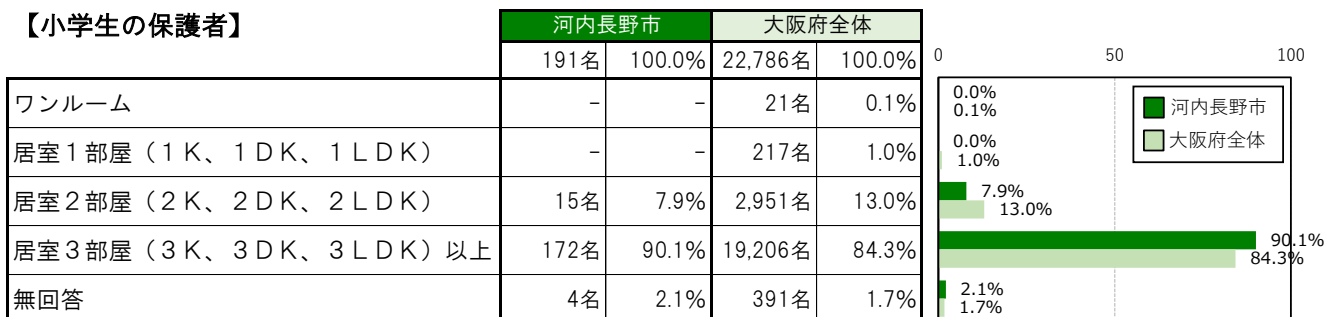
小学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が90.1%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が7.9%となっている。

中学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が92.2%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が5.2%となっている。

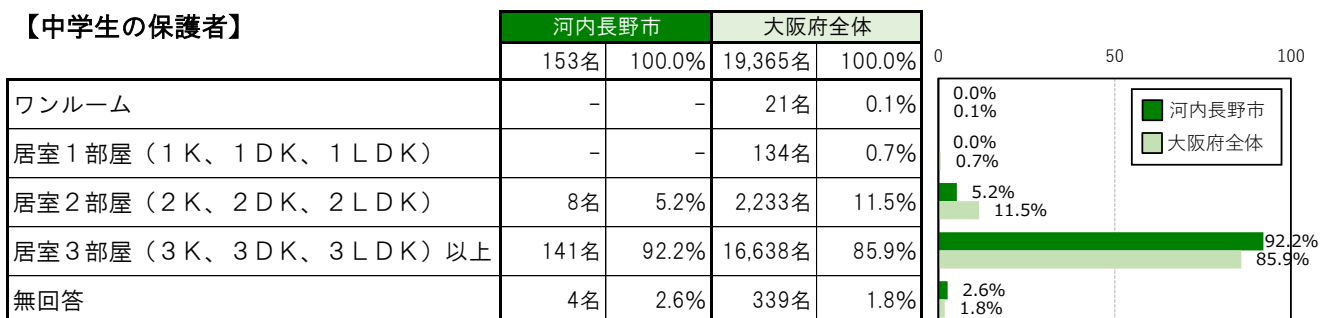
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

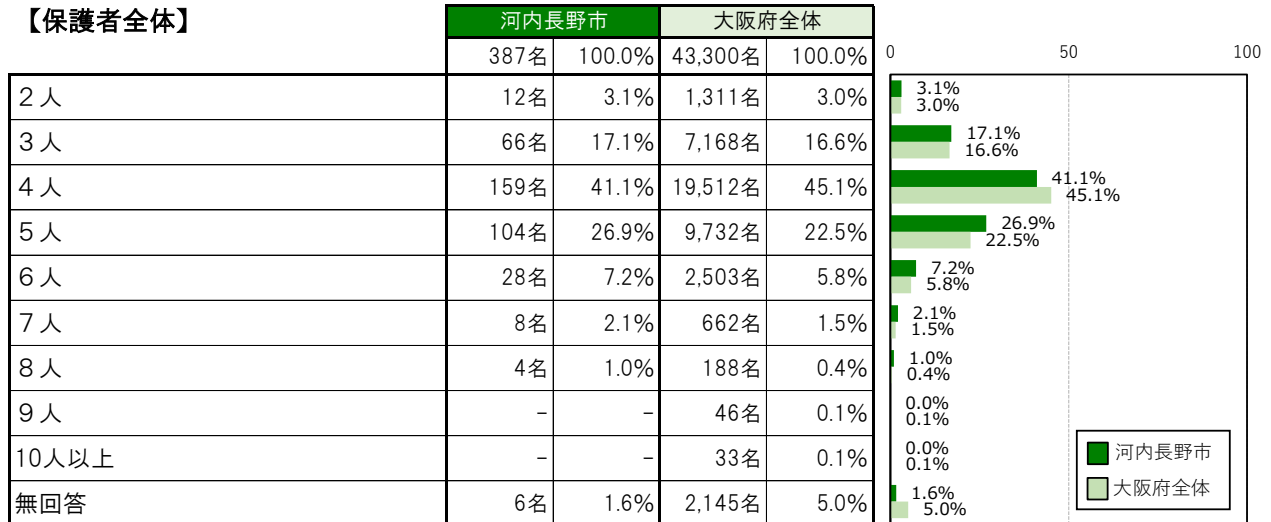
問26（２）同居人数

保護者全体は、「４人」が41.1%で最も多く、次いで「５人」が26.9%、「３人」が17.1%、「６人」が7.2%となっている。

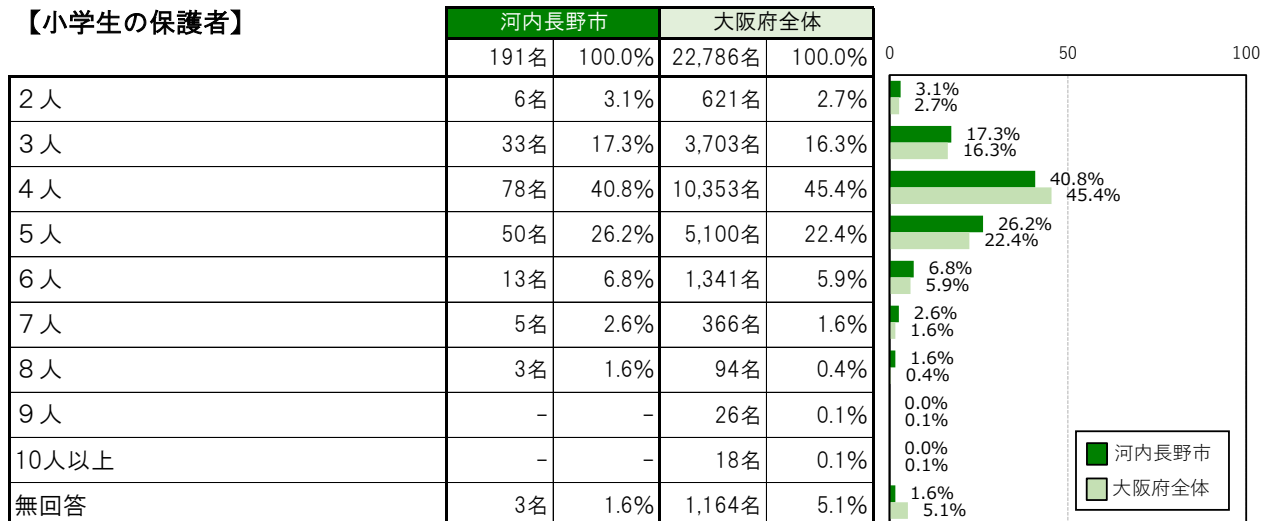
小学生の保護者は、「４人」が40.8%で最も多く、次いで「５人」が26.2%、「３人」が17.3%、「６人」が6.8%となっている。

中学生の保護者は、「４人」が42.5%で最も多く、次いで「５人」が26.1%、「３人」が16.3%、「６人」が7.8%となっている。

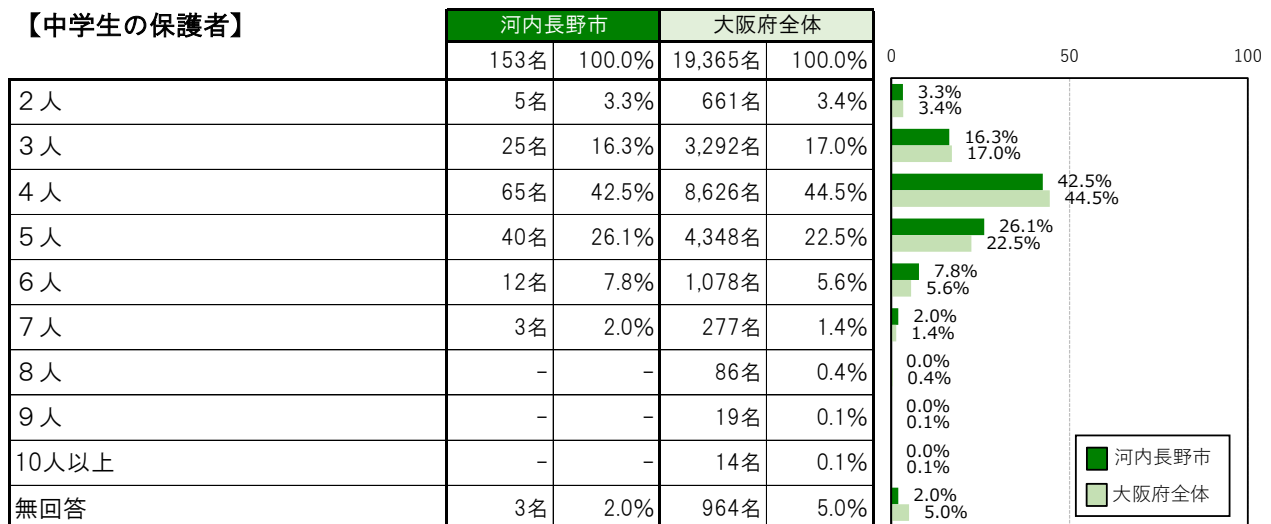
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



3. クロス集計および分析結果

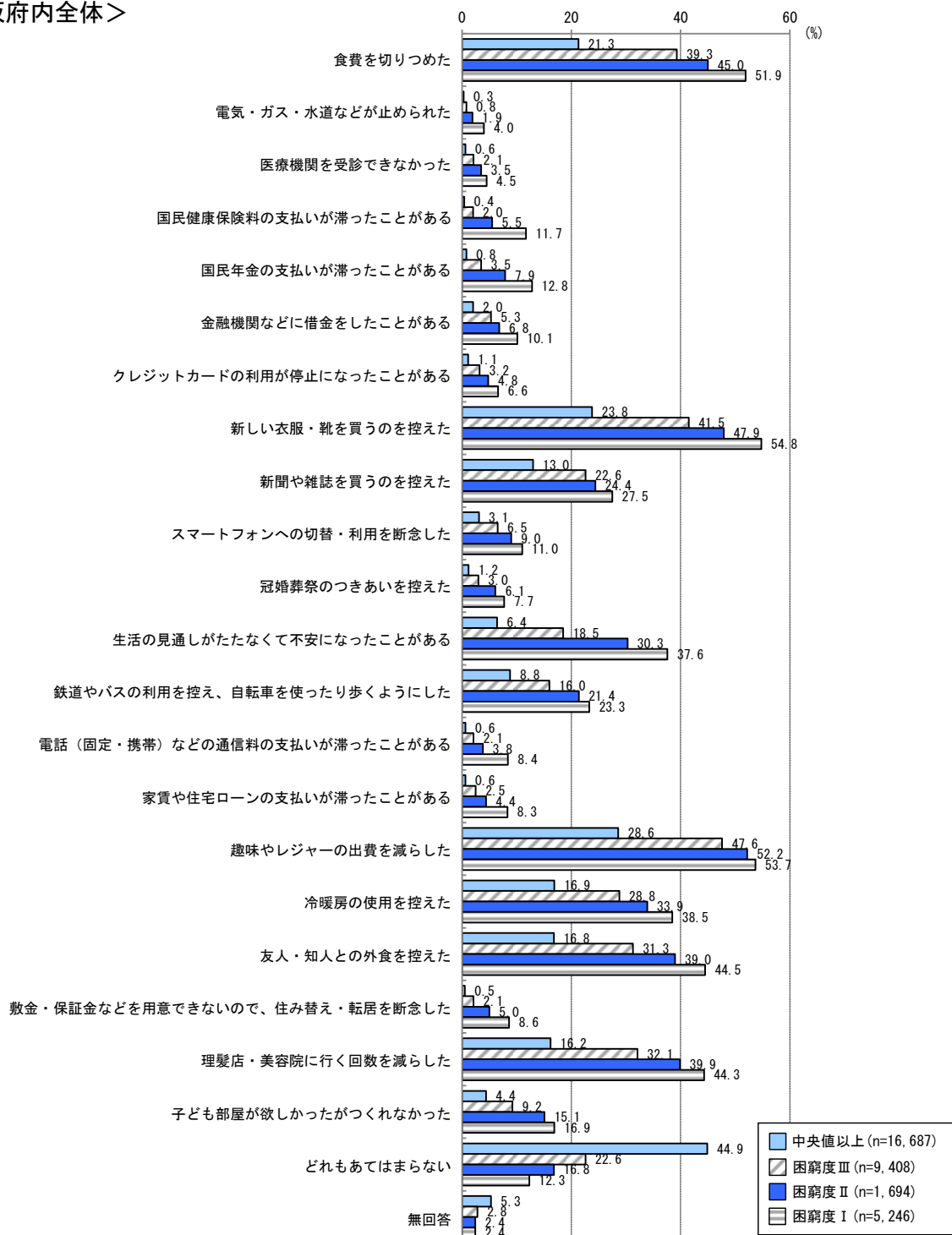
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪府内全自治体の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票問7）

<大阪府内全体>



＜河内長野市＞

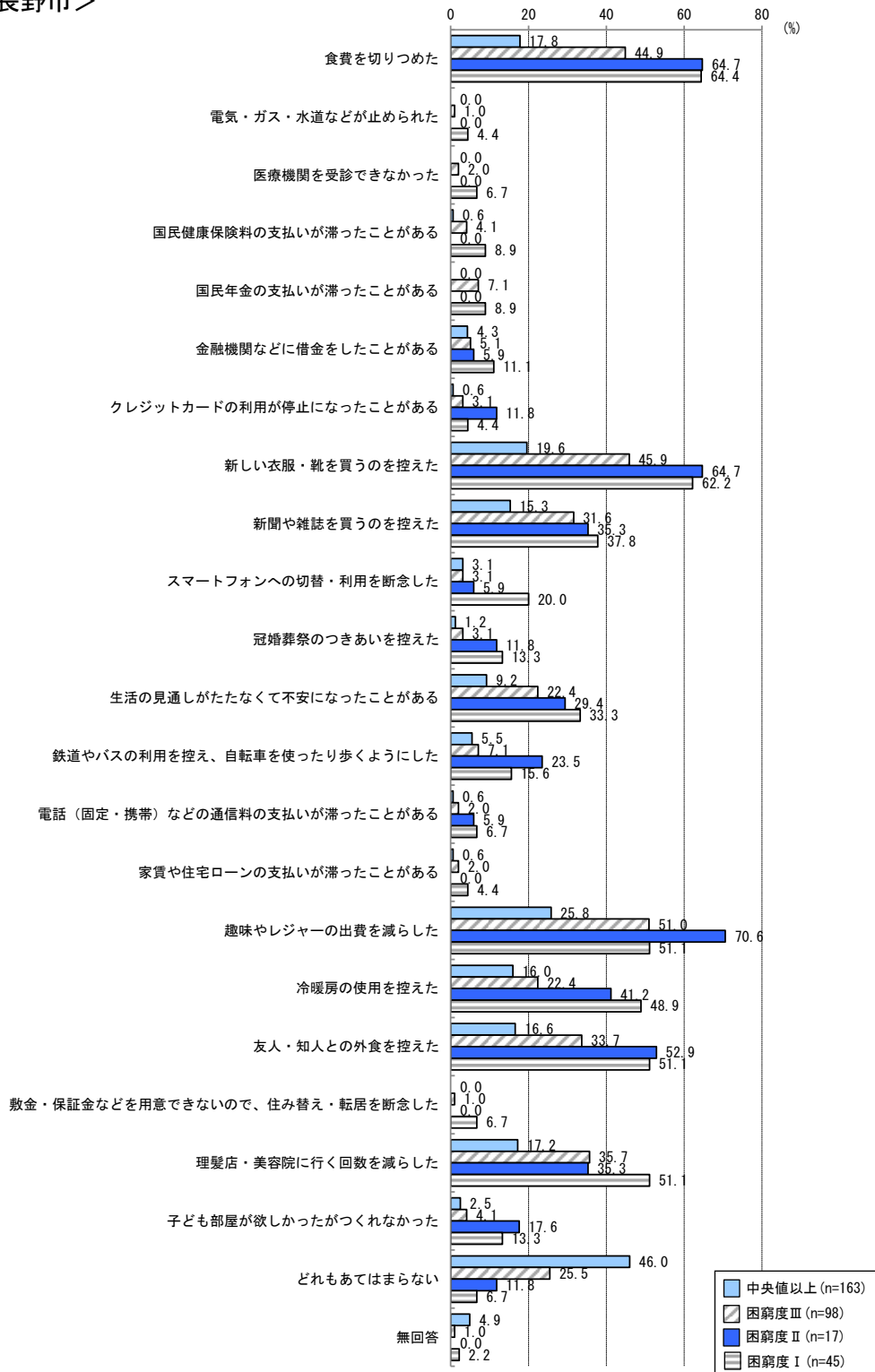
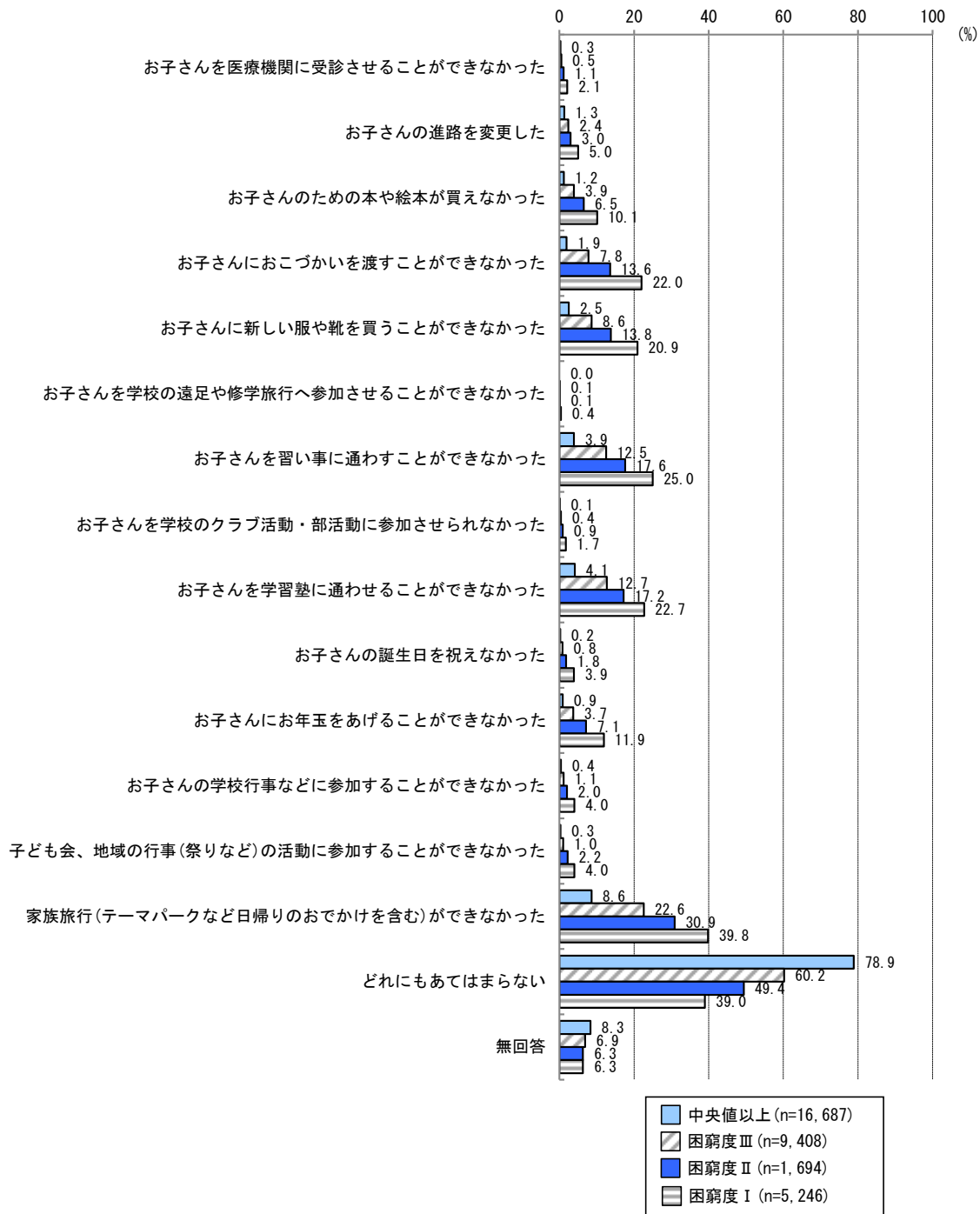


図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」が8.9%（中央値以上群に対して14.8倍）、「電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある」が6.7%（同じく11.2倍）、「冠婚葬祭のつきあいを控えた」が13.3%（同じく11.1倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また「どれもあてはまらない」は中央値以上群で46.0%に対して、困窮度Ⅰ群において6.7%だった。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

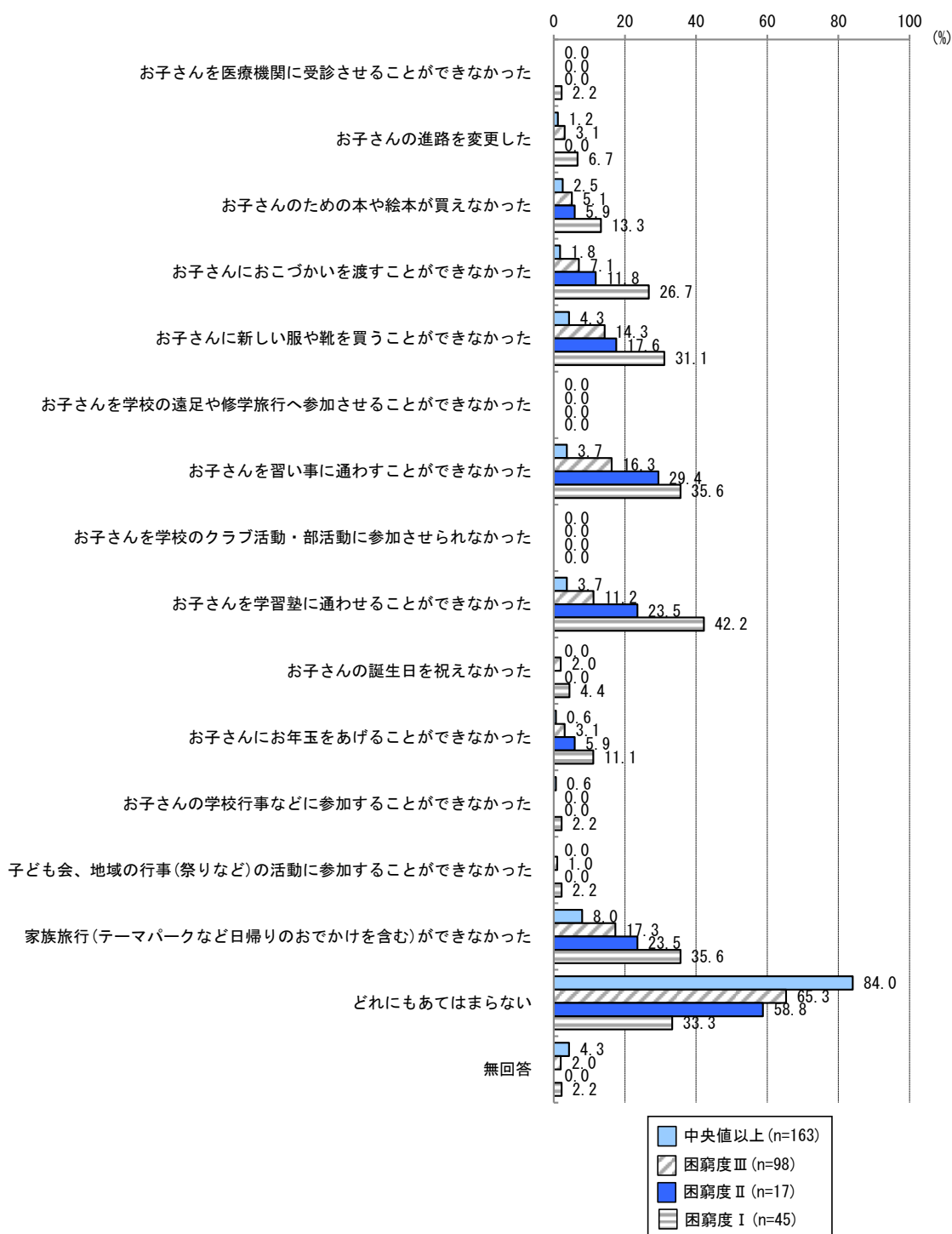


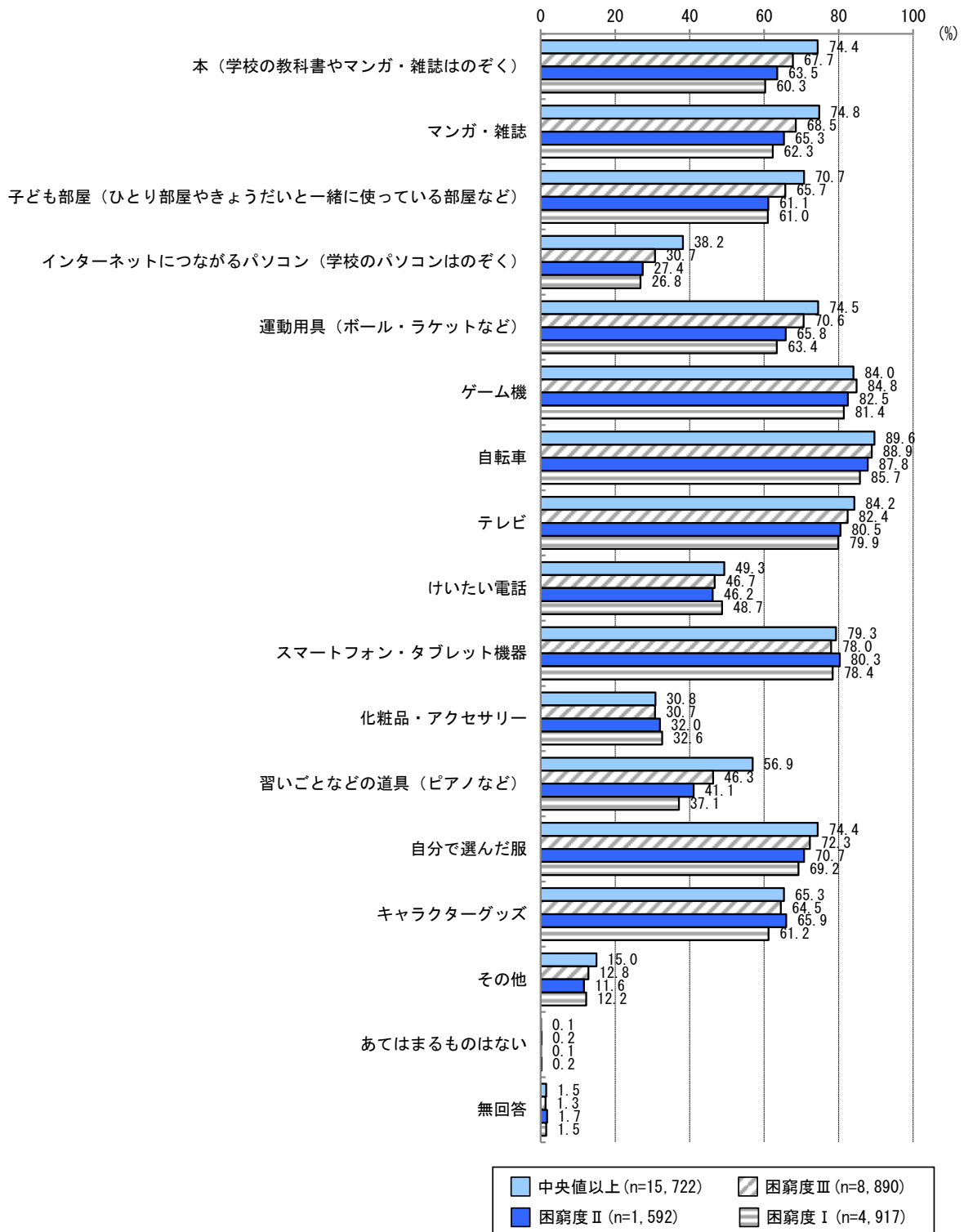
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「お子さんにお年玉をあげることができなかった」が11.1%（中央値以上群に対して18.5倍）、「お子さんにおこづかいを渡すことができなかった」が26.7%（同じく14.8倍）となっている。

また、「どれにもあてはまらない」は中央値以上群で84.0%に対して、困窮度Ⅰ群において33.3%だった。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

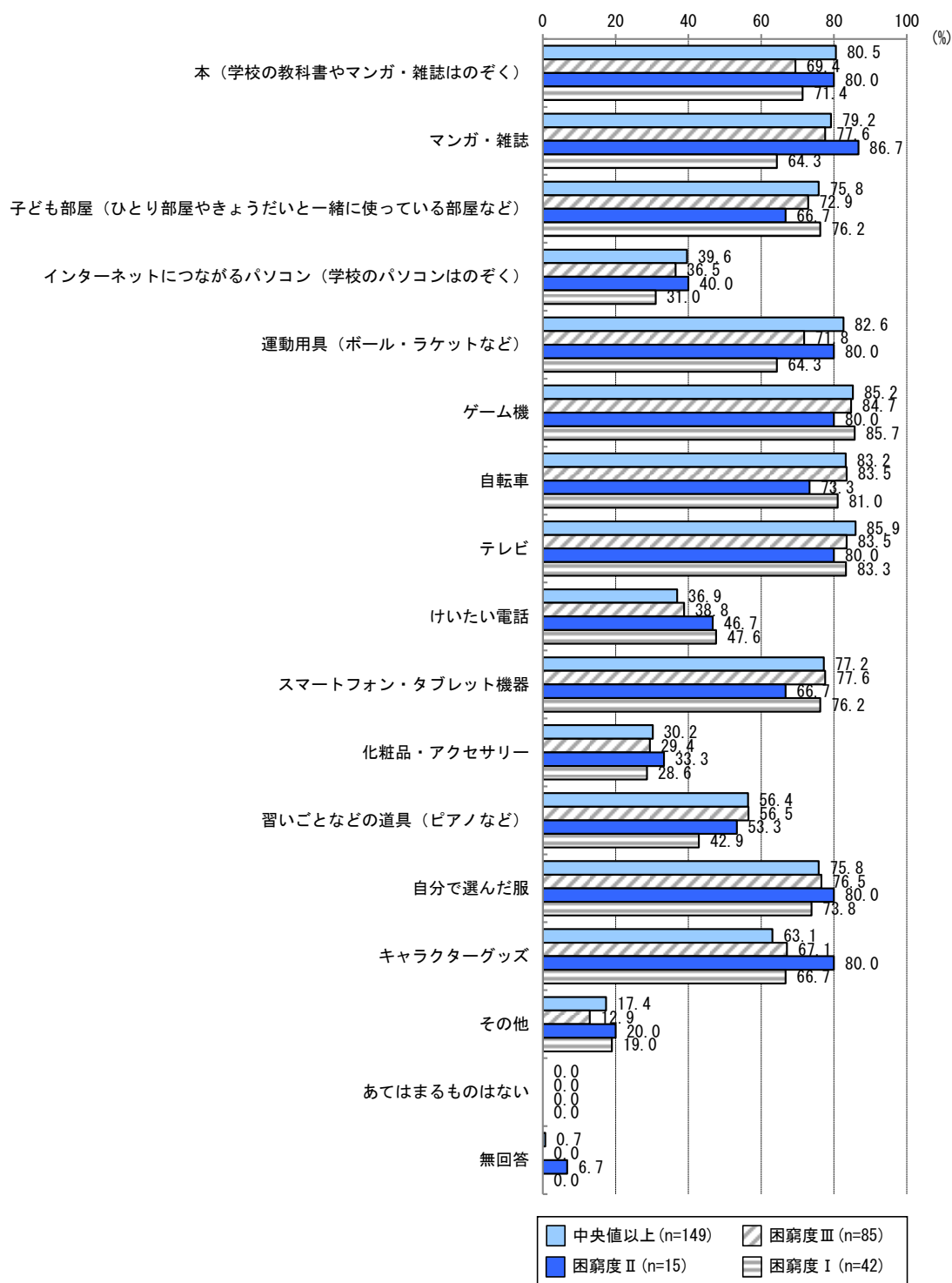
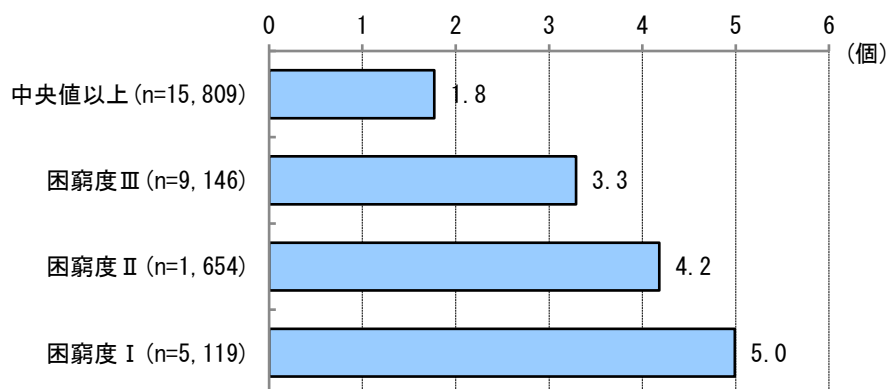


図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものをみると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群を見ると、「インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）」が39.6%（困窮度Ⅰ群に対して1.3倍）、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が82.6%（同じく1.3倍）、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」が56.4%（同じく1.3倍）となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問7）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

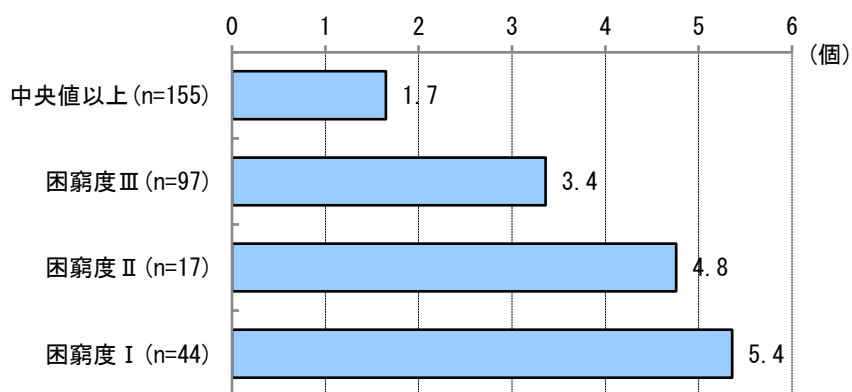


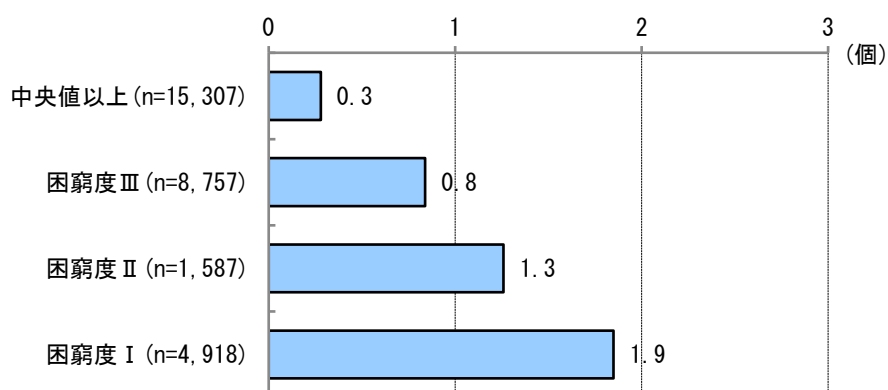
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

経済的な理由による経験として示した21個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

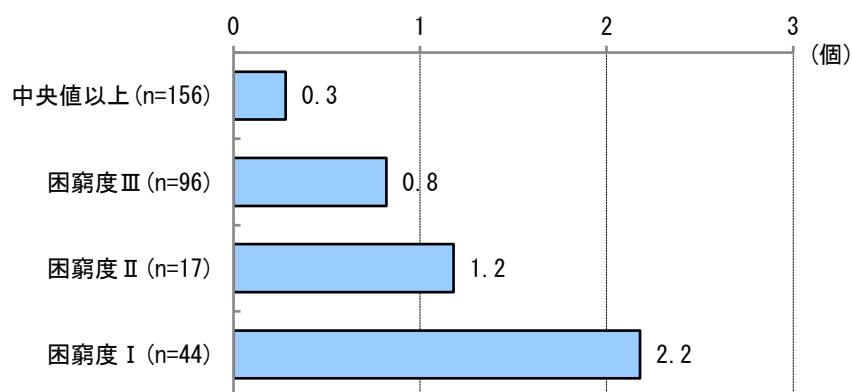


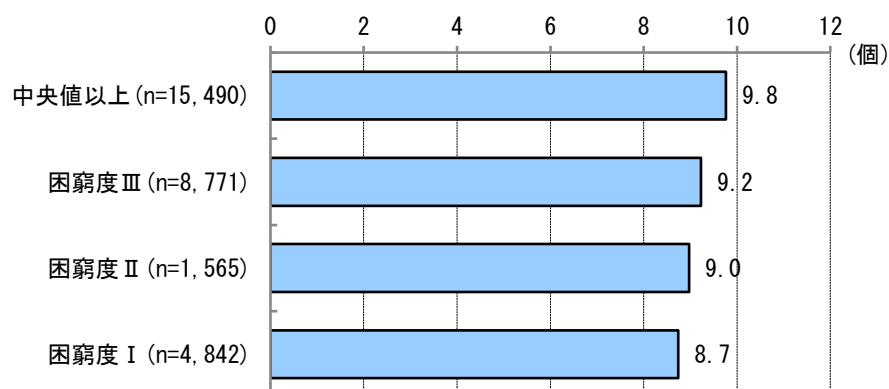
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

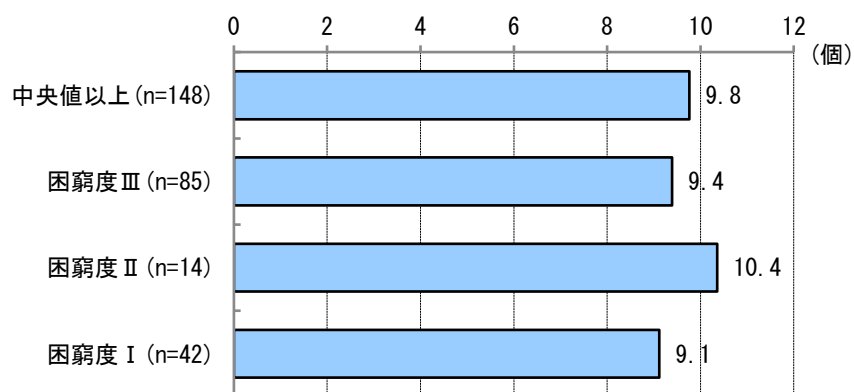


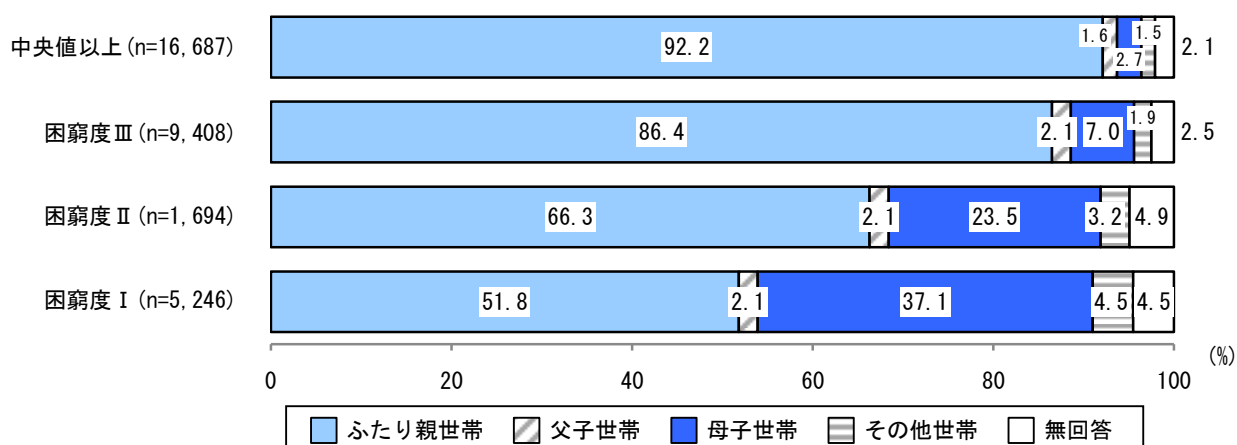
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度によって子どもの持ちもの、使えるものの該当数に大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

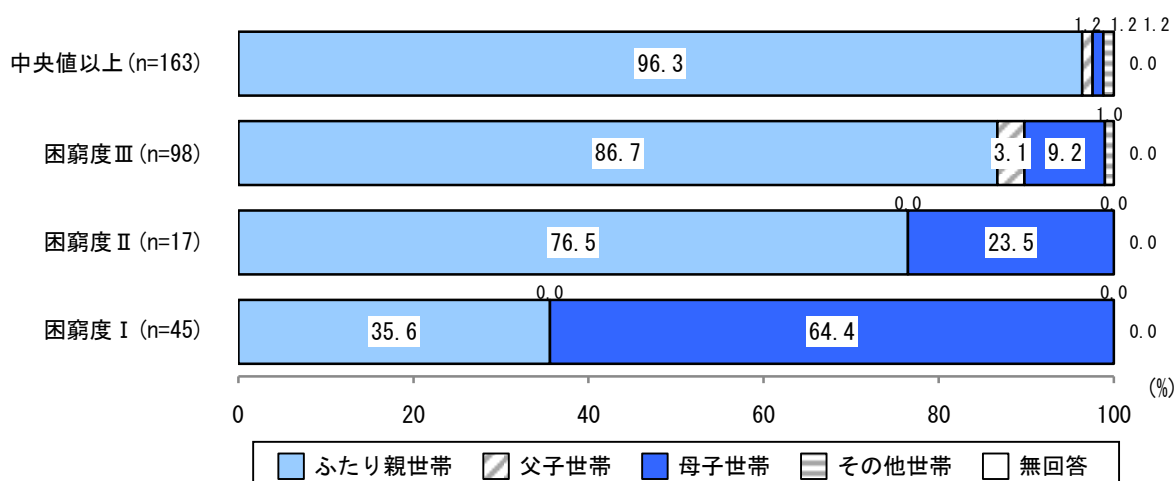
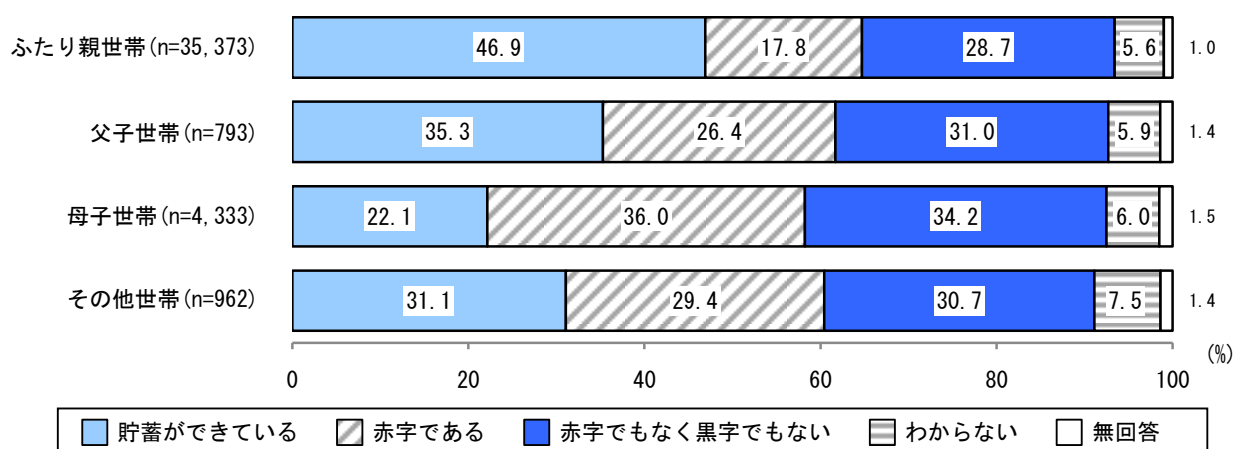


図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が96.3%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は35.6%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が1.2%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は64.4%だった。

世帯構成別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

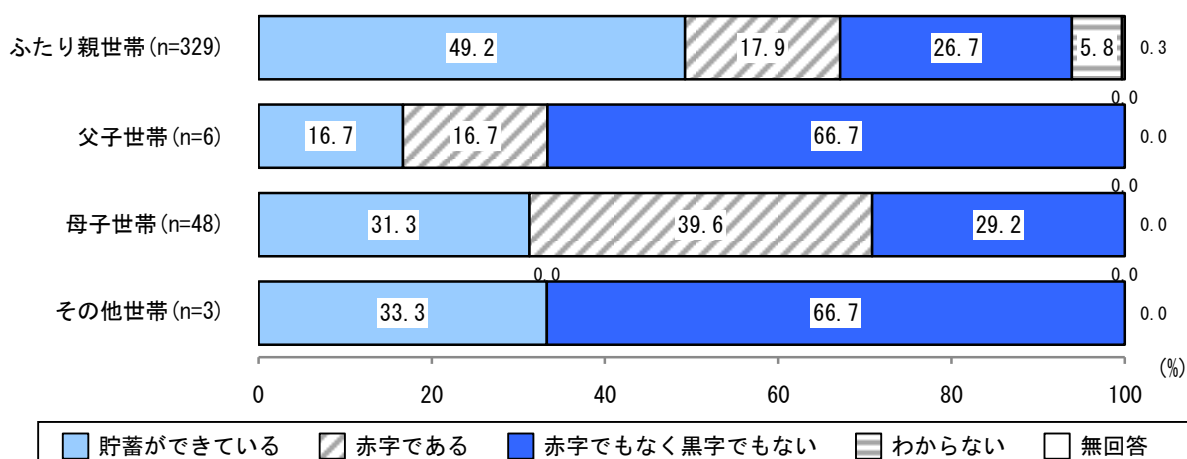
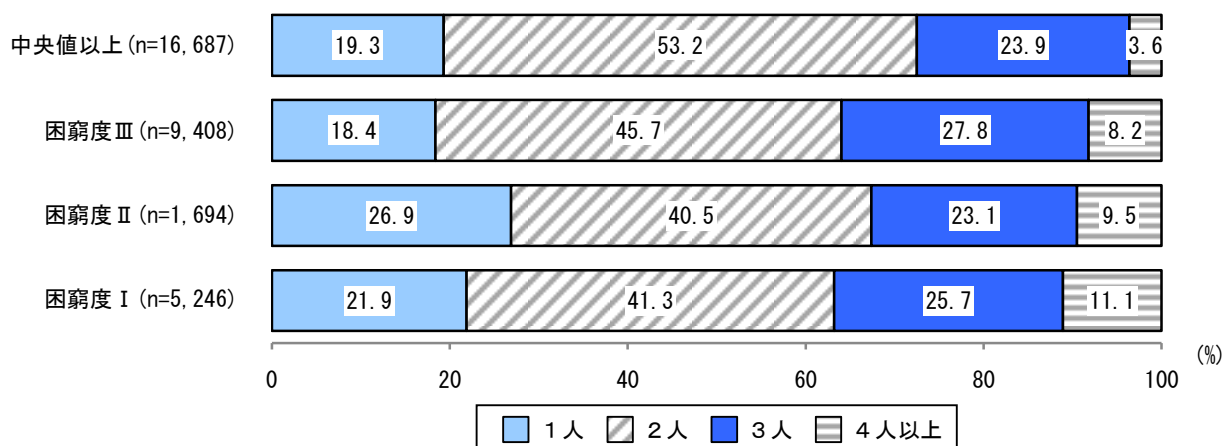


図 8. 世帯構成別に見た、家計の状況

世帯構成別に家計の状況を見ると、「貯蓄ができている」と回答した割合は、ふたり親世帯が49.2%なのに対して、母子世帯31.3%、父子世帯16.7%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が17.9%なのに対して、母子世帯は39.6%だった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

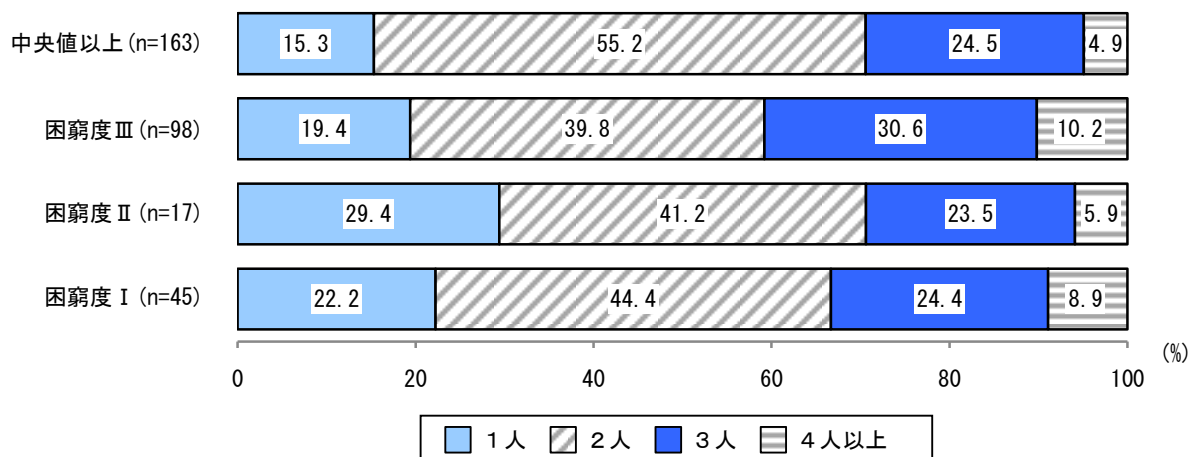
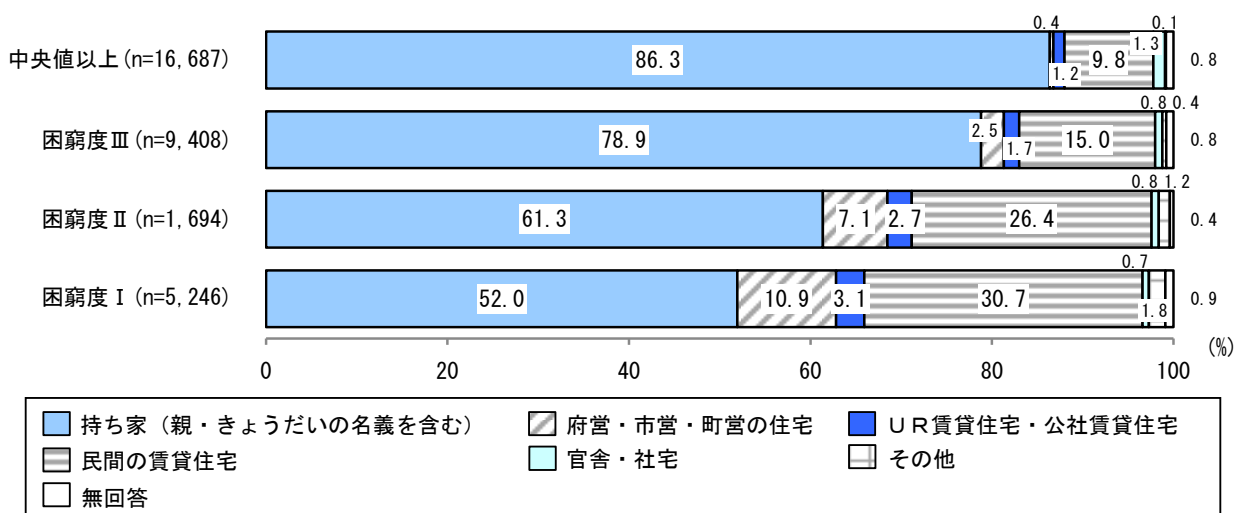


図 9. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が29.4%（3人24.5%、4人以上4.9%）であるのに対して、困窮度Ⅲ群では、3人以上が40.8%（3人30.6%、4人以上10.2%）と高くなっている。

困窮度別に見た、住居形態（保護者票問5）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

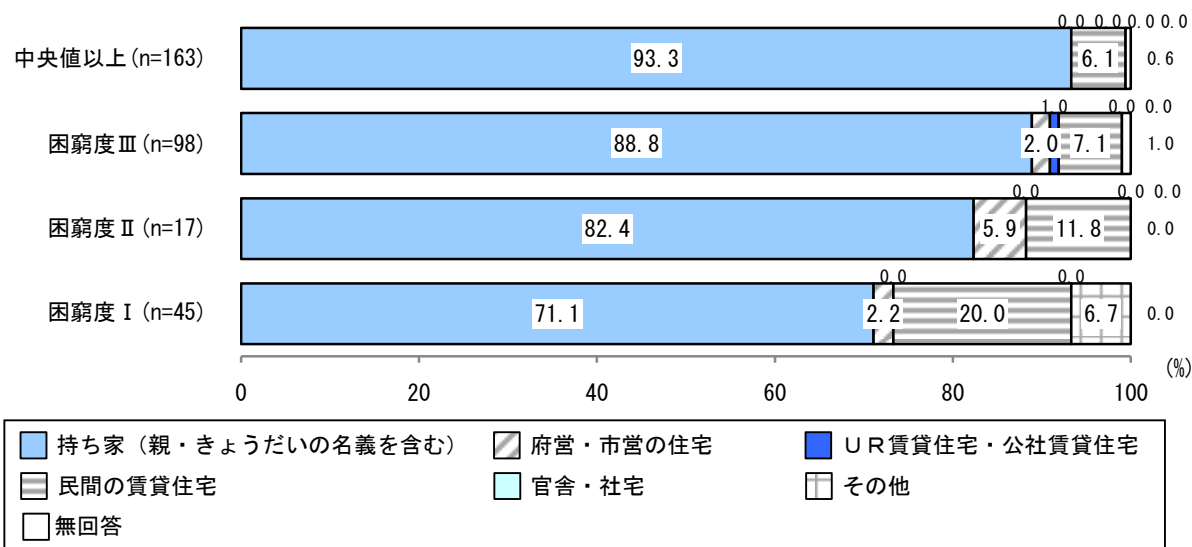
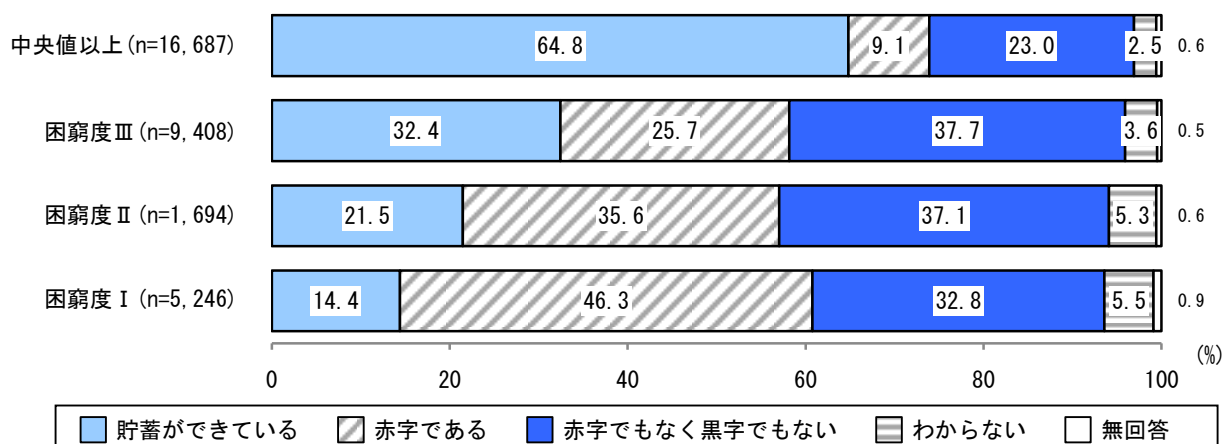


図 10. 困窮度別に見た、住居形態

困窮度別に住居形態を見ると、困窮度が高まるにつれ、持ち家の保有率は低くなっている。中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は93.3%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、71.1%にとどまっている。

困窮度別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

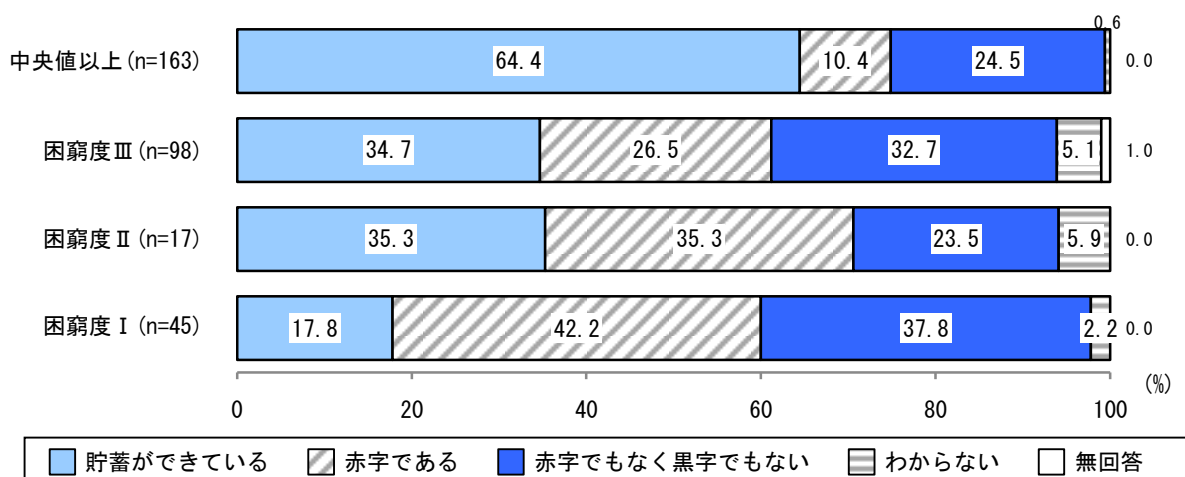
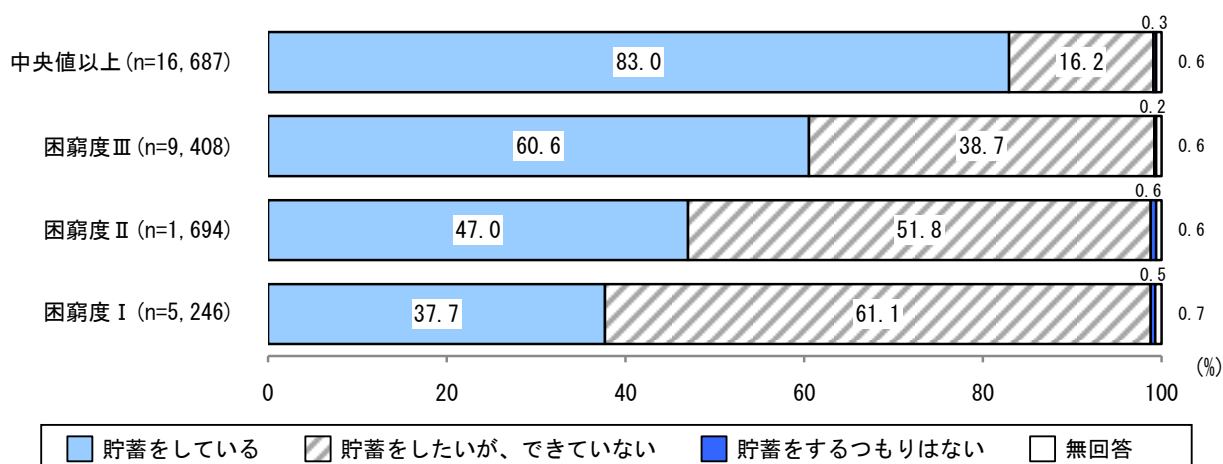


図 11. 困窮度別に見た、家計の状況

困窮度別に家計の状況を見ると、困窮度が高まるにつれて、「貯蓄ができています」と回答する割合が低くなり、逆に、「赤字である」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、10.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、42.2%となり、4割を超えている。

困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問 6(2)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

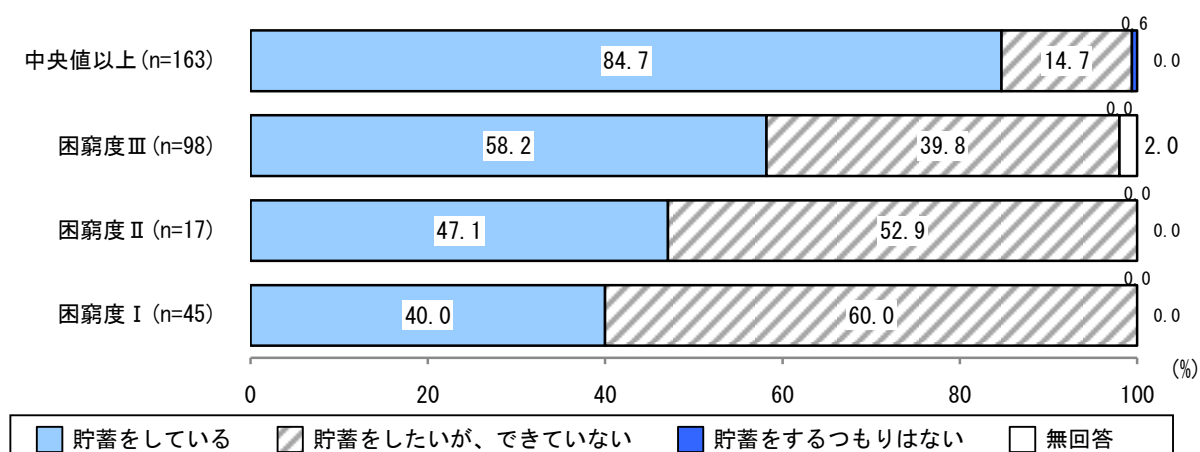
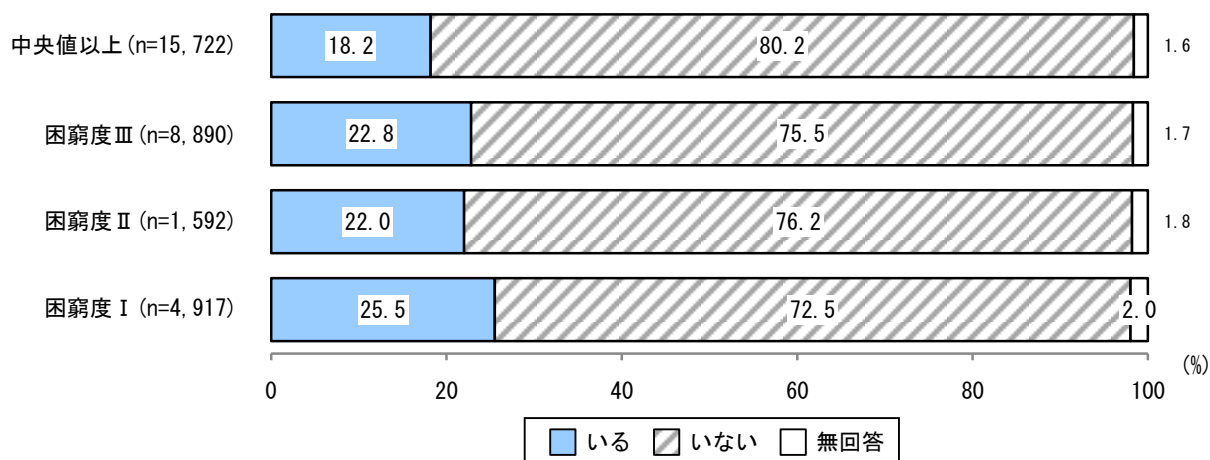


図 12. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

困窮度別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答する割合が84.7%を占めたが、困窮度Ⅰ群では40.0%にとどまり、約6割が「貯蓄をしたいが、できていない」と回答している。

困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無（子ども票問 26(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

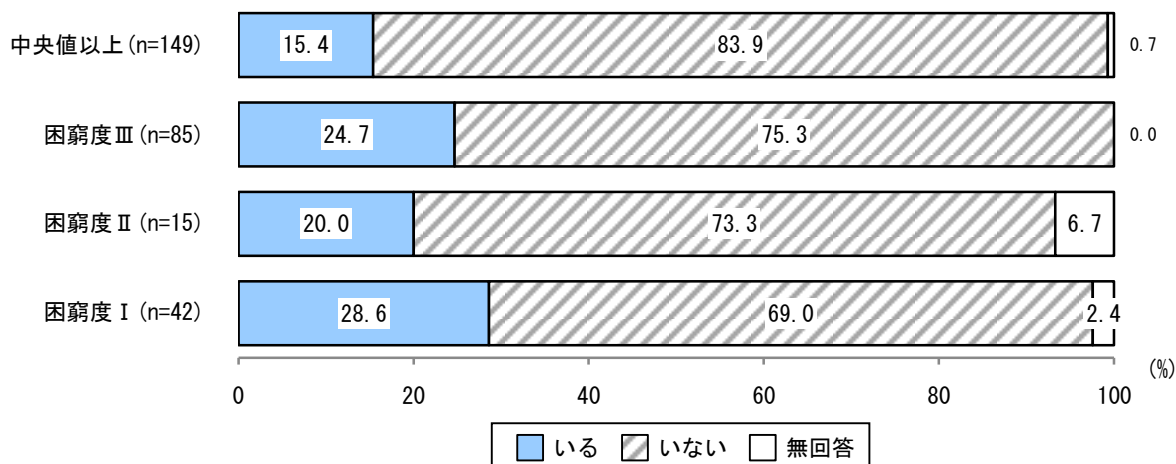


図 13. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無

困窮度別に自分が世話をしている人の有無を見ると、自分が世話をしている人が「いる」と回答した割合は困窮度Ⅰ群で28.6%と最も高くなっている。中央値以上群では、「いない」と回答する割合が83.9%を占め、最も高くなっている。

＜経済状況に関する考察＞

経済的理由で生じた生活上の困難についての質問項目は、現在の日本社会において、「通常であれば可能な生活」を基準に設定している。「どれもあてはまらない」という回答は、その基準に達していることを示すものであるが、中央値以上群で46.0%に対して、困窮度Ⅰ群では6.7%にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にあり、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」(62.2%対19.6%)、「友人・知人との外食を控えた」(51.1%対16.6%)、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」(51.1%対17.2%)と回答した割合が30ポイント以上高くなっており、交際費に関する困窮度を示す結果といえる。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」(8.9%対0.6%)、「金融機関などに借金をしたことがある」(11.1%対4.3%)、「クレジットカードの利用が停止になったことがある」(4.4%対0.6%)、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」(4.4%対0.6%)、と高くなっており、中長期的に見て潜在的な信用問題を招く可能性が高いことが予想される。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響しており、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」(33.3%対9.2%)と回答した割合が高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、交際費に支出を充てる余裕がないばかりか、信用問題を生じさせ得ないような状態にあり、将来への不安感が多いことが看取される。

世帯の経済状況は、子どもの教育にも影響を及ぼしていることが確認できる。主な項目をあげると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」(42.2%対3.7%)、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」(35.6%対3.7%)、「お子さんの進路を変更した」(6.7%対1.2%)と回答した割合が高くなっており、必需品以外の弾力的な支出について乖離がみられる。これらの結果から、経済状況によって、子どもの進路や学習環境に格差が生じるとともに、将来の進路についても選択の幅を狭めてしまう可能性が高いことを示唆している。

同様に、学校以外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験の機会に格差があることが示されている。具体的には、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「家族旅行（日帰りのおでかけを含む）ができなかった」(35.6%対8.0%)といった経験に大きな差がある。その一方、「どれにもあてはまらない」が全体で70.5%であるのに対して、中央値以上群では84.0%、困窮度Ⅰ群で33.3%あり、多様な経験を享受できる機会に明確に差がみられる。また同様の傾向は困窮状態に応じてみられることから、経済状況によって情緒的な人格形成に必要な経験を得る機会が十分に確保できなくなる可能性を示唆している。

また、「子どもの将来のための貯蓄状況」という質問項目に対して、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「貯蓄をしている」と回答した割合が高くなっている(84.7%対40.0%)。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高くなっており(60.0%対14.7%)、貯蓄の状況に大きな差があることが確認できる。これらの結果から、経済的困難な家庭では、貯蓄を十分に確保することができているとはいえず、将来子どもに起こり得る疾病等への備えや進路の選択肢を広範に提示することが難しく、子どもの将来に対する経済的支援が難しくなると予想される。

近年、子どもの貧困やヤングケアラーへの社会的関心が深まりつつあり、厚生労働省と文部科学省が連携して行った全国調査では、ヤングケアラーと思われる子どもは小学6年生で6.5%（令和3年度実施）、中学2年生で5.7%（令和2年度実施）と報告されている（『ヤングケアラーの支援

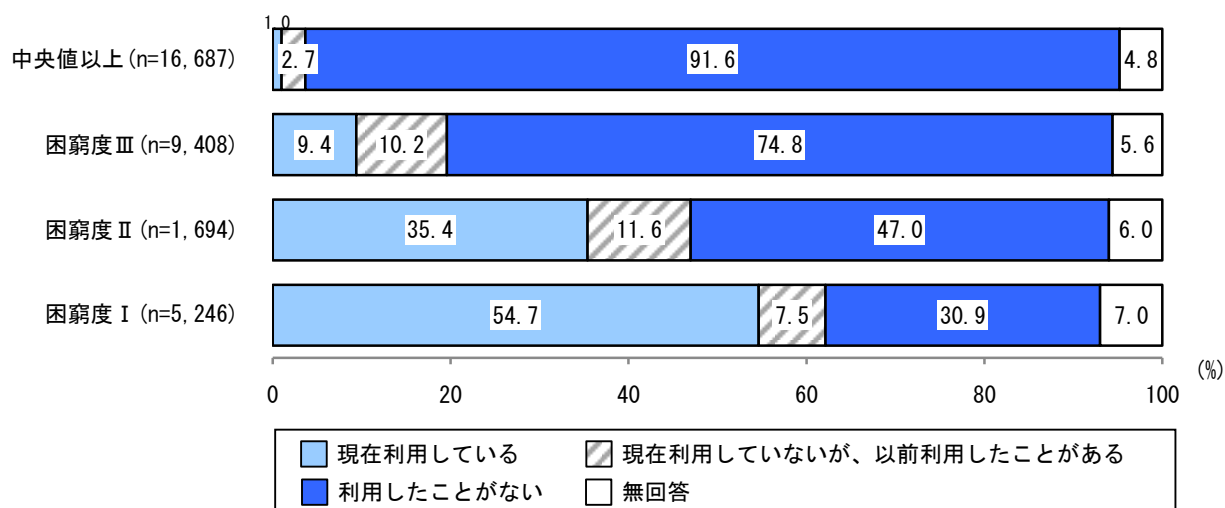
に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告（令和3年5月17日）』。全国調査の結果より、回答した小学6年生の15人に1人程度、中学2年生の17人に1人程度が家族の世話をしていることが明らかになった。

全国の状況を踏まえて、河内長野市が令和5年に実施した、小学5年生、中学2年生を対象とする本調査では、「自分が世話をしている人の有無」という質問に対して「いる」と答えている割合は、全体においては18.4%であるが、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べて「いる」と答えた割合が高くなっている（28.6%対15.4%）。これは、困窮度Ⅰ群では、回答した4人に1人程度が、中央値以上群では、7人に1人程度が世話をしている人が「いる」と回答していることになる。これらの結果から、河内長野市ではヤングケアラーと思われる子どもの割合が相対的にみて高いといえ、経済的困難な家庭ではその傾向がより強まることが看取される。

（２）家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、就学援助の利用状況（保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

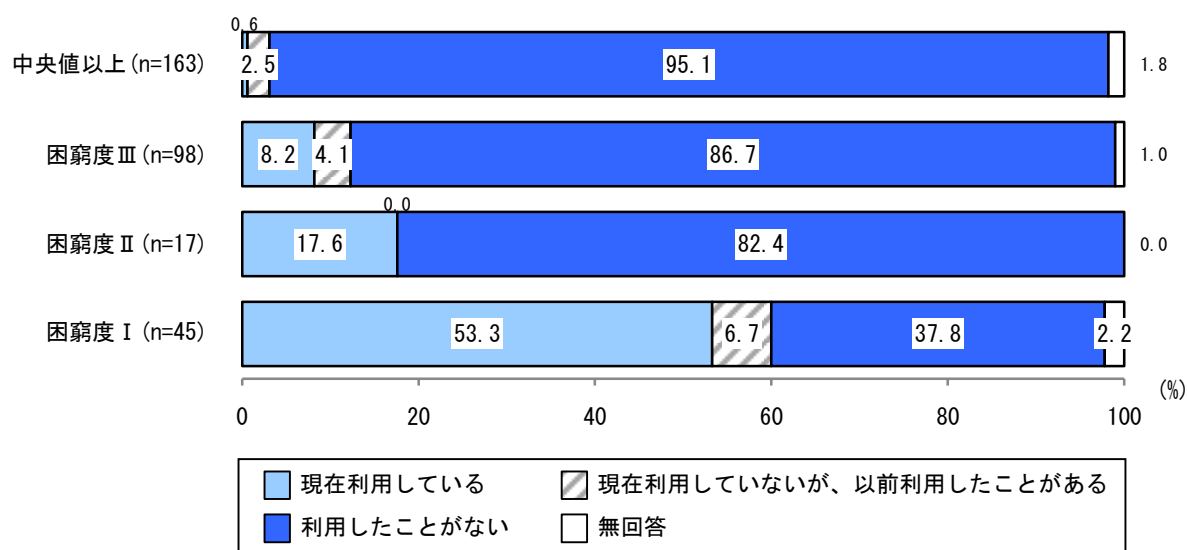
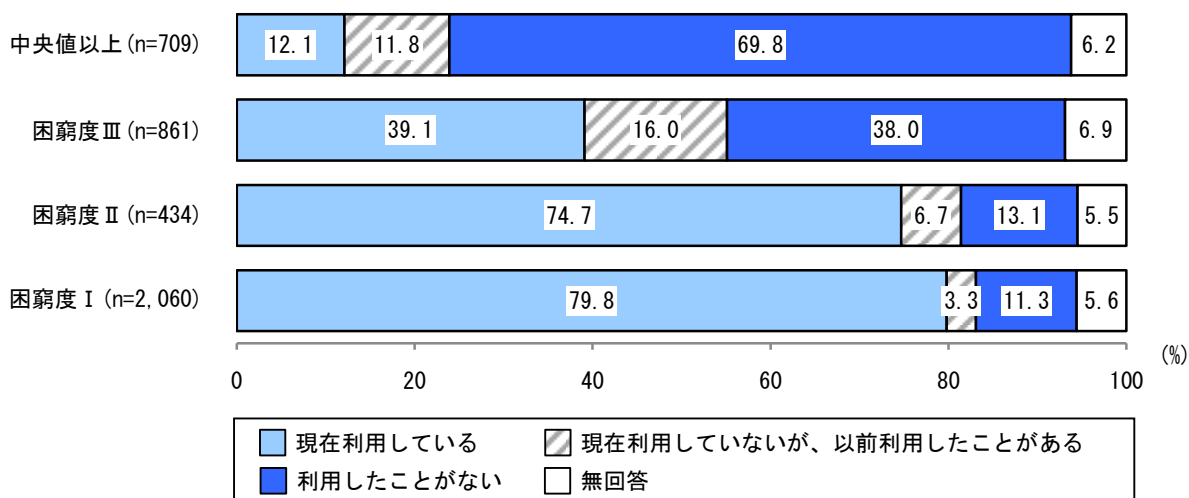


図 14. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況

困窮度別に就学援助の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（保護者票問 23-d）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<河内長野市>

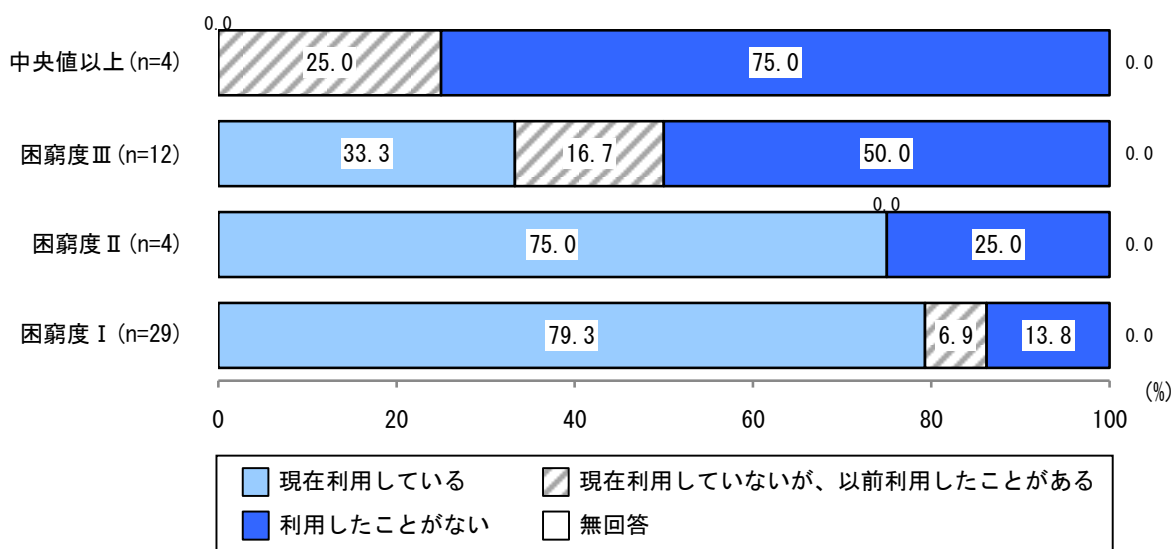
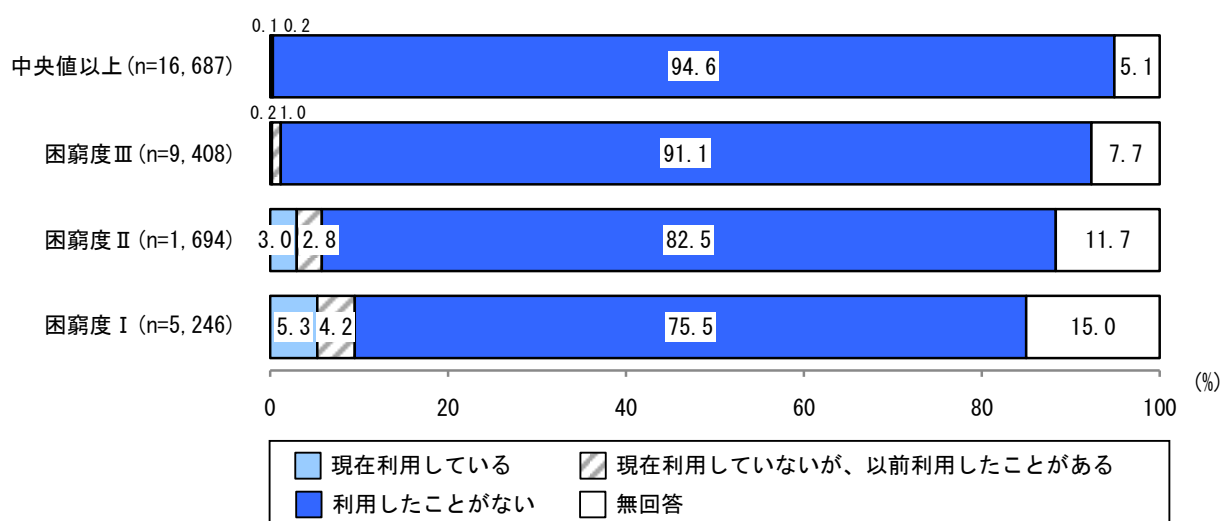


図 15. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に児童扶養手当の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では「利用したことがない」と回答した割合が13.8%を占めている。

困窮度別に見た、生活保護の利用状況（保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

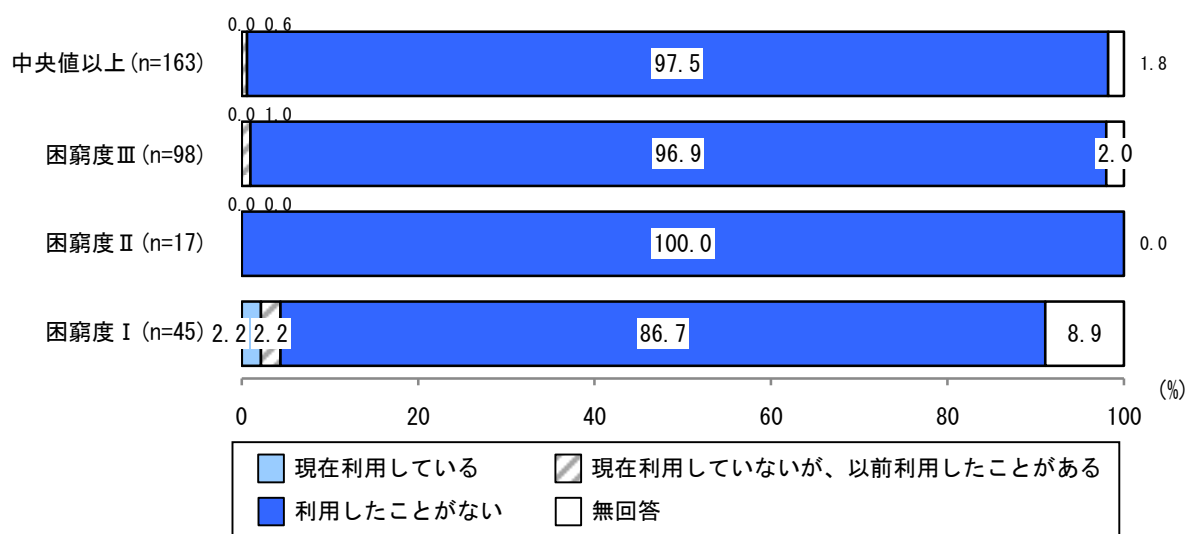
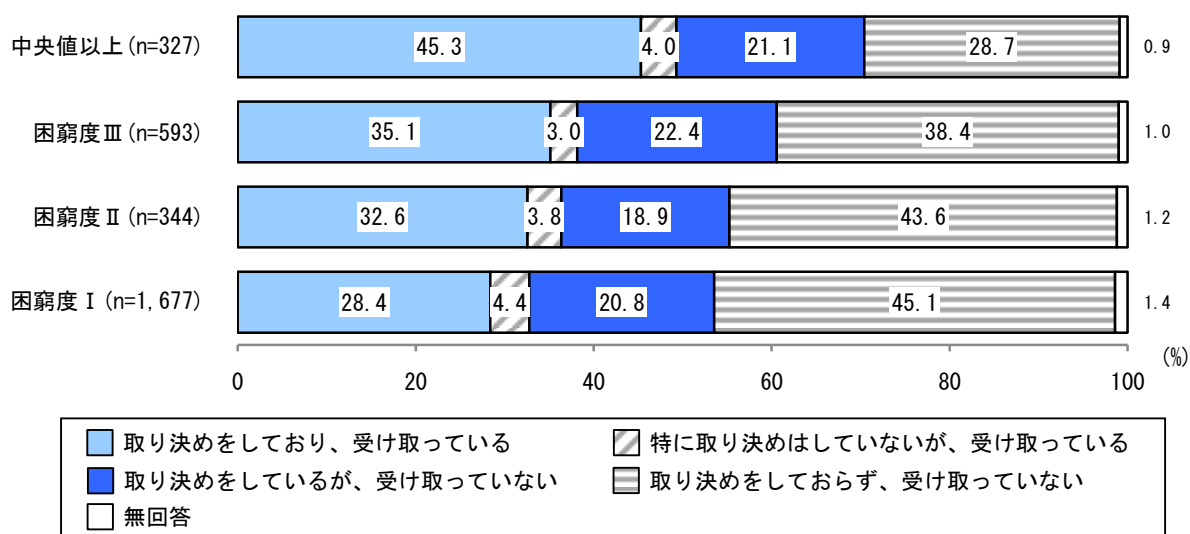


図 16. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況

困窮度別に生活保護の利用状況を見ると、困窮度Ⅰ群においては「現在利用している」と回答した割合は2.2%であった。

困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（保護者票問4）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<河内長野市>

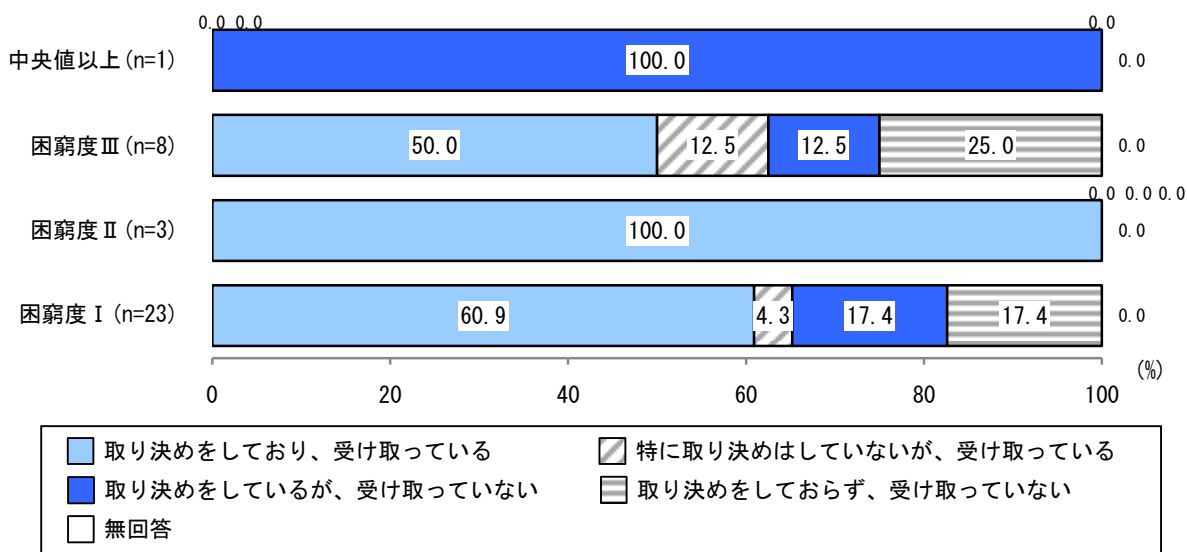
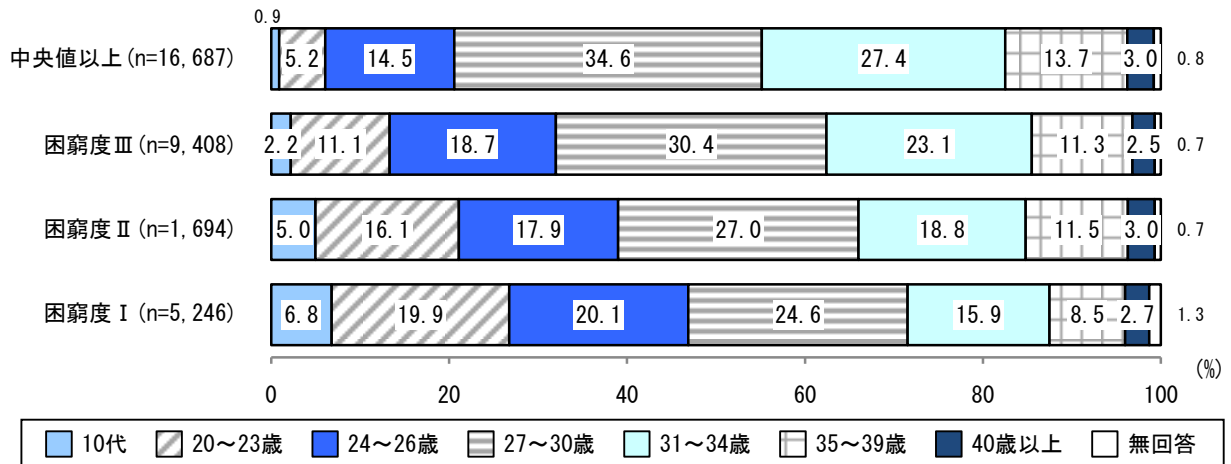


図 17. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に離婚相手との養育費の取り決めや受け取りを見ると、困窮度Ⅰ群においては「取り決めをしており、受け取っている」と回答した割合は60.9%であり、「取り決めをしているが、受け取っていない」と「取り決めをしておらず、受け取っていない」をあわせた養育費を受け取っていない人が34.8%となっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

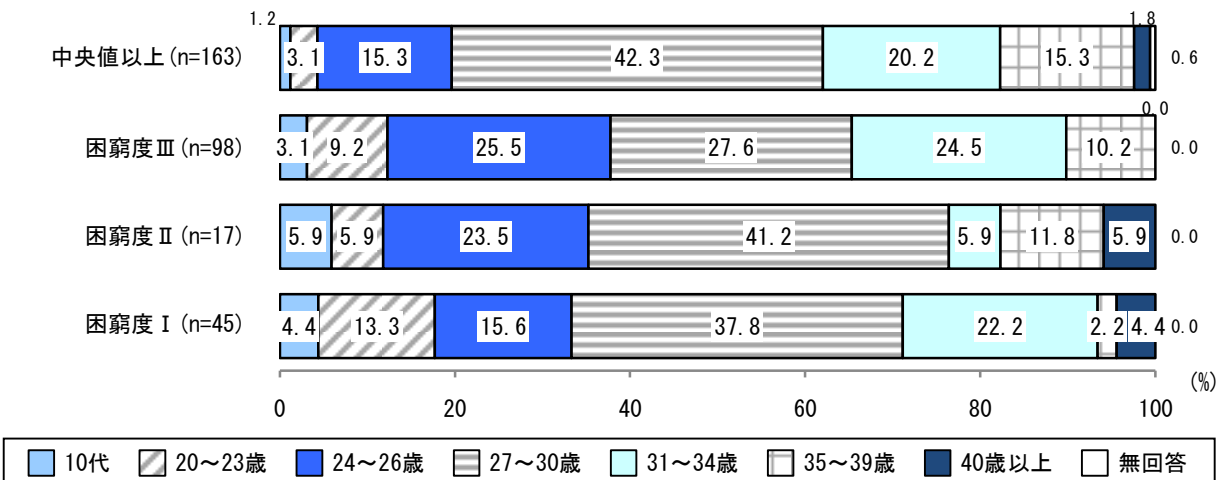
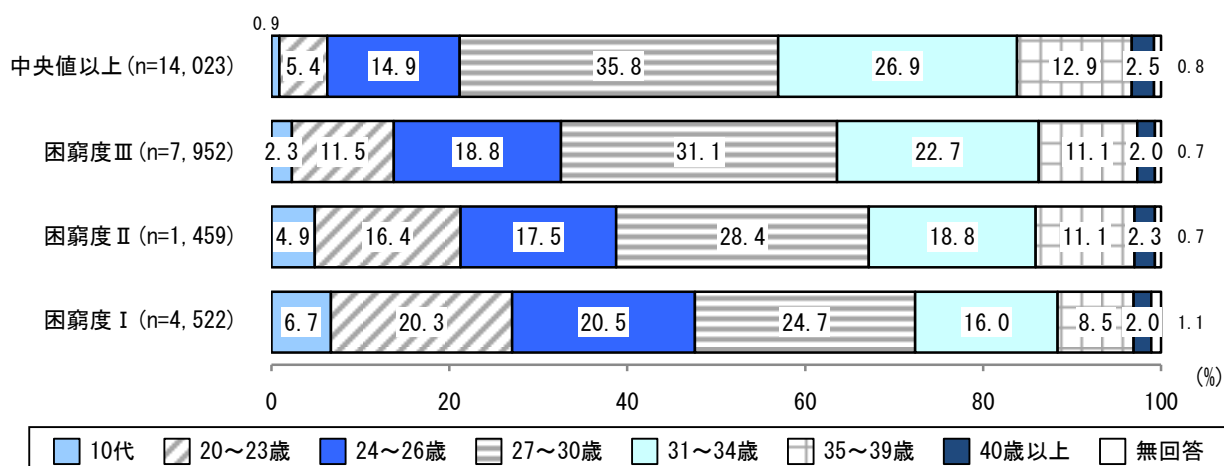


図 18. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、「10代」は困窮度Ⅱが5.9%で最も高く、次いで困窮度Ⅰが4.4%となっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）・母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<河内長野市>

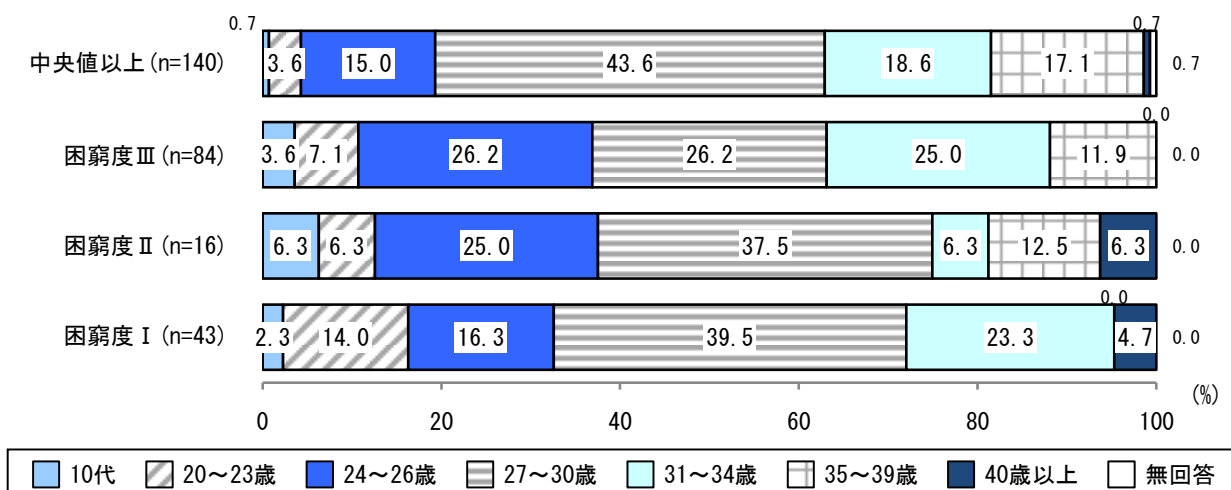
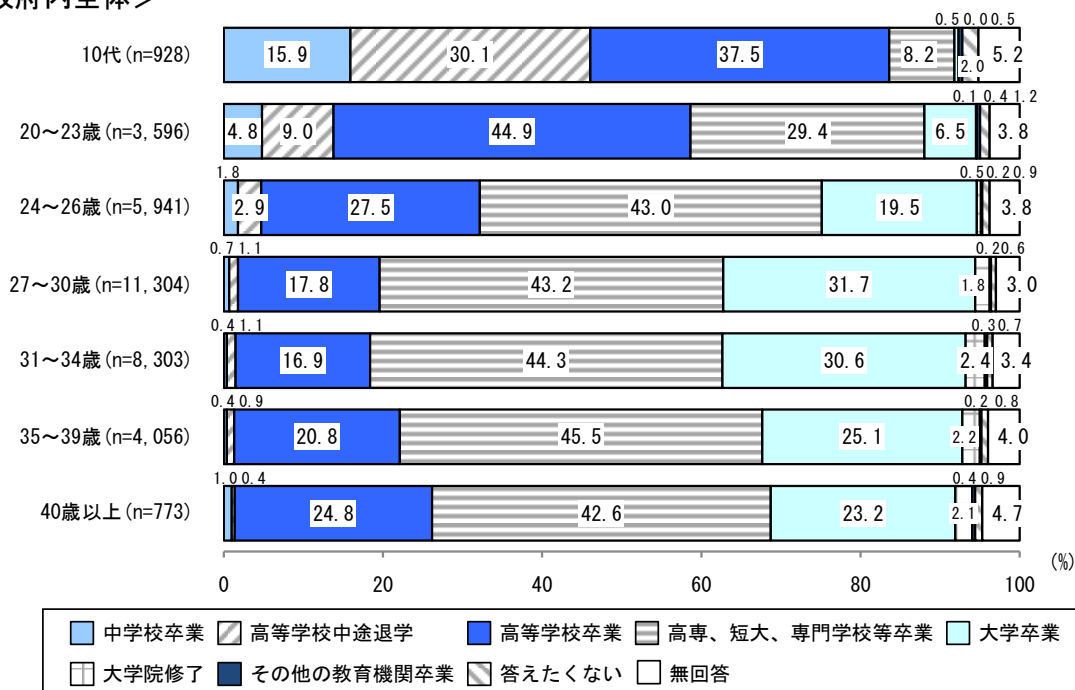


図 19. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、23歳までに初めて親となったと答えた割合が高くなっている。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<河内長野市>

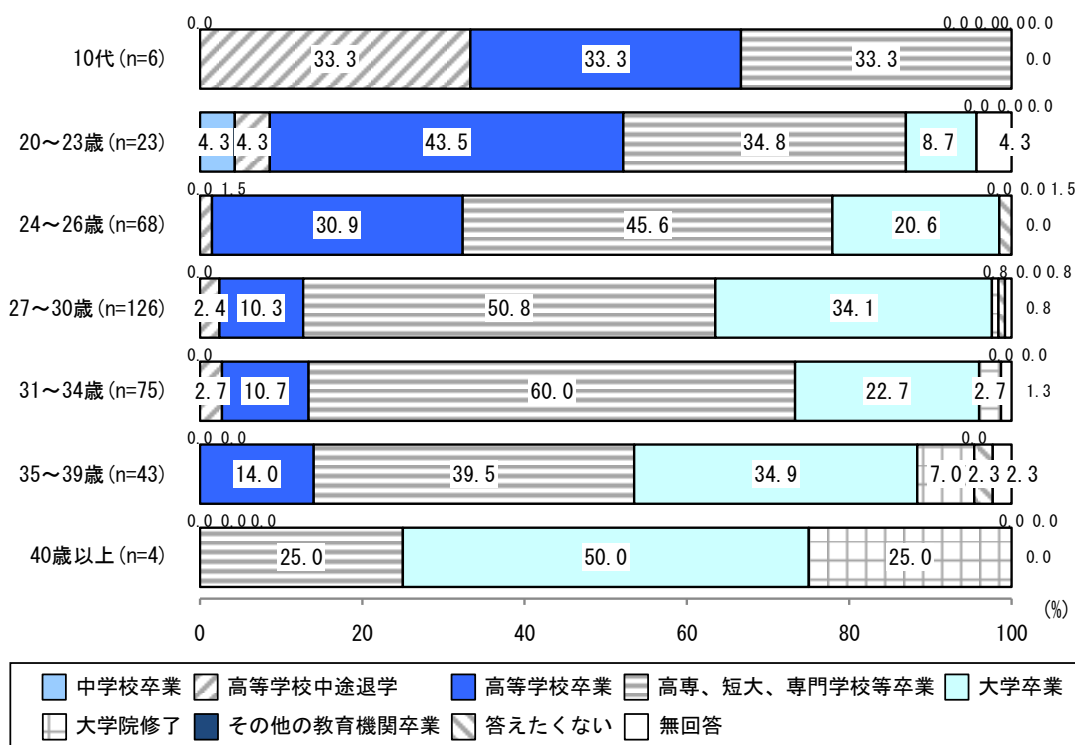
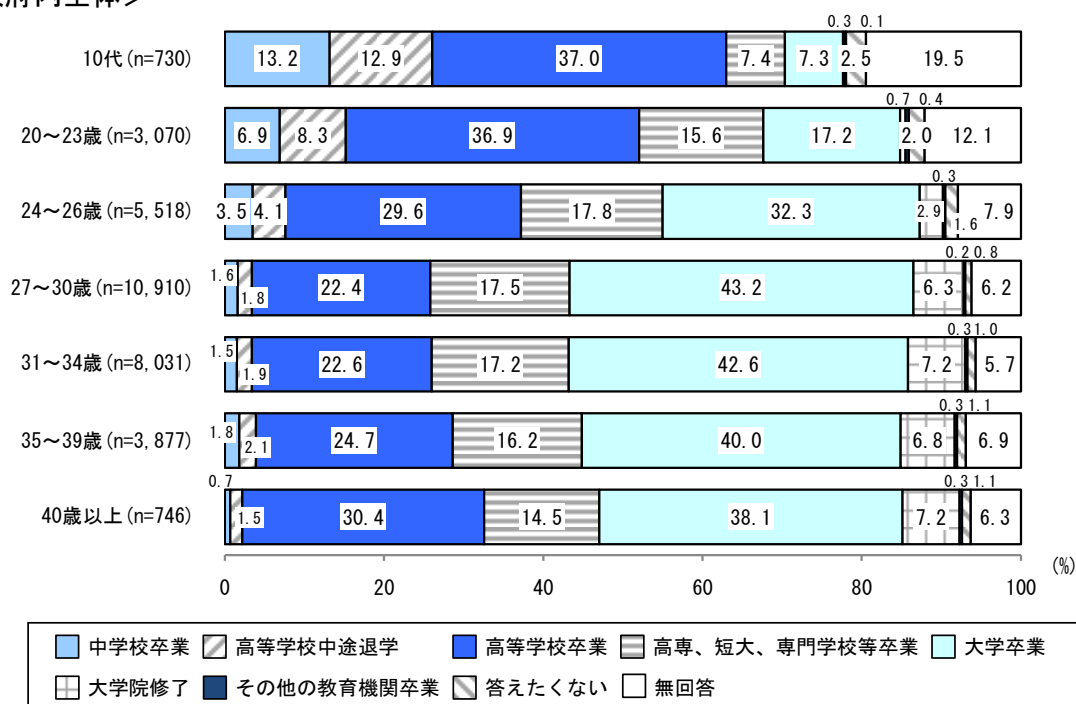


図 20. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に母親自身の最終学歴を見ると、10代において「高等学校中途退学」（33.3%）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<河内長野市>

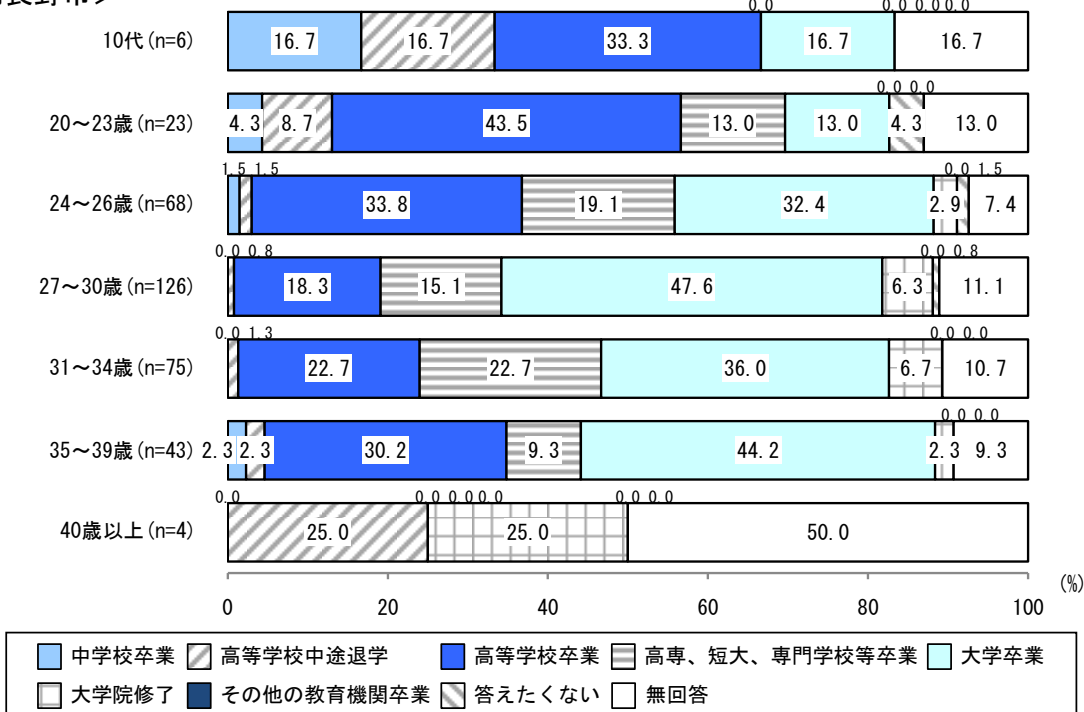
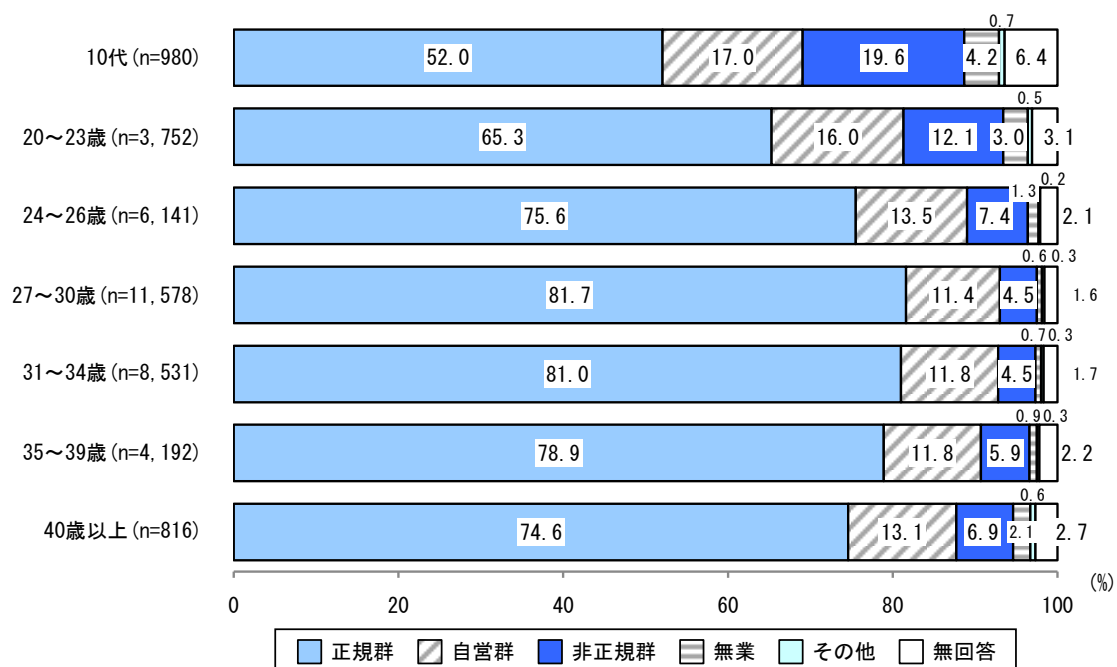


図 21. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に父親の最終学歴を見ると、40歳以上は他の年代と比べて「高等学校中途退学」（25.0%）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（保護者票問 17×保護者票問 9）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<河内長野市>

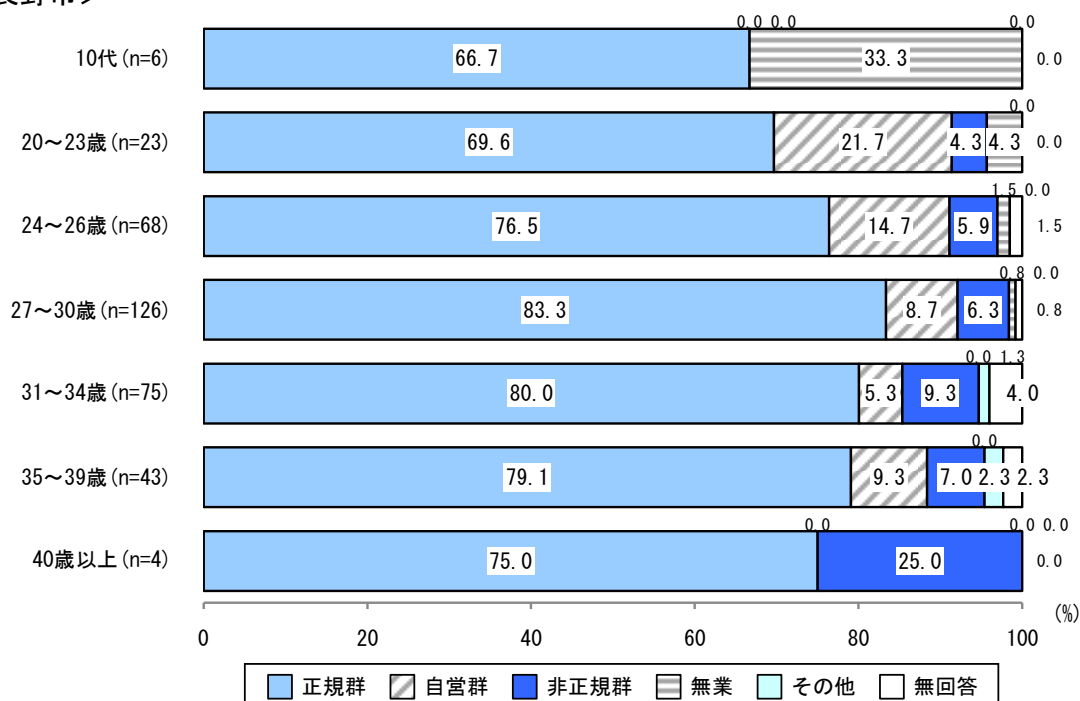
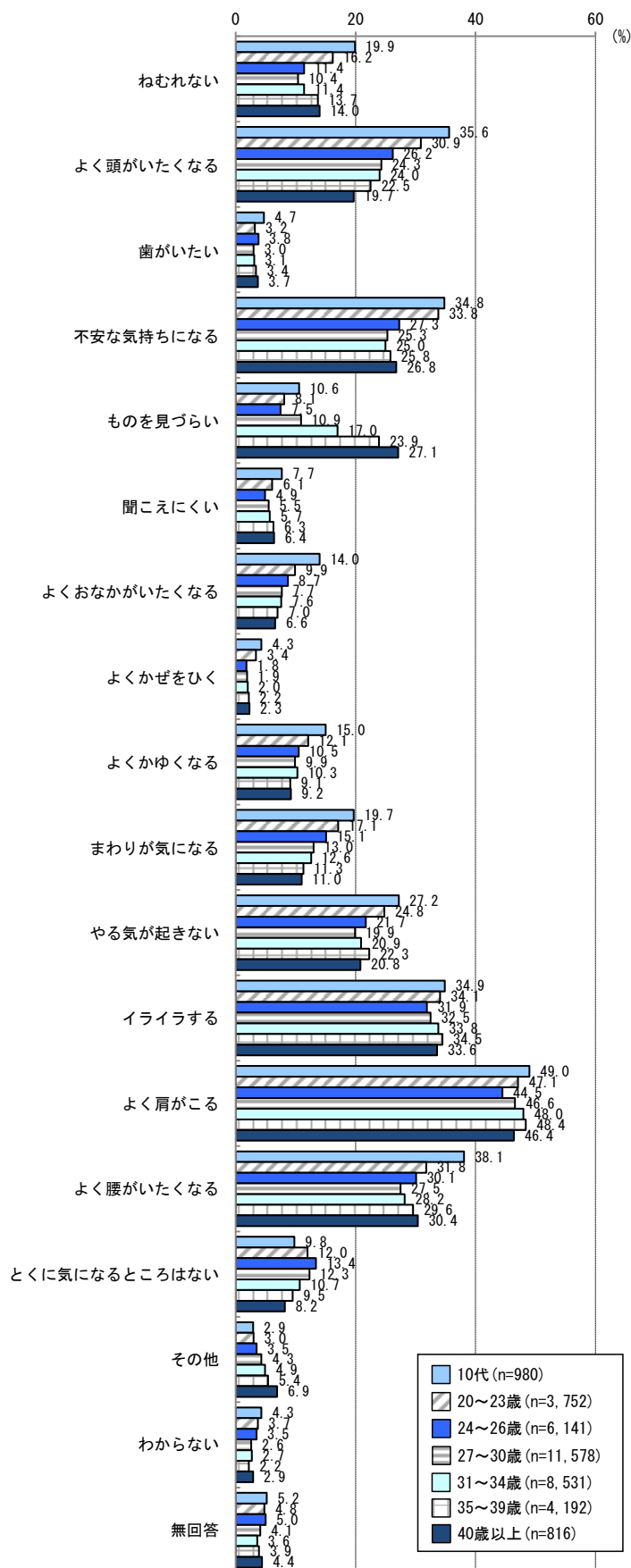


図 22. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）

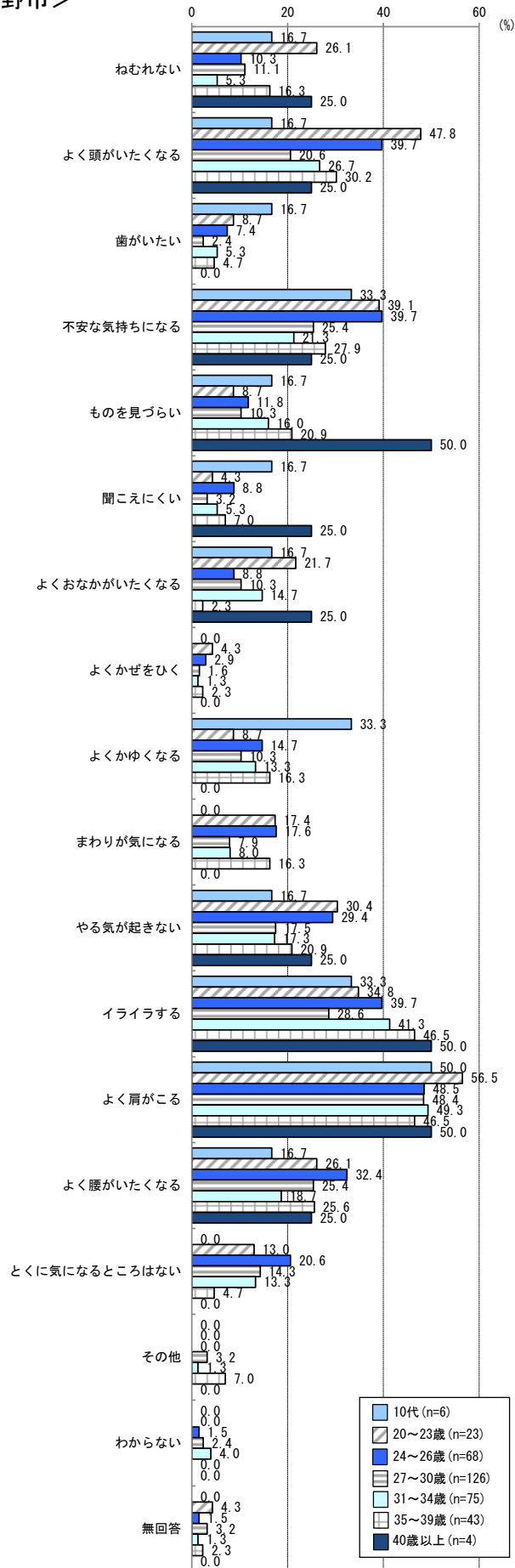
母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に就労状況を見ると、10代は他の年代と比較して「正規群」の割合が低く、「無業」の割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者票問 17×保護者票問 22) ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<河内長野市>

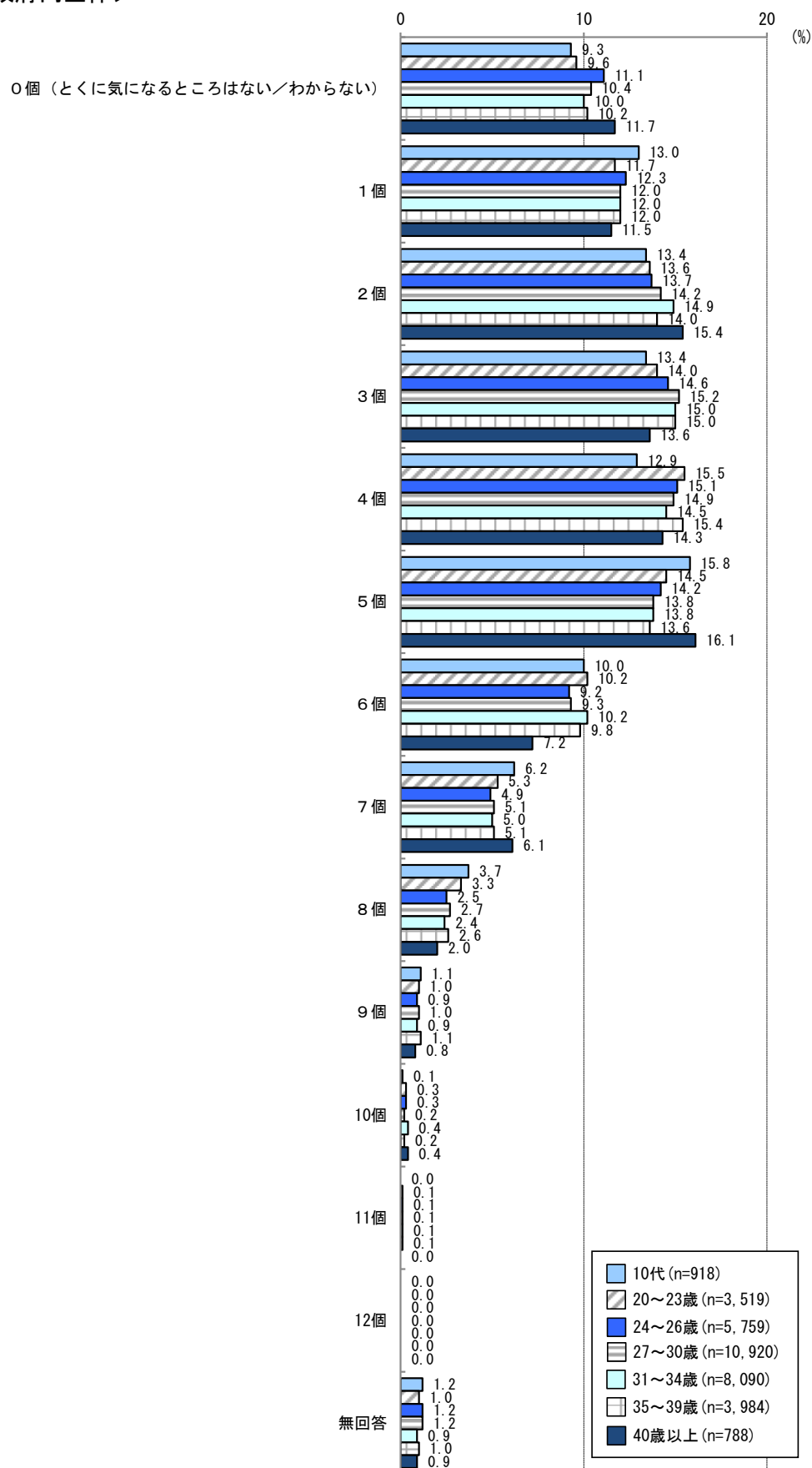


母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることを見ると、20～23歳は他の年代と比較して「よく頭がいたくなる」や「ねむれない」の割合が高かった。

図 23. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 17
× 子ども票問 19・20） ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<河内長野市>

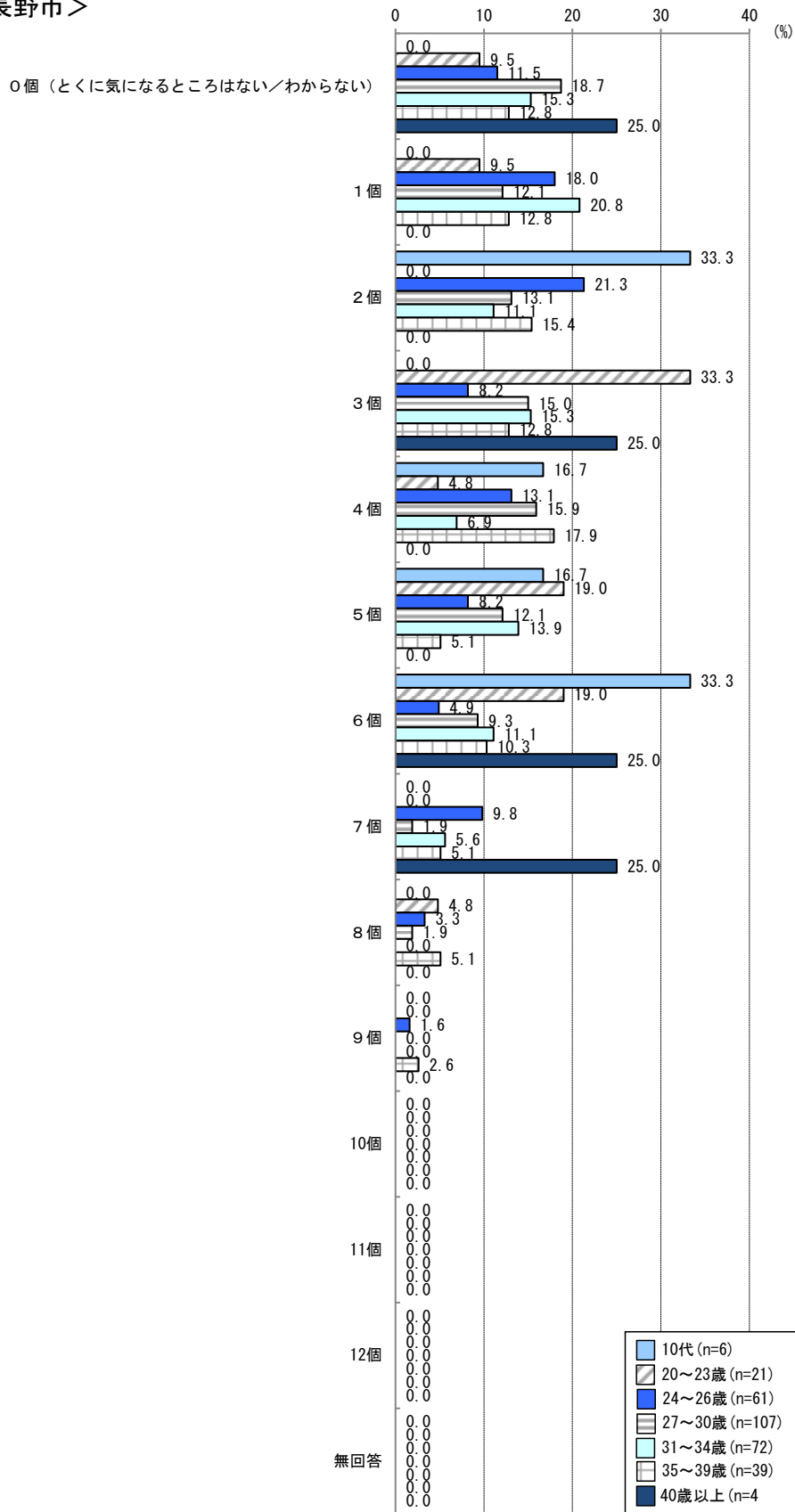
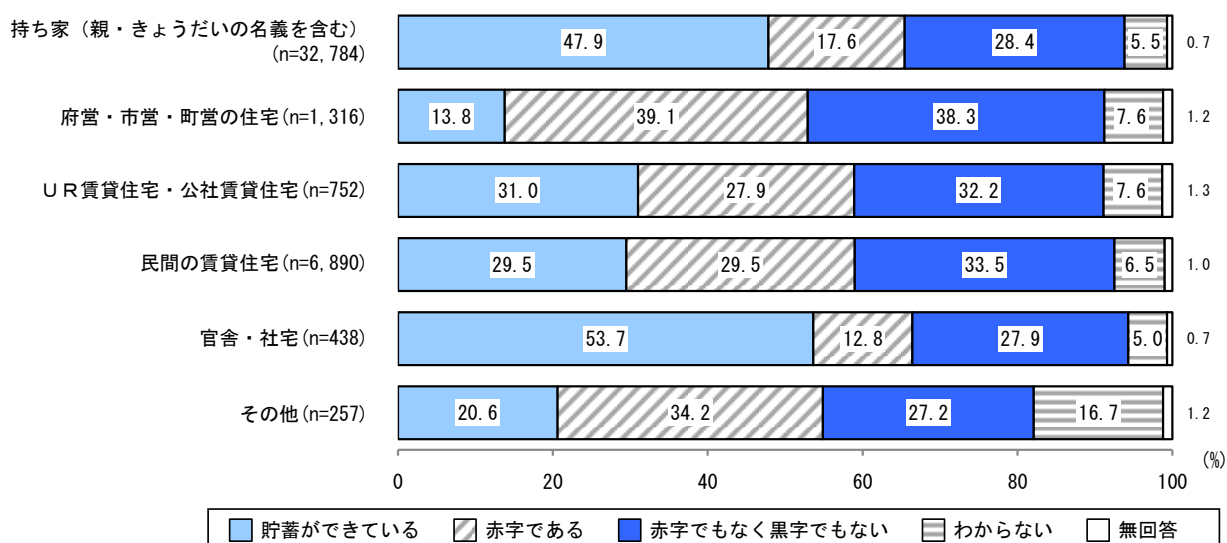


図 24. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、10代は、他の年代と比較して「2個」と「6個」（33.3％）の割合が最も高かった。

住居形態別に見た、家計の状況（保護者票問5×保護者票問6(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

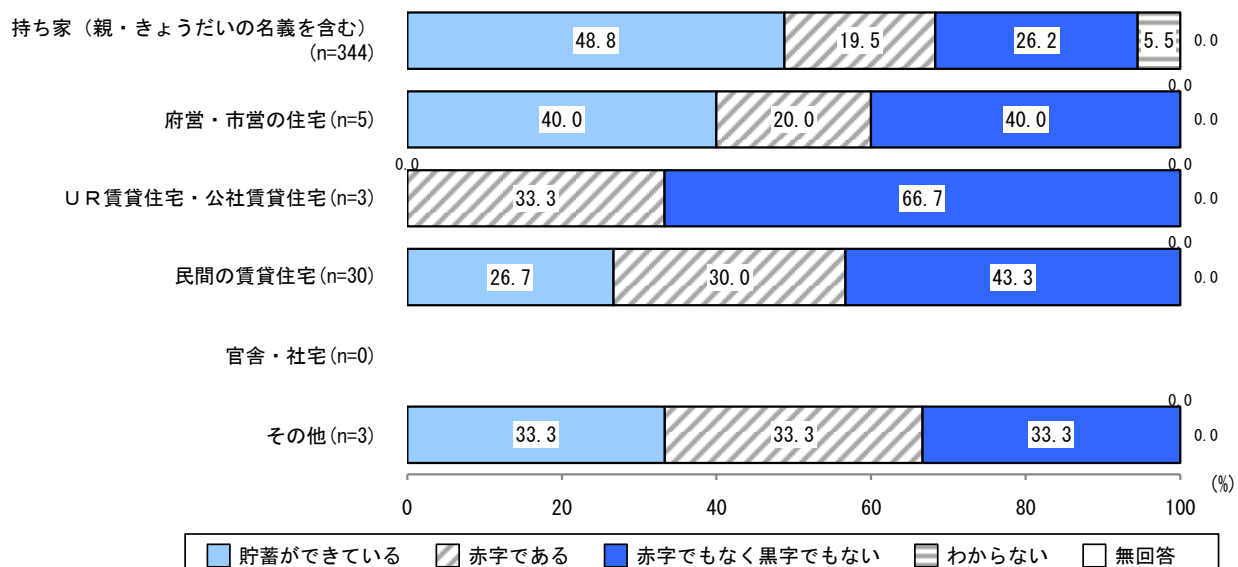
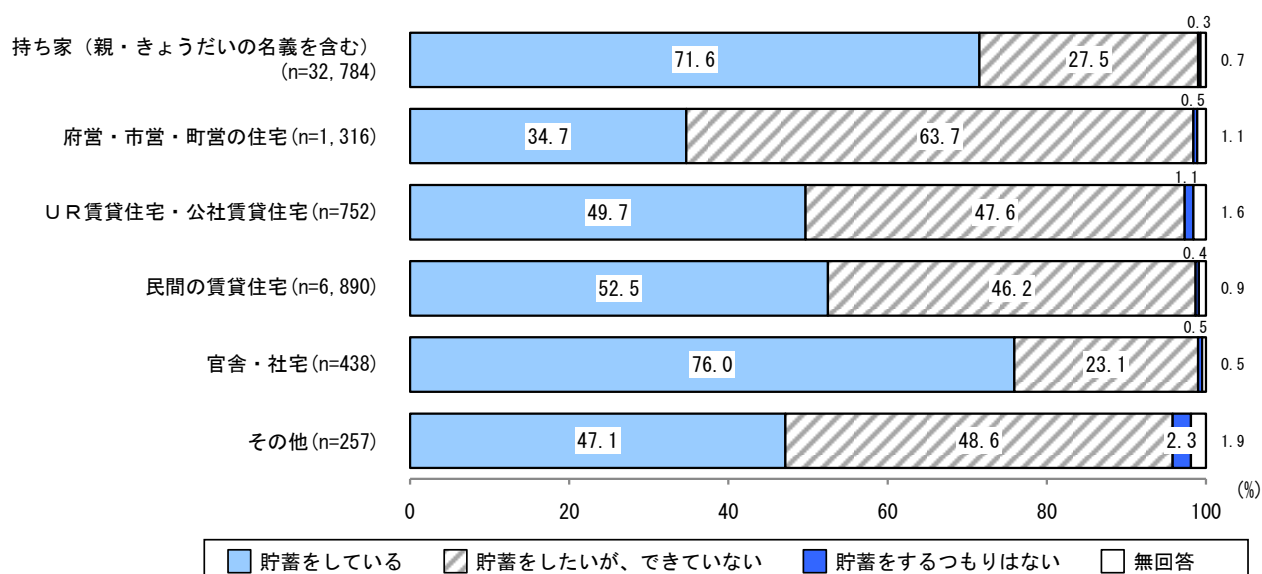


図 25. 住居形態別に見た、家計の状況

住居別到家計状況を見ると、UR賃貸住宅・公社賃貸住宅(33.3%)、民間の賃貸住宅(30.0%)に住む人で、「赤字である」と回答した割合が高かった。また、持ち家に住む人で「赤字である」と回答した割合は19.5%であった。

住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問5×保護者票問6(2)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

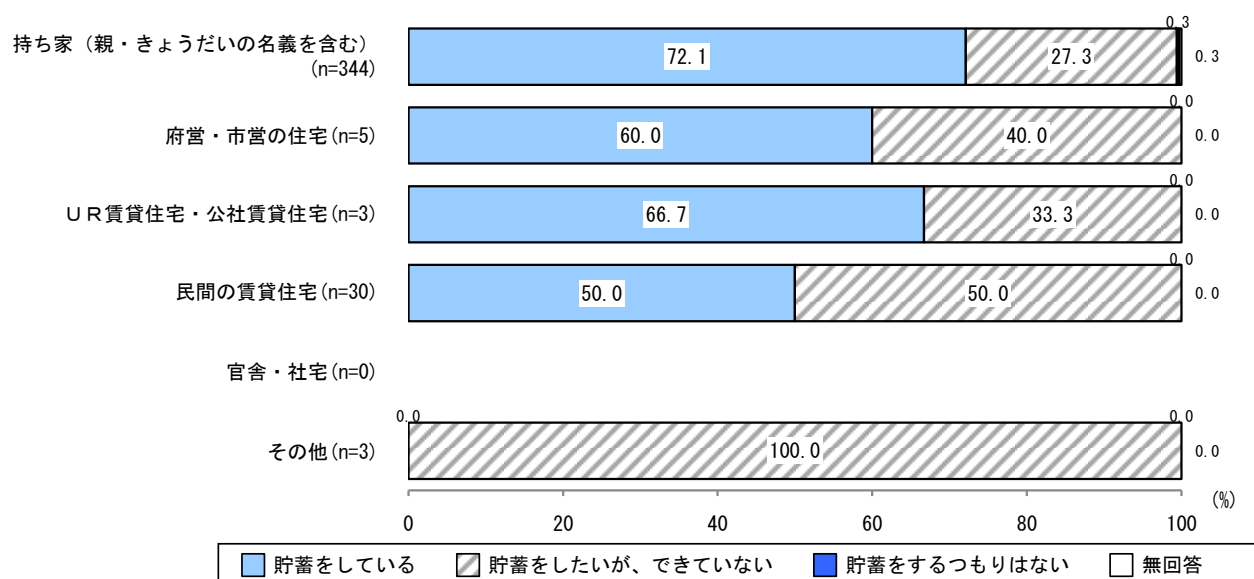
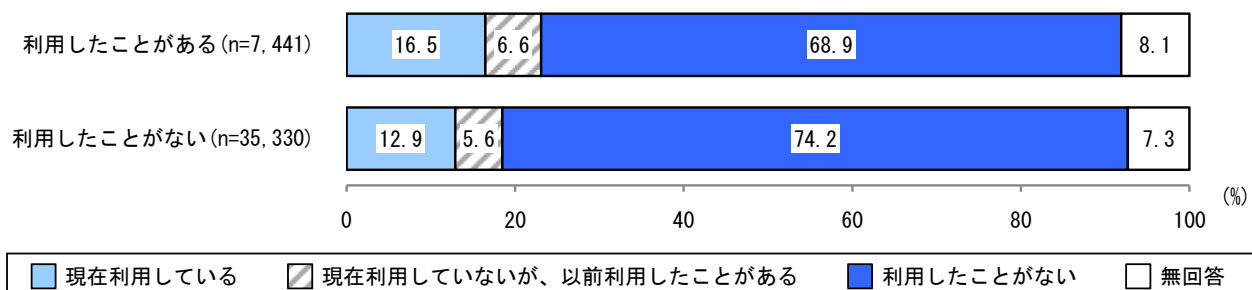


図 26. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

住居形態別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、民間の賃貸住宅（50.0%）に住む人で、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高かった。

子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

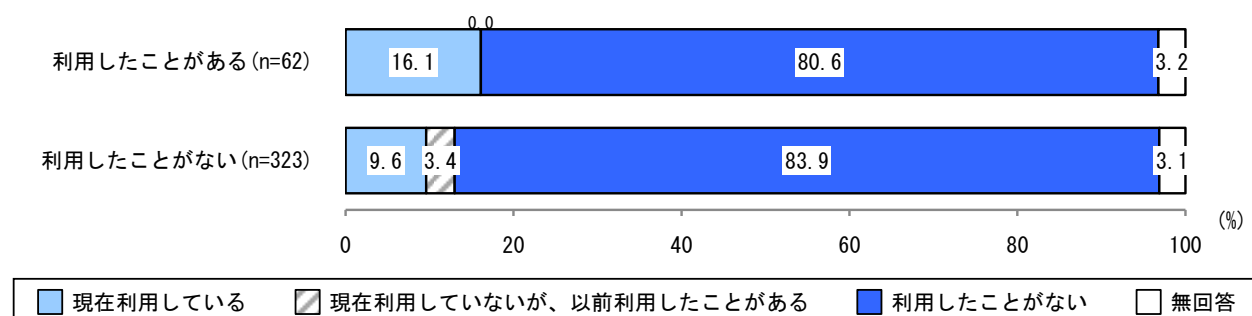
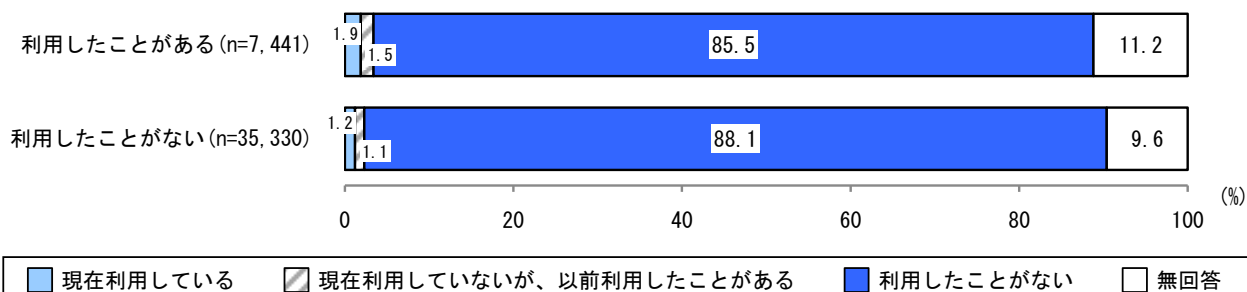


図 27. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に就学援助の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが就学援助を「現在利用している」と回答した割合がやや高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

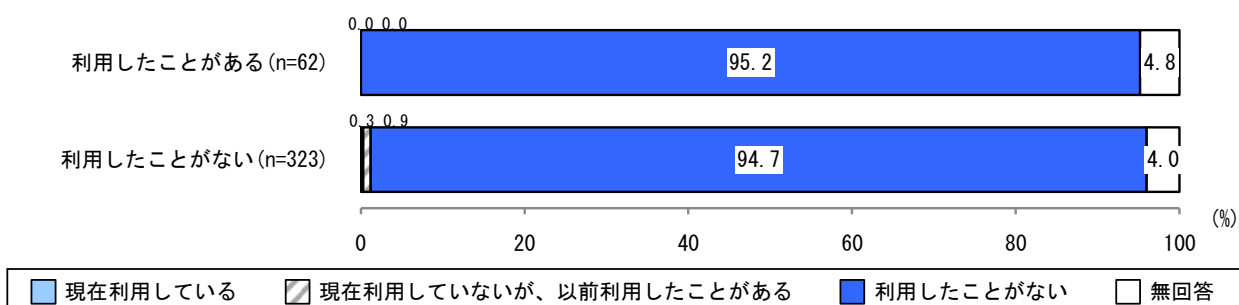
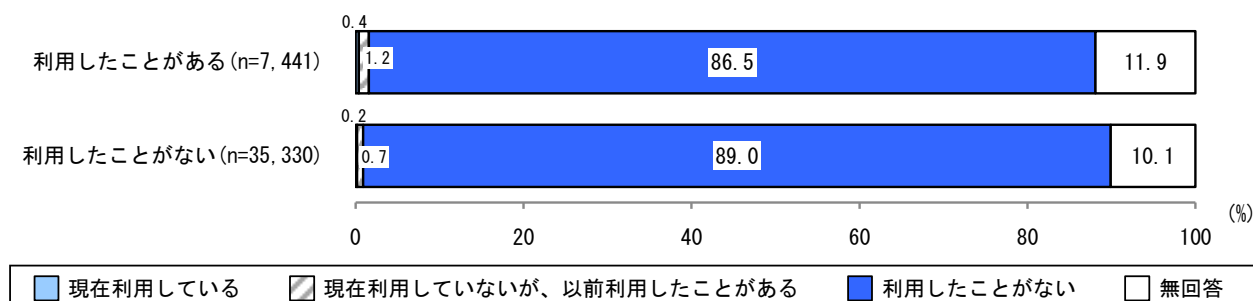


図 28. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活保護の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが生活保護を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

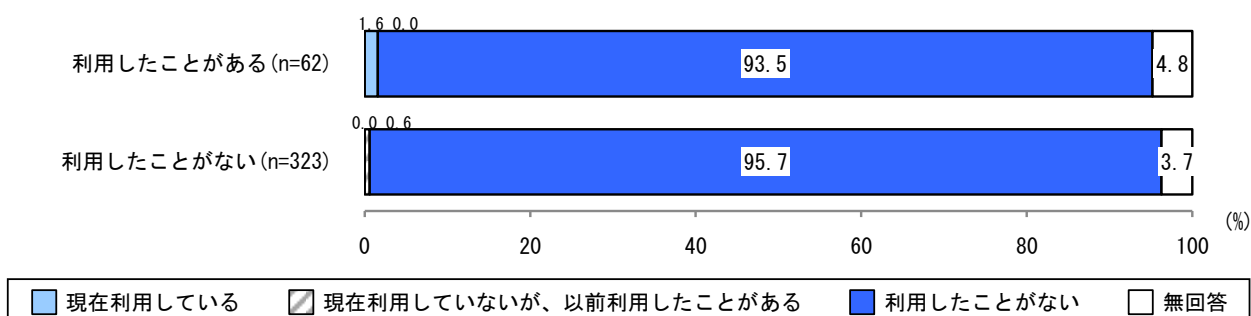
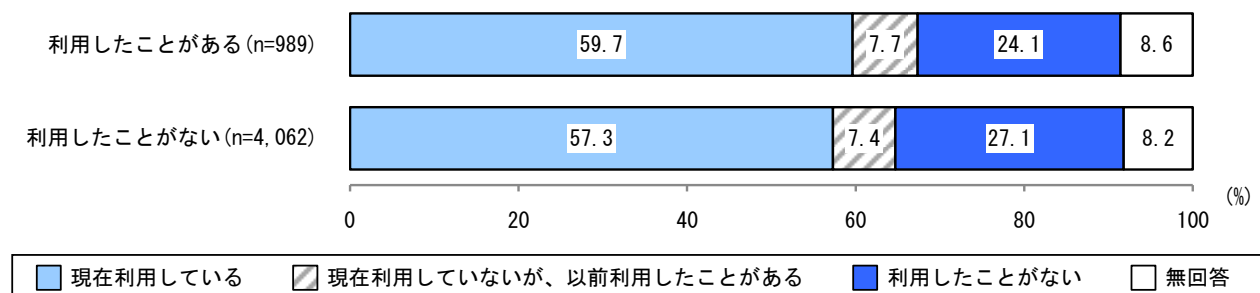


図 29. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活困窮者の自立支援相談窓口を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-d)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

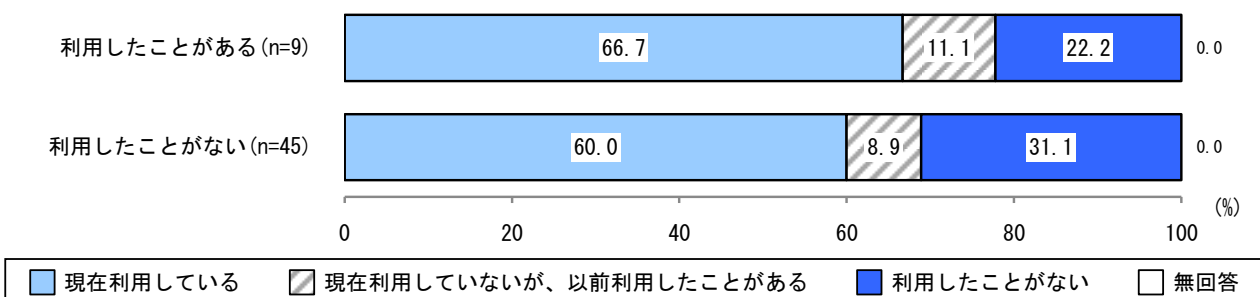
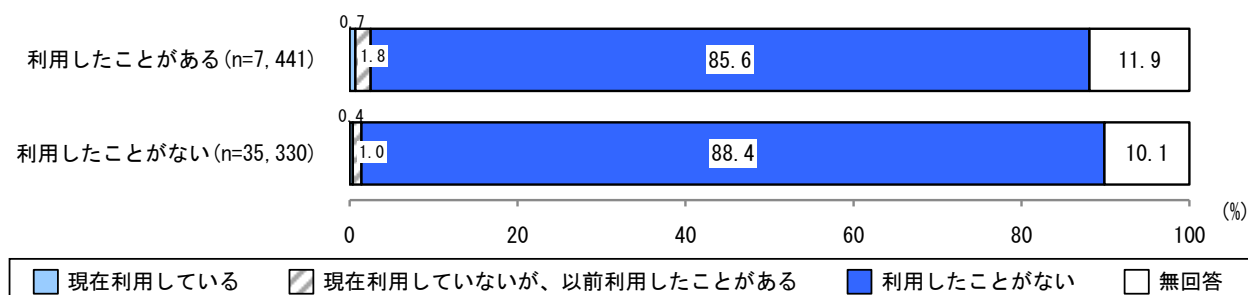


図 30. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

子どもの居場所の利用経験別に児童扶養手当の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが児童扶養手当を「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

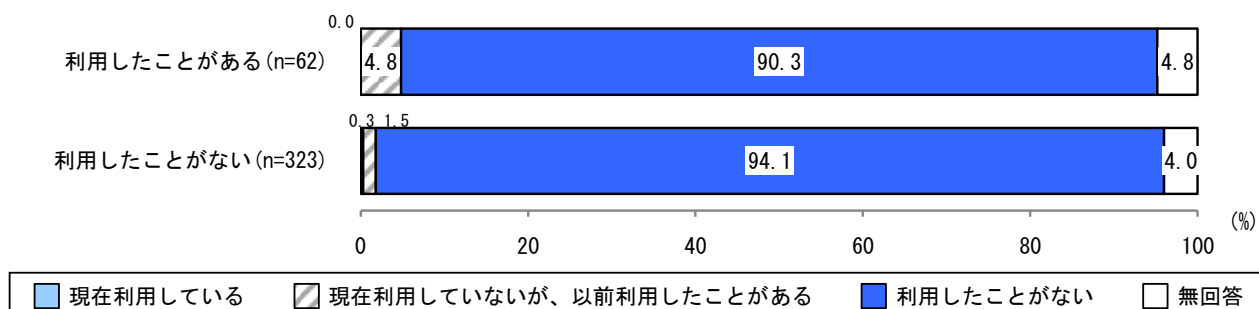
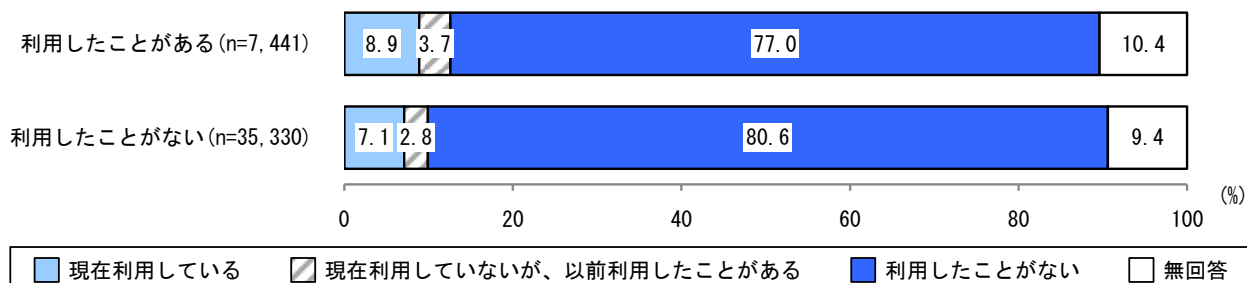


図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

子どもの居場所の利用経験別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが母子家庭等就業・自立支援センターを「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-f)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

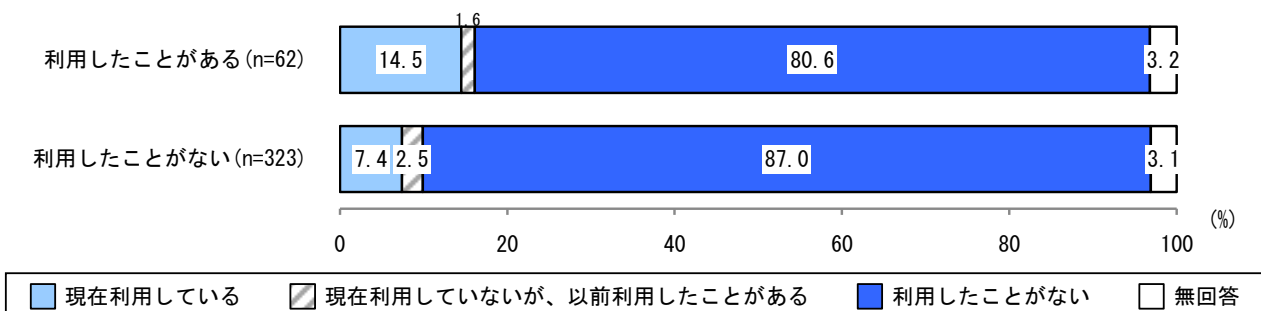
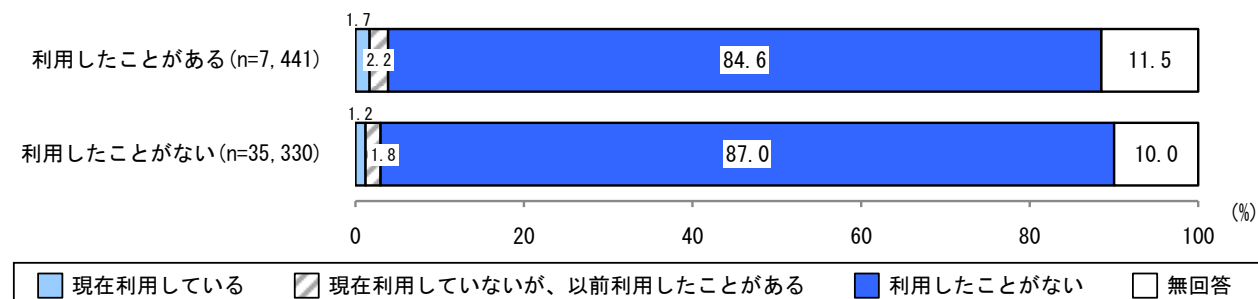


図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-g)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

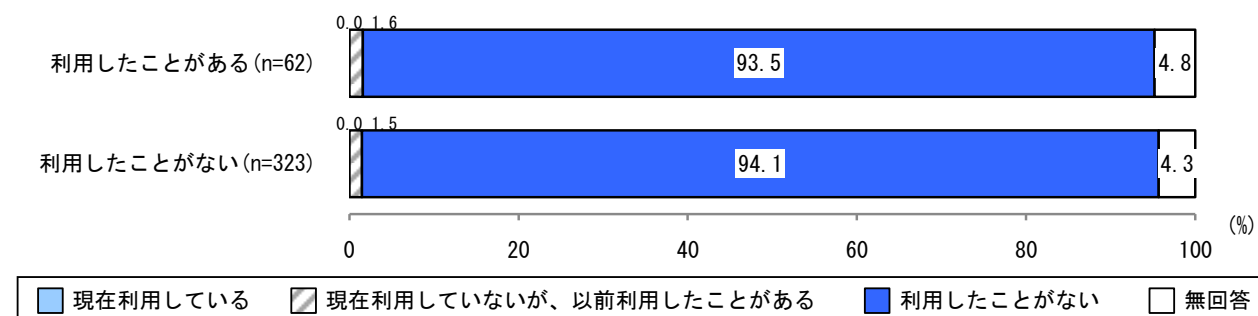
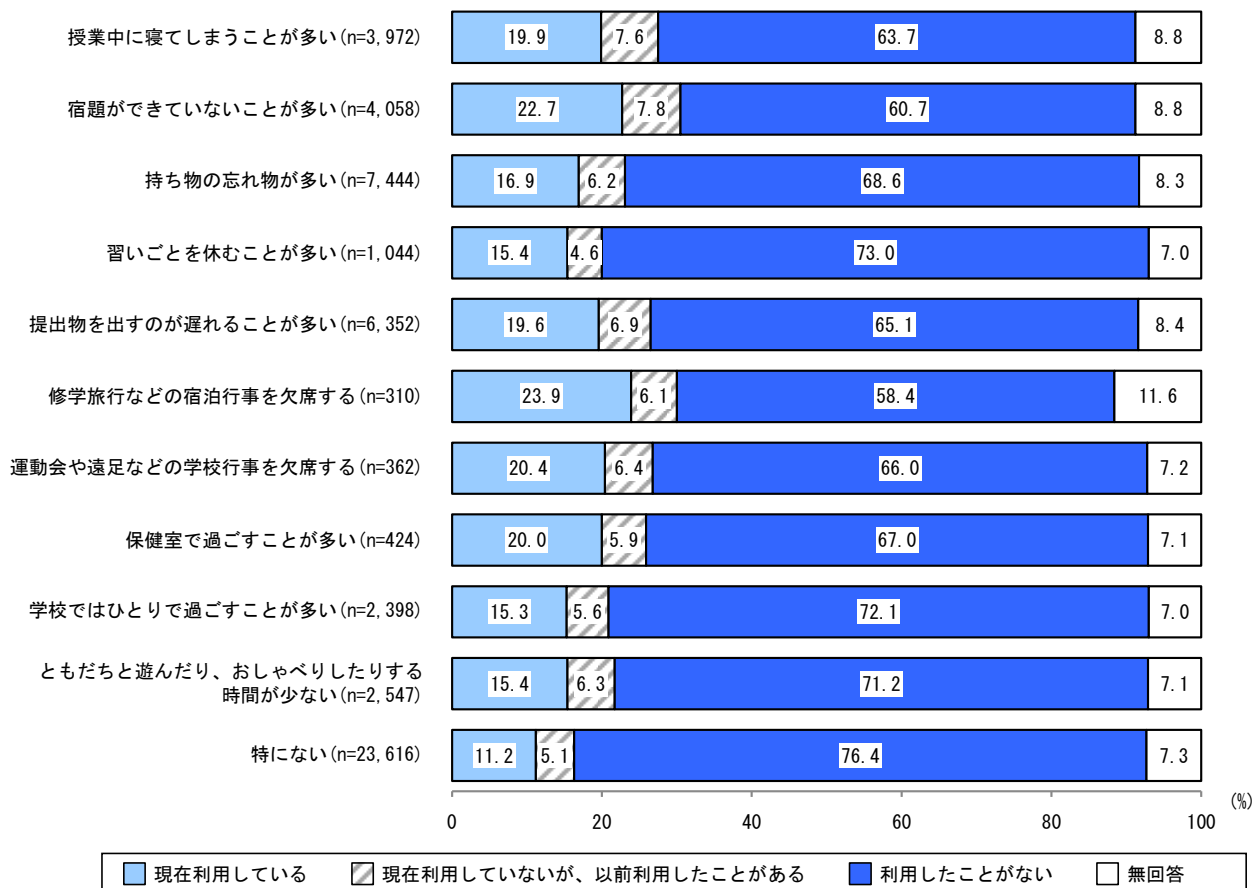


図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

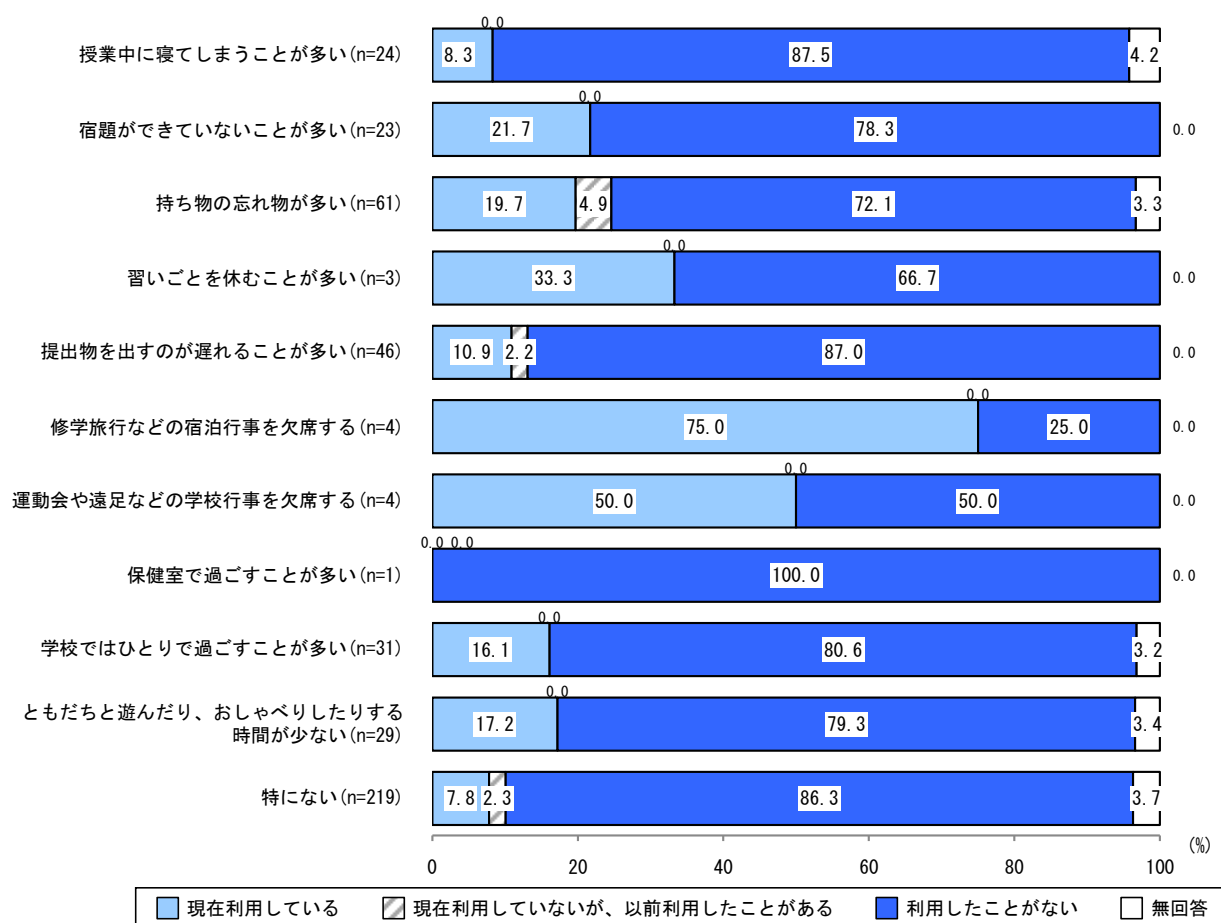
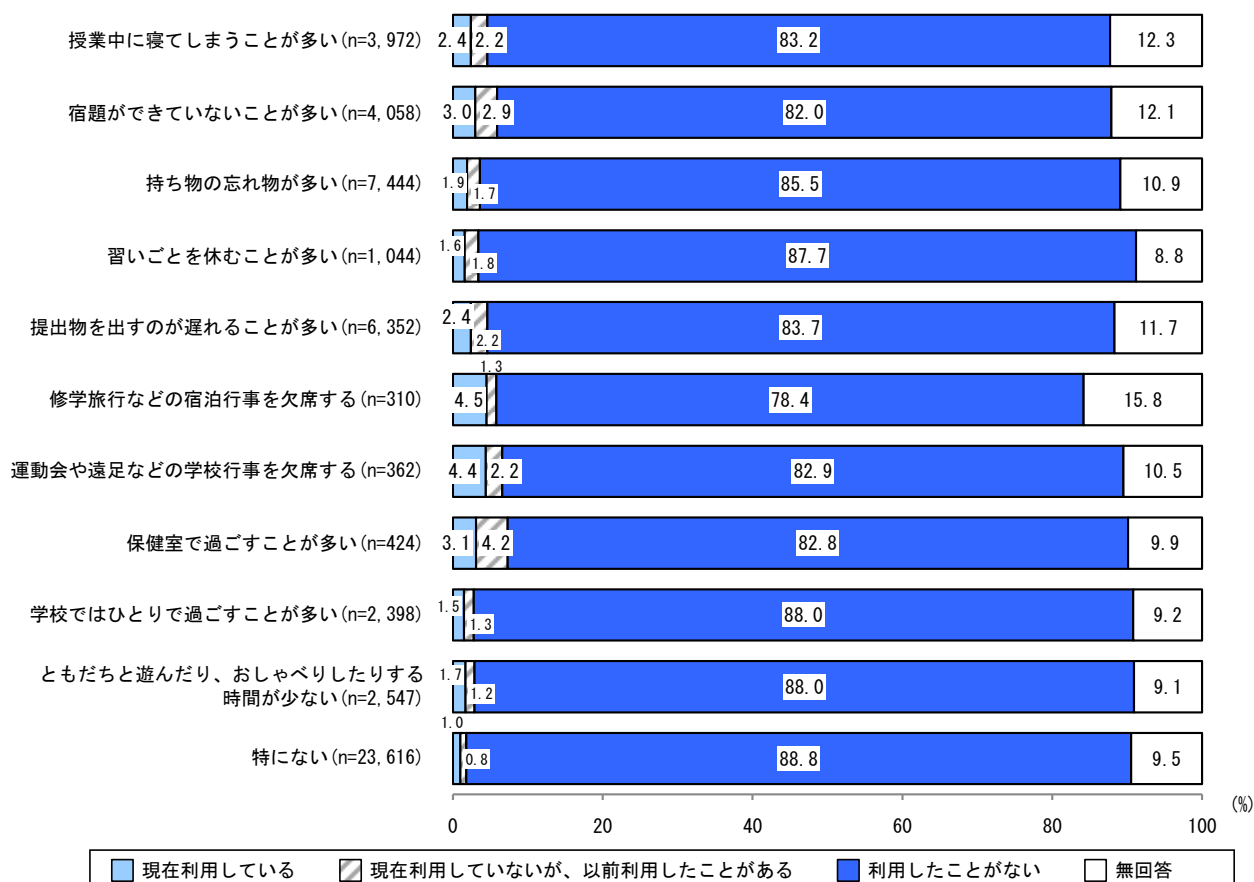


図 34. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した割合が75.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

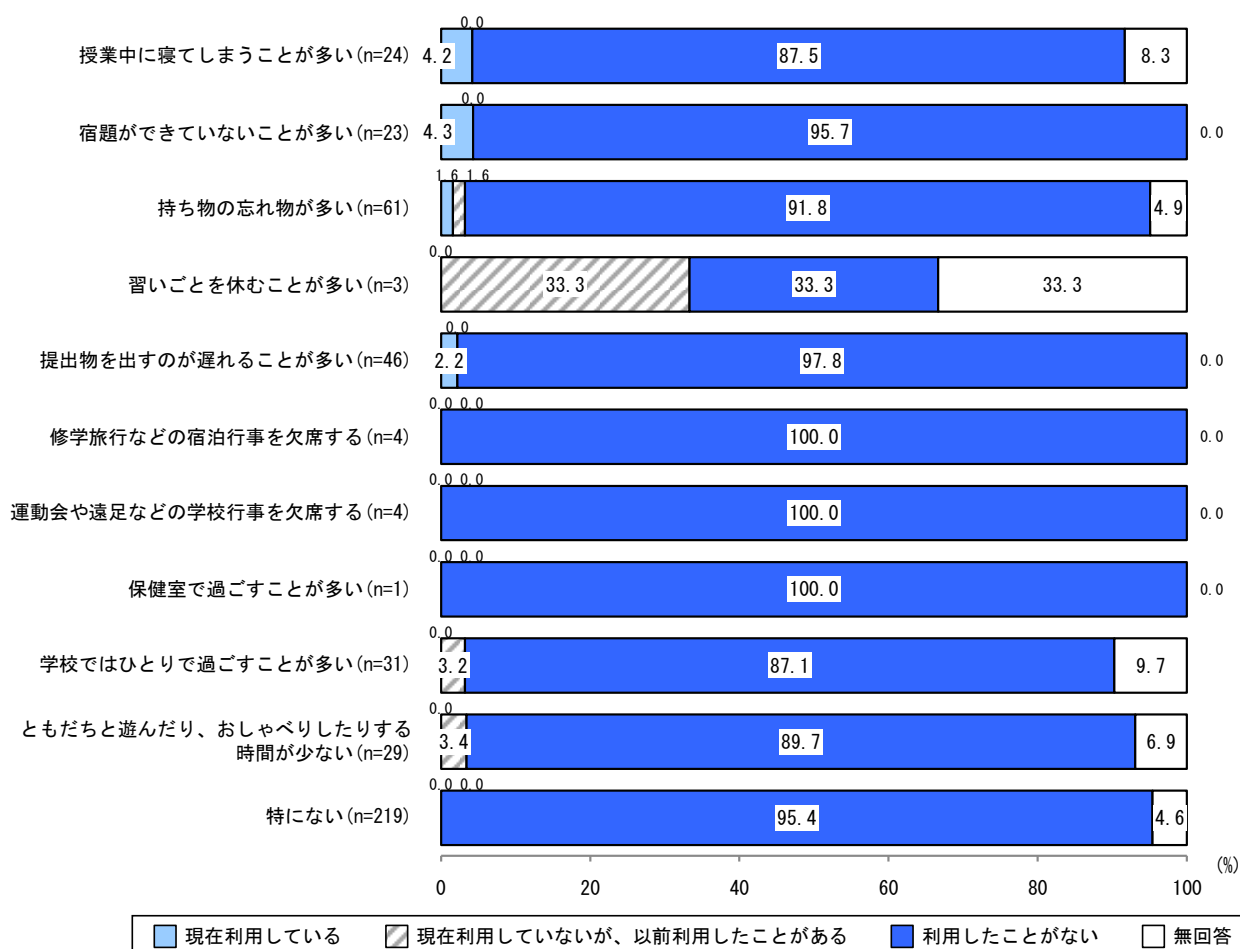
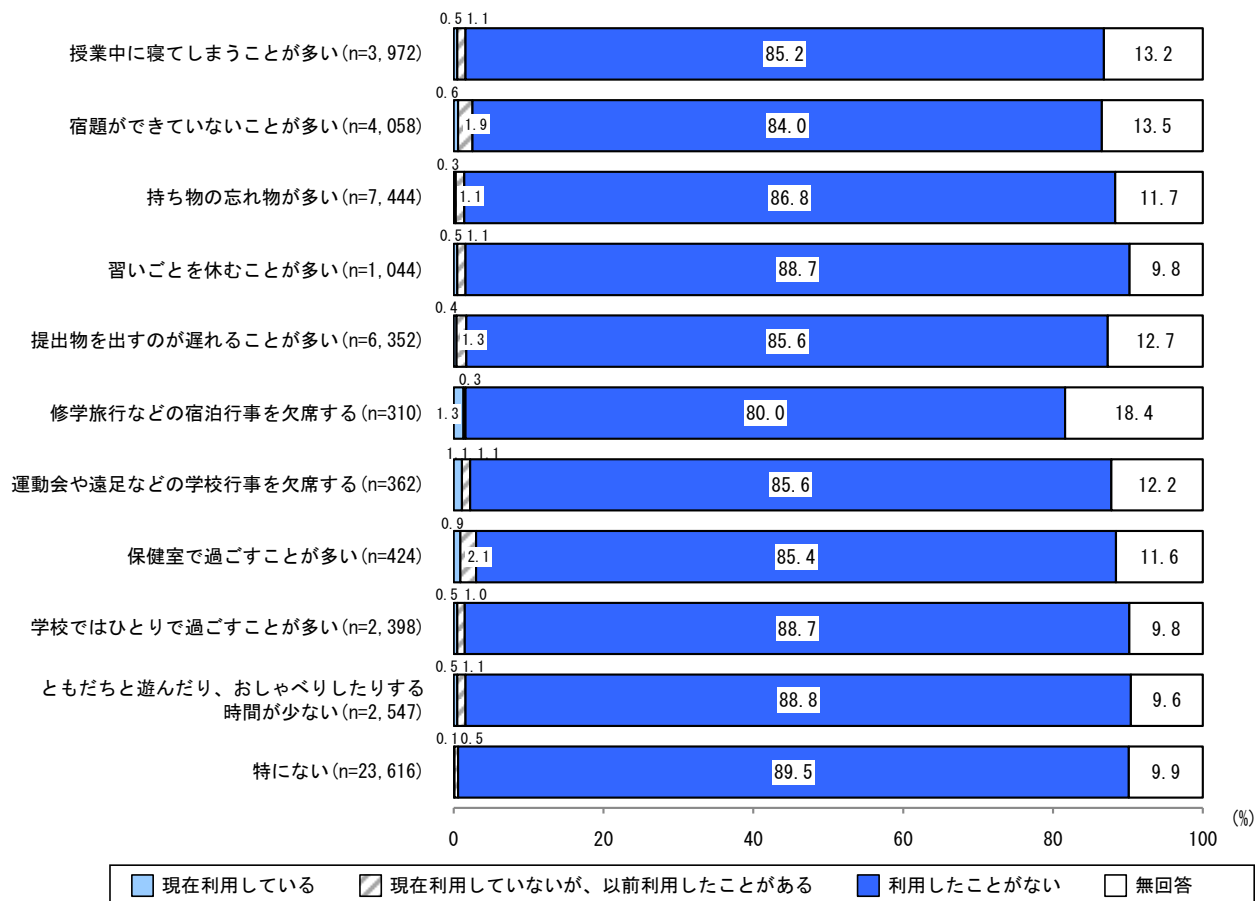


図 35. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が4.3%で最も高く、次いで「授業中に寝てしまうことが多い」と回答した割合が4.2%となっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

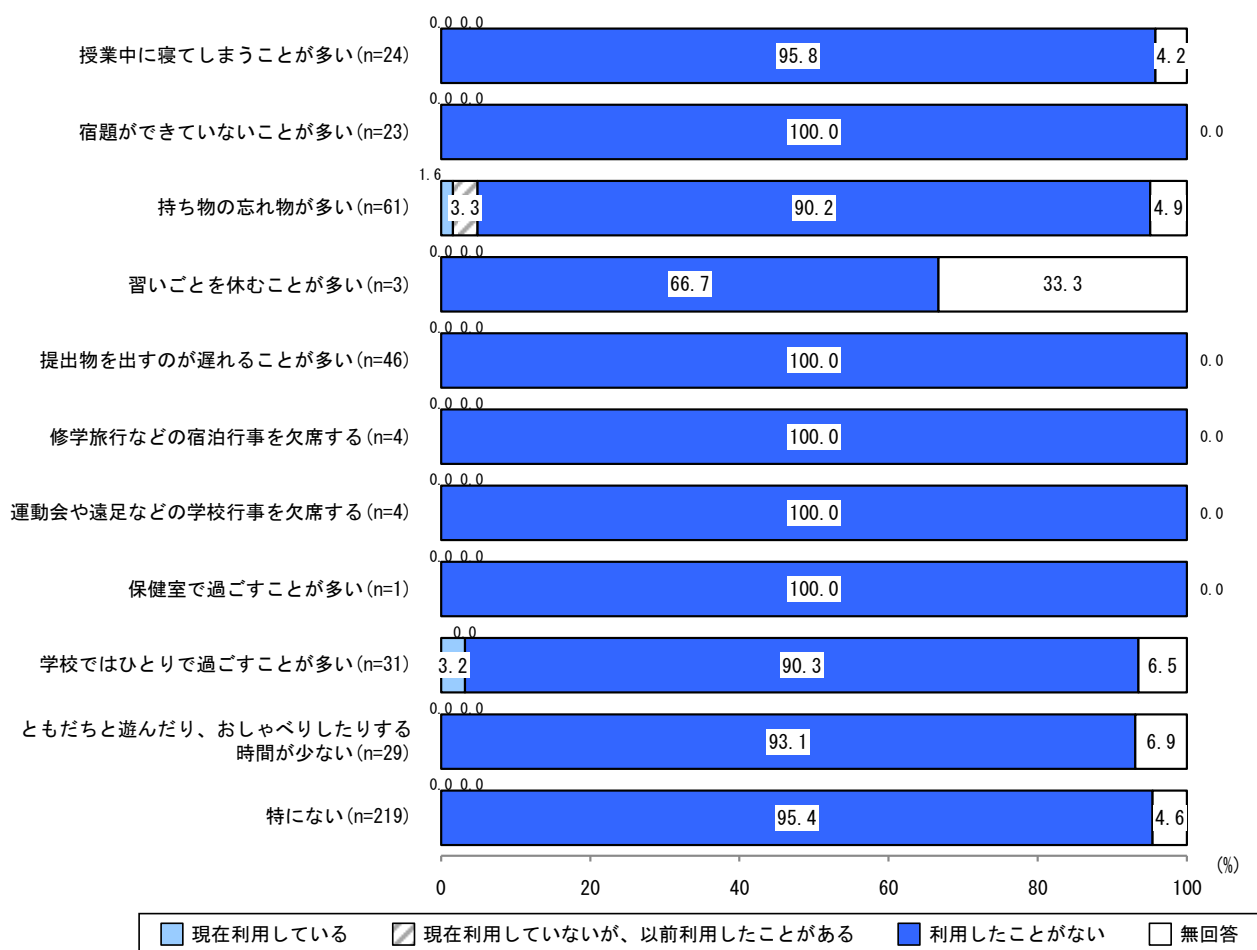
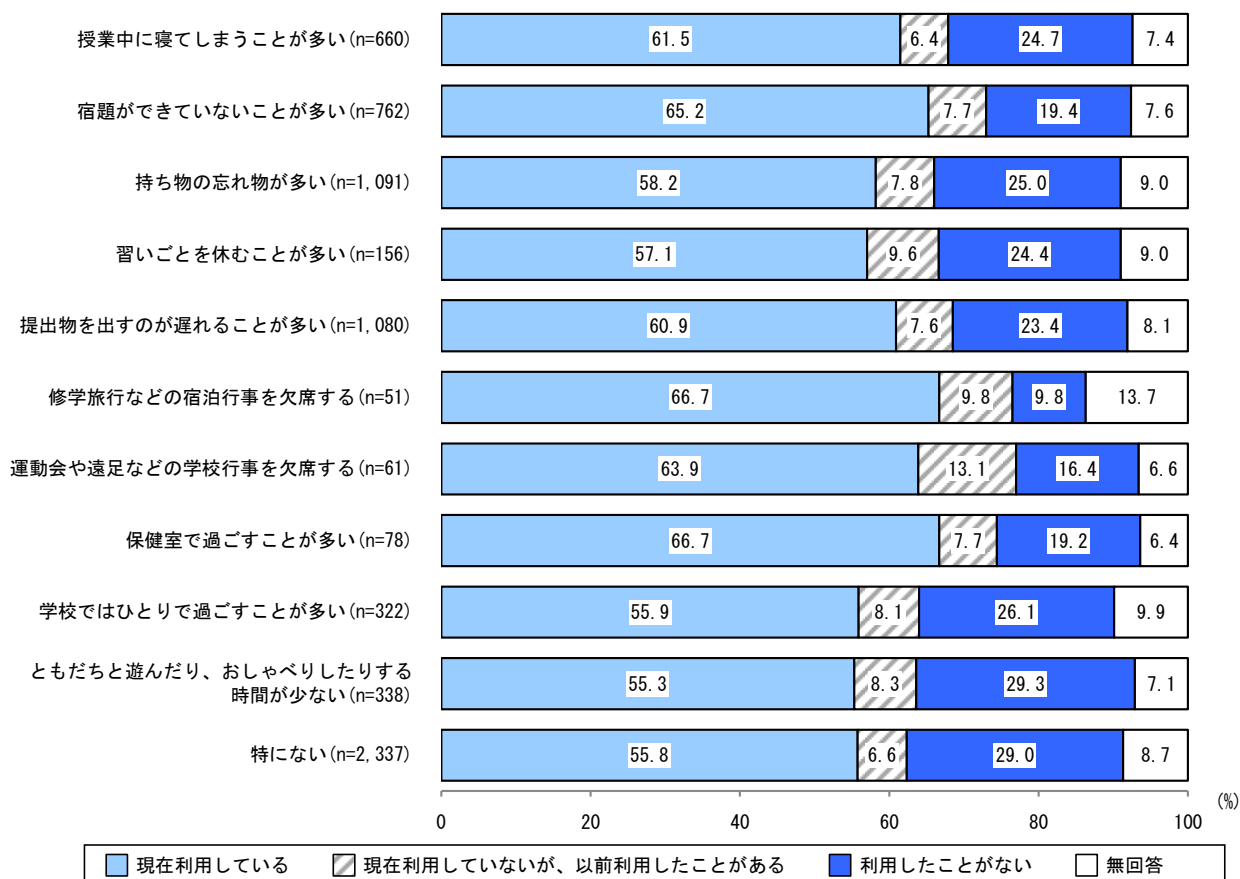


図 36. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「学校ではひとりで過ごすことが多い」と回答した割合が3.2%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（子ども票問 16×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

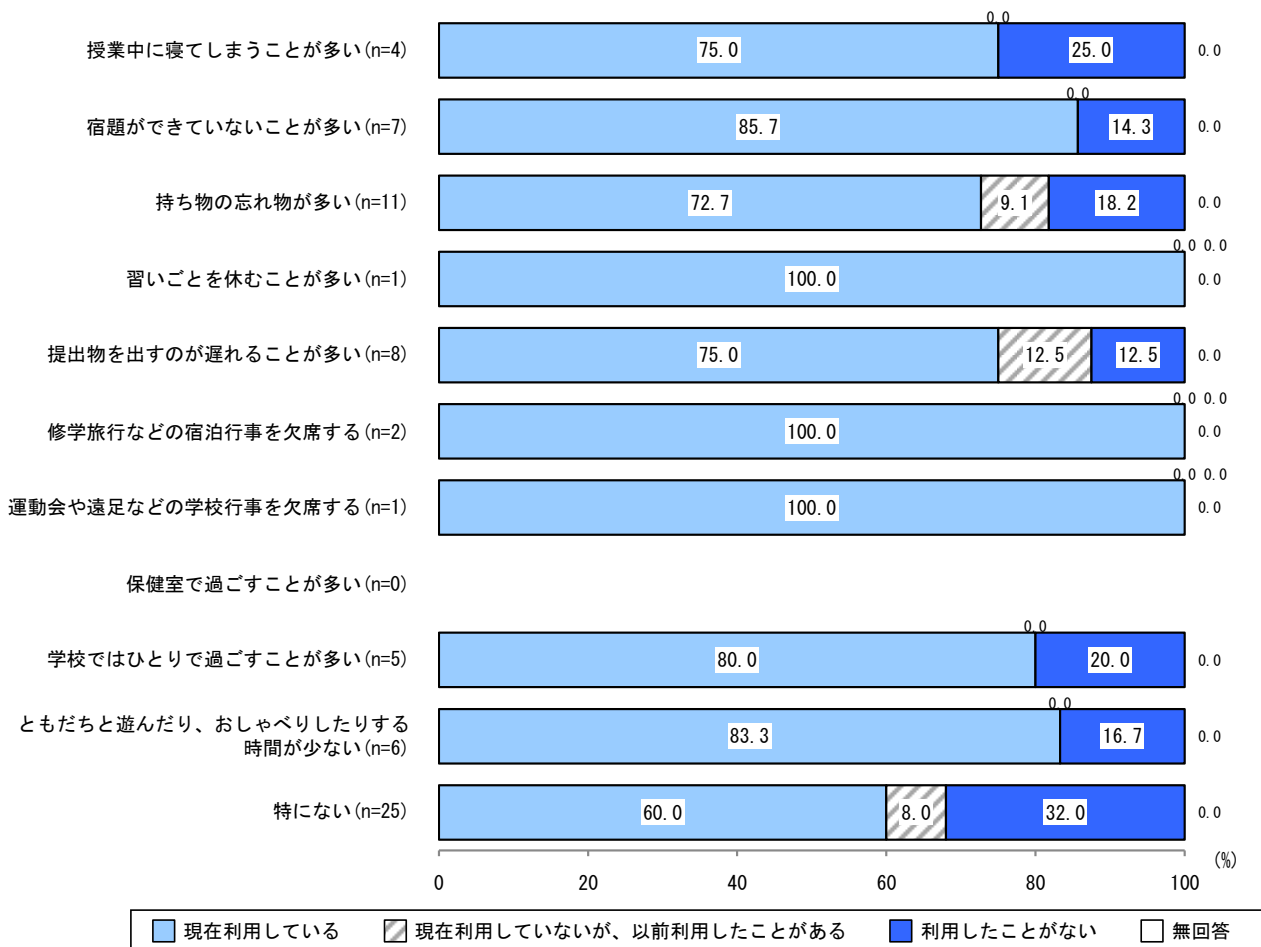
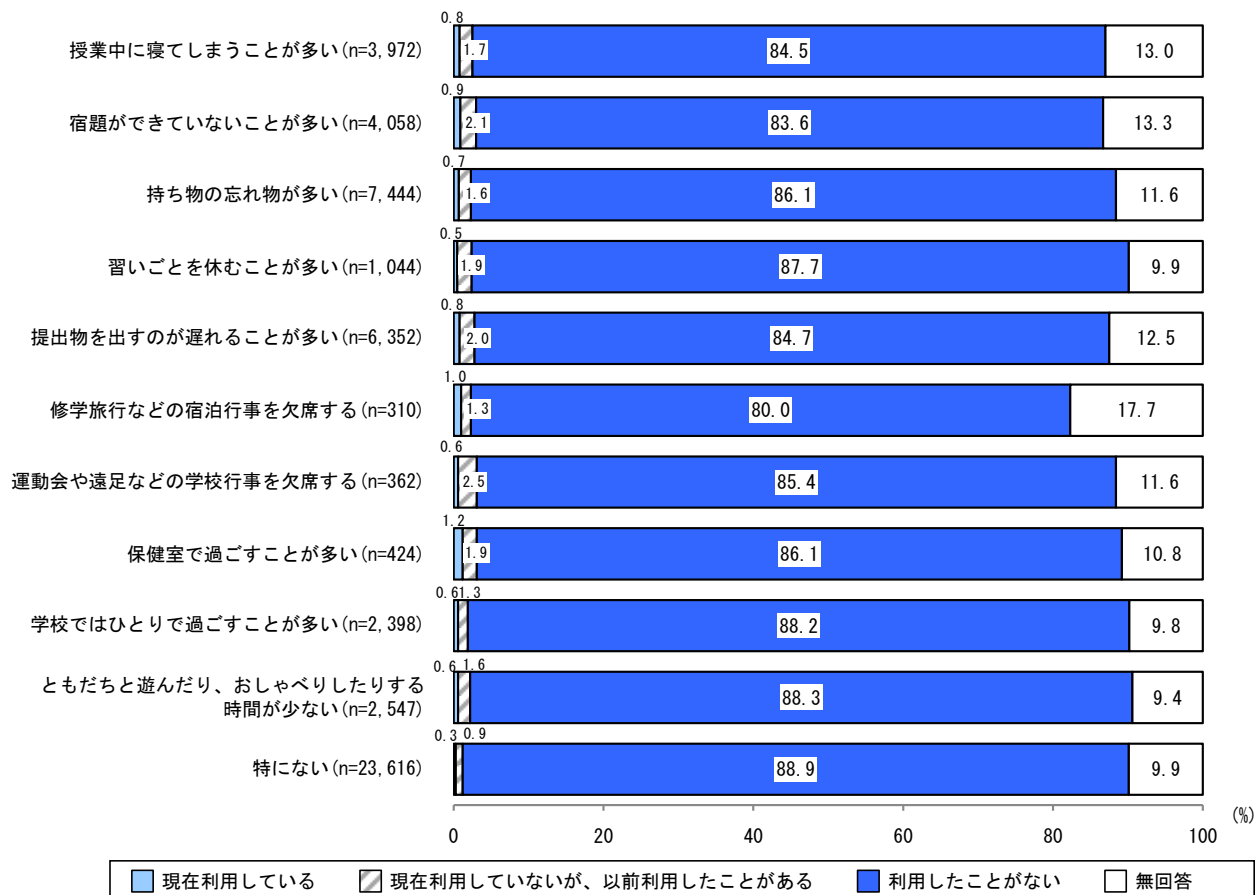


図 37. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の学校や学校の行事等の状況別に児童扶養手当の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、特にないを除いて7割以上を占めている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

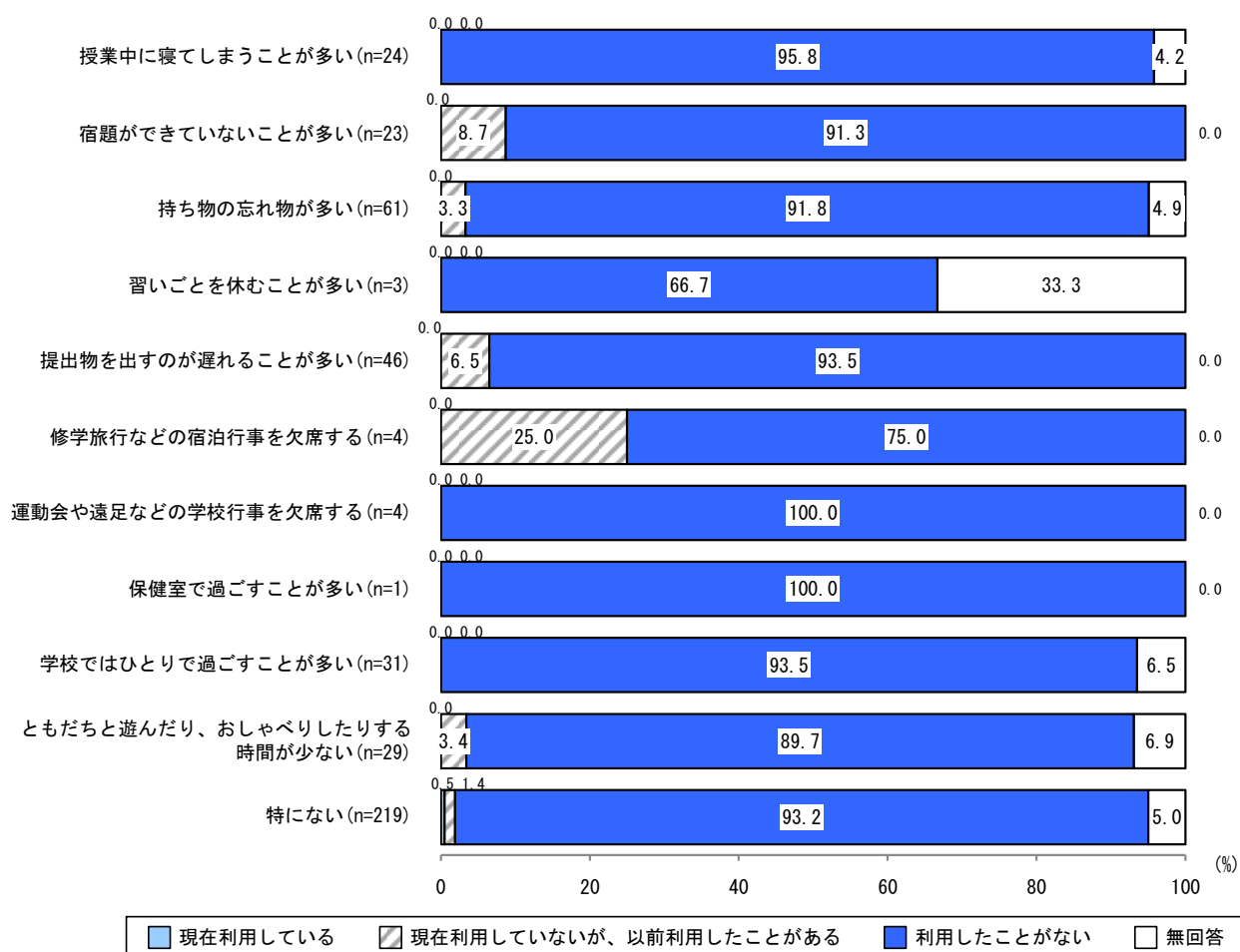
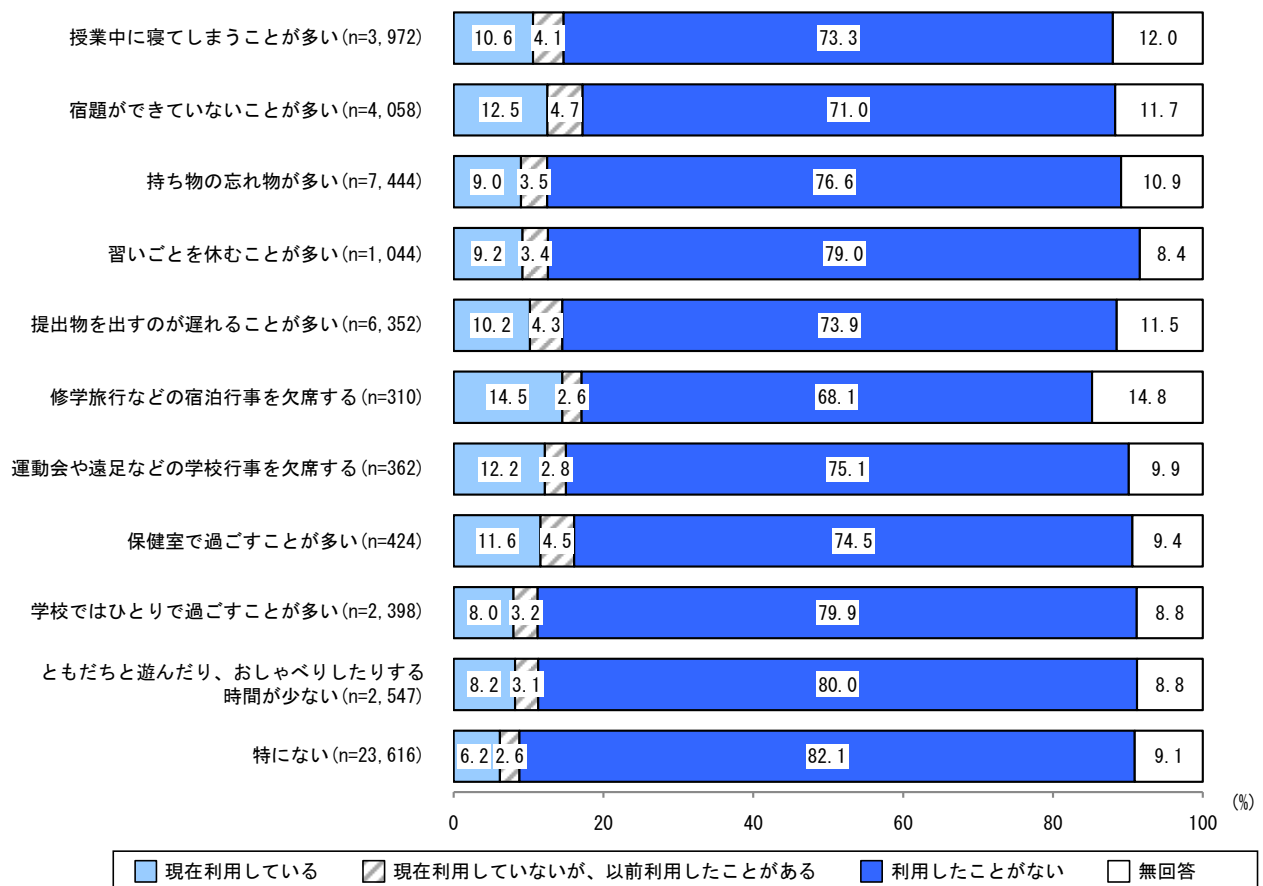


図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

学校や学校の行事等の状況別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「特にない」と回答した割合が0.5%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

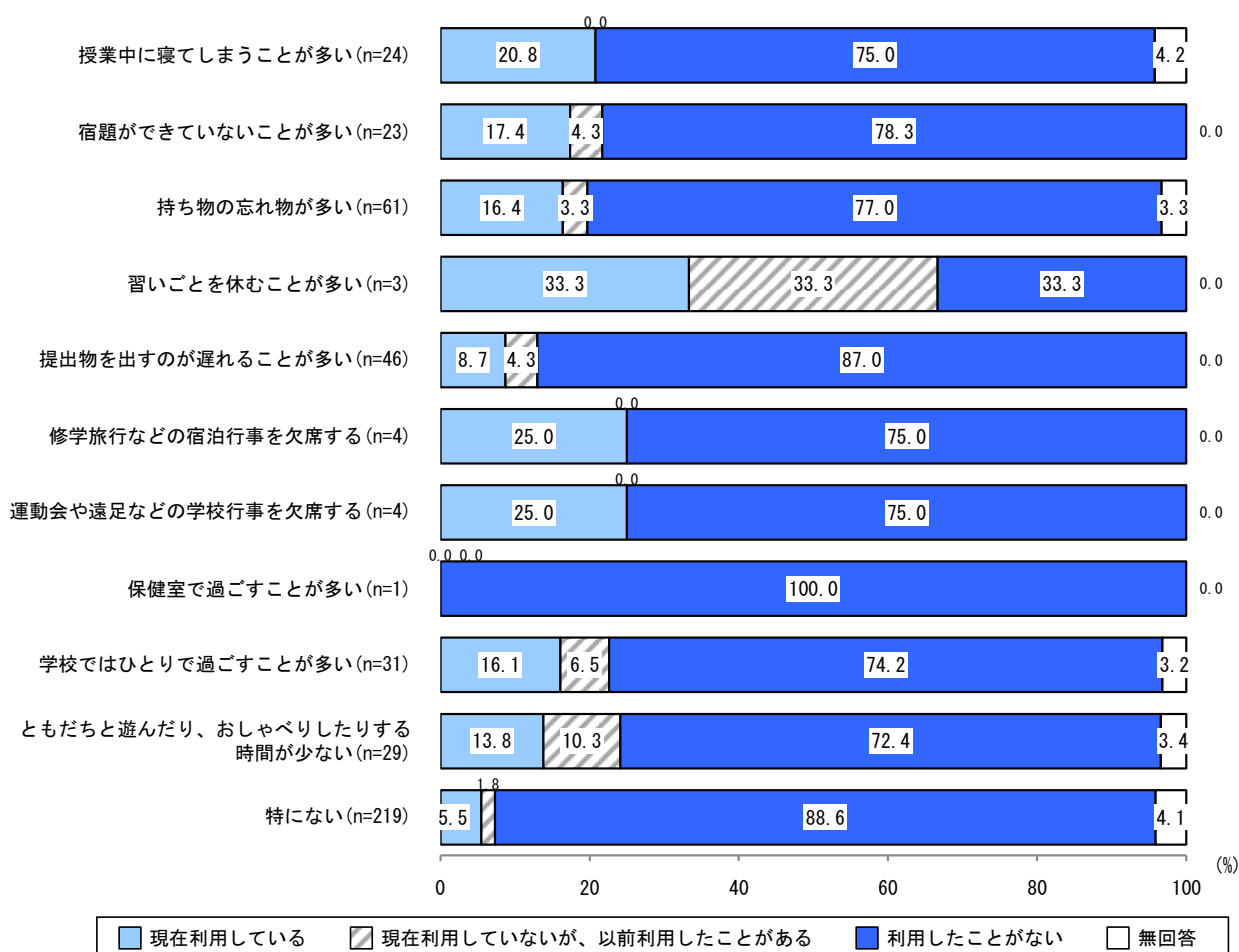
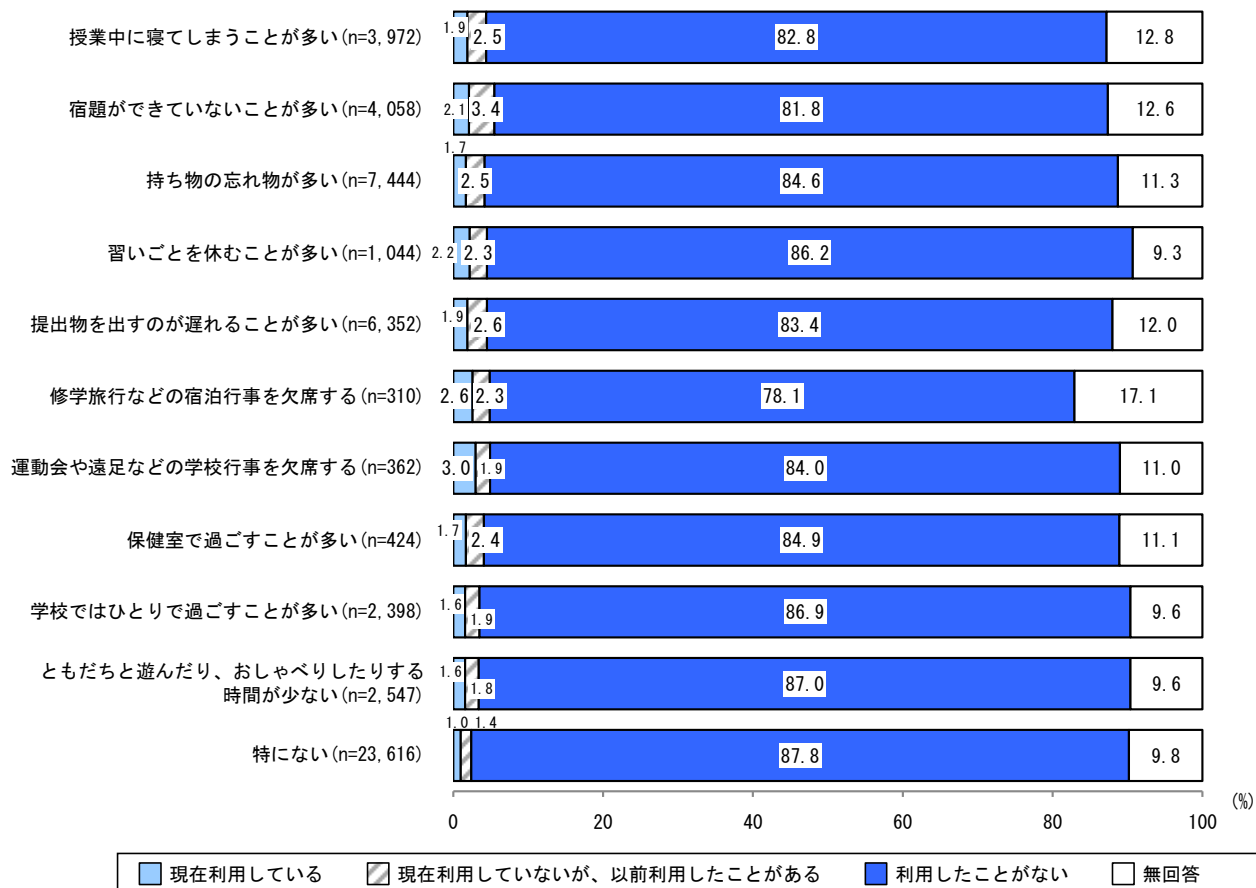


図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「習いごとを休むことが多い」と回答した割合が33.3%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

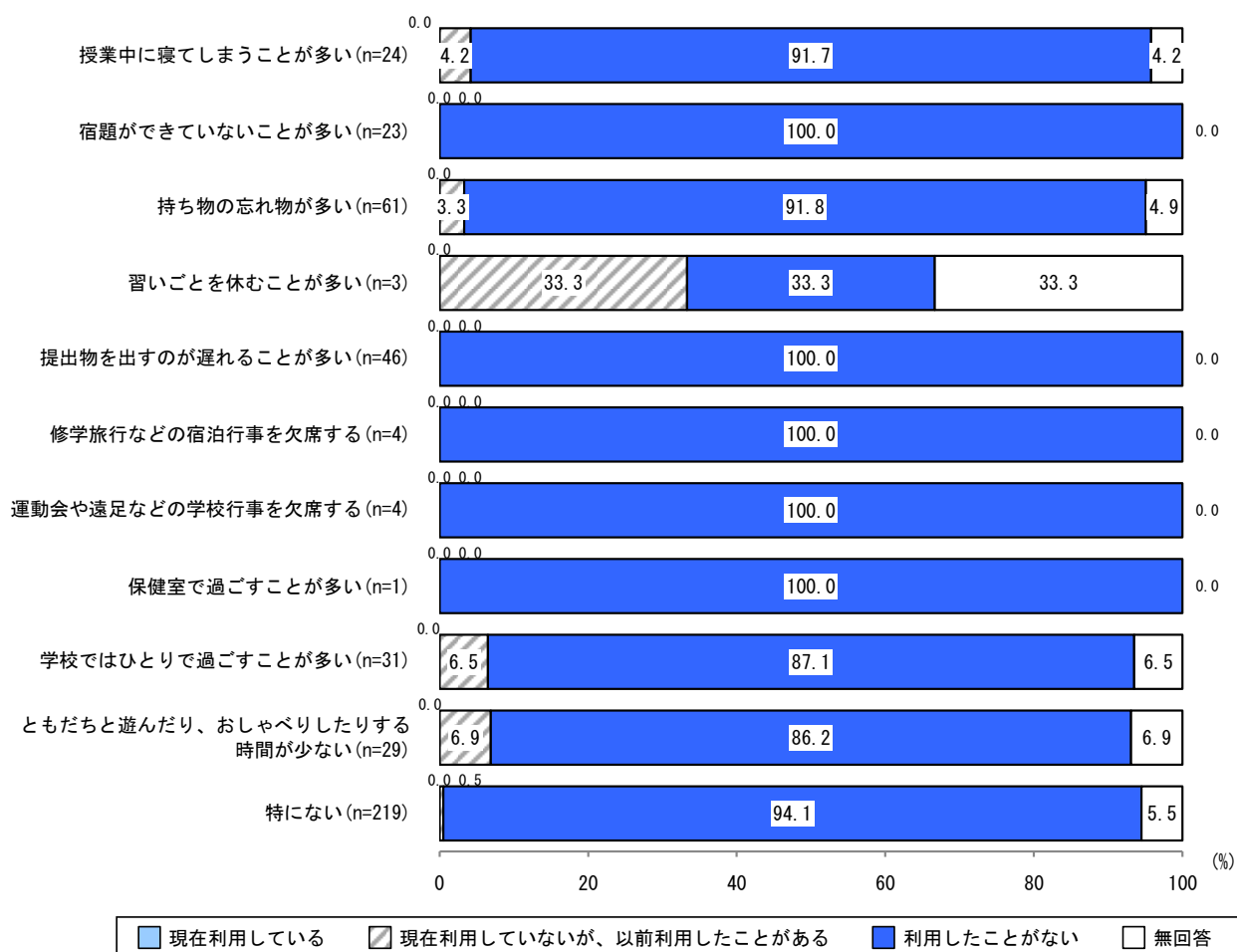
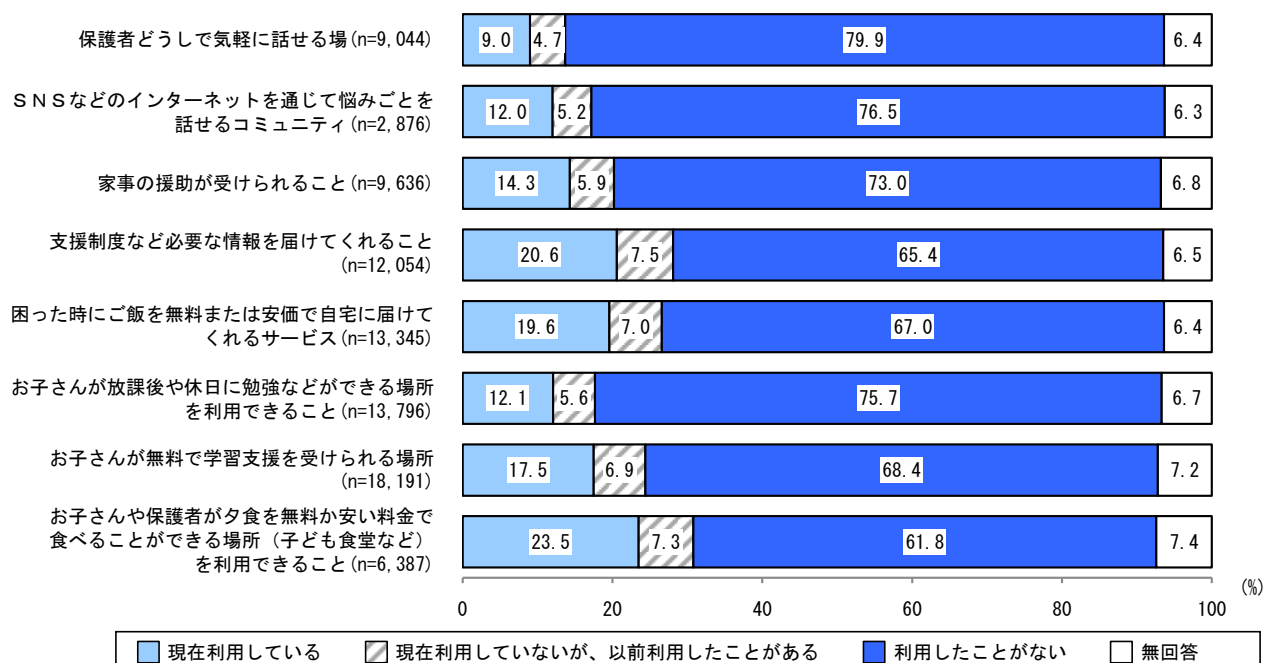


図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合はいずれもいなかった。

身近にあるといいと思うこと別に、就学援助の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

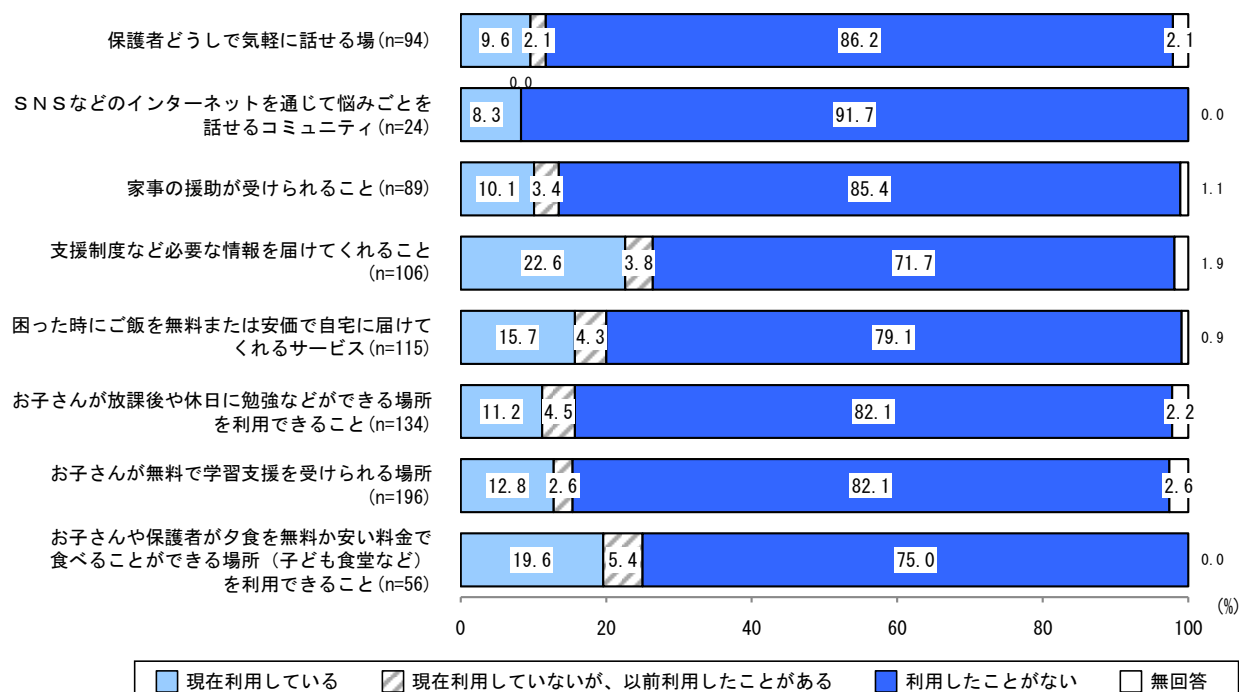
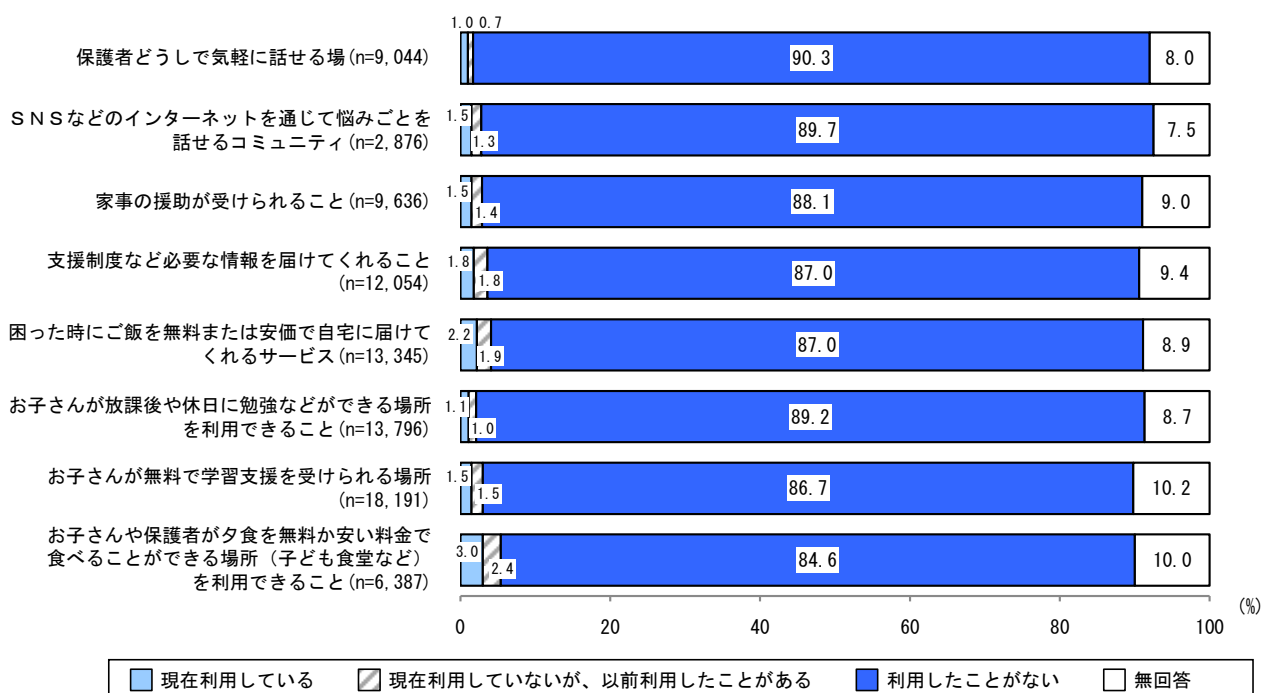


図 41. 身近にあるといいと思うこと別に、就学援助の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」と回答した割合が22.6%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

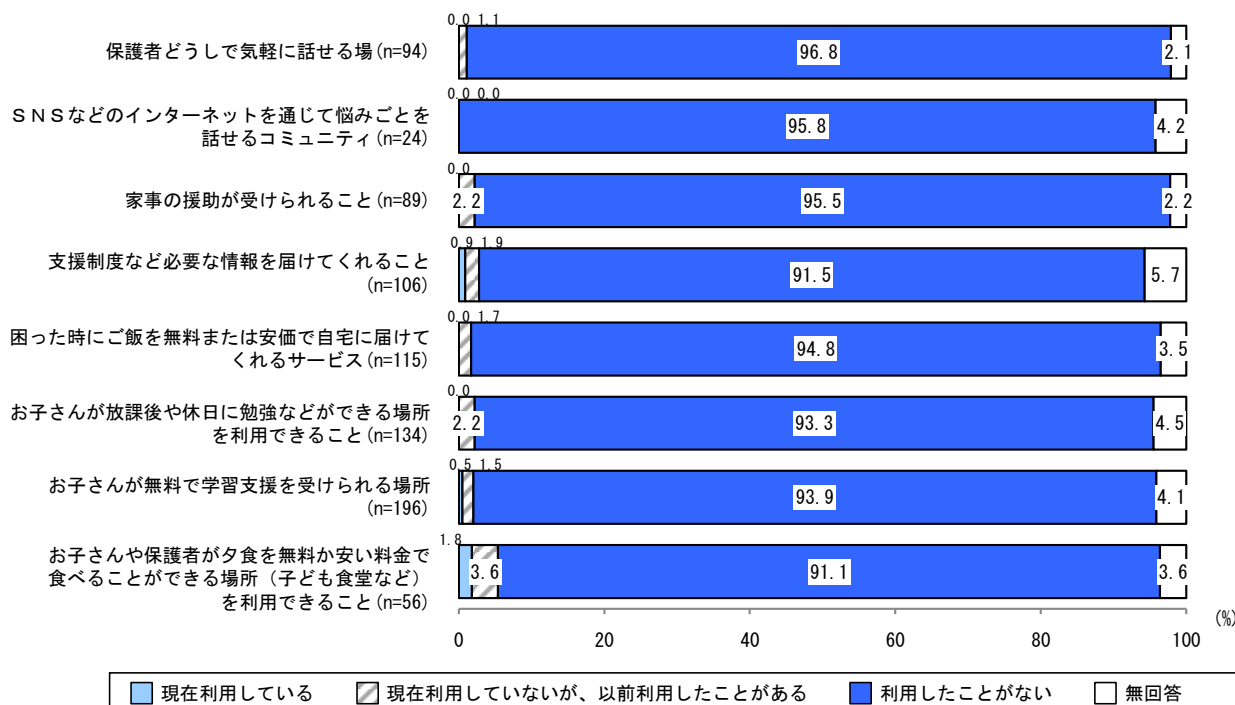
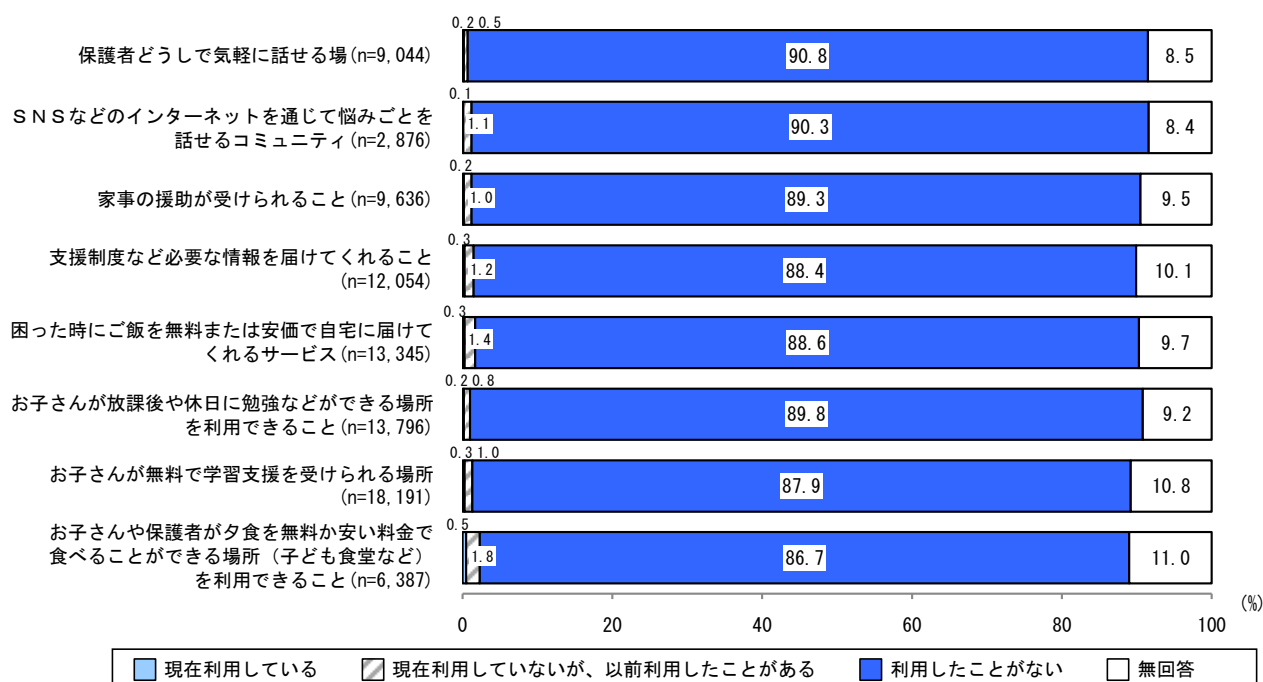


図 42. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など) を利用できること」と回答した割合が1.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

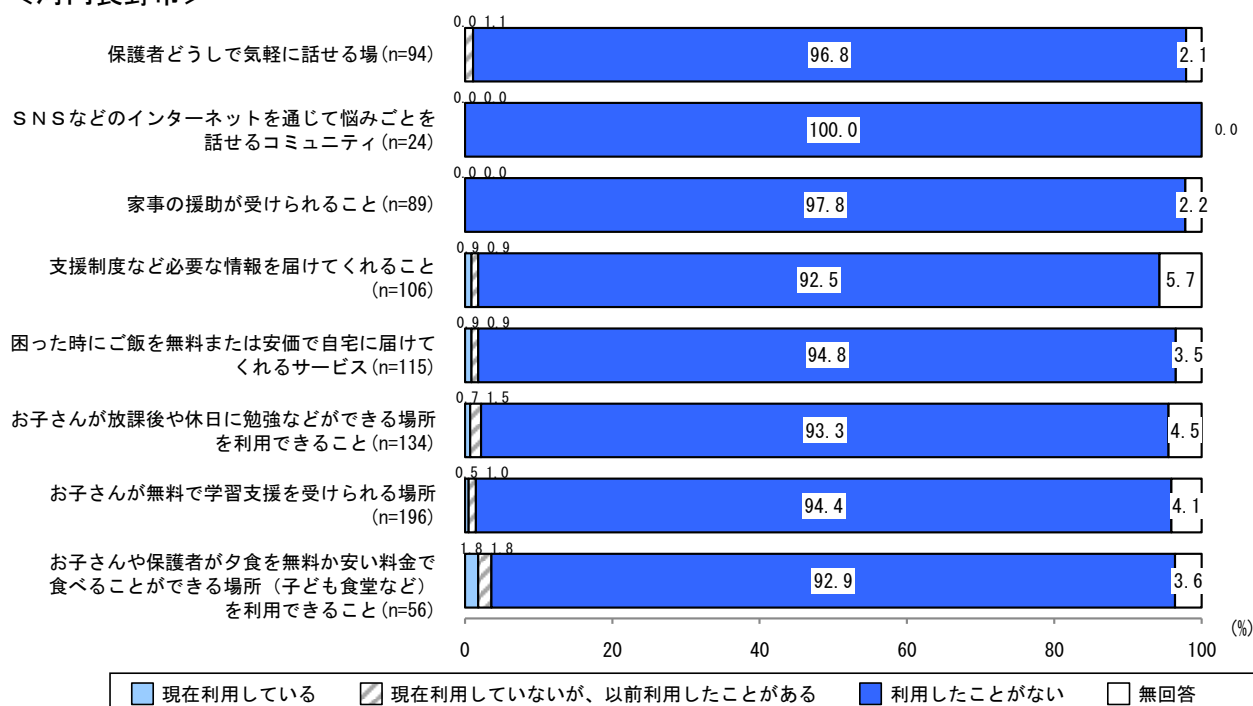
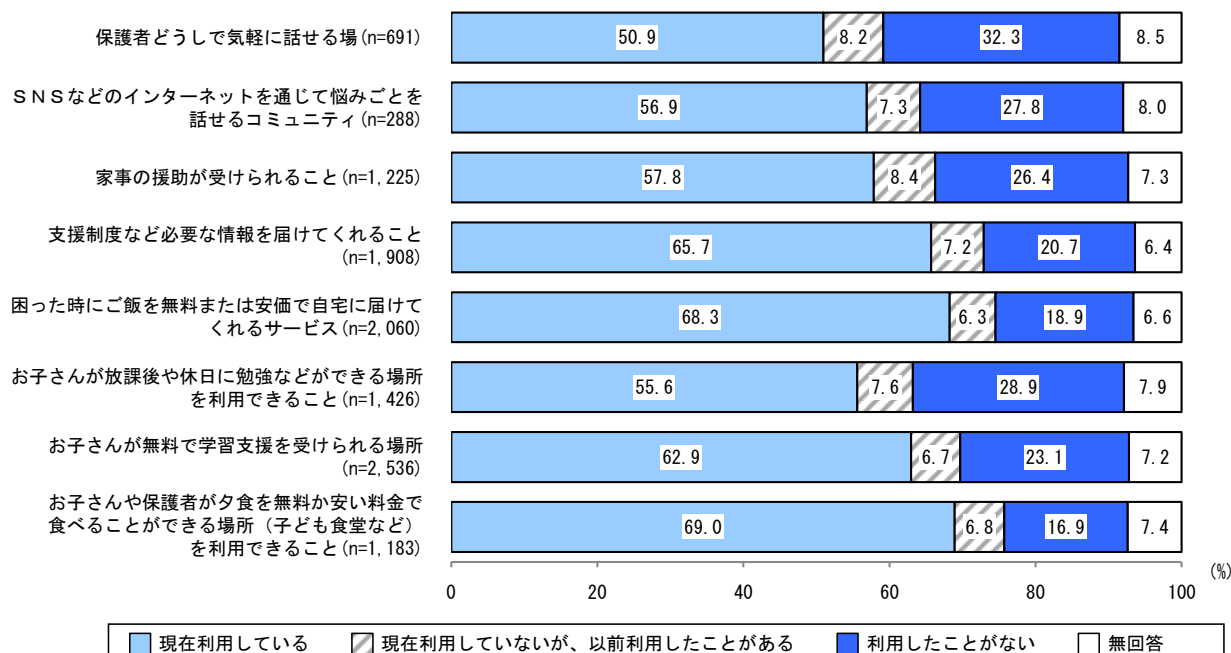


図 43. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が1.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 20×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

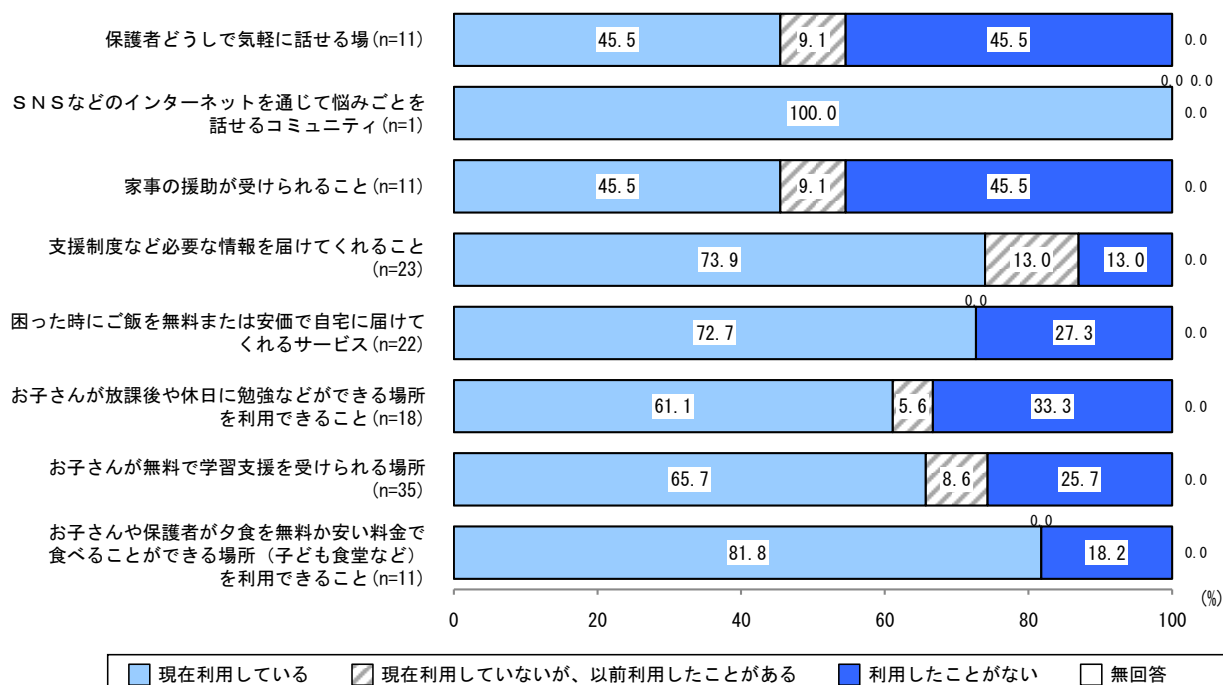
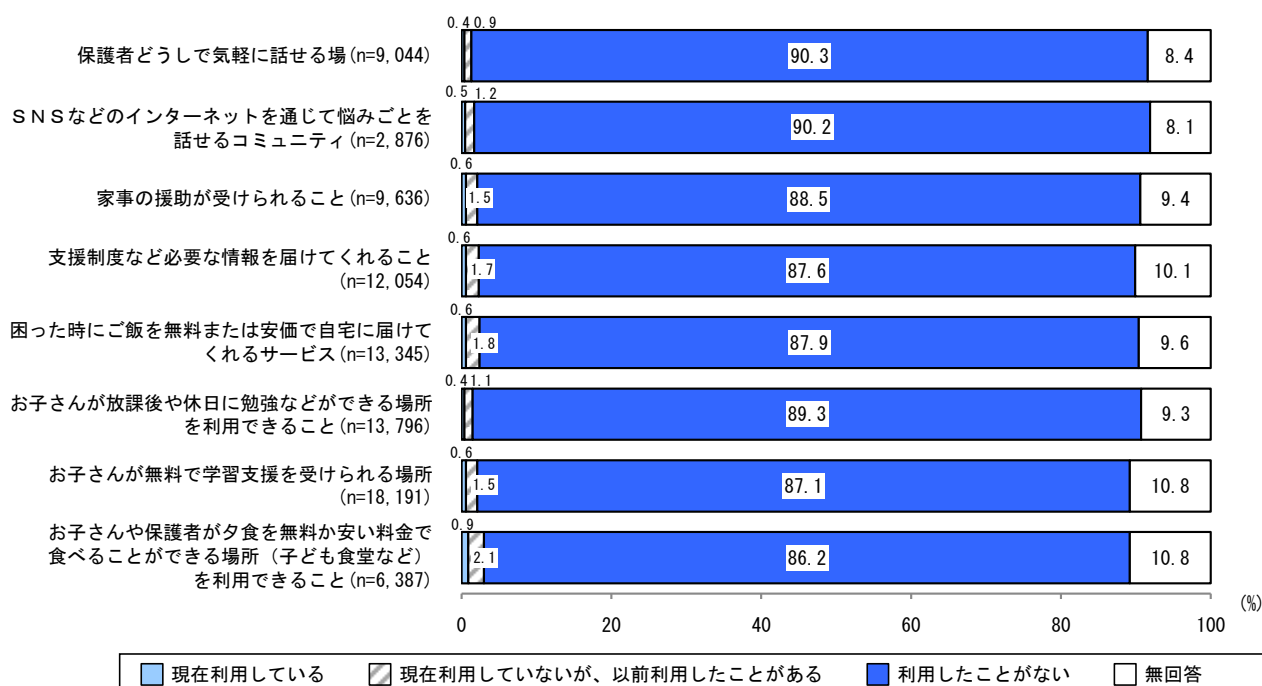


図 44. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の身近にあるといいと思うこと別に児童扶養手当の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」（1件）を除いて、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が81.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(保護者票問 20×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

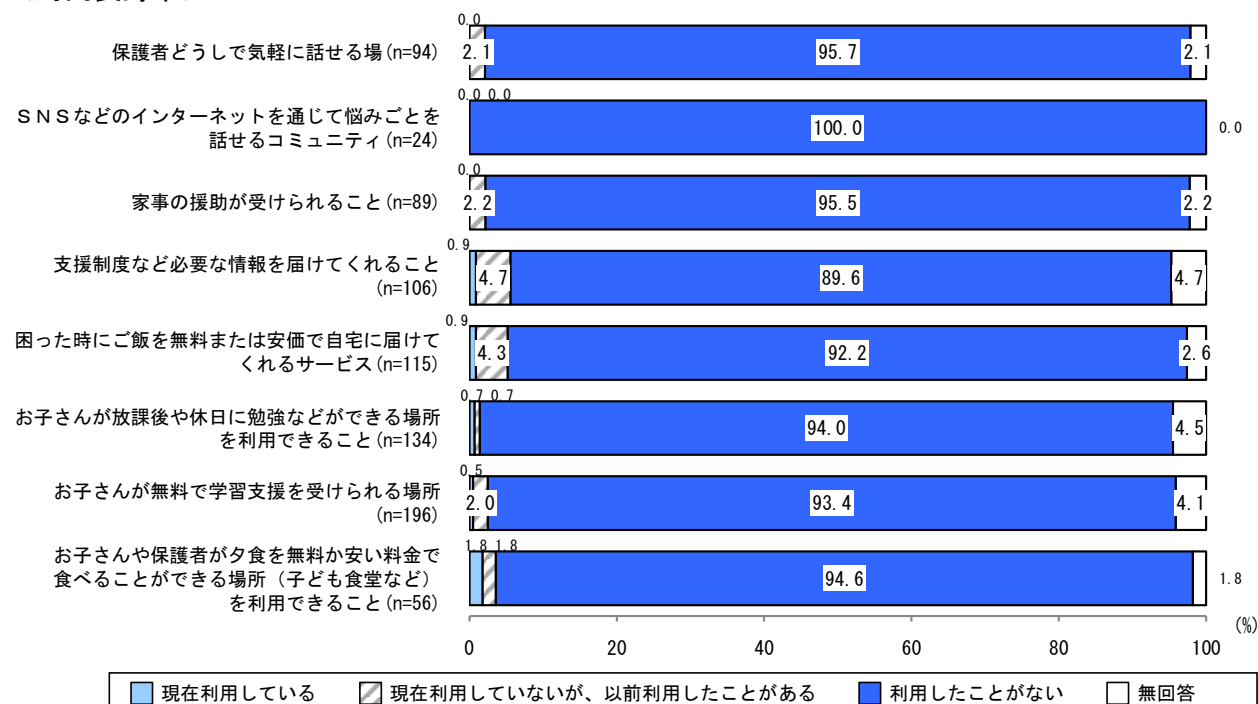
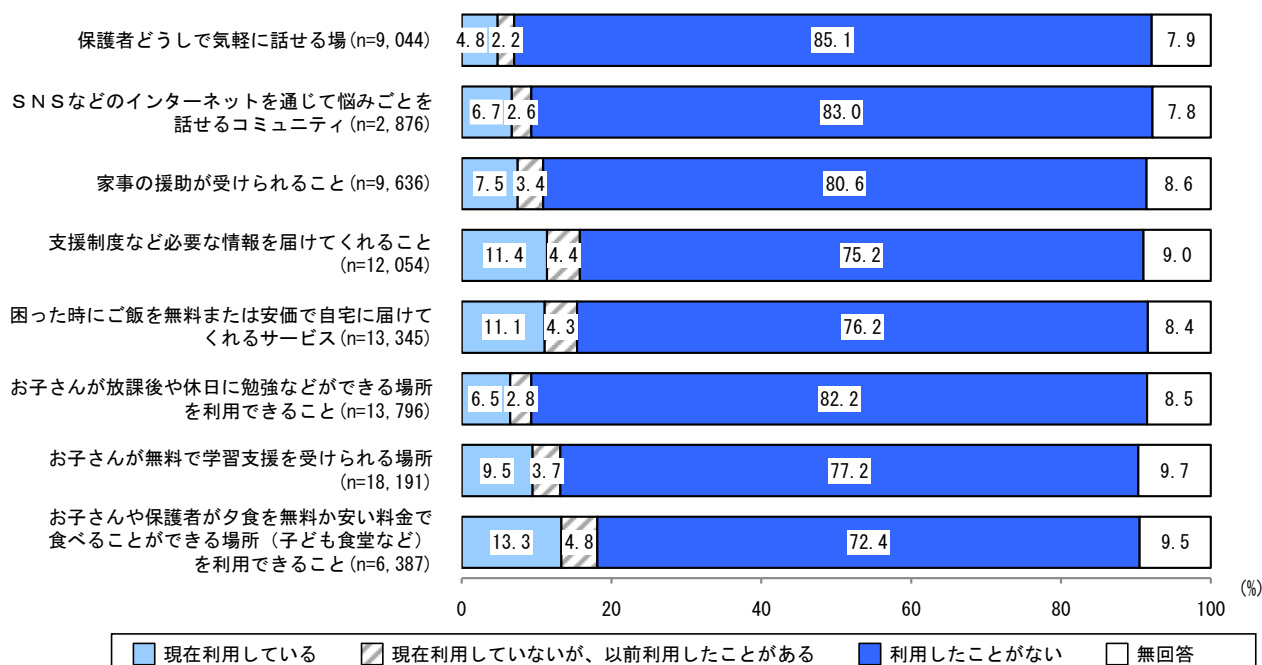


図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

身近にあるといいと思うこと別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など) を利用できること」と回答した割合が1.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

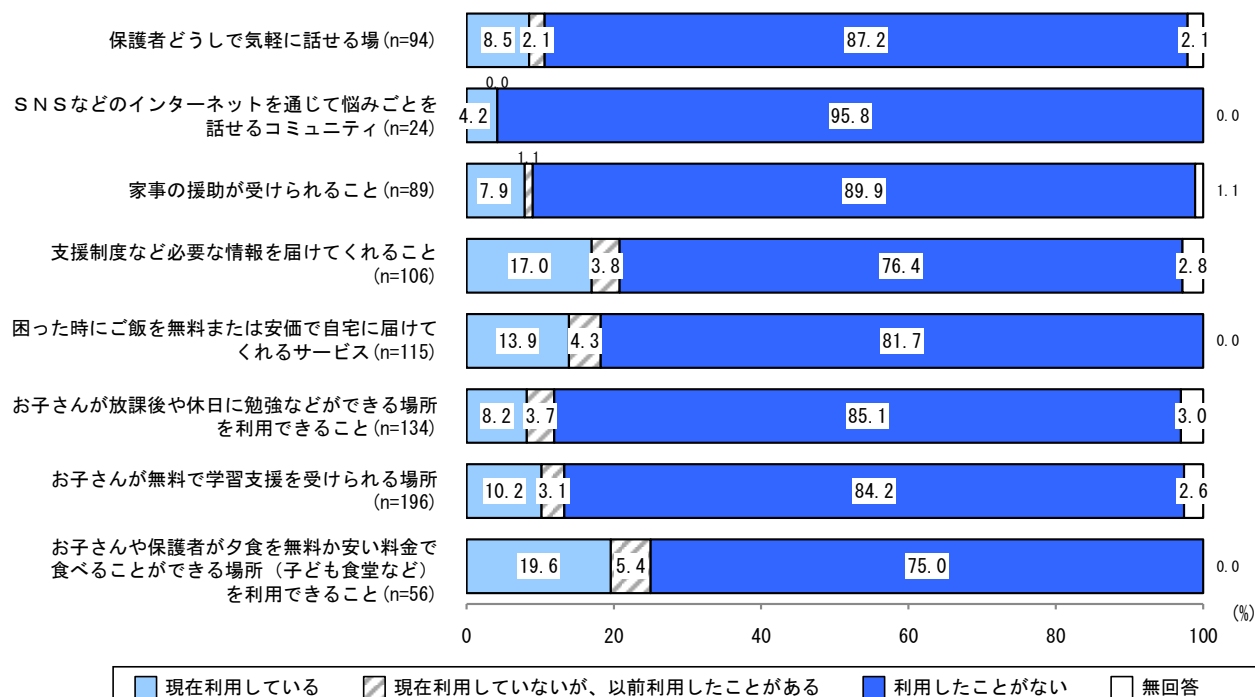
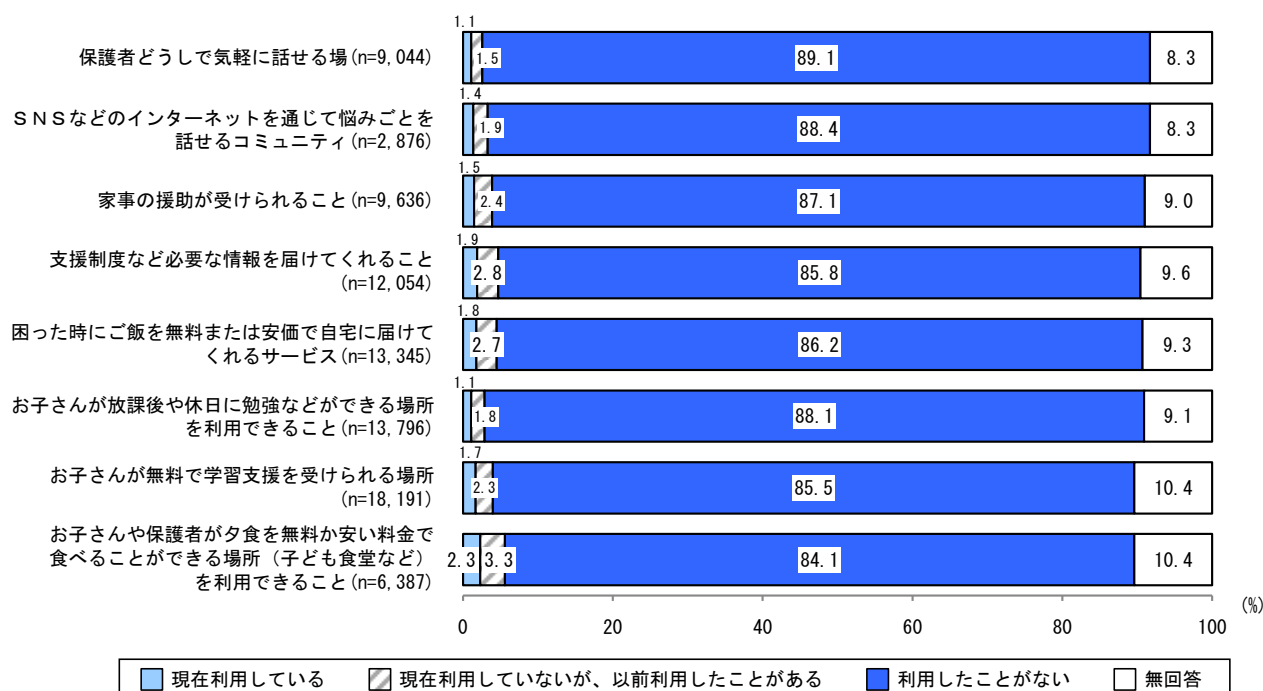


図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が19.6%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

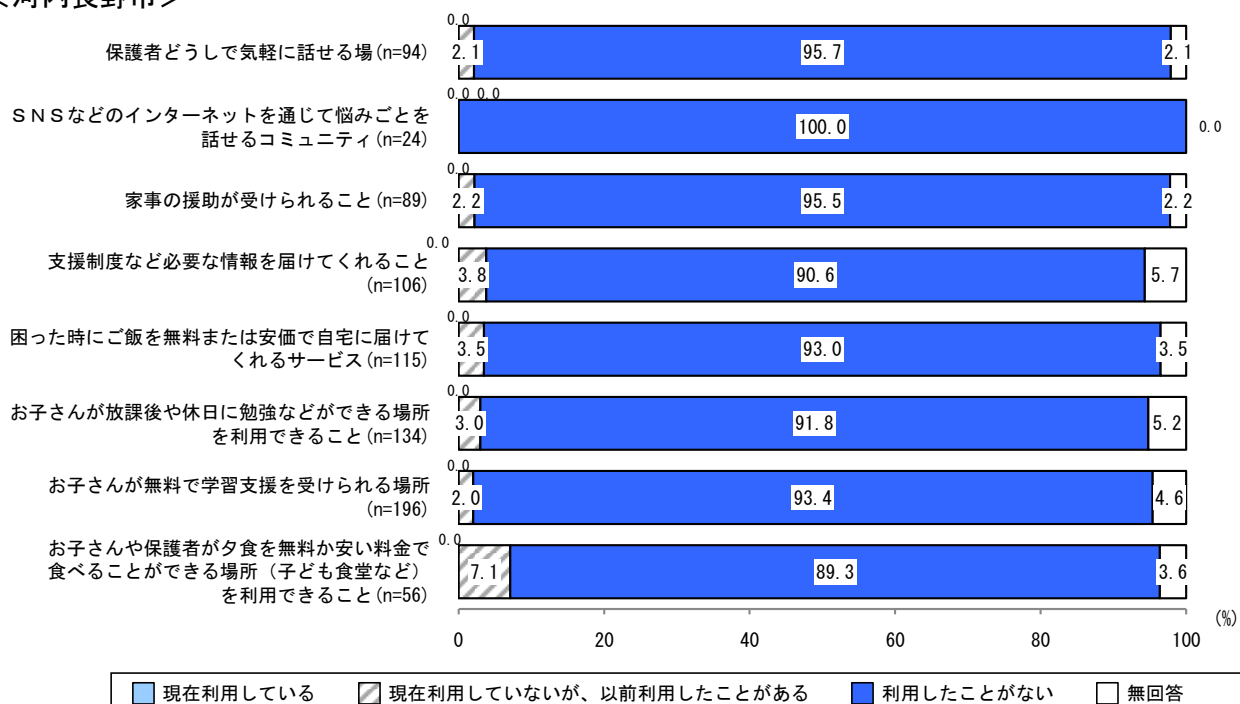


図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用していないが、以前利用したことがある」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が7.1%で最も高くなっている。

<家庭状況(制度等)に関する考察>

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が10.6%となっている。困窮度Ⅰ群では、53.3%、困窮度Ⅱ群では、17.6%を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で61.1%、困窮度Ⅰ群で79.3%、困窮度Ⅱ群で75.0%となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で0.3%と低水準にとどまり、困窮度Ⅰ群では、2.2%となっている。今回の調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要があるが、生活保護制度の利用状況については、1%を下回る非常に低い水準であり、受給要件の緩和など制度運用の改善が求められる。就学援助の利用状況については、困窮度Ⅱ群で「利用したことがない」が約8割という高い割合を占めている。社会保障制度について、入学前も含めあらゆる機会を通じて周知を行い、支援が必要と考えられる世帯に対しては、相談窓口に同行して申請を促すなど、対象者に寄り添いながら担当部局につないでいく支援体制の充実が求められている。

ひとり親世帯について、養育費の受け取りをしている世帯は、全体で62.2%を占めている。養育費を受け取っていない世帯は、全体で37.8%、困窮度Ⅰ群で34.8%となっている。離婚により経済状況が悪化する世帯の支援ニーズを捉え、養育費の取り決め確保やサービス給付の相談窓口につないでいく支援体制が必要である。

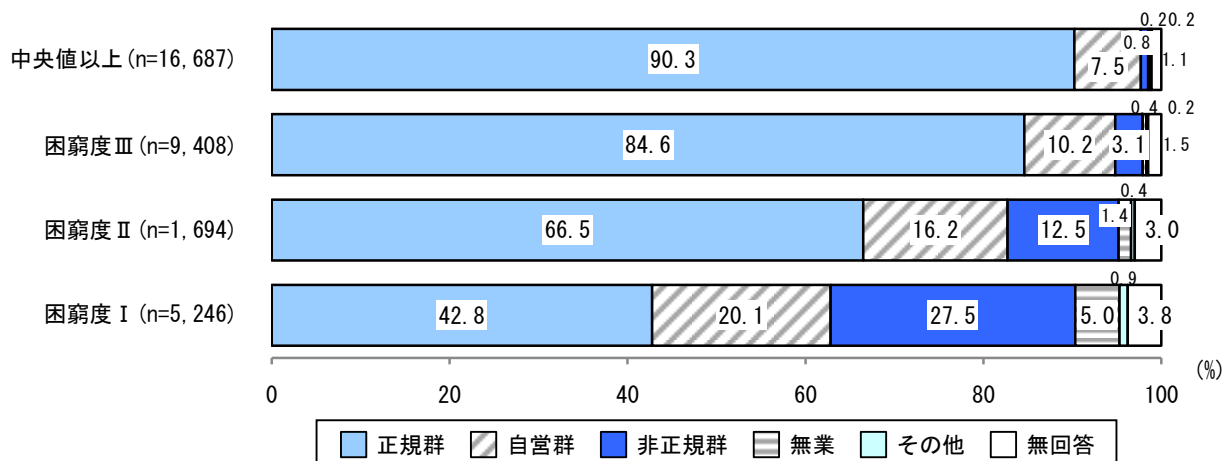
初めて親となった年齢と最終学歴について、特に母親に着目すると、「10代」で高等学校中途退学が33.3%、高等学校卒業が33.3%、高専・短大・専門学校等卒業が33.3%となっている。妊娠・出産しても、大学入学資格を有している場合、大学進学も選択肢に含めた給付型奨学金制度等の社会資源の案内や、学修機会確保のための子育て支援策の充実が求められる。

住宅形態別に家計の状況をみると、「府営・市営の住宅」において「貯蓄ができている」が40.0%、「赤字でもなく黒字でもない」が40.0%、「赤字である」が20.0%であり、黒字でない割合が6割を占めている。同様に、府営・市営の住宅については、「子どもの将来のための貯蓄状況」については、「貯蓄をしている」が60.0%、「貯蓄をしたいが、できていない」が40.0%となっている。経済的余裕がない生活での貯蓄が、家計を逼迫している可能性があり、家賃補助制度の整備など生活費を支援する施策が必要である。

3-2. 雇用

困窮度別に見た、就労状況（保護者票問9より）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

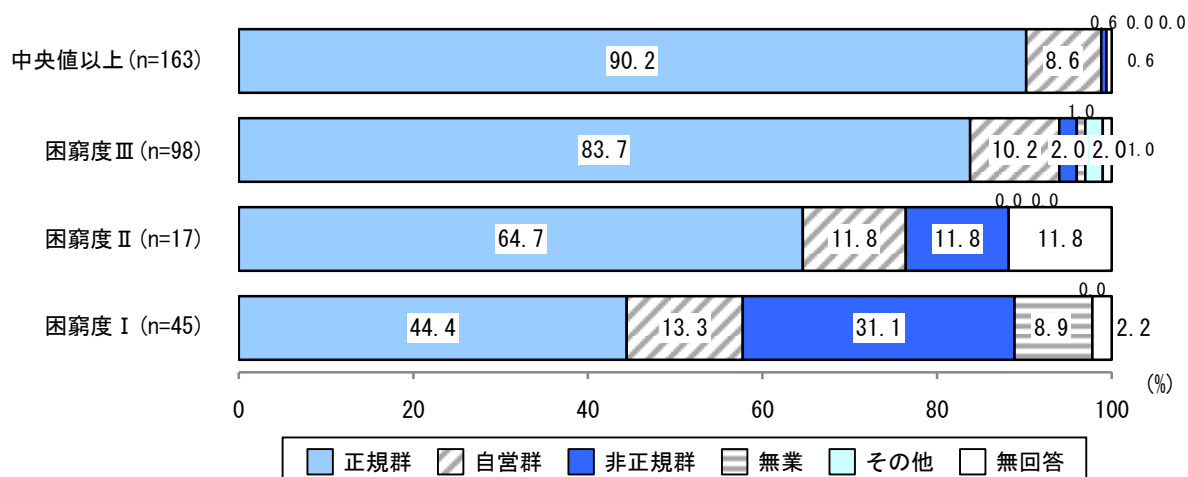


図 48. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度別に就労状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「正規群」の割合が低くなり、「自営群」、「非正規群」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群においては他と比べて「非正規群」、「無業」の割合が高く、それぞれ31.1%、8.9%となっている。

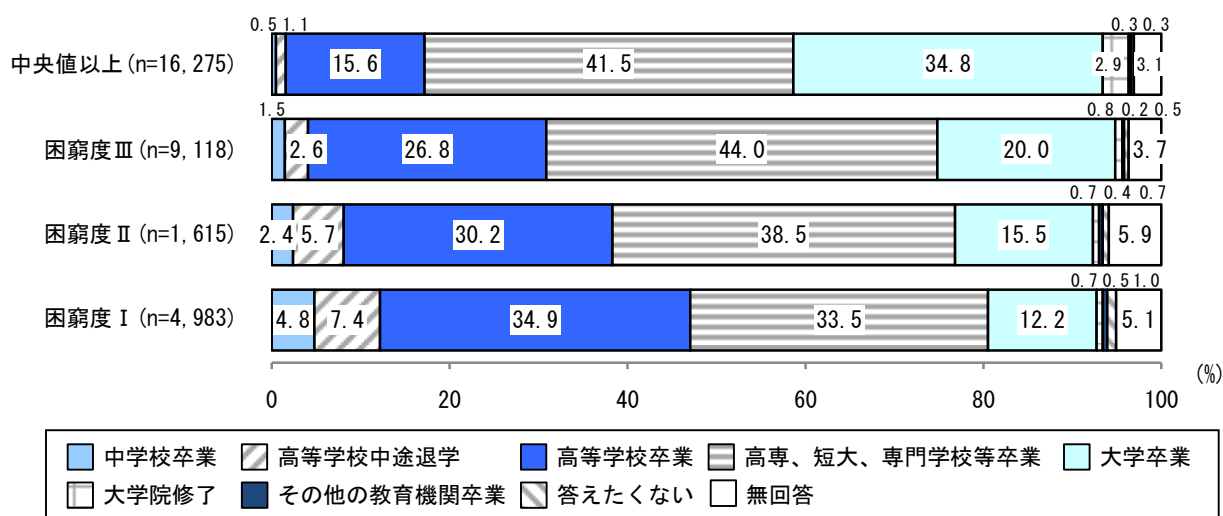
※分類方法は以下の通り。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれば「正規群」（問9選択肢1）、
上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれば「自営群」（問9選択肢4）、
上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれば「非正規群」（問9選択肢2、3）、
上記以外で、誰も働いていなければ「無業」（問9選択肢6、7）。
上記以外が「その他」となる。

ここでの無業とは、「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者」を指す（就業構造基本調査による）。クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。

困窮度別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問 8）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

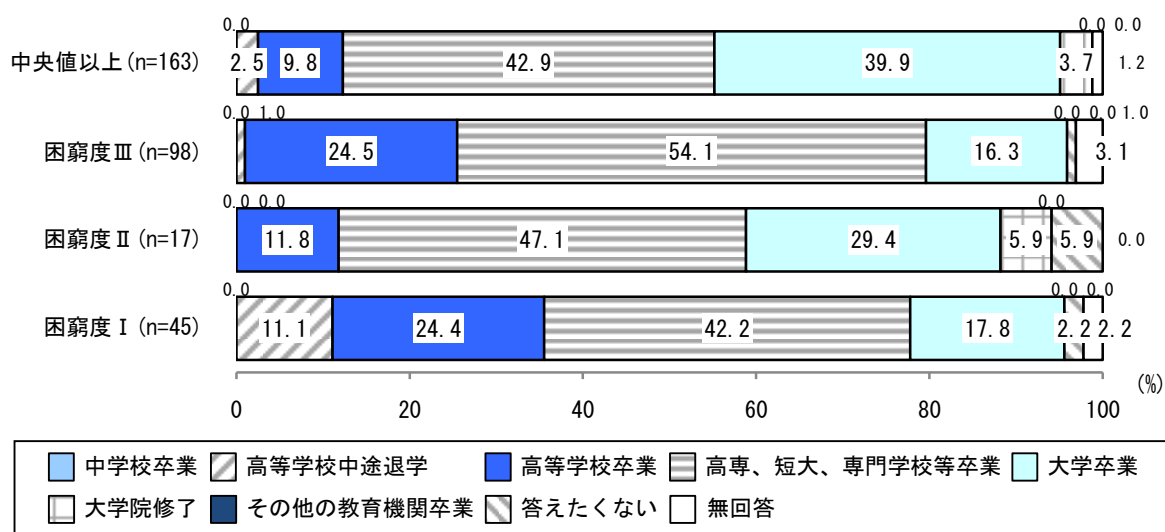
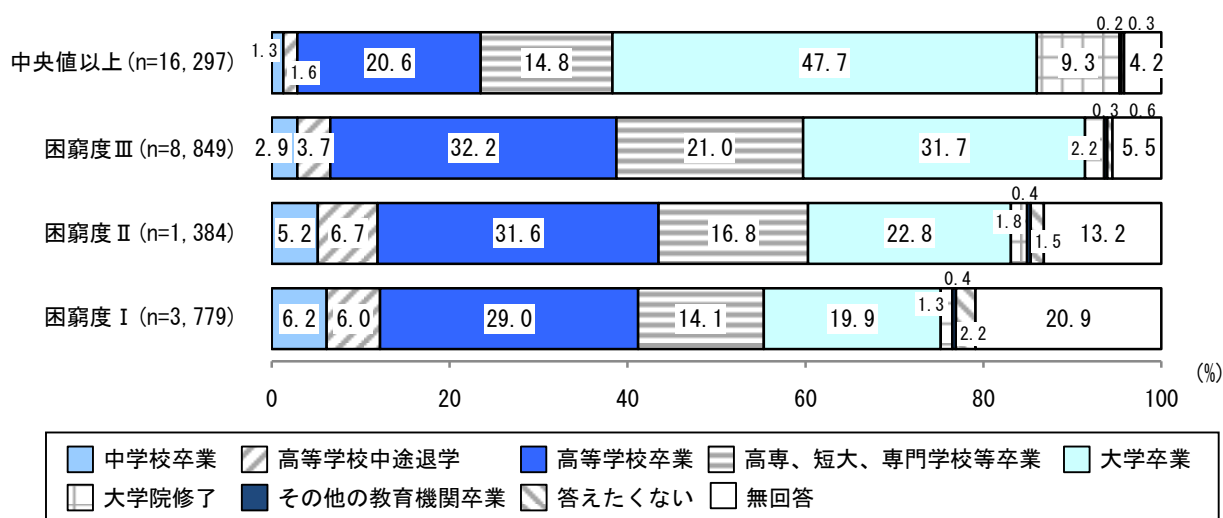


図 49. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、「高等学校中途退学」の割合が困窮度Ⅰ群で最も高くなっている。困窮度Ⅰ～Ⅲ群では中央値以上群に比べ、「大学卒業」の割合が低い。

困窮度別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問8）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

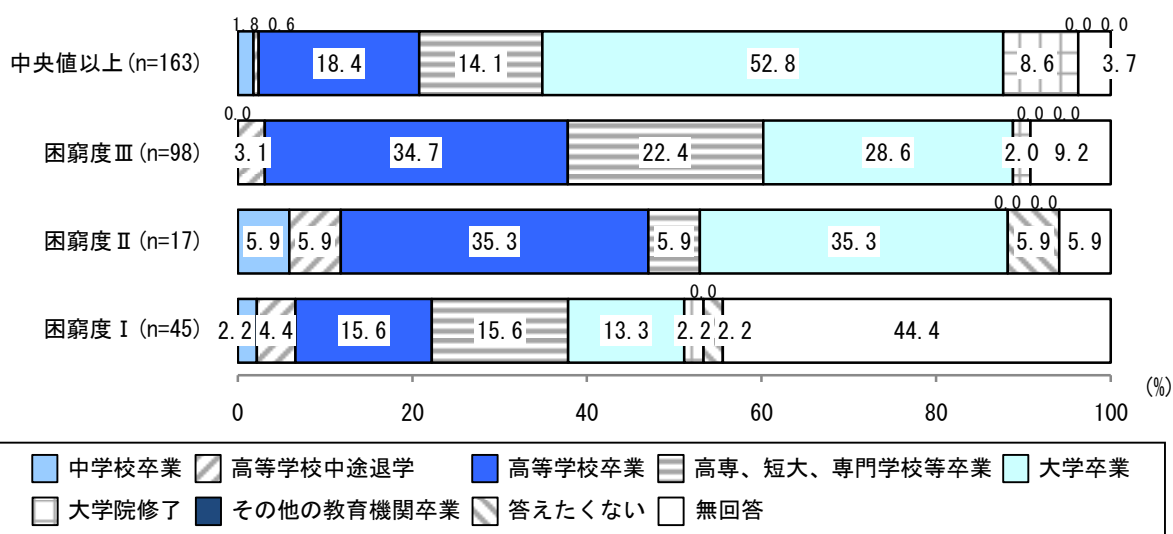
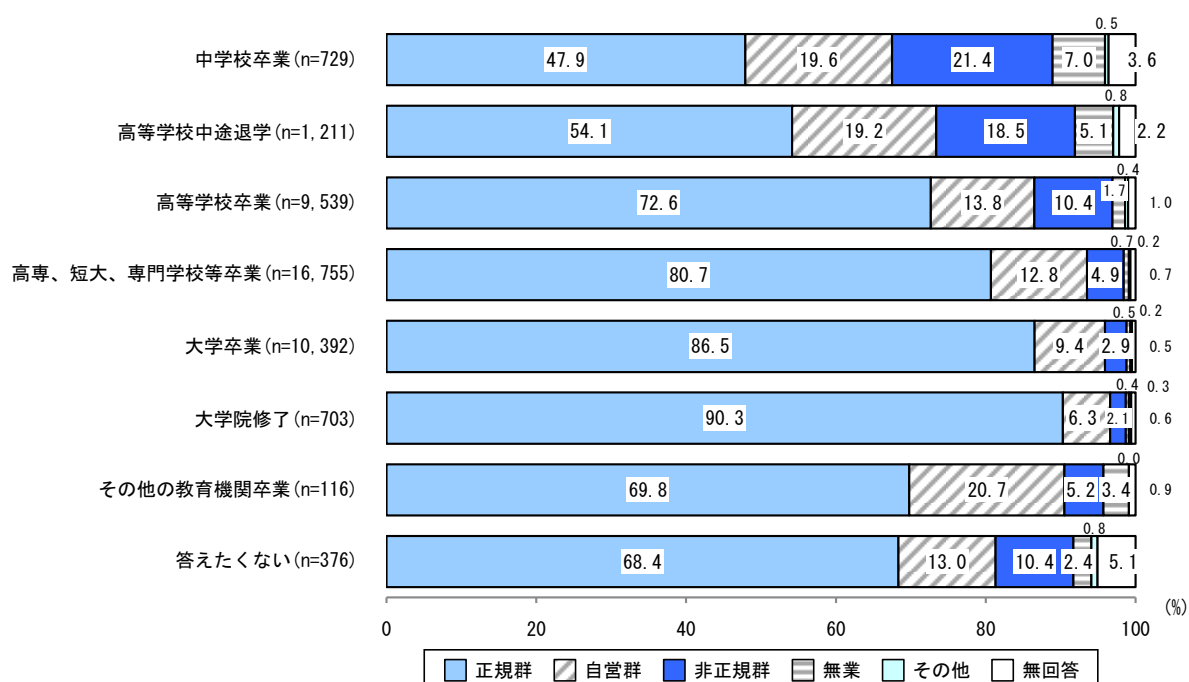


図 50. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合は困窮度Ⅱ群で最も高くなっている。困窮度Ⅰ群において、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合はそれぞれ2.2%、4.4%である。また、困窮度Ⅰ群では無回答（44.4%）の割合も高い。

お母さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問 8 × 保護者票問 9）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

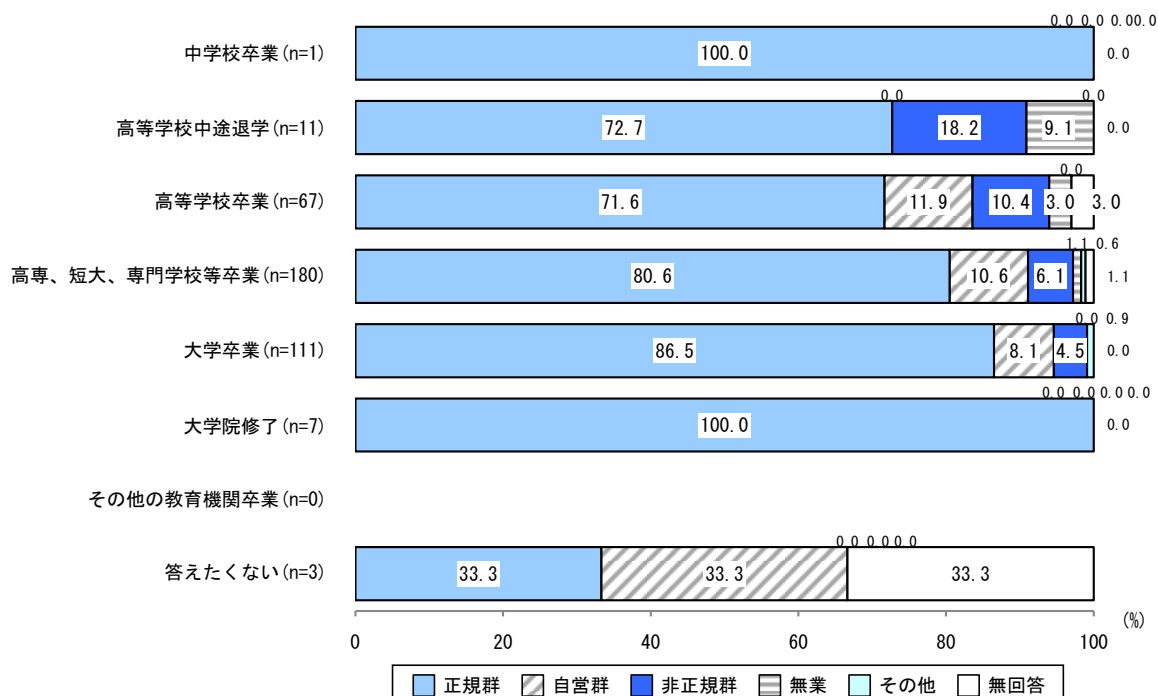
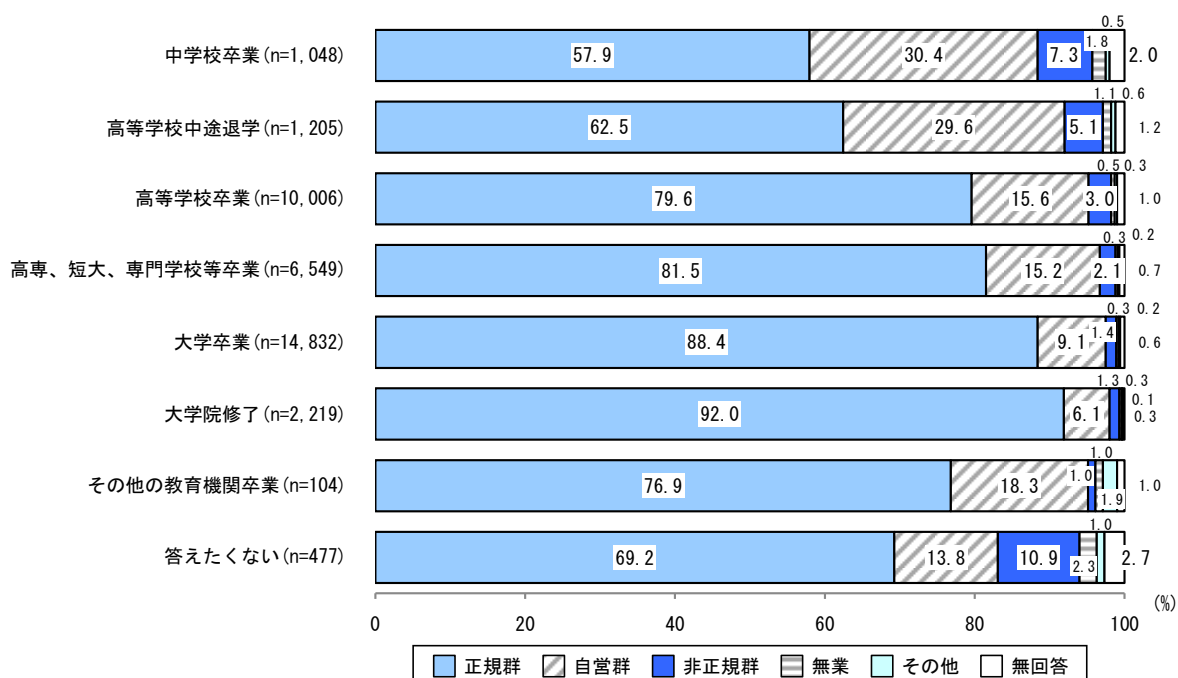


図 51. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、「母親の最終学歴」が高くなるにつれて「非正規群」の割合が低くなっている。

お父さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問8×保護者票問9）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

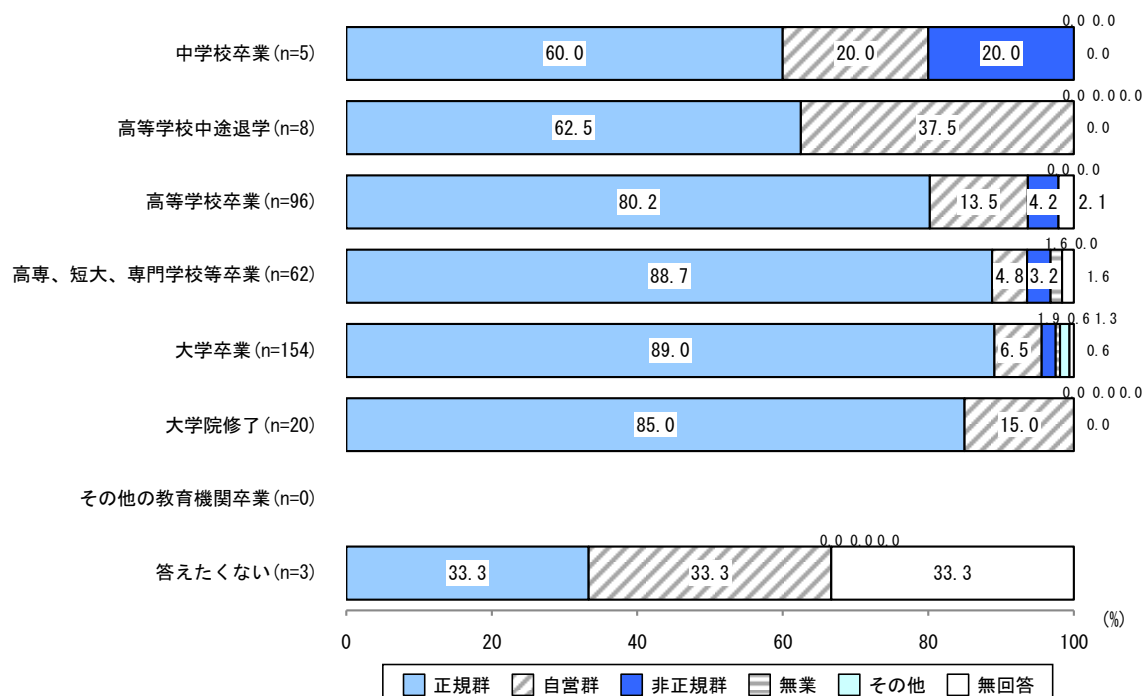
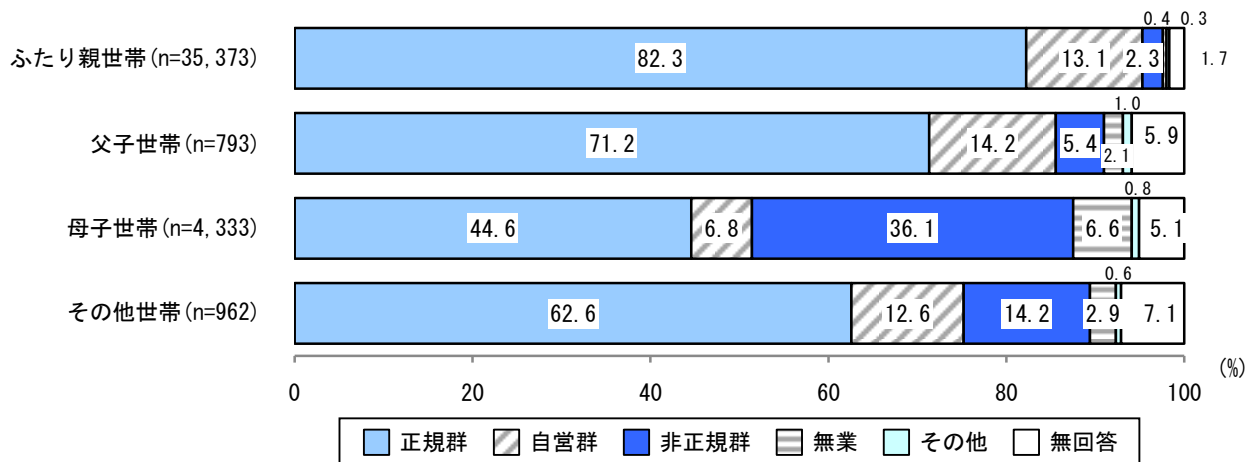


図 52. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、父親の最終学歴が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる傾向にあるが、大学院修了では85.0%と大学卒業に比べてやや低い。

世帯構成別に見た、就労状況（保護者票問2×保護者票問9）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

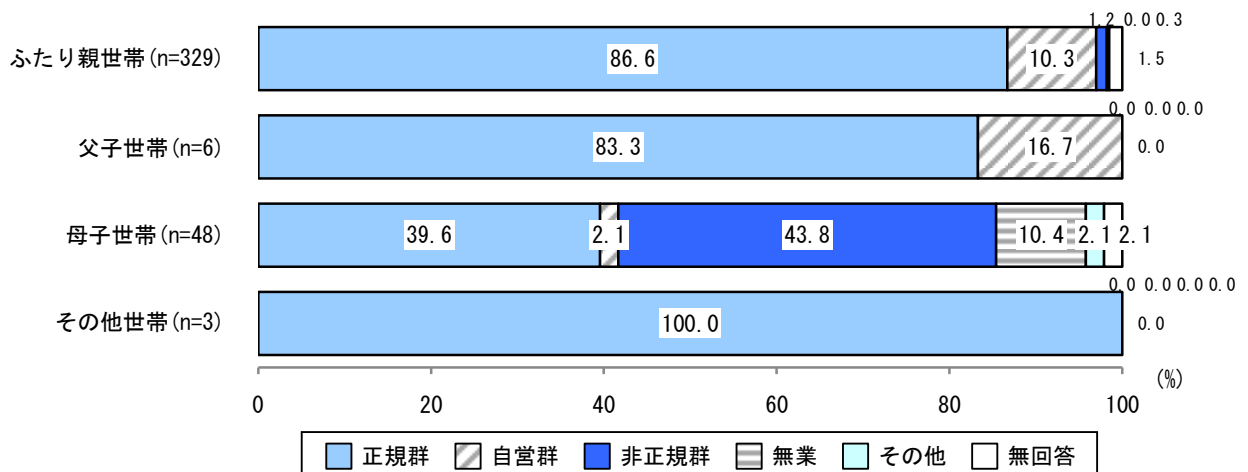
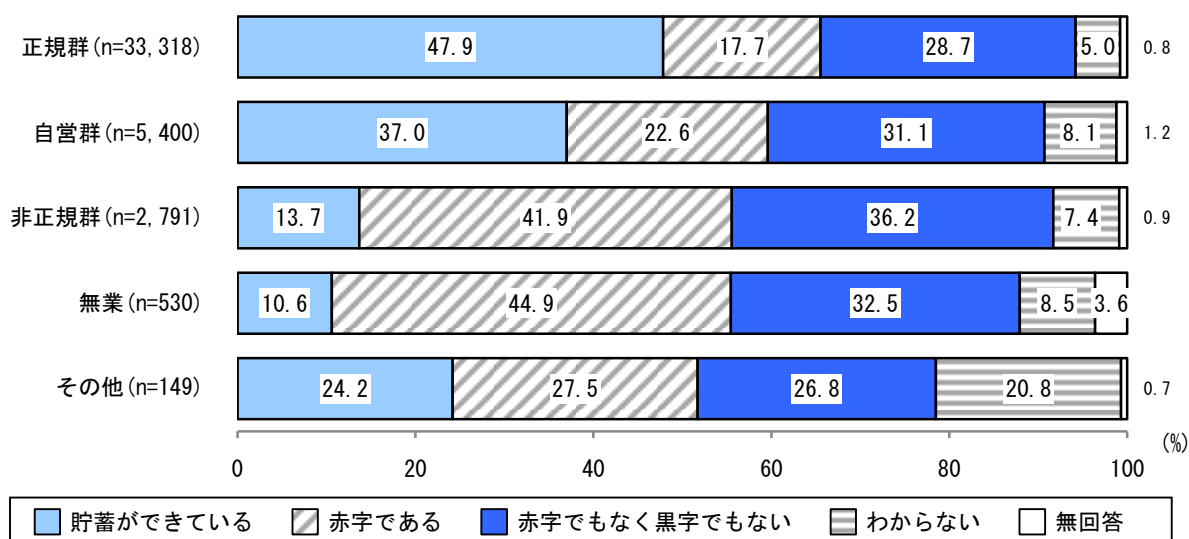


図 53. 世帯構成別に見た、就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、「ふたり親世帯」では「正規群」の割合が86.6%であるが、「母子世帯」では39.6%と低くなる。「非正規群」は、「母子世帯」では43.8%となっている。

就労状況別に見た、家計の状況（保護者票問9×保護者票問6(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

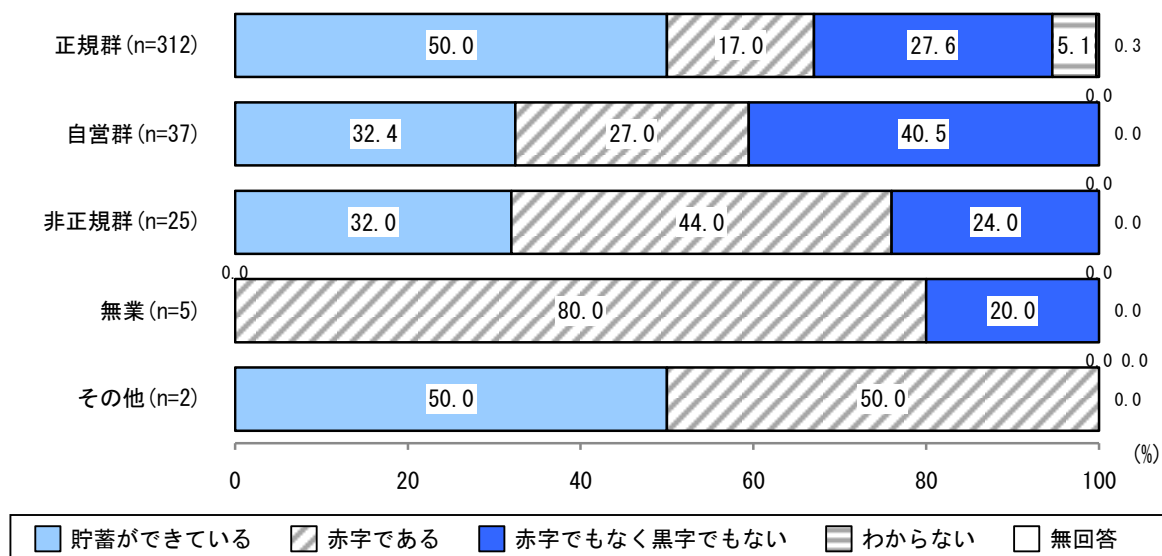


図 54. 就労状況別に見た、家計の状況

就労状況別に家計状況を見ると、「正規群」では「貯蓄ができています」割合が50.0%である。「無業」では「赤字である」と回答した人が80.0%にのぼっている。

<雇用に関する考察>

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。まず親の就労状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（90.2%対44.4%）が約45ポイント高く、大きな差がある。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（31.1%対0.6%）が約30ポイント高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（24.4%対9.8%）が約14ポイント高くなっている。対して、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（39.9%対17.8%）は約2倍である。同様に、父親の最終学歴においても、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（52.8%対13.3%）は約4倍となっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態と所得階層の分布に反映されていることが示された。また、困窮度が高い群では学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就労状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（86.5%対71.6%）は約15ポイント以上高くなっている。父親の最終学歴においても、「高等学校卒業」、「高専、短大、専門学校等卒業」、「大学卒業」、「大学院修了」群は「正規」雇用の割合が高く（80.2%、88.7%、89.0%、85.0%）、その他の群は6割程度となっている。これらの結果から、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高いことを示唆している。

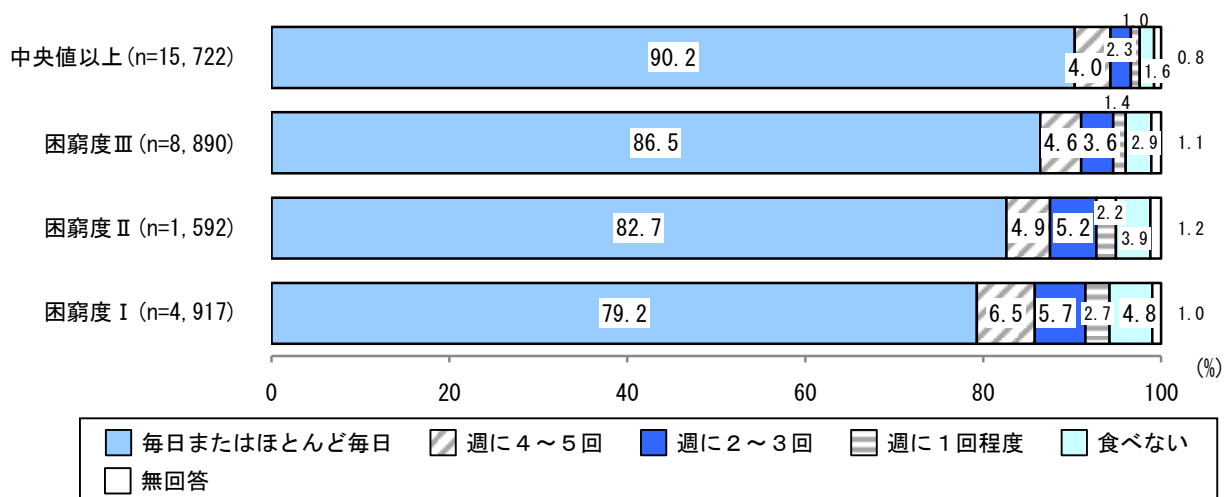
また、世帯構成別に見ると、ふたり親世帯群と父子世帯は、母子世帯群と比べ、「正規」群（86.6%および83.3%対39.6%）はいずれも43ポイント以上高くなっている。さらに、母子世帯群は、ふたり親世帯群と比べ、「非正規」群（43.8%対1.2%）は42ポイント高くなっている。これらの結果から、母子世帯群は他の世帯構成に比べて正規雇用の割合の低さが顕著であり、不安定な就労状況にあることが示唆される。

最後に、保護者の就労状況別に見る家計の状況に着目する。親の就労状況別に見ると、「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄ができている」（50.0%対32.0%）は約18ポイント高くなっている。一方、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（44.0%対17.0%）は2倍以上である。この結果から、保護者の就労状況が正規雇用であるほど、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向が見られる。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

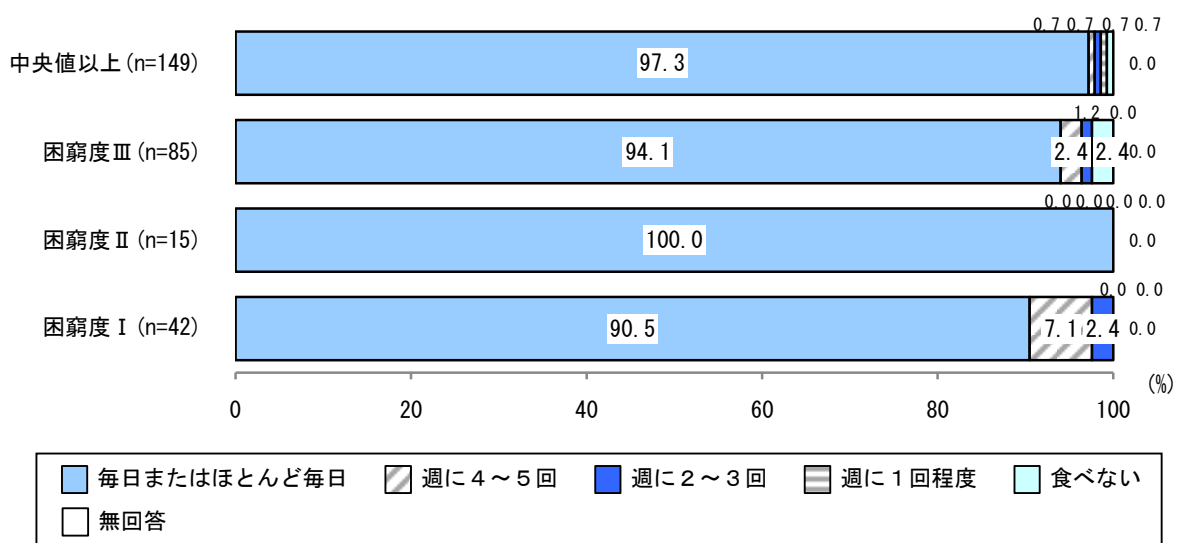
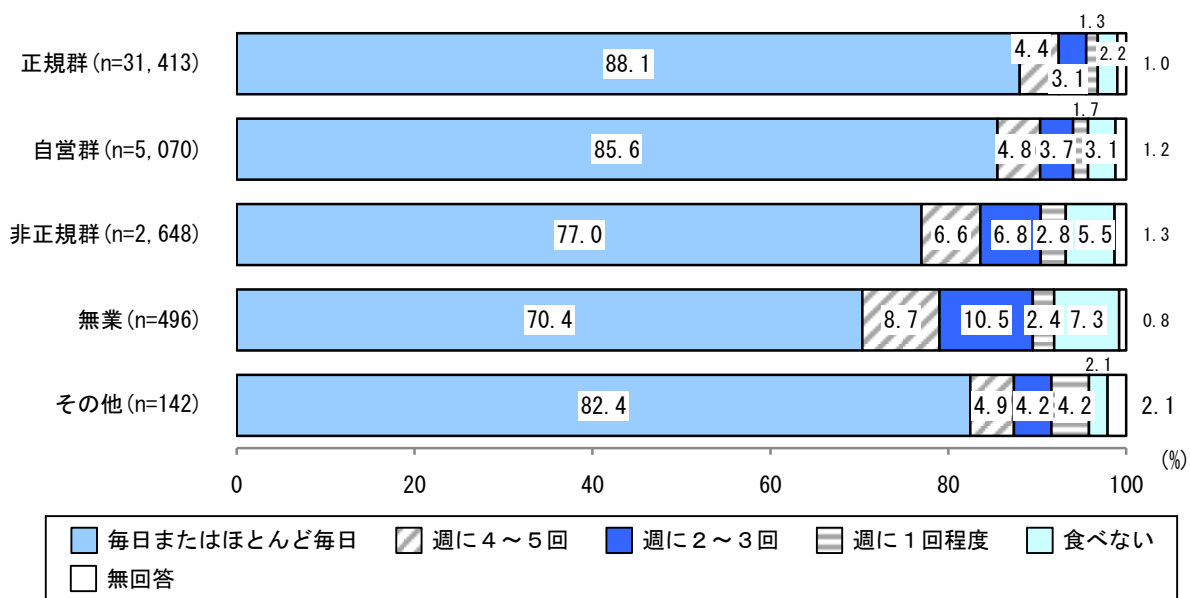


図 55. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別に朝食の頻度を見ると、困窮度Ⅰ群では、9.5%が「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていないと回答しており、最も高くなっている。

就労状況別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

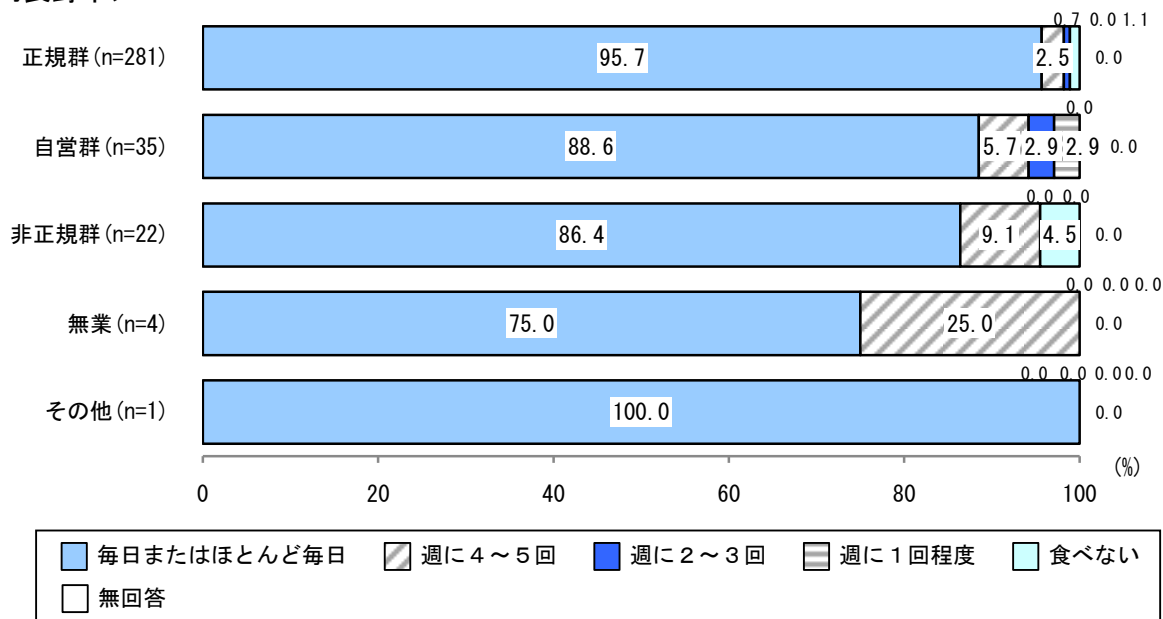
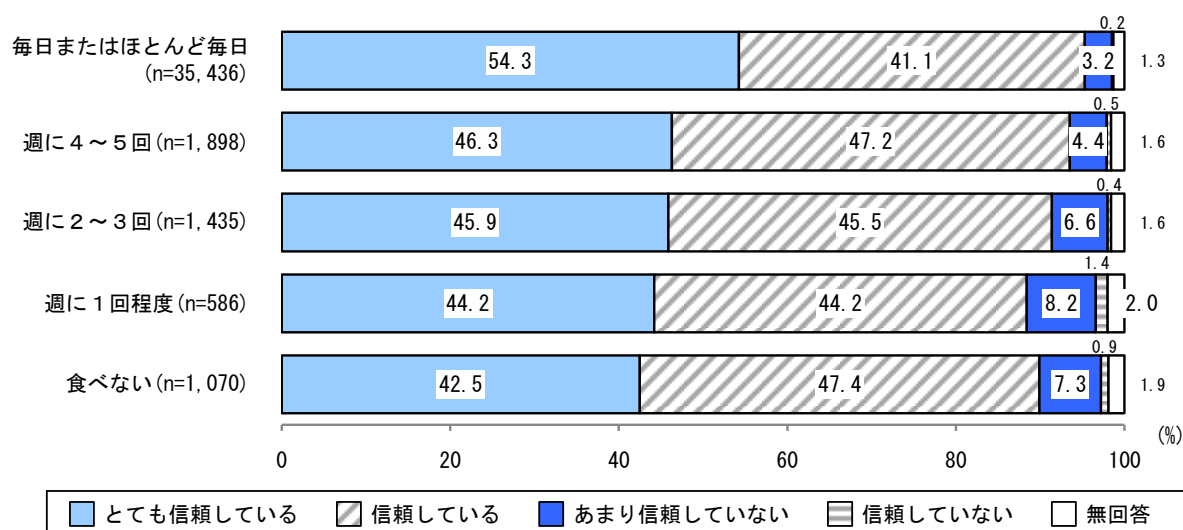


図 56. 就労状況別に見た、朝食の頻度

就労状況別に朝食の頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる割合は、「正規群」(95.7%) が最も高く、次いで、「自営群」(88.6%)、「非正規群」(86.4%)、「無業」(75.0%) の順で朝食の頻度が低くなる。

朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問4(1)×保護者票問13(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

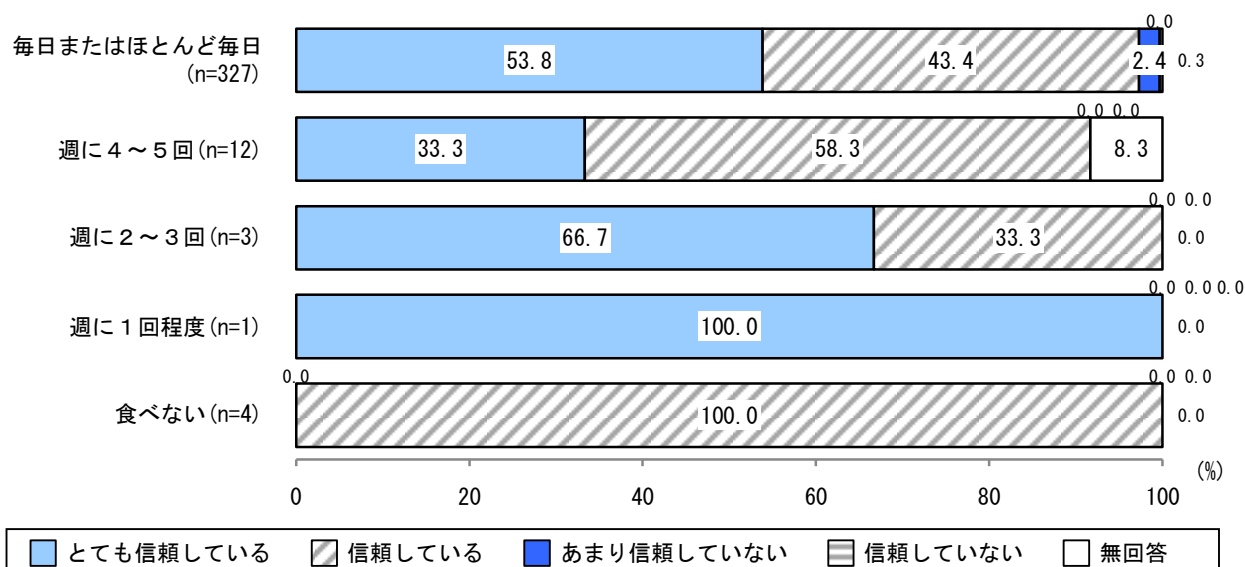
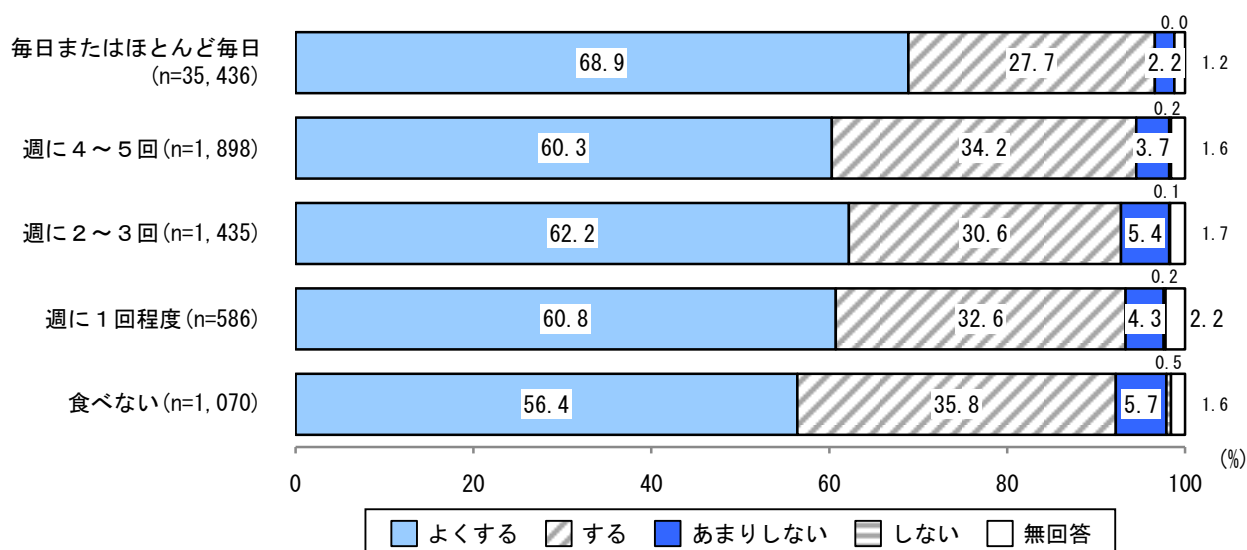


図 57. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度

朝食の頻度別に子どもへの信頼度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、子どもを「とても信頼している」との回答が53.8%であるのに対し、「週4～5回」では、「とても信頼している」と回答した人は33.3%と低い。

朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問 4 (1) × 保護者票問 13 (2)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

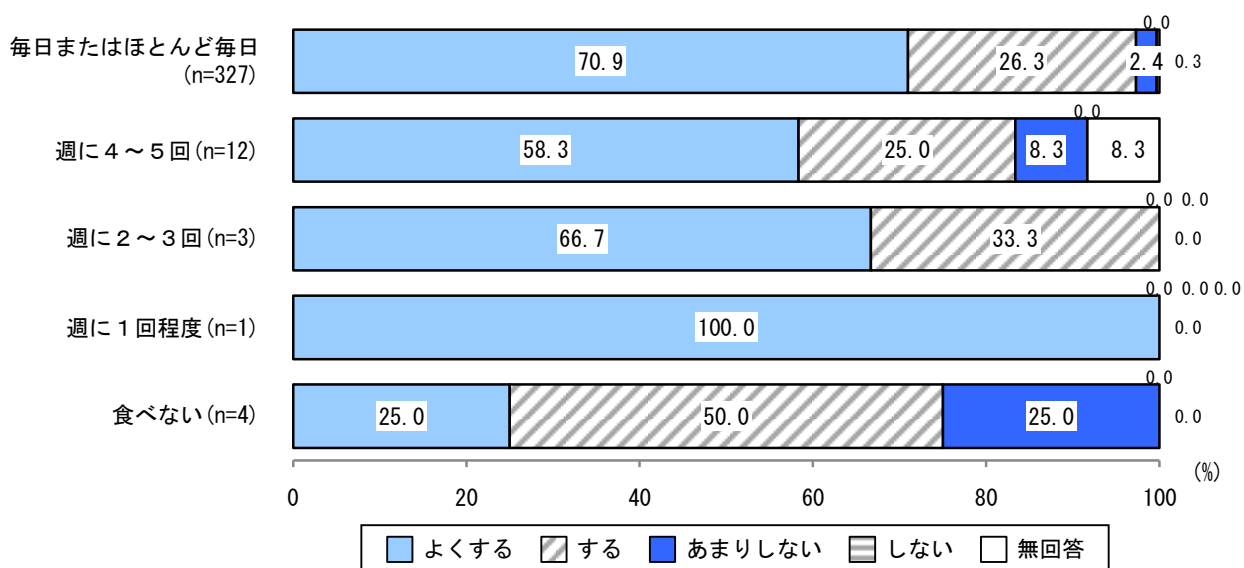
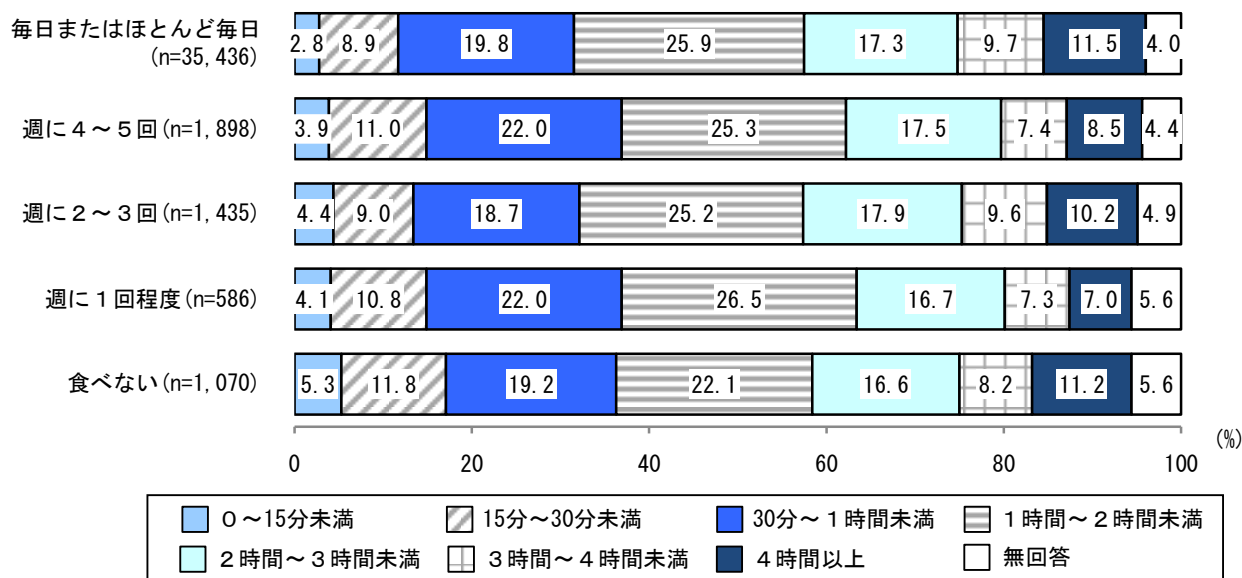


図 58. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度

朝食の頻度別に子どもと会話頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、会話を「よくする」との回答が70.9%であるのに対し、「週に4～5回」では、「よくする」と回答した人は58.3%と低い。

朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

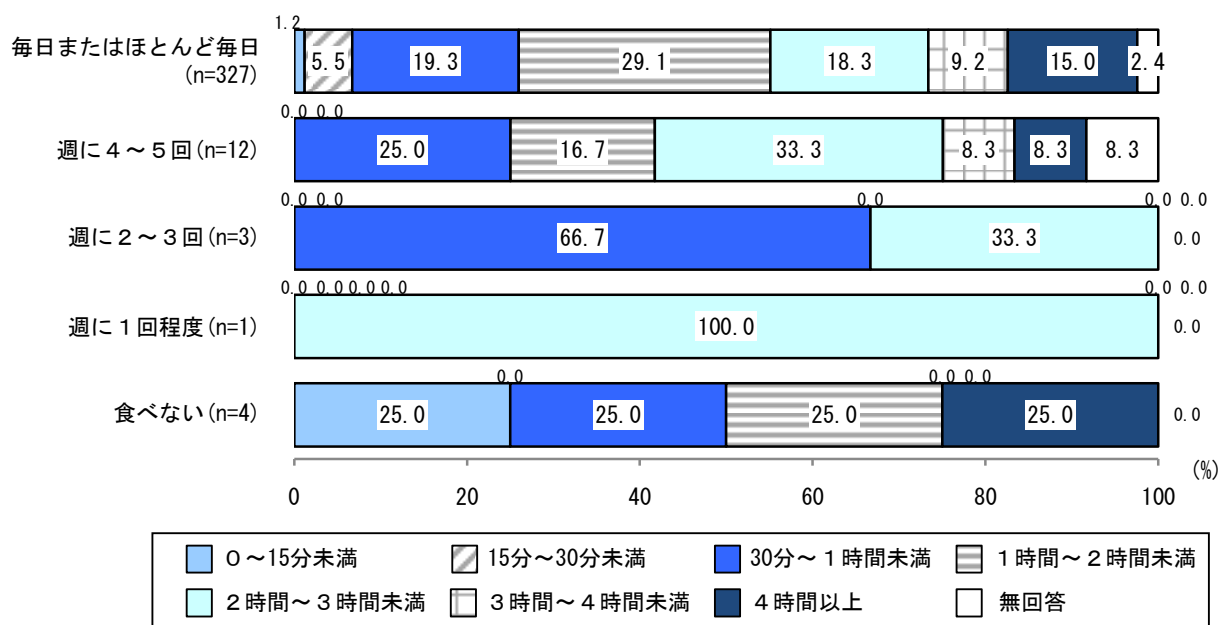
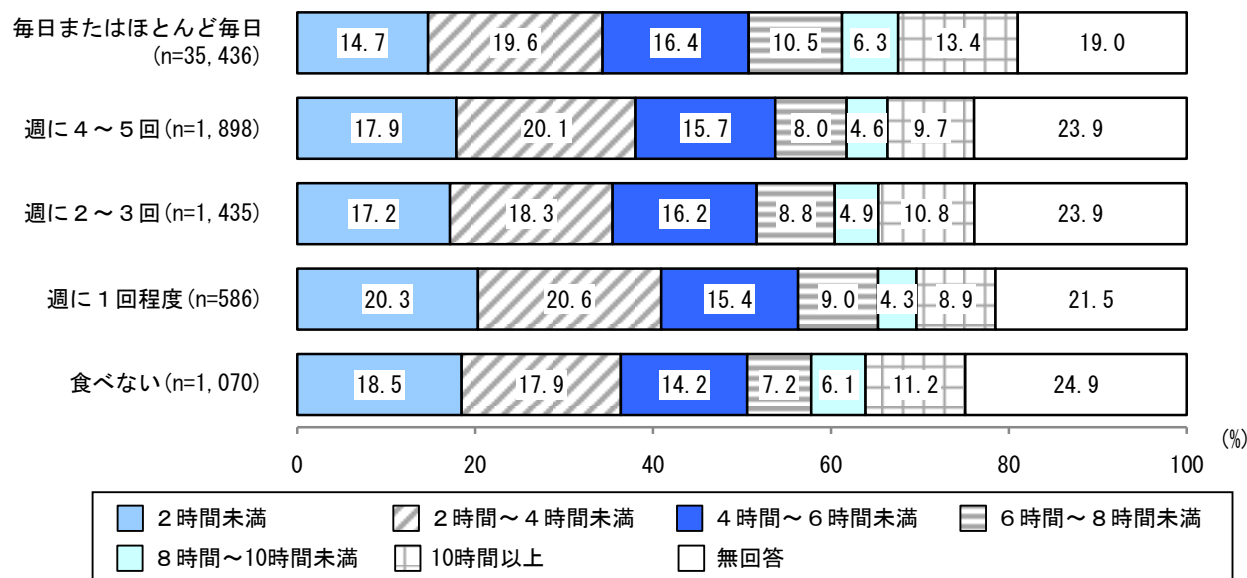


図 59. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが「食べない」の人よりも平日に子どもと一緒にいる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

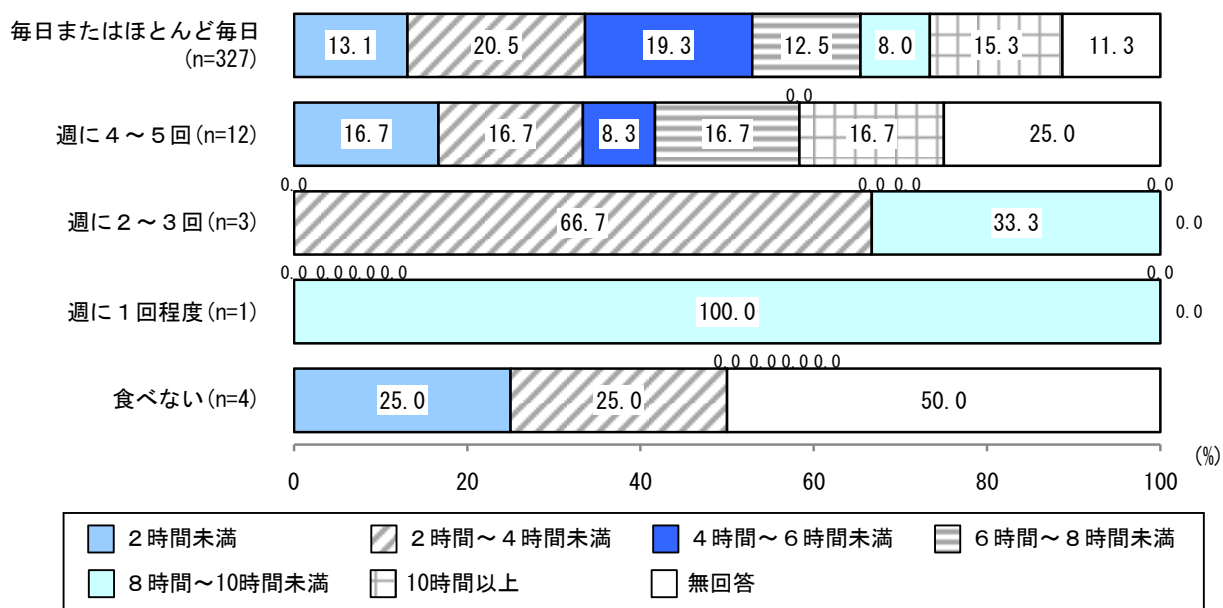
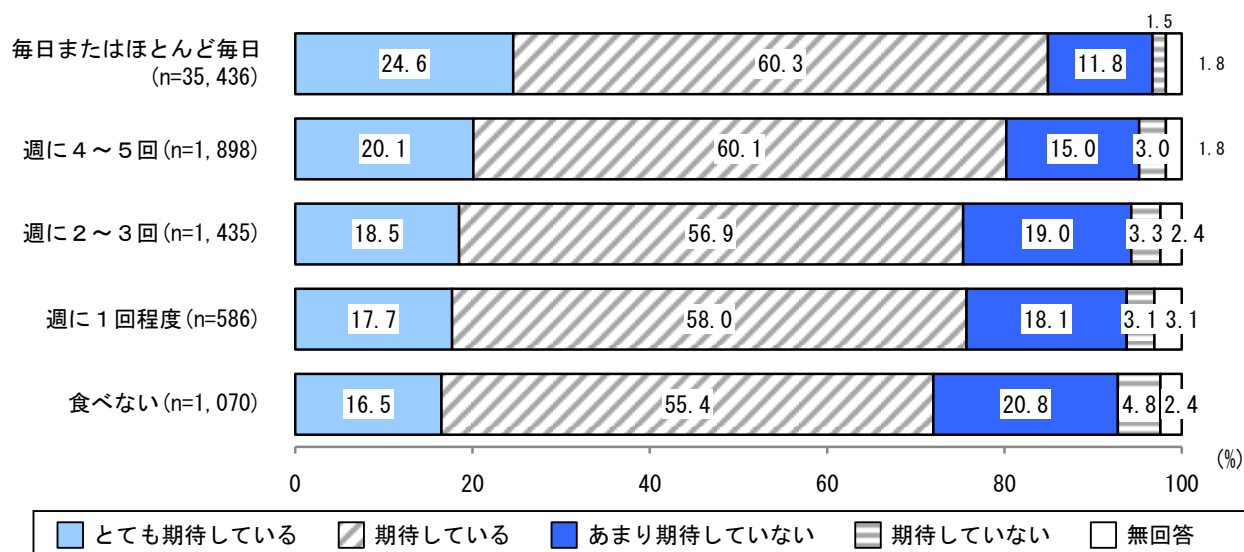


図 60. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが、「食べない」の人よりも休日に子どもと一緒にいる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 4 (1) × 保護者票問 13 (4)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

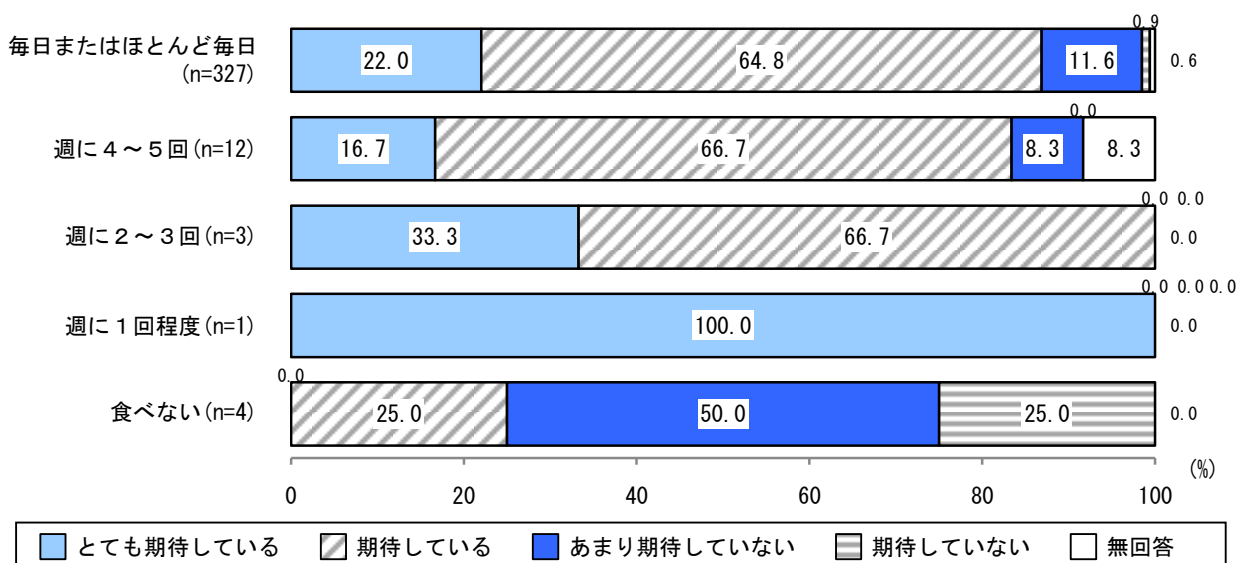


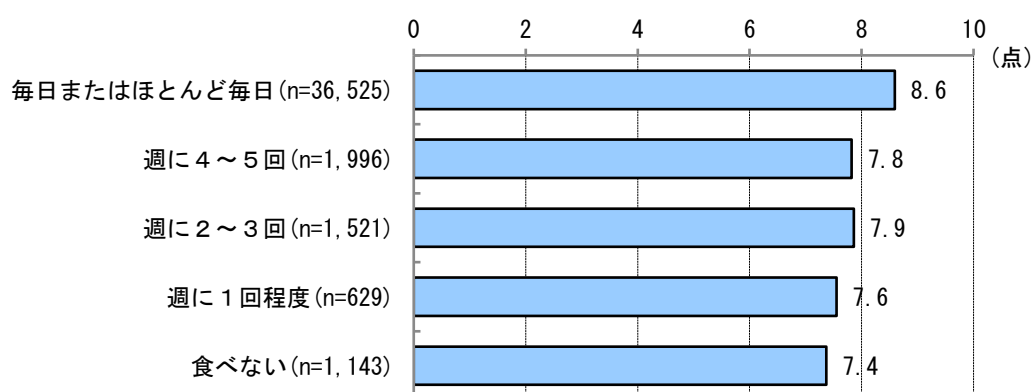
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度

朝食の頻度別に子どもの将来への期待度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人では、「とても期待している」「期待している」をあわせて、86.8%であるのに対して、「食べない」の人では、「とても期待している」「期待している」と回答した人をあわせて25.0%と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが子どもの将来に対する期待が高い結果となった。

朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問4（1）×子ども票問23）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「自分の将来の夢や目標を持っている」の3項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

<大阪府内全体>



<河内長野市>

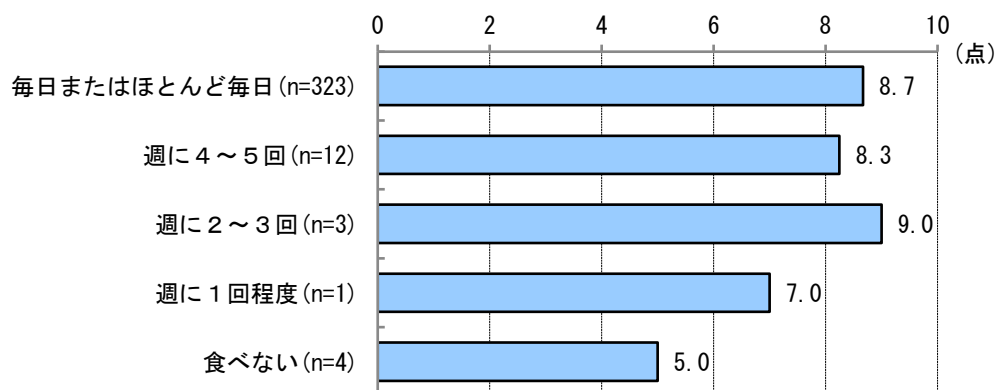
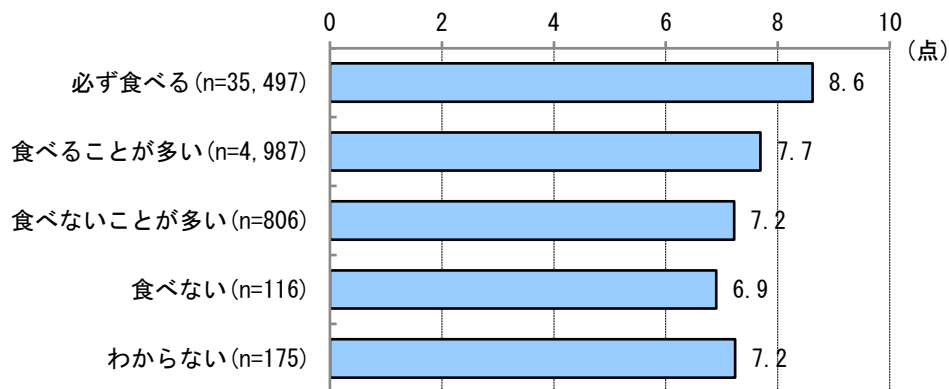


図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

朝食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、8.7点であるのに対して、「食べない」では5.0点と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人のほうが子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問6(1)×子ども票問23）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

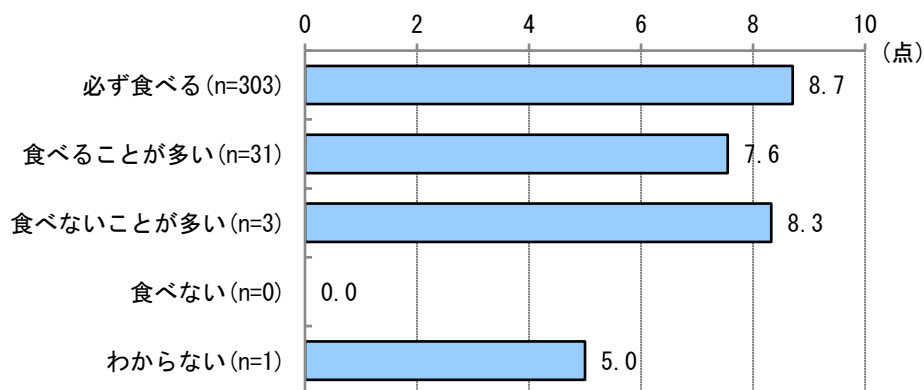
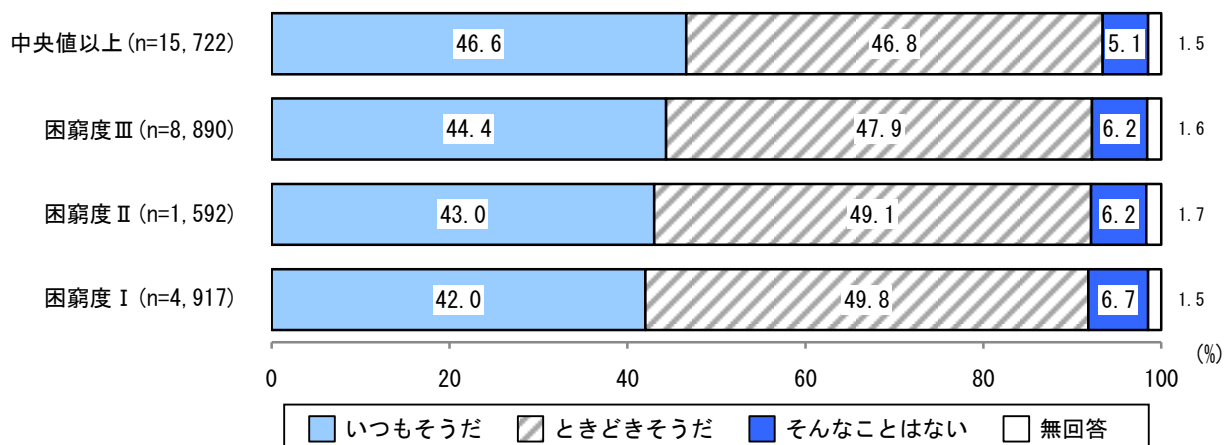


図 63. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

休日の昼食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「必ず食べる」と回答した人の得点が8.7点であるのに対して、「食べないことが多い」と回答した人は8.3点と、昼食を「必ず食べる」と回答した人のほうが、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある
(子ども票問 19①)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

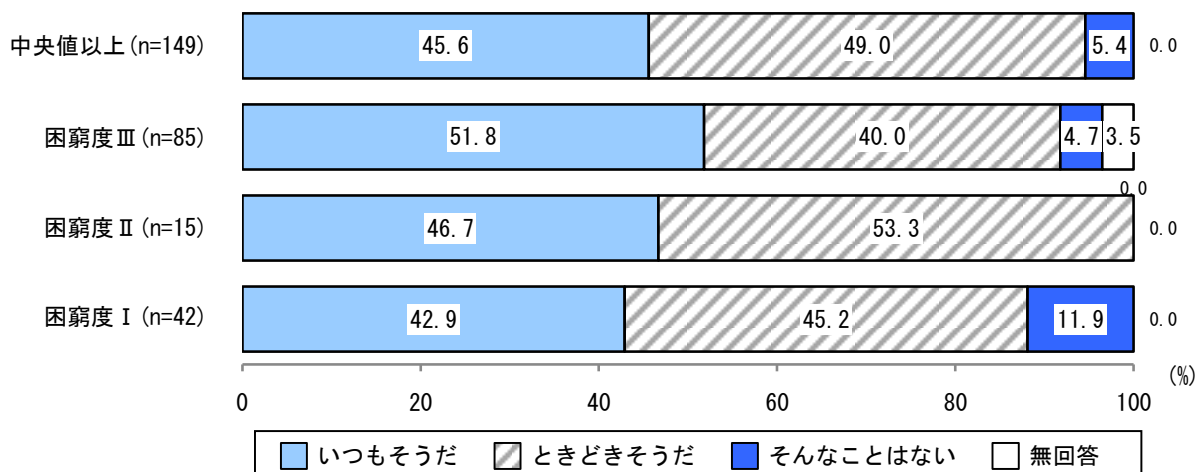
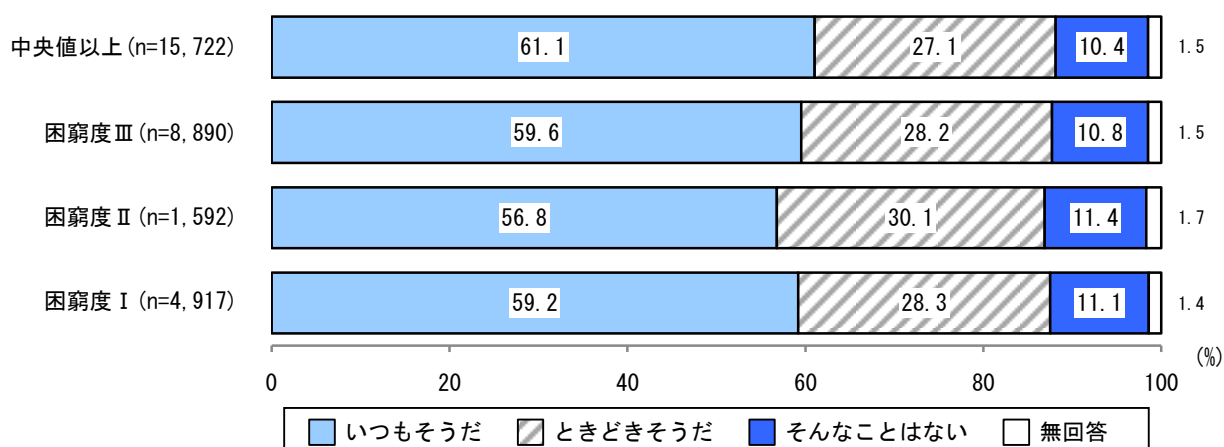


図 64. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、困窮度Ⅲ群が51.8%で最も高く、困窮度が高まるにつれ、「いつもそうだ」と回答する割合が低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ(子ども票問 19②)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

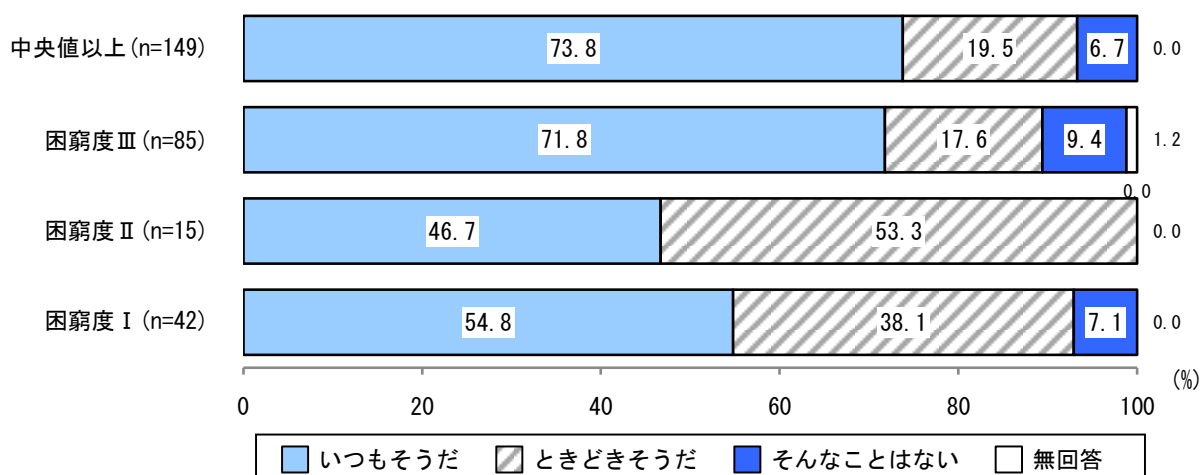
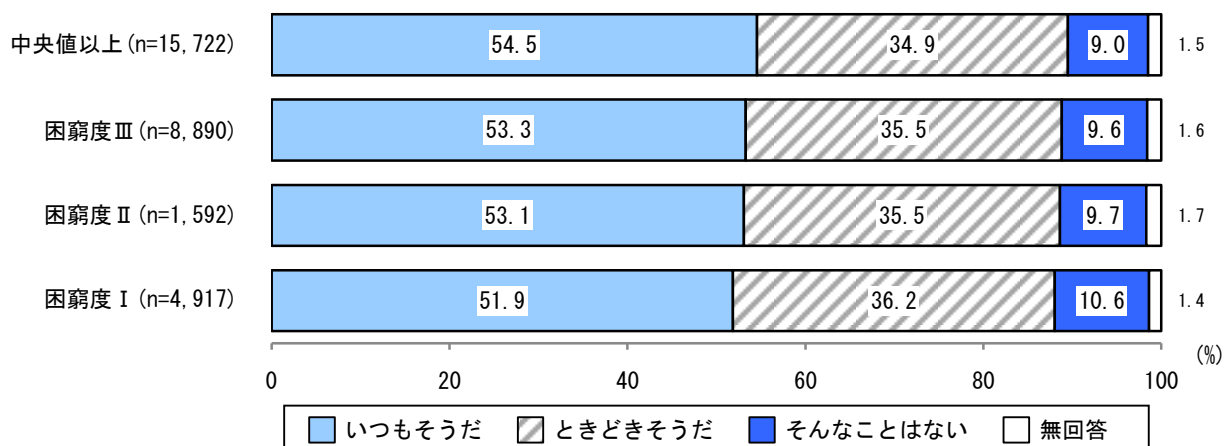


図 65. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（46.7%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ（子ども票問 19③）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

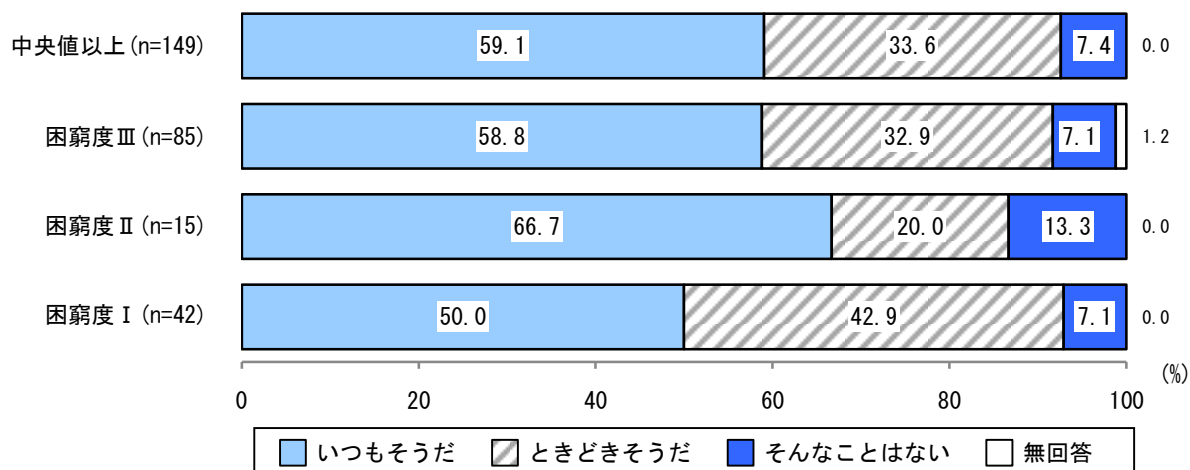
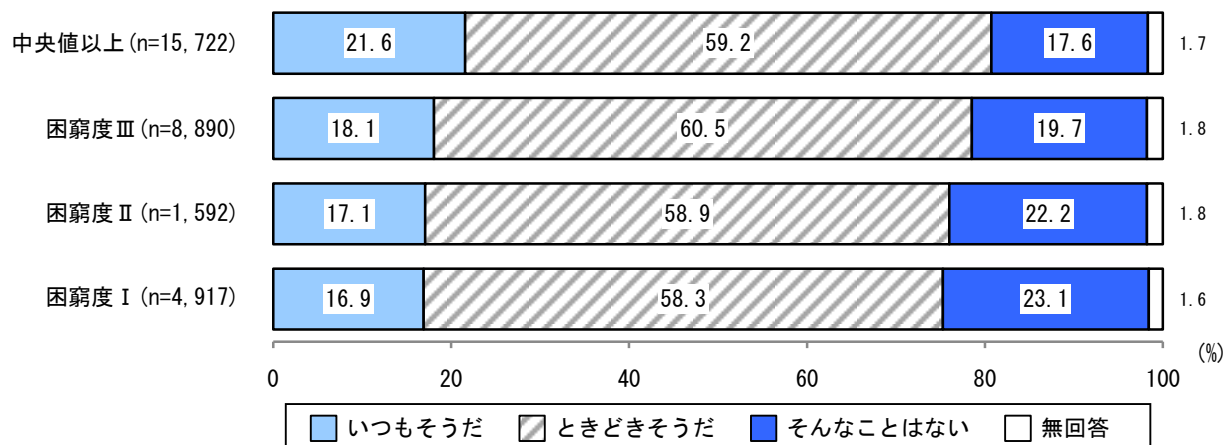


図 66. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（50.0%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる
(子ども票問 19④)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

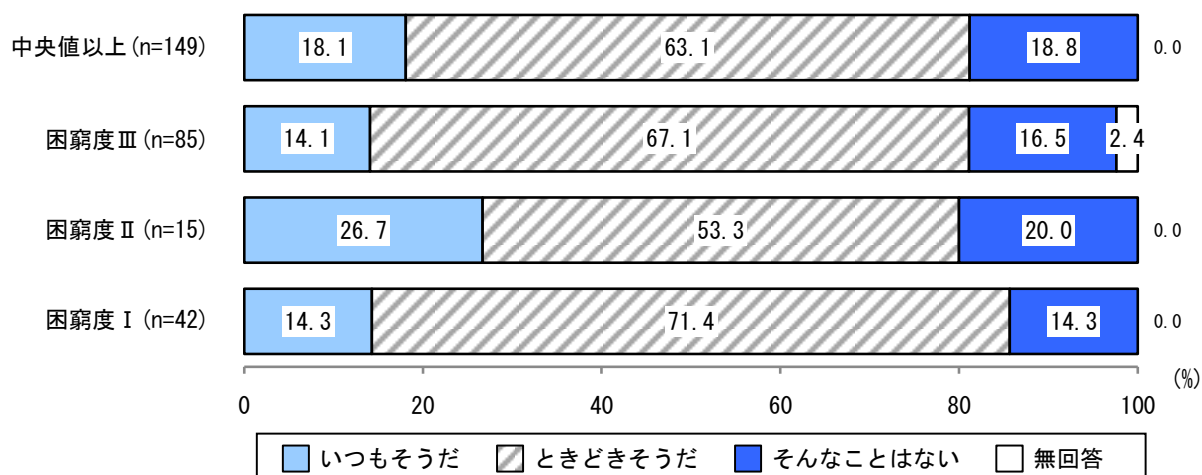
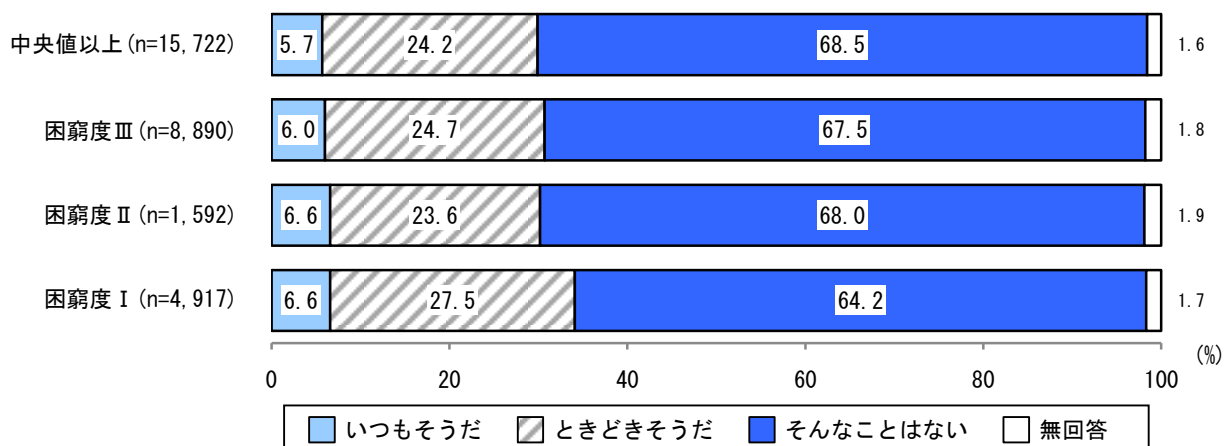


図 67. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅲ群（14.1%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする
(子ども票問 19⑤)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

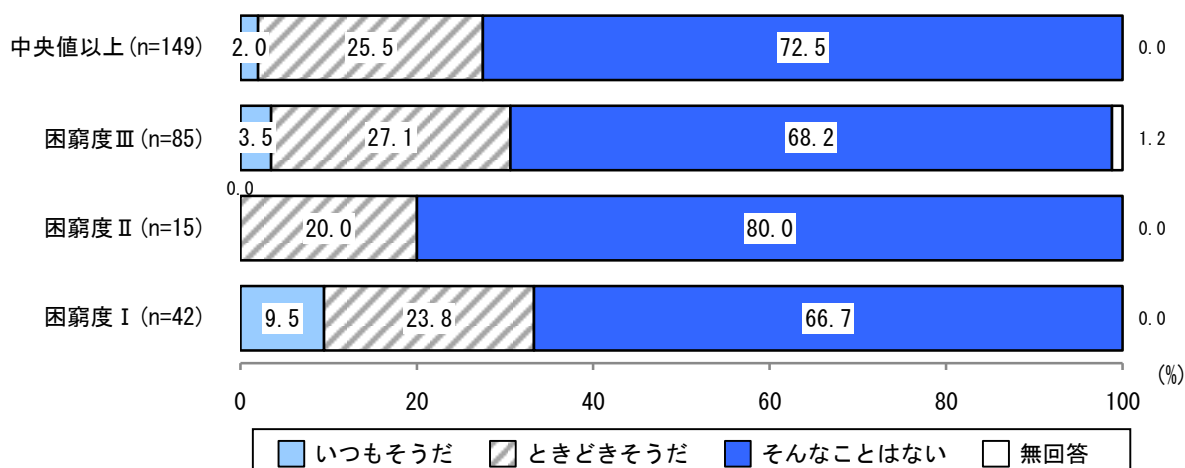
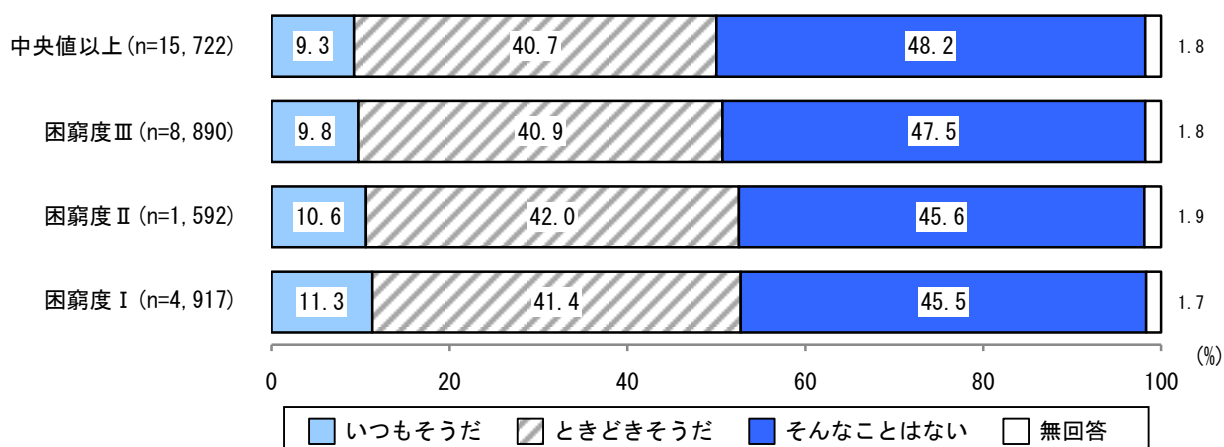


図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（9.5%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる（子ども票問 19⑥）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

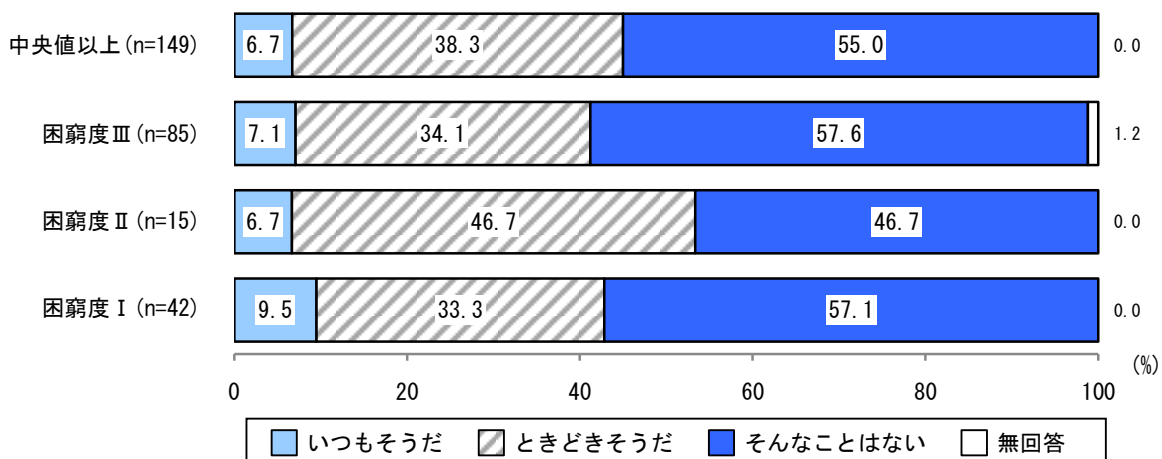
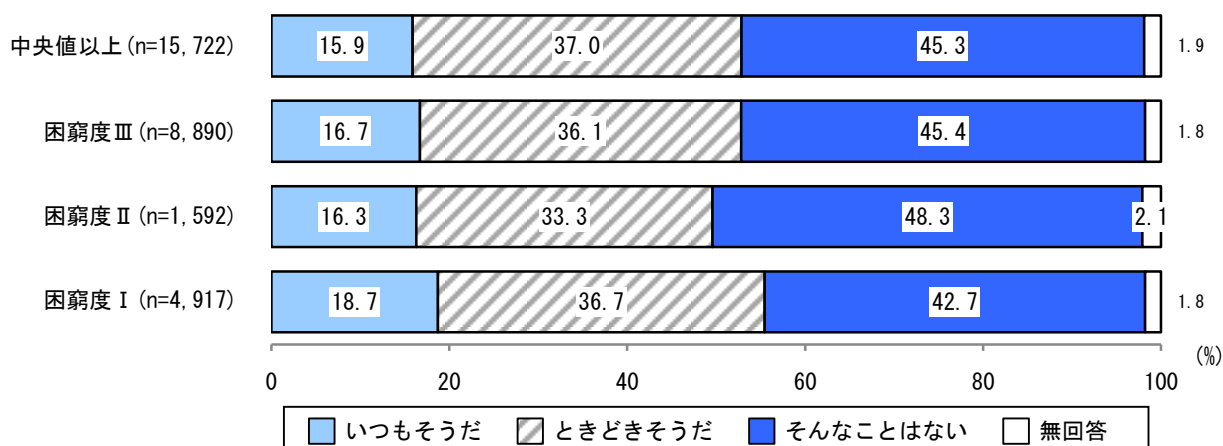


図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（9.5%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる（子ども票問 19⑦）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

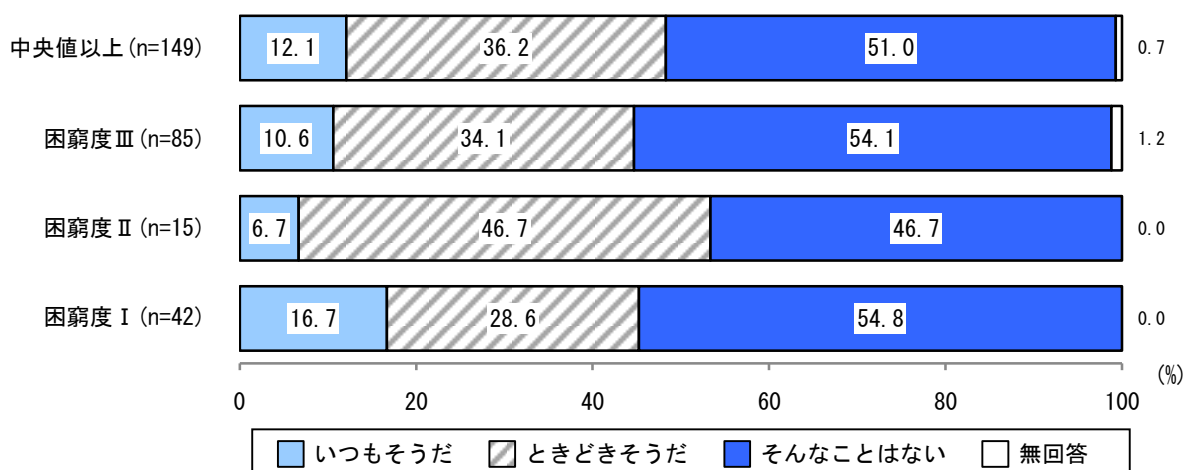
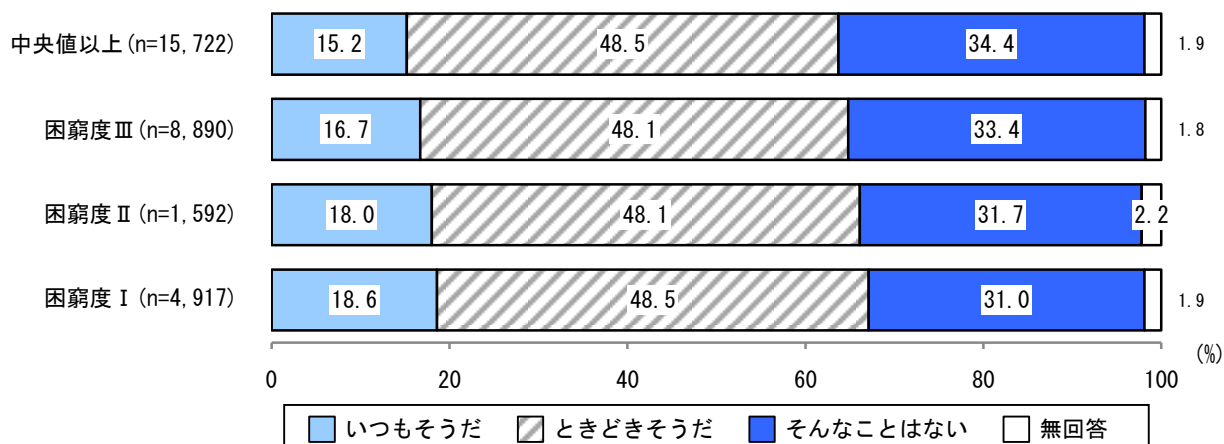


図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（16.7%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない（子ども票問 19⑧）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

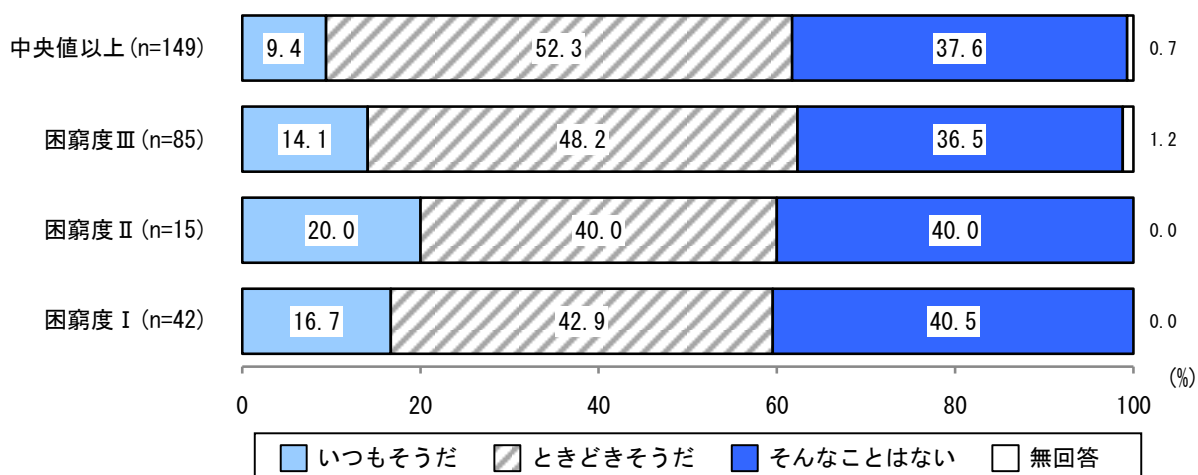
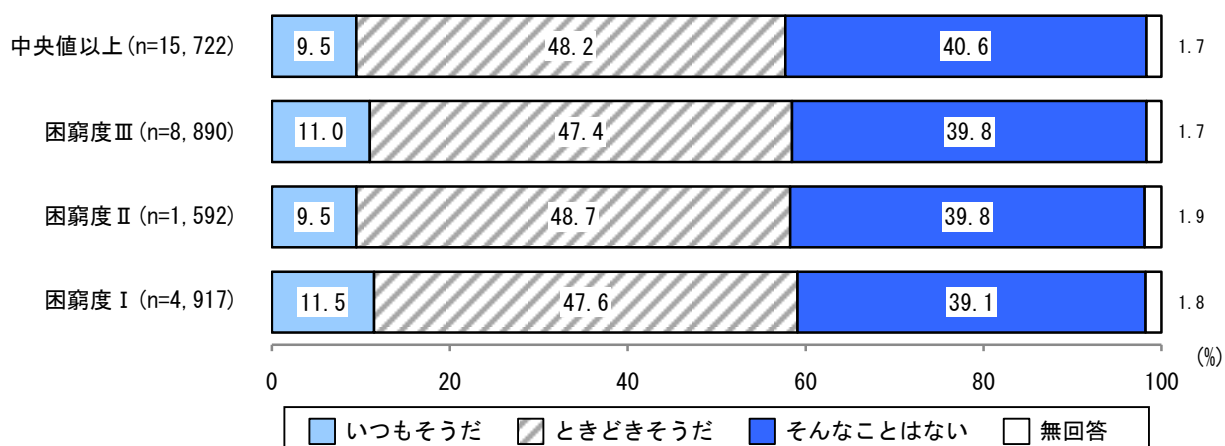


図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（20.0%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする（子ども票問 19⑨）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

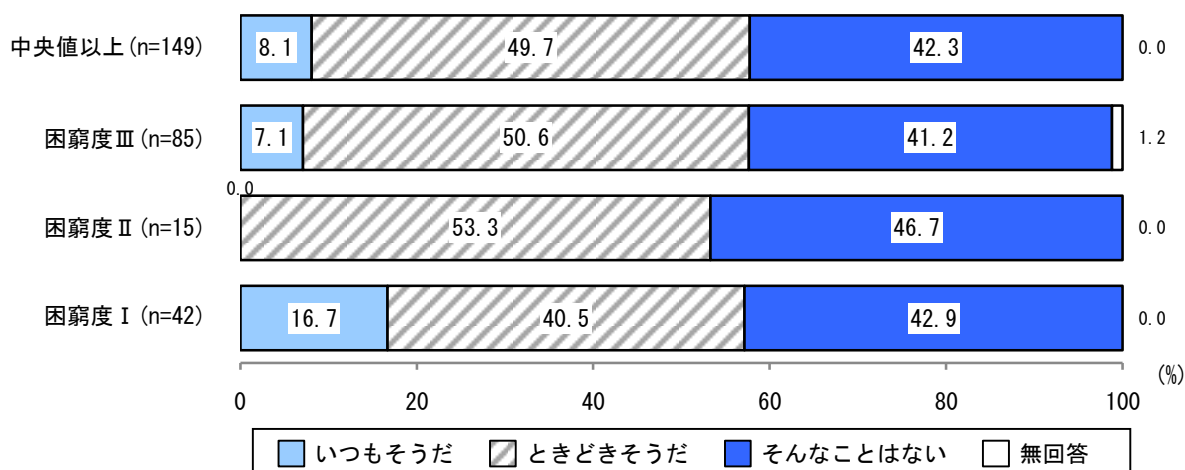
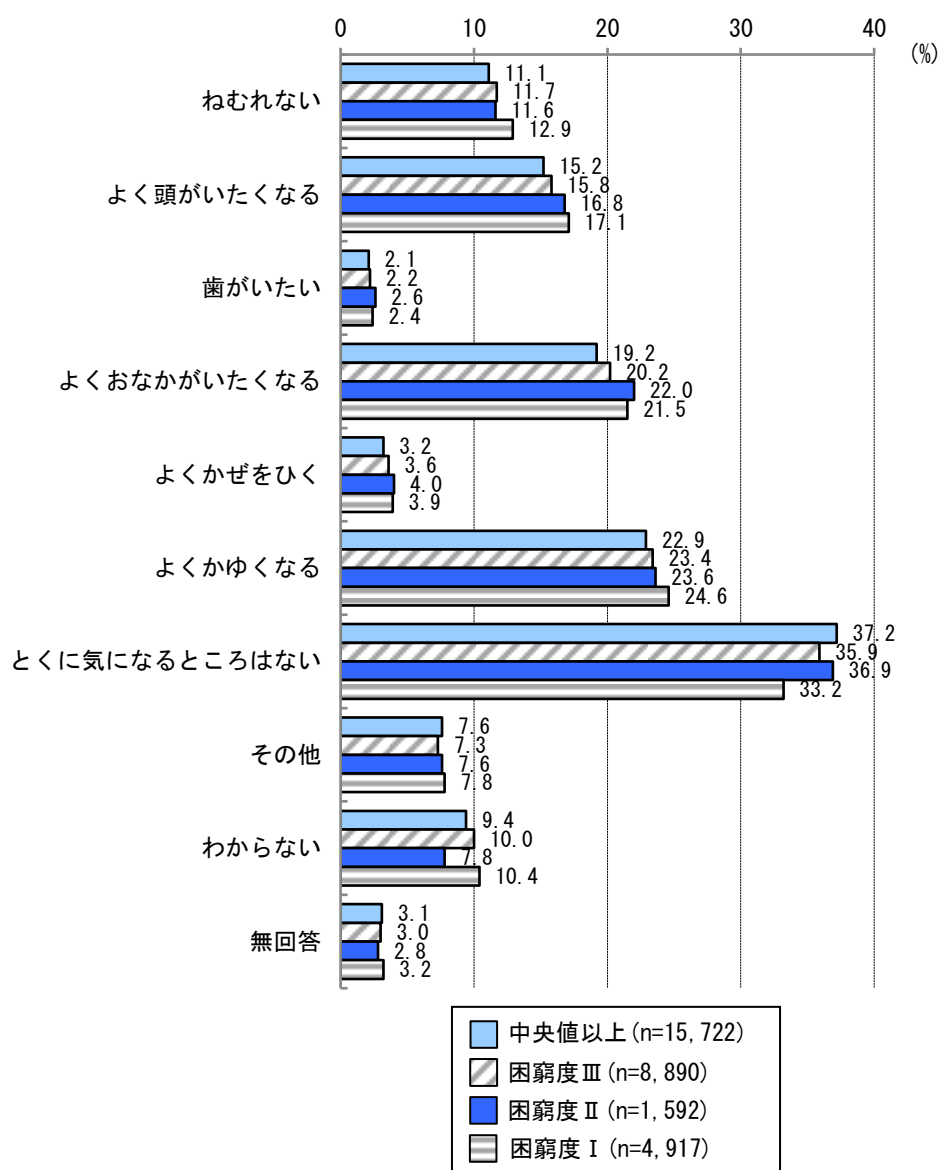


図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（16.7%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること（子ども票問 20）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

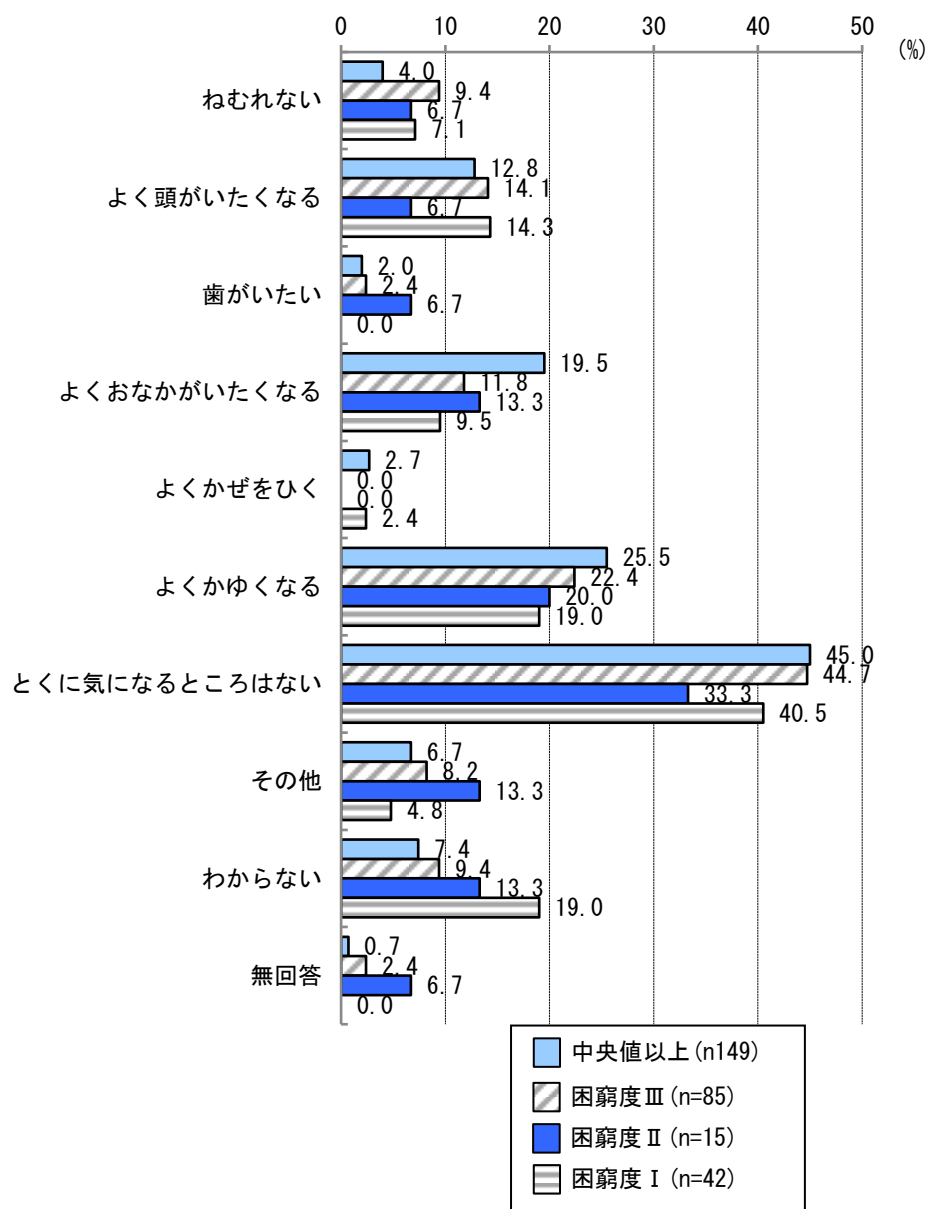
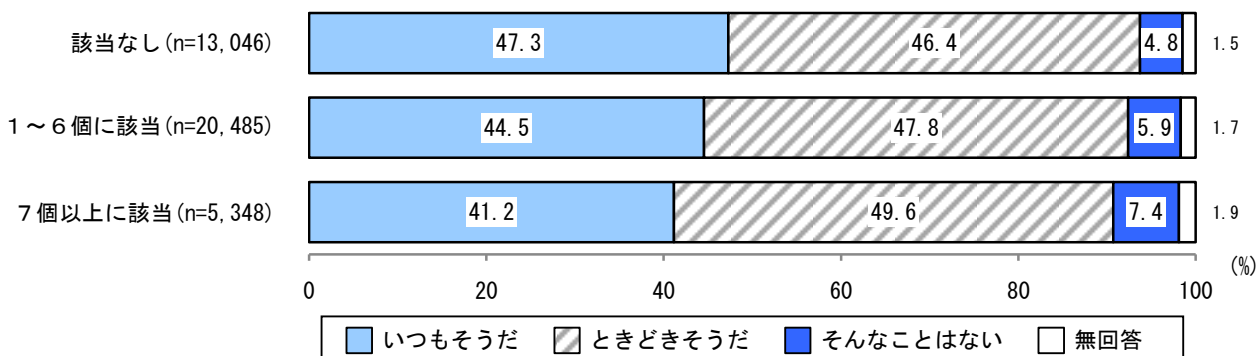


図 73. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること

困窮度別に自分の体の状態で気になることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「ねむれない」が7.1%（中央値以上群に対して1.8倍）、「よく頭がいたくなる」14.3%（同じく1.1倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある（保護者票問7×子ども票問19①）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

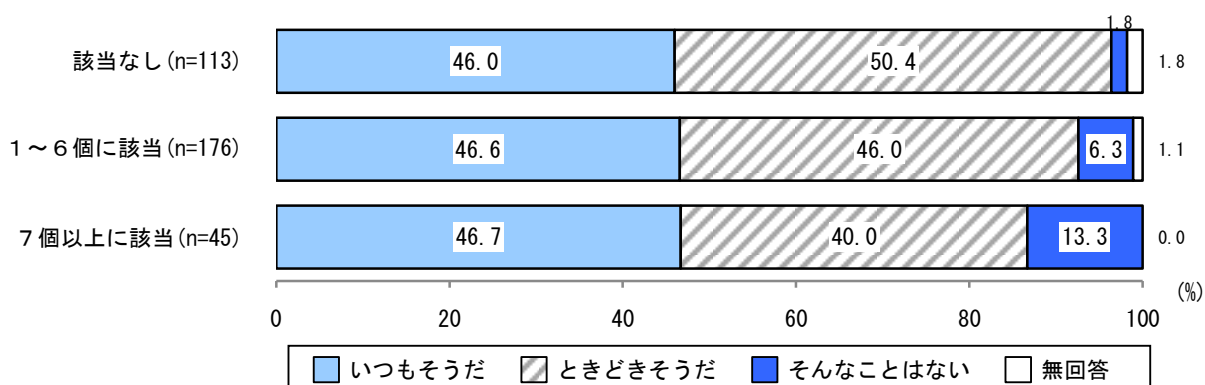
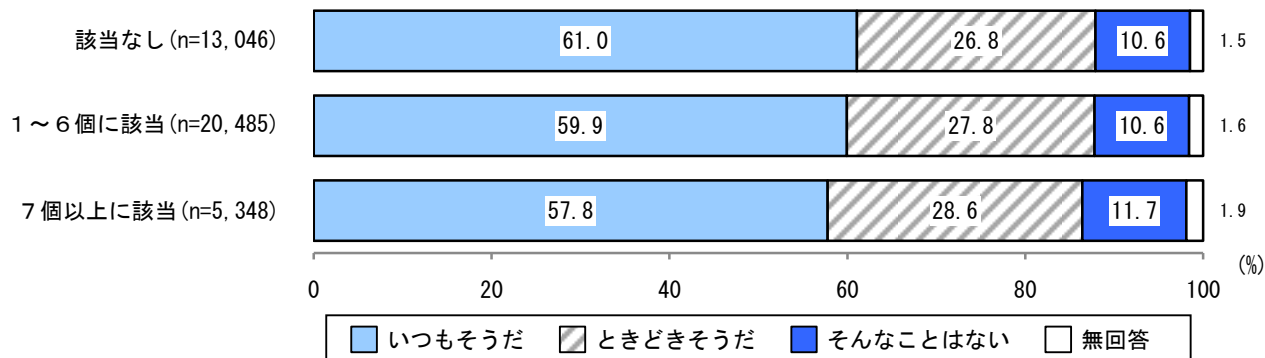


図 74. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
①楽しみにしていることがたくさんある

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が高く、「7個以上に該当」(46.7%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ（保護者票問7×子ども票問19②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

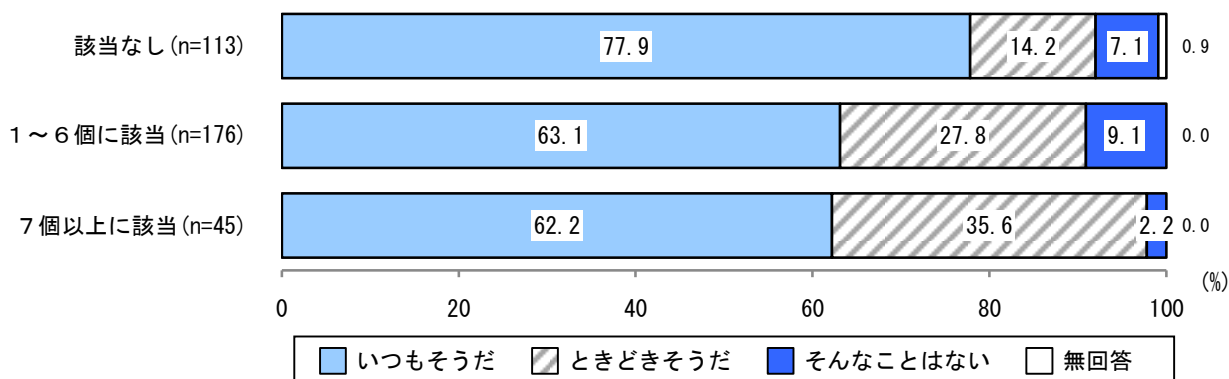
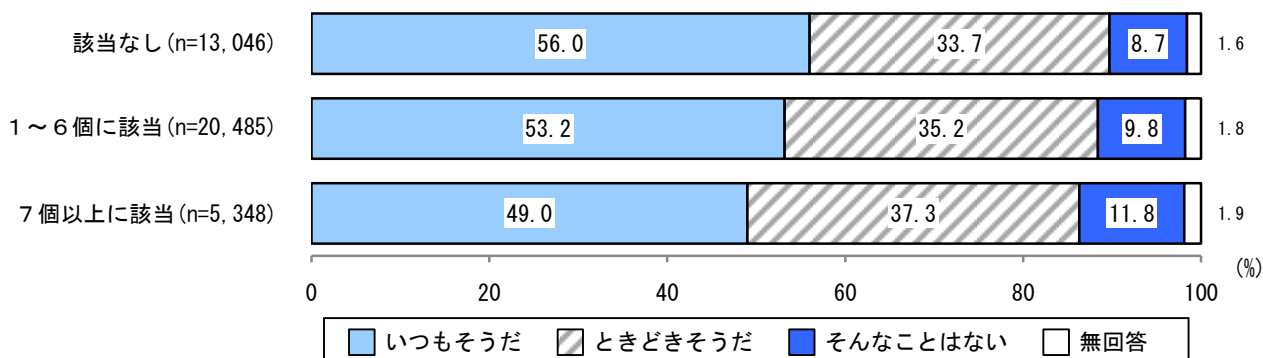


図 75. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
②遊びにでかけるのが好きだ

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「7個以上に該当」（62.2%）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい
(保護者票問7×子ども票問19③)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

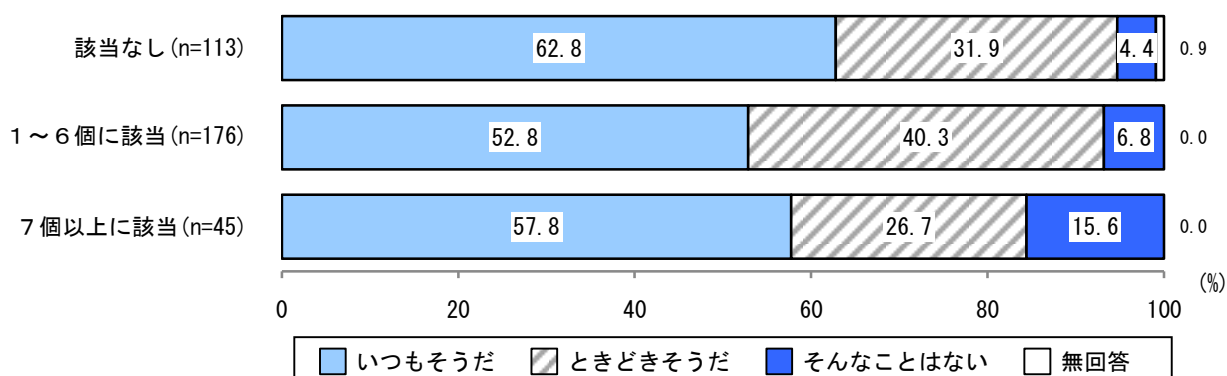
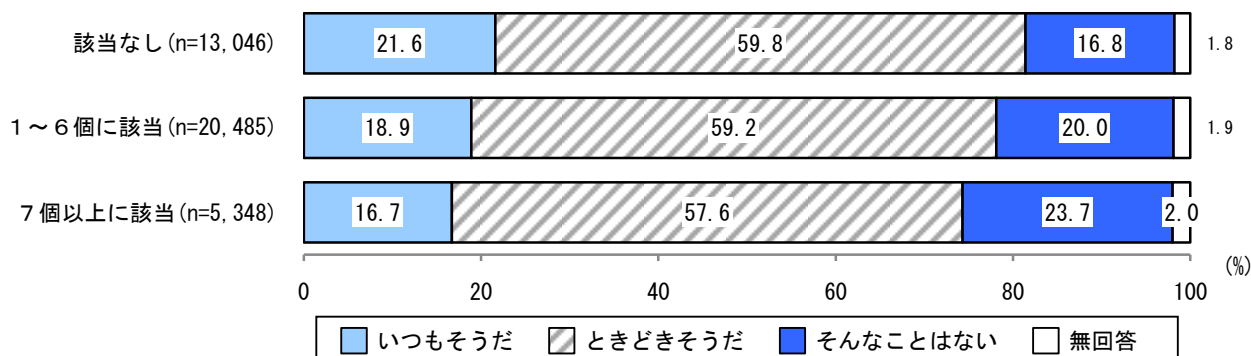


図 76. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「1～6個に該当」が52.8%で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる（保護者票問7×子ども票問19④）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

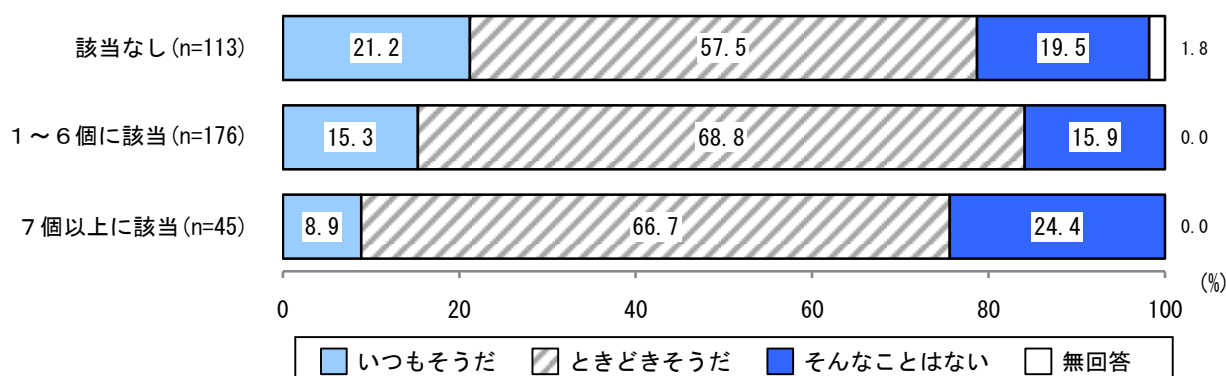
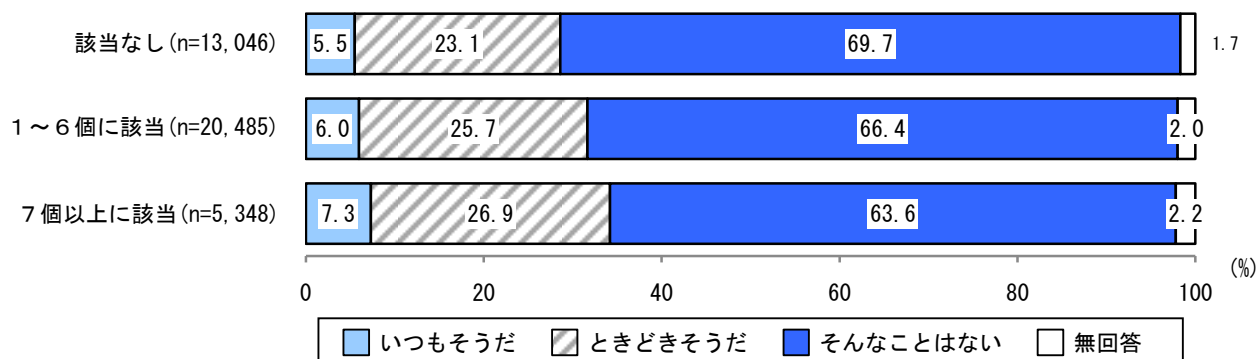


図 77. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
④やろうと思ったことがうまくできる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「7個以上に該当」(8.9%)で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする（保護者票問7×子ども票問19⑤）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

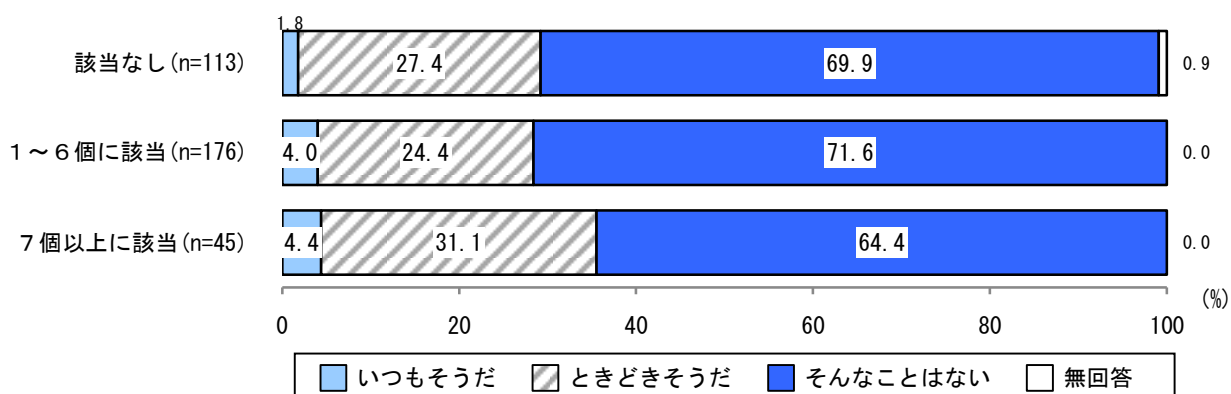
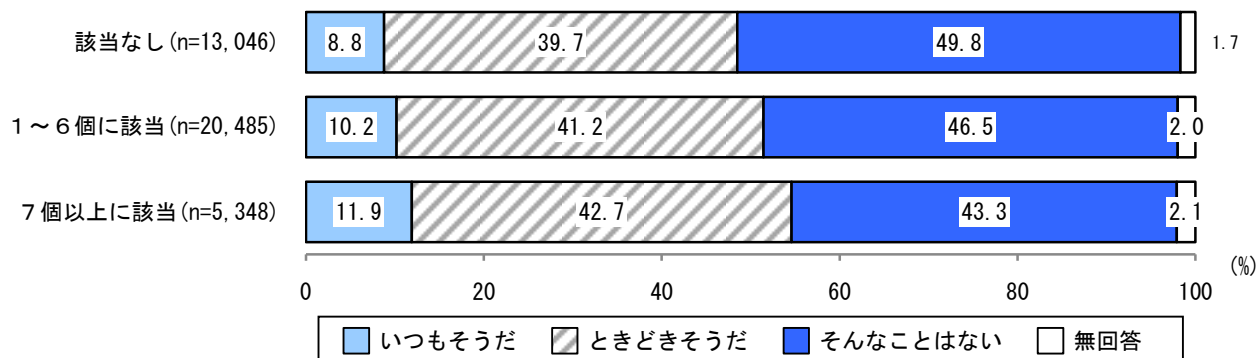


図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑤一人ぼっちのような気がする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が高く、「7個以上に該当」(4.4%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑥不安な気持ちになる（保護者票問7×子ども票問19⑥）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

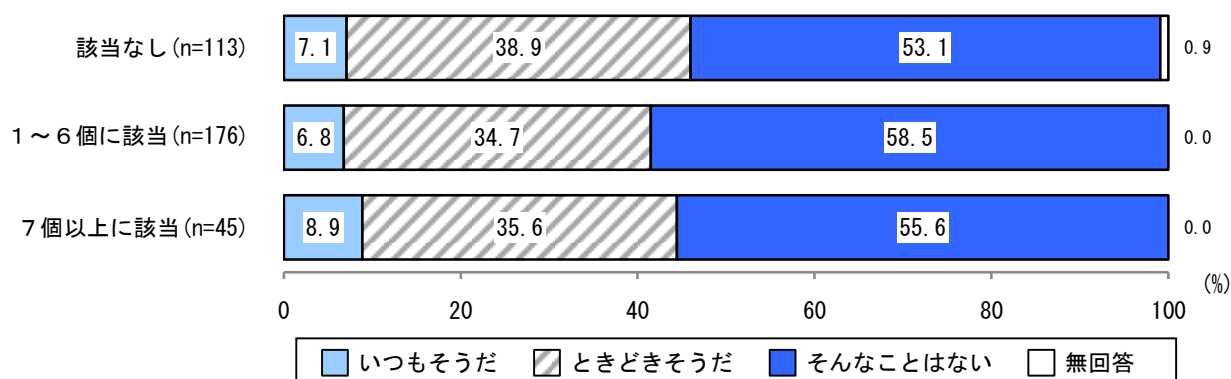
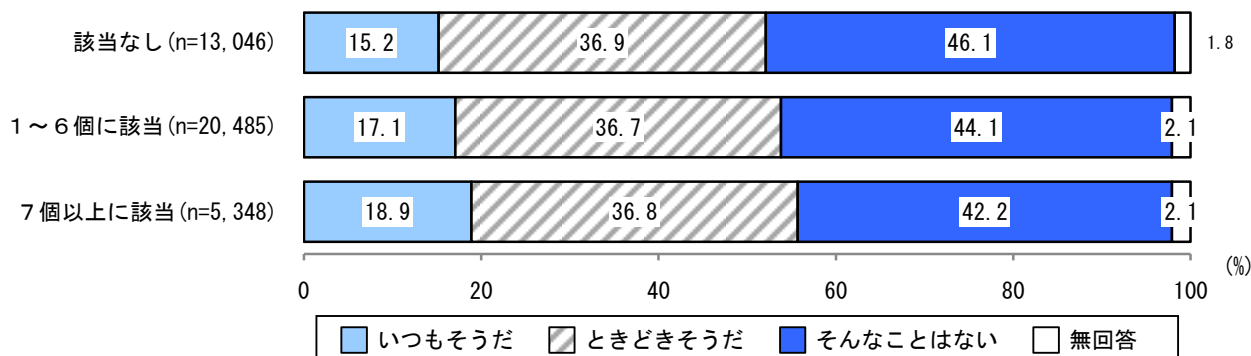


図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「7個以上に該当」（8.9％）で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる
(保護者票問7×子ども票問19⑦)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

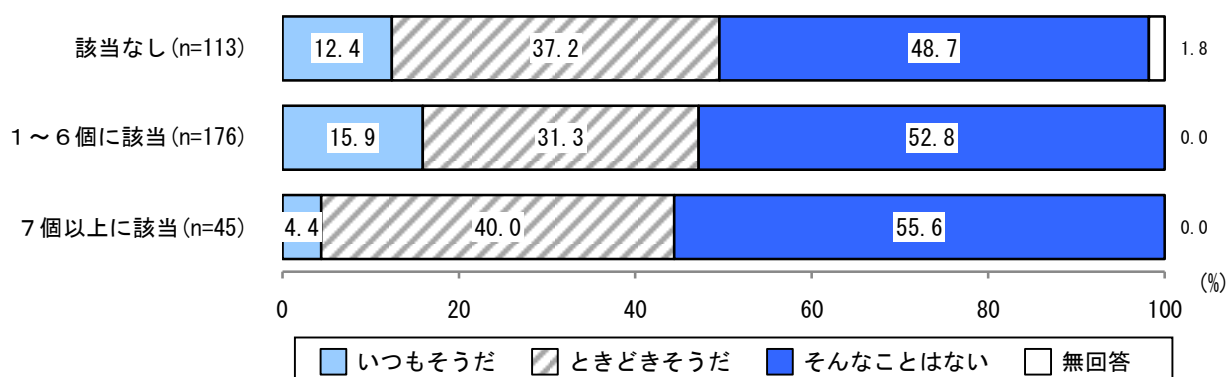
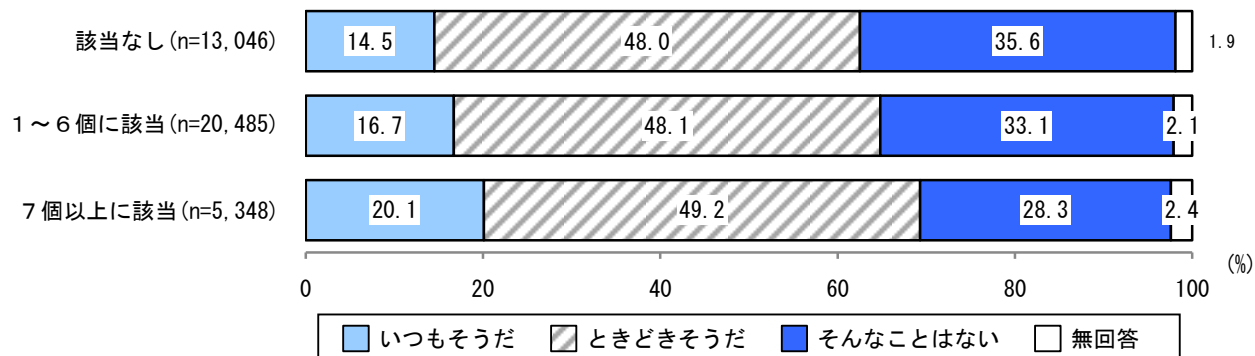


図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「1～6個に該当」(15.9%)で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない
(保護者票問7×子ども票問19⑧)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

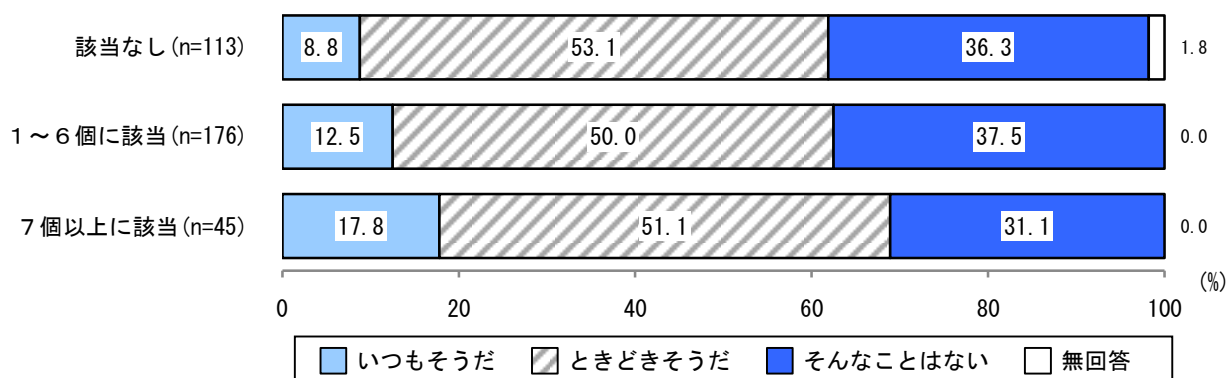
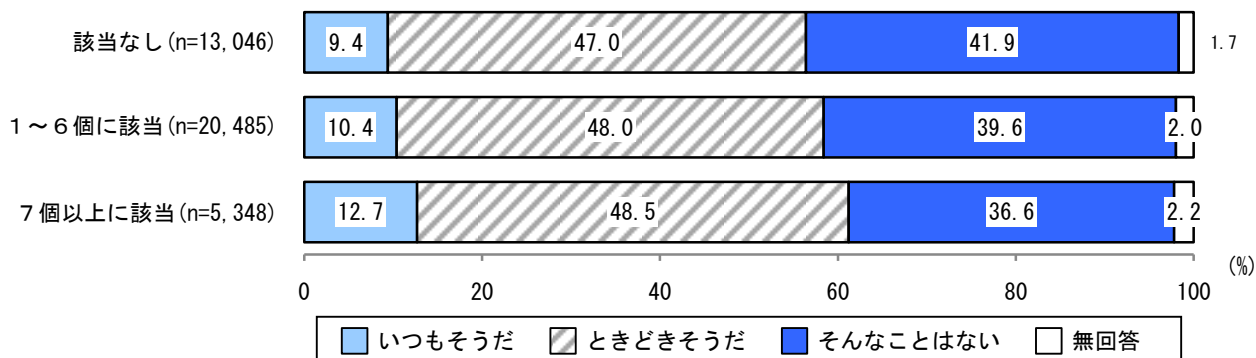


図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が高く、「7個以上に該当」が17.8%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする
(保護者票問7×子ども票問19⑨)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

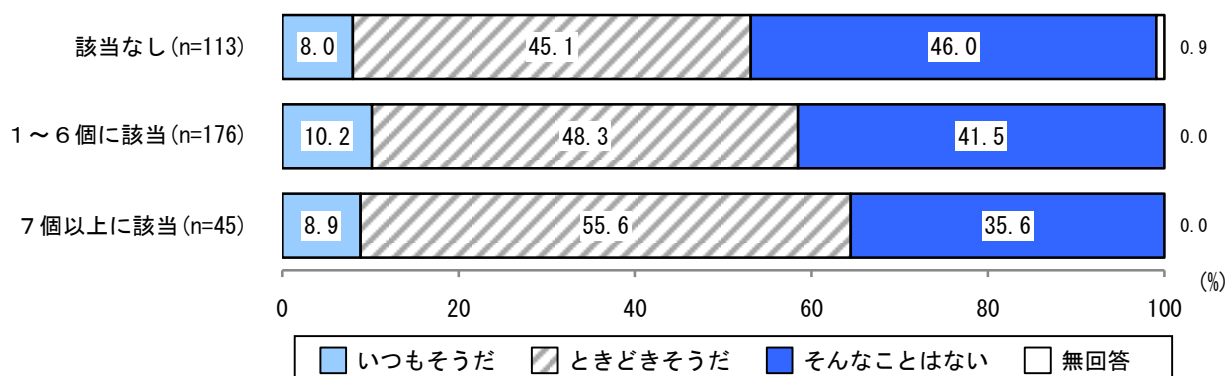
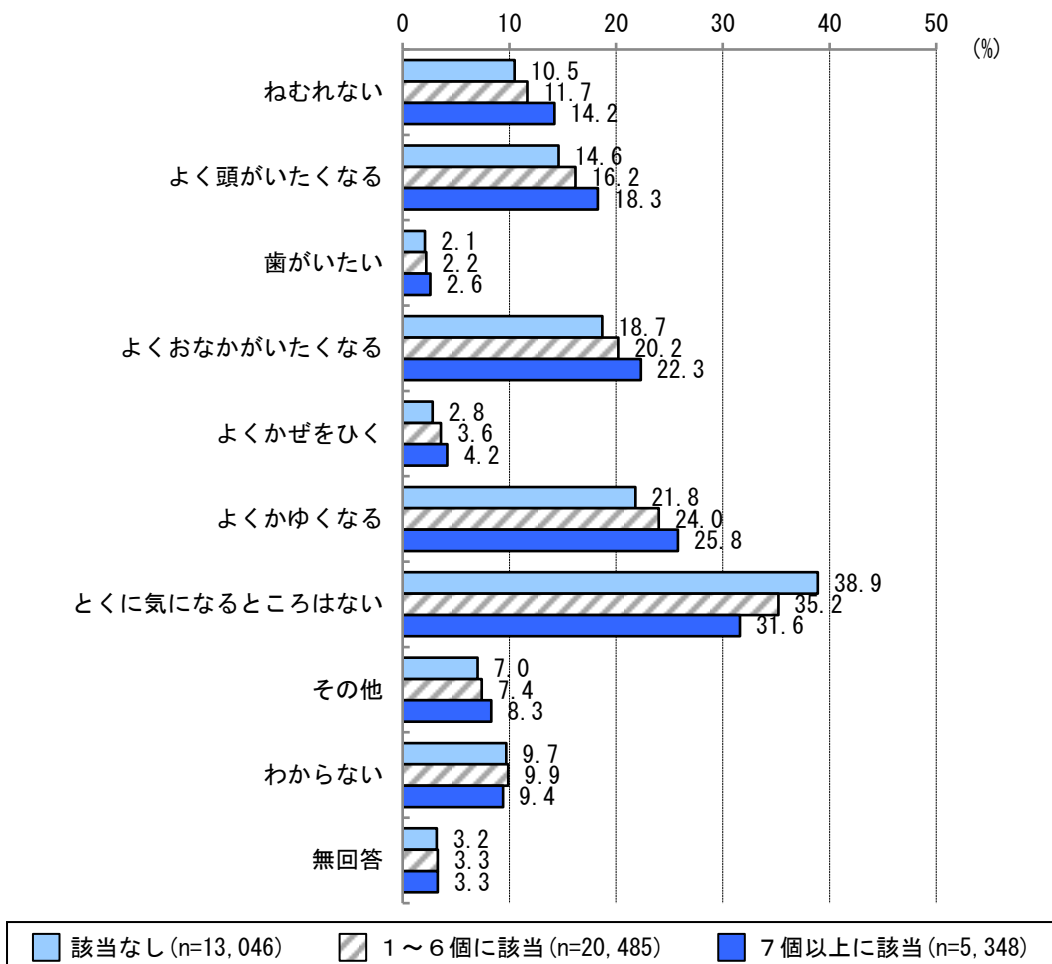


図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でいろいろするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「1～6個に該当」が10.2%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること
(保護者票問7×子ども票問20)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

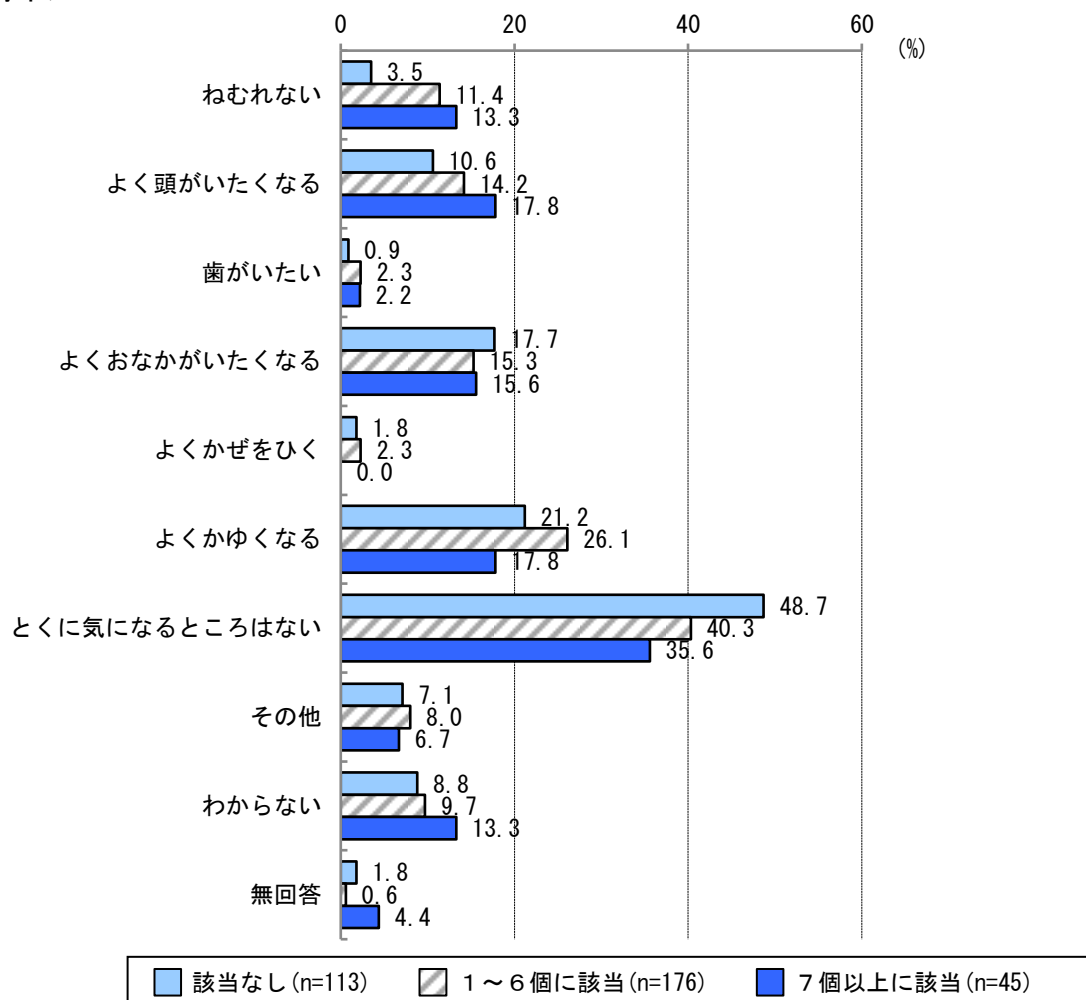
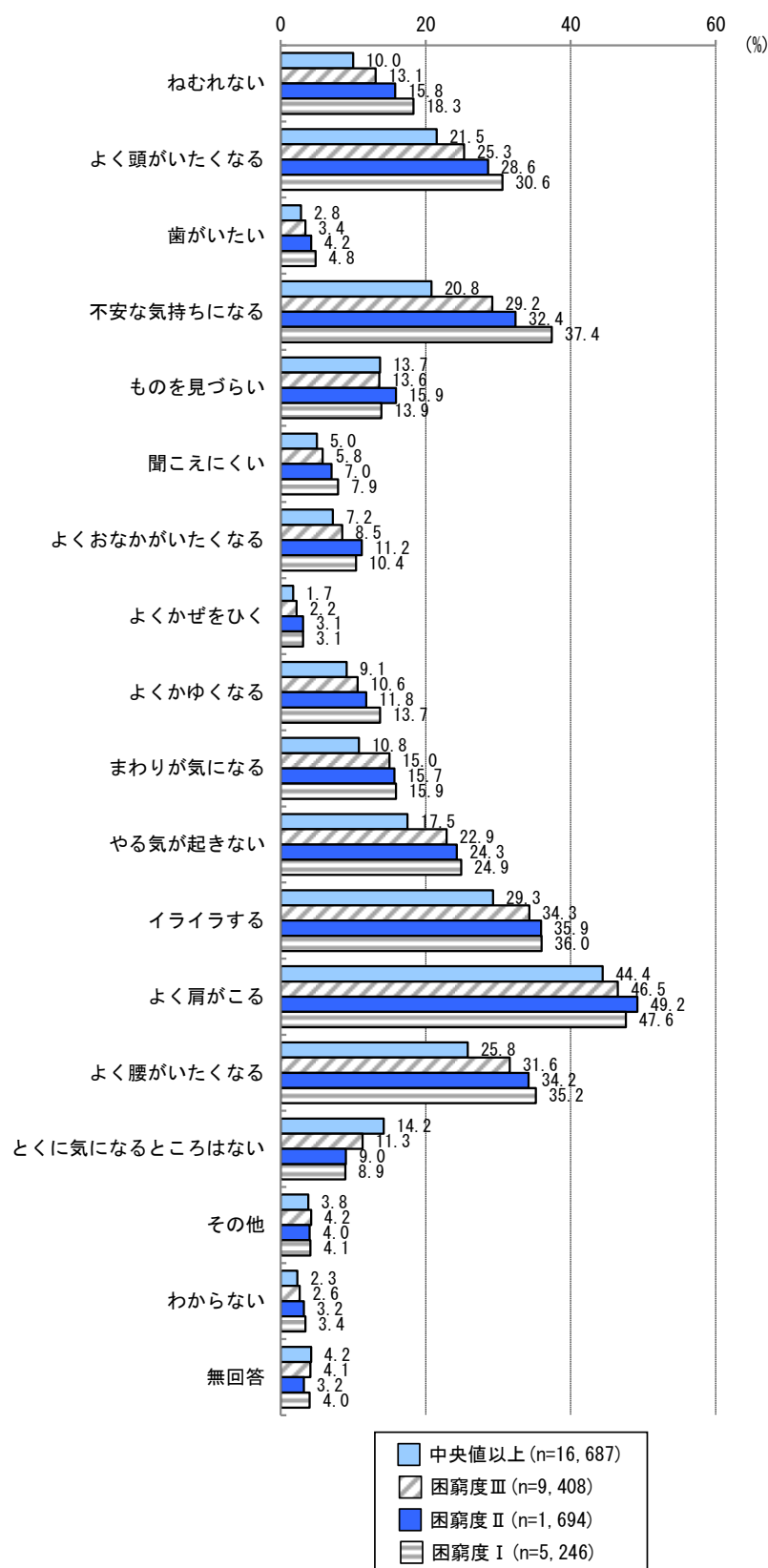


図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体の状態で気になることを見ると、「7個以上に該当」群と「該当なし」群間で差が大きい項目に着目しながら、「7個以上に該当」群の数値を挙げると、「ねむれない」13.3%（「該当なし」群に対して3.8倍）、「歯がいたい」2.2%（同じく2.4倍）となっている。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

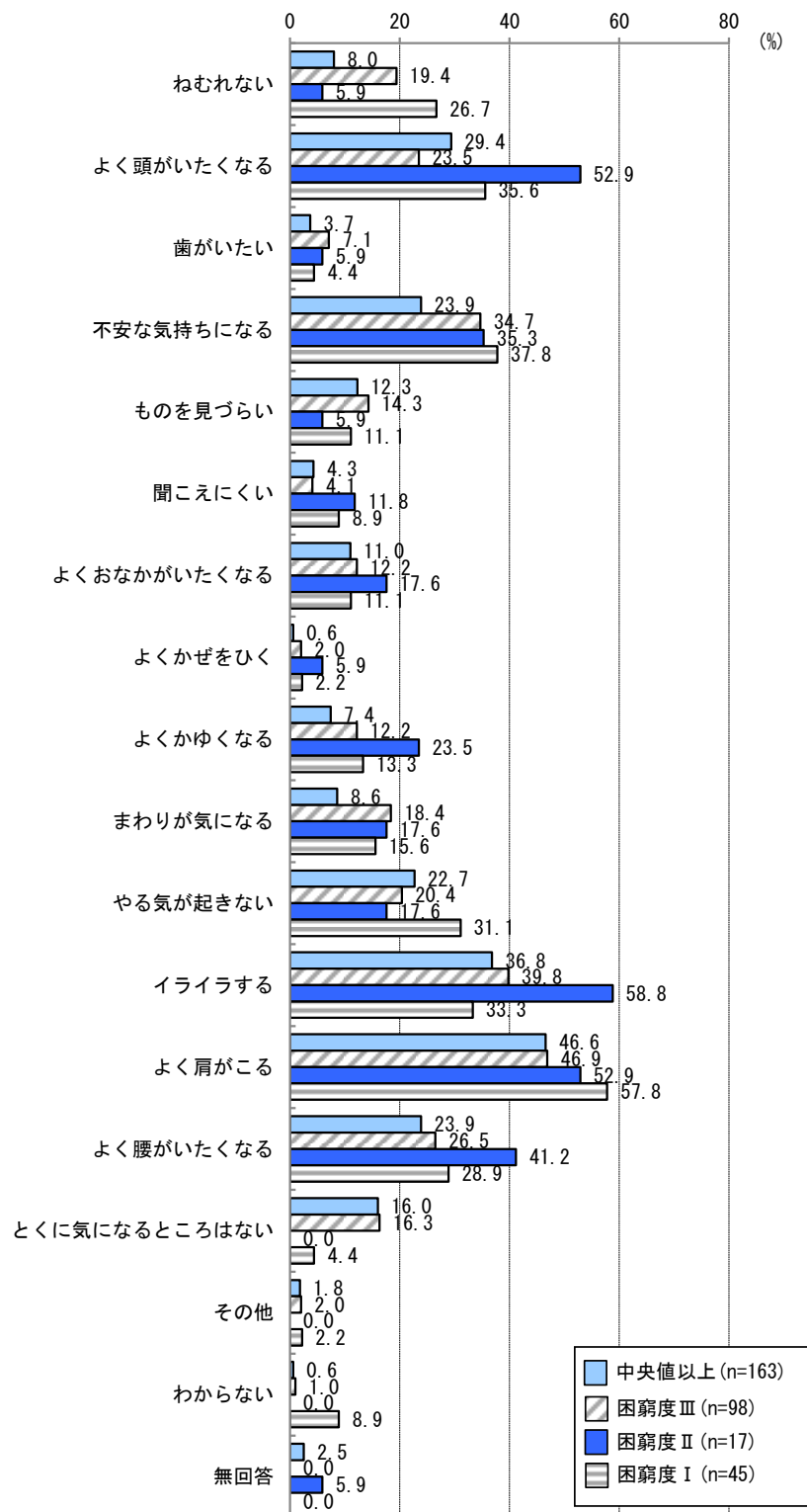
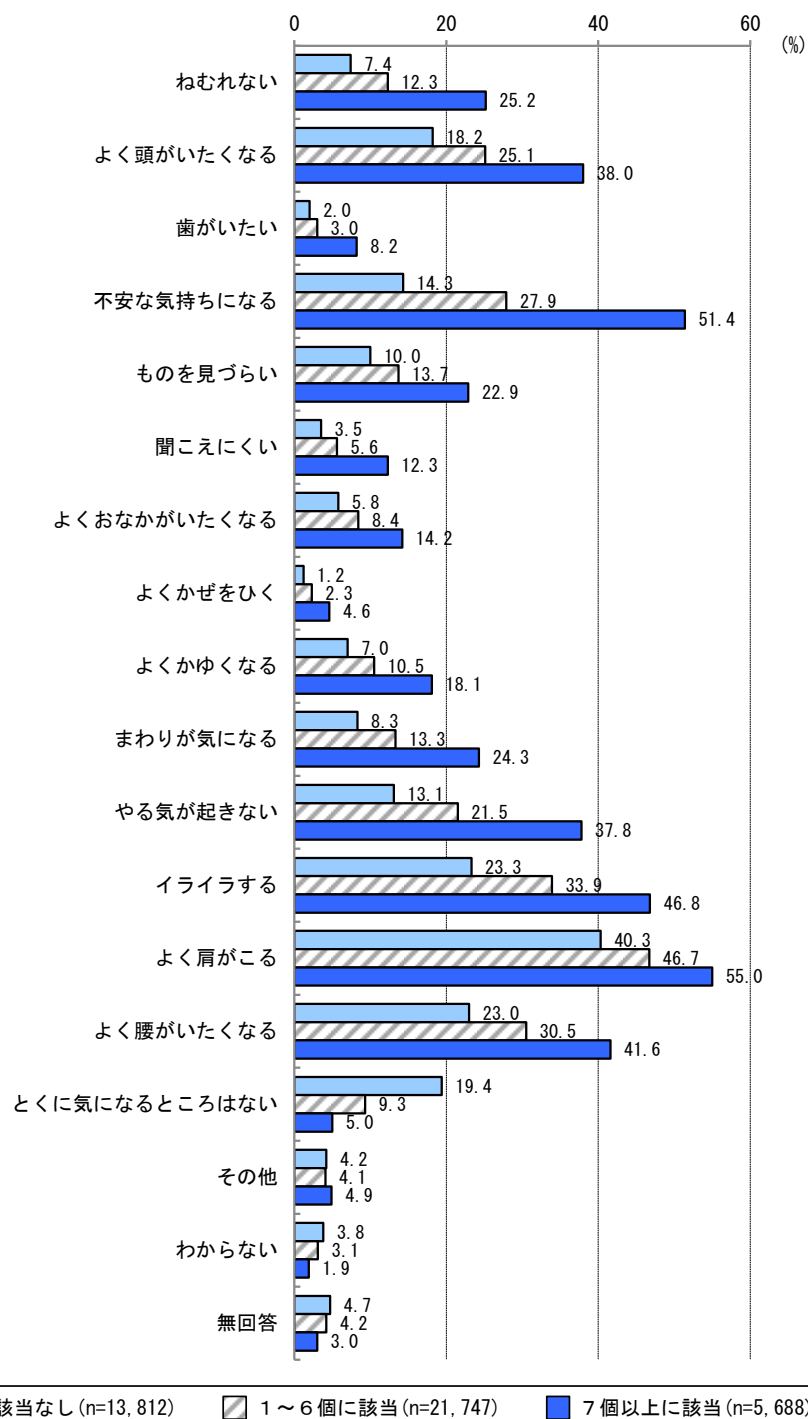


図 84. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になること（保護者）を見ると、「不安な気持ちになる」と「よく肩がこる」において、困窮度が高まるにつれ、割合が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「よくかぜをひく」2.2%（中央値以上群に対し、3.7倍）、「ねむれない」26.7%（同じく3.3倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
(保護者票問 7 × 保護者票問 22)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

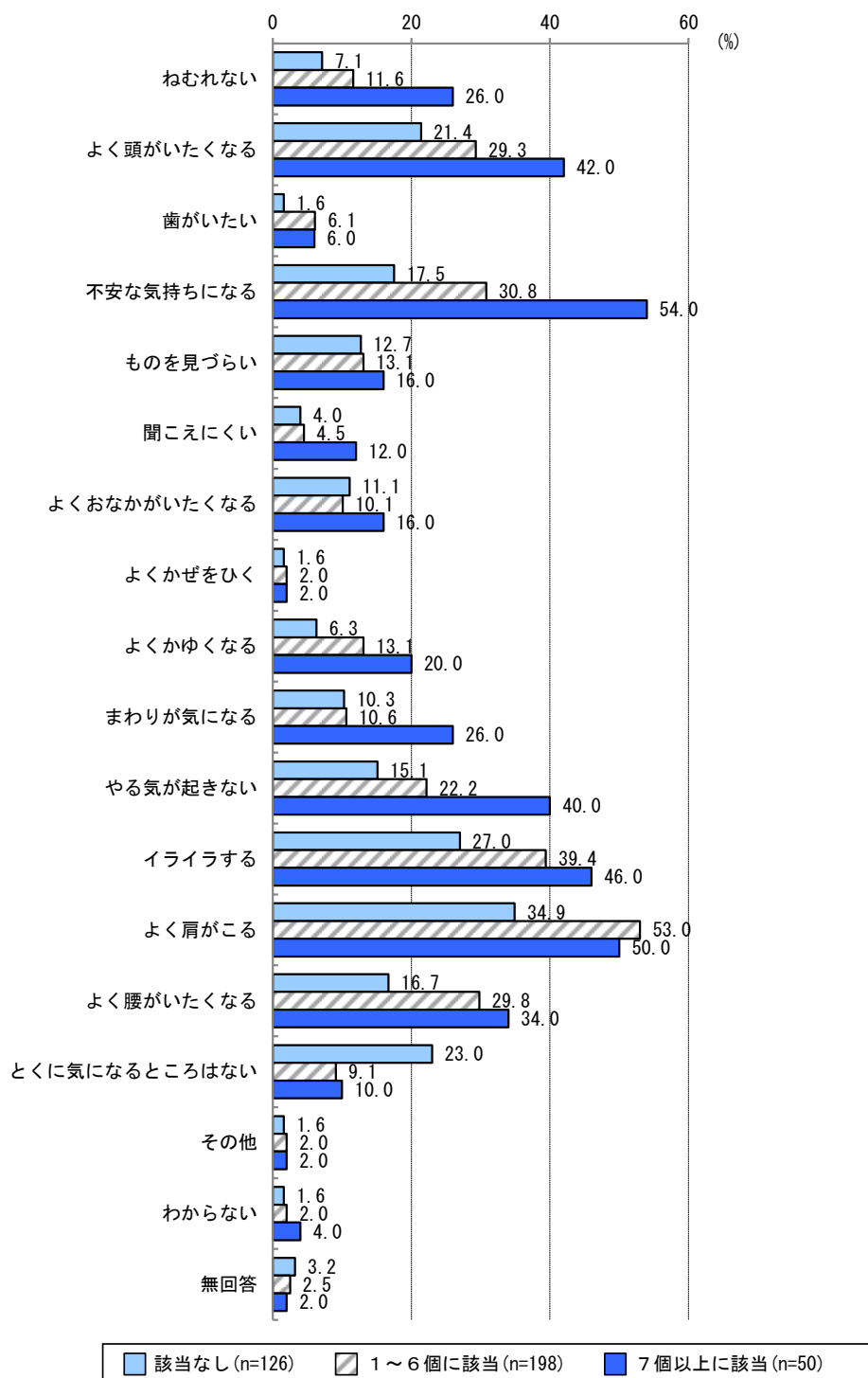
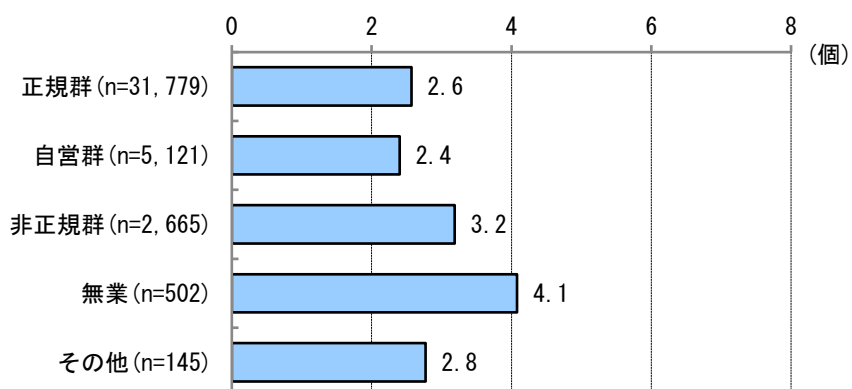


図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体や気持ちで気になること(保護者)を見ると、「歯がいたい」と「よくおなかがいたくなる」、「よく肩をこる」を除く項目において、該当数が多くなるにつれて、高くなっている。特に、「7個以上に該当」群と「該当なし」群との差に着目しながら「7個以上に該当」群を見ると、「歯がいたい」6.0%（「該当なし」に対して3.8倍）、「ねむれない」26.0%（同じく3.7倍）となっている。

就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

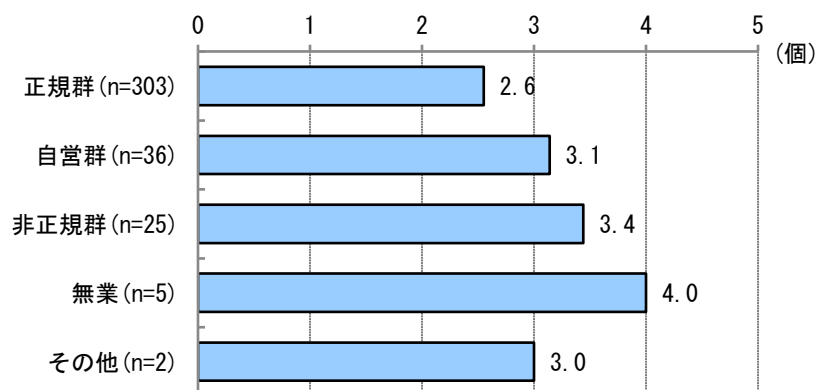


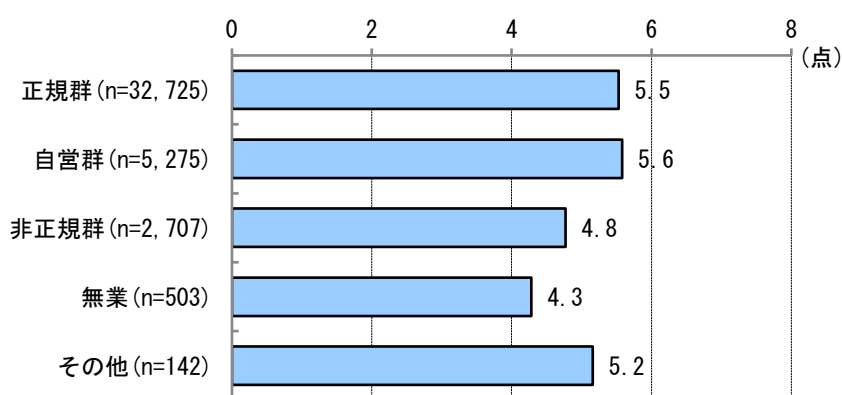
図 86. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

就労状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「正規群」、「自営群」に対して、「非正規群」、「無業」群において、自分の体や気持ちで気になることの該当個数が増える結果となった。

就労状況別に見た、支えてくれる人得点（保護者票問18）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の7項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を0点、「いる」を1点とし、7項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

<大阪府内全体>



<河内長野市>

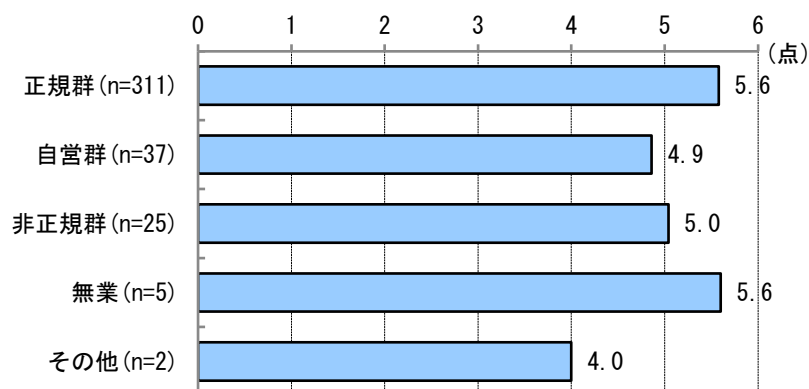
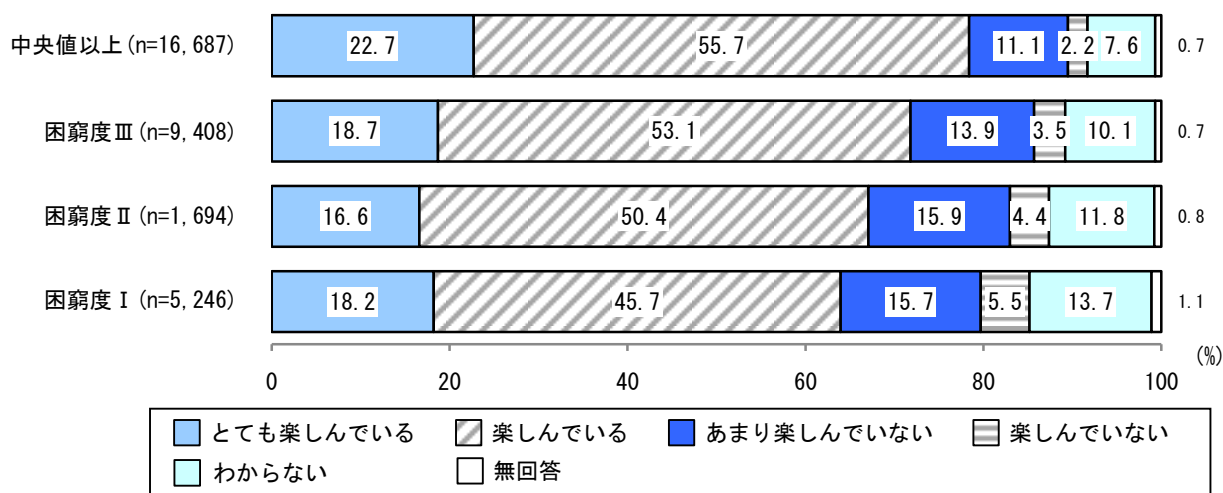


図 87. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点

就労状況別に支えてくれる人の有無を得点化し、その平均値を見ると、「正規群」（5.6点）、「無業」（5.6点）が高く、「非正規群」で5.0点と低下し、「自営群」で4.9点と最も低い結果となった。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（保護者票問 21(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

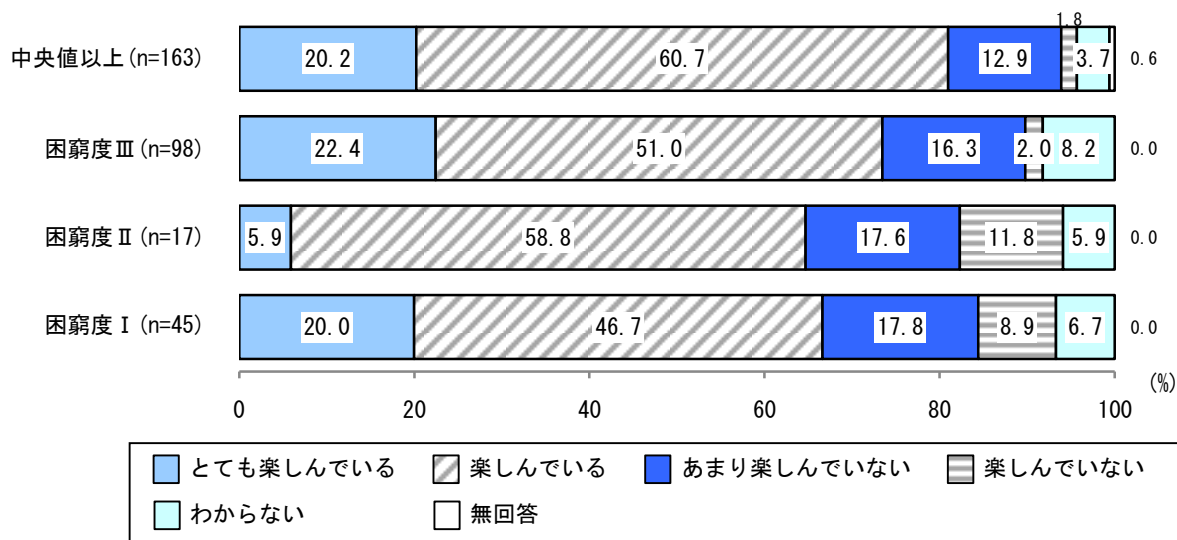
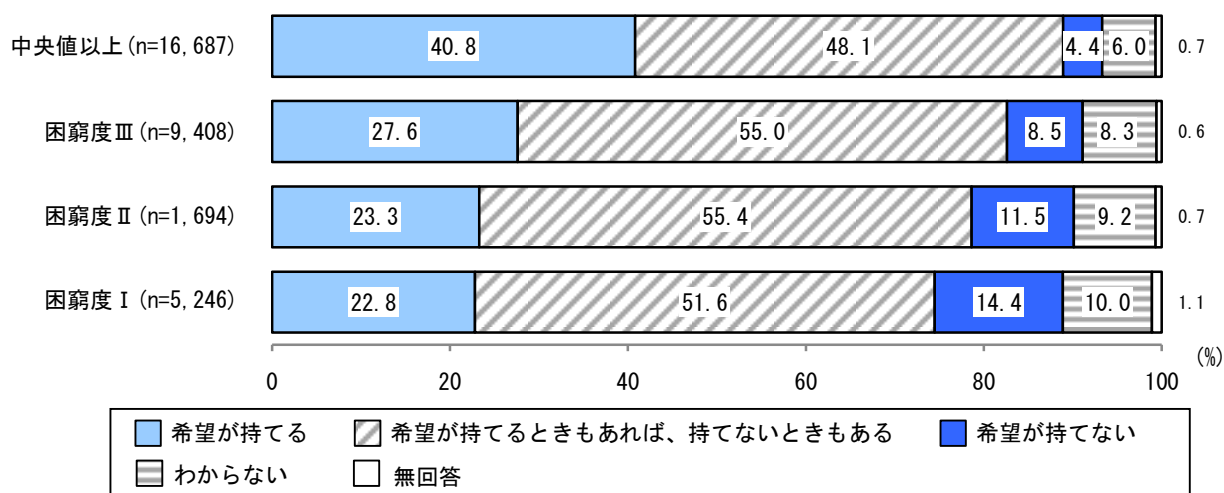


図 88. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせてなんらか『楽しんでいる』割合では、中央値以上群で80.9%と最も高く、続いて、困窮度Ⅲ群で73.4%、ここでは困窮度Ⅰと困窮度Ⅱ群では逆転し、困窮度Ⅰ群が66.7%、困窮度Ⅱ群が64.7%と最も低くなった。逆に、「あまり楽しんでいる」と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて多くなっており、中央値以上群が12.9%と最も低く、次いで、困窮度Ⅲ群で16.3%、困窮度Ⅱ群で17.6%、困窮度Ⅰ群で17.8%となった。

困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）（保護者票問 21(2)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

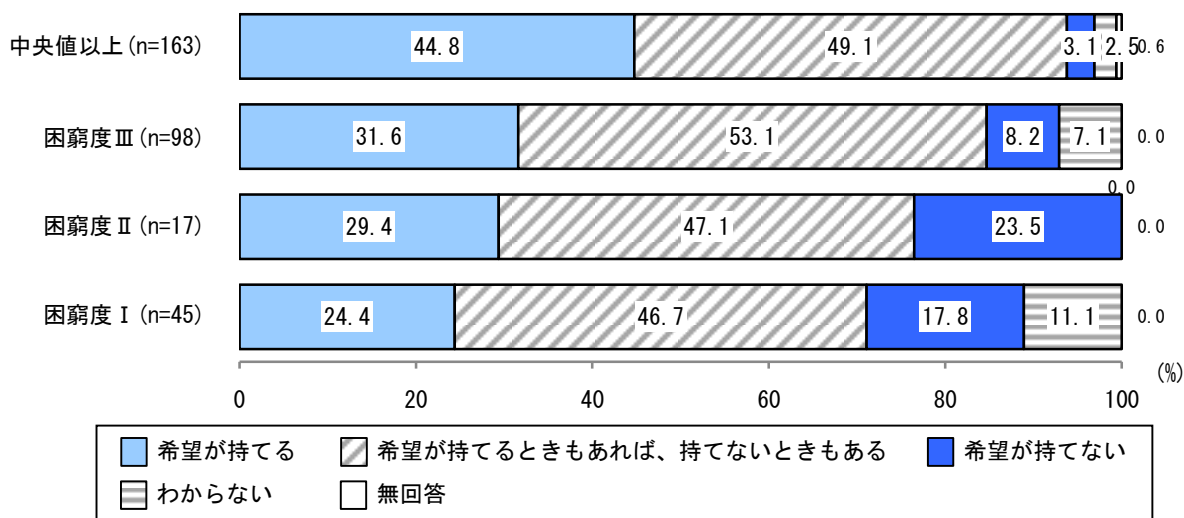
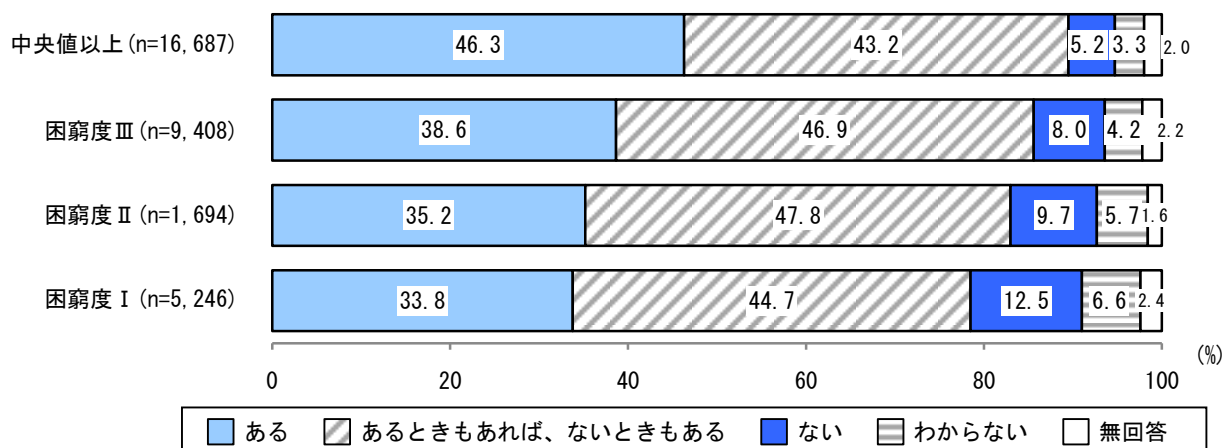


図 89. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）

困窮度別に将来への希望を見ると「希望が持てる」と回答する割合は、困窮度が高まるにつれ割合が低く、中央値以上群では44.8%であるのに対し、困窮度Ⅲ群では31.6%、困窮度Ⅱ群が29.4%、困窮度Ⅰ群において24.4%と最も低くなった。

困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）（保護者票問 21(3)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

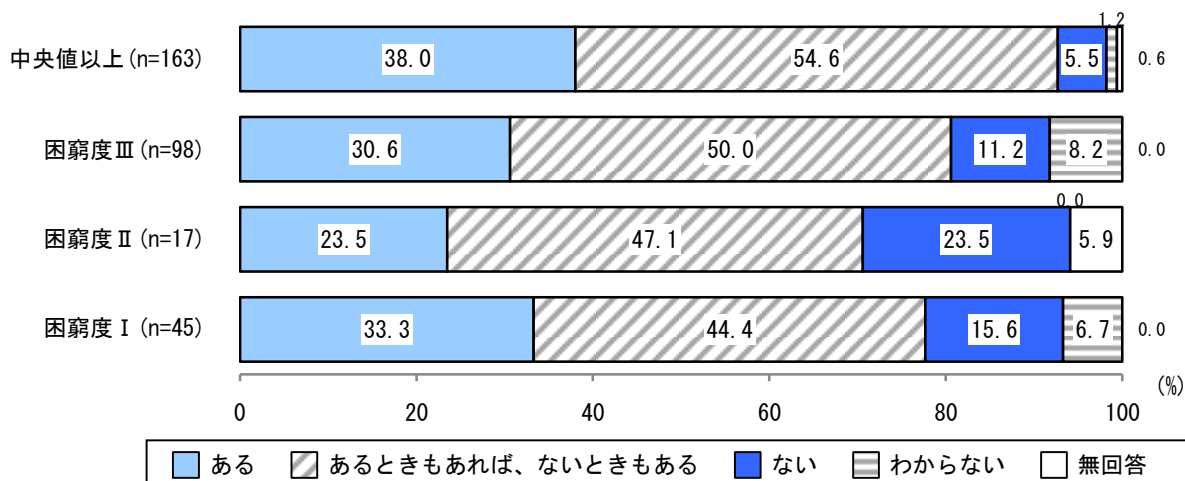
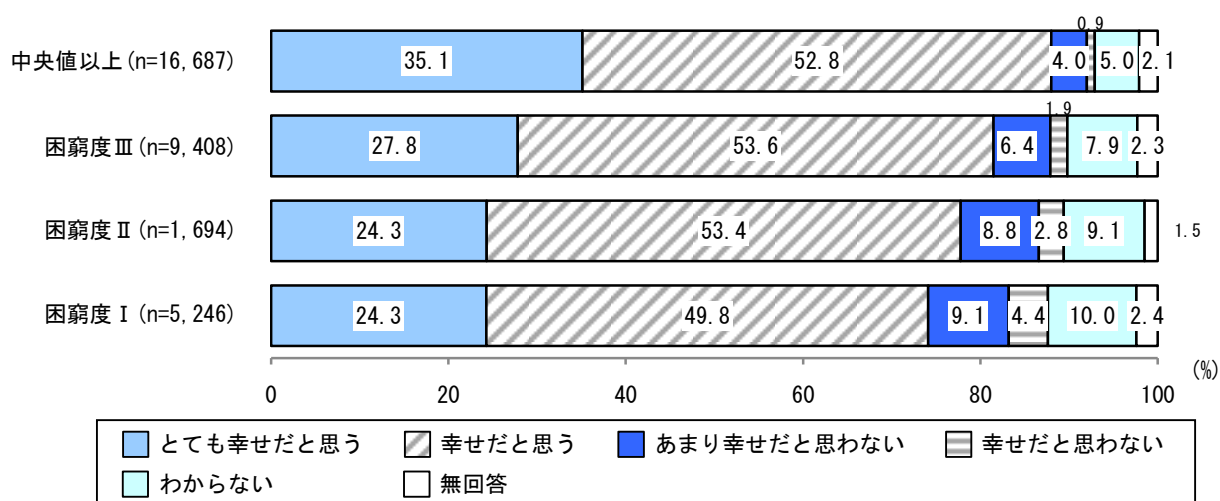


図 90. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）

困窮度別にストレスを発散できるものがあるかを見ると、ストレスが発散できるものが「ない」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群が23.5%と最も高くなっている。中央値以上群では5.5%で最も低く、困窮度Ⅰ群では15.6%、困窮度Ⅲ群では11.2%となっている。

困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）（保護者票問 21(4)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

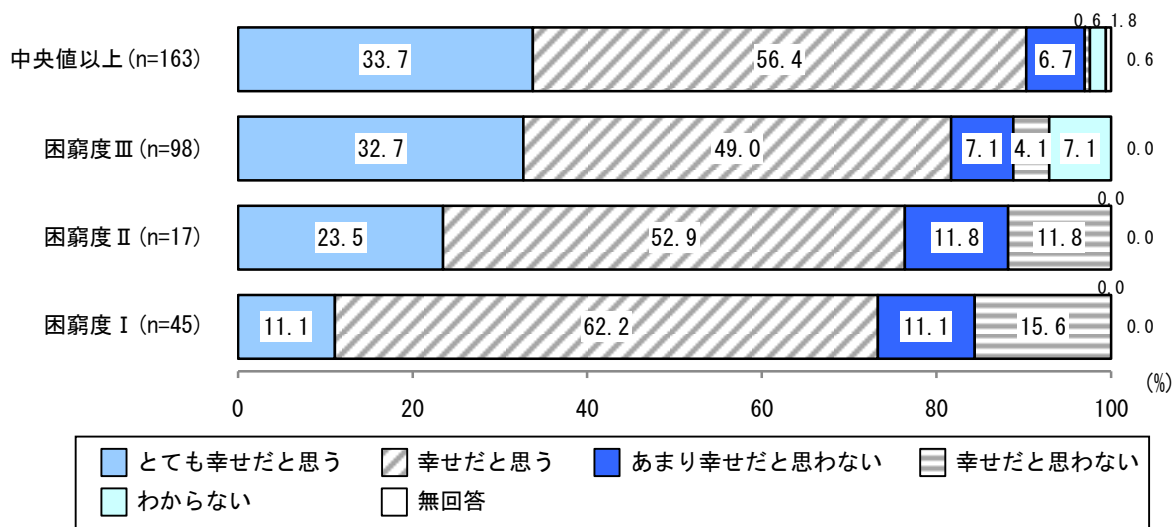


図 91. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）

困窮度別に幸せだと思うかを見ると、「とても幸せだと思う」と「幸せだと思う」をあわせて、なんらか『幸せだと思う』と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて低くなり、困窮度Ⅰ群（73.3%）で最も低くなっている。逆に、なんらか『幸せではない』（「あまり幸せだと思わない」と「幸せだと思わない」をあわせた割合）と回答する割合は、中央値以上群で7.3%にとどまるのに対して、困窮度Ⅲ群で11.2%、困窮度Ⅱ群で23.6%、困窮度Ⅰ群で26.7%となっている。

<健康に関する考察>

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。朝食の頻度では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「毎日またはほとんど毎日」(97.3%対90.5%)が約7ポイント高くなっている。子どもの気持ちの状況をみると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群に比べ、「一人ぼっちのような気がする」で「いつもそうだ」(9.5%対2.0%)「やる気が起きない」で「いつもそうだ」(16.7%対9.4%)、「いらいらする」で「いつもそうだ」(16.7%対8.1%)が5ポイント以上高くなっている。一方で、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「遊びにでかけるのが好きだ」で「いつもそうだ」(73.8%対54.8%)が15ポイント以上、「元気いっぱいだ」で「いつもそうだ」(59.1%対50.0%)が約10ポイント高くなっている。子どもの自覚症状では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「とくに気になるところはない」(45.0%対40.5%)が約5ポイント高くなっている。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「よく頭がいたくなる」(35.6%対29.4%)「よくかゆくなる」(13.3%対7.4%)「まわりが気になる」(15.6%対8.6%)「やる気が起きない」(31.1%対22.7%)「よく腰がいたくなる」(28.9%対23.9%)がいずれも5ポイント以上、「ねむれない」(26.7%対8.0%)「不安な気持ちになる」(37.8%対23.9%)「よく肩がこる」(57.8%対46.6%)では10ポイント以上高くなっている。また、保護者の心の状態を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、生活を「楽しんでいない」(8.9%対1.8%)ストレスを発散できるものが「ない」(15.6%対5.5%)が5ポイント以上高くなっている。一方で中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、将来に対して「希望が持てる」(44.8%対24.4%)自分が「とても幸せだと思う」(33.7%対11.1%)が20ポイント以上高くなっている。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、個数が増えるにしたがって、子どもは「遊びにでかけるのが好きだ」で「いつもそうだ」の割合が低くなる傾向にある。自覚症状では、個数が増えるにしたがって子どもは「ねむれない」「よく頭がいたくなる」「よくおなかのいたくなる」「よくかゆくなる」の割合が高くなる傾向にあり、保護者では「ねむれない」「よく頭がいたくなる」「不安な気持ちになる」「よくかゆくなる」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「イライラする」「よく肩がこる」「よく腰がいたくなる」の割合が高くなる傾向にある。これらの結果から、経済的に困難な世帯の子どもは、頭痛や腹痛といった身体状況、「ねむれない」「不安な気持ちになる」「一人ぼっちのような気がする」「やる気が起きない」といった心理的・精神的状況が不良であり、これらの心身の状況の問題が学校生活等に影響を及ぼしていることが予測される。また、保護者も同様に「不安な気持ちになる」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「イライラする」といった項目が不良であり、困窮状態であることは、不安な気持ちや周囲との比較、イライラ感などの心理的・精神的状況に悪影響を及ぼしている可能性が示唆された。同時に「よく肩がこる」「よく腰がいたくなる」といった身体状況が不良であることから肉体労働に従事している可能性や、「よく頭がいたくなる」「ねむれない」といったことから、心身の休養が不十分である可能性もうかがえる。さらに、経済的に困難な世帯では、保護者・子どもいずれもかゆみを感じており、衛生状態が懸念される。一方で経済的に困難のない世帯の子どもでは、遊びにでかけたり、元気と感じていたりすること、保護者は、将来に希望を持っていたり、幸福感を感じていたりするなど、親子ともに望ましい状態で過ごすことができている。

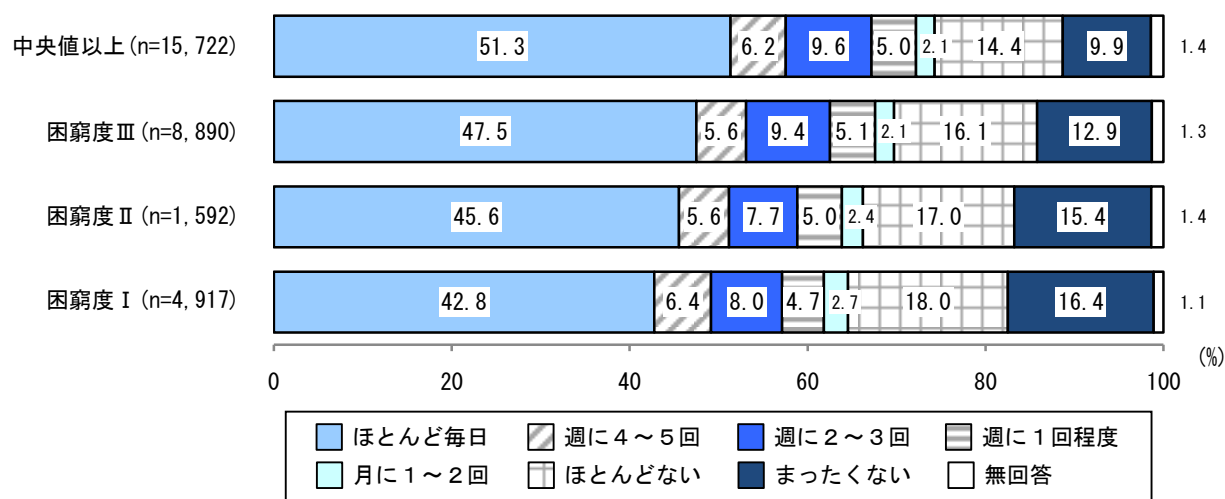
続いて、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。朝食の頻度では、「正規群」において「毎日またはほとんど毎日」朝食を摂っている割合が最も高く(95.7%)、その他の群では90%未満となっており、特に「無業」群では75%で最も低くなっている。この結果から、保護者が常勤や正規職員で勤めている世帯では、子どもが毎日規則正しく朝食を摂っていることがうかがえる。

最後に、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもと会話を「よくする」（70.9%対25.0%）が45ポイント以上高くなっている。子どもの自己効力感では、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、3点以上高くなっており、学校が休みの日の昼食を「必ず食べる」群では他の群に比べ高い傾向がある。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂ることは、保護者と子どもの関係をよりよくするとともに、子どもの自己効力感を高める可能性が示唆される。

3-4. 家庭生活、学習

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか（子ども票問8①）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

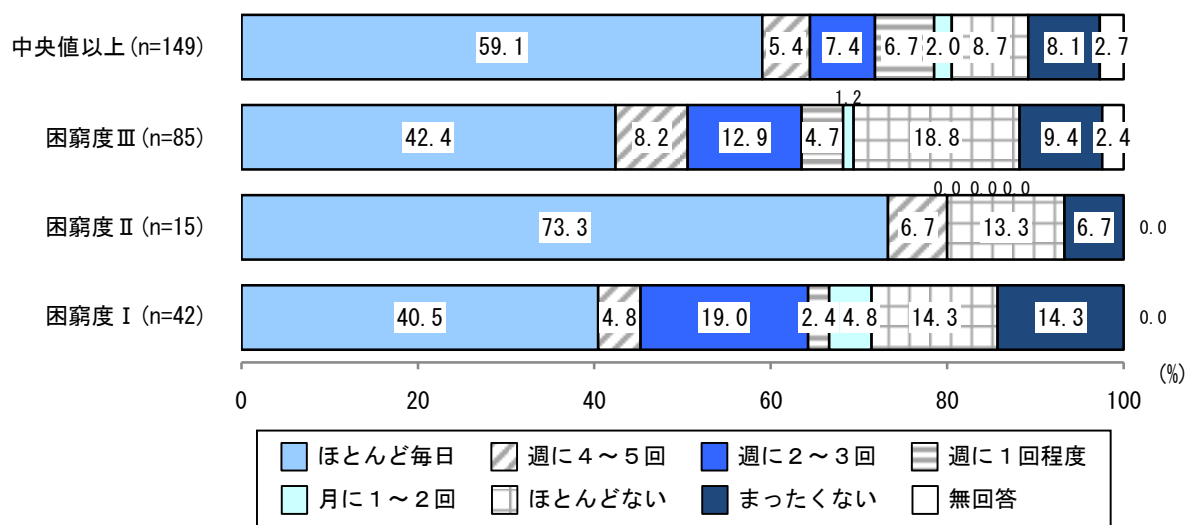
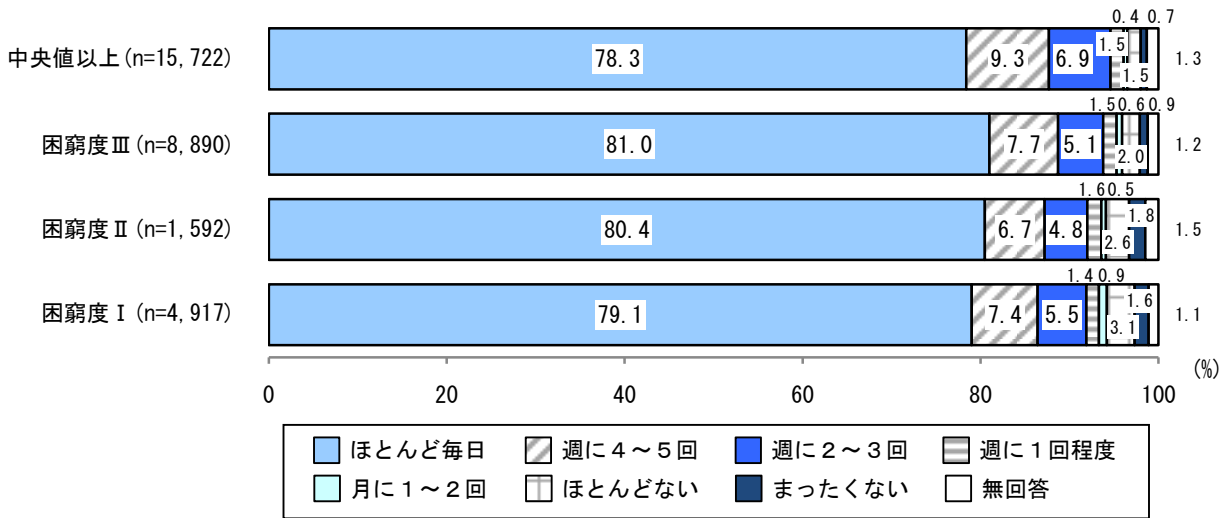


図 92. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は困窮度Ⅱ群が73.3%で最も高く、次いで中央値以上群が59.1%となっている。一方、「まったくない」の割合は困窮度Ⅰ群が14.3%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか（子ども票問8②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

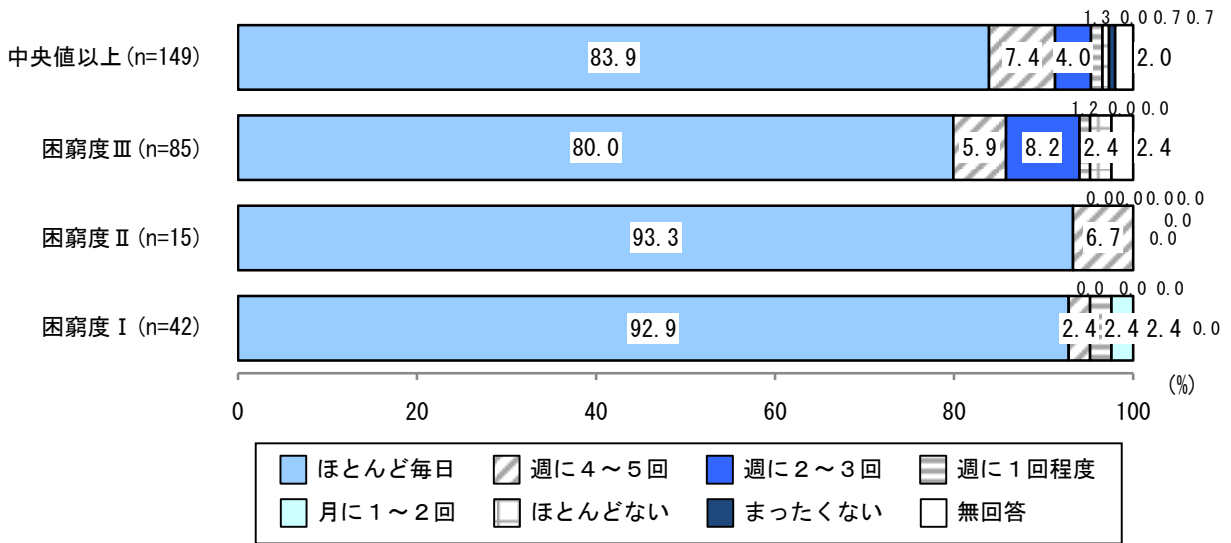
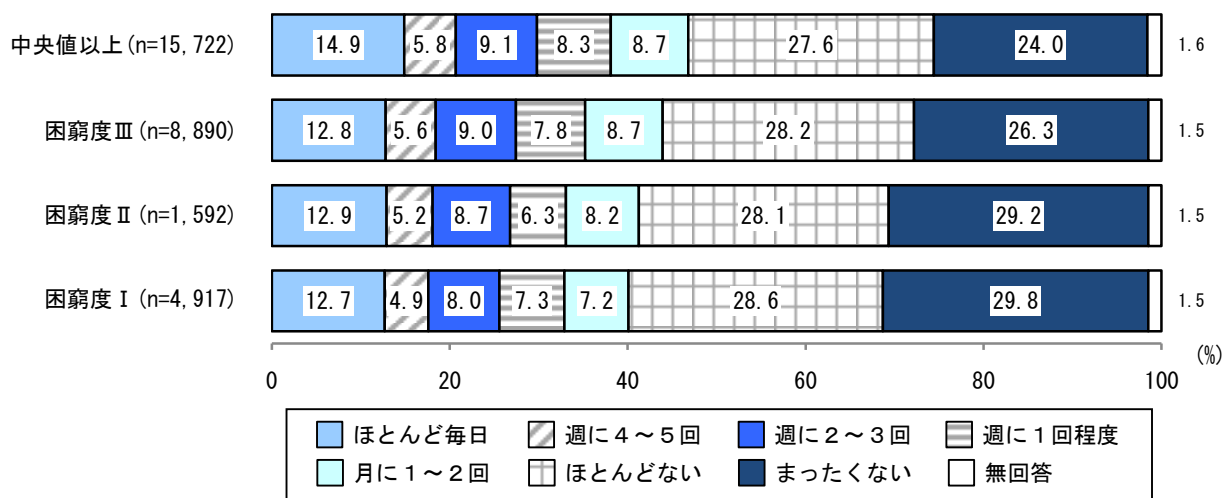


図 93. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、困窮度Ⅲ群において、「ほとんど毎日」の割合が80.0%と最も低くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか（子ども票問8⑤）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

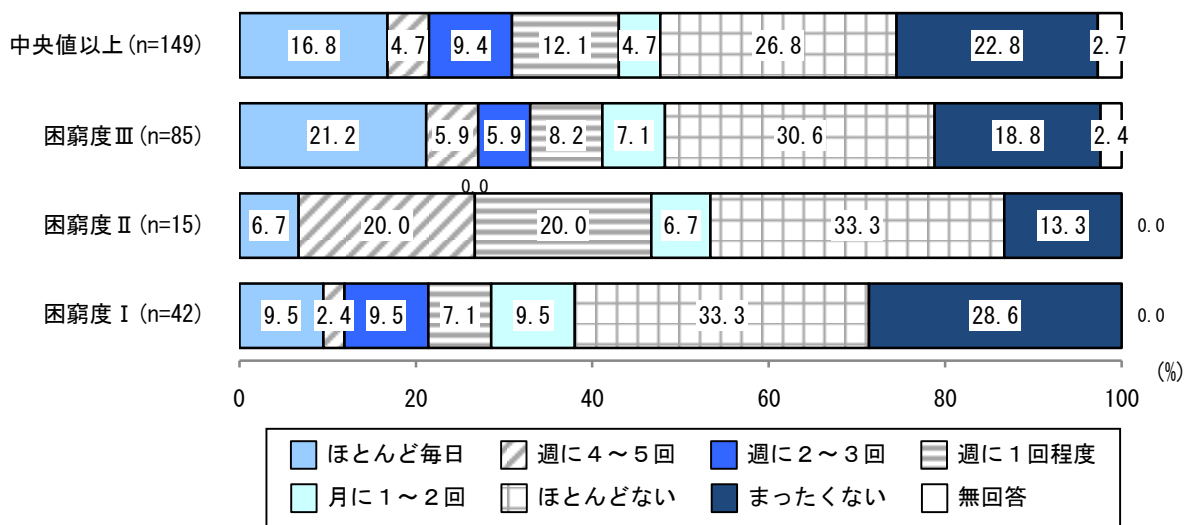
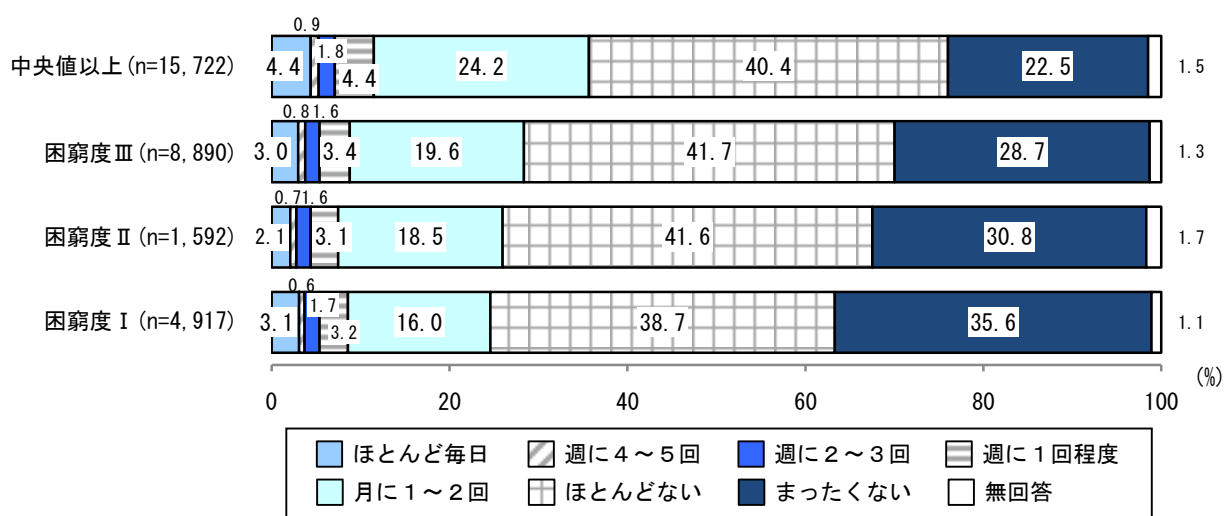


図 94. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、困窮度Ⅰ群では、「まったくない」と回答した人は28.6%で最も高くなっている。一方、「ほとんど毎日」は困窮度Ⅲ群が21.2%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか（子ども票問8⑨）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

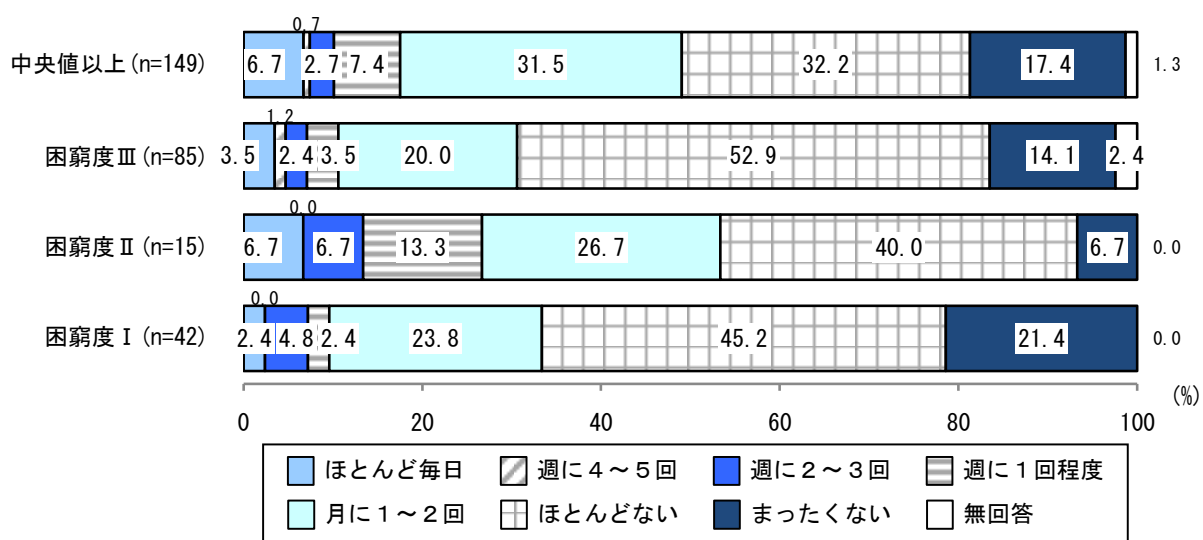
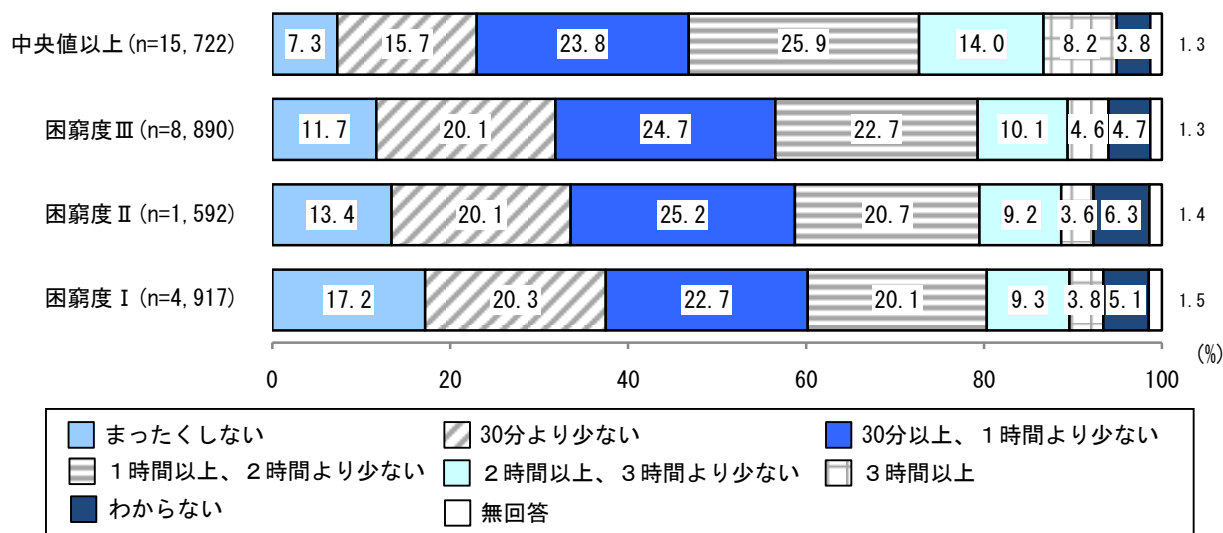


図 95. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

困窮度別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「まったくない」と回答した人は困窮度Ⅰ群が21.4%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

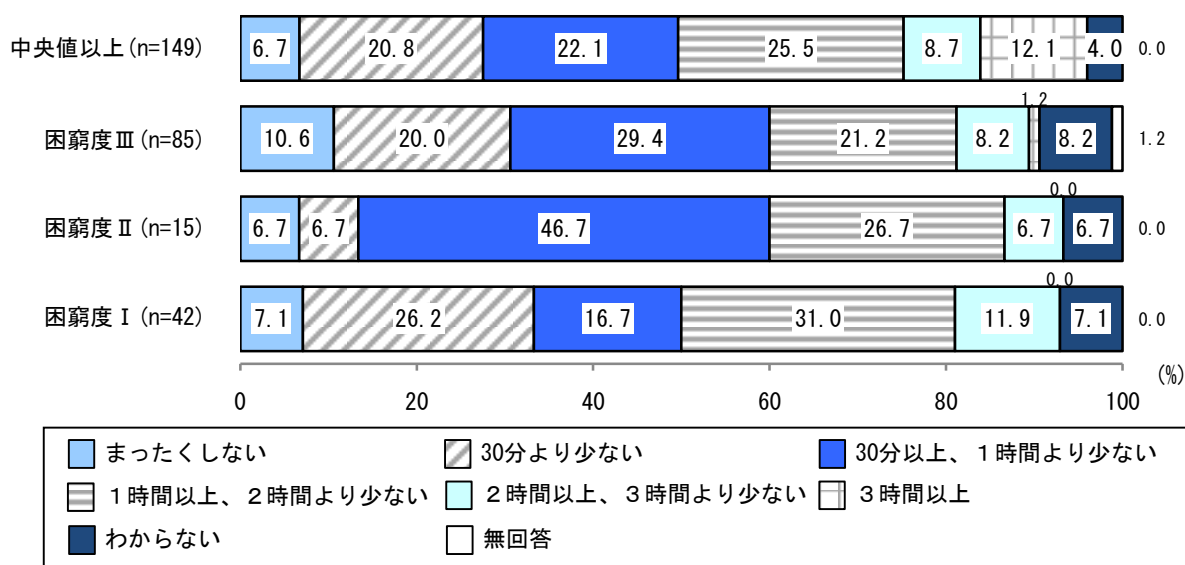
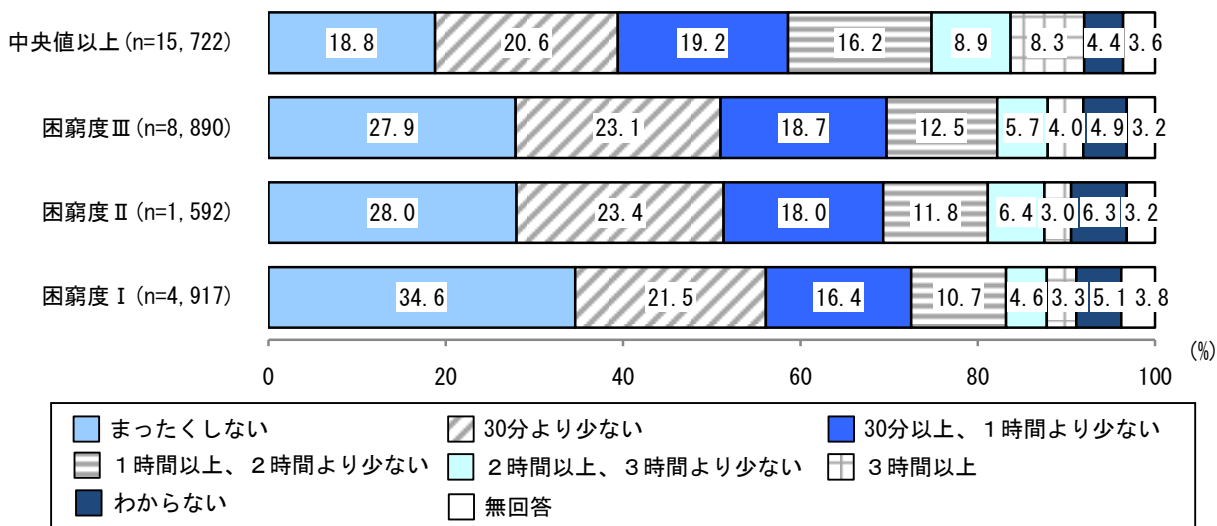


図 96. 困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

困窮度別に授業以外の 1 日あたりの勉強時間を見ると、学校のある日では、「まったくしない」と回答した人の割合は困窮度Ⅲ群が10.6%で最も高くなっている。「30分より少ない」と回答した人は困窮度Ⅰ群が26.2%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）
（子ども票問 13②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

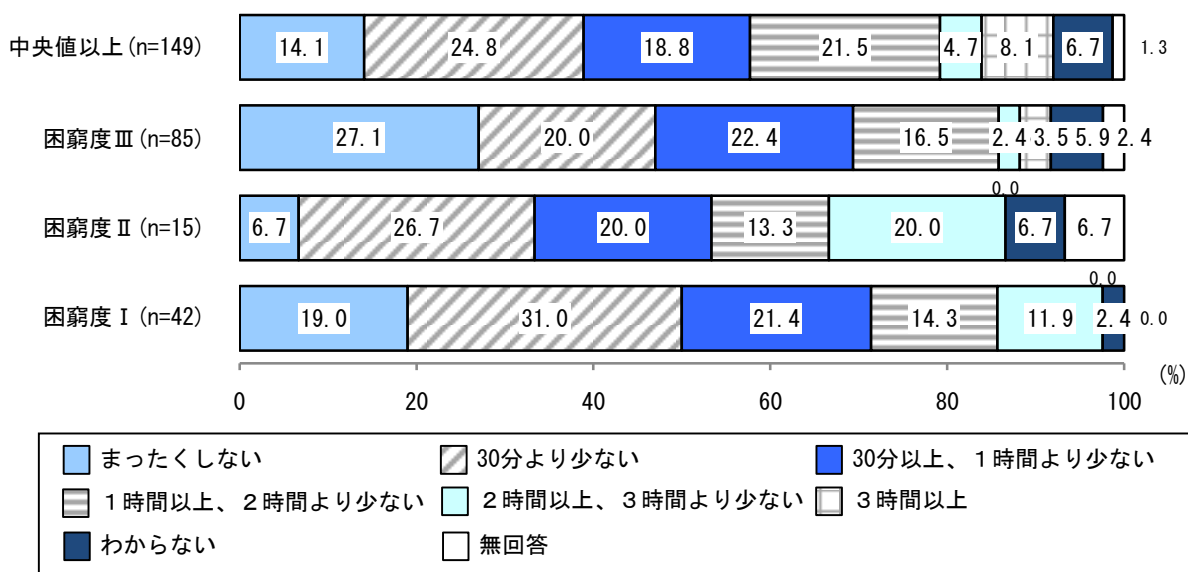
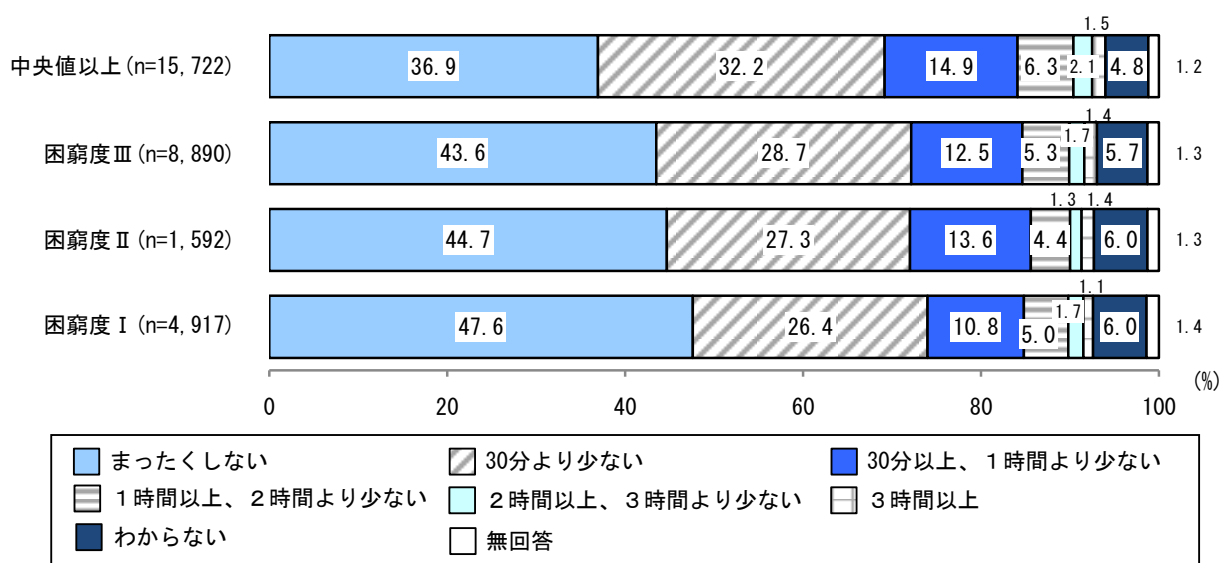


図 97. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

困窮度別に授業以外の１日あたりの勉強時間を見ると、学校がない日では、「まったくしない」と回答した人は困窮度Ⅲ群では27.1%と最も高く、次いで困窮度Ⅰ群が19.0%となっている。

困窮度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 15）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

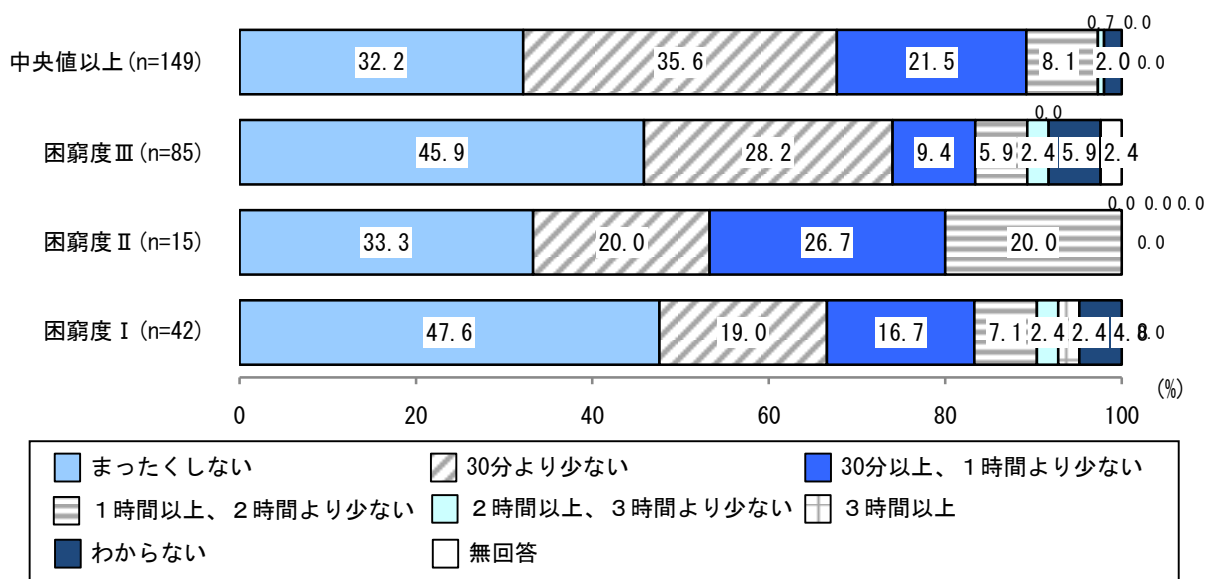
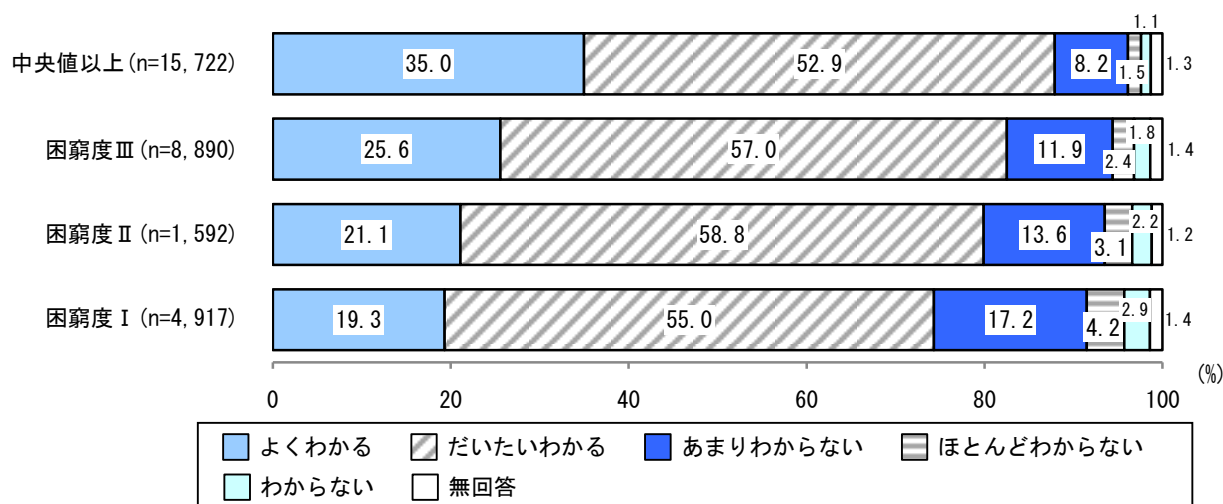


図 98. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間

困窮度別に授業以外の読書時間を見ると、「まったくしない」と回答した人は困窮度Ⅰ群では47.6%、次いで困窮度Ⅲ群が45.9%となっている。

困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問 14(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

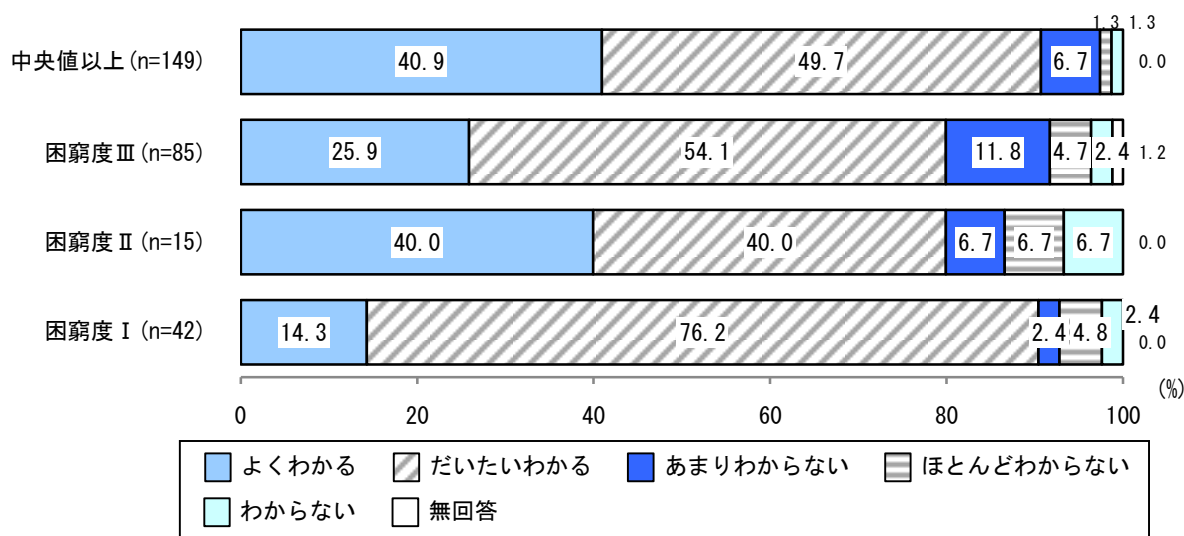


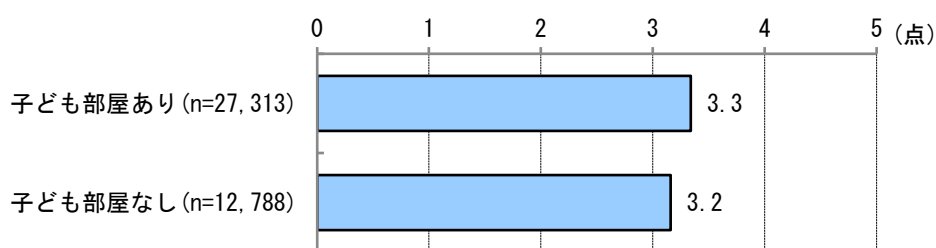
図 99. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

困窮度別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」と回答した人の割合は困窮度Ⅰ群が14.3%で最も低くなっている。「わからない」と回答した人は、困窮度Ⅱ群が6.7%で最も高くなっている。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ①学校がある日
(月～金曜日)(子ども票問 21×子ども票問 13①)

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30分より少ない」「3. 30分以上、1時間より少ない」「4. 1時間以上、2時間より少ない」「5. 2時間以上、3時間より少ない」「6. 3時間以上」の6つの時間枠からひとつを選択させた(「7. わからない」は除く)。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

<大阪府内全体>



<河内長野市>

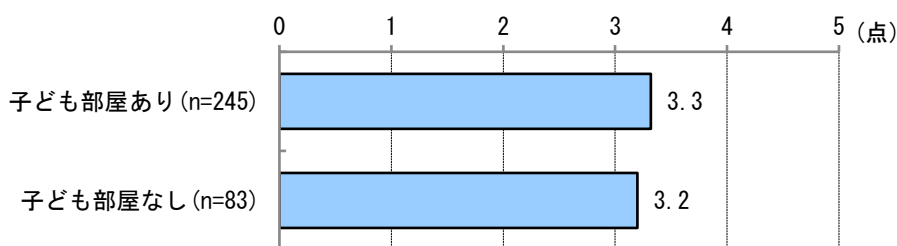
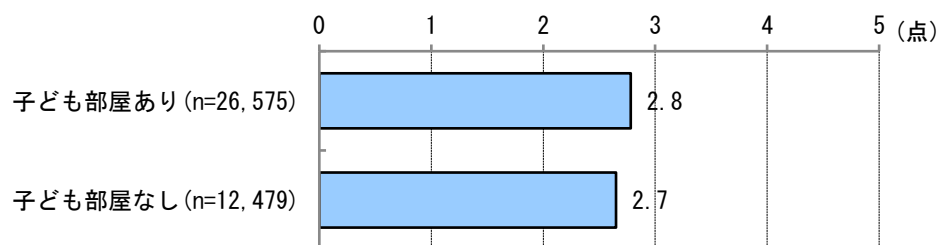


図 100. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がある日)

子ども部屋の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ②学校がない日
(土・日曜日・祝日)(子ども票問21×子ども票問13②)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

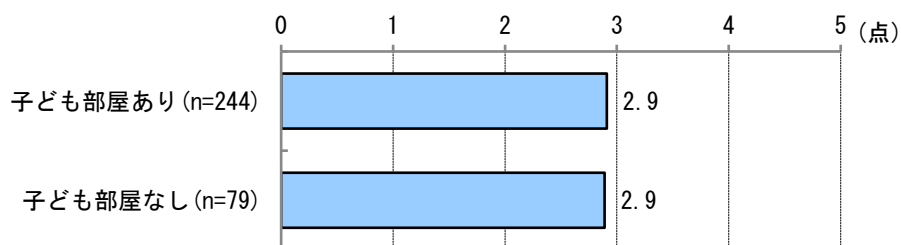
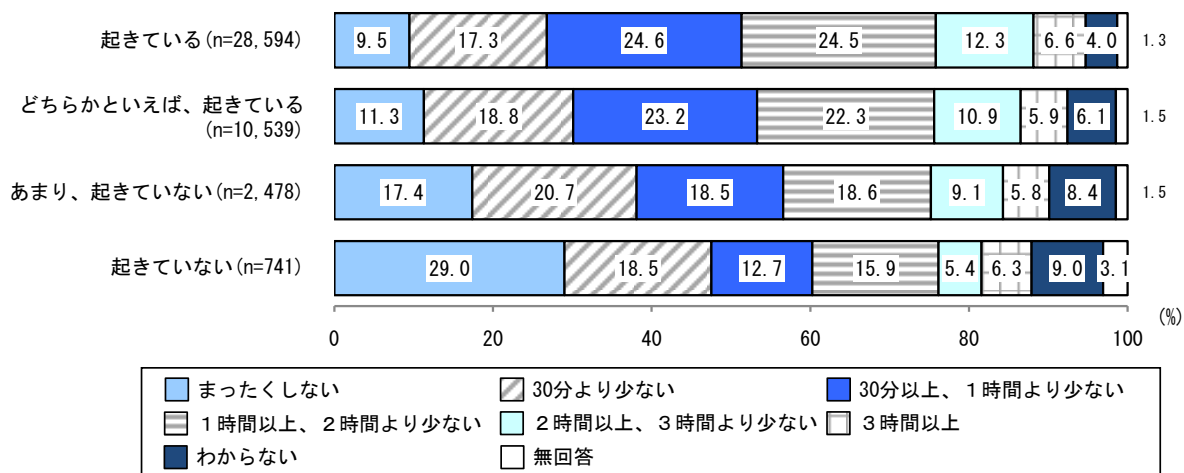


図 101. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がない日)

子ども部屋の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ても、大きな差はみられない。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問2×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

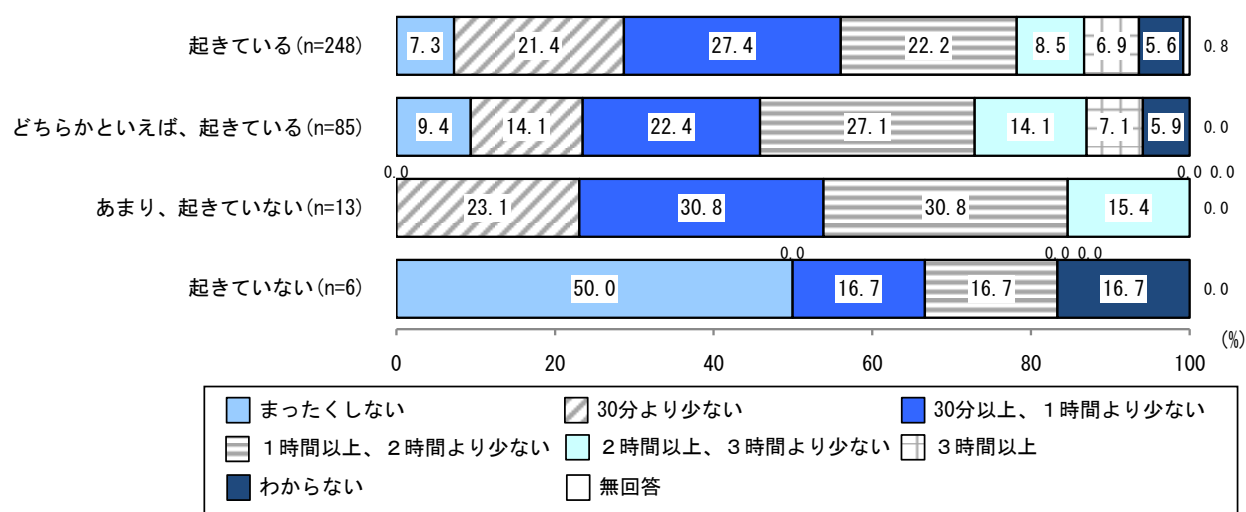
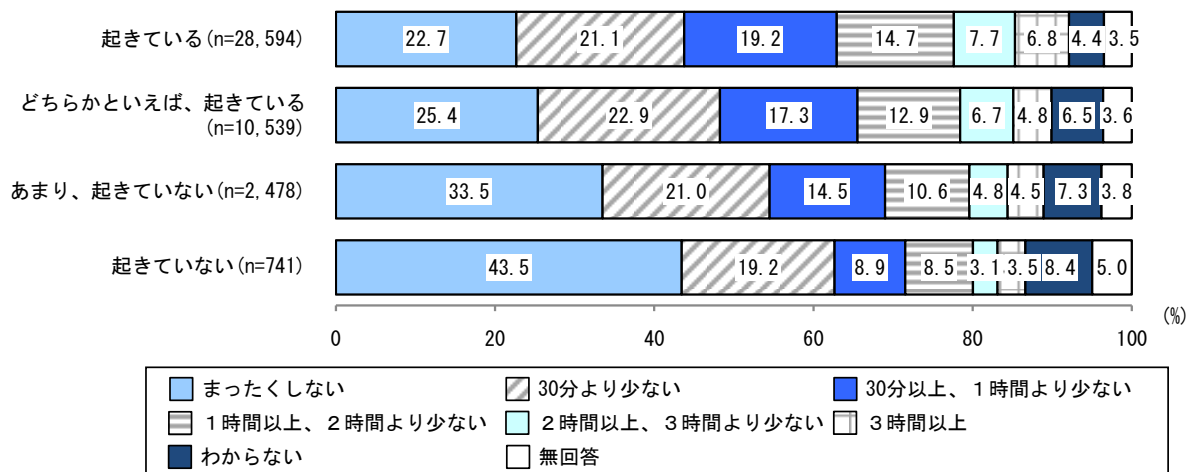


図 102. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

起床時間の規則性別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人で「まったくしない」（50.0%）の回答の割合が最も高くなっている。「30分以上、1時間より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」、「2時間以上、3時間より少ない」の割合はあまり、起きていない人が最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問2×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

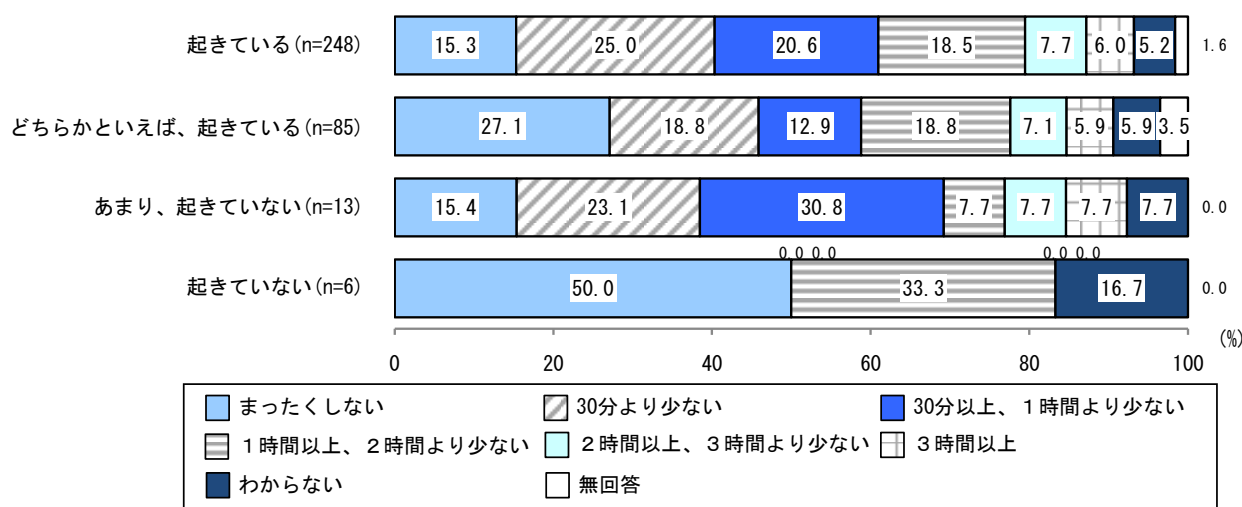
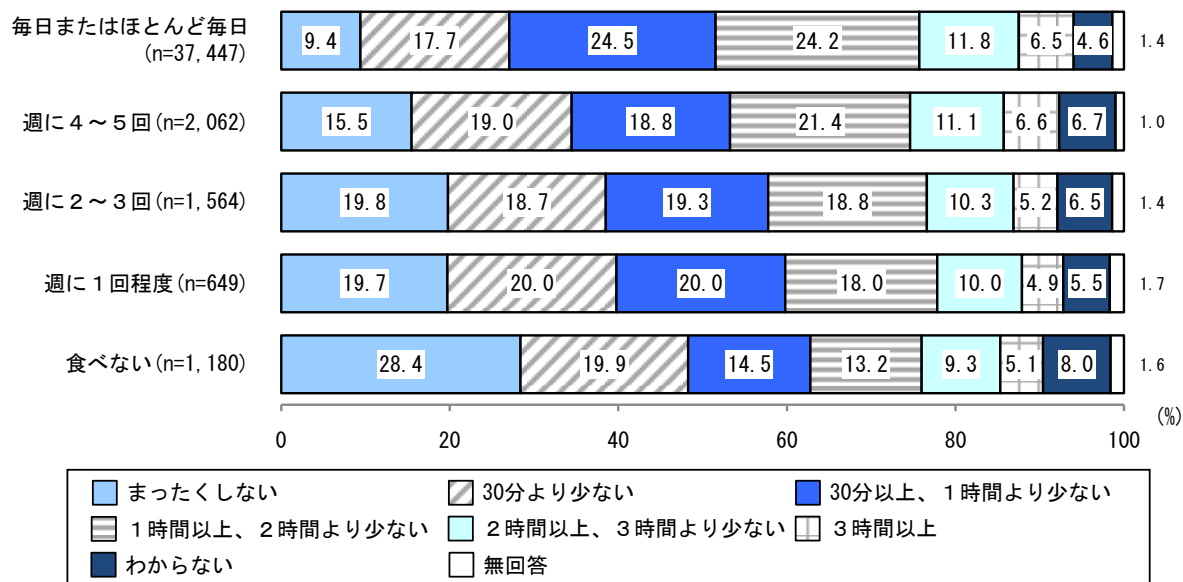


図 103. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

起床時間の規則性別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人で「まったくしない」の回答の割合が高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 4 (1) × 子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

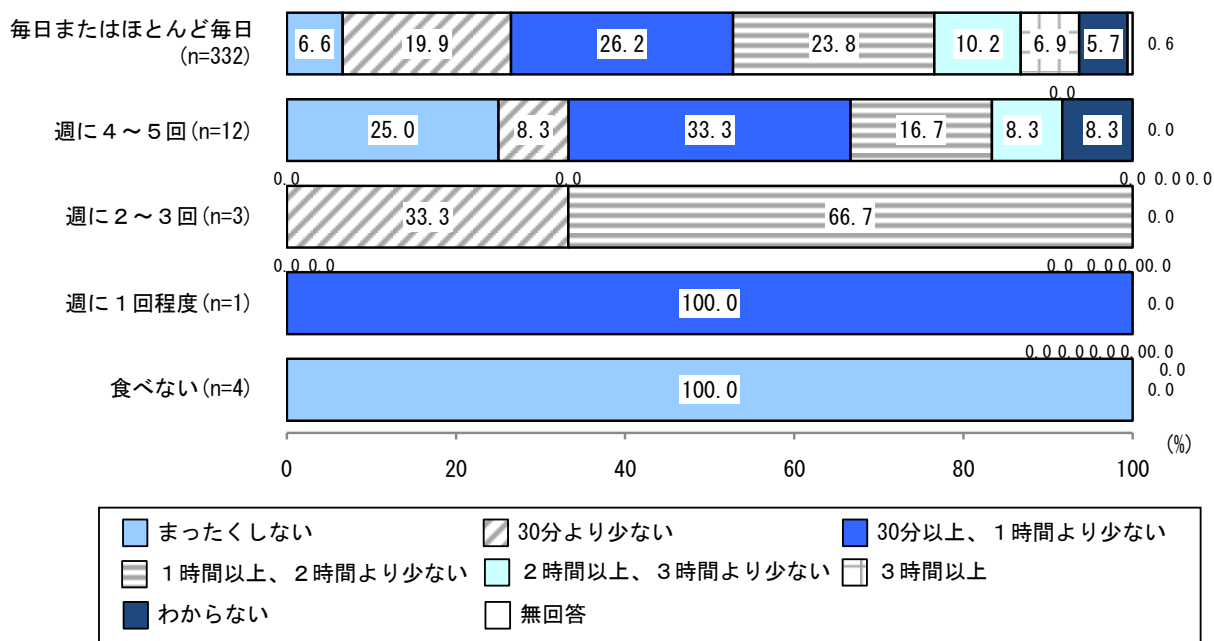
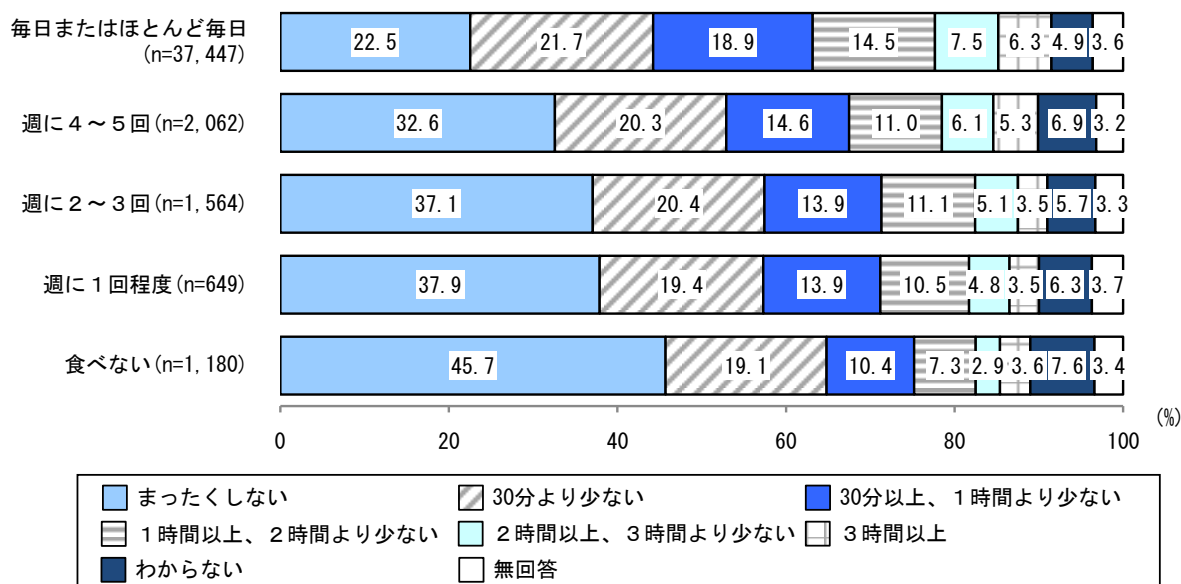


図 104. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

朝食の頻度別に学校がある日の授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した割合は朝食を食べない人が 100.0% で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問4(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

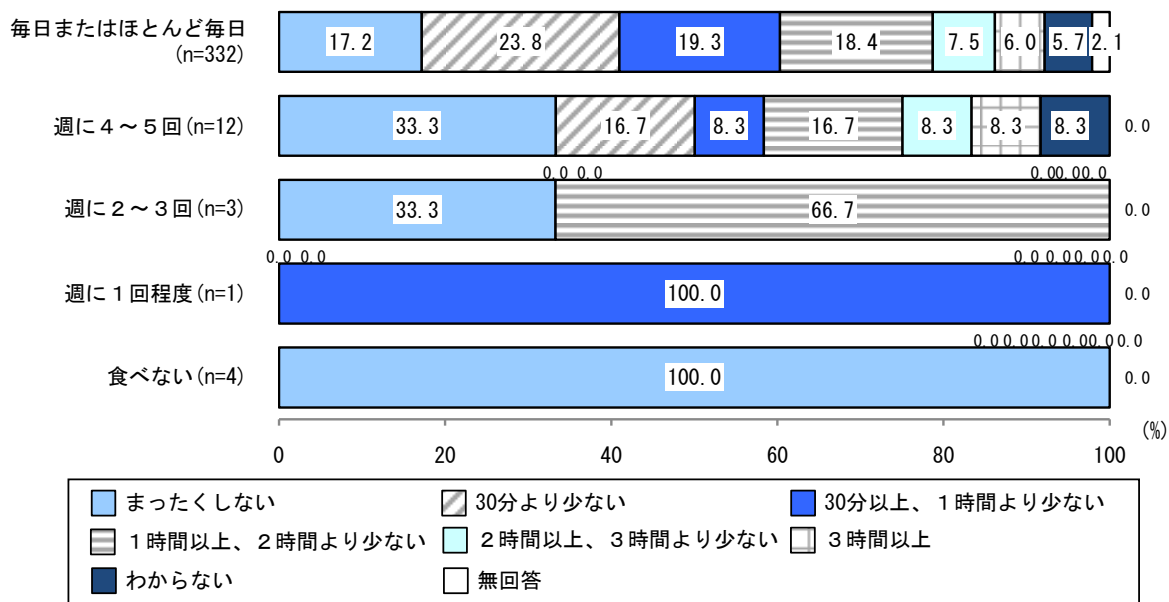
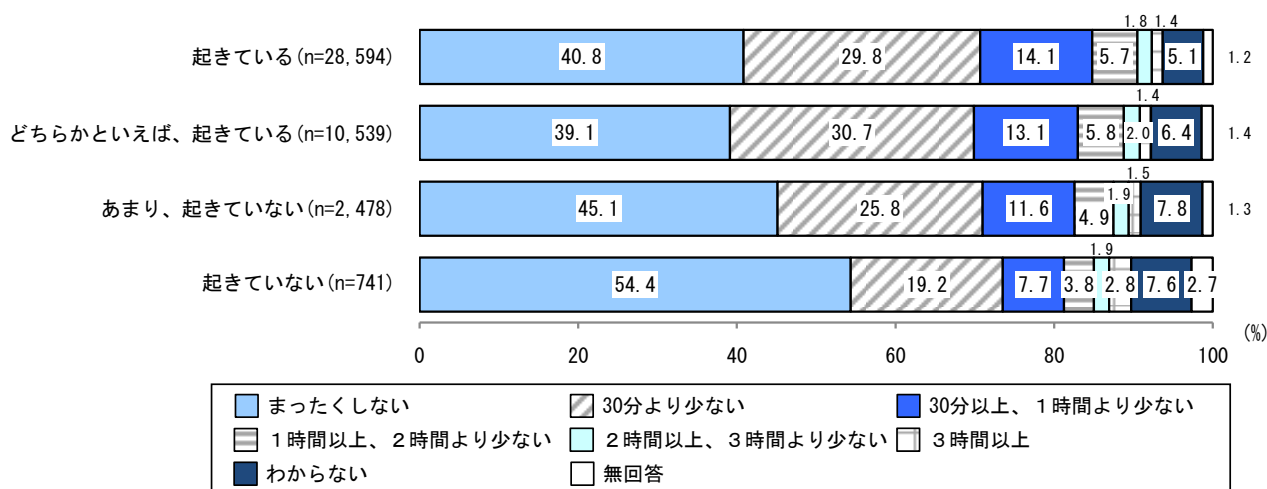


図 105. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

朝食の頻度別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、毎日またはほとんど毎日食べている人は、「30分より少ない」と回答した割合が23.8%で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問2×子ども票問15）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

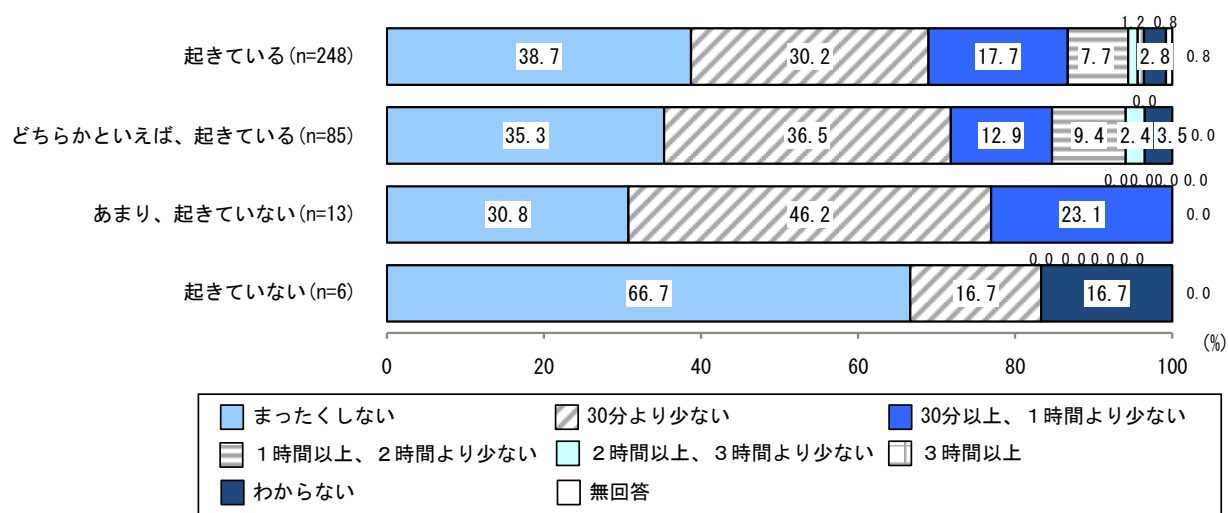
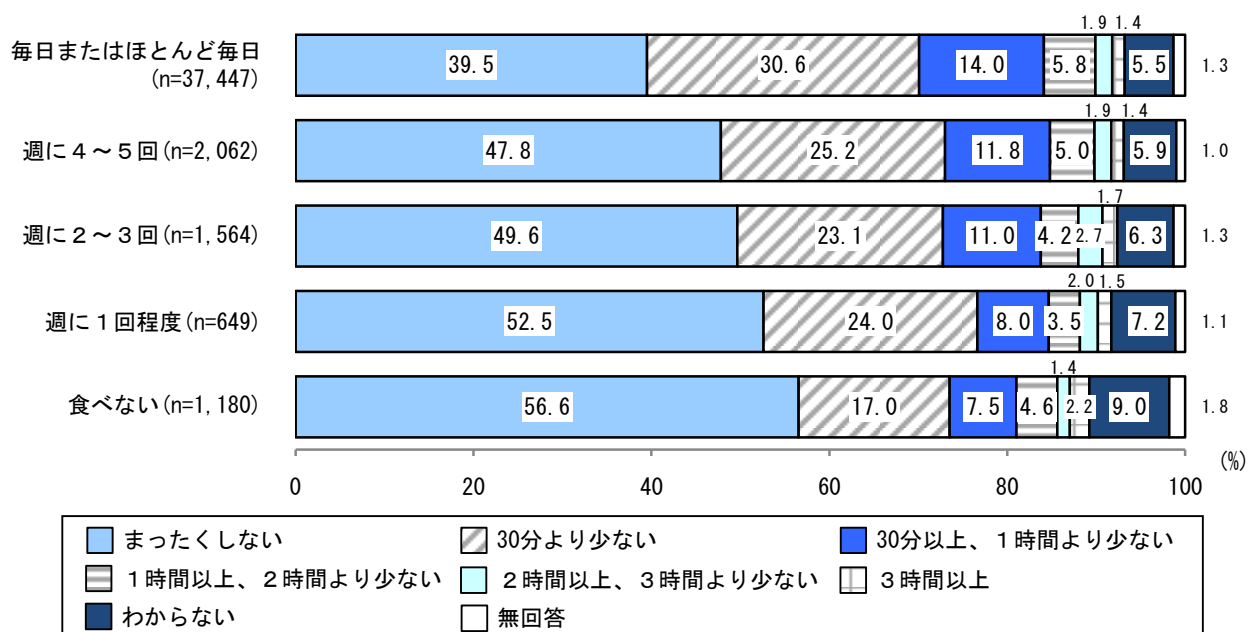


図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、起きていない人では、「まったくしない」と回答した人は66.7%と最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問4(1)×子ども票問15)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

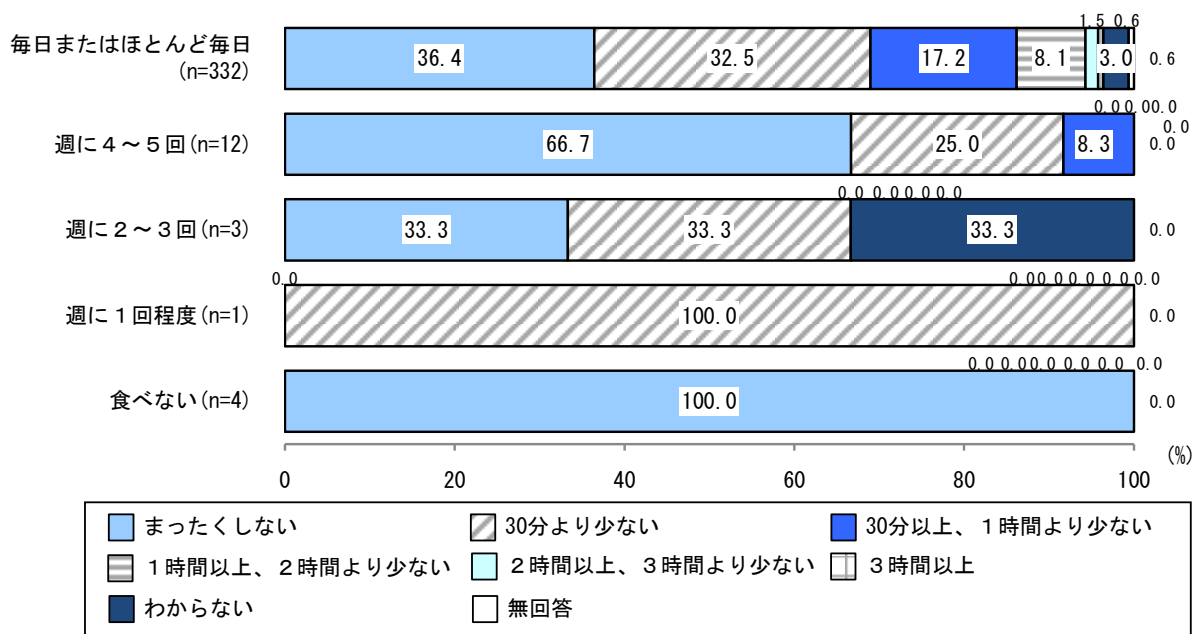
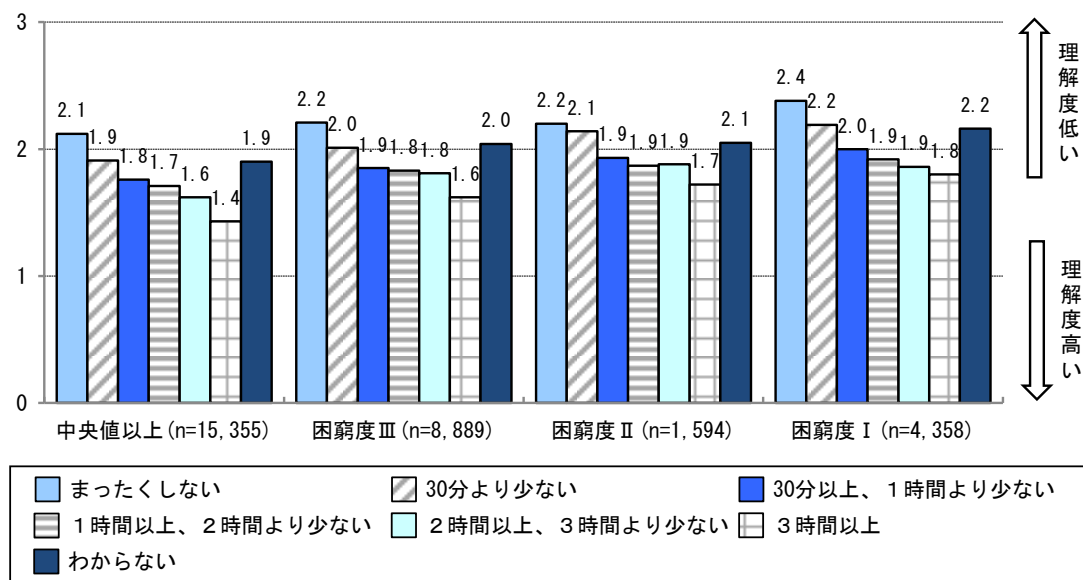


図 107. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、毎日またはほとんど毎日食べる人では「まったくしない」と回答した割合が36.4%で最も多くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連
（子ども票問14(1)×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

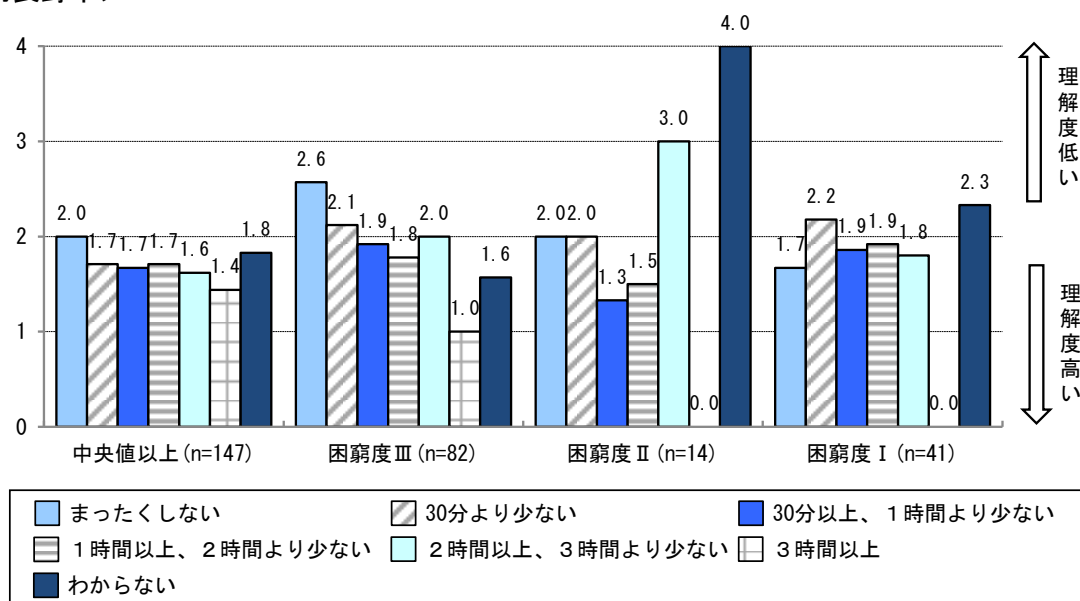
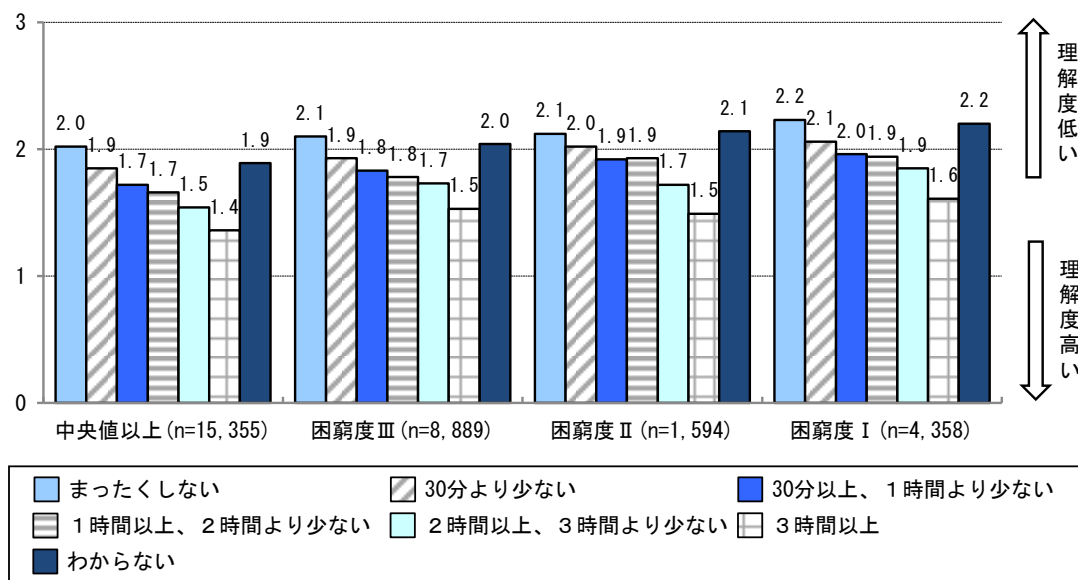


図 108. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群の子どもは、学習時間と学習理解度が関連しない。

困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連
（子ども票問14(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

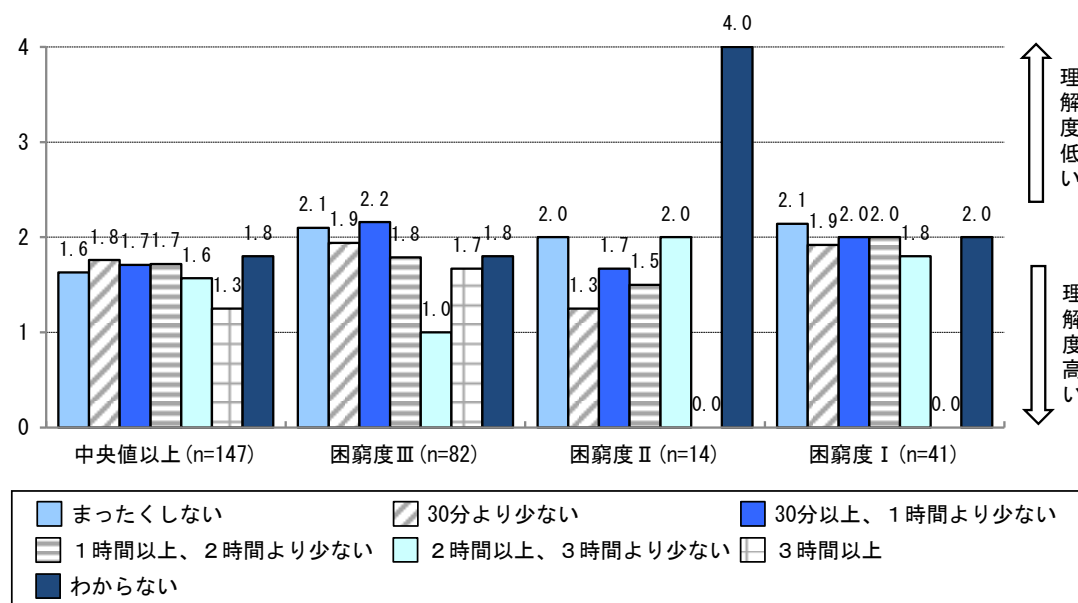
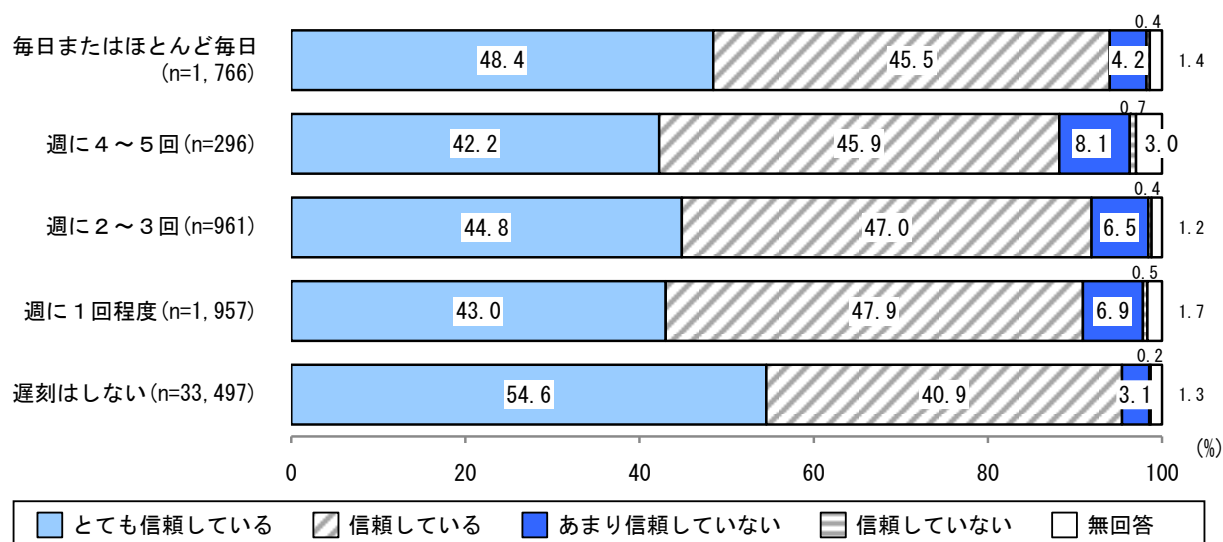


図 109. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、概ね勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群の子どもは学習時間と学習理解度が関連しない。

学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問7×保護者票問13(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

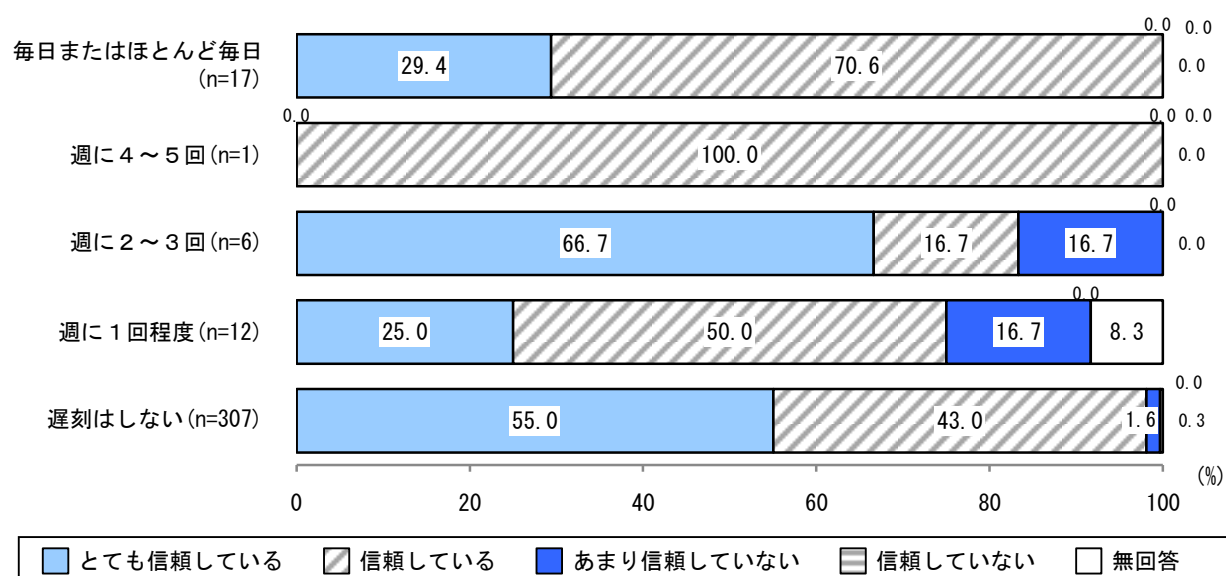
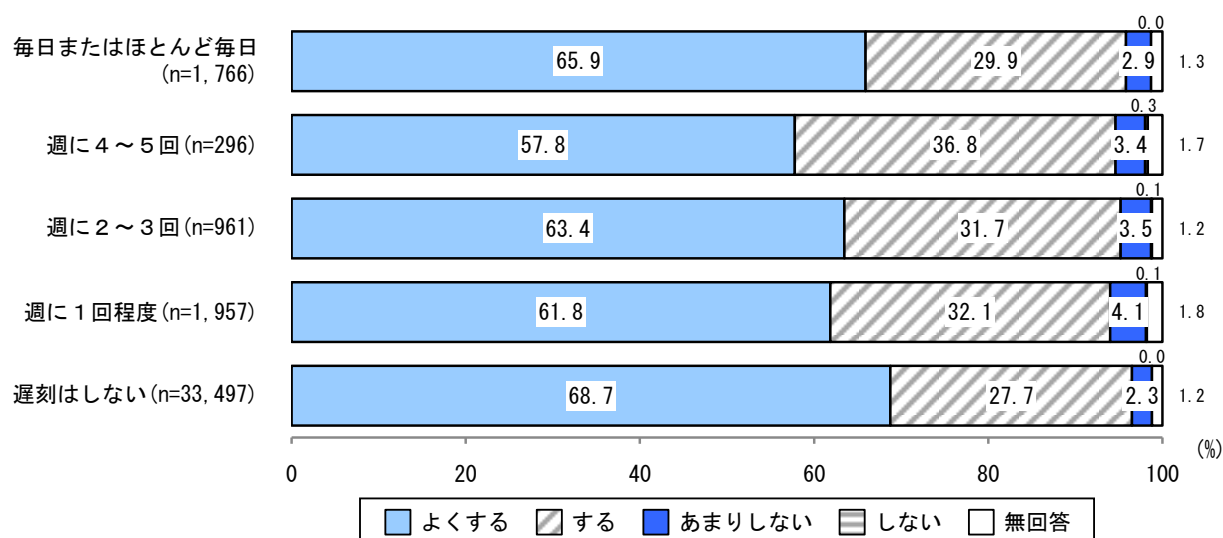


図 110. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度

学校への遅刻別に子どもへの信頼度を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、「とても信頼している」の割合が高く、55.0%である。「週に2～3回」、「週に1回程度」の子どもにおいては、「あまり信頼していない」の割合が高く、いずれも16.7%である。

学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問7×保護者票問13(2)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

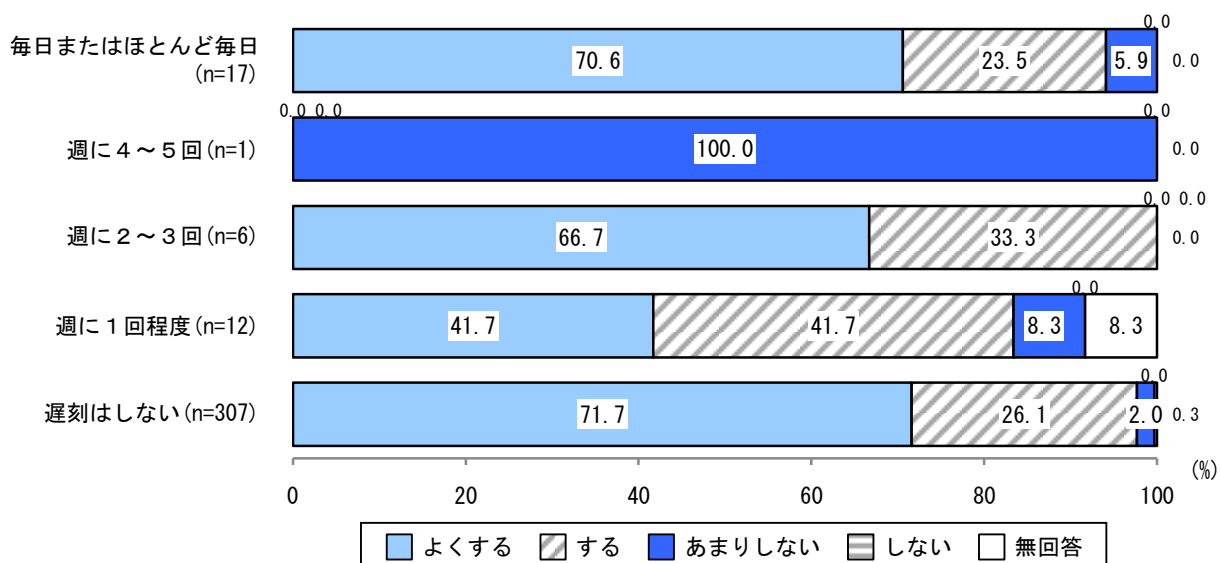
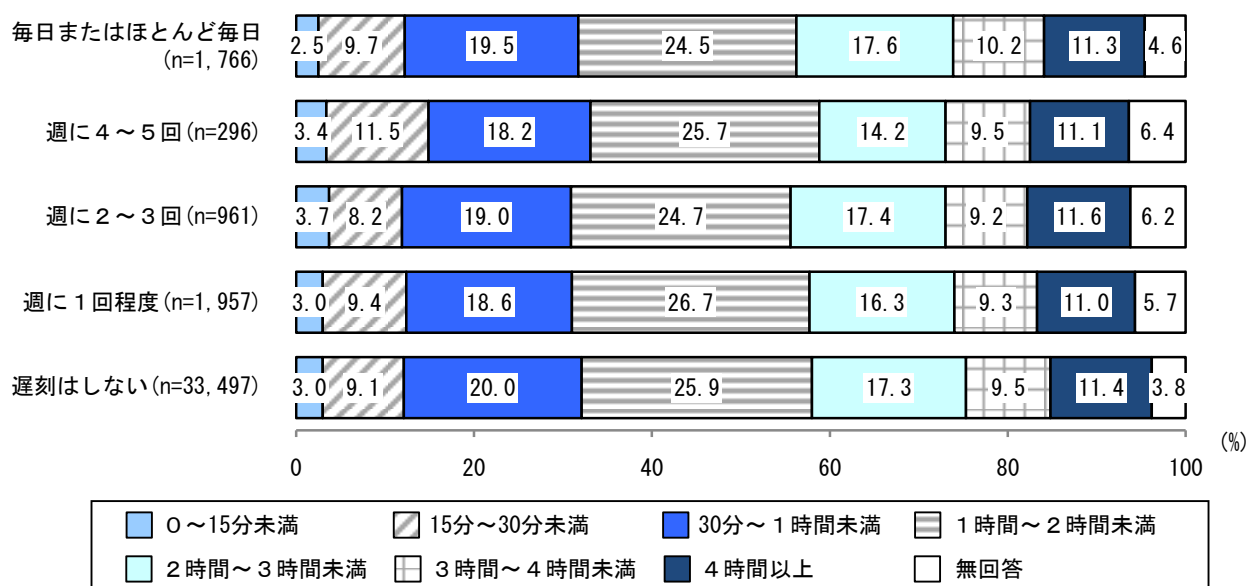


図 111. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度

学校への遅刻別に子どもとの会話頻度を見ると、会話を「よくする」と回答した割合は、「遅刻はしない」「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいて高く、それぞれ71.7%、70.6%である。

学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

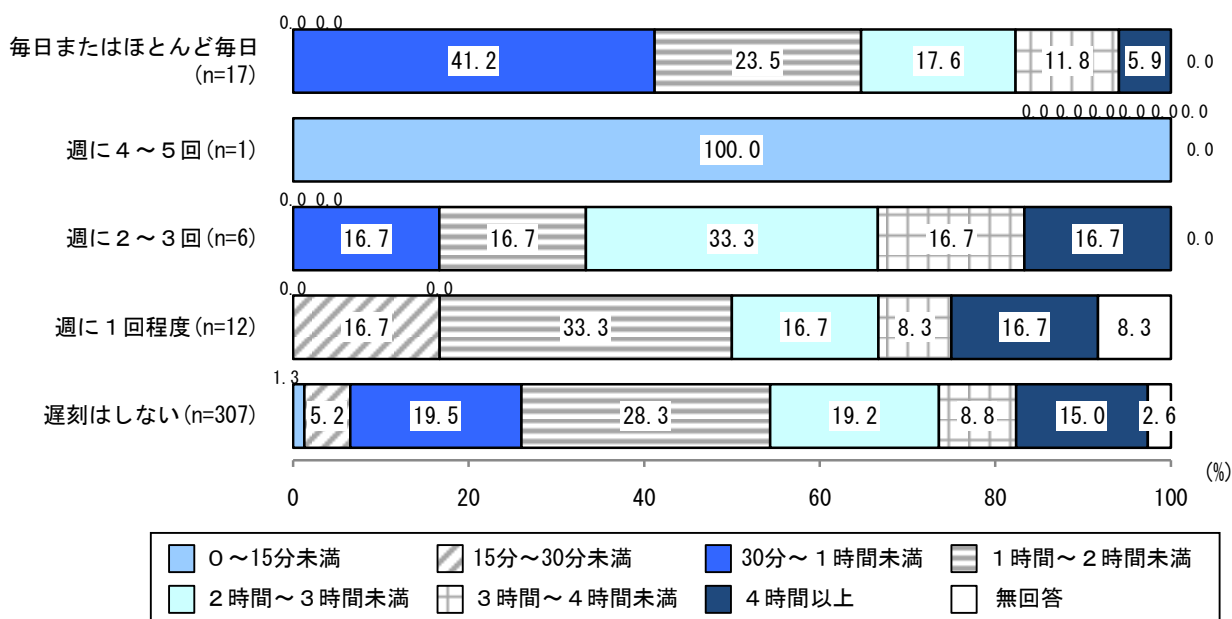
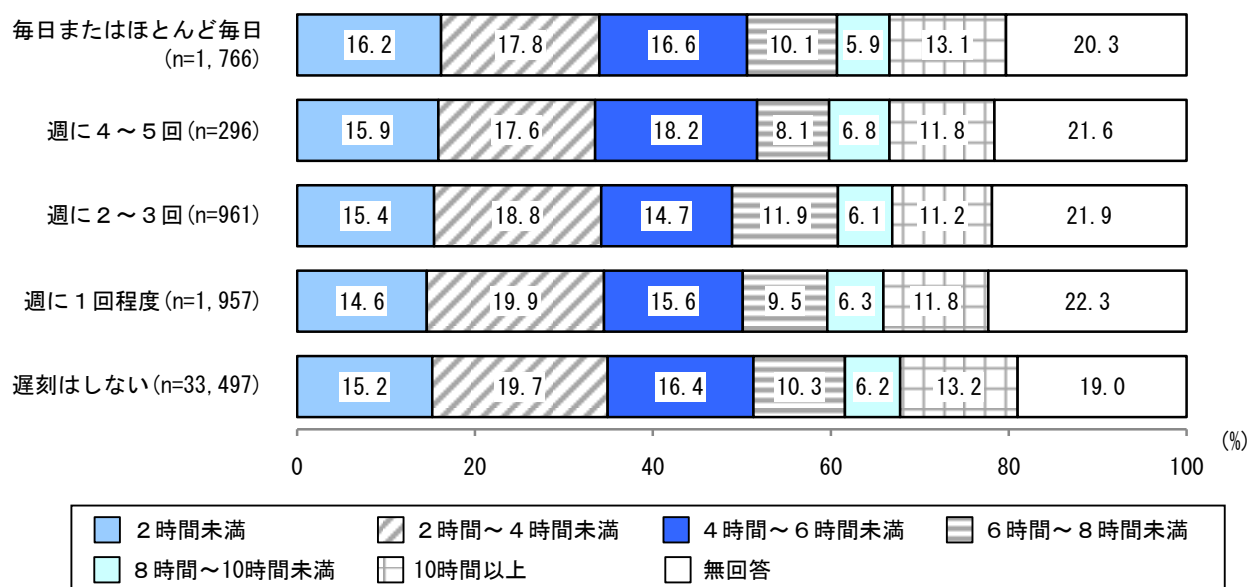


図 112. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいて、「30分～1時間未満」と回答した人の割合が41.2%で最も高くなっている。「遅刻はしない」子どもでは、「1時間～2時間未満」と回答した人の割合が28.3%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

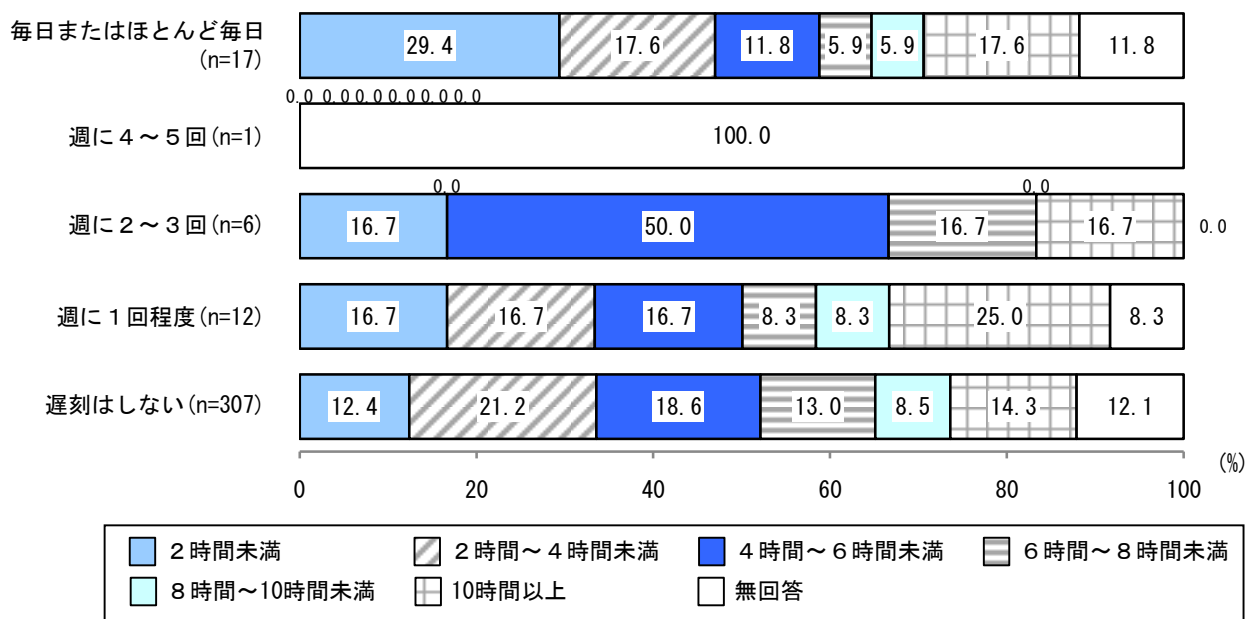
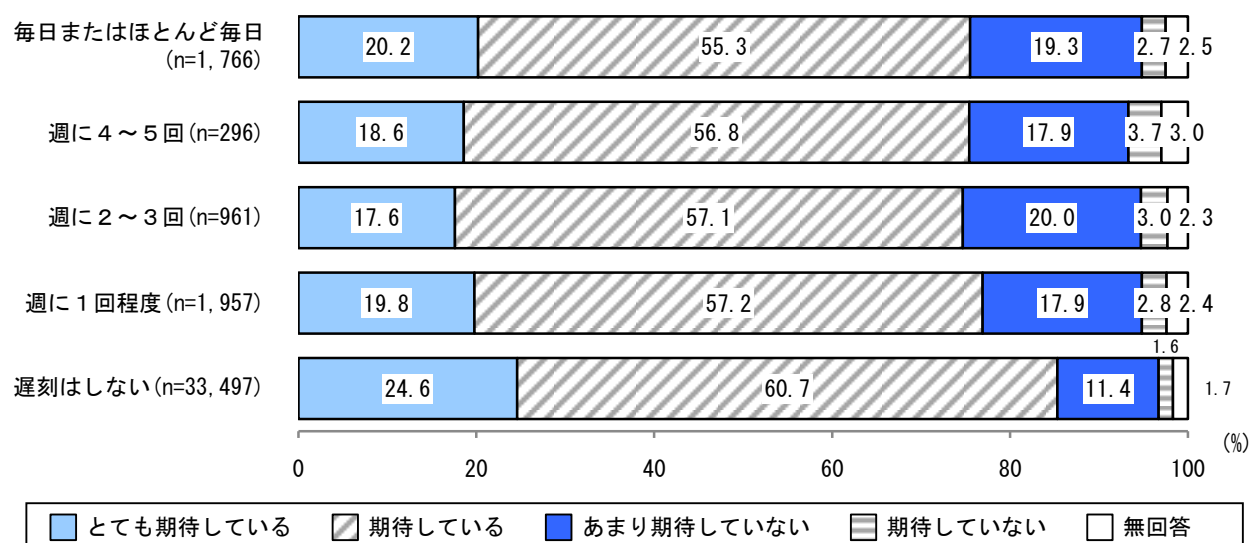


図 113. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいて、「2時間未満」（29.4%）が最も高くなっている。「遅刻はしない」の子どもにおいては、「2時間～4時間未満」（21.2%）が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

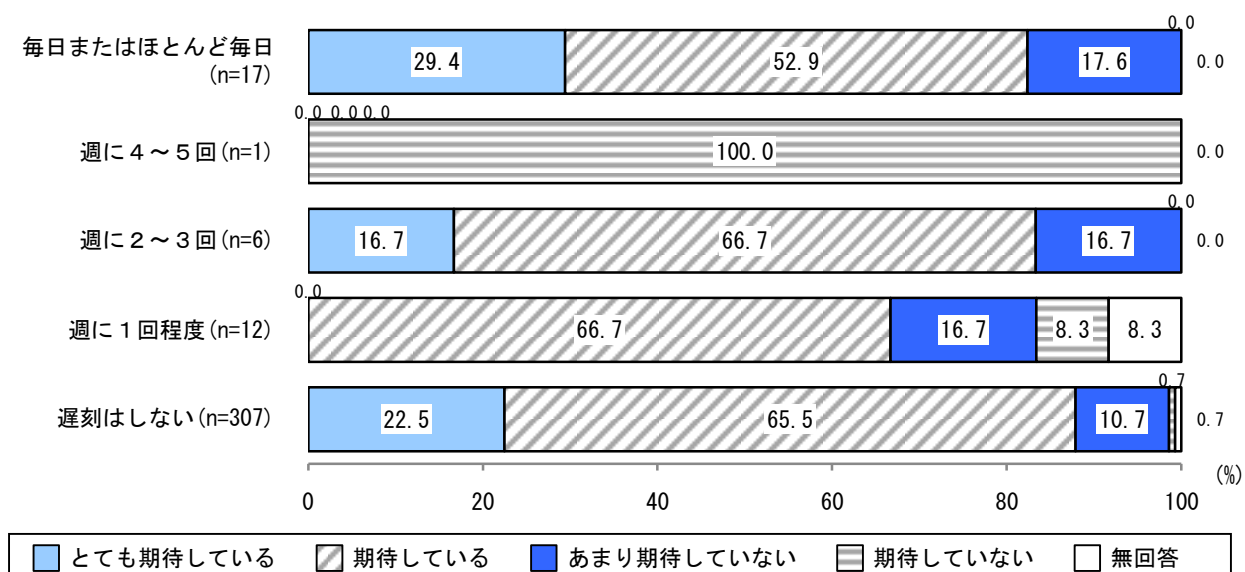
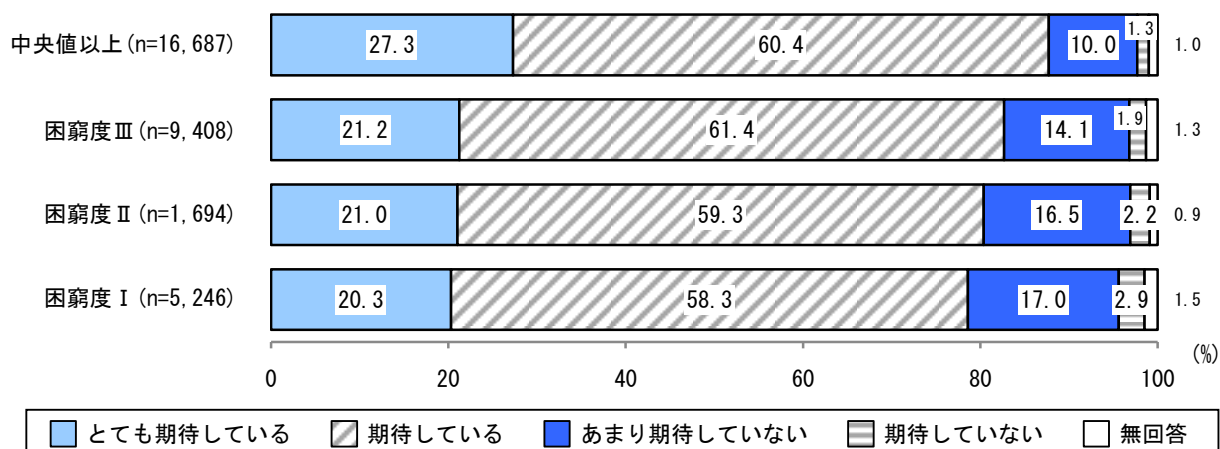


図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度

学校への遅刻別に子どもの将来への期待度を見ると、「とても期待している」の割合は、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいて29.4%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの将来への期待度（保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

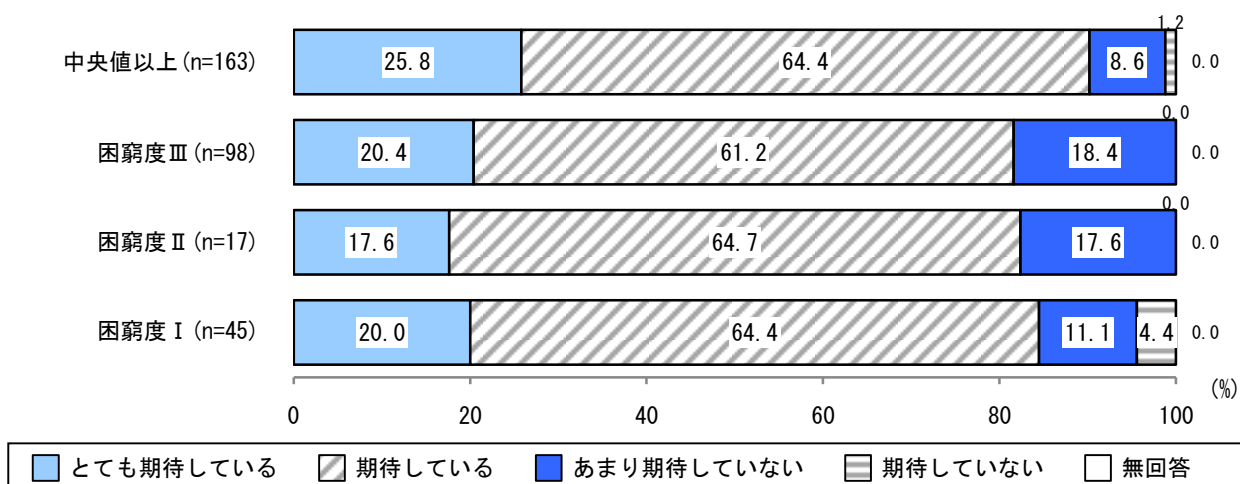
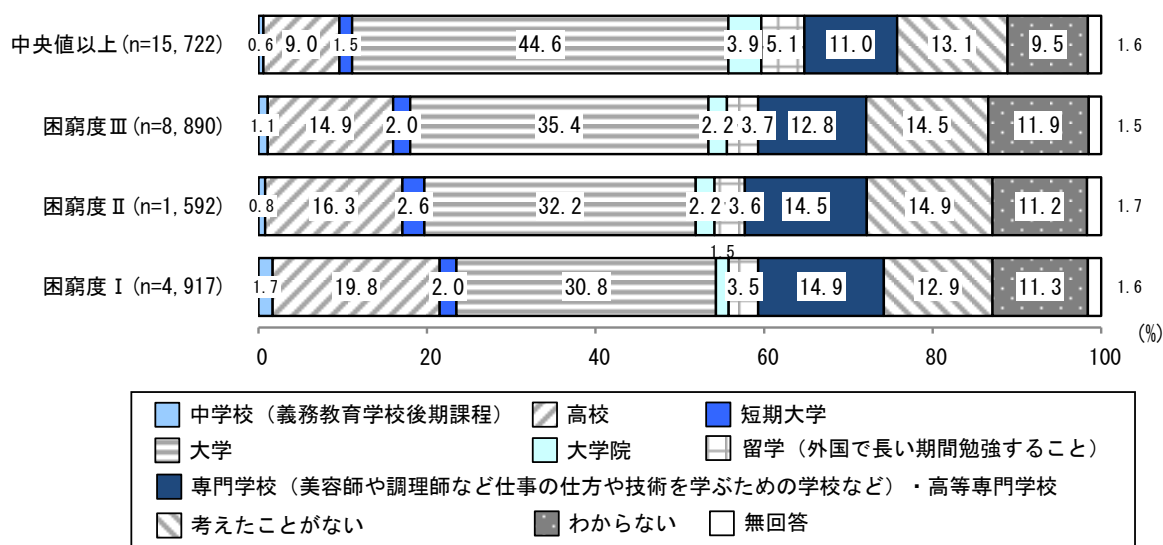


図 115. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度

困窮度別に子どもの将来への期待度を見ると、困窮度が高まるにつれ、「とても期待している」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅱ群が17.6%で最も低く、困窮度Ⅰ群ではやや高くなり20.0%となっている。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

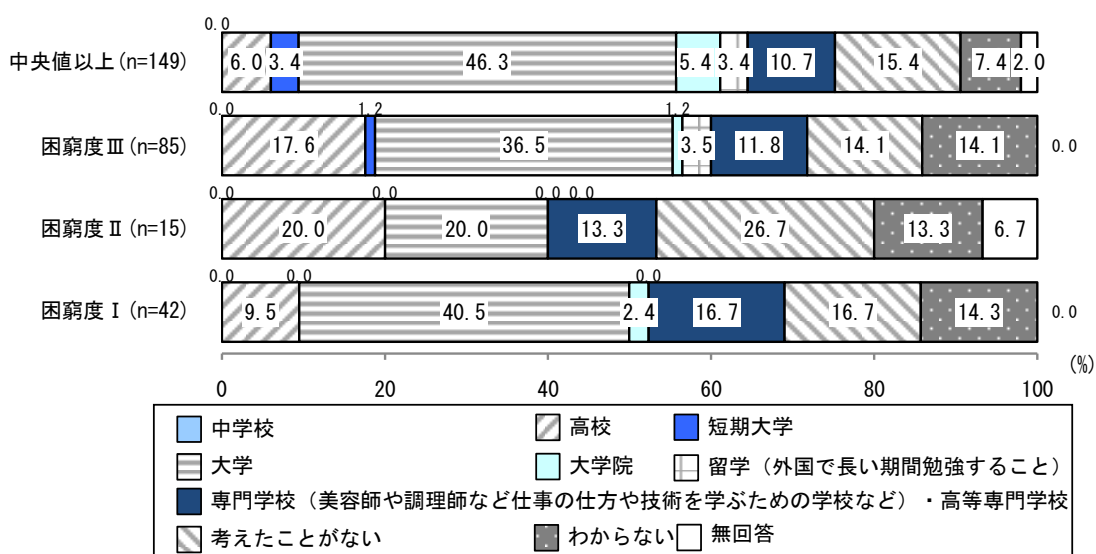
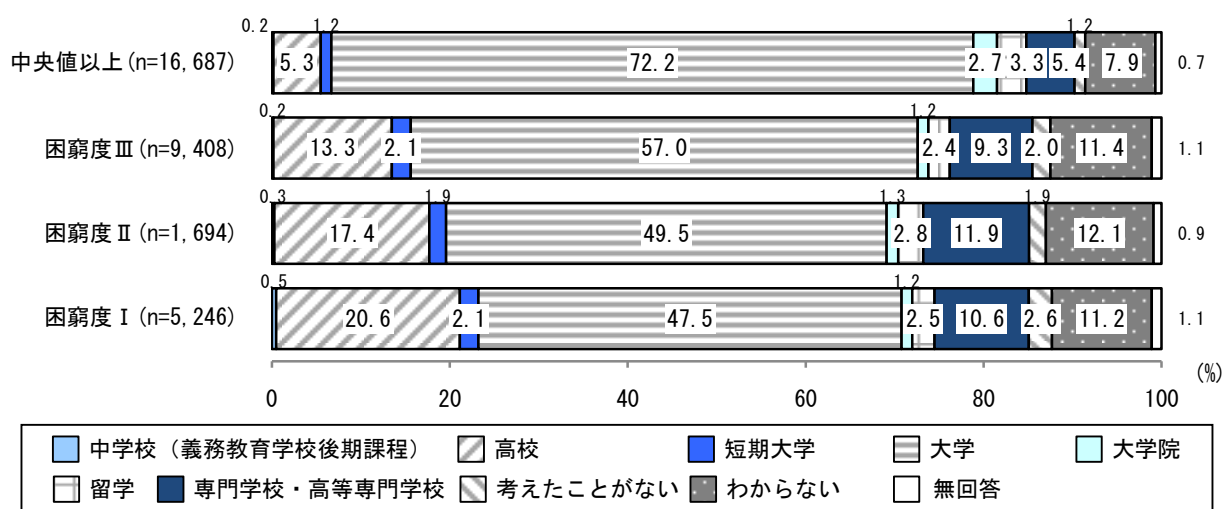


図 116. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度Ⅲ群及び困窮度Ⅱ群で高校卒業までの割合が高くなっている。「大学」と回答した割合は、中央値以上群において46.3%で最も高く、次いで困窮度Ⅰ群が40.5%となっている。

困窮度別に見た、子どもに希望する進学（保護者票問 14）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

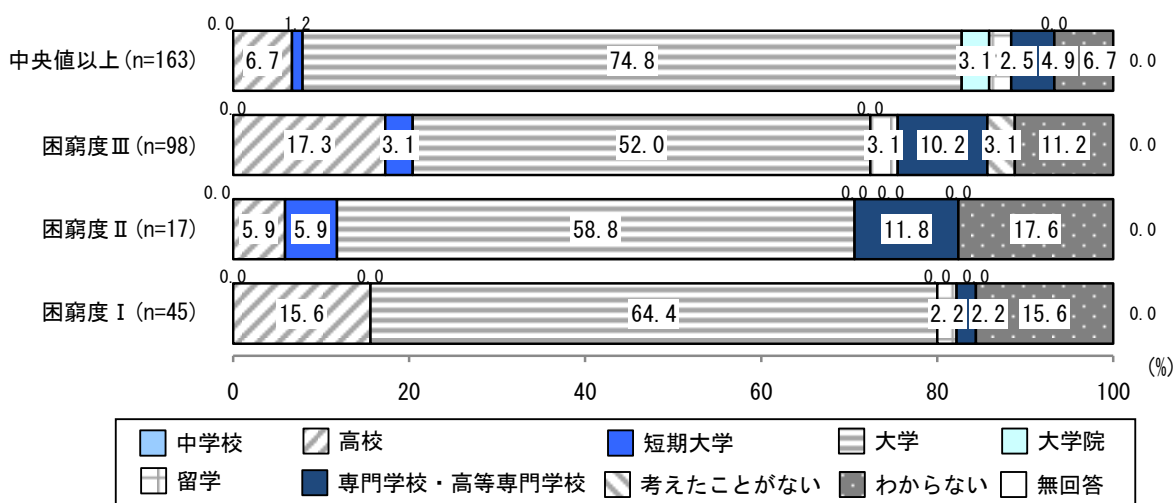
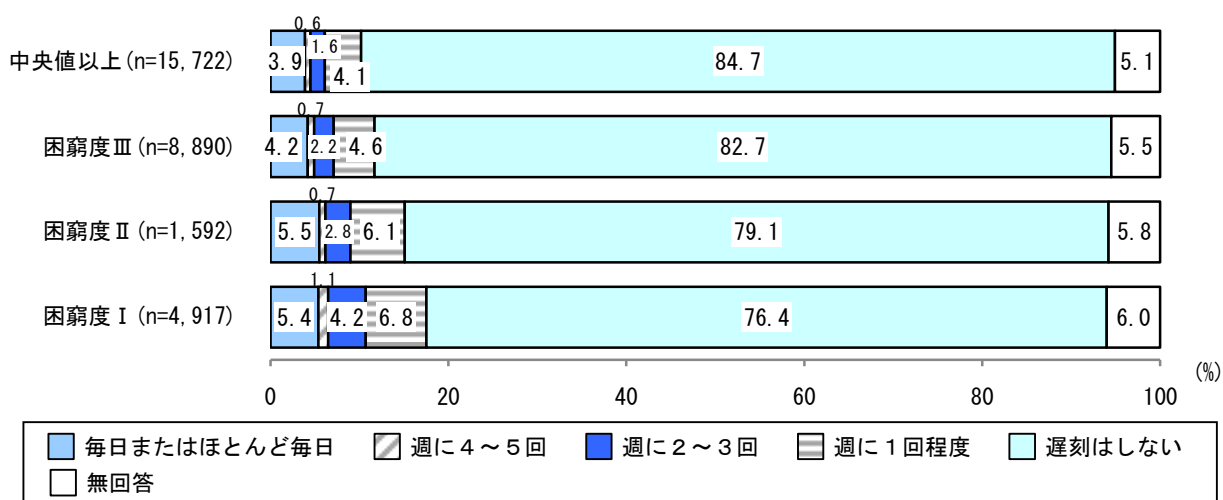


図 117. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度Ⅰ群では、「高校」と回答した人は合計15.6%である。中央値以上群において「大学」と回答した割合は最も高く、74.8%である。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票問7）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

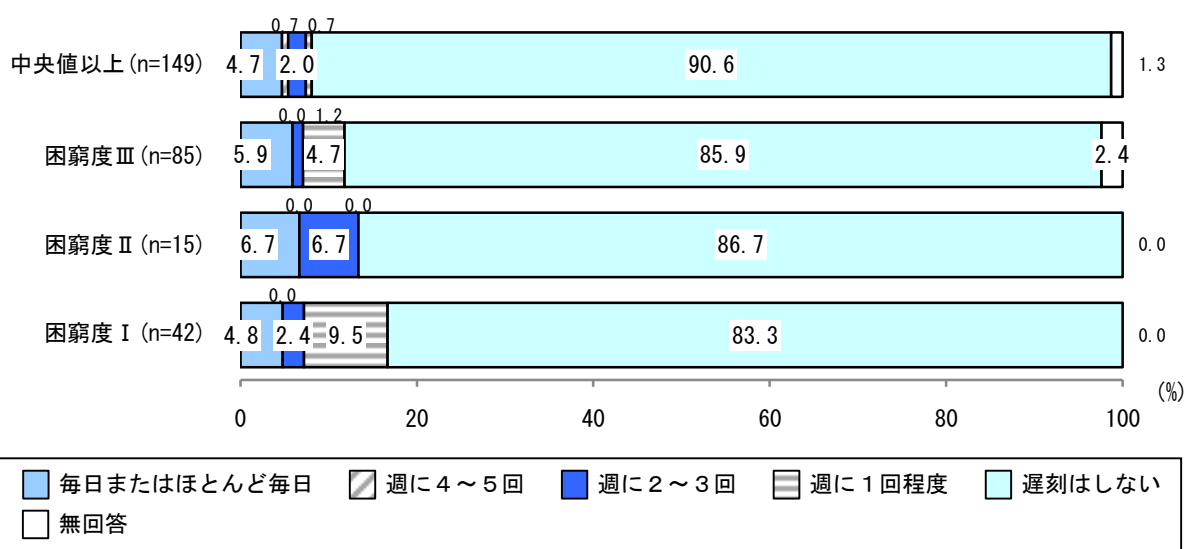
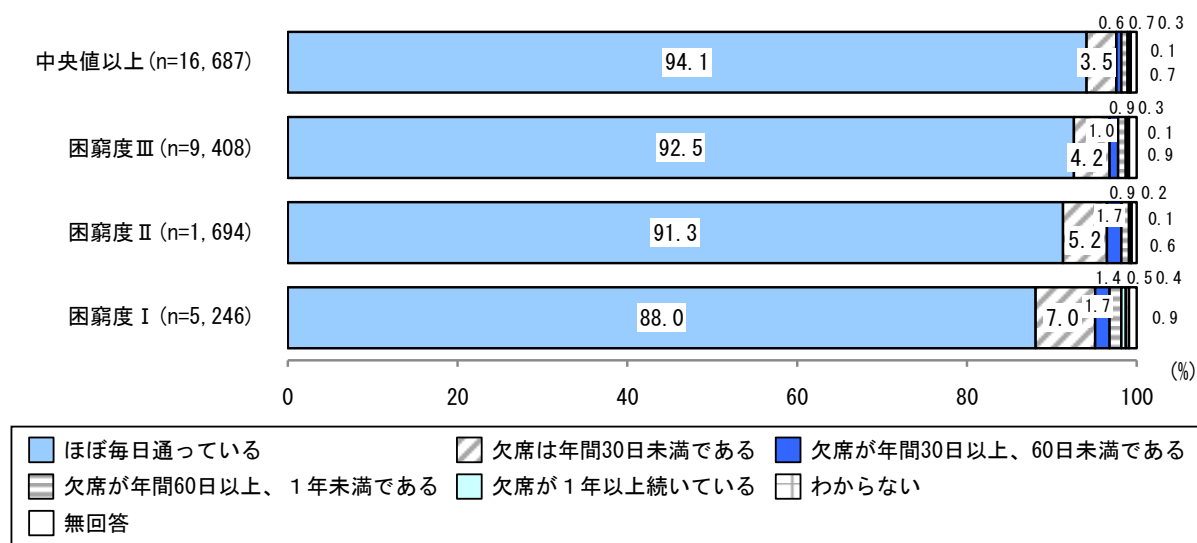


図 118. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、「毎日またはほとんど毎日」は困窮度Ⅱ群が6.7%と最も高くなっている。「週に1回程度」は困窮度Ⅰ群が9.5%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票問 15）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

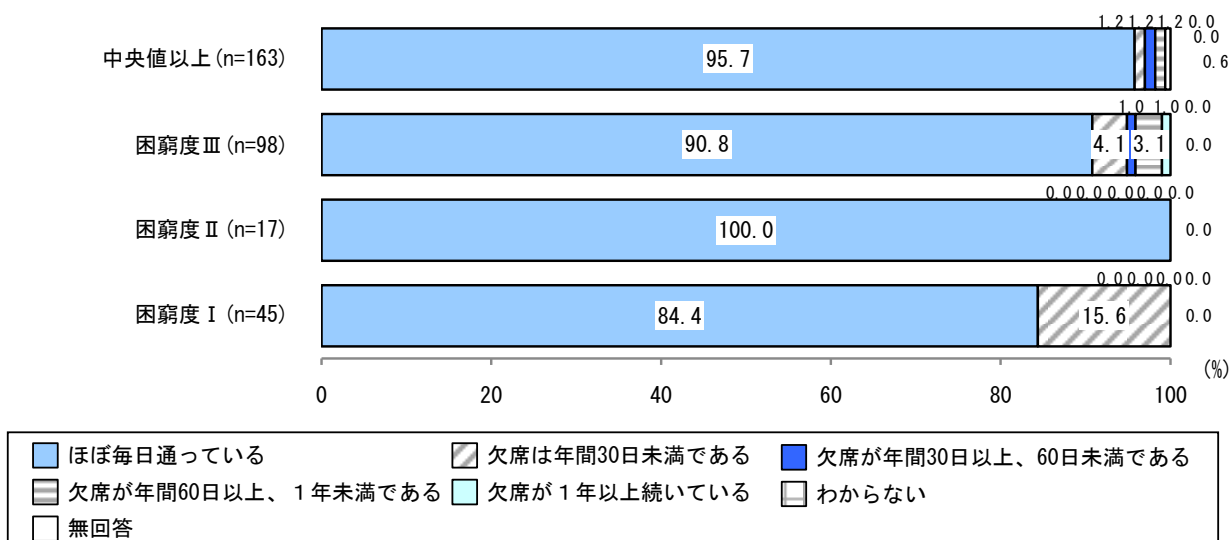
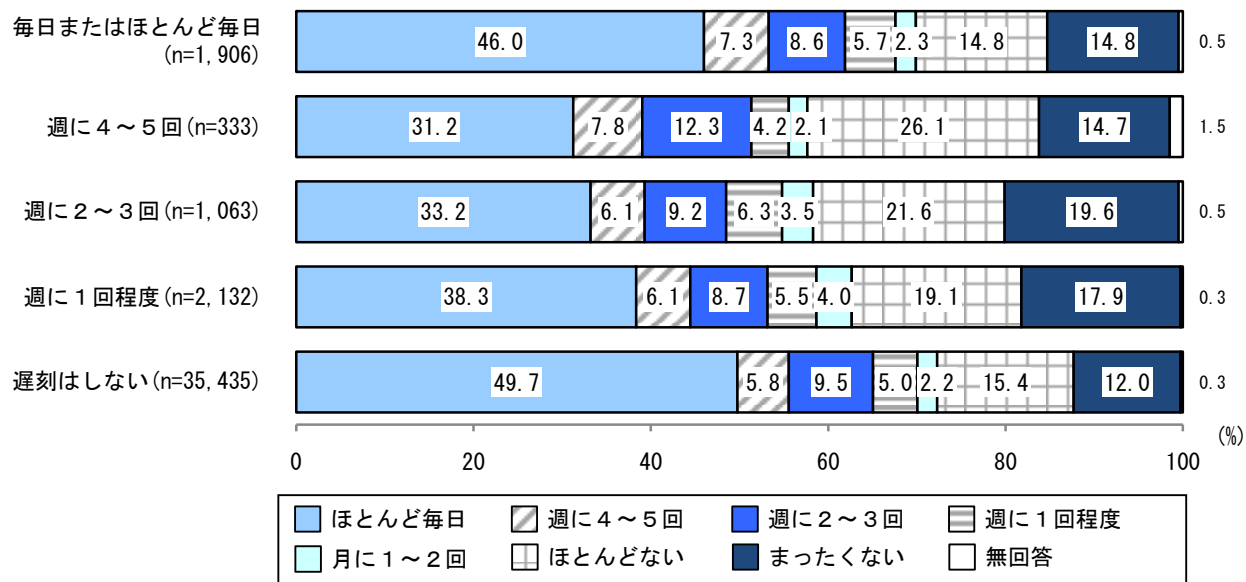


図 119. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の割合は、困窮度Ⅰ群が84.4%と最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8①)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

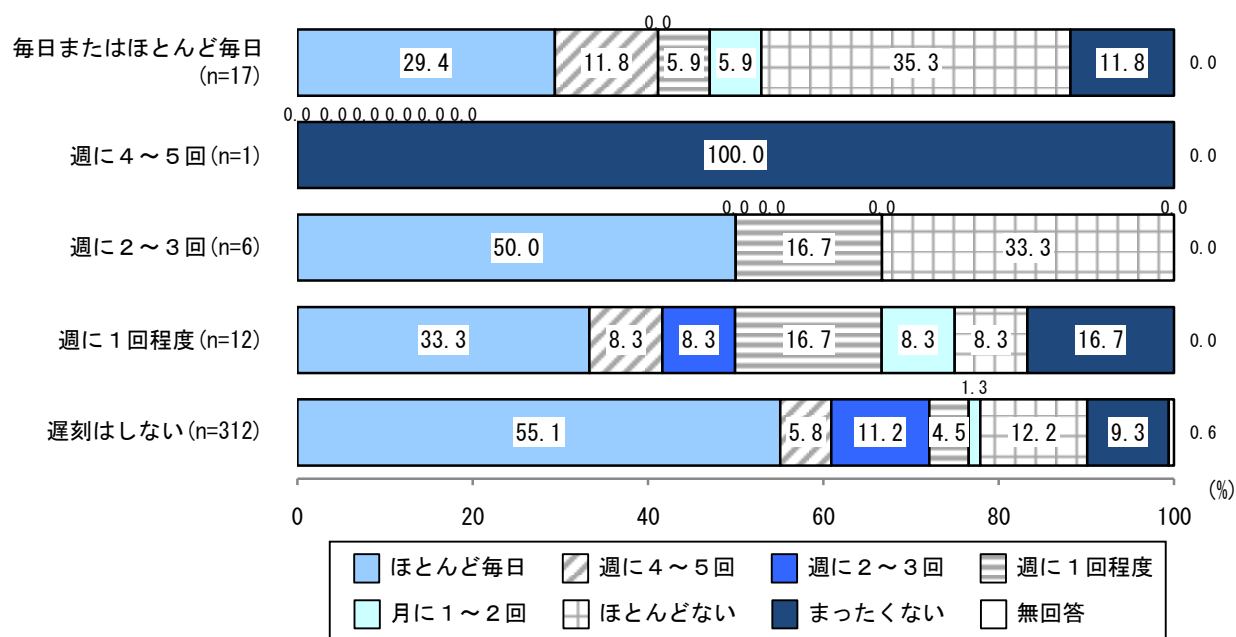
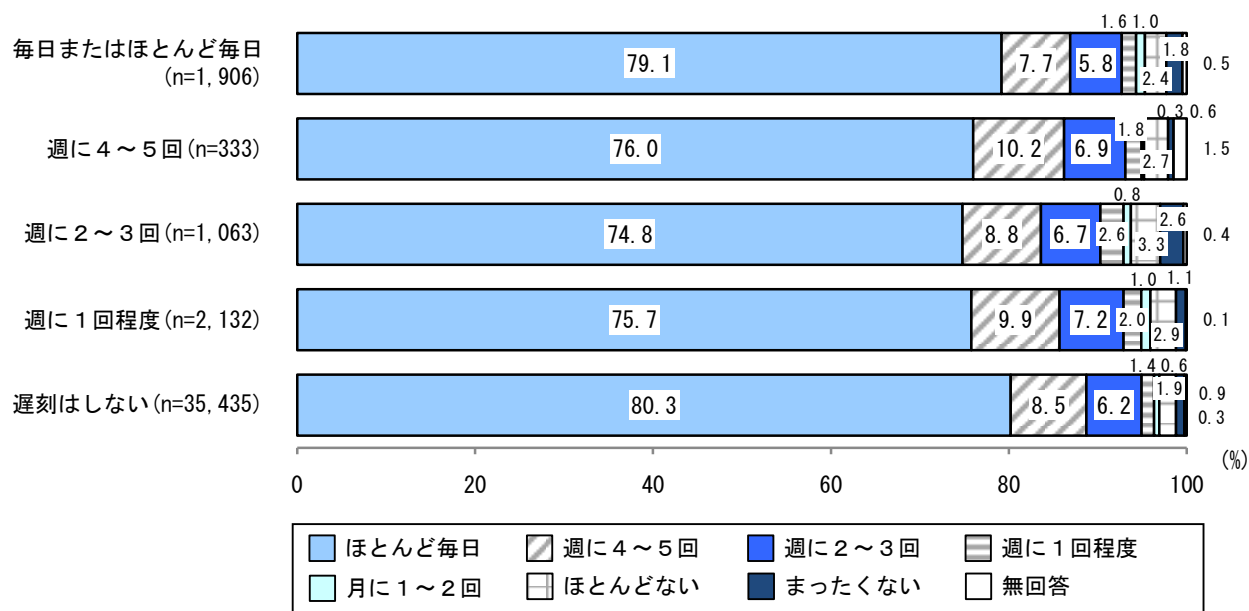


図 120. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻はしない子どもが55.1%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は週に1回程度遅刻をしている子どもの割合が16.7%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8②)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

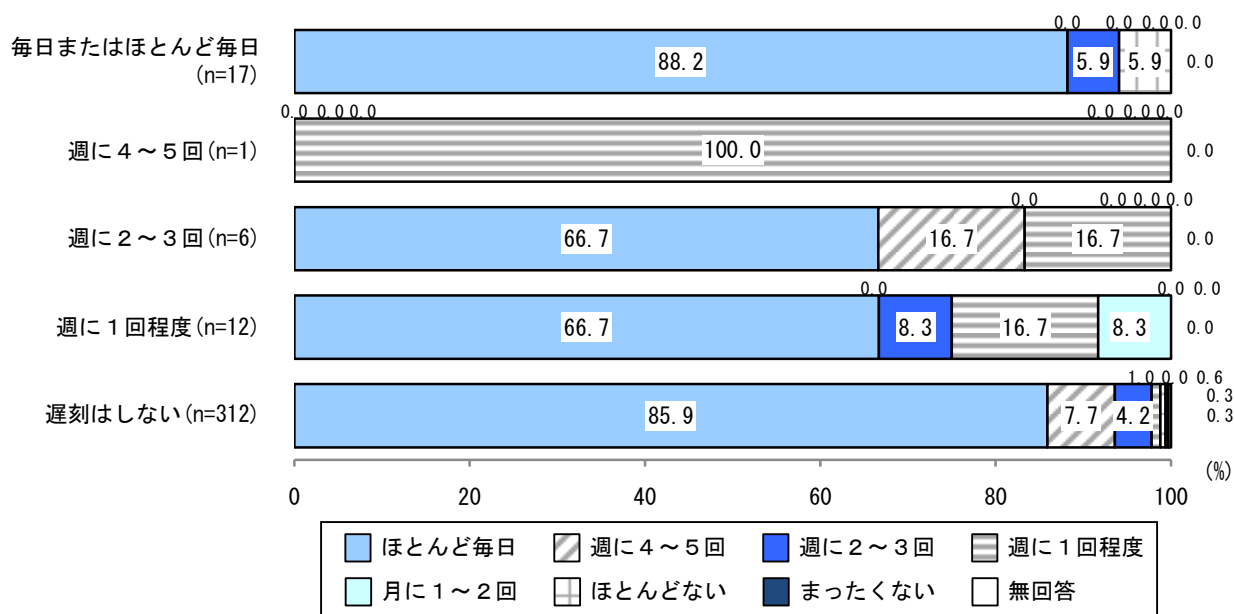
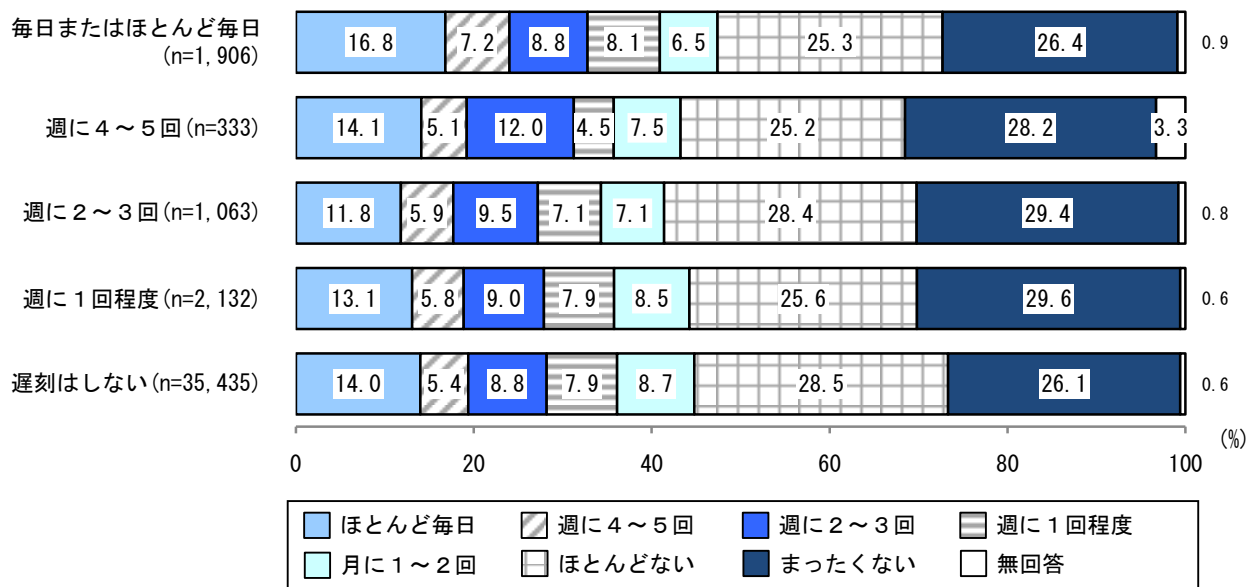


図 121. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻はしない子どもが85.9%で割合が最も高く、一方で、「ほとんどない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が5.9%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（子ども票問7×保護者票問8⑤）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

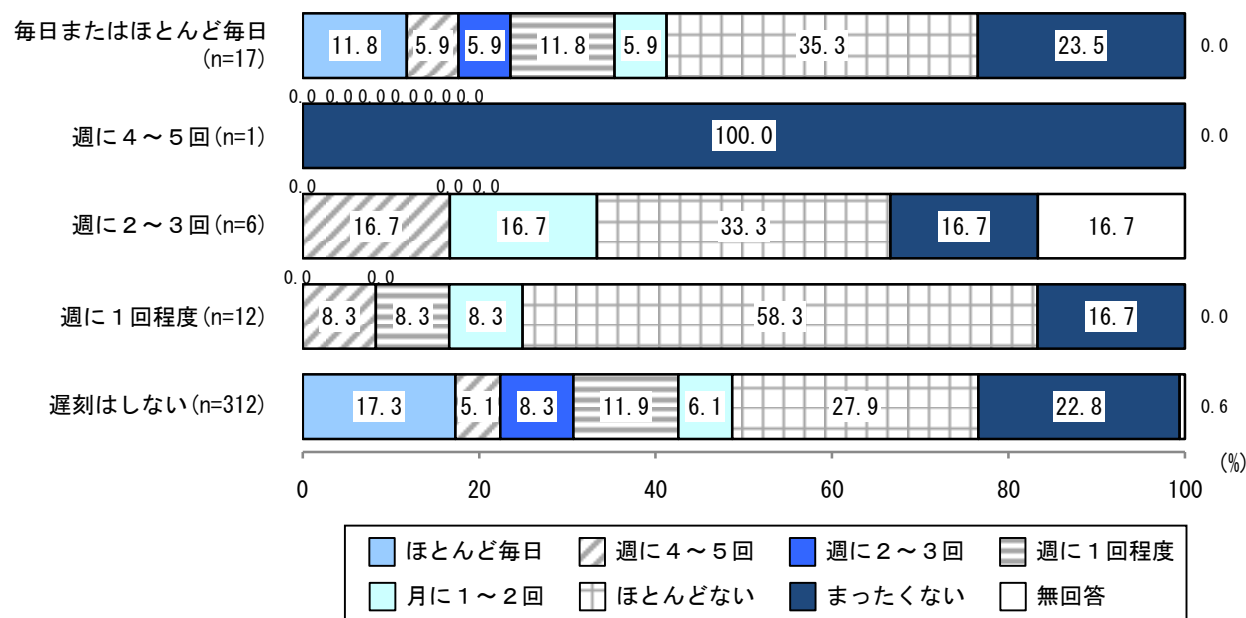
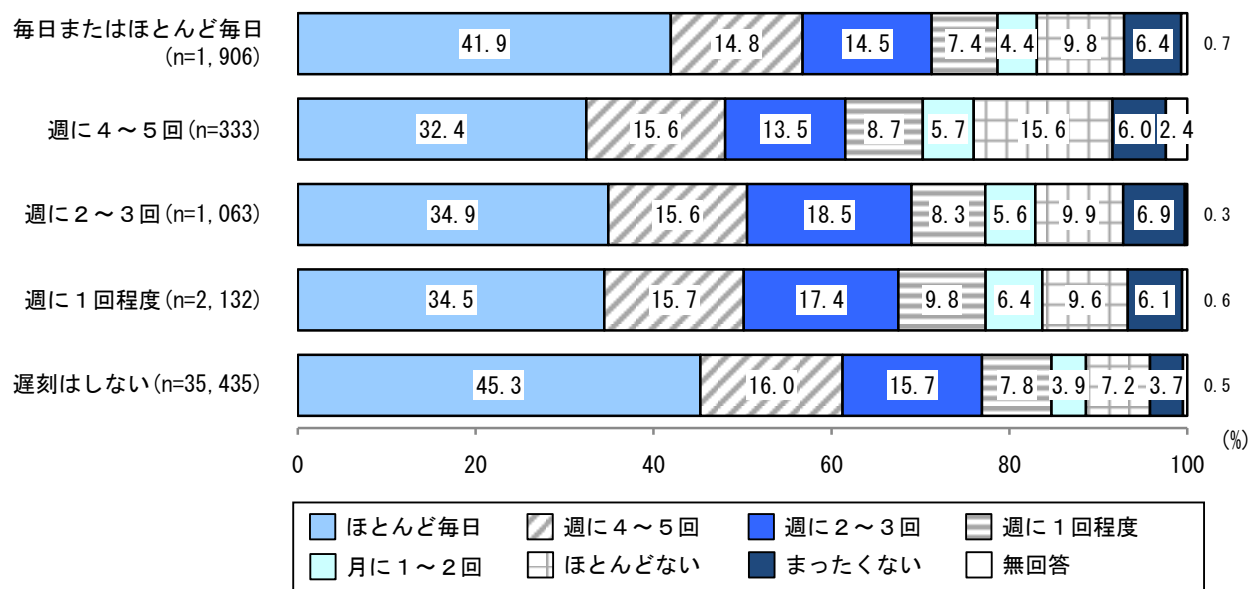


図 122. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

学校への遅刻別におうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻はしない子どもが17.3%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が23.5%で高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑥)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

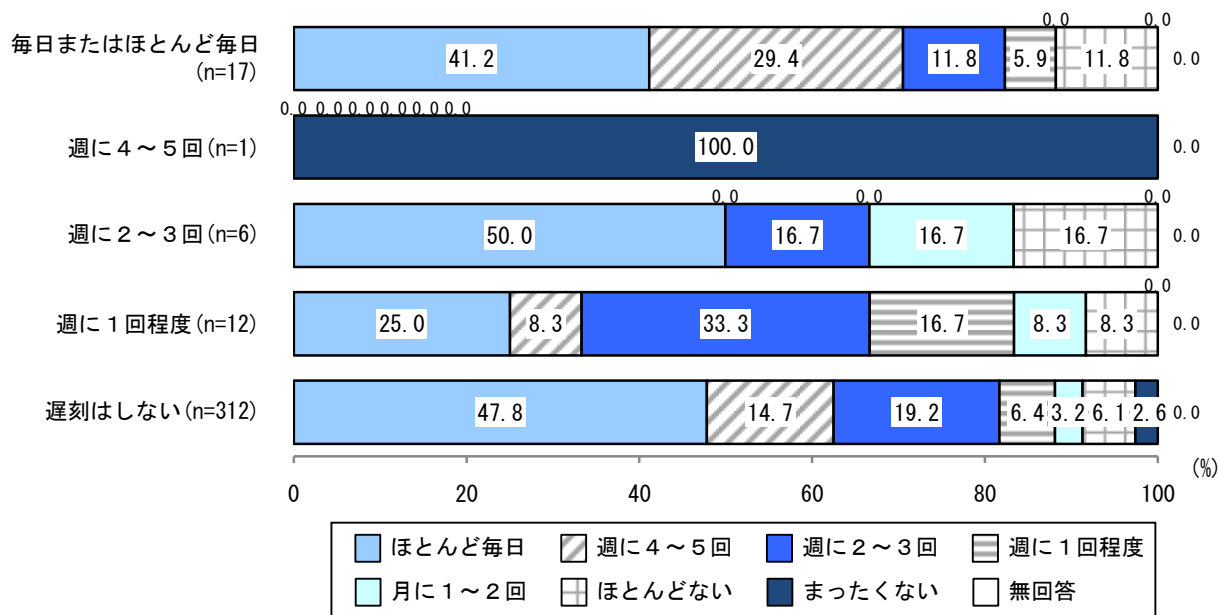
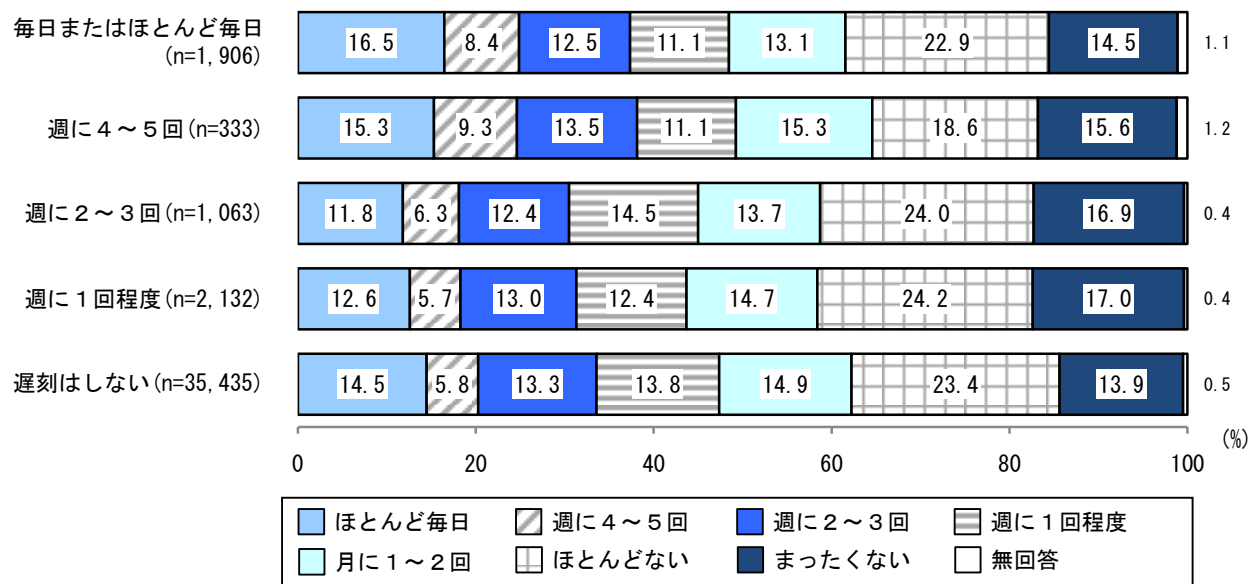


図 123. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に2～3回遅刻をしている子どもが50.0%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は遅刻をしない子どもの割合が2.6%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(子ども票問7×保護者票問8⑦)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

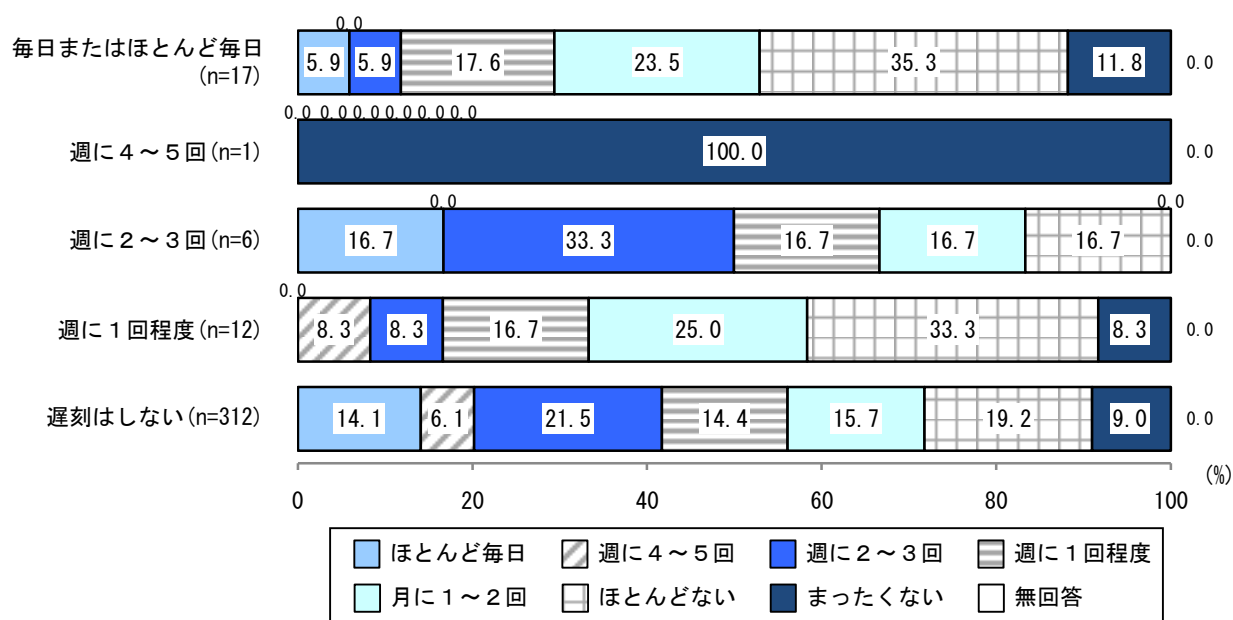
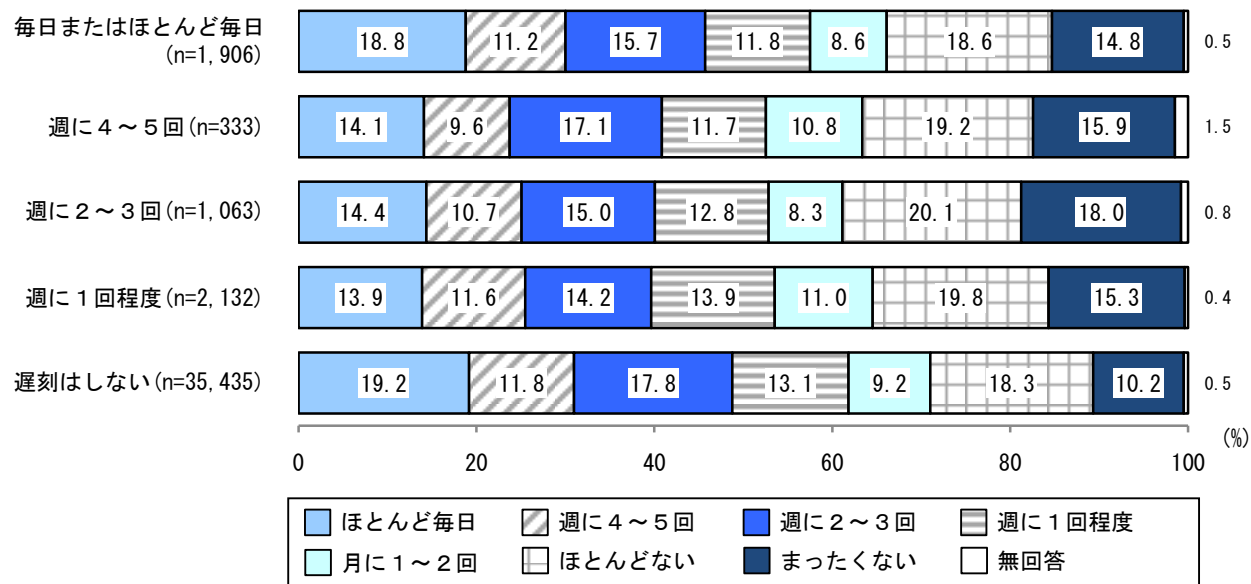


図 124. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に2～3回遅刻をしている子どもが16.7%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が11.8%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑧)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

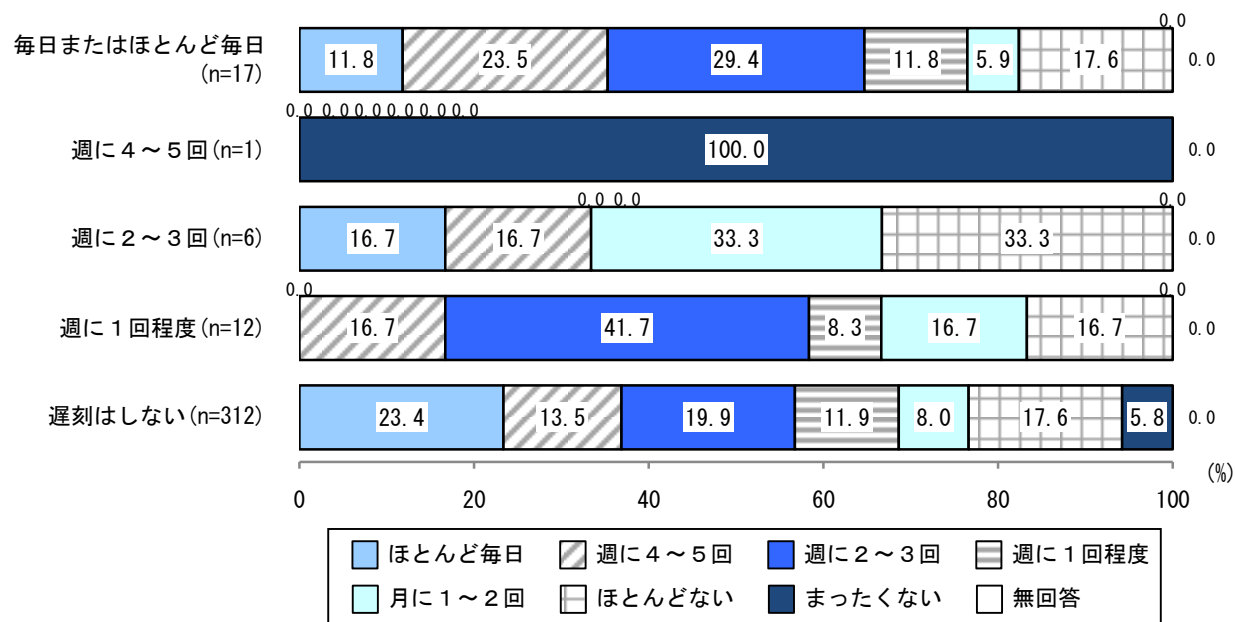
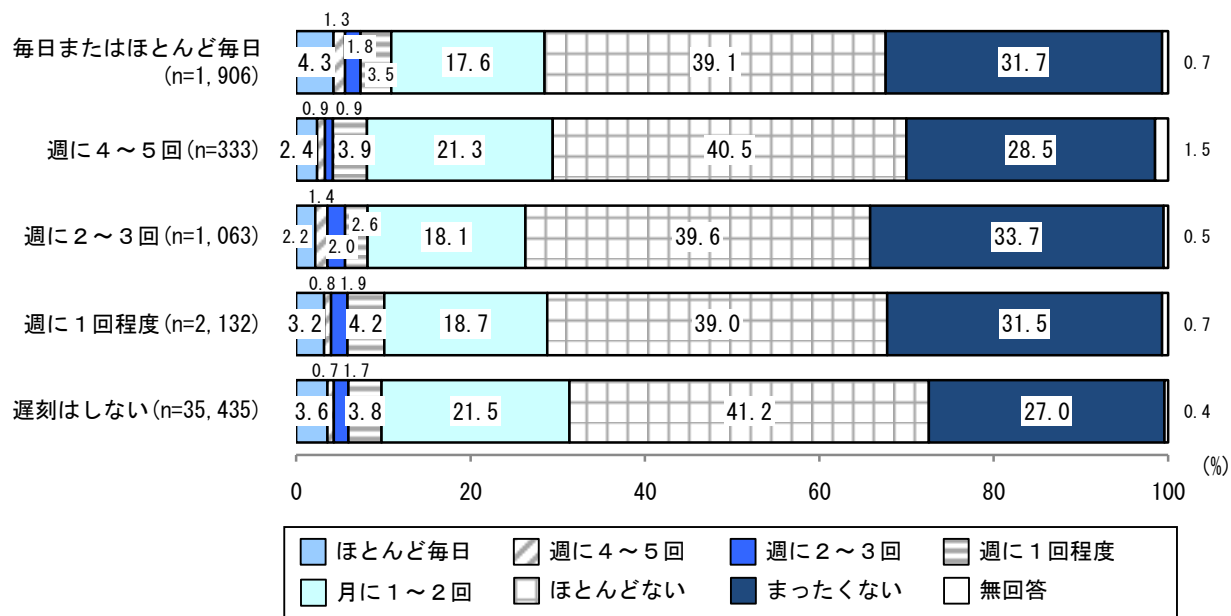


図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻はしない子どもが23.4%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」も遅刻はしない子どもの割合が5.8%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか
(子ども票問7×保護者票問8⑨)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

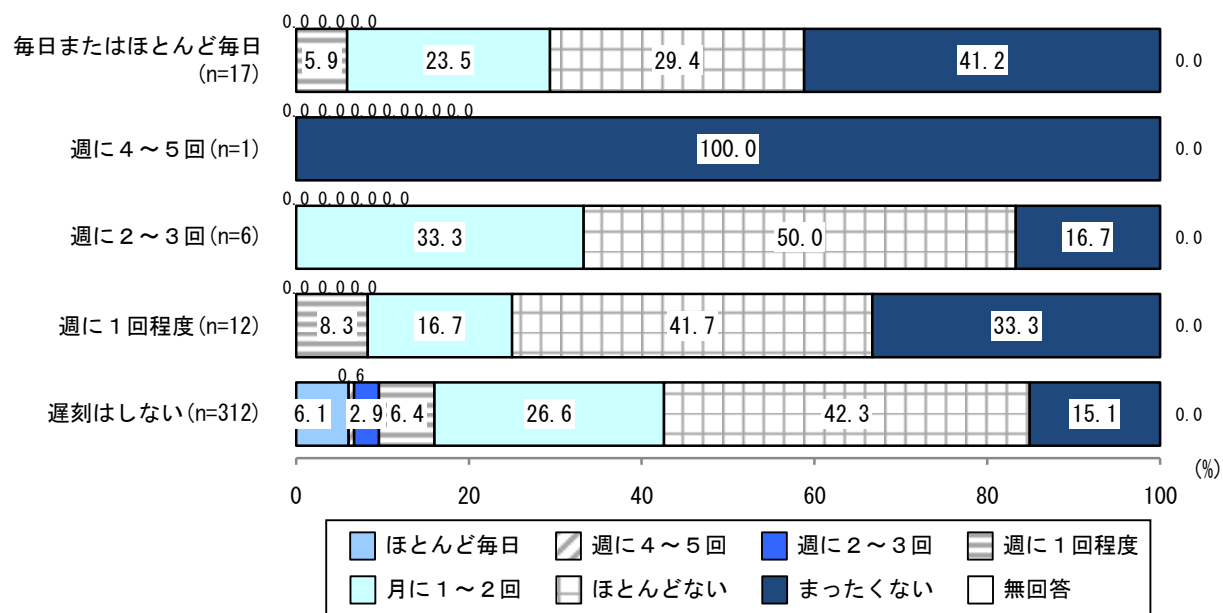
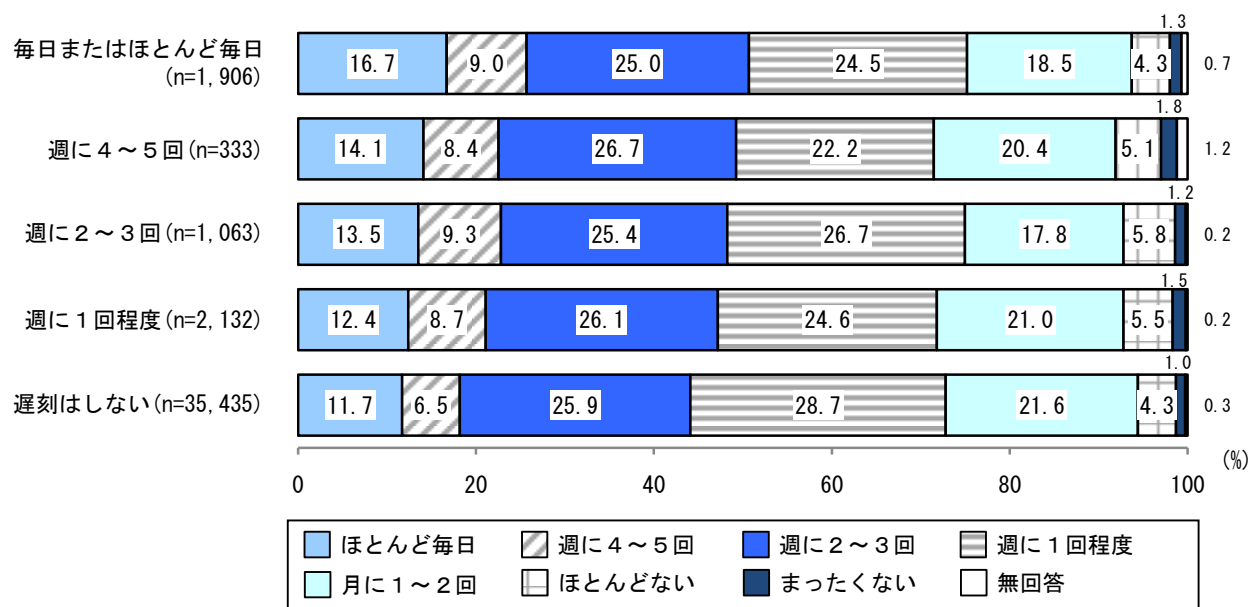


図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「まったくない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が41.2%で最も高く、「ほとんどない」は週に2～3回遅刻をしている子どもの割合が50.0%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(子ども票問7×保護者票問8⑩)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

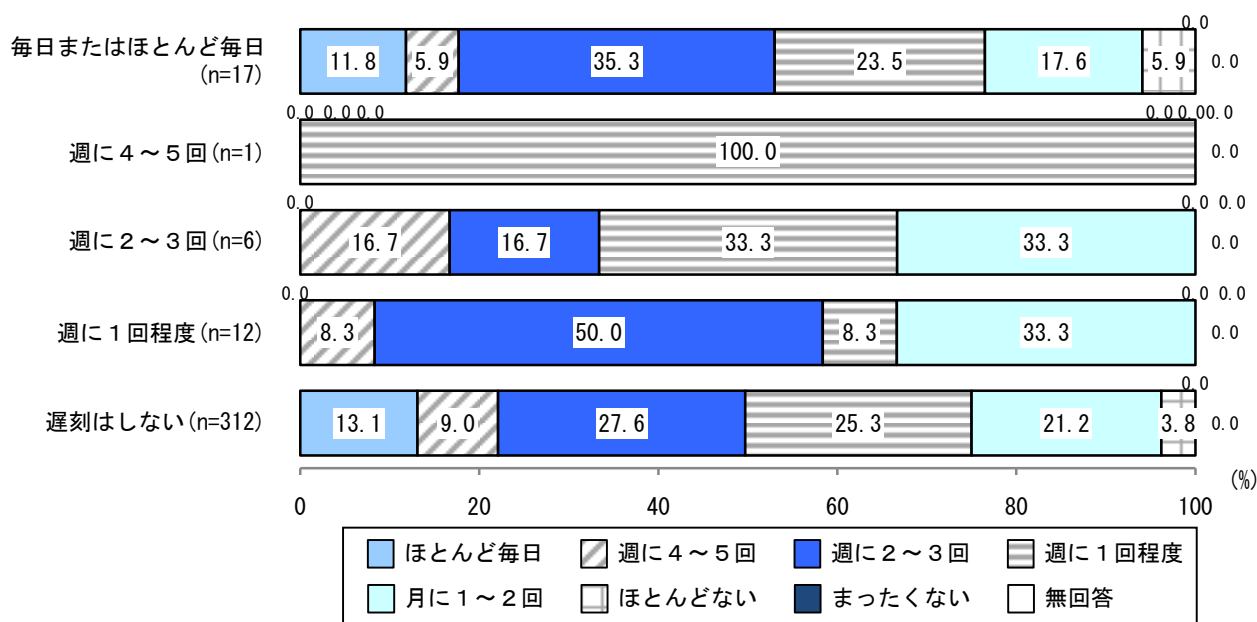
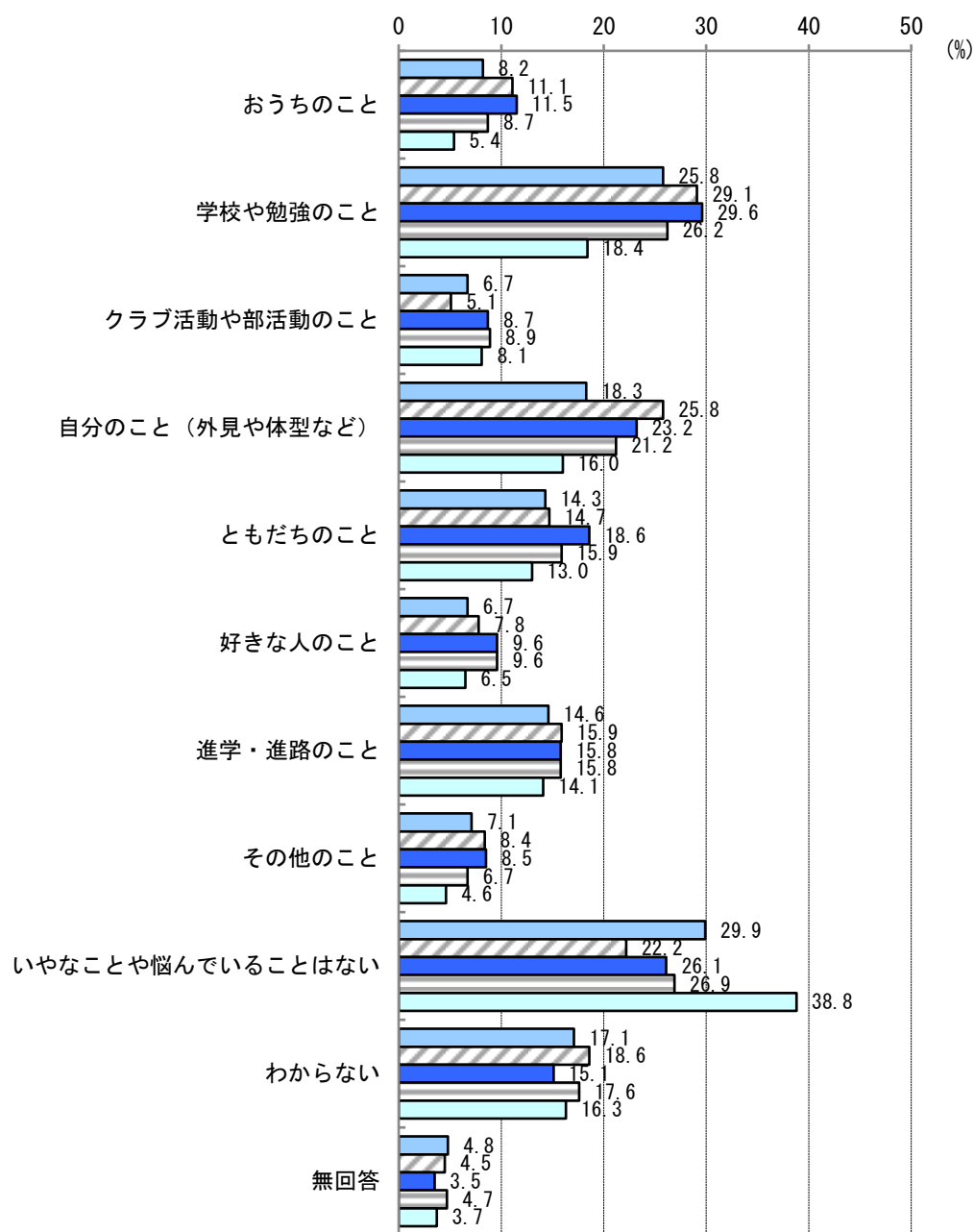


図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻をしない子どもが13.1%で割合が最も高く、一方で、「ほとんどない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が5.9%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問7×子ども票問17）

<大阪府内全体>



■ 毎日またはほとんど毎日 (n=1,906)
 ■ 週に4～5回 (n=333)
 ■ 週に2～3回 (n=1,063)
■ 週に1回程度 (n=2,132)
 ■ 遅刻はしない (n=35,435)

<河内長野市>

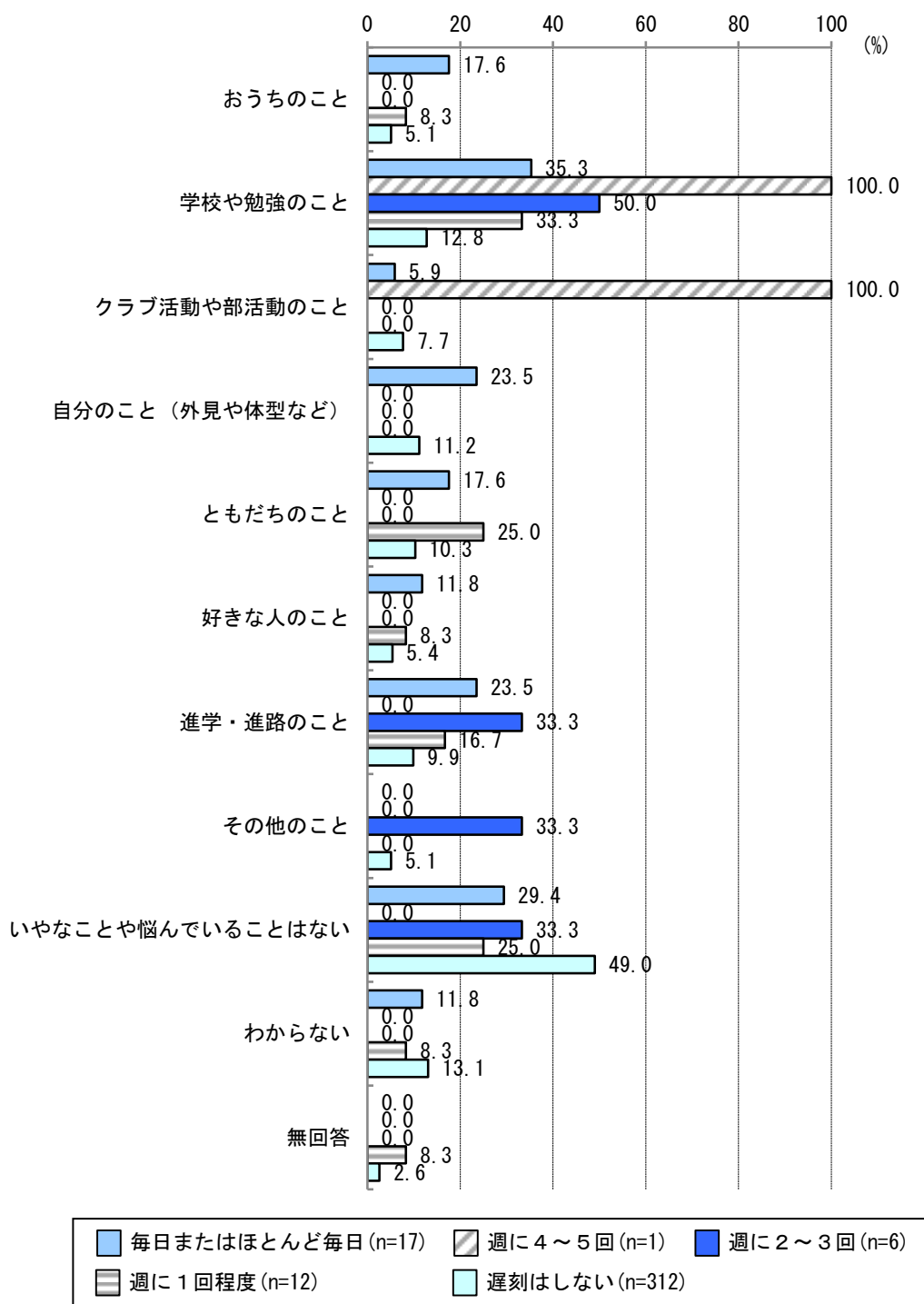
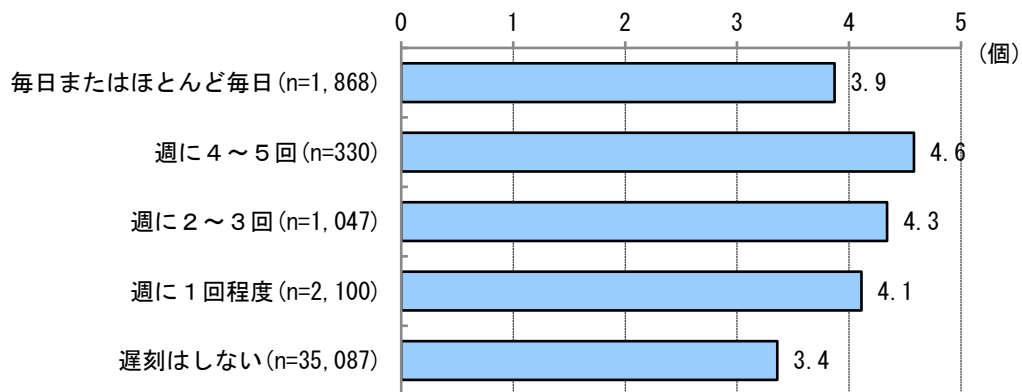


図 128. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること

学校への遅刻別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「おうちのこと」と回答した割合は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが17.6%で割合が最も多く、一方で、「いやなことや悩んでいることはない」は遅刻はしない子どもの割合が49.0%で最も多くなっている。

学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(子ども票問7×子ども票問19・20)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

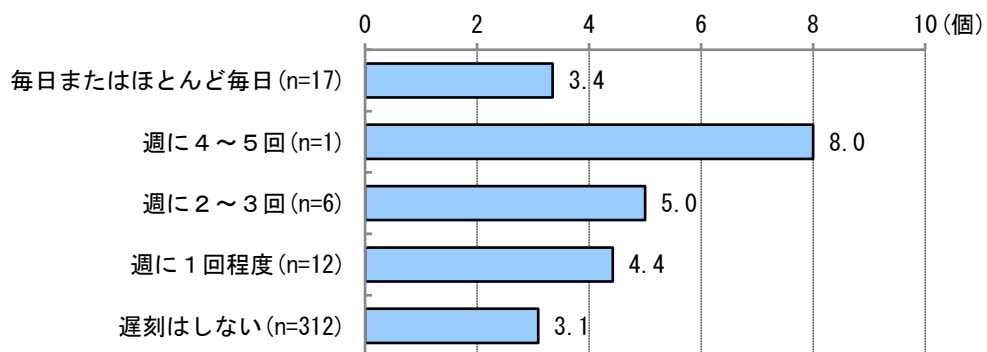
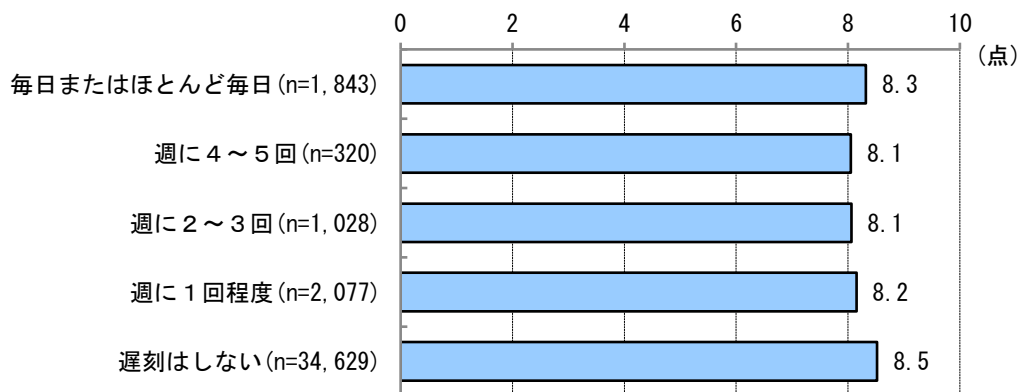


図 129. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

学校への遅刻別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「週に4～5回」遅刻をしている子どもが8.0個で最も多く、次いで「週に2～3回」遅刻をしている子どもが5.0個となっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問7×子ども票問23）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

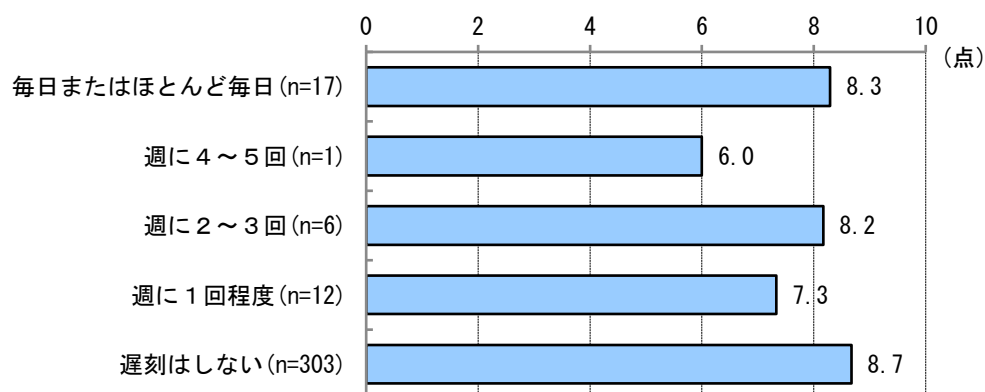
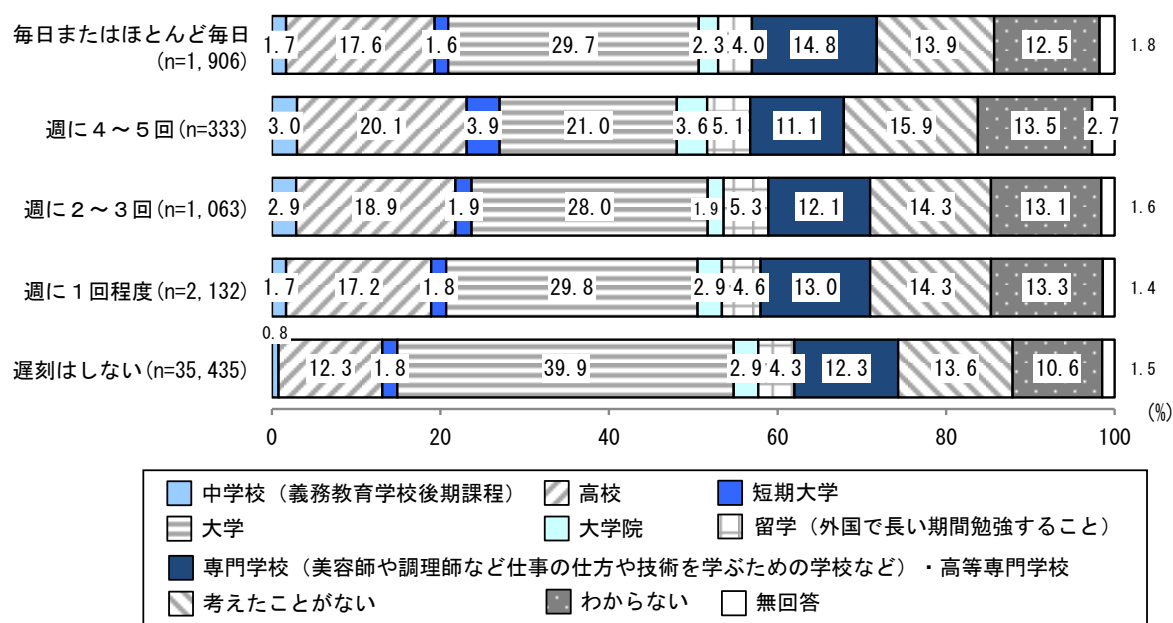


図 130. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」遅刻している子どもは8.3点で、「遅刻はしない」子ども（8.7点）よりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）がやや低い。

学校への遅刻別に見た、希望する進学先（子ども票問7×子ども票問24）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

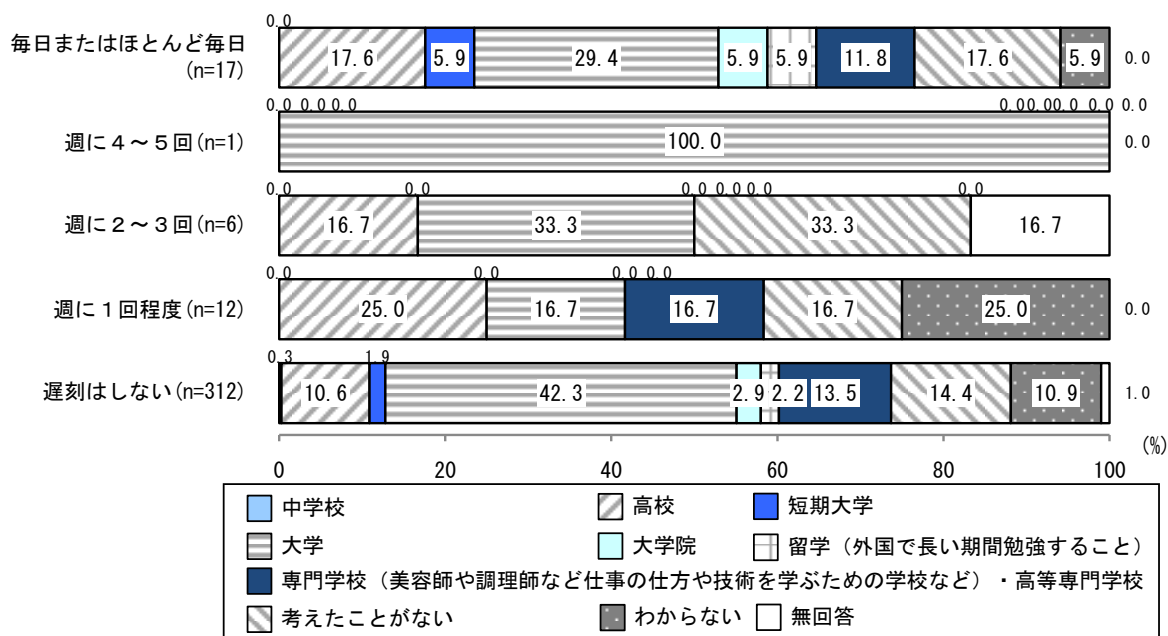
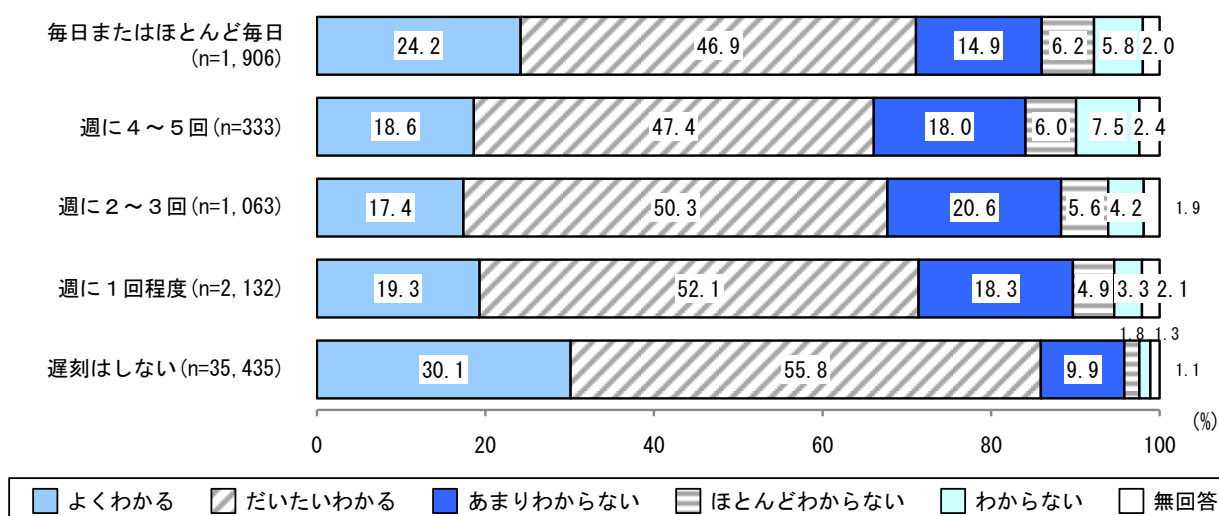


図 131. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先

学校への遅刻別に希望する進学先を見ると、「大学」は遅刻はしない子どもの割合が42.3%で最も高く、次いで週に2～3回程度遅刻をしている子どもの割合が33.3%となっている。

学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問7×子ども票問14(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

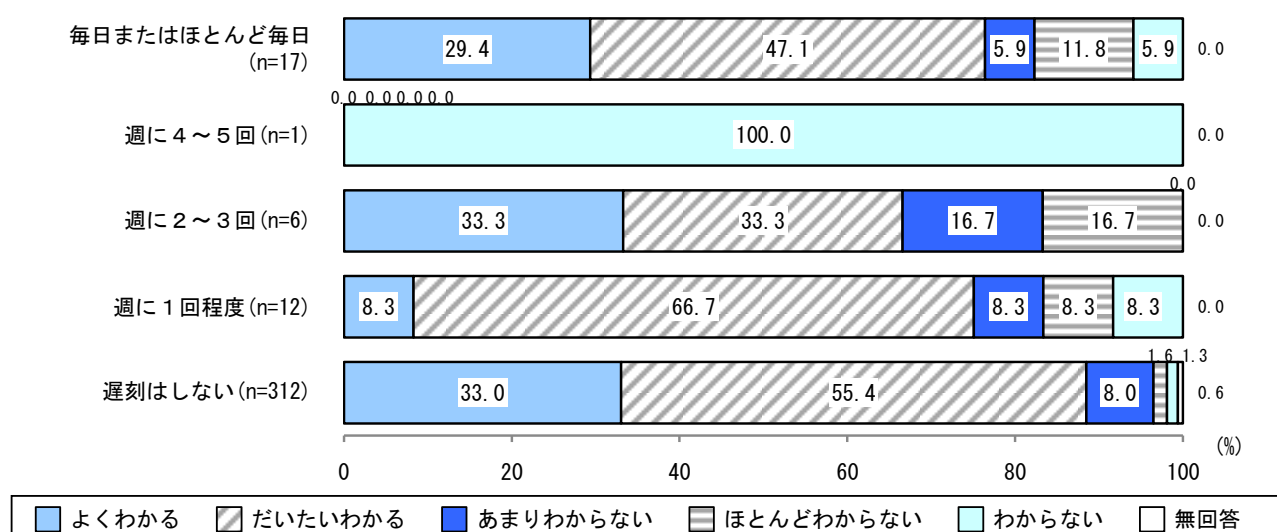
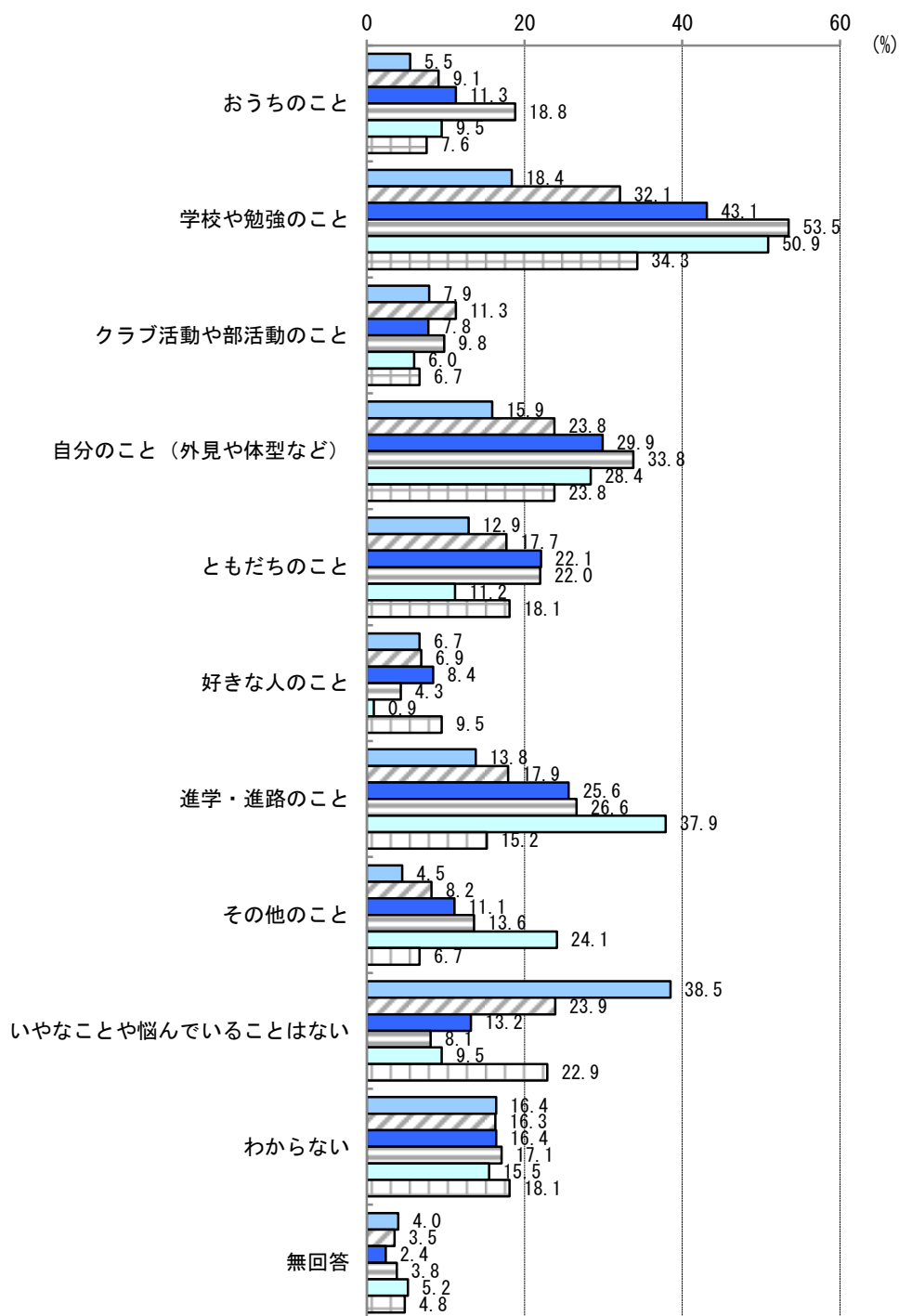


図 132. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

学校への遅刻別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」は週1回程度遅刻をする子どもの割合が8.3%で最も低くなっている。

子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること（保護者票問 15×子ども票問 17）

<大阪府内全体>



■ ほぼ毎日通っている (n=37,661) ■ 欠席は年間30日未満である (n=1,775)
■ 欠席が年間30日以上、60日未満である (n=371) ■ 欠席が年間60日以上、1年未満である (n=346)
■ 欠席が1年以上続いている (n=116) ■ わからない (n=105)

<河内長野市>

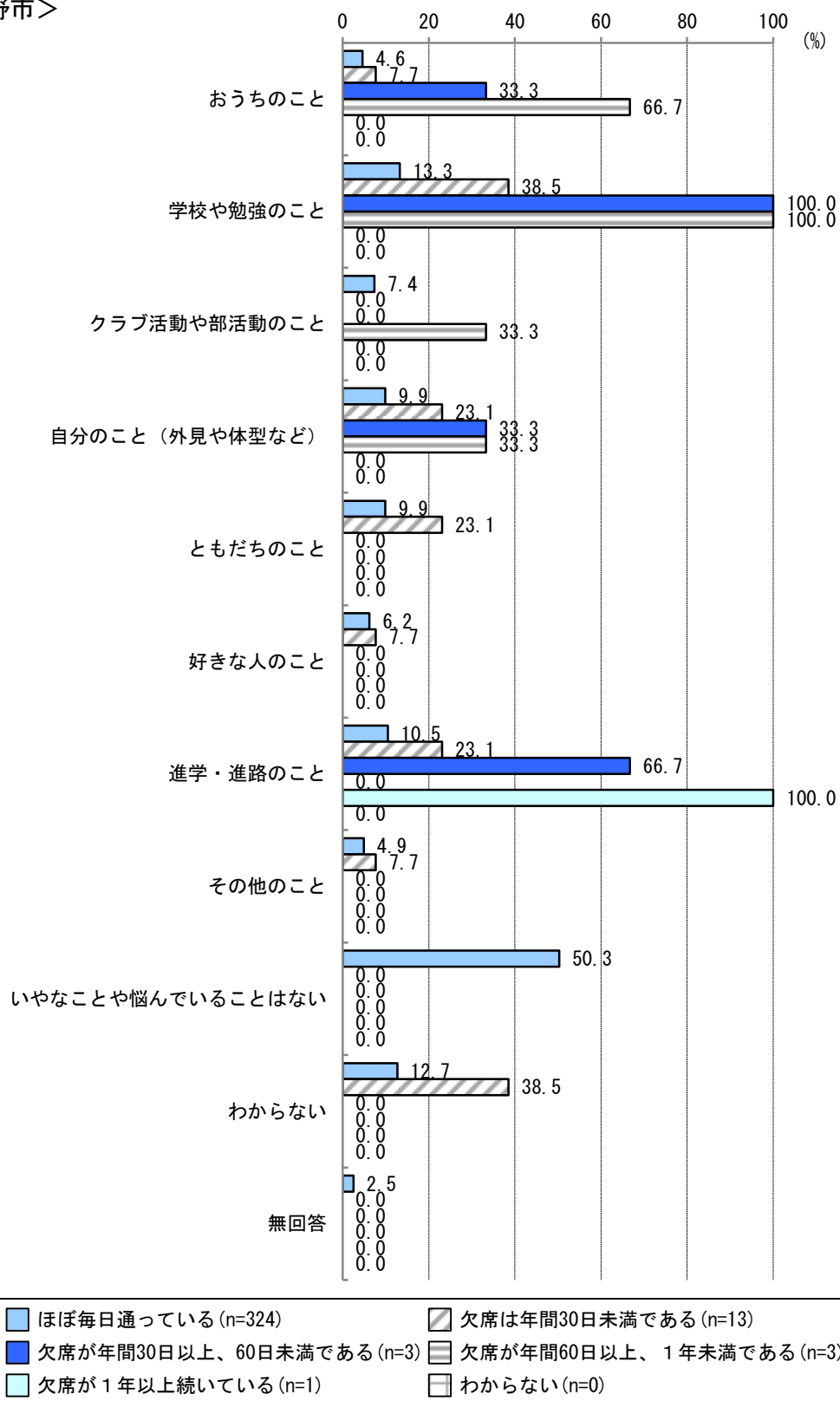
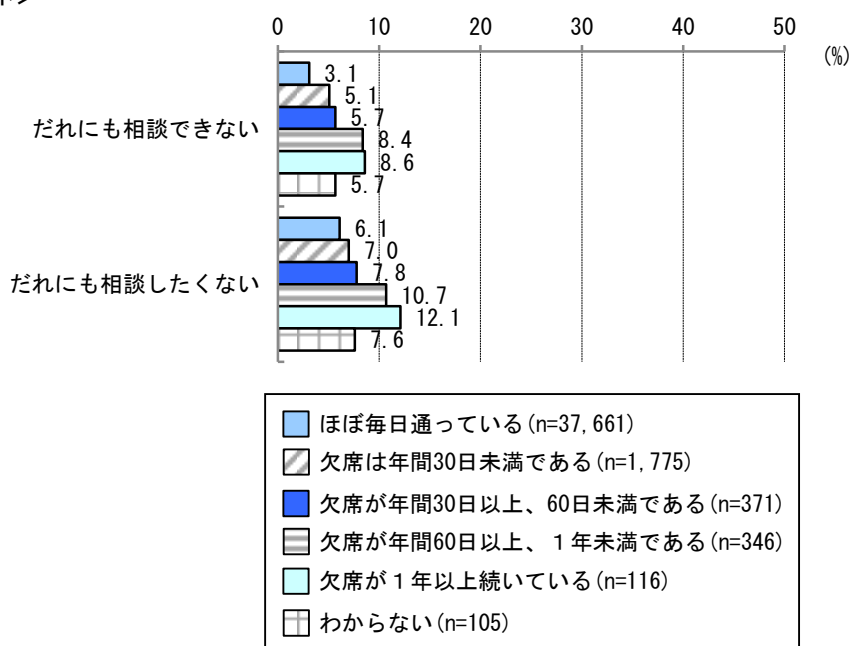


図 133. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること

子どもの通学状況別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「おうちのこと」、「学校や勉強のこと」、「自分のこと (外見や体型など)」、「進学・進路のこと」は概ね子どもが欠席が多くなるほど割合が高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合
(保護者票問 15×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

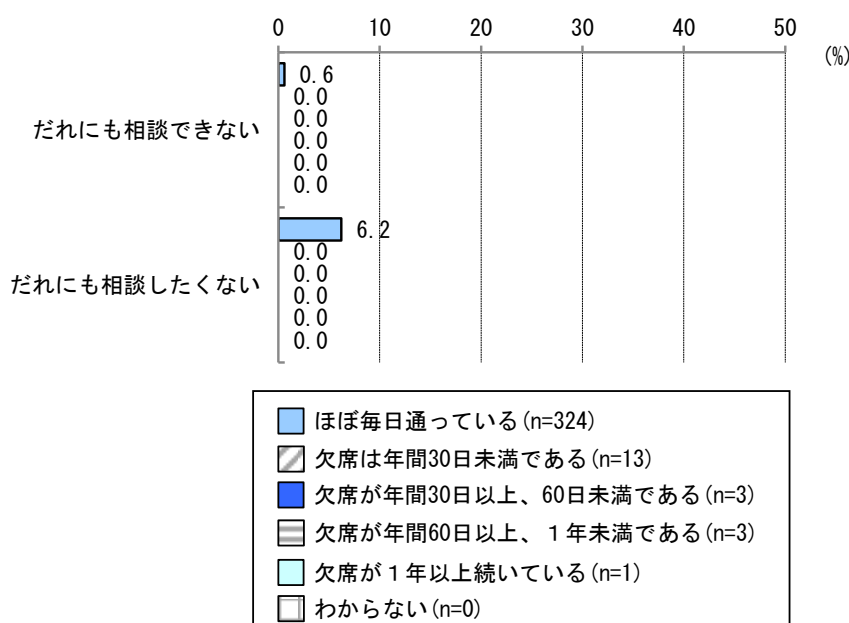
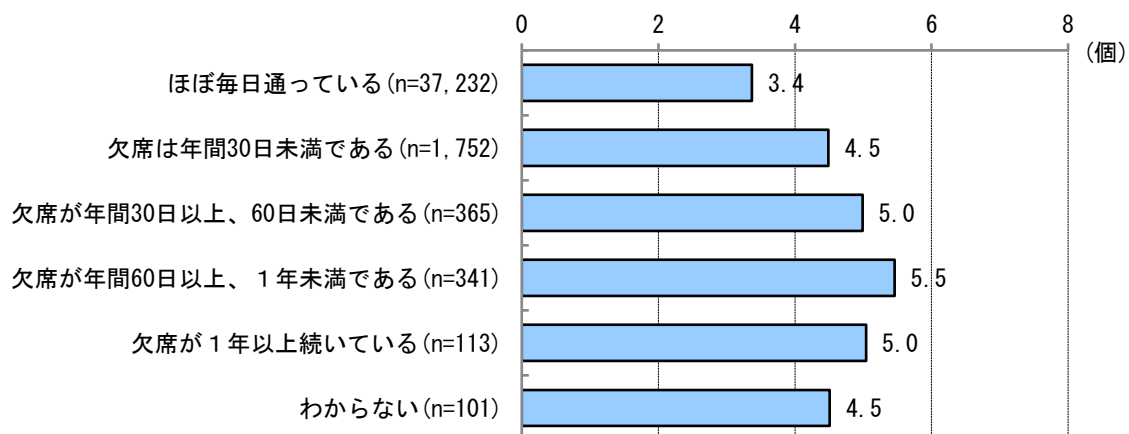


図 134. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合

子どもの通学状況別に悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合を見ると、「だれにも相談できない」、「だれにも相談したくない」と回答した人の割合はどちらもほぼ毎日通っている人の割合が最も高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(保護者票問 15×子ども票問 19・20)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

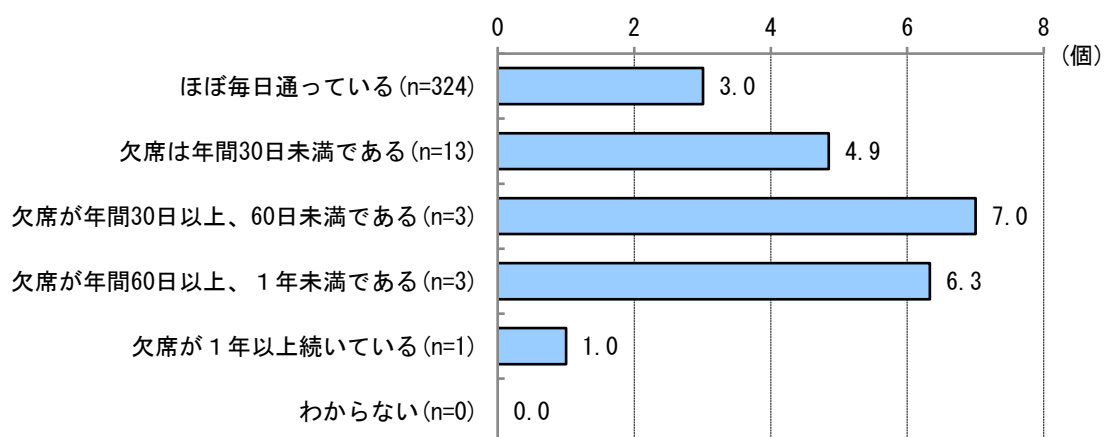
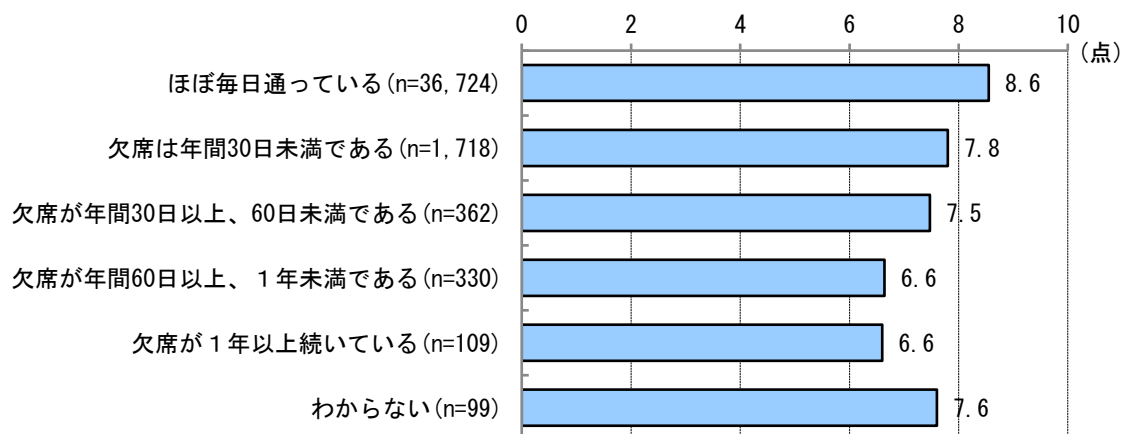


図 135. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

子どもの通学状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、欠席が年間30日以上、60日未満であると回答した人が7.0個で最も多く、次いで欠席が年間60日以上、1年未満であると回答した人がともに6.3個となっている。

子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（保護者票問 15×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

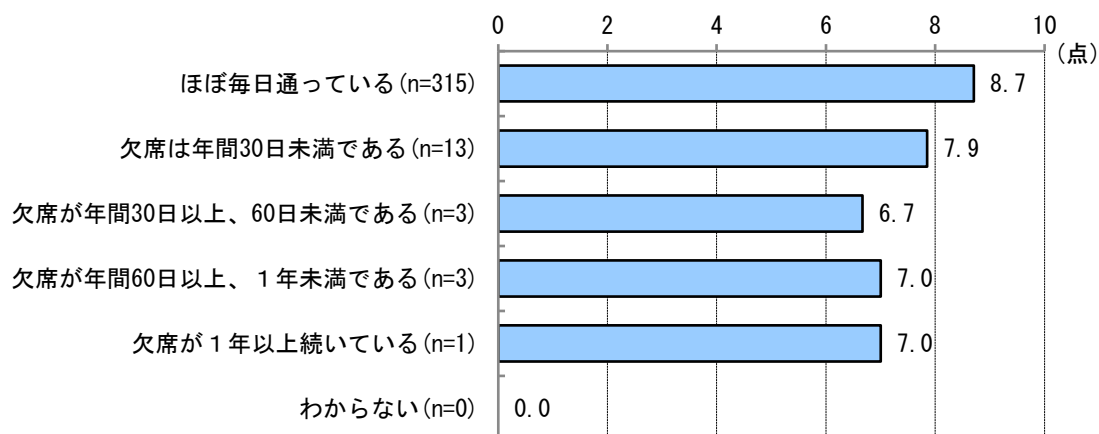
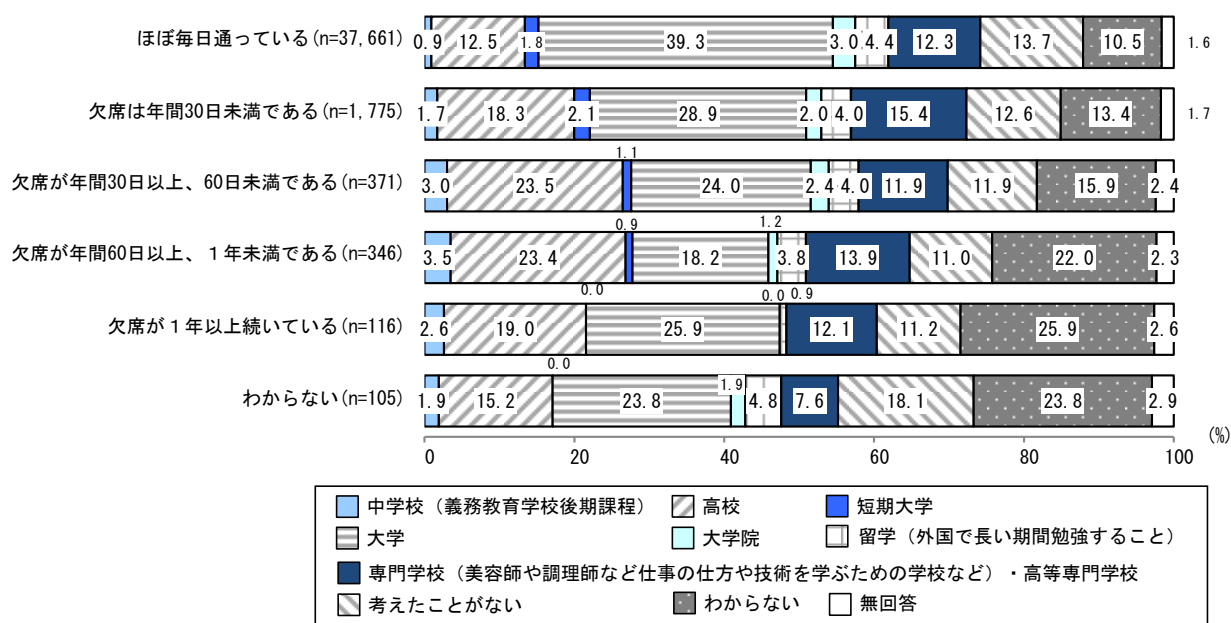


図 136. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもの通学状況別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の得点が8.7点で最も高く、次いで「欠席は年間30日未満である」と回答した人が7.9点、「欠席が年間60日以上、1年未満である」と「欠席が1年以上続いている」がともに7.0点と、概ね通学日数が少ない子どものほうがセルフ・エフィカシーが低い結果となった。

子どもの通学状況別に見た、希望する進学先（保護者票問 15×子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

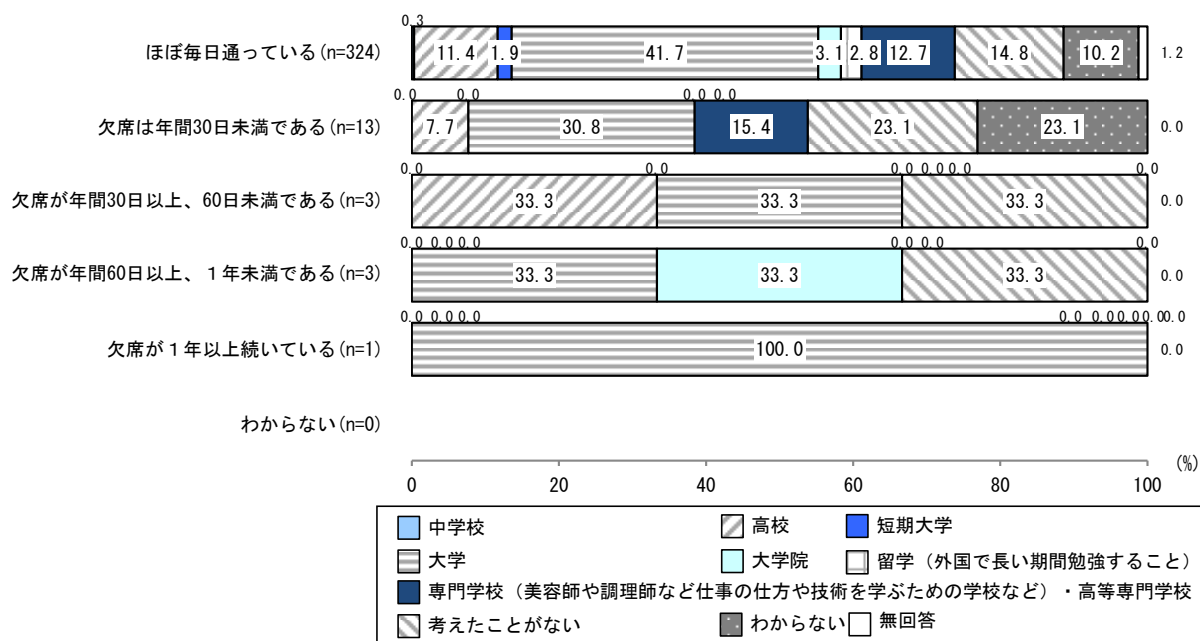
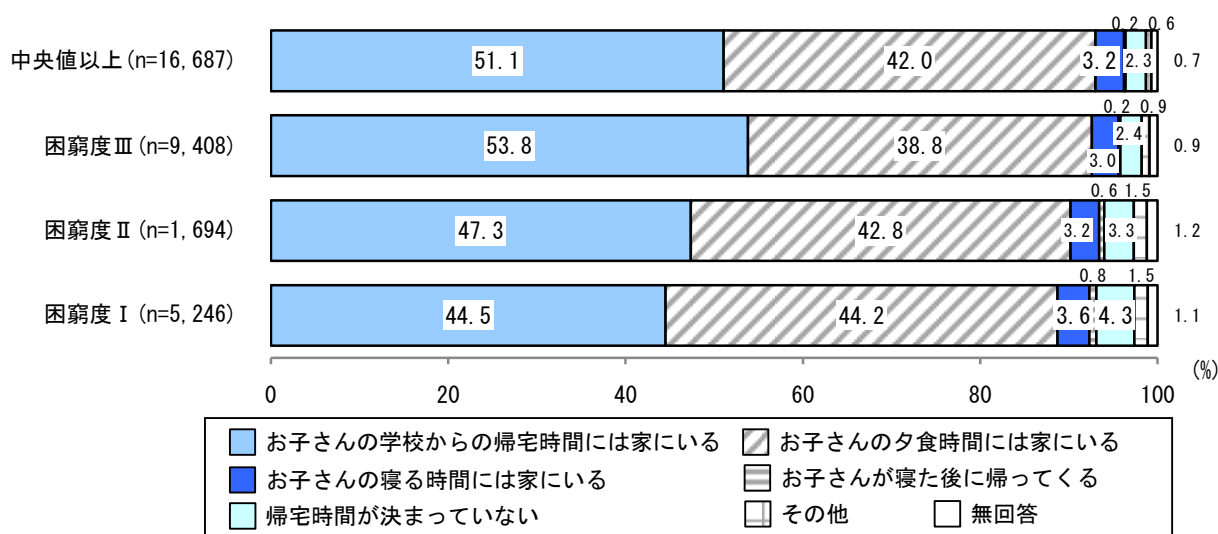


図 137. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先

子どもの通学状況別に希望する進学先を見ると、「大学」と回答した割合はほぼ毎日通っていると回答した人が41.7%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯（保護者票問 10）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

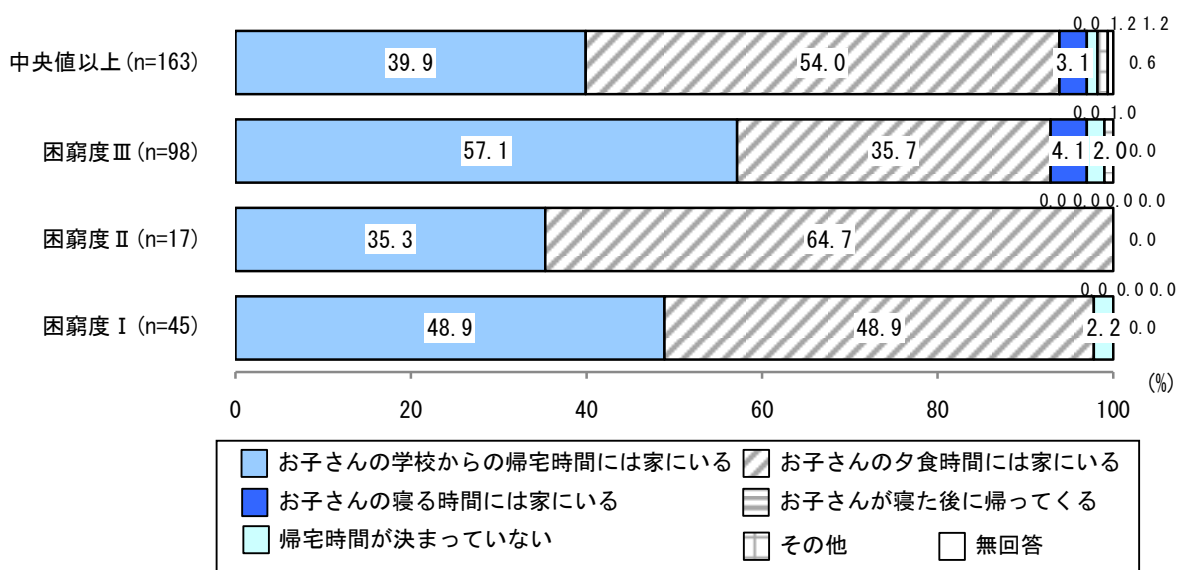
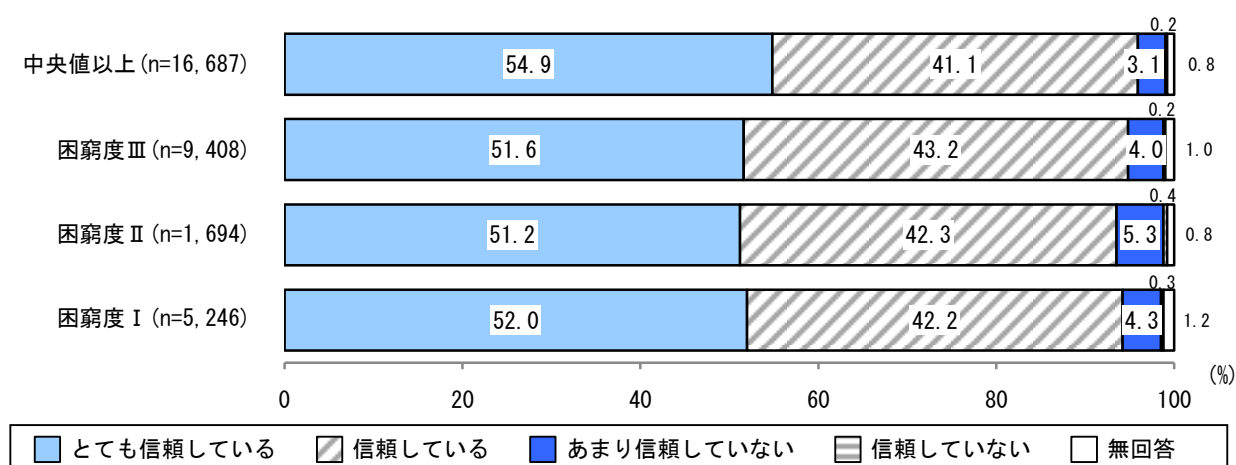


図 138. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯

困窮度別に保護者が家にいる時間帯を見ると、困窮度Ⅲ群のほうが、困窮度Ⅰ群よりも、「お子さんの学校からの帰宅時には家にいる」と回答した割合が高い。

困窮度別に見た、子どもへの信頼度（保護者票問 13(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

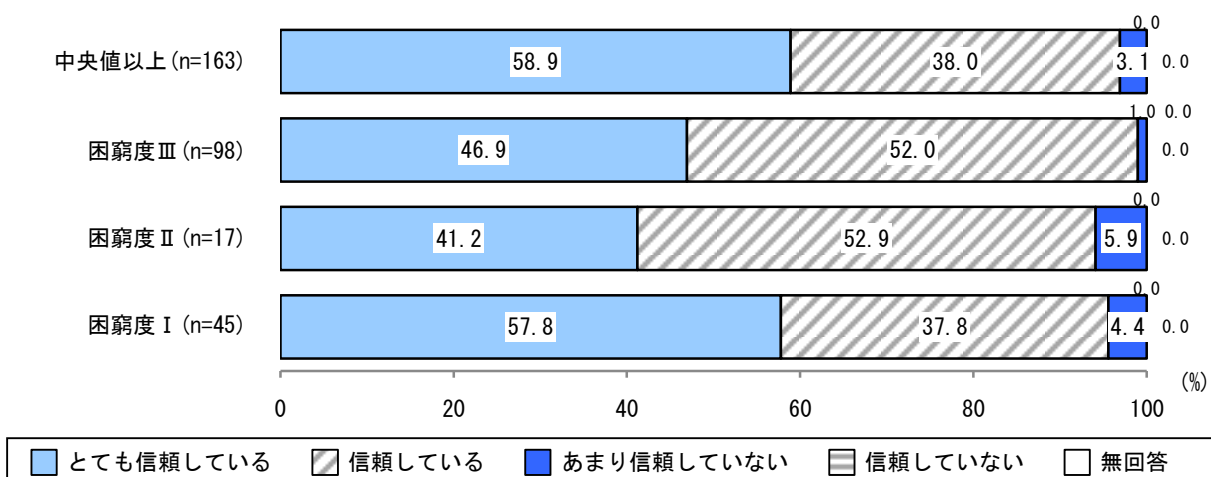
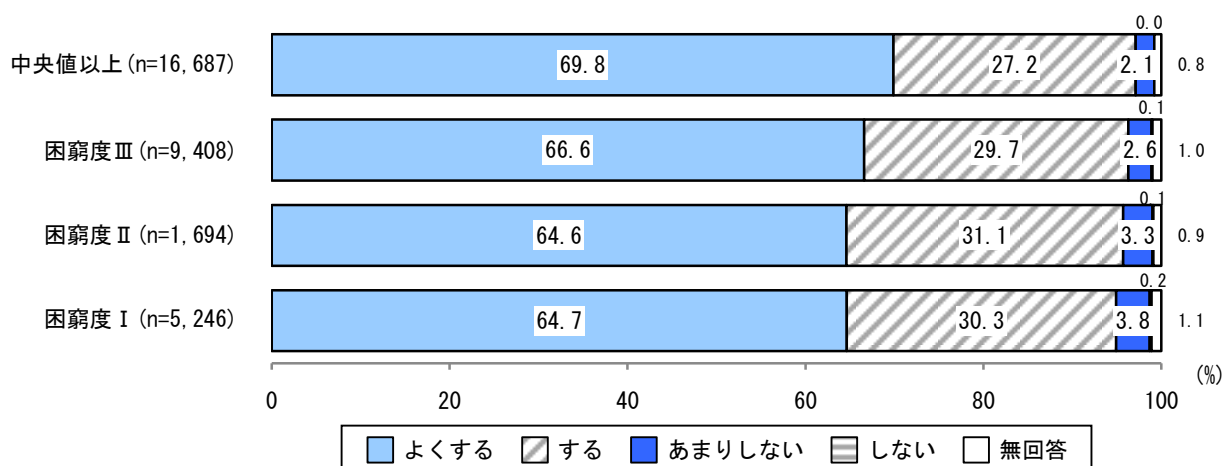


図 139. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度

困窮度別に子どもへの信頼度を見ると、「とても信頼している」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群が41.2%で最も低く、中央値以上群が58.9%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもとの会話頻度（保護者票問 13(2)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

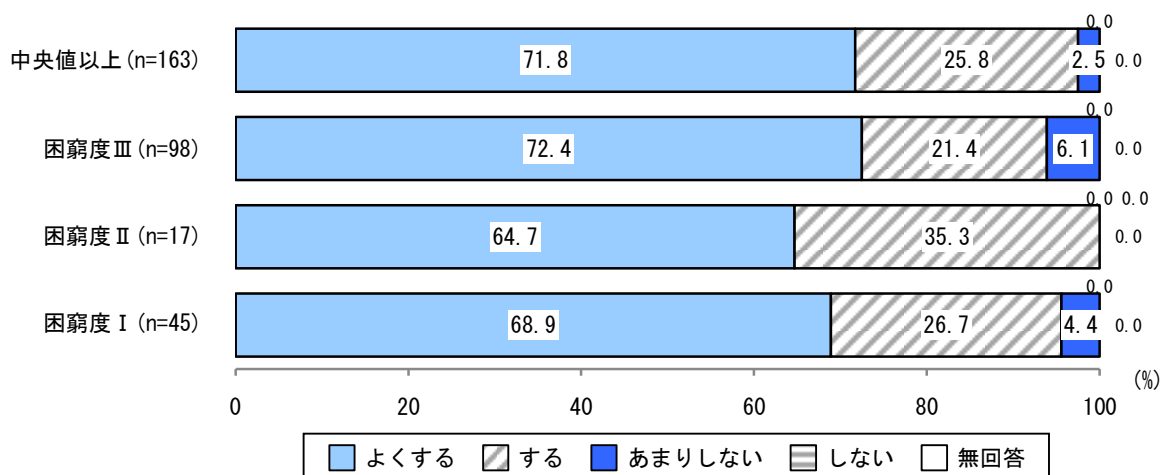
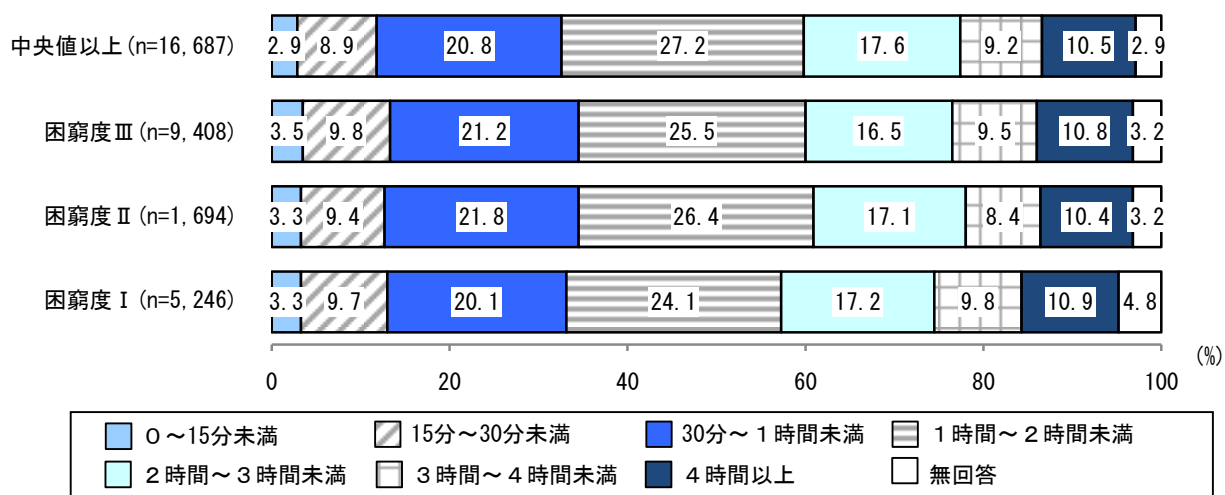


図 140. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度

困窮度別に子どもとの会話頻度を見ると、困窮度Ⅱ群では「よくする」と回答した割合が最も低く、64.7%となっている。

困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

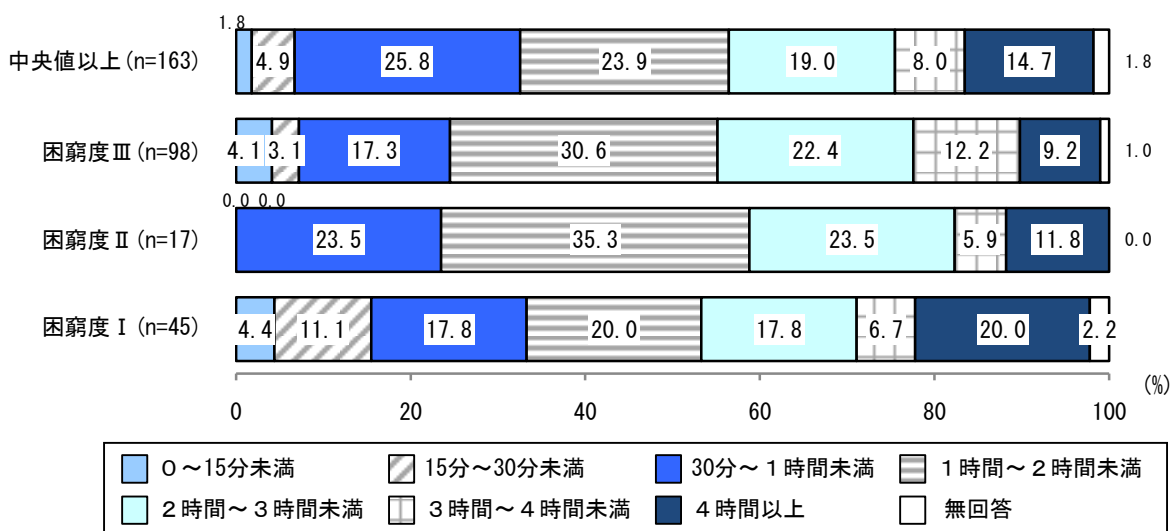
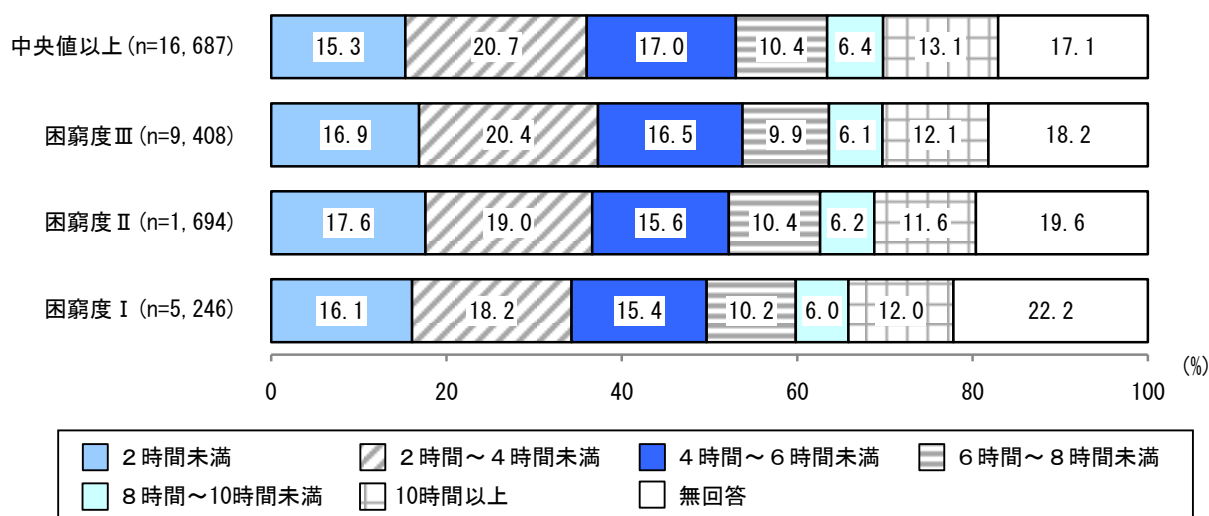


図 141. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

困窮度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「4時間以上」と回答した割合が困窮度Ⅰ群で最も高く、20.0%である。

困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

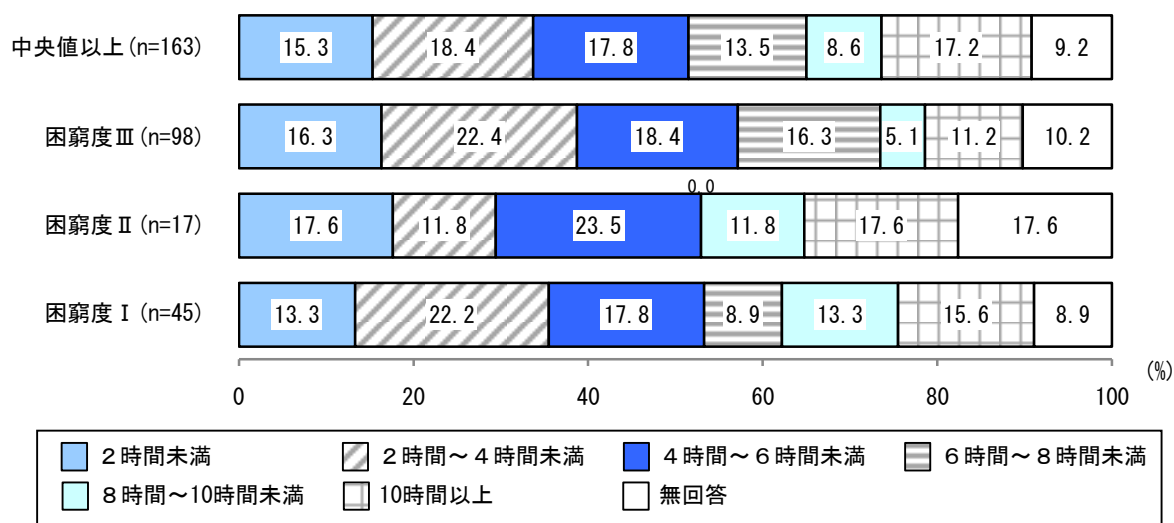
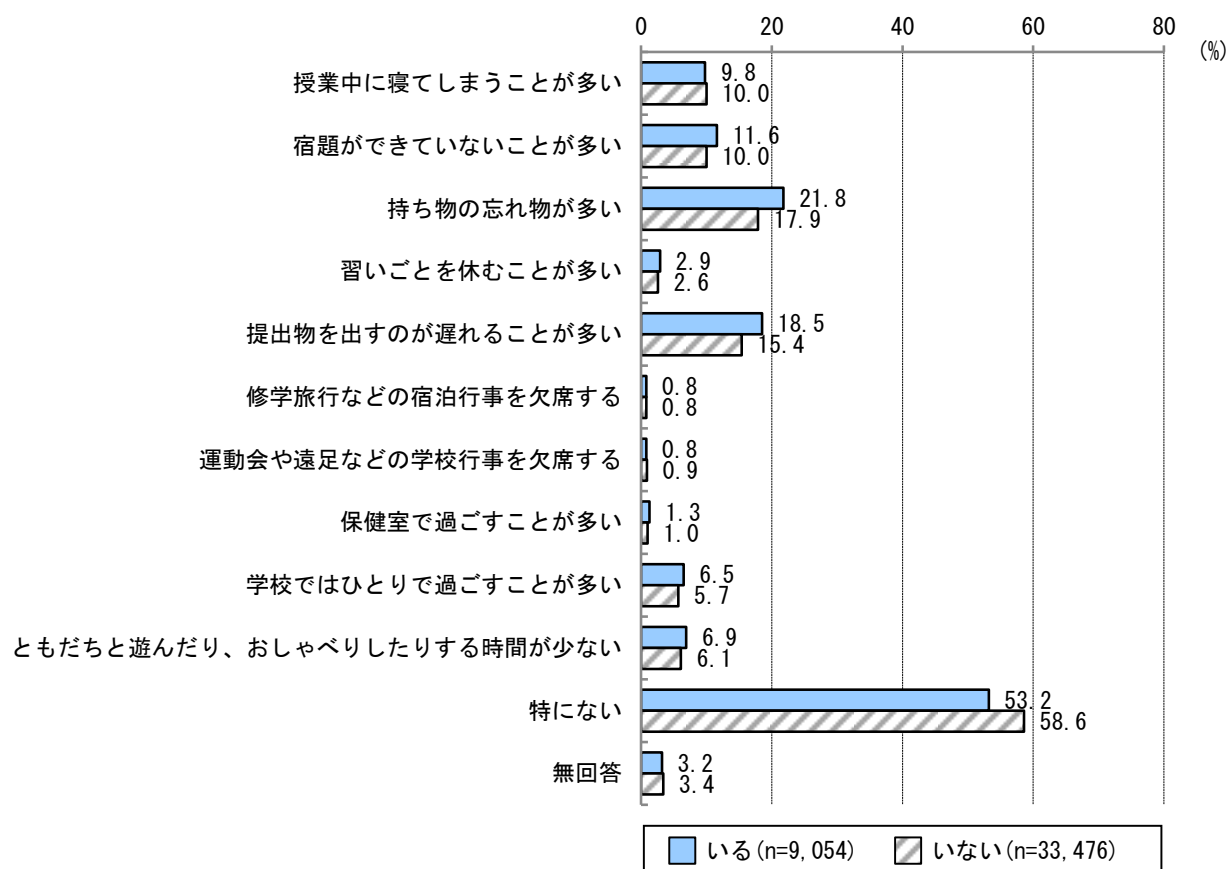


図 142. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

困窮度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「2時間未満」と回答した割合が困窮度Ⅱ群が17.6%で最も高くなっている。また、「2～4時間未満」と回答した割合は、困窮度Ⅲ群が22.4%で最も高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 16)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

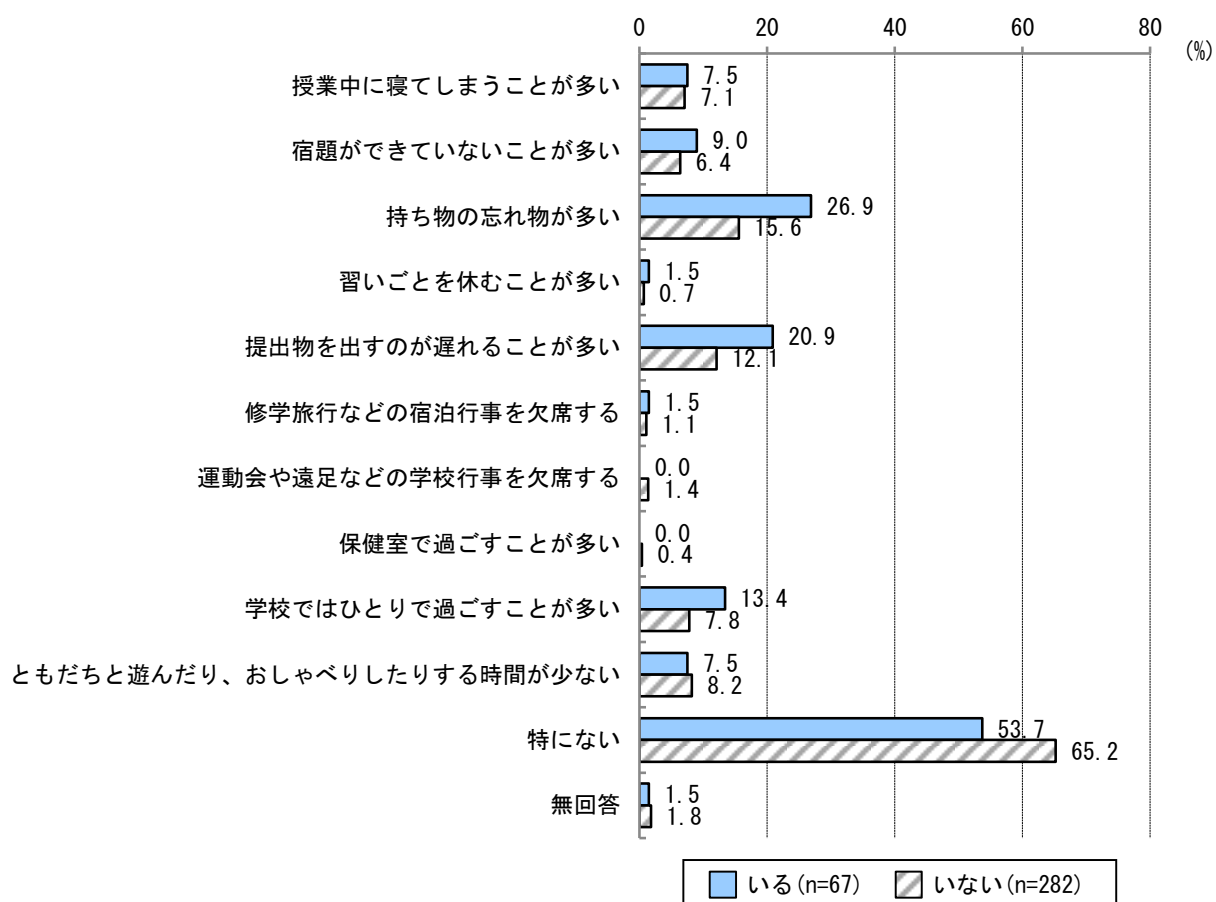
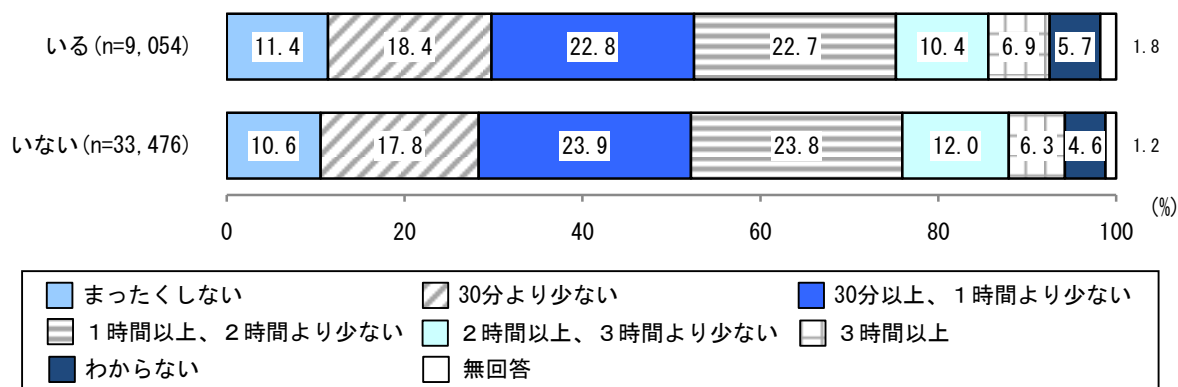


図 143. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況

自分が世話をしている人の有無別に学校や学校の行事等の状況を見ると、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」割合より「いる」割合のほうが高く、差が大きくなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問26(1)×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

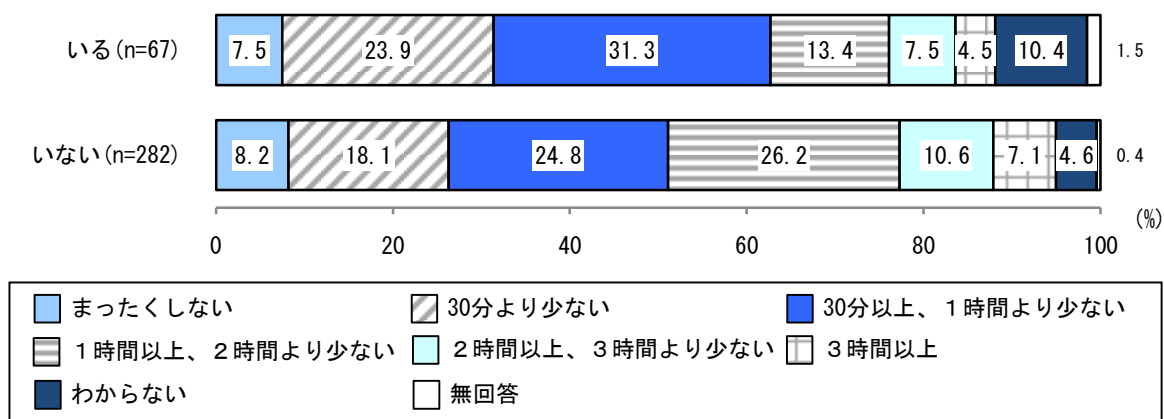
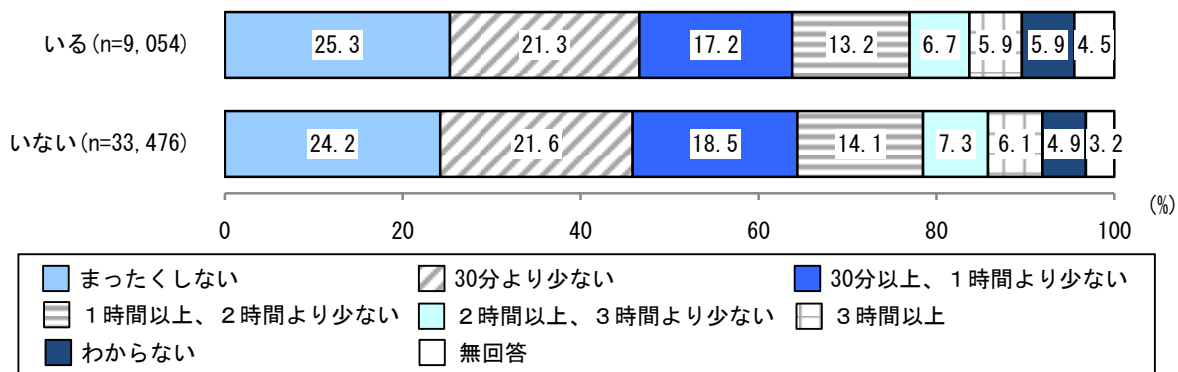


図 144. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「30分より少ない」、「30分以上、1時間より少ない」は、世話をしている人が「いない」割合より「いる」割合のほうが高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問26(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

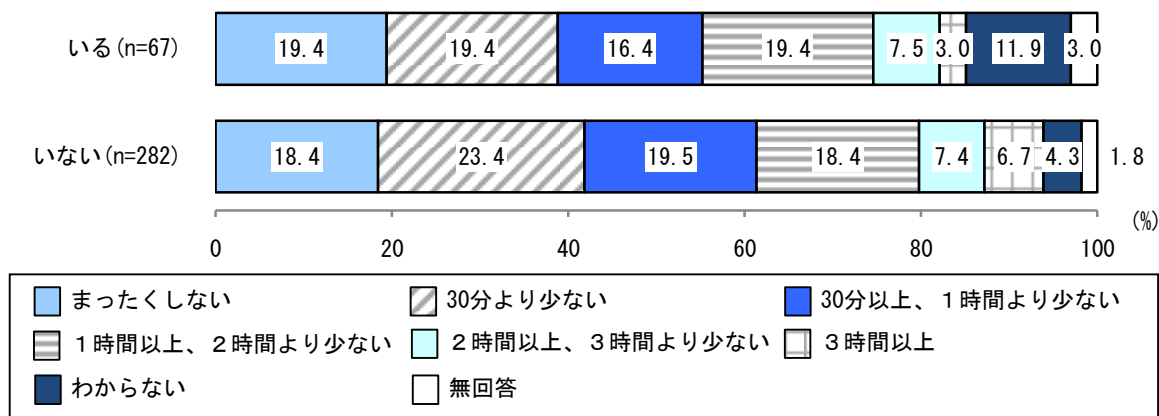


図 145. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」人より「いる」人のほうが割合がやや高くなっている。

<家庭生活・学習に関する考察>

まず、経済状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度I群の間の差に着目しながら確認する。おうちの大人の人と一緒に朝食を食べる頻度を見ると、困窮度I群は中央値以上群と比べ、「まったくない」(14.3%対8.1%)が6.2ポイント高くなっている。学校への遅刻頻度を見ると、中央値以上群は困窮度I群と比べ、「遅刻はしない」(90.6%対83.3%)が7.3ポイント高くなっている。保護者が抱く子どもの将来への期待度では、困窮度I群は中央値以上群と比べ、「あまり期待していない」と「期待していない」の合計(15.5%対9.8%)が5.7ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の子どもは朝食を保護者と一緒に食べる習慣がなく、遅刻しやすくなっている可能性が示唆された。また、経済的に困難な家庭の保護者は子どもの将来に対して期待を抱きにくく、経済的事情が子どもの生活状況や保護者の子どもとのかかわり方と関連している可能性がある。

次に、学校への遅刻状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について確認する。「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群と比べ、「おうちの大人の人と一緒に朝食を食べている」ことでは「ほとんど毎日」(55.1%対29.4%)が25.7ポイント、「おうちの大人の人と学校のできごとについて話す」ことでは「ほとんど毎日」(47.8%対41.2%)が6.6ポイント、保護者と子どもとの関係性については子どもを「とても信頼している」(55.0%対29.4%)が25.6ポイント高くなっている。一方、「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群は「遅刻はしない」群と比べ、「おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりする」ことでは「ほとんどない」と「まったくない」の合計(47.1%対28.2%)が18.9ポイント、保護者の子どもの将来に対する期待度では「あまり期待していない」と「期待していない」の合計(17.6%対11.4%)が6.2ポイント高くなっている。これらの結果から、遅刻は、保護者との日常的なかかわりや保護者の子どもへの信頼・期待と関連している可能性が示された。また、遅刻をしてしまうと授業を十分に受けることができなくなるため、結果として保護者は子どもに対して将来の期待を抱きにくくなっている可能性がある。

経済状況と子どもの学習にかかわる習慣や進学希望の関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度I群の間の差に着目して述べる。通学状況を見ると、中央値以上群は困窮度I群と比べ、「ほぼ毎日通っている」(95.7%対84.4%)が11.3ポイント高くなっている。学校がある日の勉強時間では、困窮度I群は中央値以上群と比べ、「まったくしない」と「30分より少ない」の合計(33.3%対27.5%)が5.8ポイント、学校がない日の勉強時間では、「まったくしない」と「30分より少ない」の合計(50.0%対38.9%)が11.1ポイント高くなっている。文化活動を見ると、困窮度I群は中央値以上群と比べ、おうちの大人との文化活動頻度では「ほとんどない」と「まったくない」の合計(66.6%対49.6%)が17ポイント、授業以外の読書時間では「まったくしない」(47.6%対32.2%)が15.4ポイント高くなっている。希望進学先を見ると、中央値以上群は困窮度I群と比べ、子ども自身の希望する進学先で「大学」(46.3%対40.5%)が5.8ポイント以上、保護者の希望する進学先で「大学」(74.8%対64.4%)が10.4ポイント高くなっており、大きな開きがある。これらの結果から、経済的に困難な世帯の子どもは、通学が困難な状況に陥っており、学習習慣や読書習慣、家庭内での文化活動の習慣がないため、学習理解が不十分になっている可能性が示唆された。また、子ども自身も保護者も、大学以上への進学を望まなくなっており、このことは経済的事情や学習理解の低さが影響している可能性も考えられる。

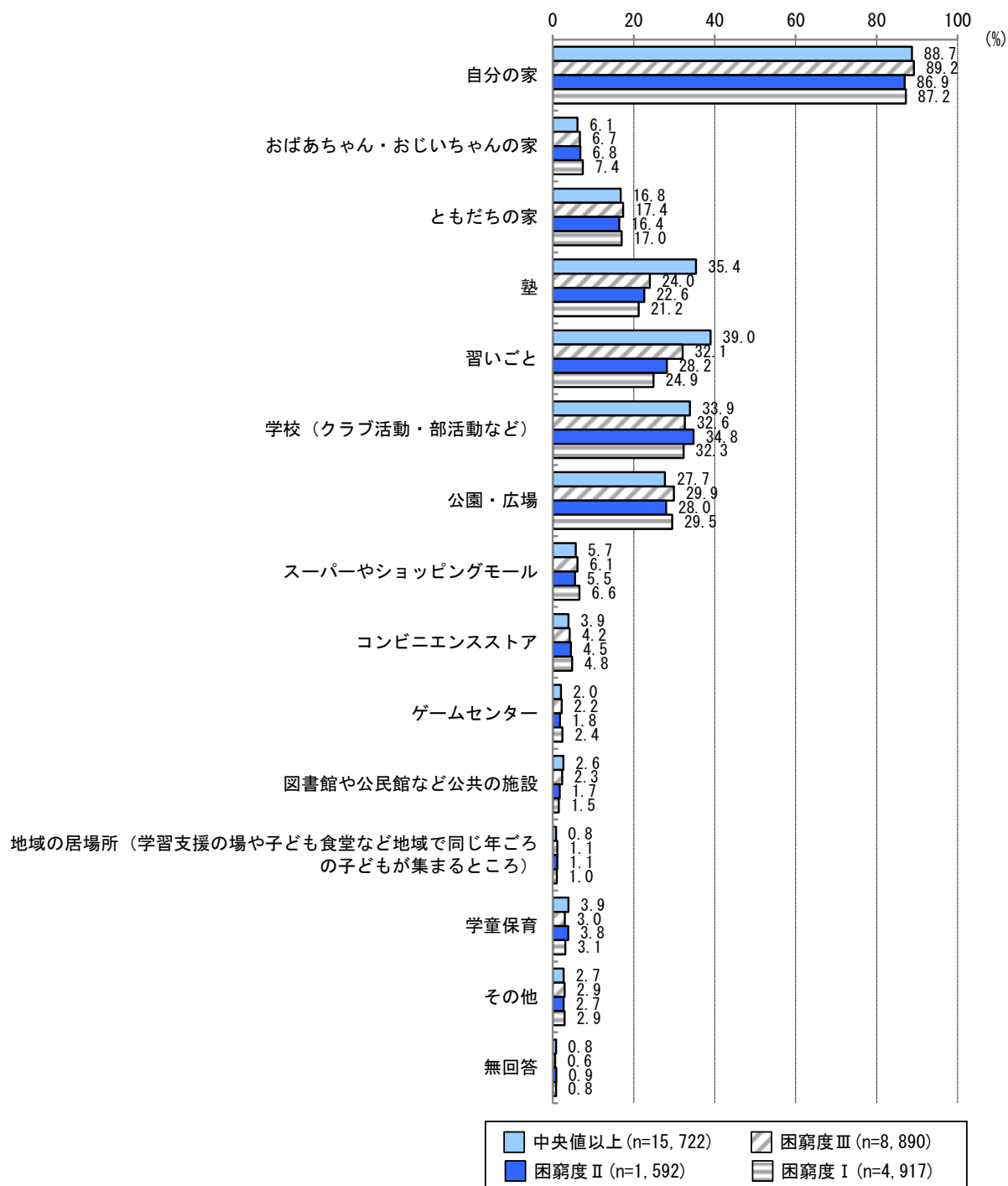
最後に、朝の習慣や学校への遅刻状況と子どもの学習にかかわる習慣の関連について確認する。起床時間の規則性別の学習時間を見ると、ほぼ同じ時刻に「起きていない」群は「起きている」群と比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」と「30分より少ない」の合計(50.0%

対28.7%) が21.3ポイント、学校がない日の勉強時間では「まったくしない」と「30分より少ない」の合計(50.0%対40.3%) が9.7ポイント、授業以外の読書時間では「まったくしない」(66.7%対38.7%) が28ポイント高くなっている。学校への遅刻頻度別の学習習慣を見ると、「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群に比べ、「おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話す」では「ほとんど毎日」(23.4%対11.8%) が11.6ポイント高くなっている。また、「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群は「遅刻はしない」群に比べ、おうちの大人との文化活動頻度では「まったくしない」(41.2%対15.1%) が26.1ポイント、学習理解度では「ほとんどわからない」と「わからない」の合計(17.7%対2.9%) が14.8ポイント高くなっている。これらの結果から、不規則な起床時間であることは、日々の学習習慣や読書習慣の形成と関連している可能性が考えられる。さらに、朝の習慣が身についていないと遅刻に繋がり、学校の授業を十分に受けることができなくなるため、学習理解に影響が出ている可能性も示唆された。

3-5. 対人関係

困窮度別に見た、放課後を過ごす場所（子ども票問 11）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

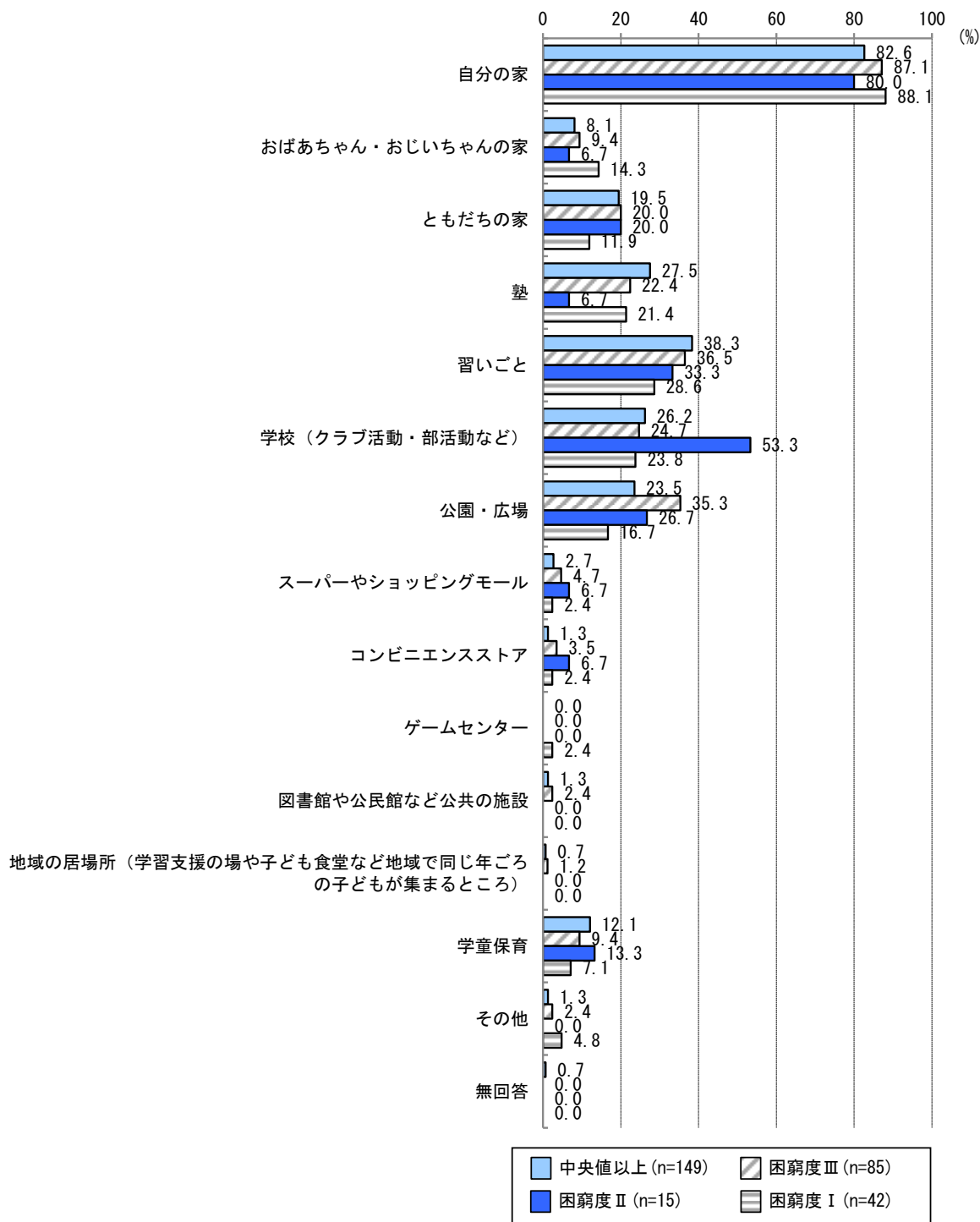
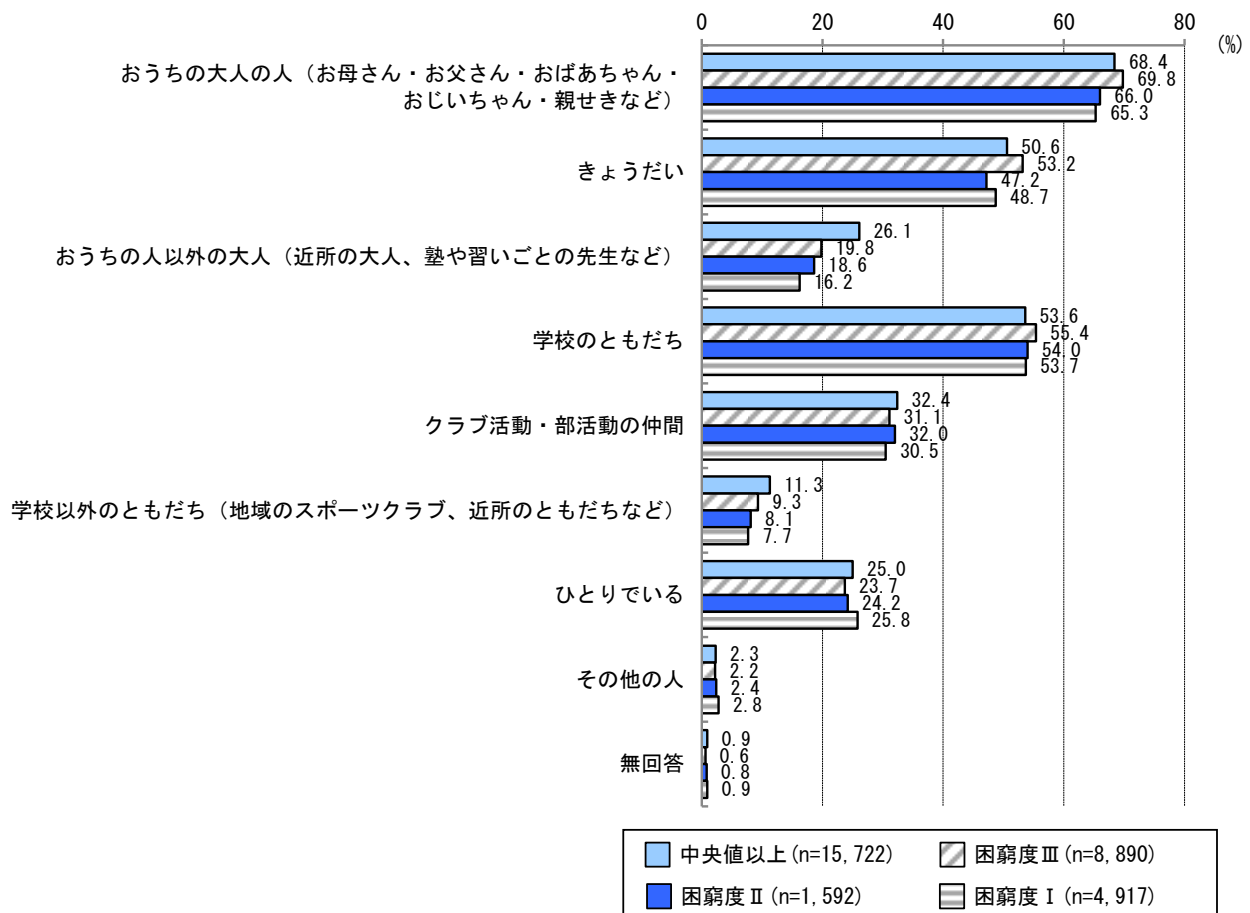


図 146. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所

困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「コンビニエンスストア」2.4%（中央値以上群に対して1.8倍）、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」14.3%（同様に1.8倍）となっている。一方、中央値以上群では、「学童保育」12.1%（困窮度Ⅰ群に対して1.7倍）、「ともだちの家」19.5%（同様に1.6倍）などとなっている。

困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人（子ども票問 10）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

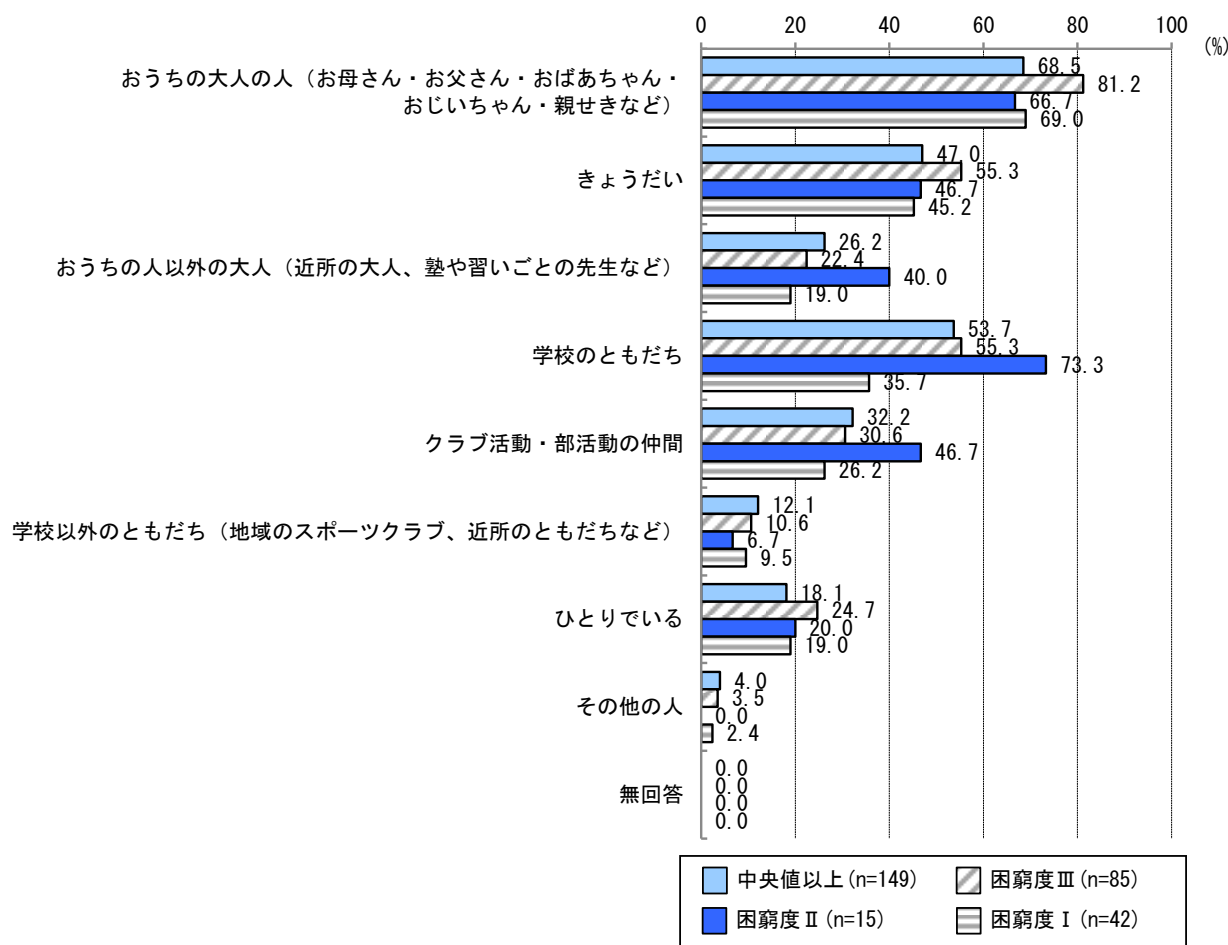
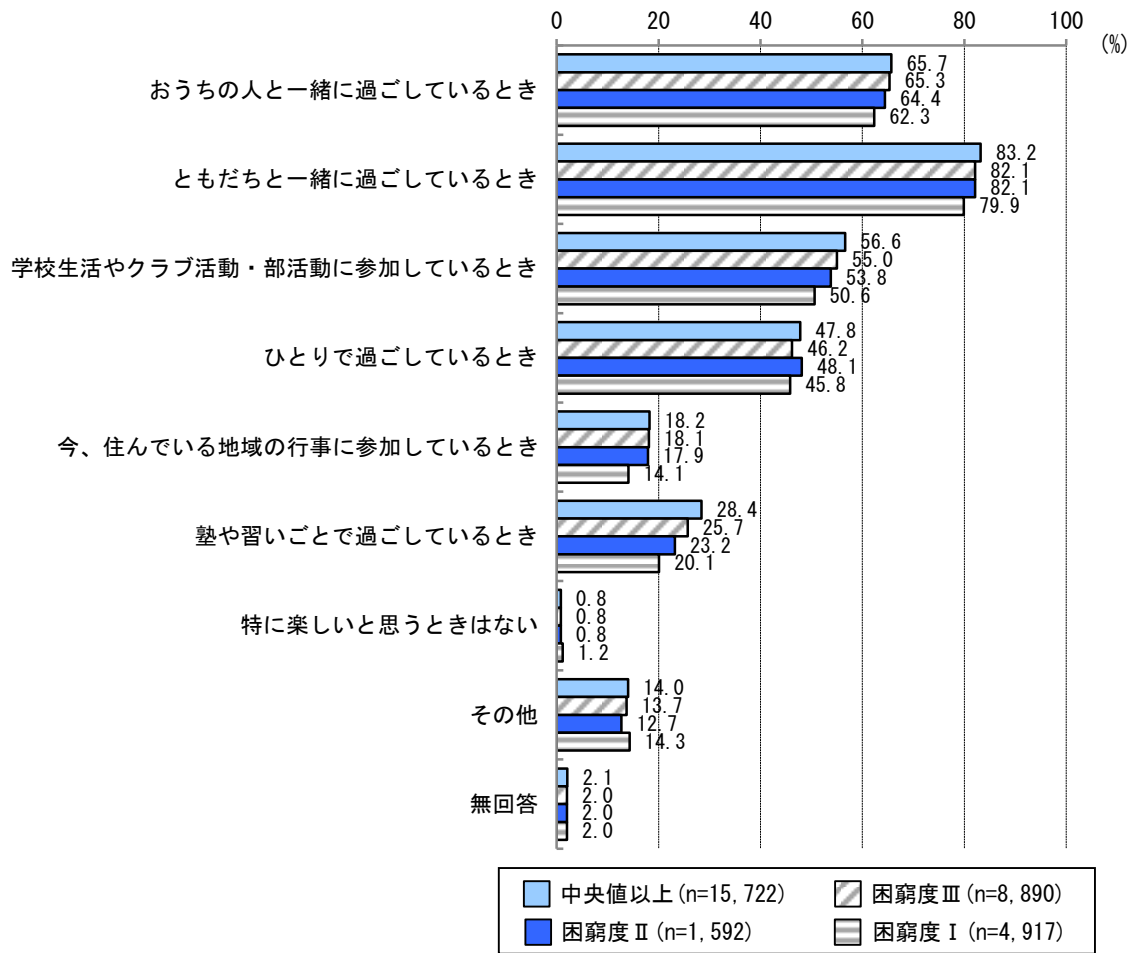


図 147. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人

困窮度別に子どもが放課後一緒に過ごす人を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、中央値以上群では「学校のともだち」53.7%（困窮度Ⅰ群に対して1.5倍）、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」26.2%（同様に1.4倍）、「クラブ活動・部活動の仲間」32.2%（同様に1.2倍）となっている。

困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと（子ども票問9）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

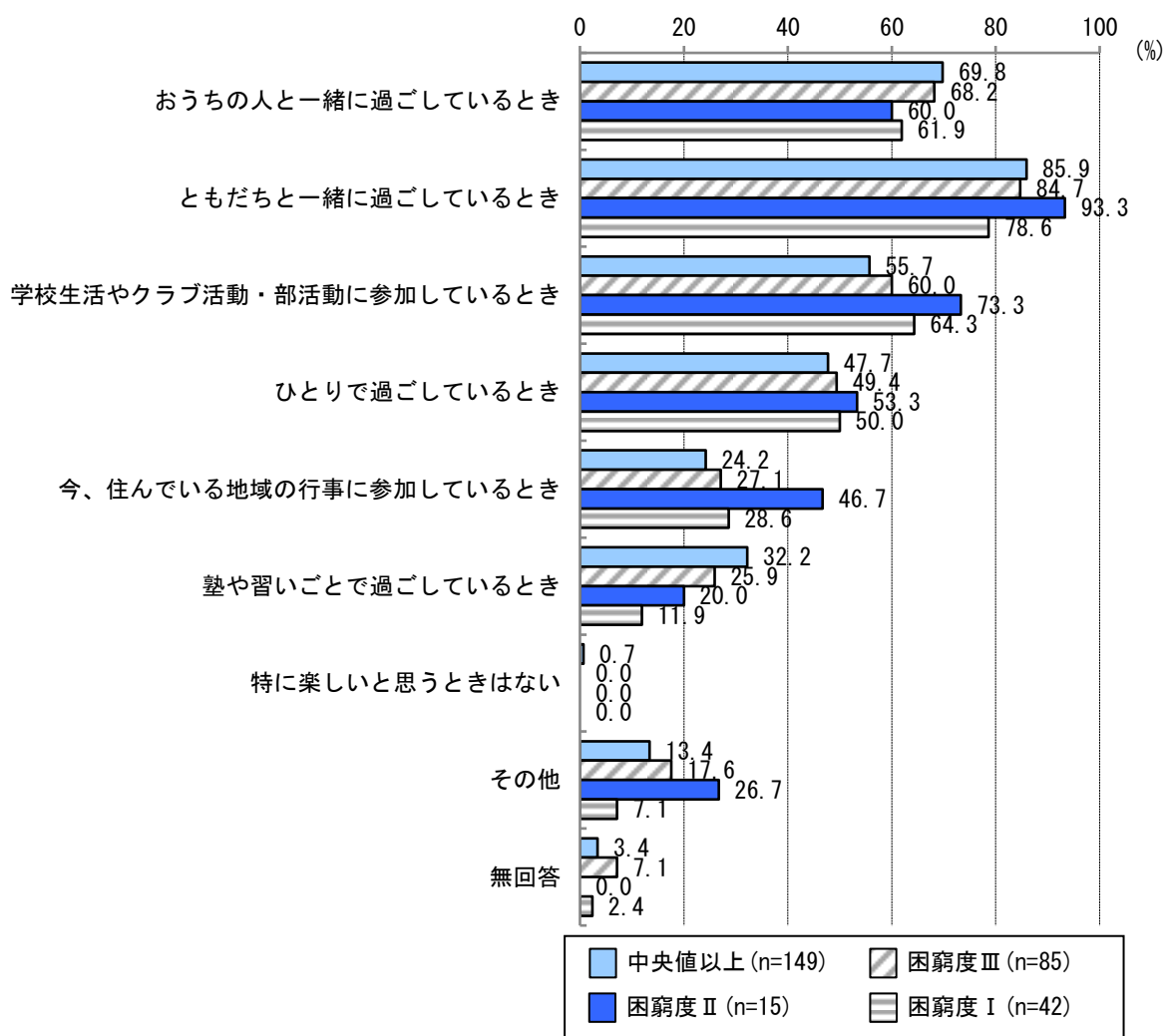
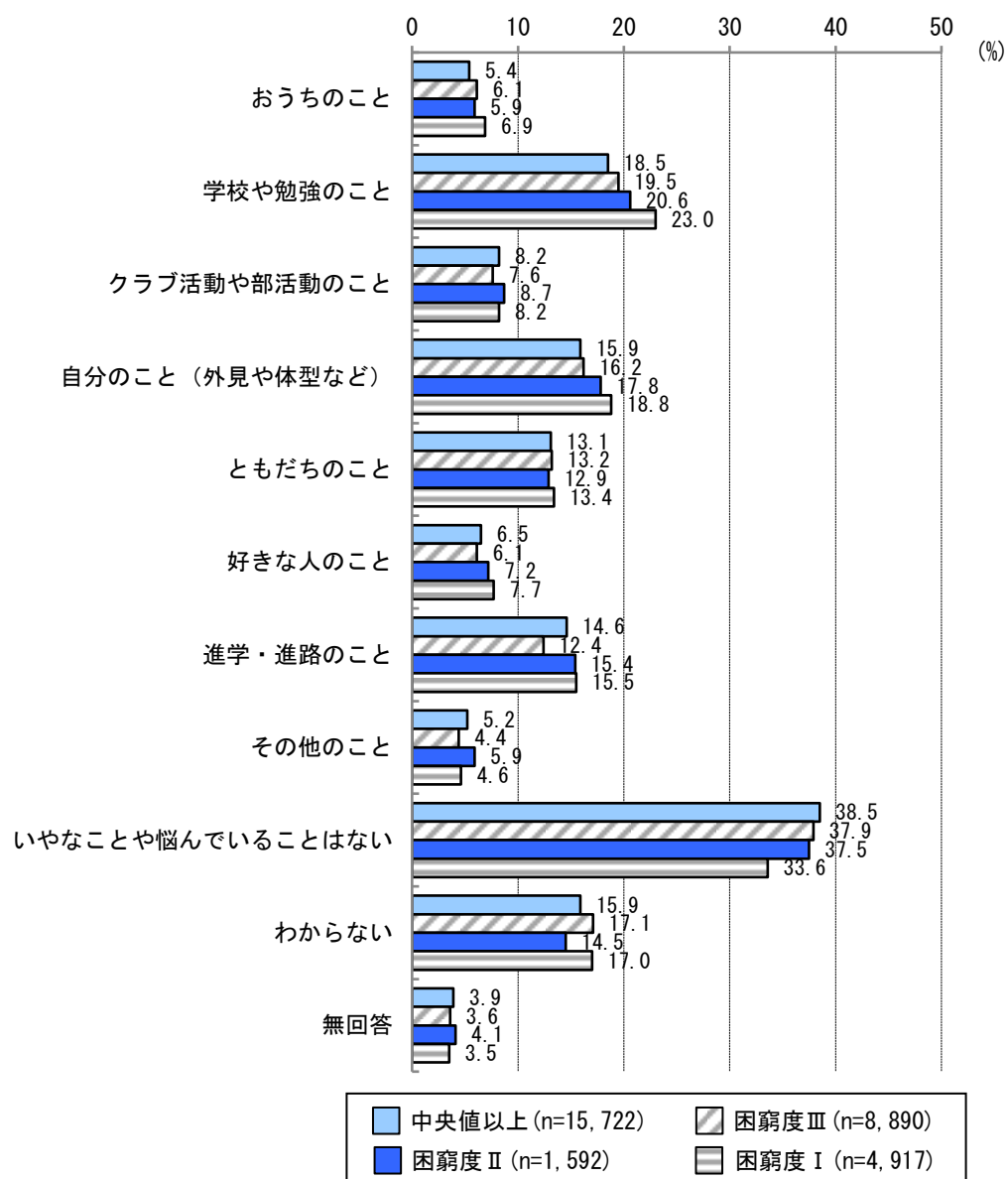


図 148. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと

困窮度別に子どもが毎日の生活で楽しいことを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「塾や習いごとで過ごしているとき」32.2%（困窮度Ⅰ群に対して2.7倍）、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」69.8%（同じく1.1倍）、「ともだちと一緒に過ごしているとき」85.9%（同じく1.1倍）となっている。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問17）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

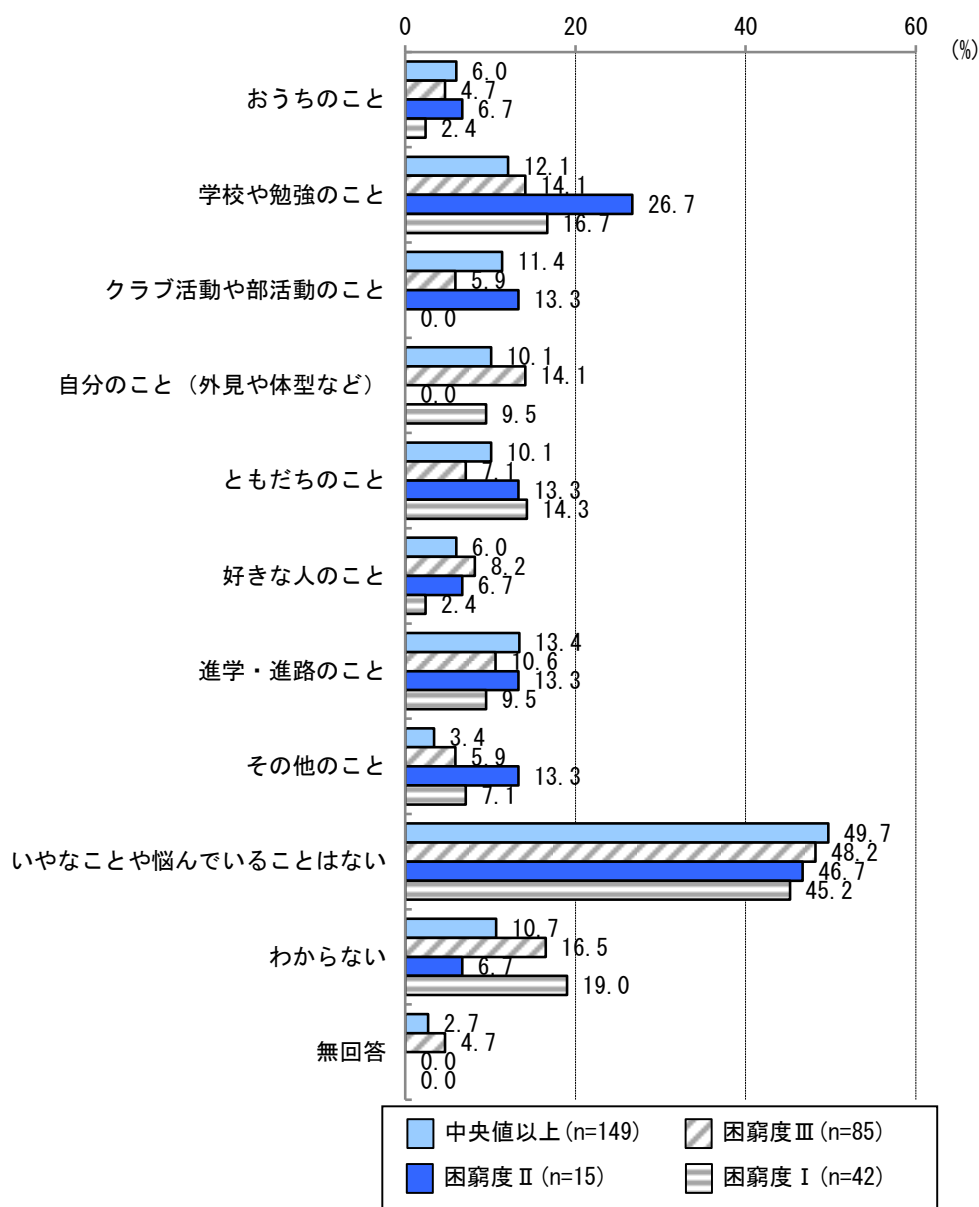
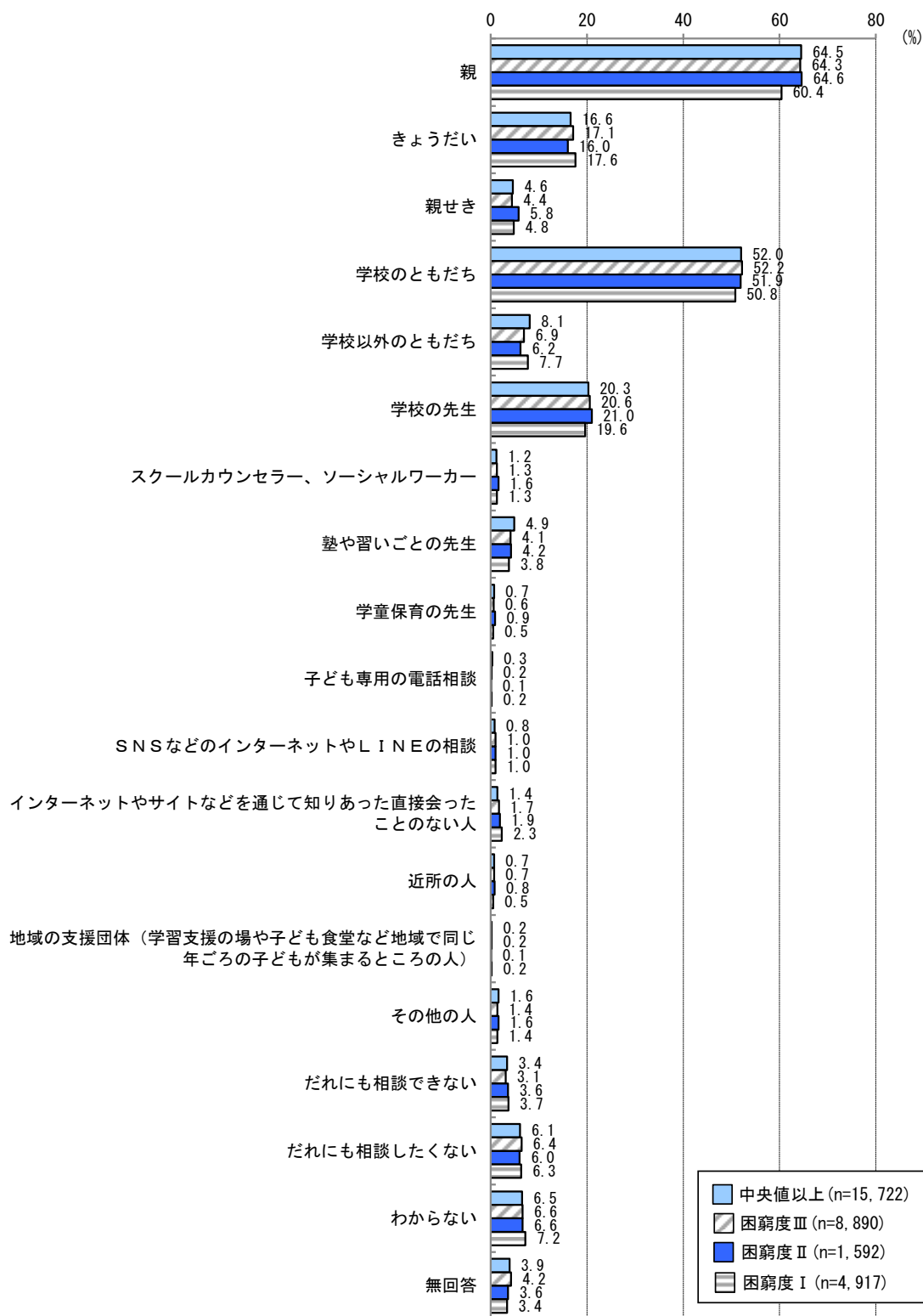


図 149. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること

困窮度別に子どもが悩んでいることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「学校や勉強のこと」16.7%（中央値以上群に対して1.4倍）、「ともだちのこと」14.3%（同じく1.4倍）となっている。一方、中央値以上群では「おうちのこと」6.0%（困窮度Ⅰ群に対して2.5倍）、「好きな人のこと」6.0%（同じく2.5倍）、「進学・進路のこと」13.4%（同じく1.4倍）となっている。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問18）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

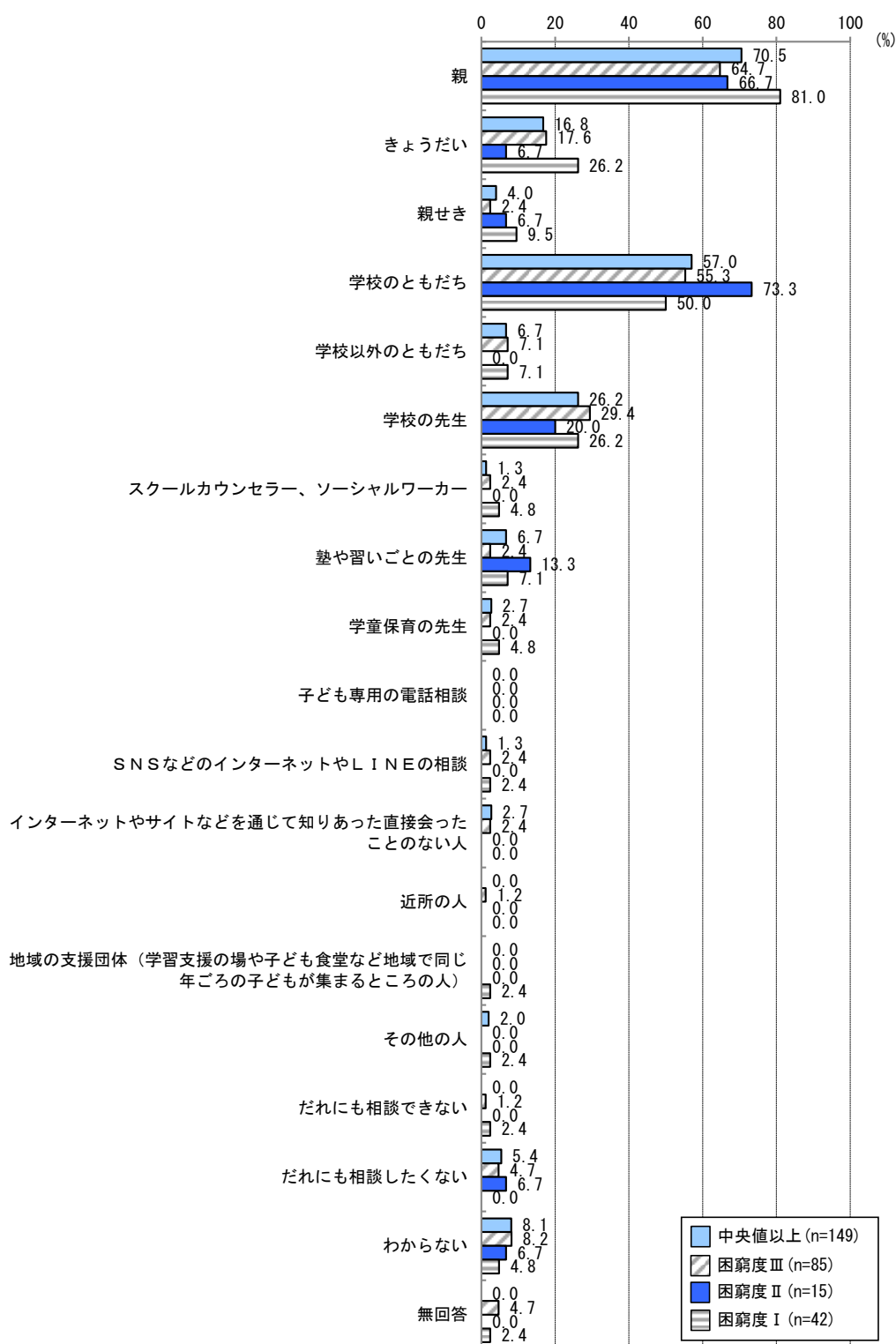
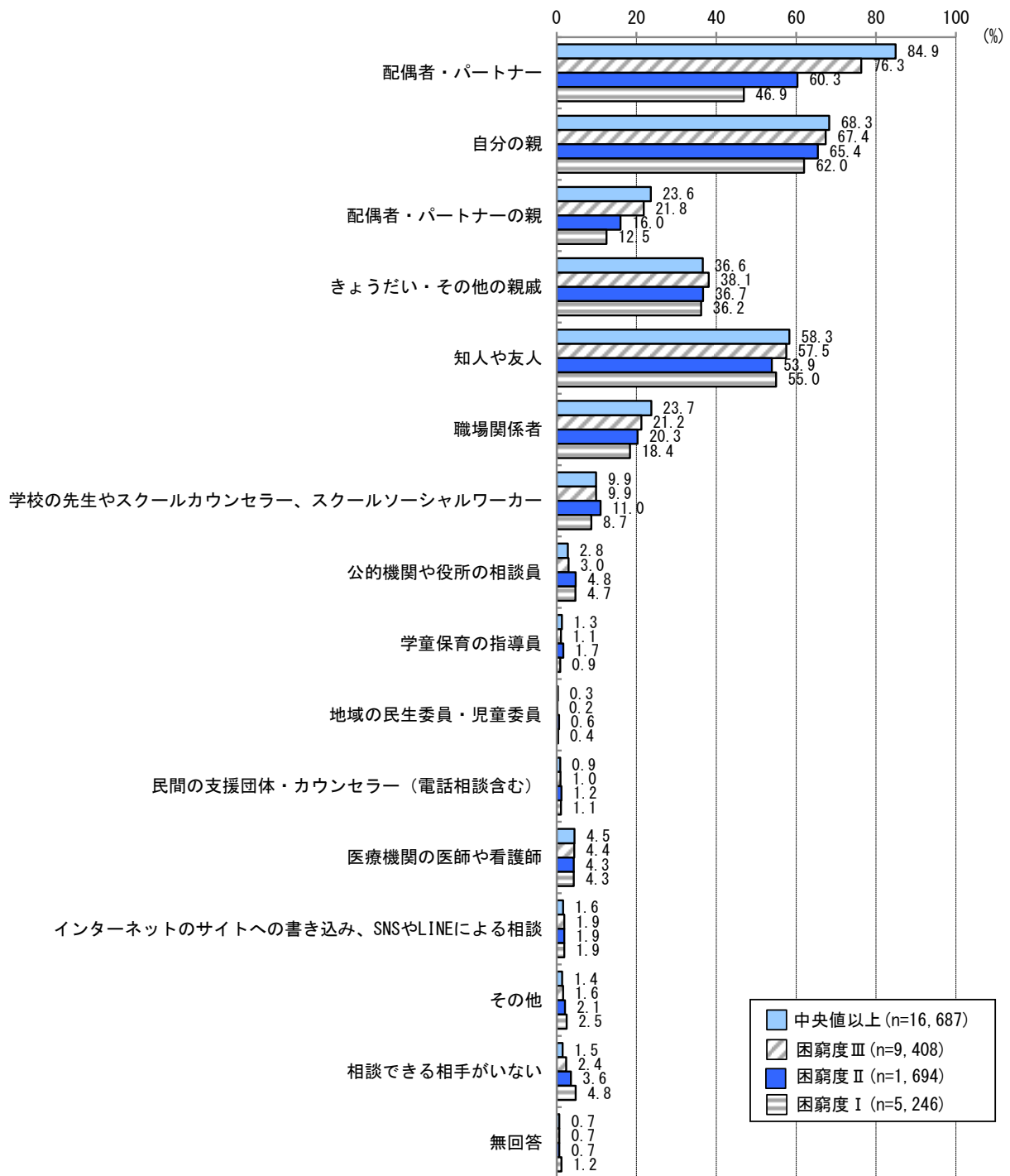


図 150. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

困窮度別に子どもの嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー」4.8%（中央値以上群に対して3.7倍）、「親せき」9.5%（同じく2.4倍）となっている。

困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 19）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

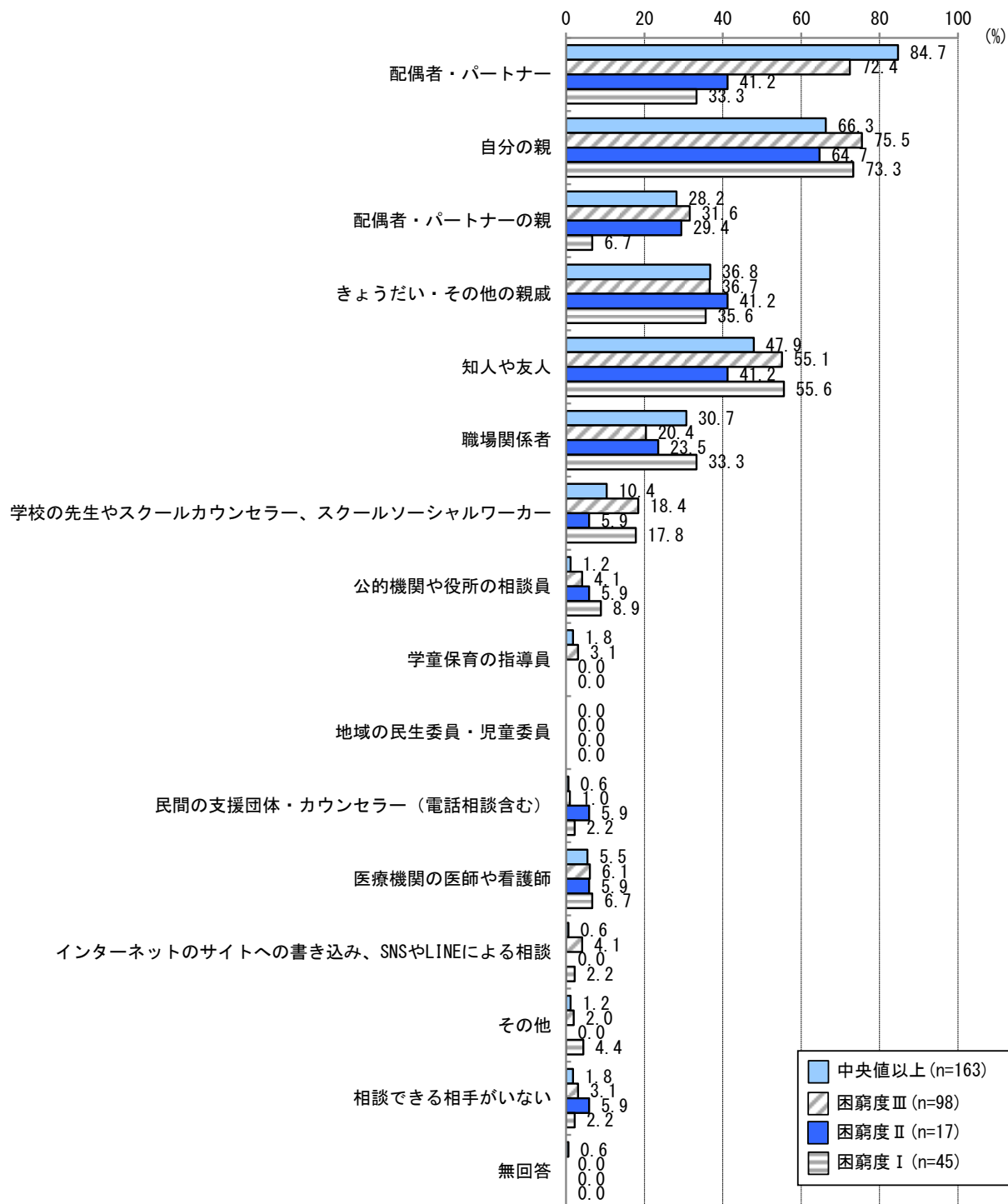
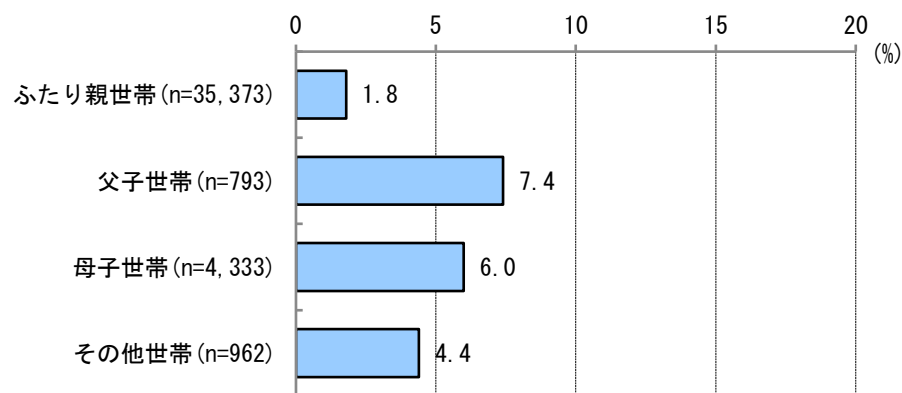


図 151. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

困窮度別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「公的機関や役所の相談員」8.9%（中央値以上群に対して7.4倍）、「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」と「インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談」がともに2.2%（同じく3.7倍）となっている。一方、中央値以上群の数値を挙げると、「配偶者・パートナーの親」28.2%（困窮度Ⅰ群に対して4.2倍）、「配偶者・パートナー」84.7%（同じく2.5倍）となっている。

世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合
(保護者票問2×保護者票問19)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

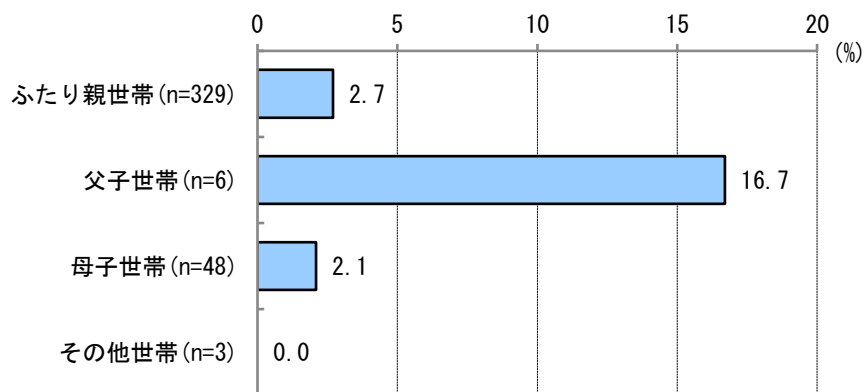
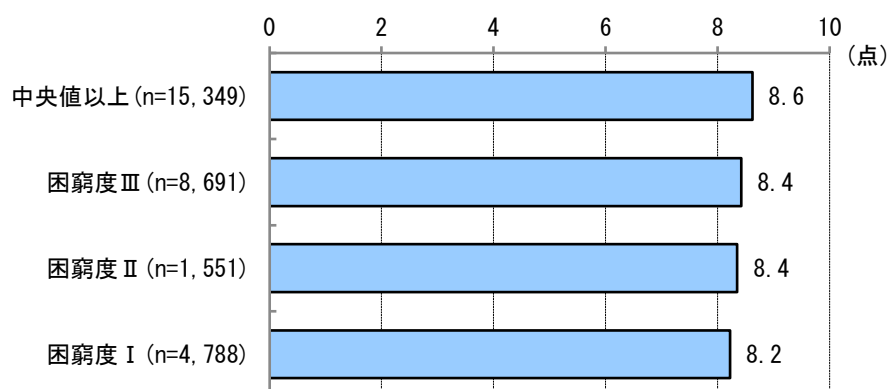


図 152. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合

世帯構成別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合を見ると、「相談できる相手がない」と回答した人は、父子世帯で16.7%、母子世帯で2.1%いる。

困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

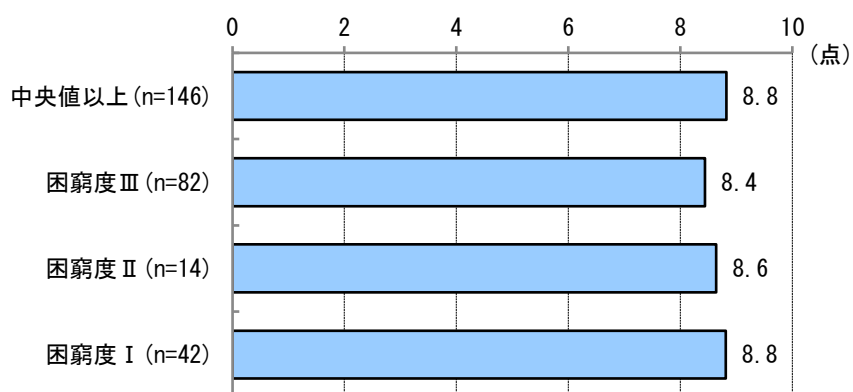
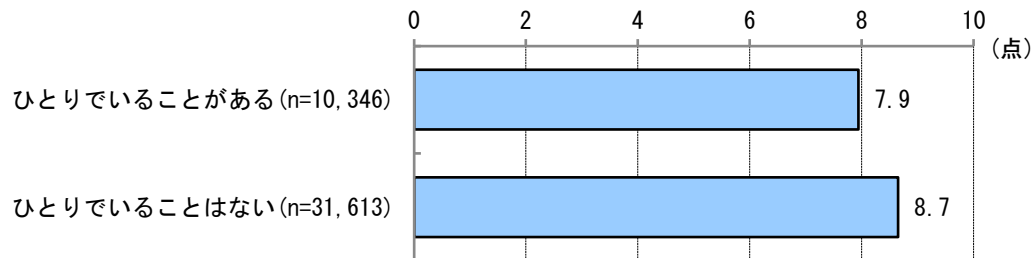


図 153. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、困窮度Ⅲ群以降、困窮度が高くなるにつれ、セルフ・エフィカシーが高くなっている。

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問 10×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

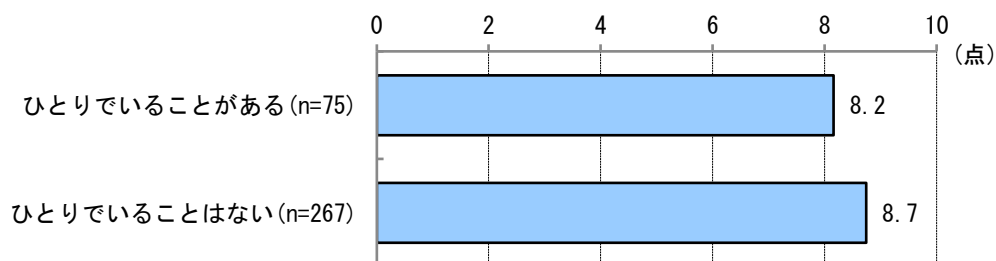


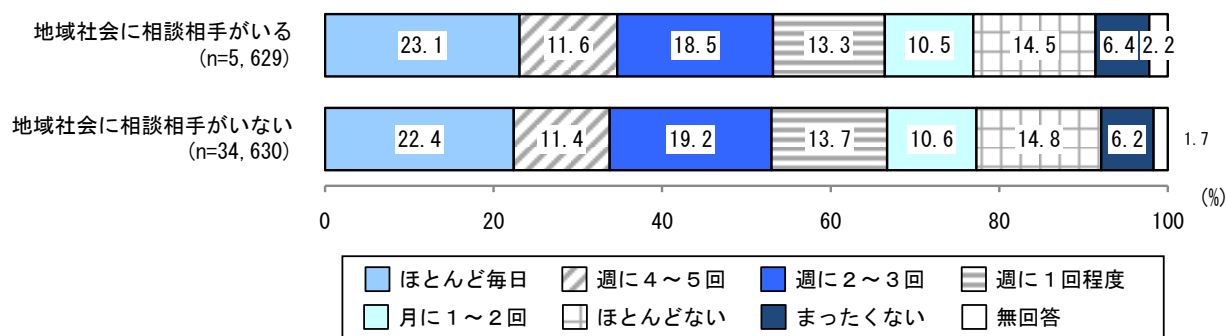
図 154. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかによって子どもの自己効力感(セルフ・エフィカシー)を見ると、放課後ひとりで過ごす子どもの方がそれでない子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか
(保護者票問 19×子ども票問 8④)

※「あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか」という問に対し、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」「公的機関や役所の相談員」「学童保育の指導員」「地域の民生委員・児童委員」「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」「医療機関の医師や看護師」のうち少なくとも1つを選択した人を、「地域社会に相談相手がいる」とした。

<大阪府内全体>



<河内長野市>

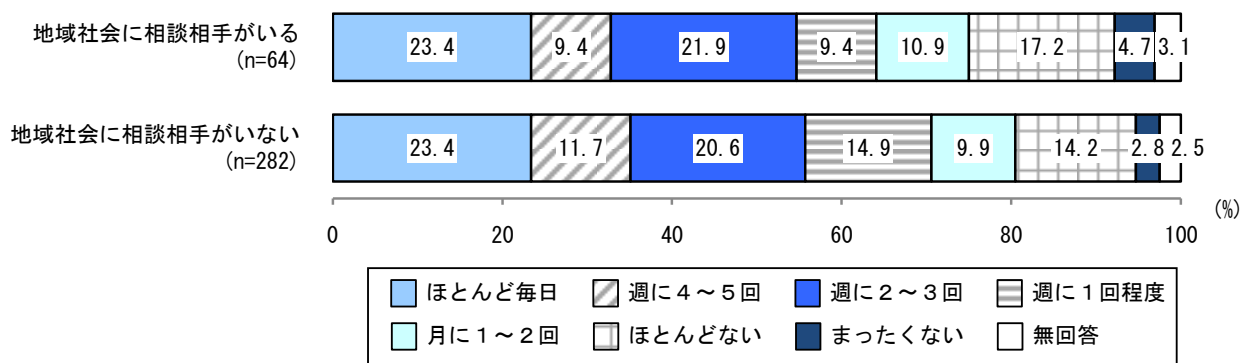
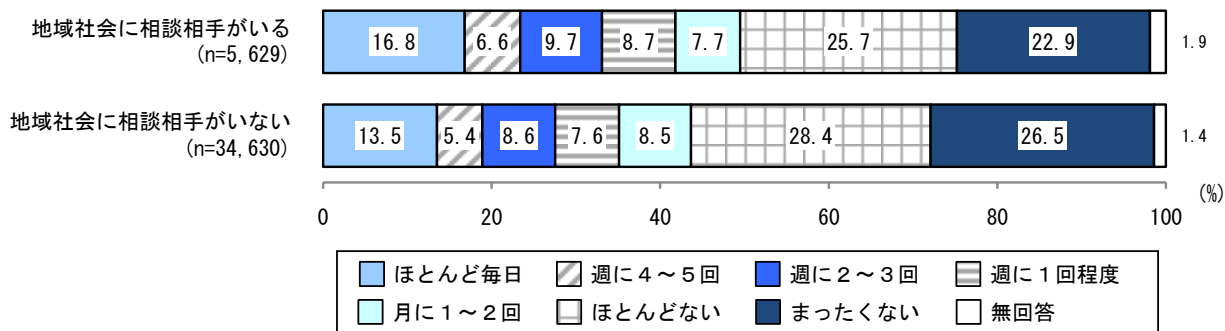


図 155. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、家の手伝いをしているかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、子どもがおうちの手伝いをしているかに「週に2～3回」、「月に1～2回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（保護者票問 19×子ども票問 8⑤）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

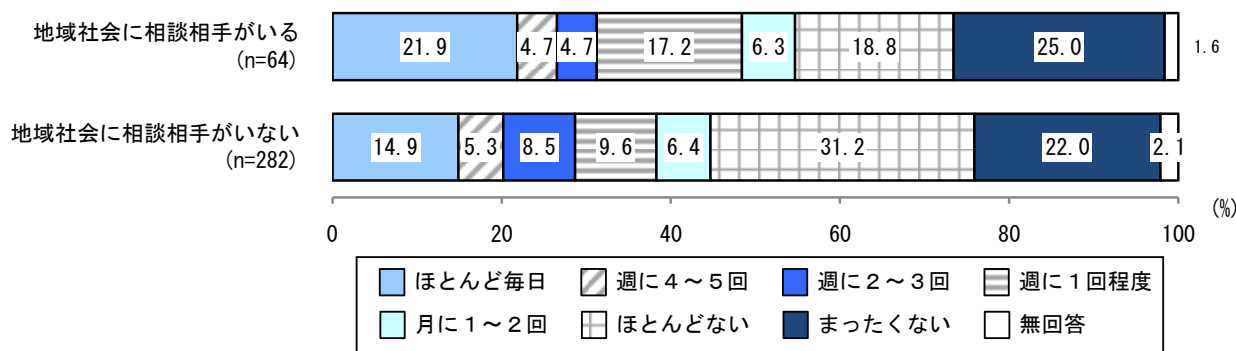
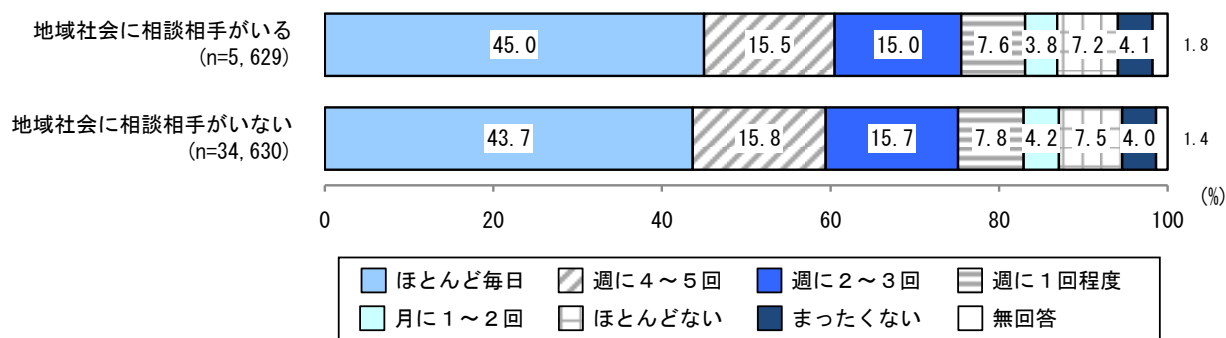


図 156. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人に宿題（勉強）を見てもらっているかに「ほとんど毎日」、「週に1回程度」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑥)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

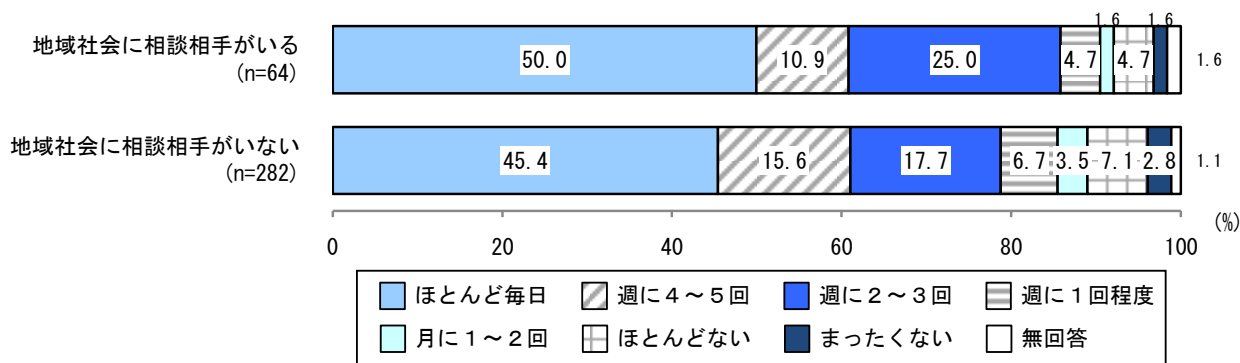
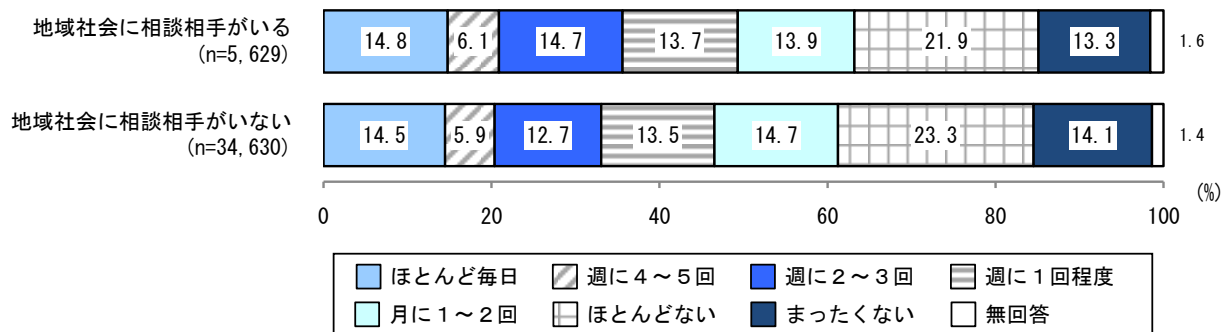


図 157. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかに「ほとんど毎日」「週に2～3回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(保護者票問 19×子ども票問 8⑦)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

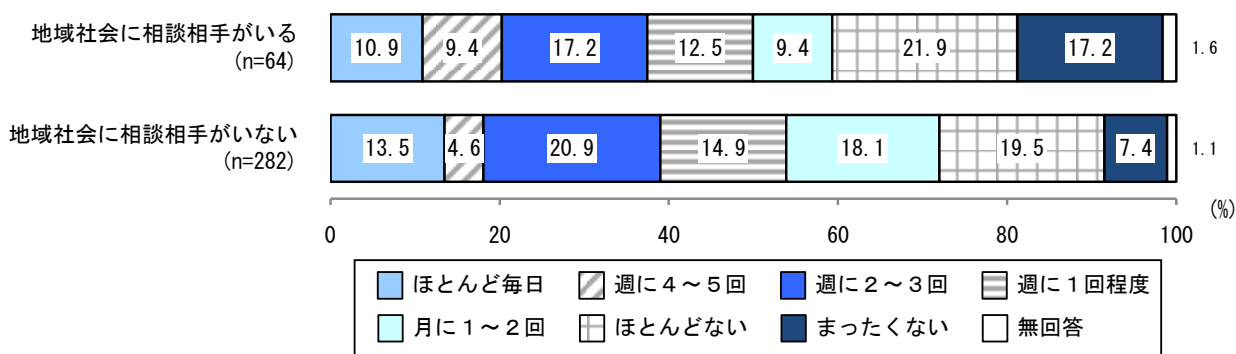
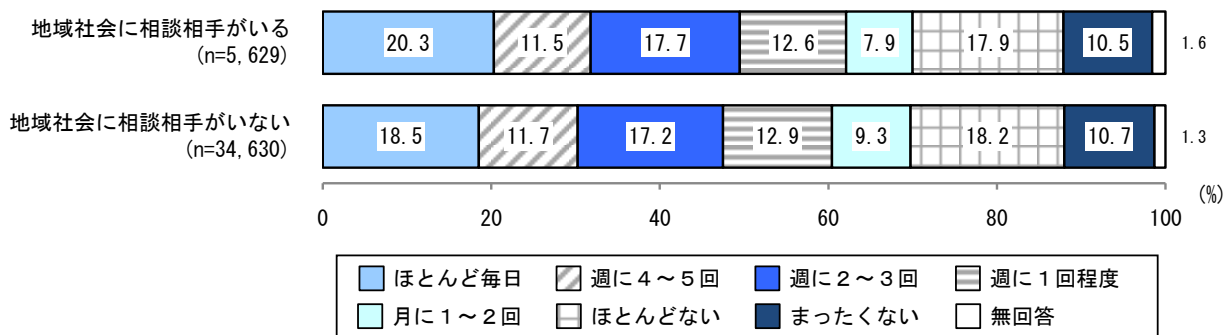


図 158. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「地域社会に相談相手がない」人の方が、「地域社会に相談相手がいる」人よりも、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかに「ほとんど毎日」「週に2～3回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか（保護者票問 19×子ども票問 8 ⑧）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

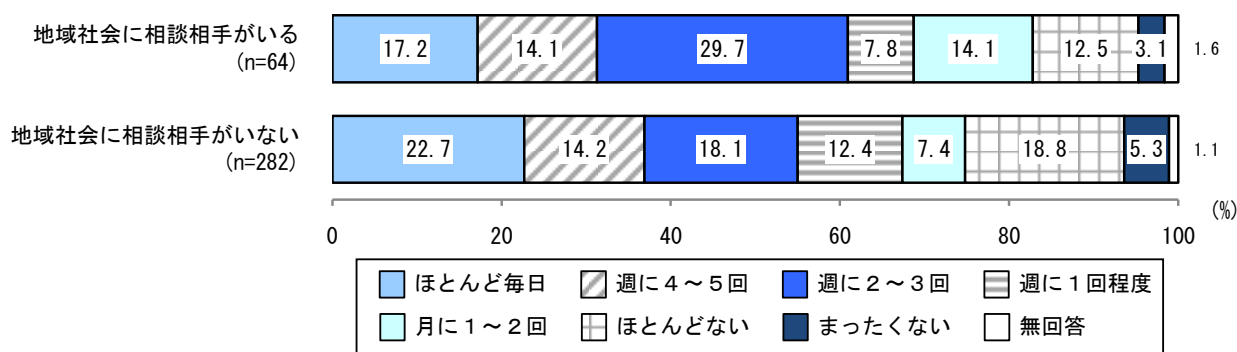
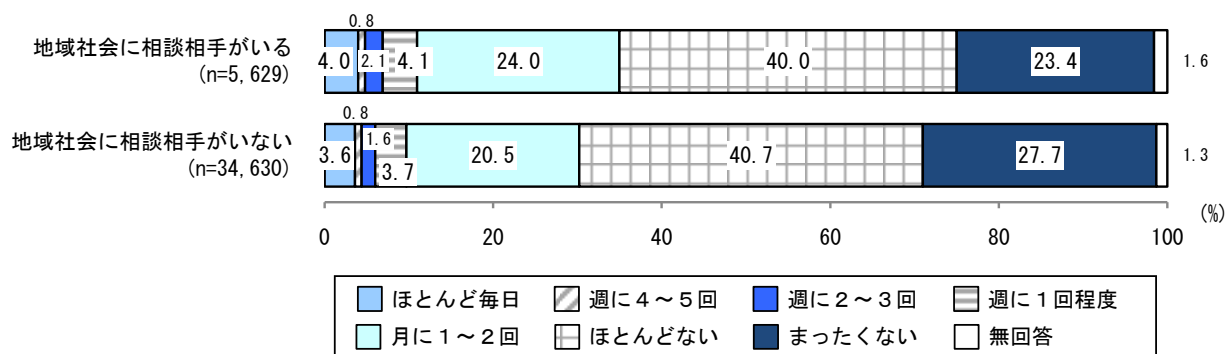


図 159. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がない」人の方が、「地域社会に相談相手がいる」人よりも、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑨)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

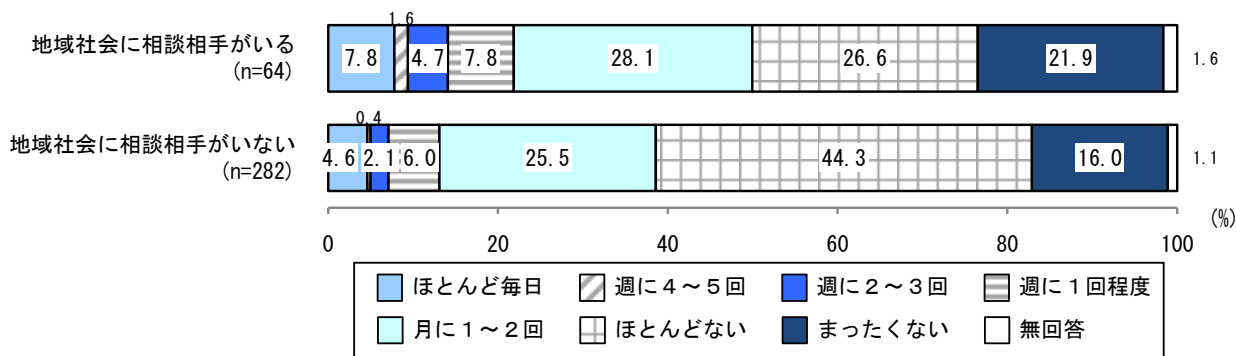
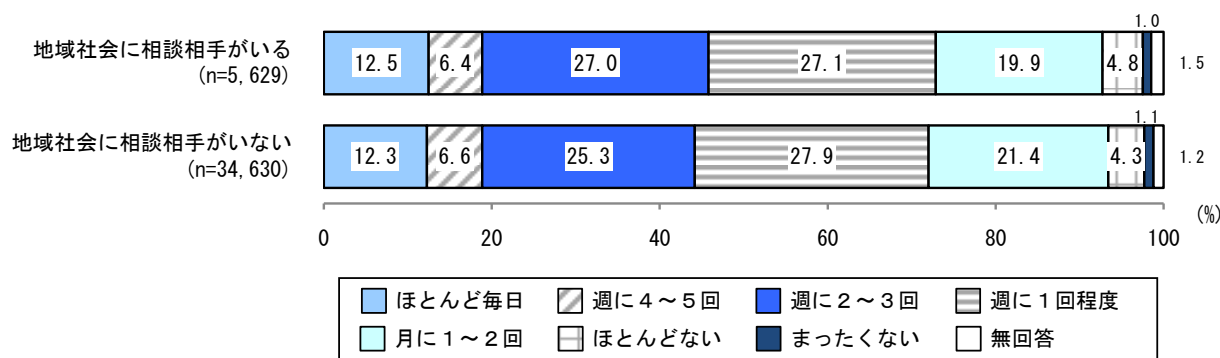


図 160. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりもおうちの大人の人と文化活動をするかに月に1回以上と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑩)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

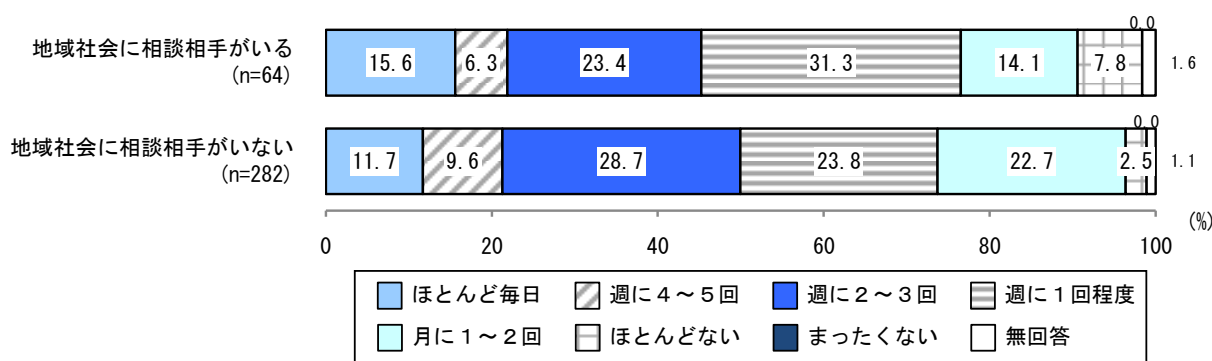
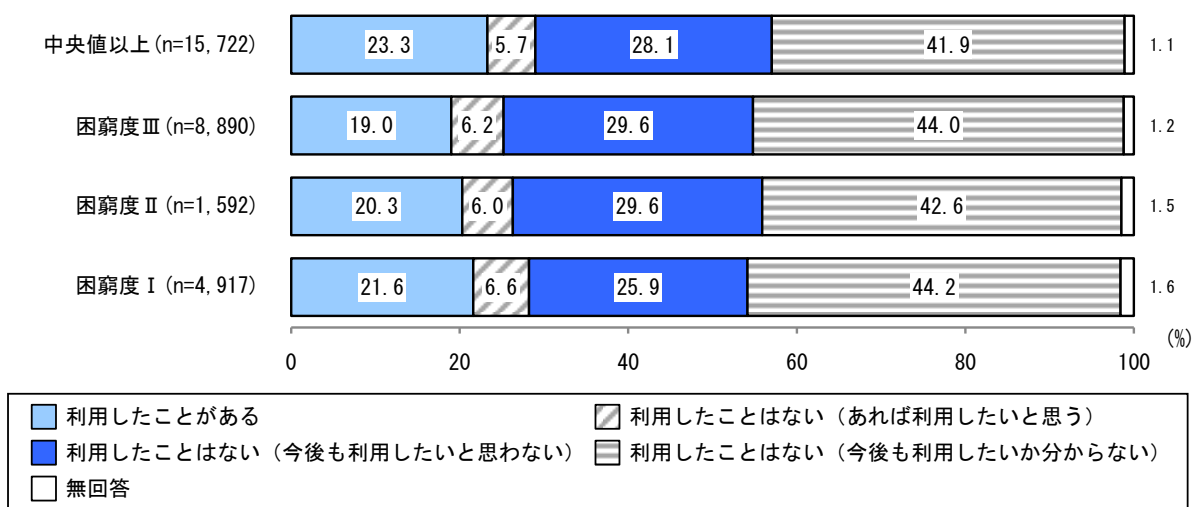


図 161. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人と一緒に外出するかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（子ども票問 25(1)①）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

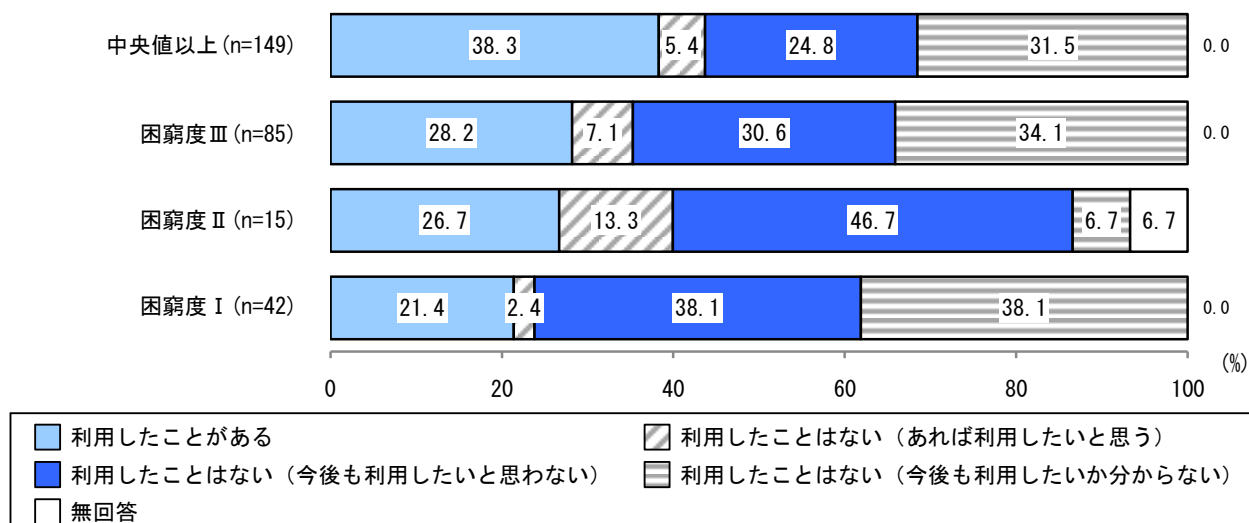
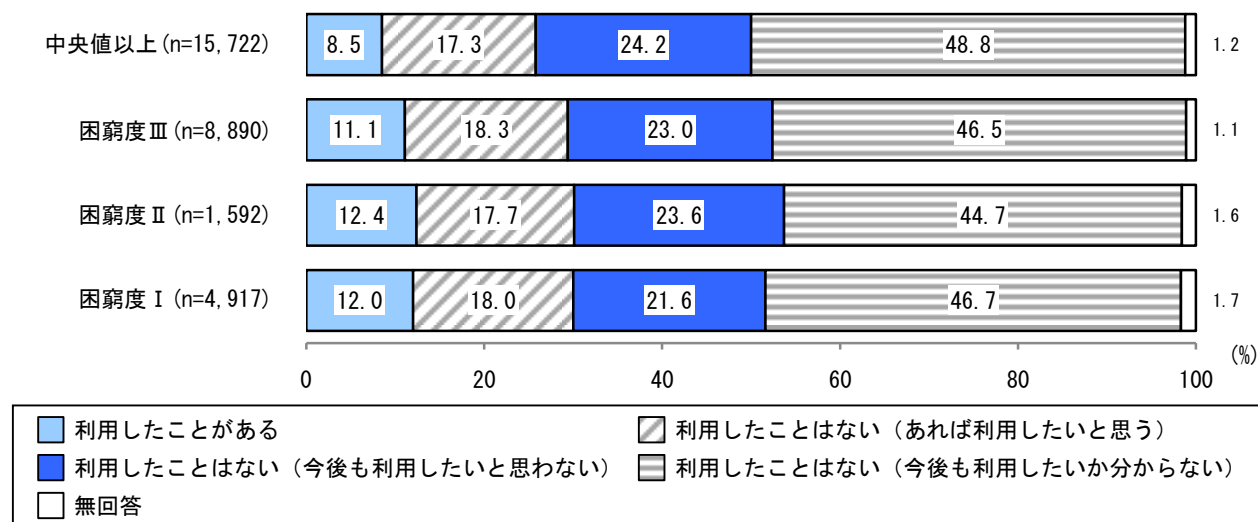


図 162. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

困窮度別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、困窮度が高まるにつれて、「利用したことがある」と回答する割合が低くなっている。

困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所
(子ども票問 25(1)②)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

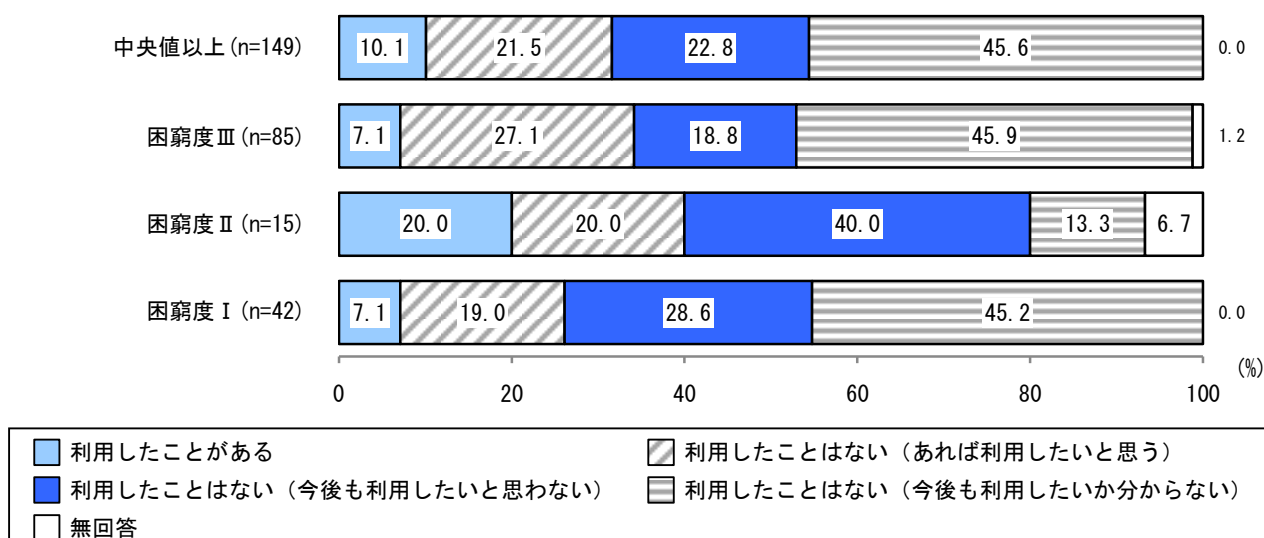
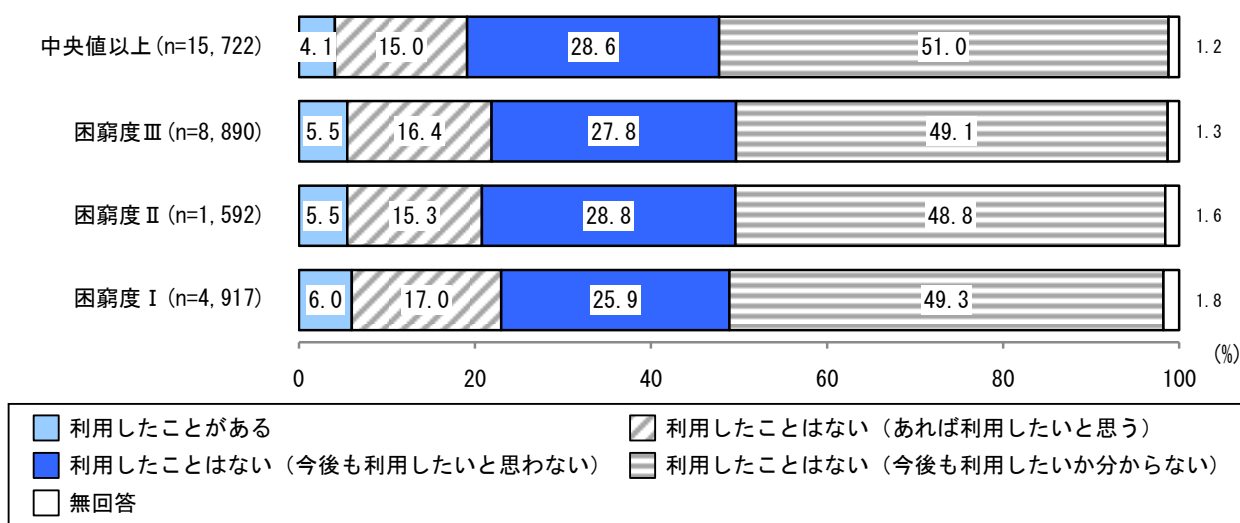


図 163. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

困窮度別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことはない (今後も利用したいか分からない)」と回答する割合が困窮度Ⅲ群で45.9%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所（子ども票問 25(1)③）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

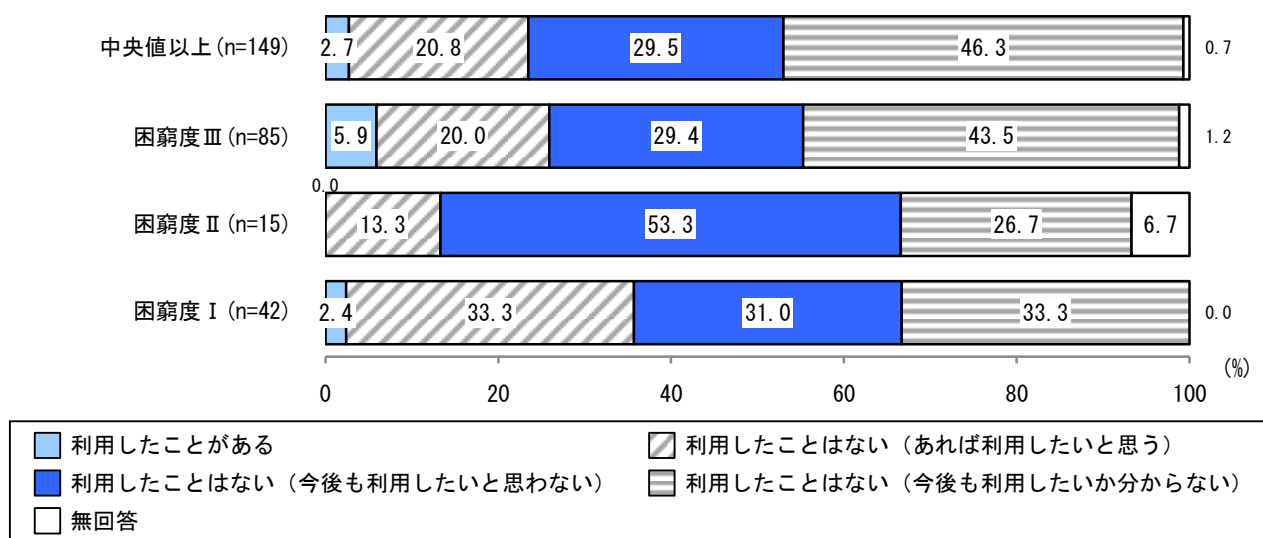
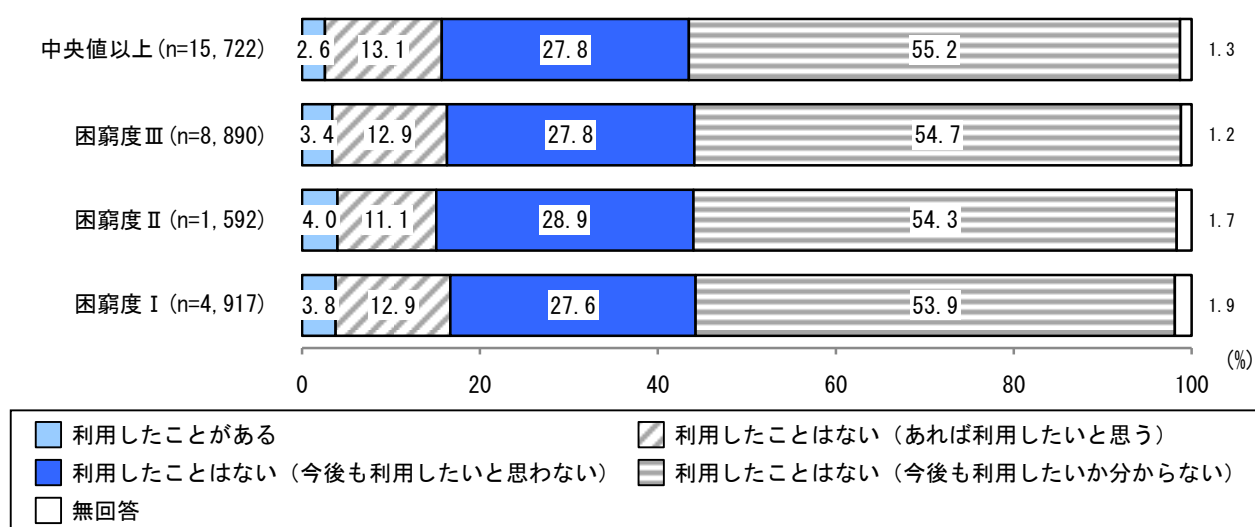


図 164. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所

困窮度別に勉強を無料か安い料金でみてる場所を見ると、「利用したことがある」と回答する割合が困窮度Ⅲ群で5.9%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、何でも相談できる場所（子ども票問 25(1)④）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

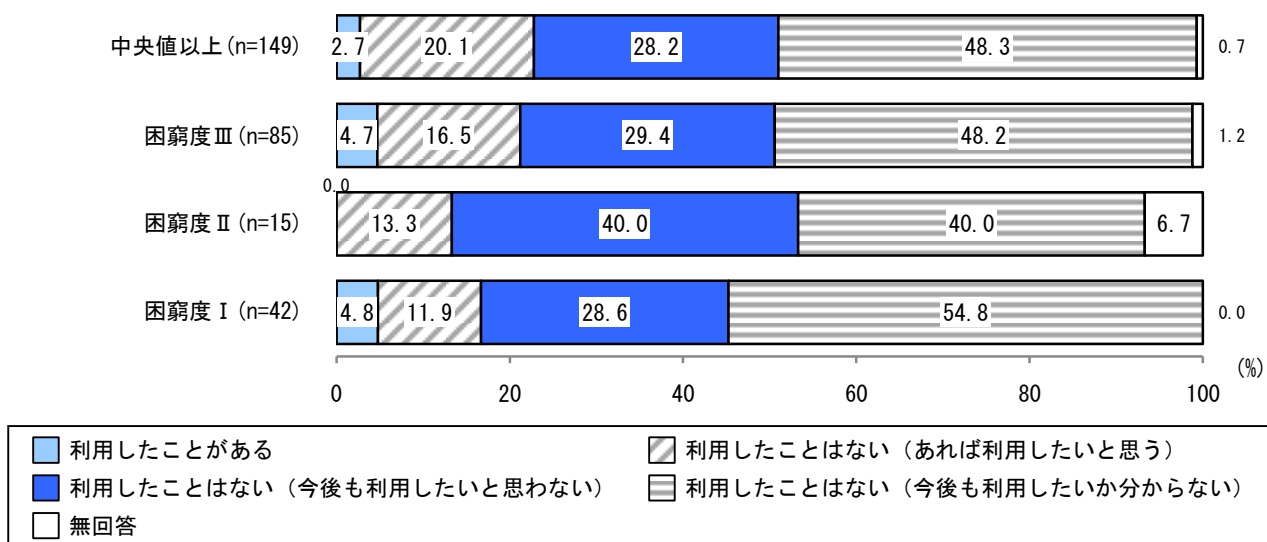
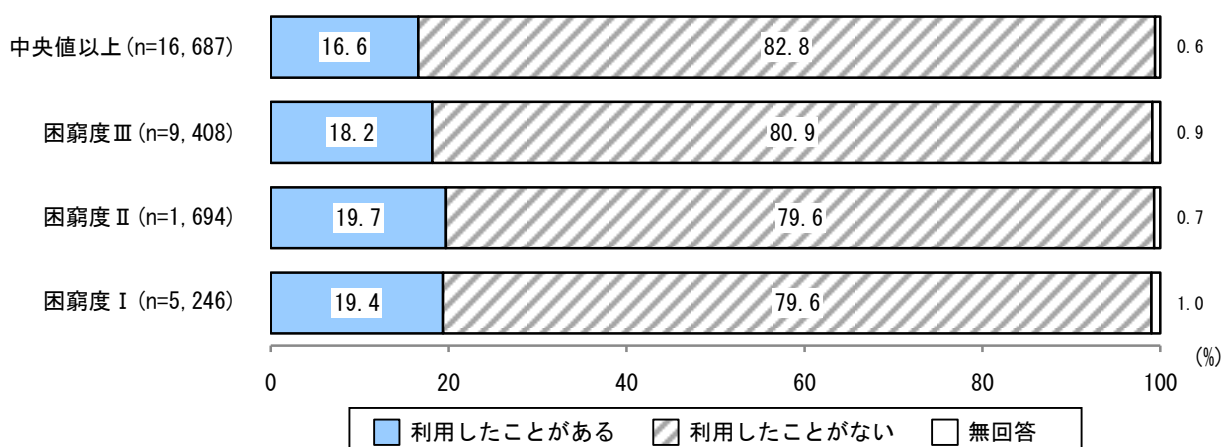


図 165. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所

困窮度別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で4.8%と最も高くなっている。また、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」も困窮度Ⅰ群で54.8%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験（保護者票問 16(1)）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

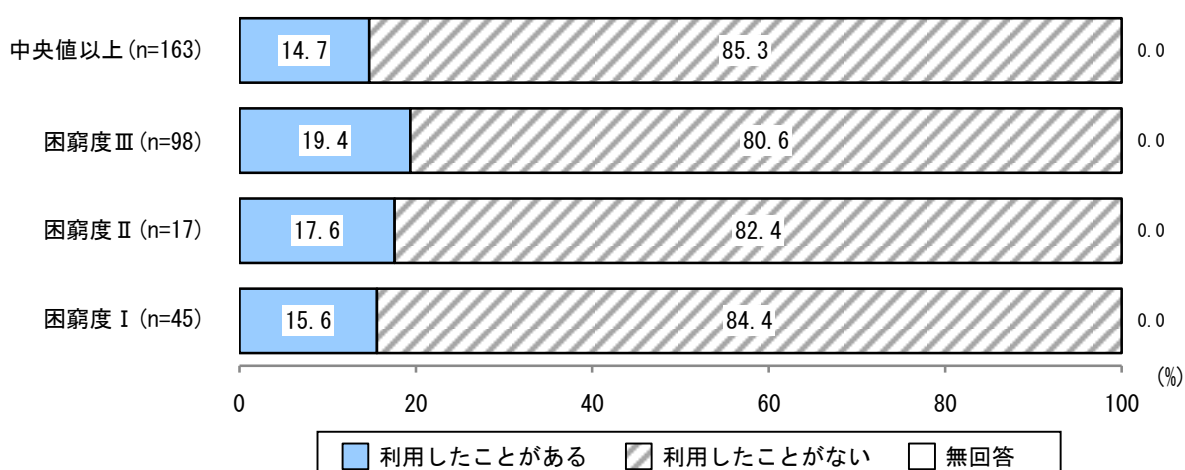
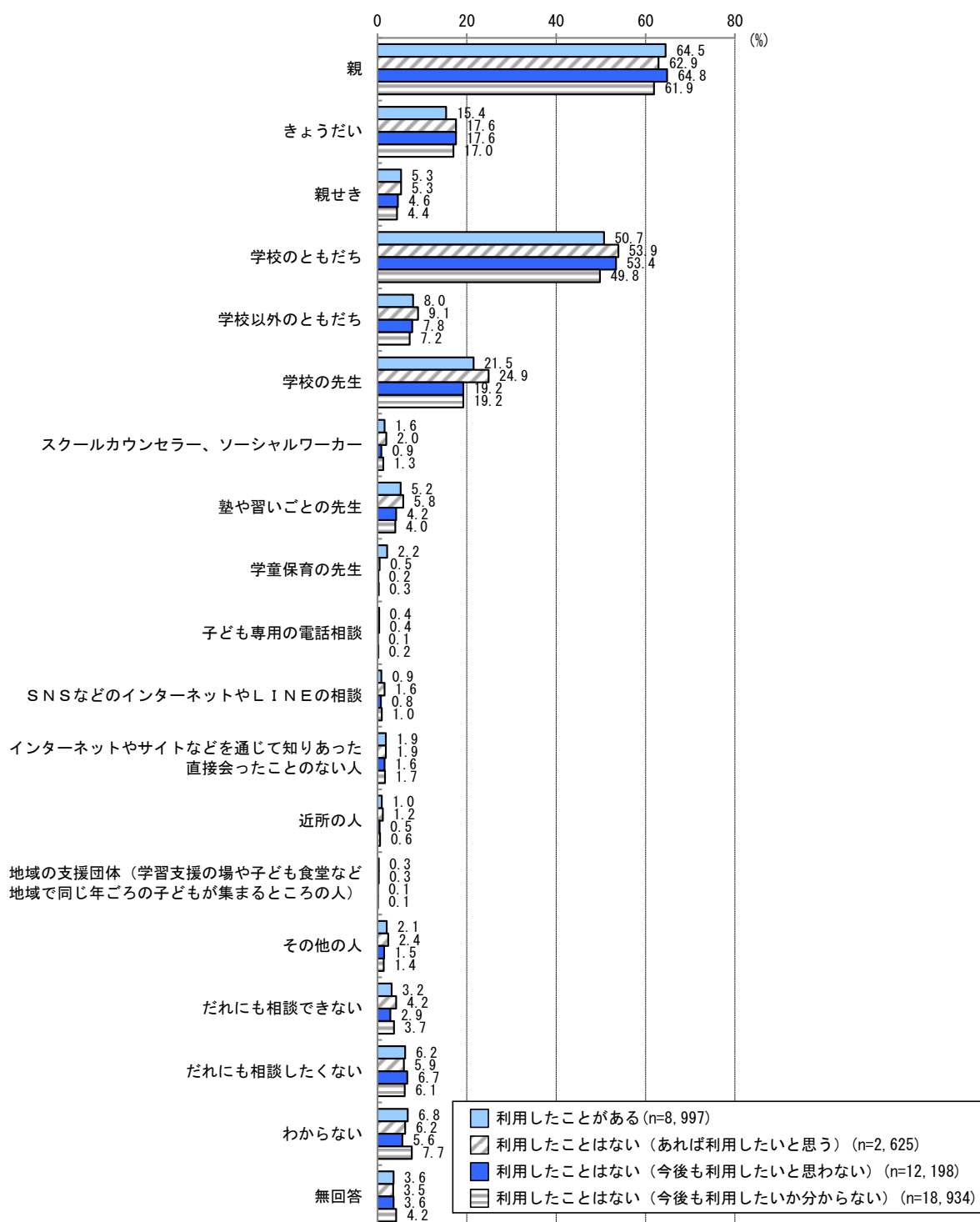


図 166. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験

困窮度別に子どもの居場所の利用経験を見ると、「利用したことがある」と回答する割合は困窮度Ⅲ群が19.4%で最も高く、中央値以上群が14.7%で最も低くなっている。

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)①×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

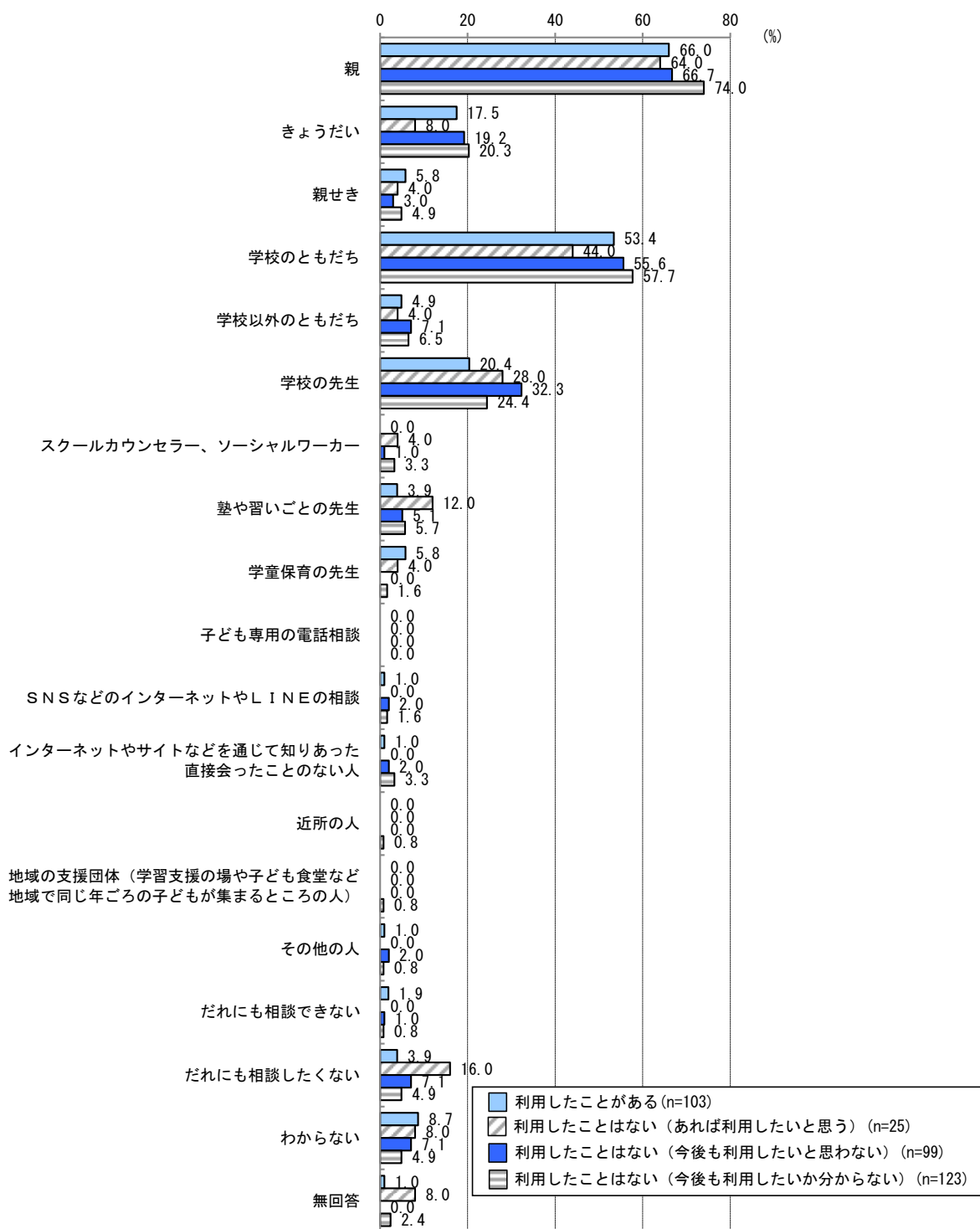
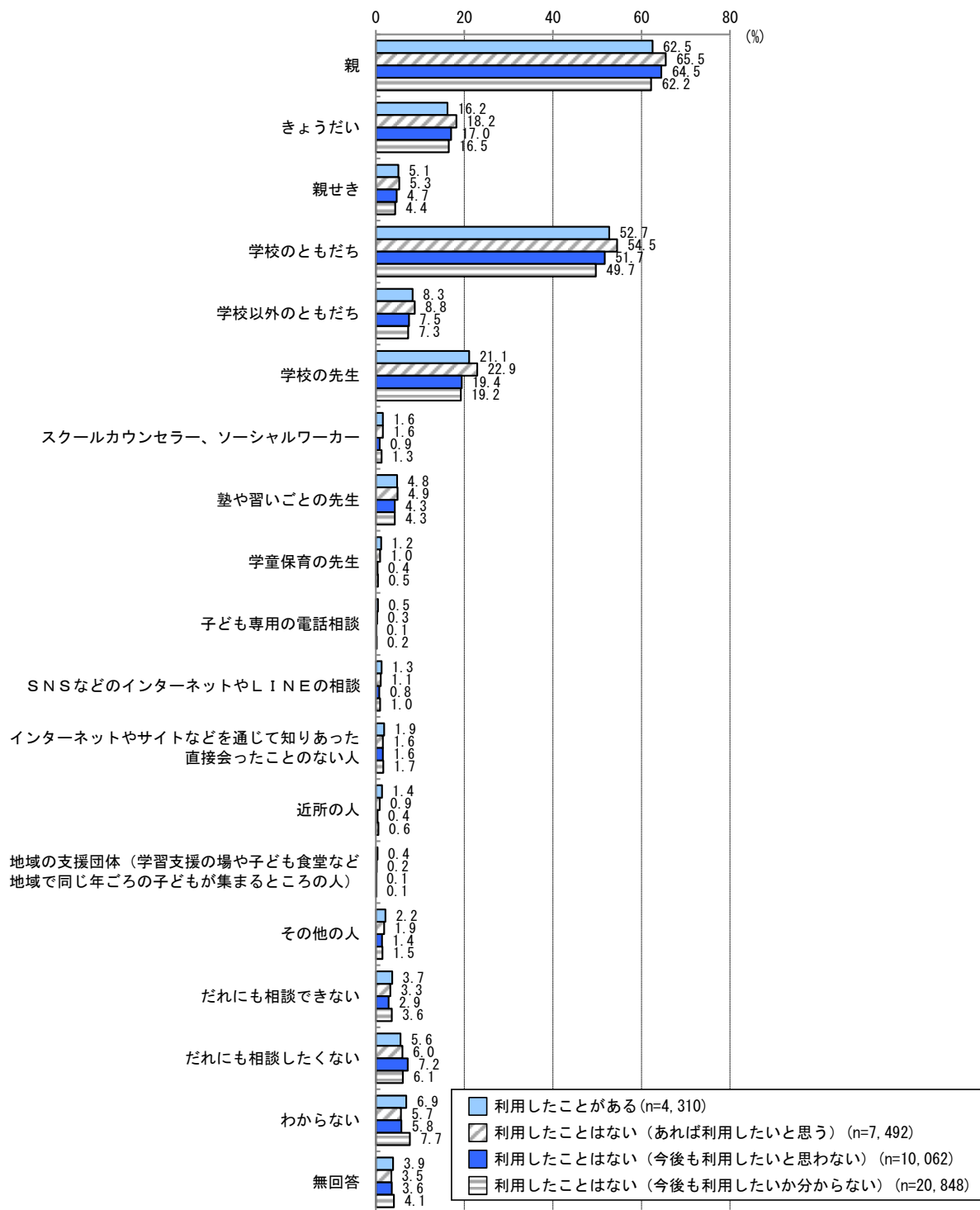


図 167. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」と回答した割合は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」と回答した人が74.0%と最も高くなっている。また、「学校のともだち」も「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」と回答した人が57.7%と最も高くなっている。

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 25 (1)②×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

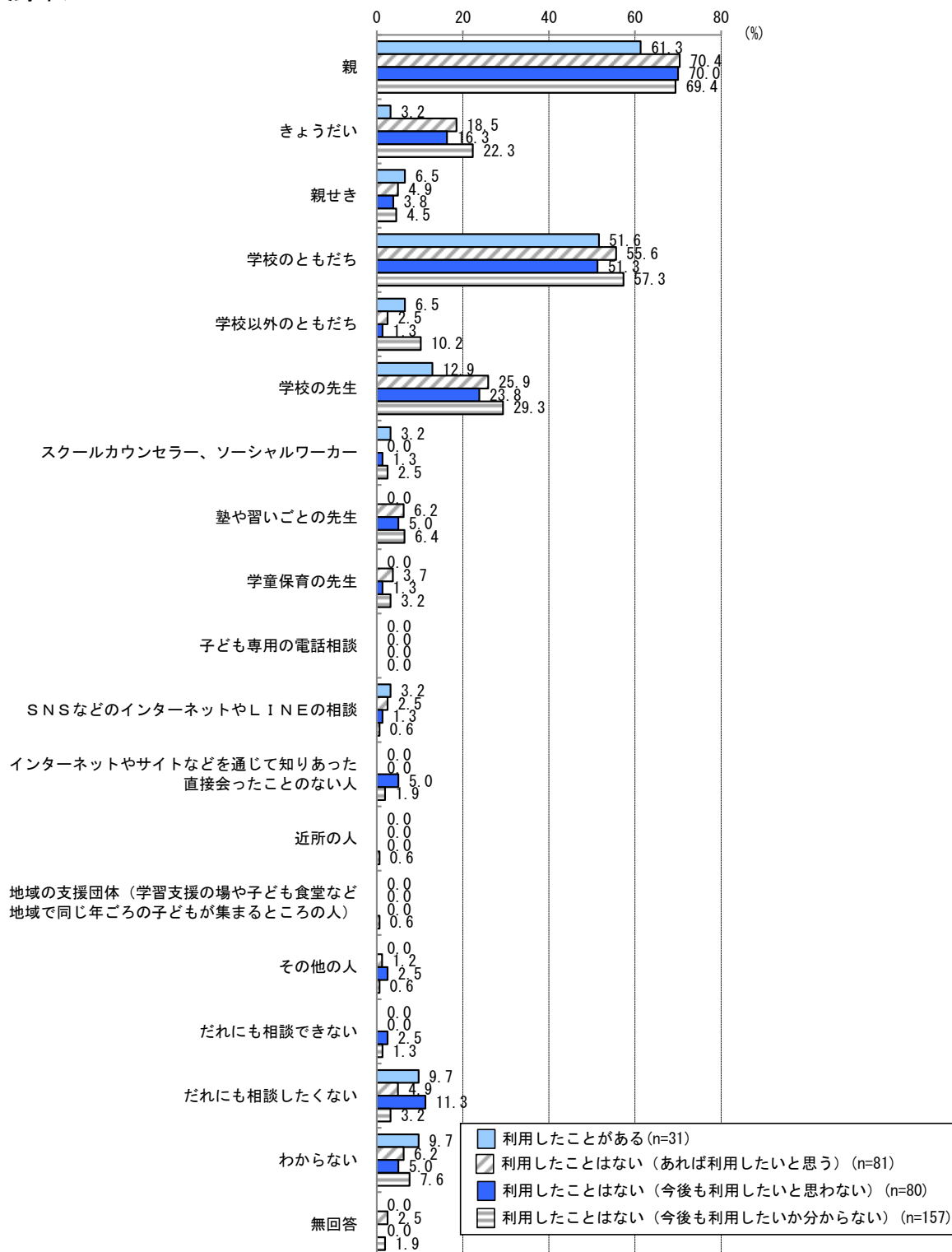
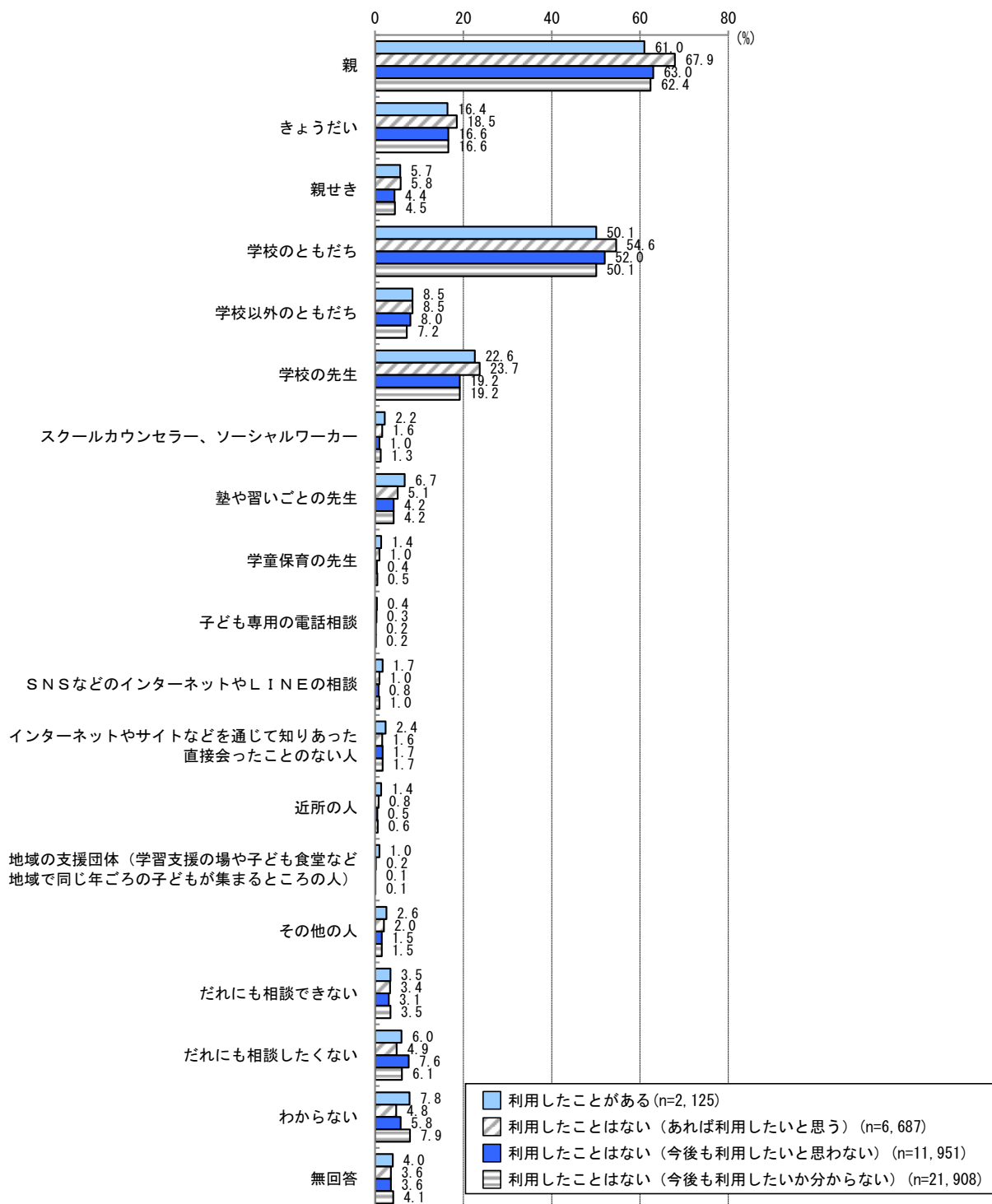


図 168. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)③×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

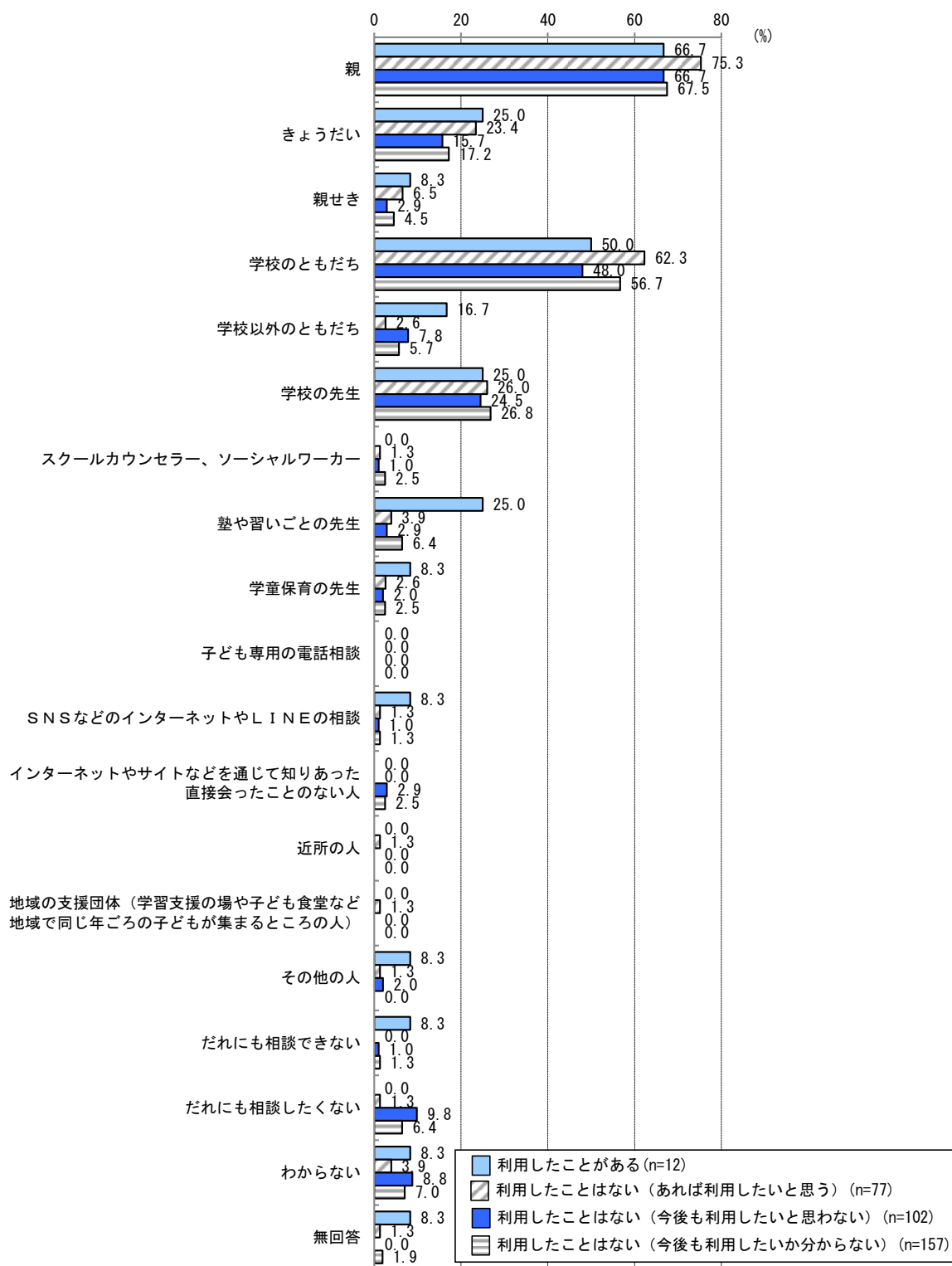
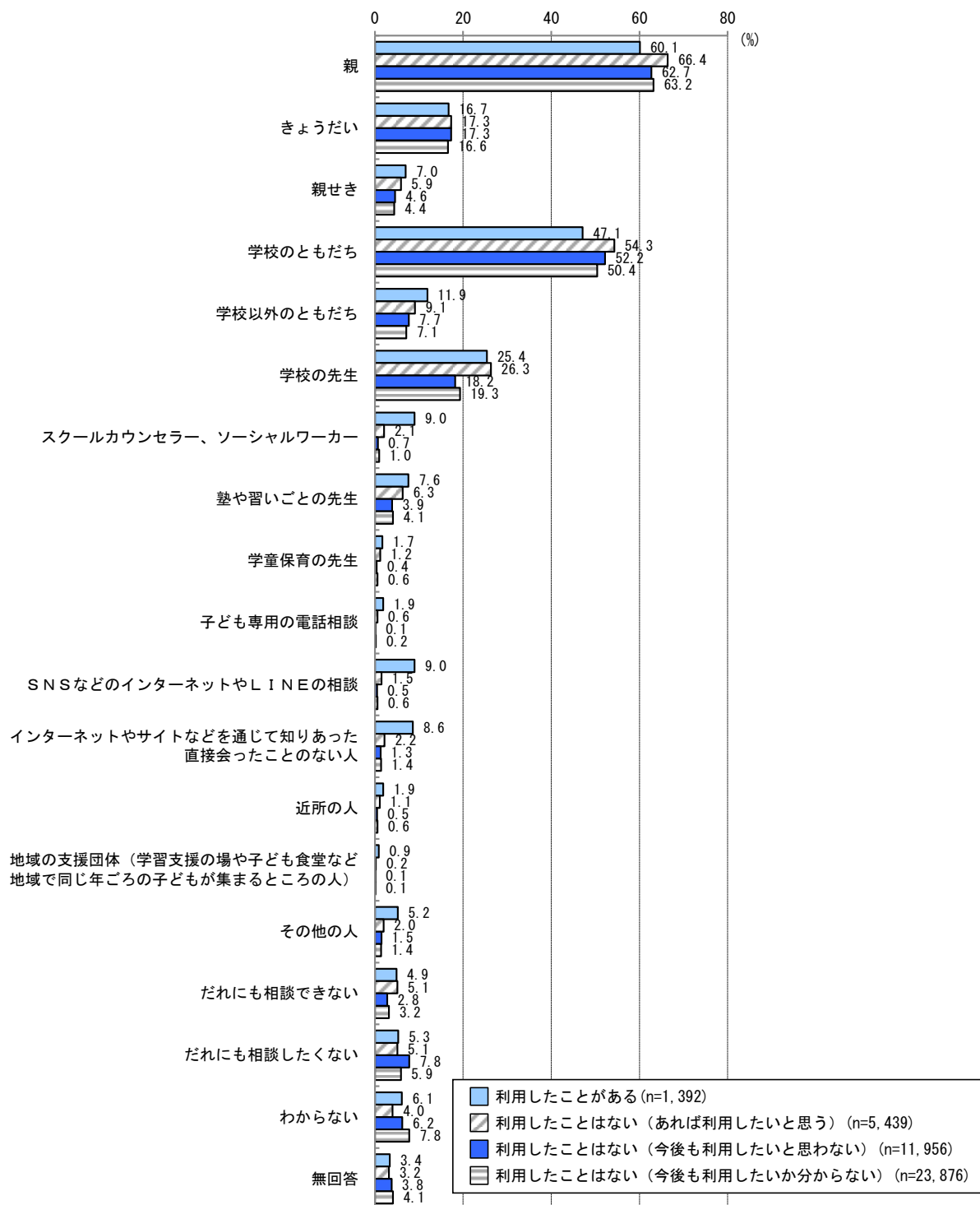


図 169. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「きょうだい」や「親せき」、「学校以外のともだち」、「塾や習いごとの先生」、「学童保育の先生」、「SNSなどのインターネットやLINEの相談」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)④×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

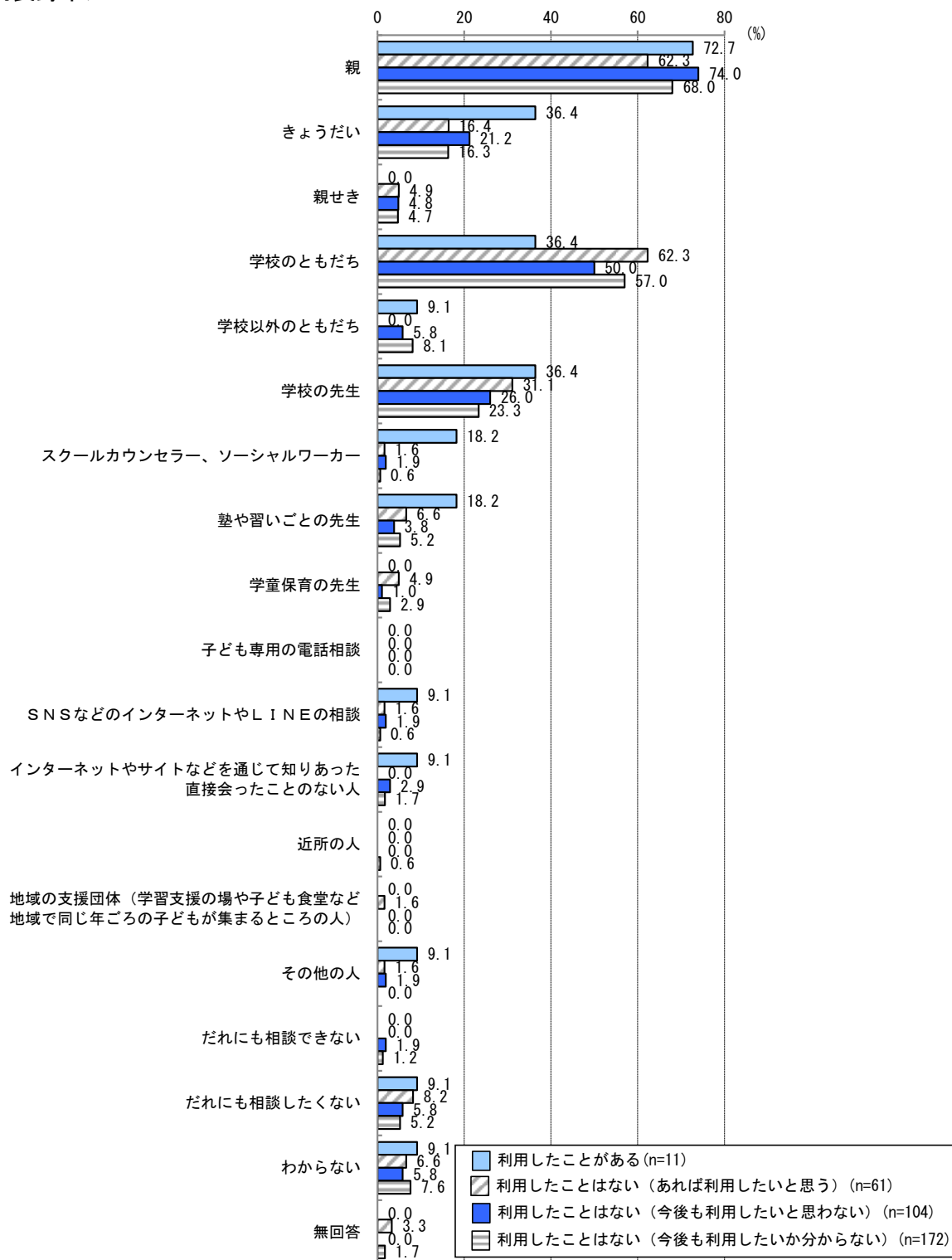
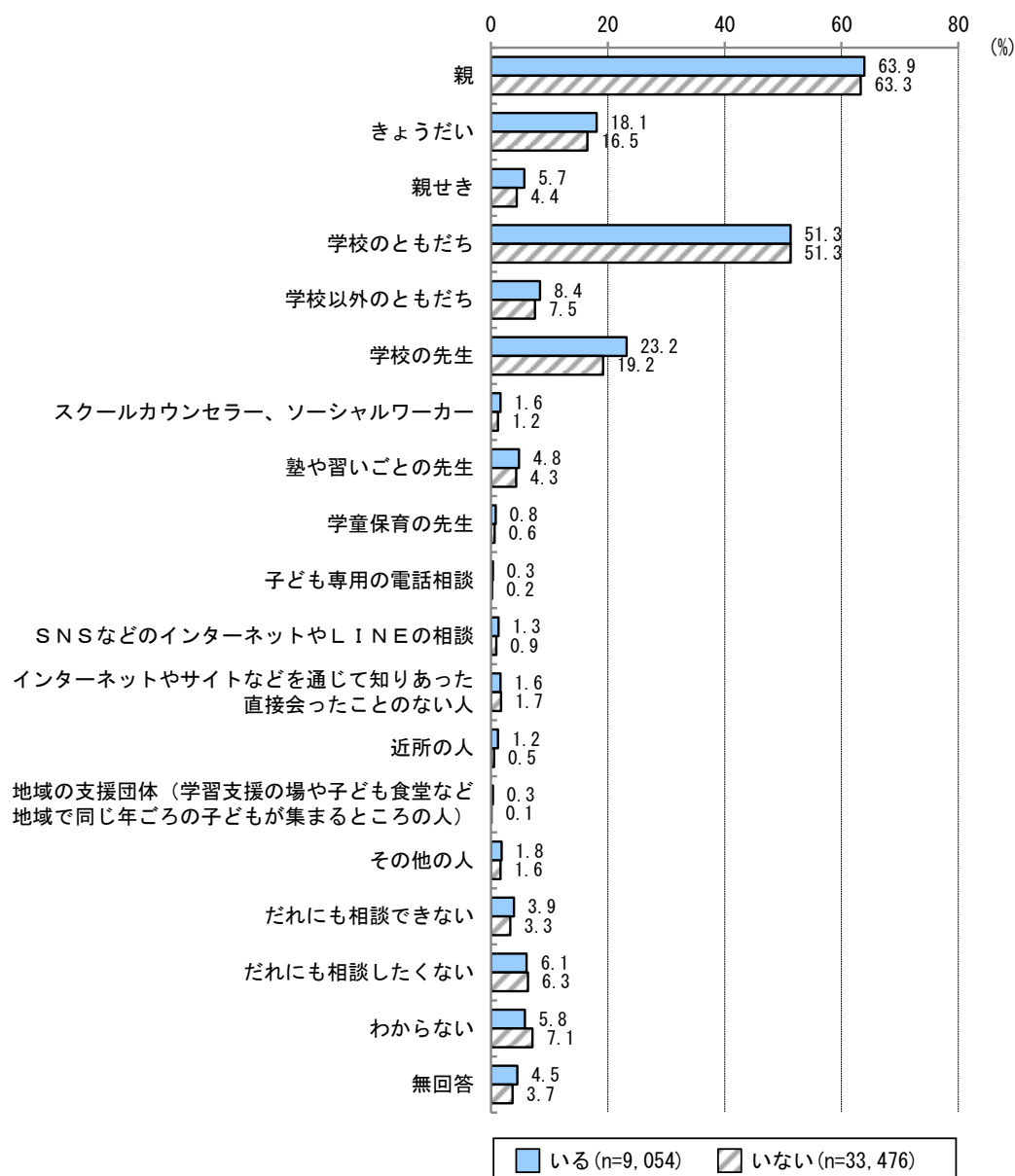


図 170. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

何でも相談できる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「きょうだい」、「学校以外のともだち」、「学校の先生」、「スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー」、「塾や習いごとの先生」、「SNSなどのインターネットやLINEの相談」、「インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

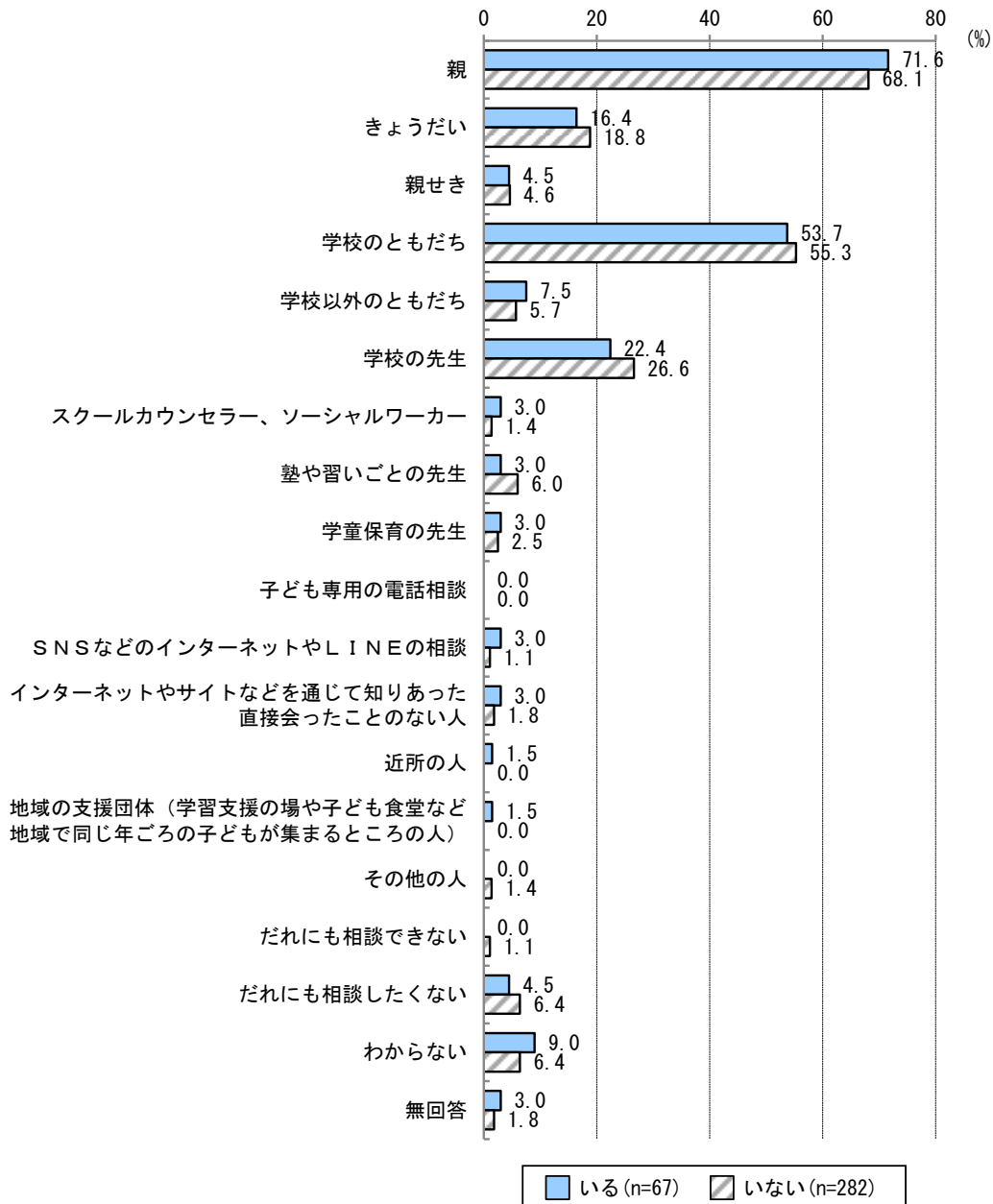
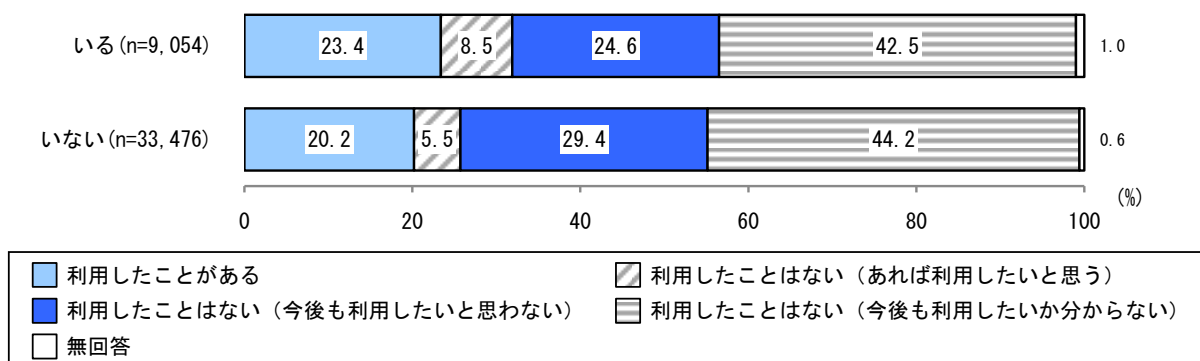


図 171. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

自分が世話をしている人の有無別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手をみると、相談相手が「学校の先生」と回答した人の割合は、世話をしている人がいる人よりいない人のほうが割合が高く、世話をしていない人では26.6%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

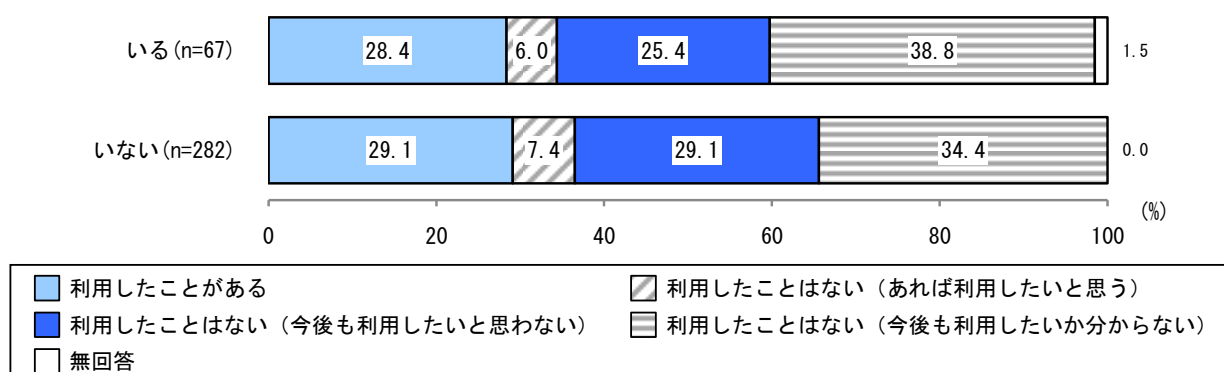
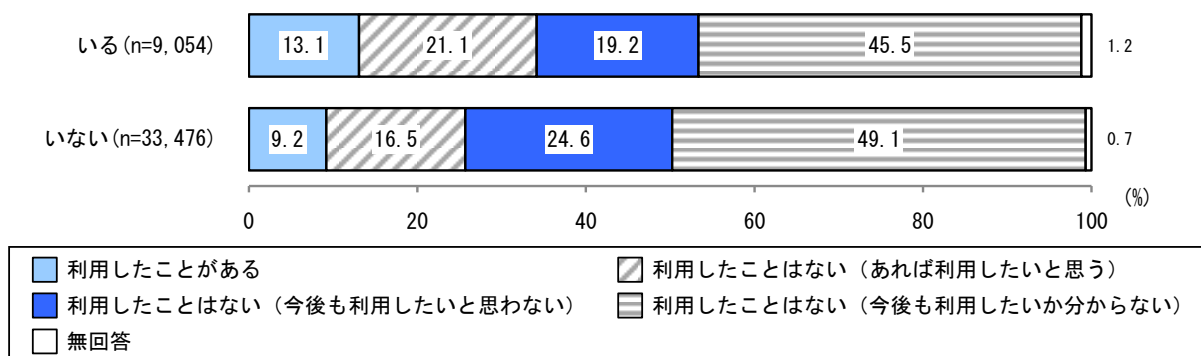


図 172. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

自分が世話をしている人の有無別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、平日の夜や休日を過ごすことができる場所を「利用したことはない (今後も利用したいか分からない)」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

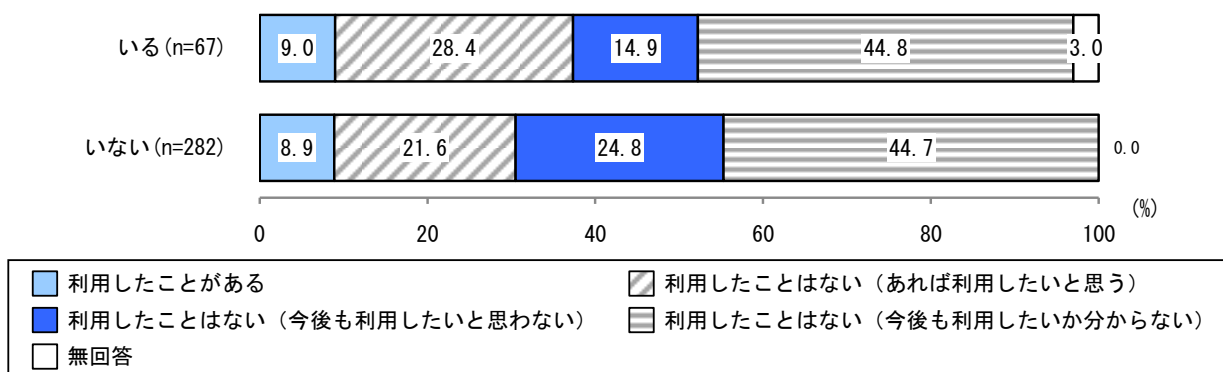
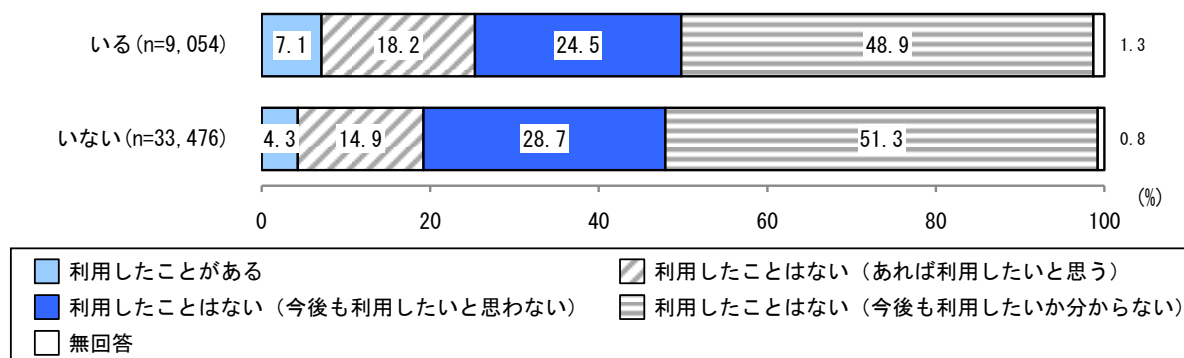


図 173. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

自分が世話をしている人の有無別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を「利用したことはない (今後も利用したいと思わない)」と回答した人の割合は、世話をしている人がいる人よりいない人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

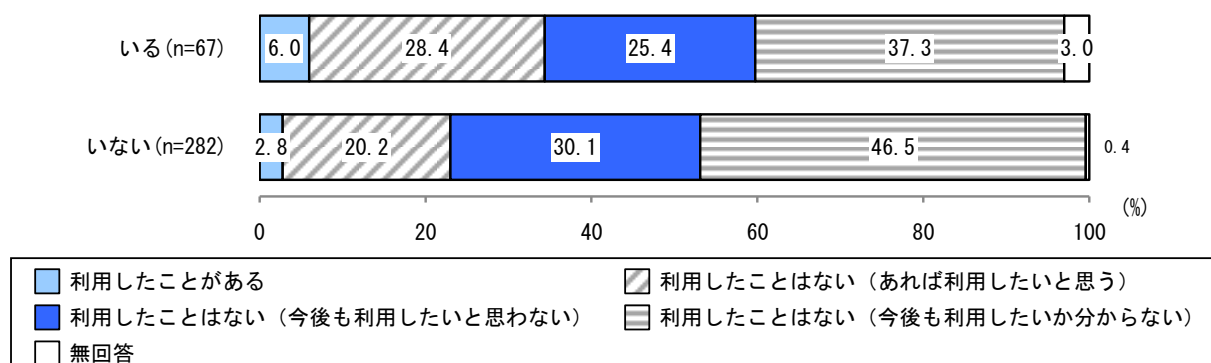
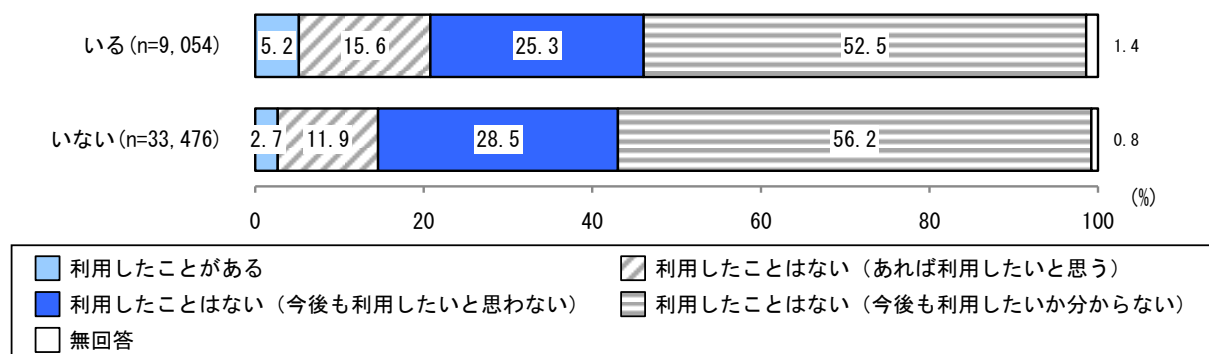


図 174. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

自分が世話をしている人の有無別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

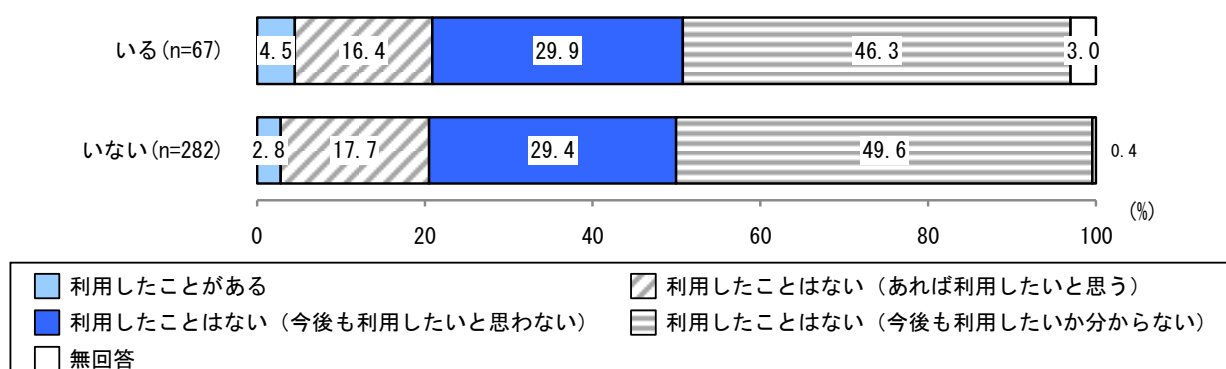
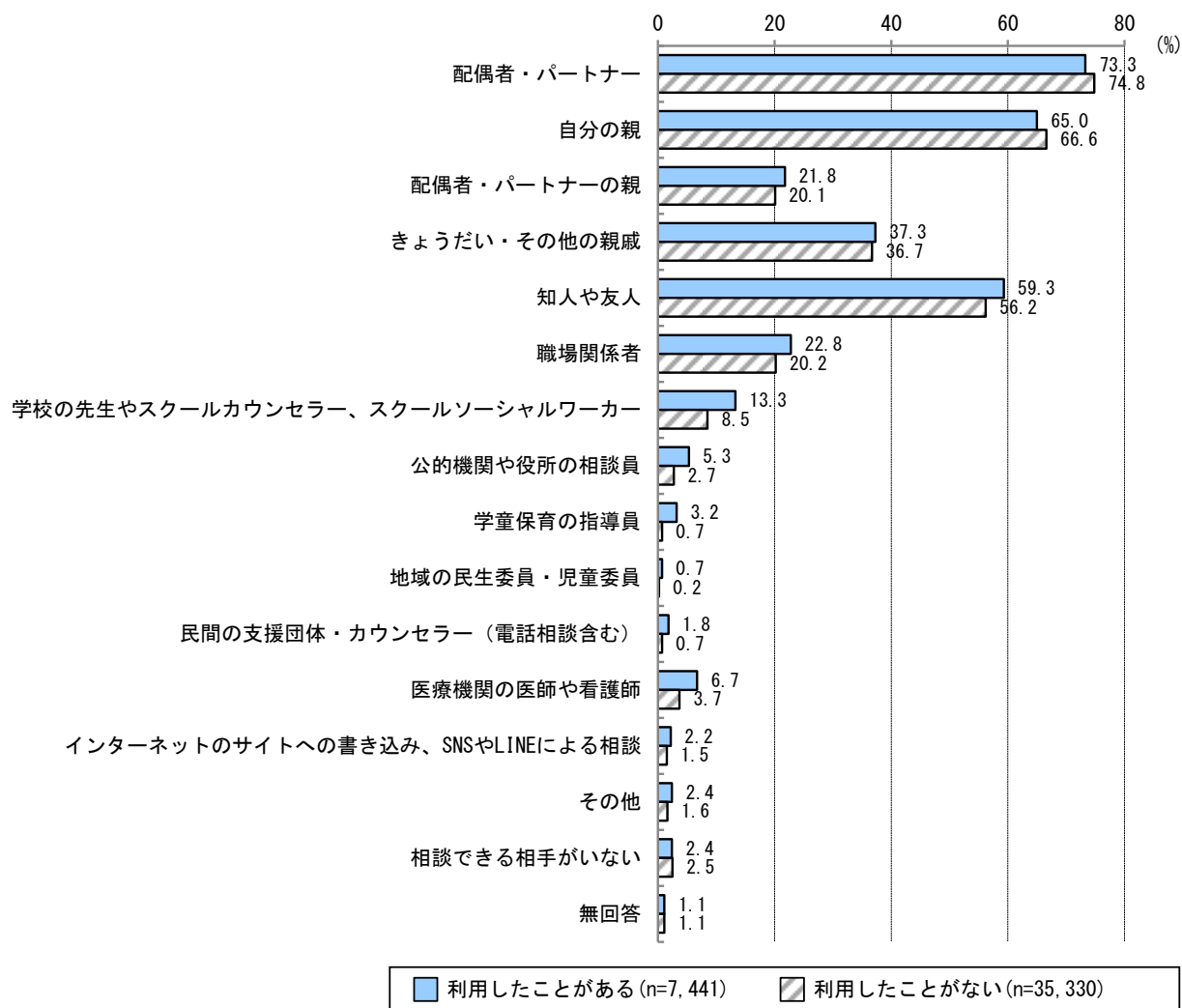


図 175. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所

自分が世話をしている人の有無別に何でも相談できる場所を見ると、何でも相談できる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 19)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

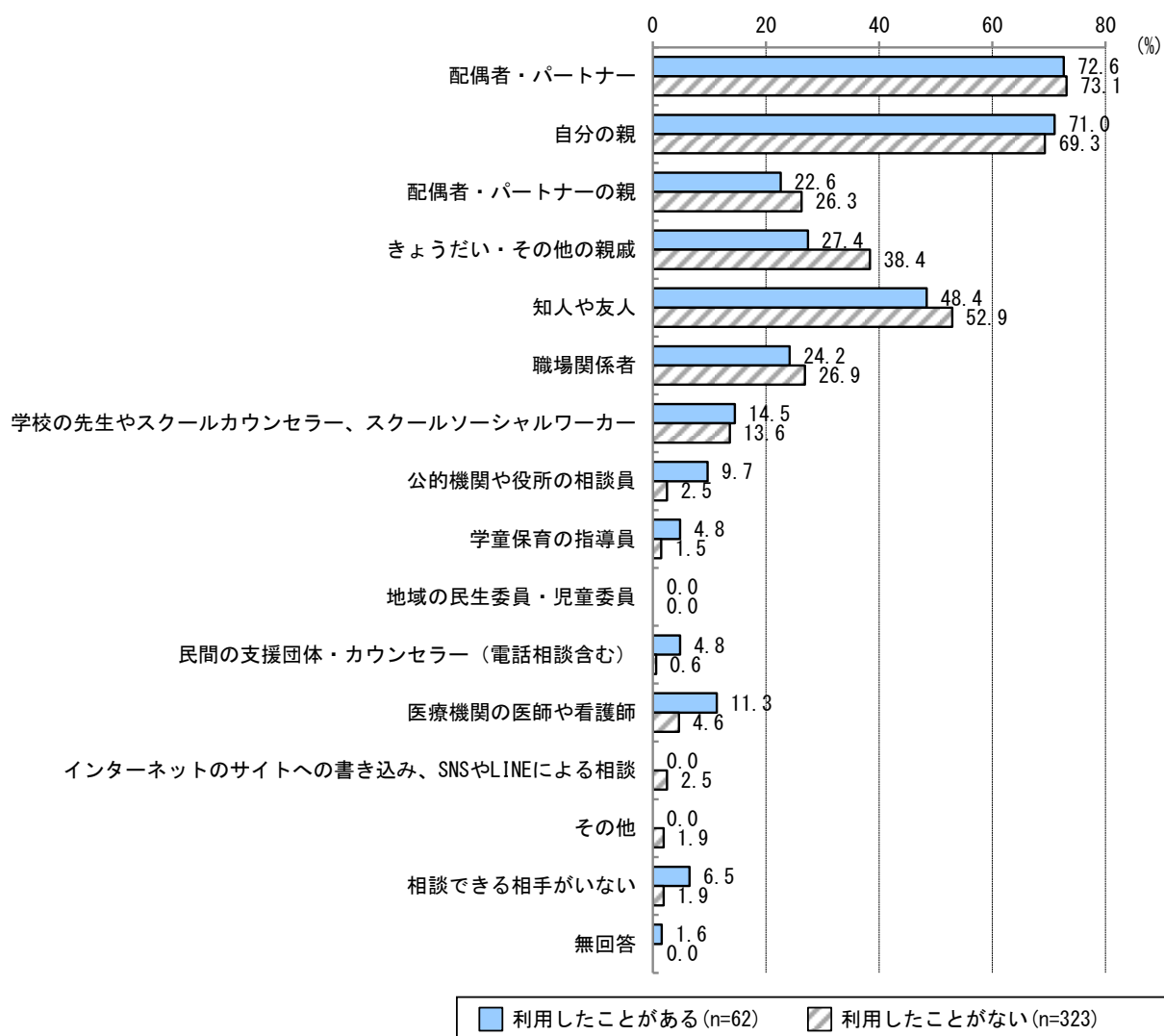
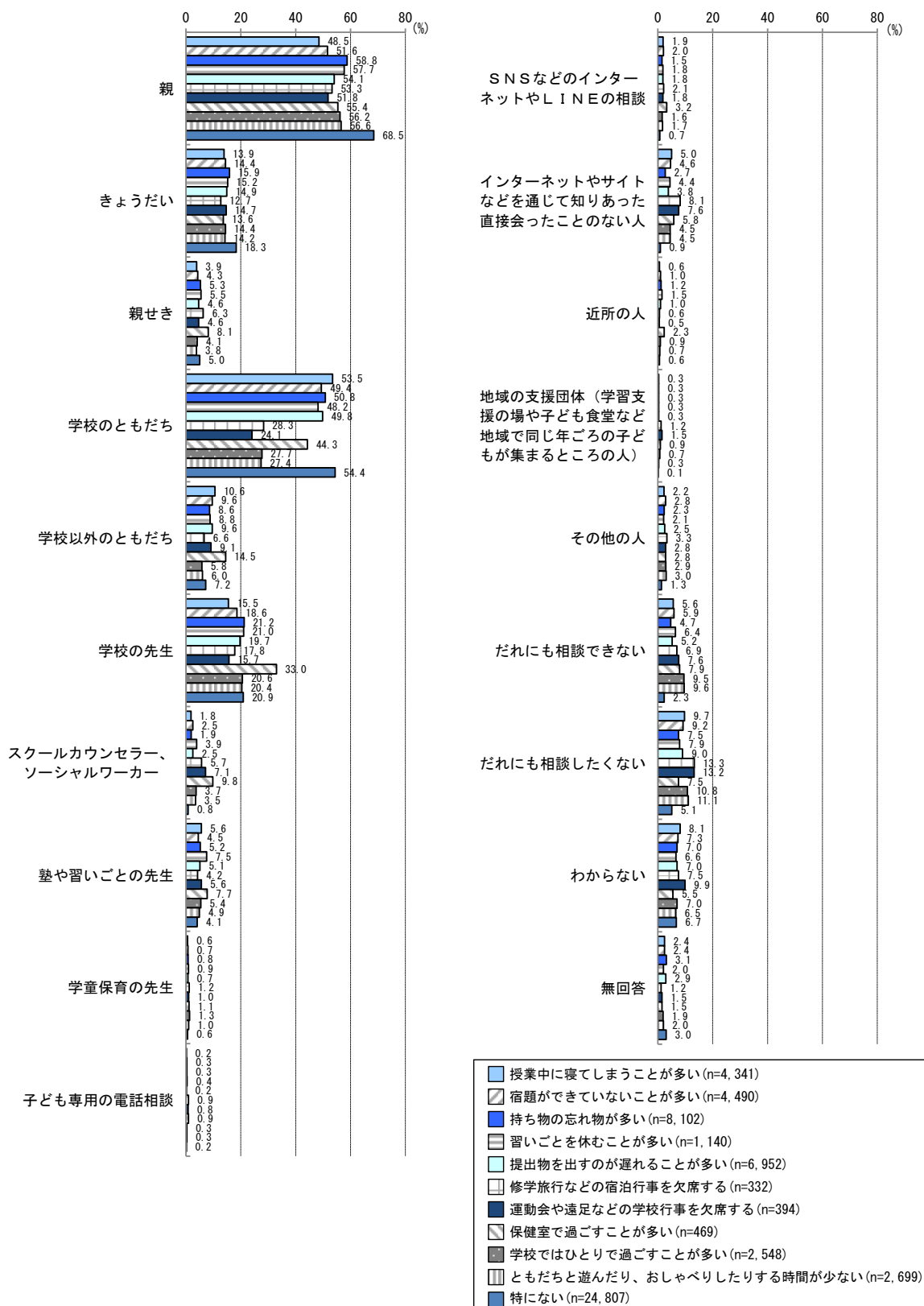


図 176. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

子どもの居場所の利用経験別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「自分の親」と回答した人の割合は、子どもの居場所を利用したことがない人より利用したことがある人のほうが割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 16×子ども票問 18)

＜大阪府内全体＞



<河内長野市>

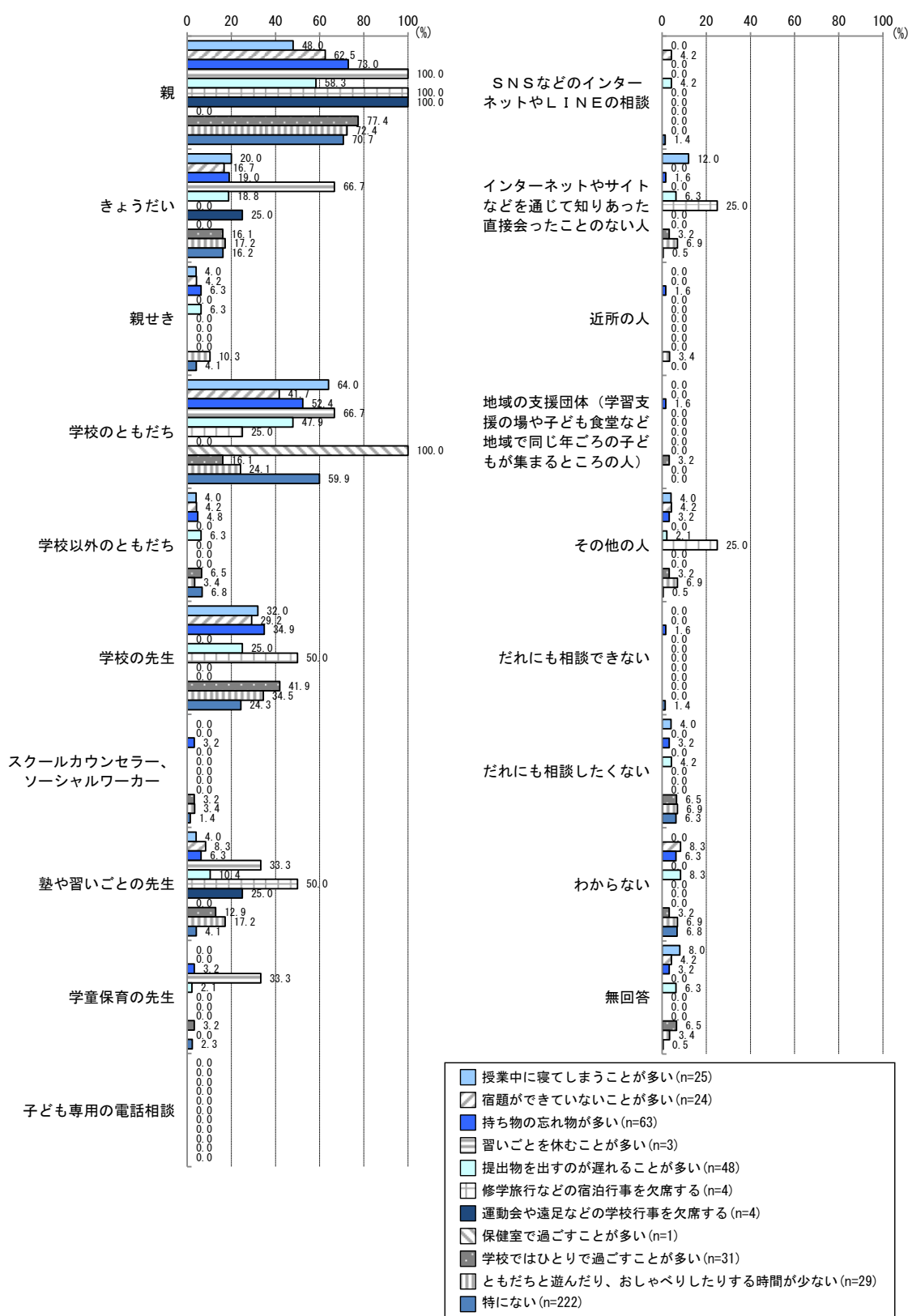
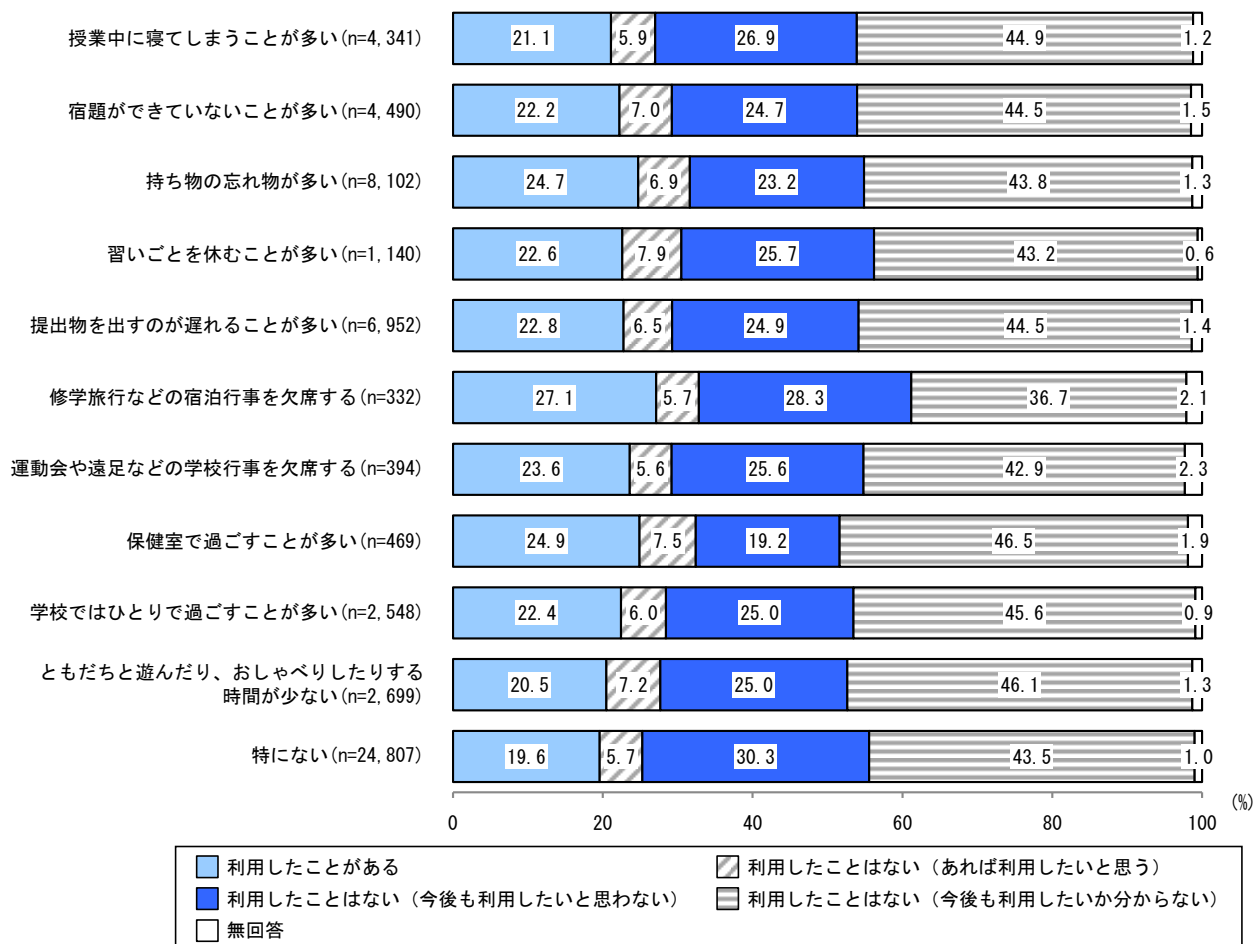


図 177. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

学校や学校の行事等の状況別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」「運動会や遠足などの学校行事を欠席する」と回答した人の割合が100%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

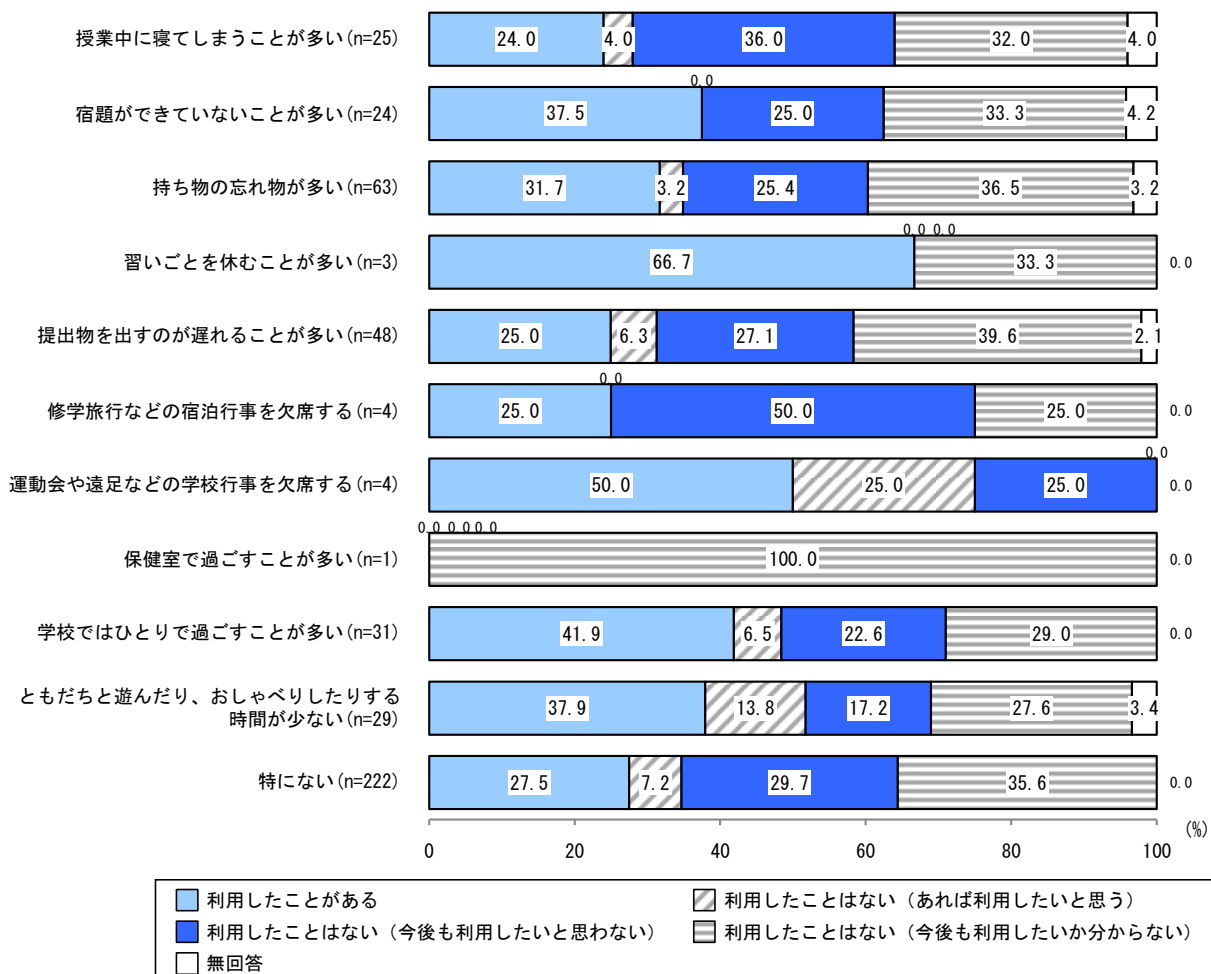
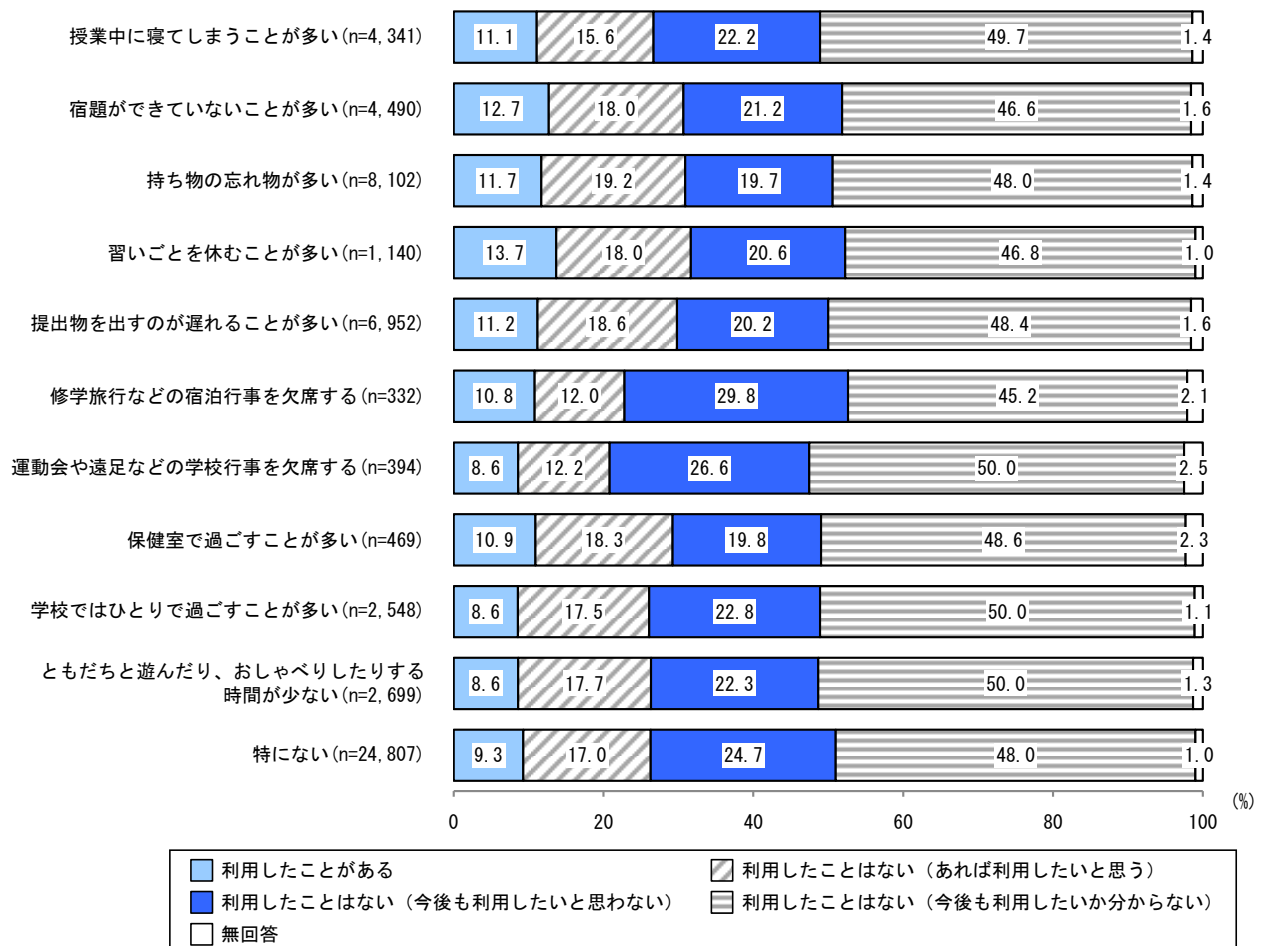


図 178. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

学校や学校の行事等の状況別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「授業中に寝てしまうことが多い」が24.0%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 16×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

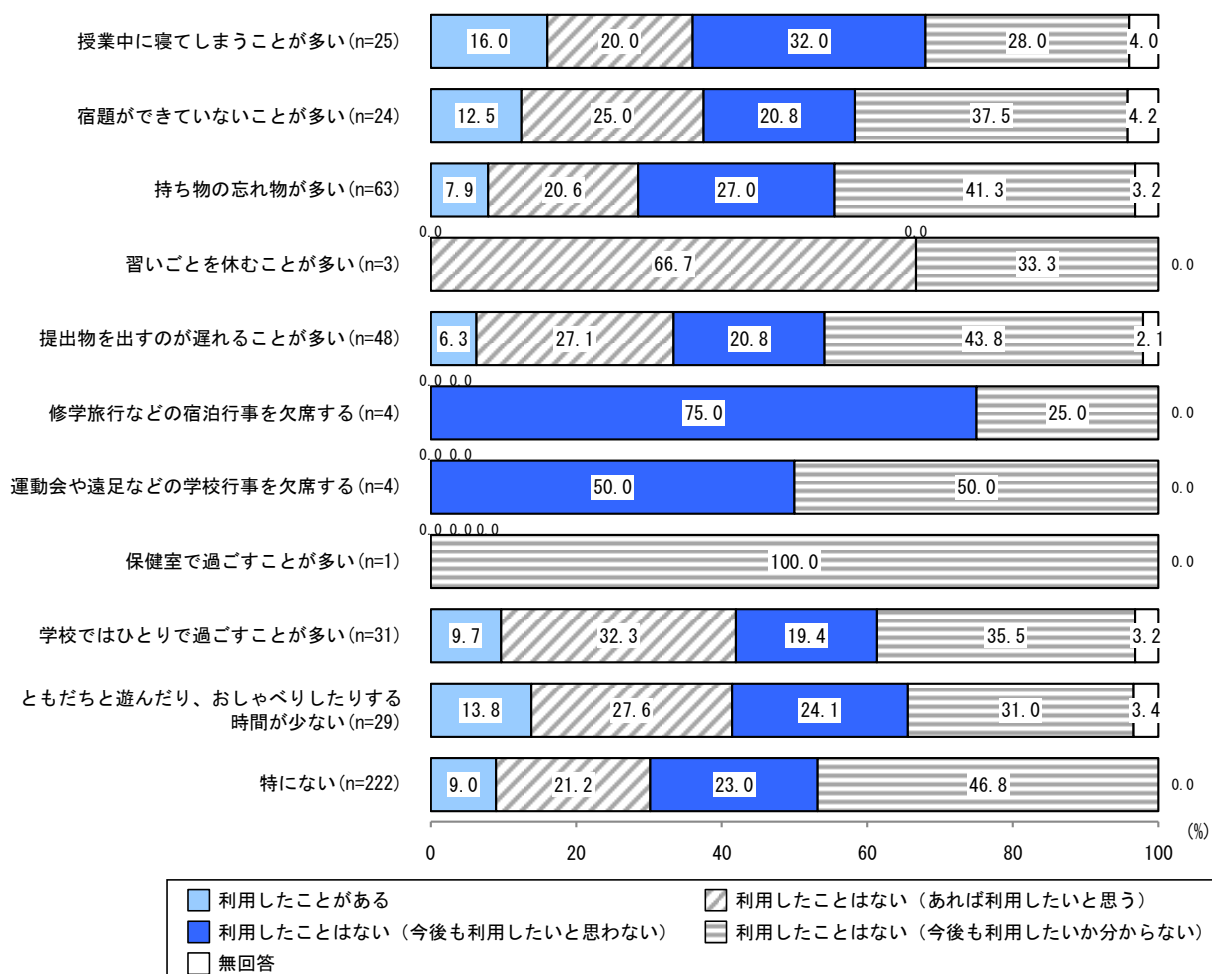
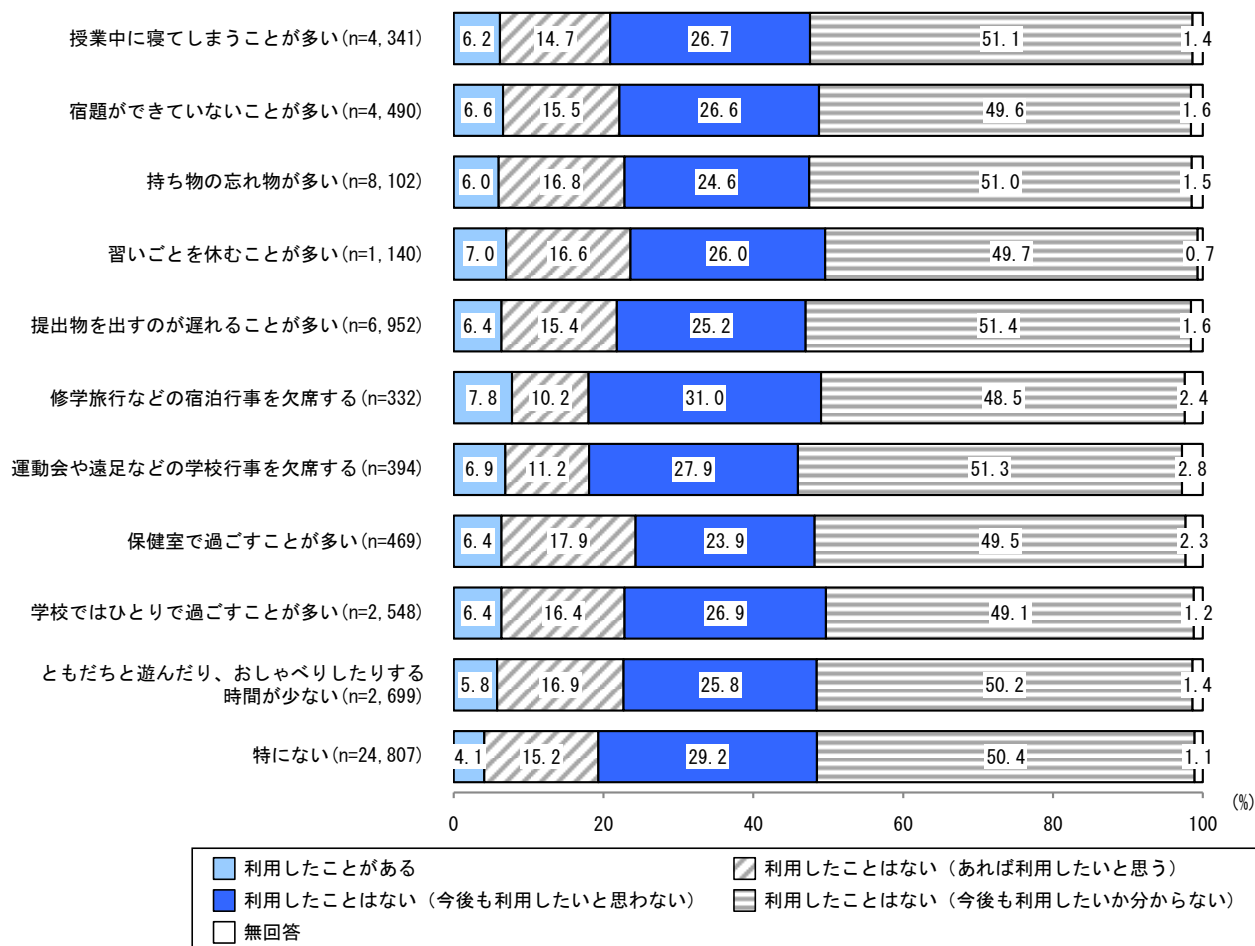


図 179. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

学校や学校の行事等の状況別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「授業中に寝てしまうことが多い」が16.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

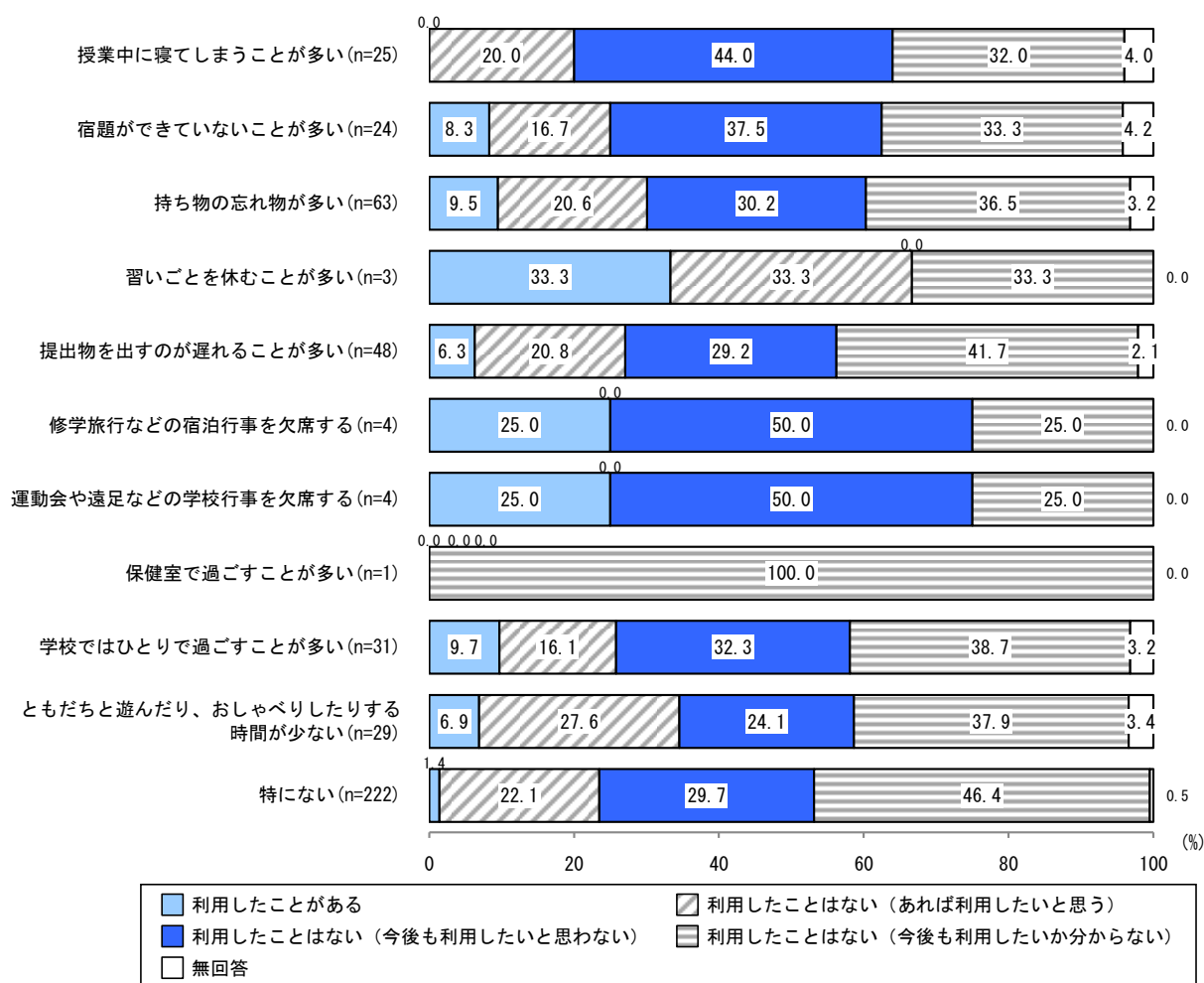
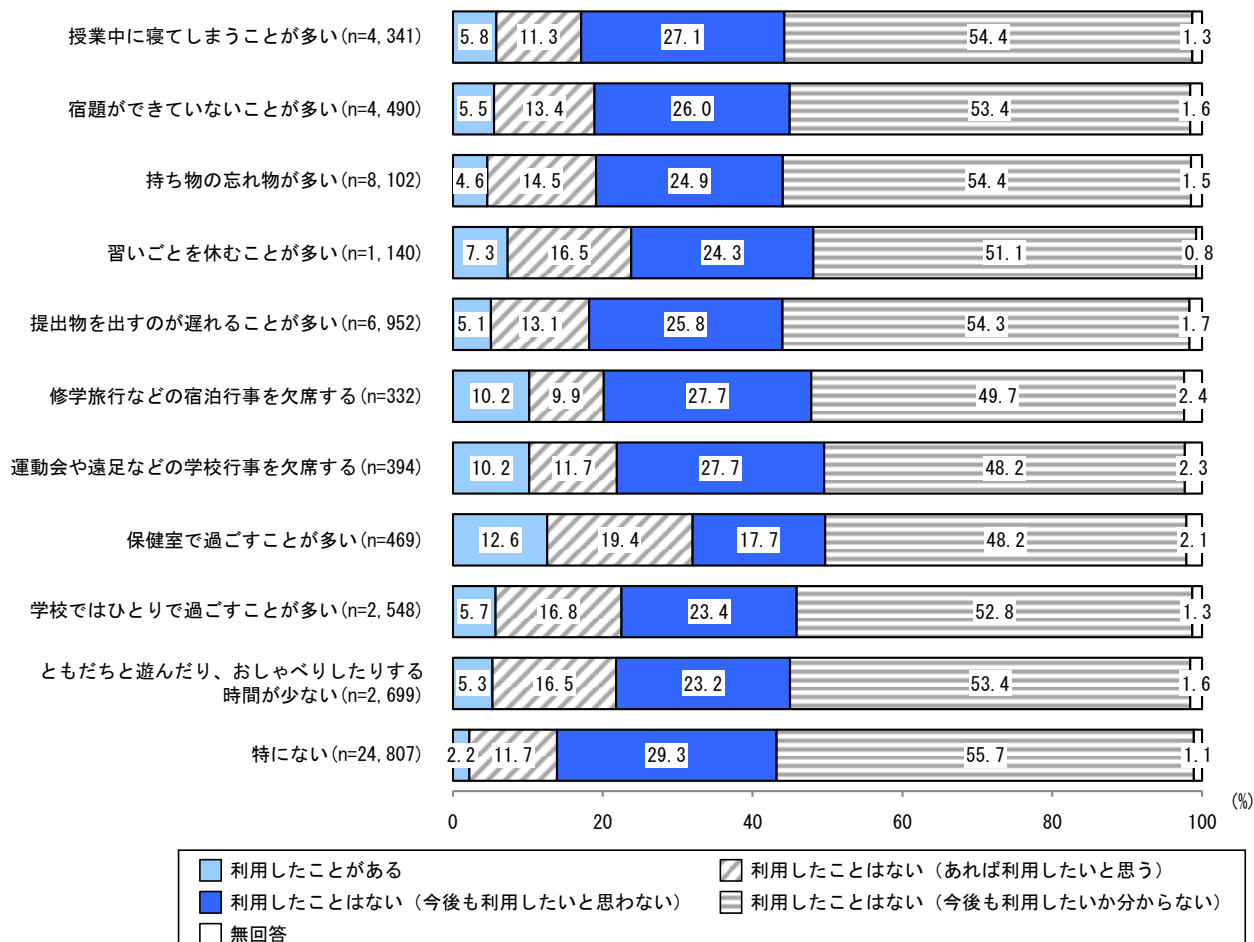


図 180. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

学校や学校の行事等の状況別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」が33.3%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

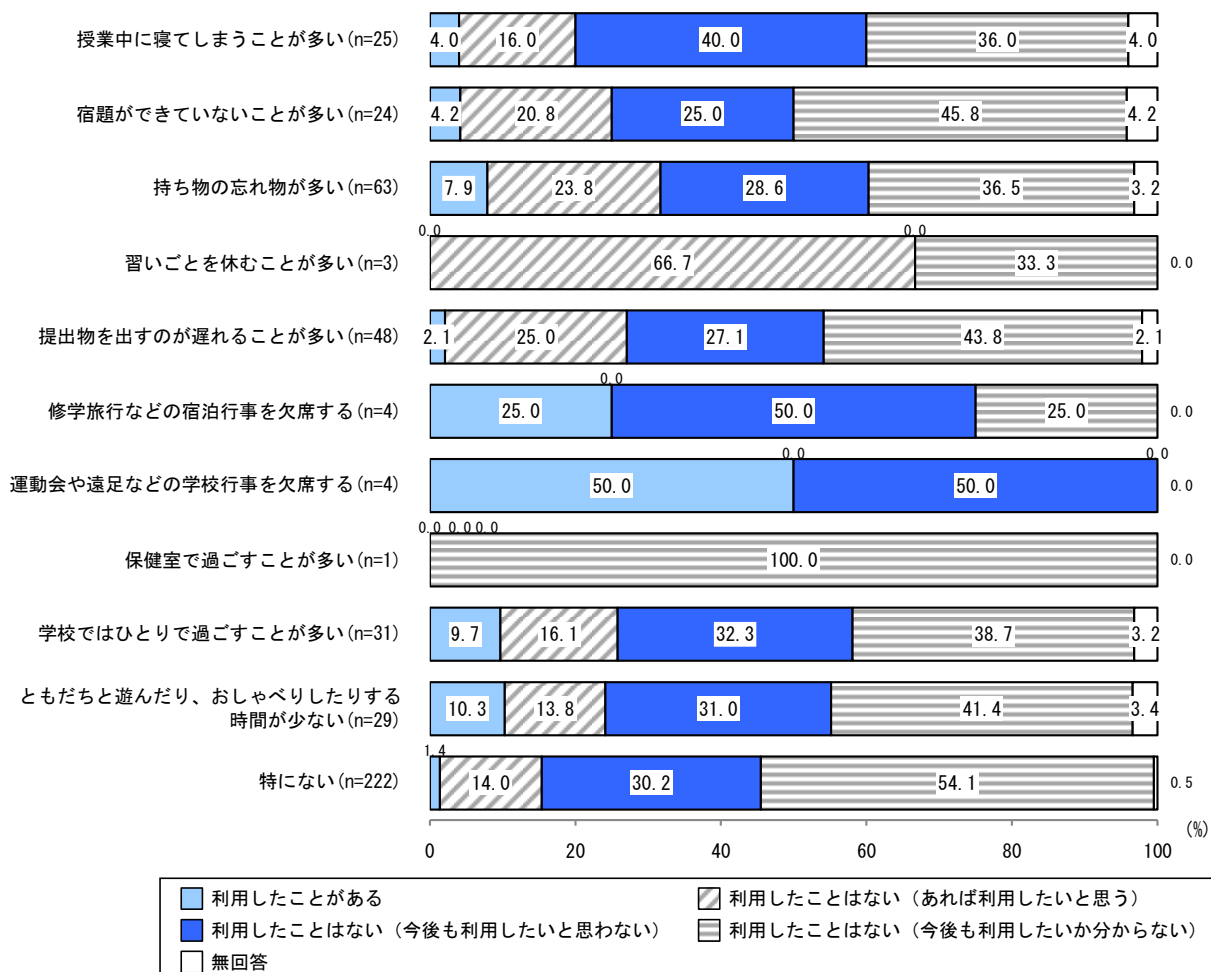
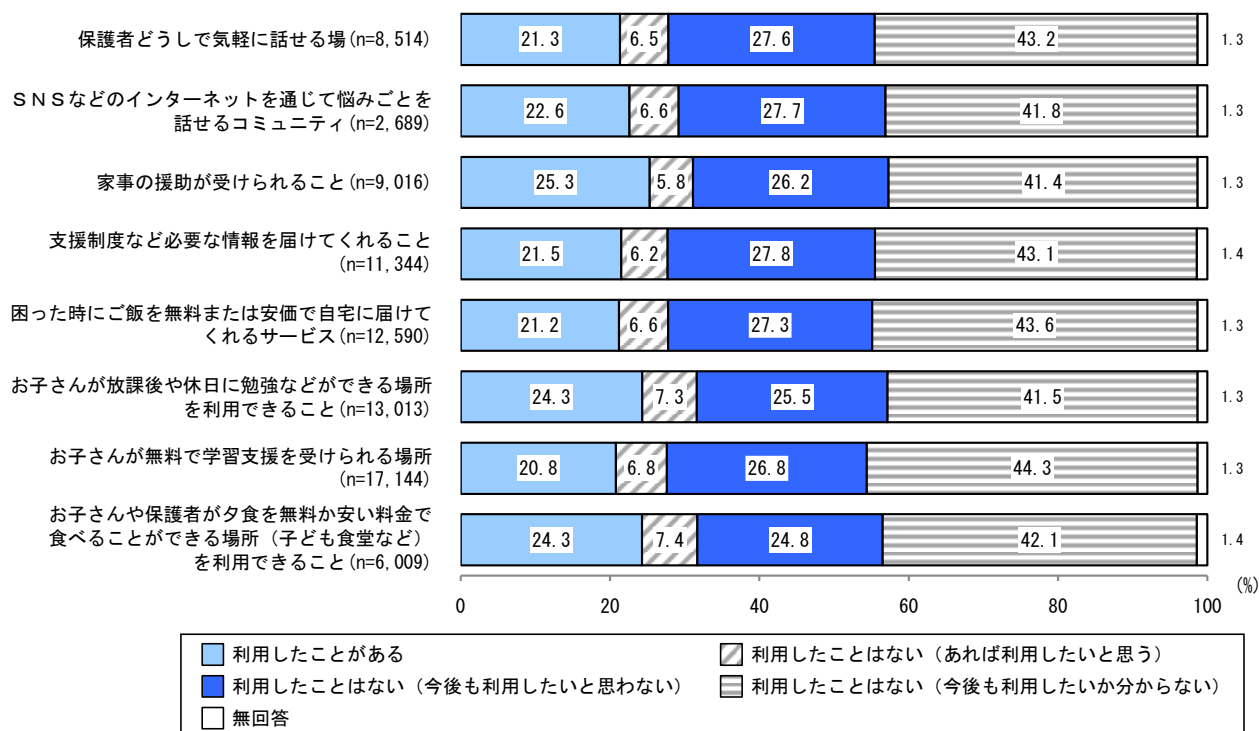


図 181. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所

学校や学校の行事等の状況別に何でも相談できる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「運動会や遠足などの学校行事を欠席する」が50.0%で最も高く、次いで「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」が25.0%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

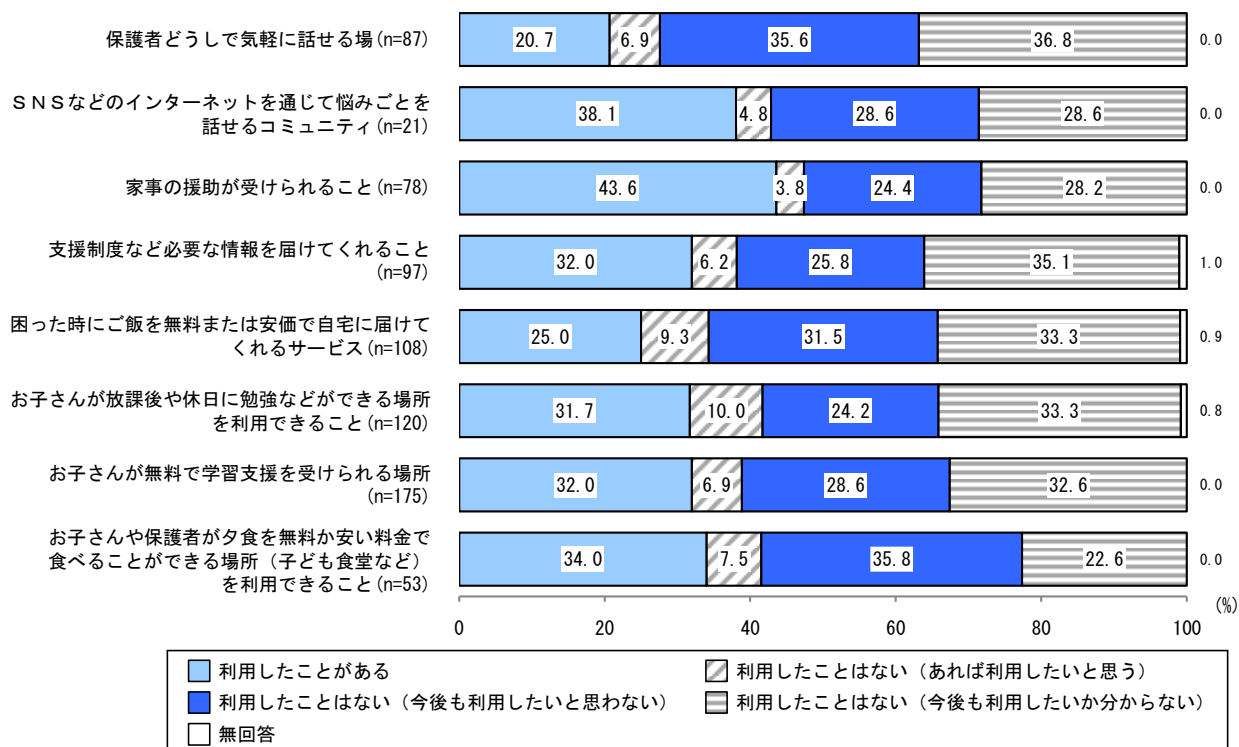
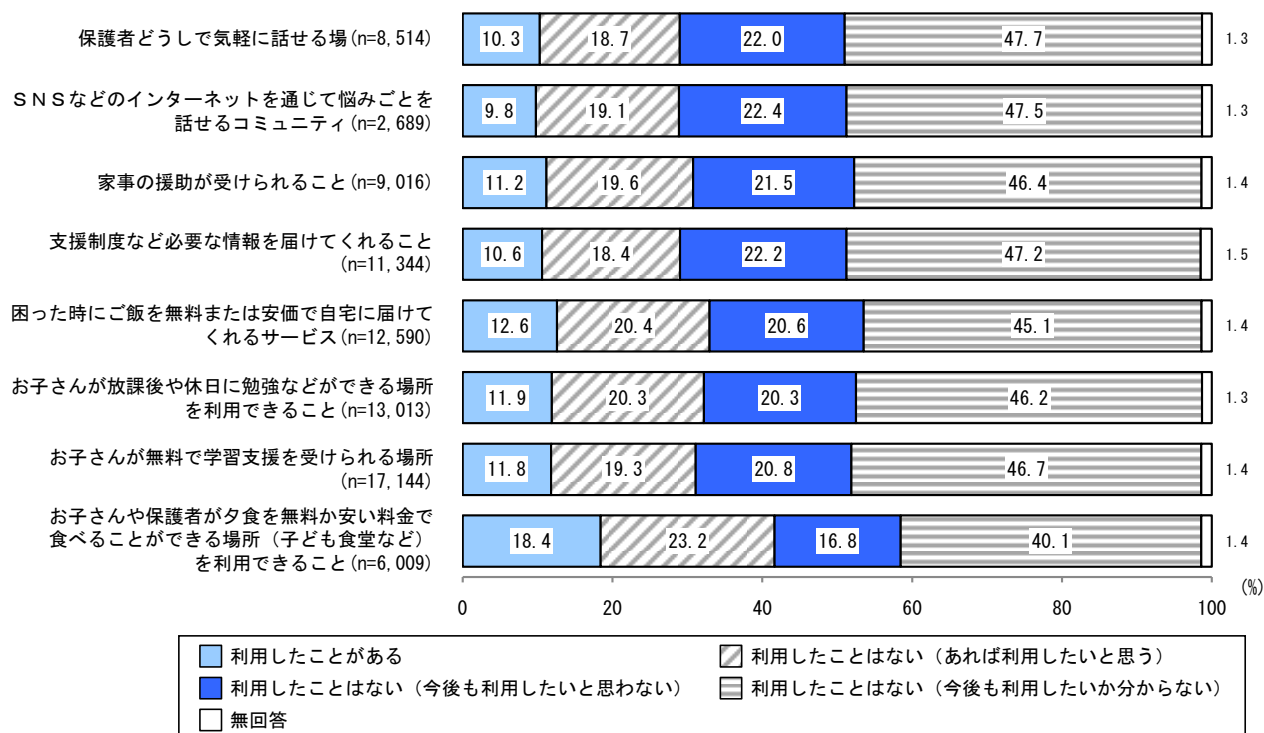


図 182. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

身近にあるといいと思うこと別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「家事の援助が受けられること」が43.6%で最も高く、次いで「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が38.1%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金を食べることができる場所（保護者票問 20×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<河内長野市>

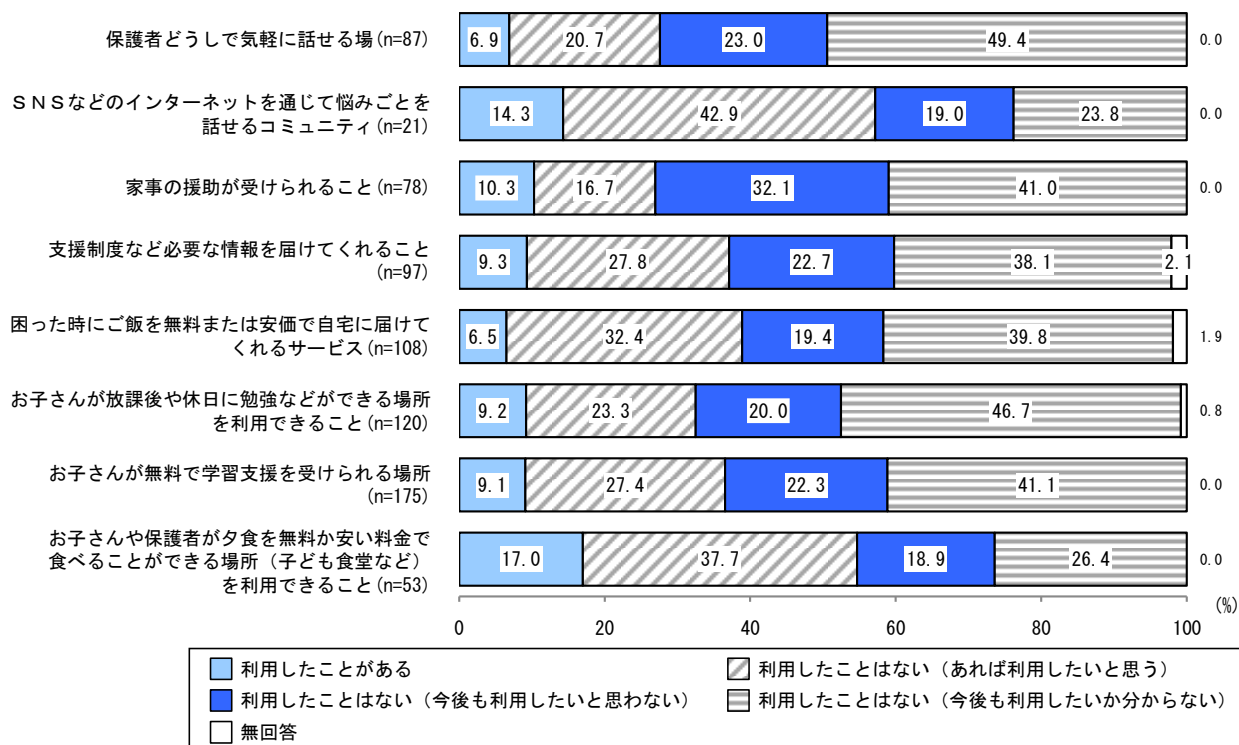
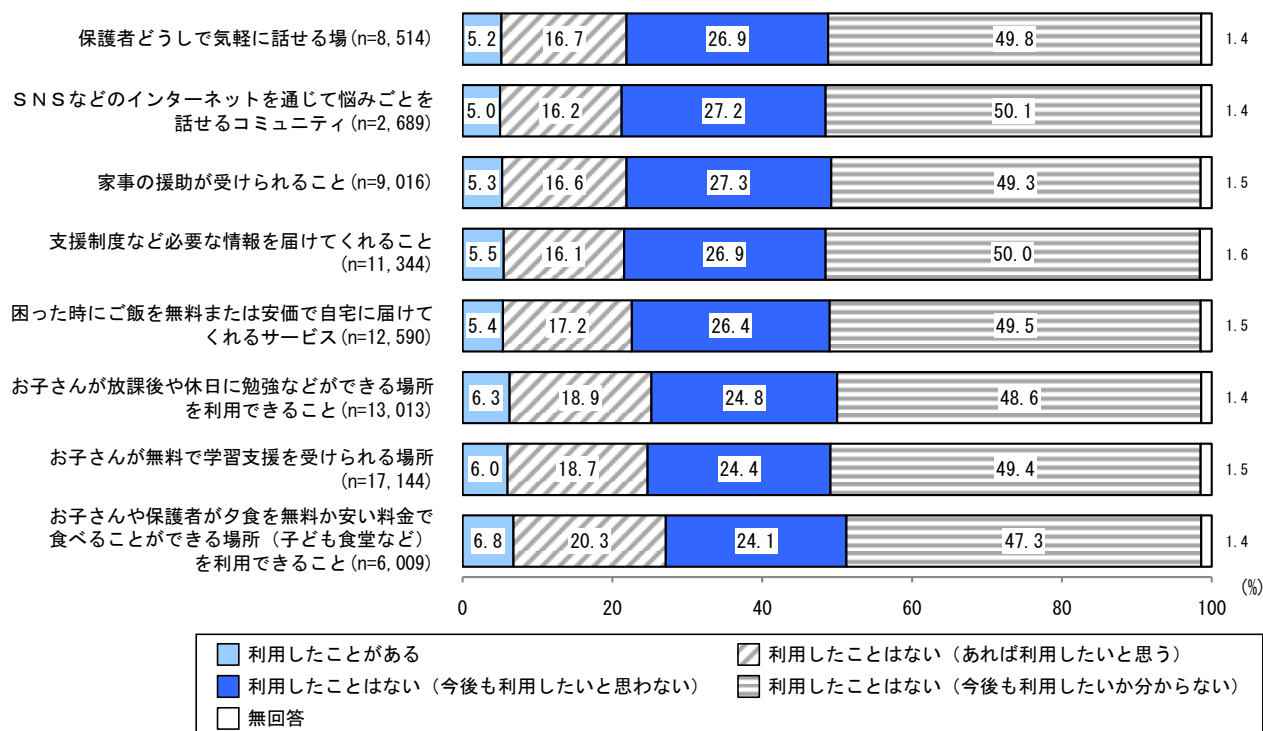


図 183. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

身近にあるといいと思うこと別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が17.0%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

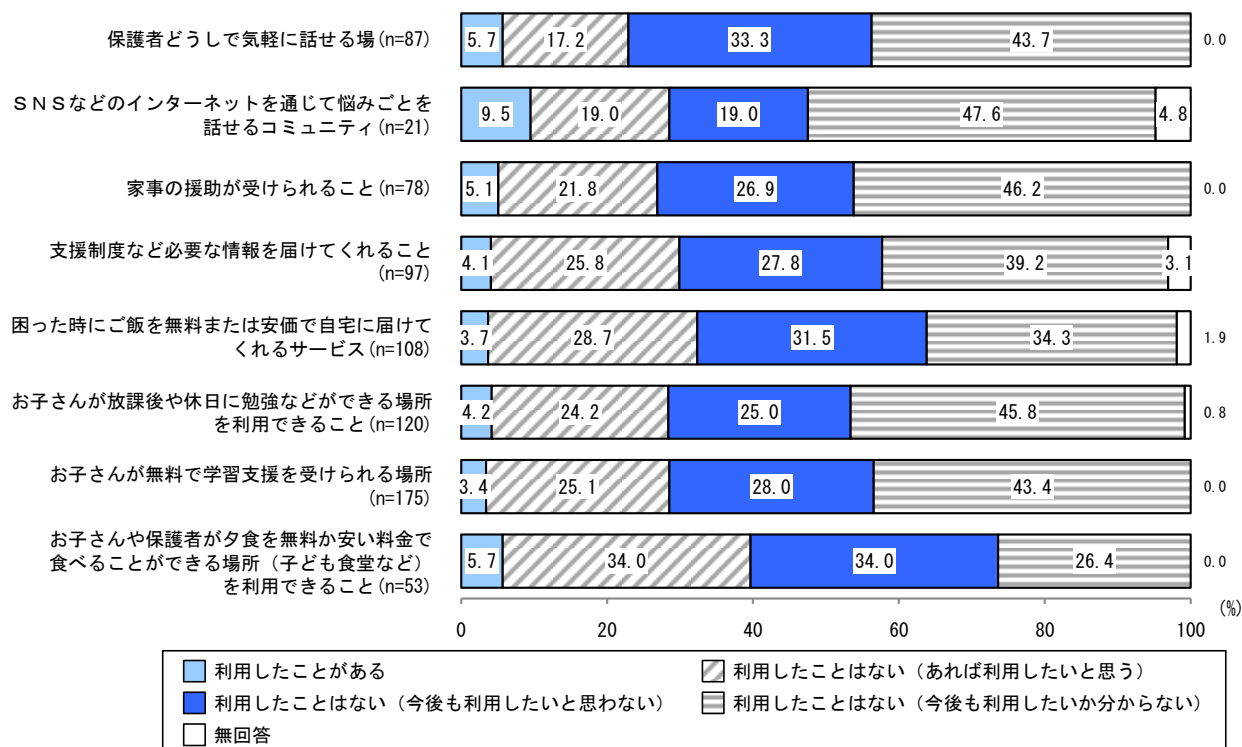
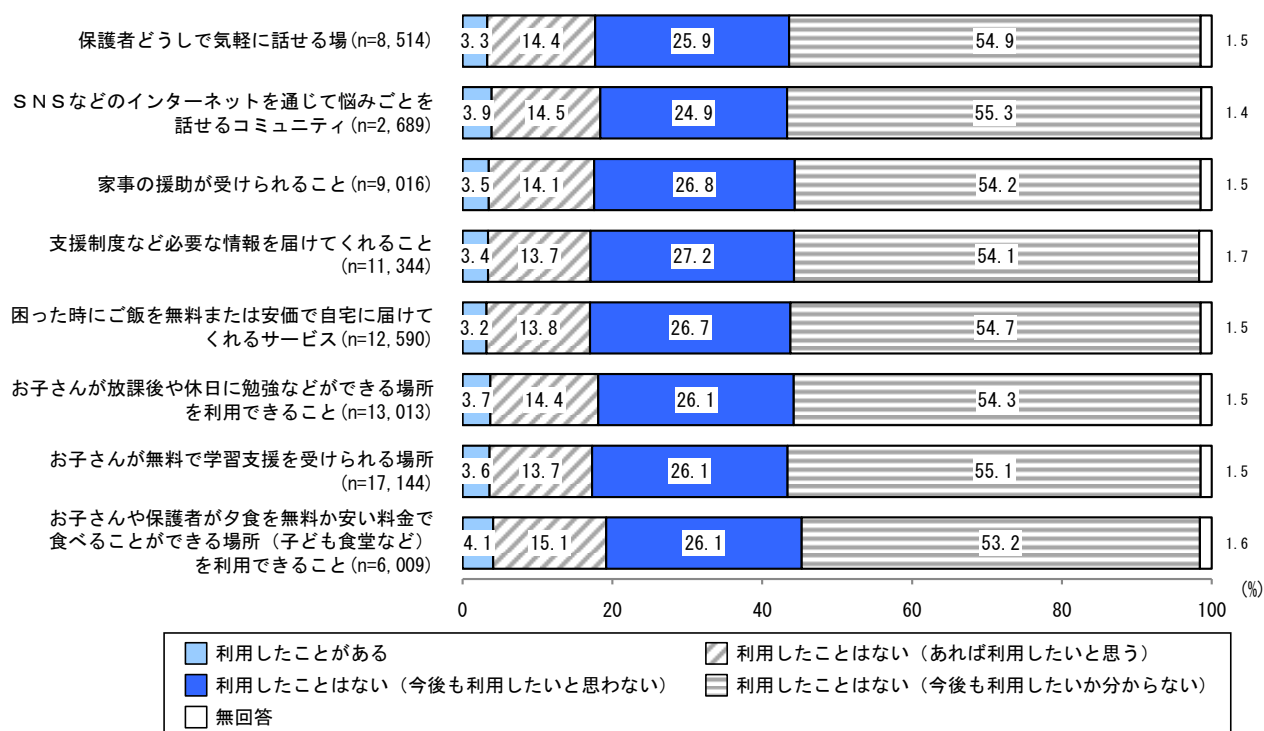


図 184. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

身近にあるといいと思うこと別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が9.5%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<河内長野市>

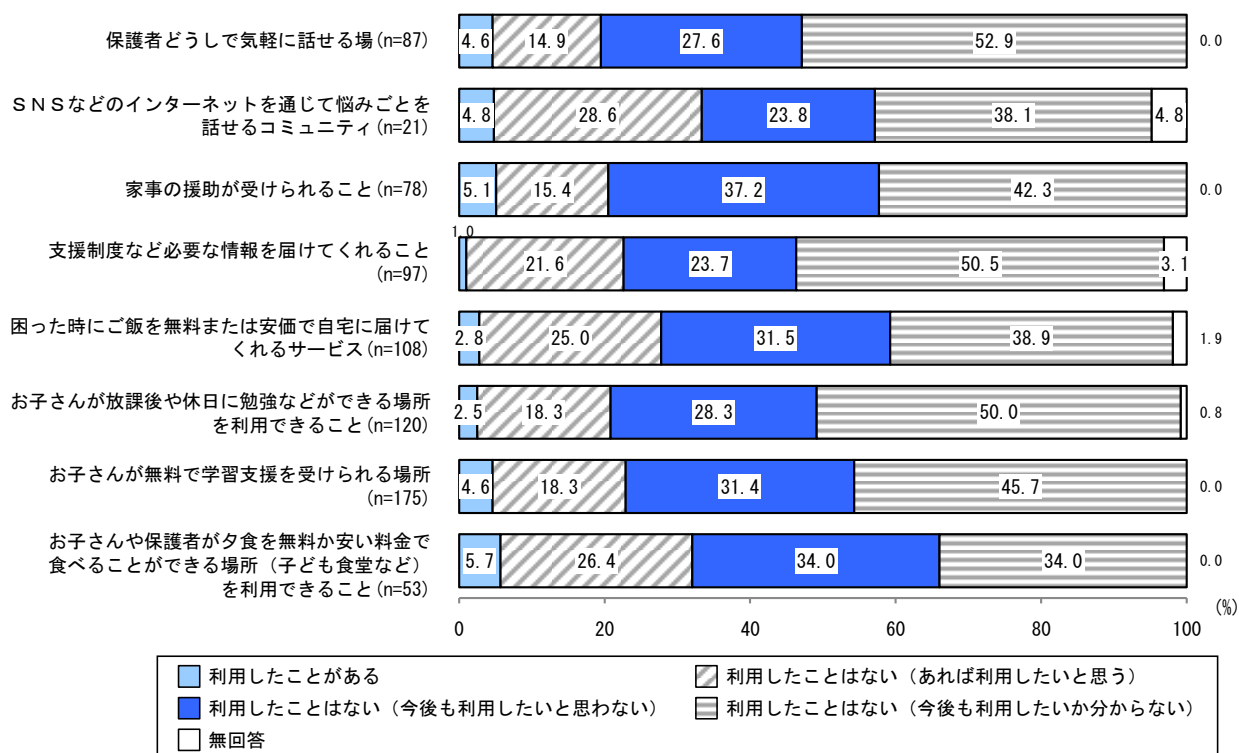
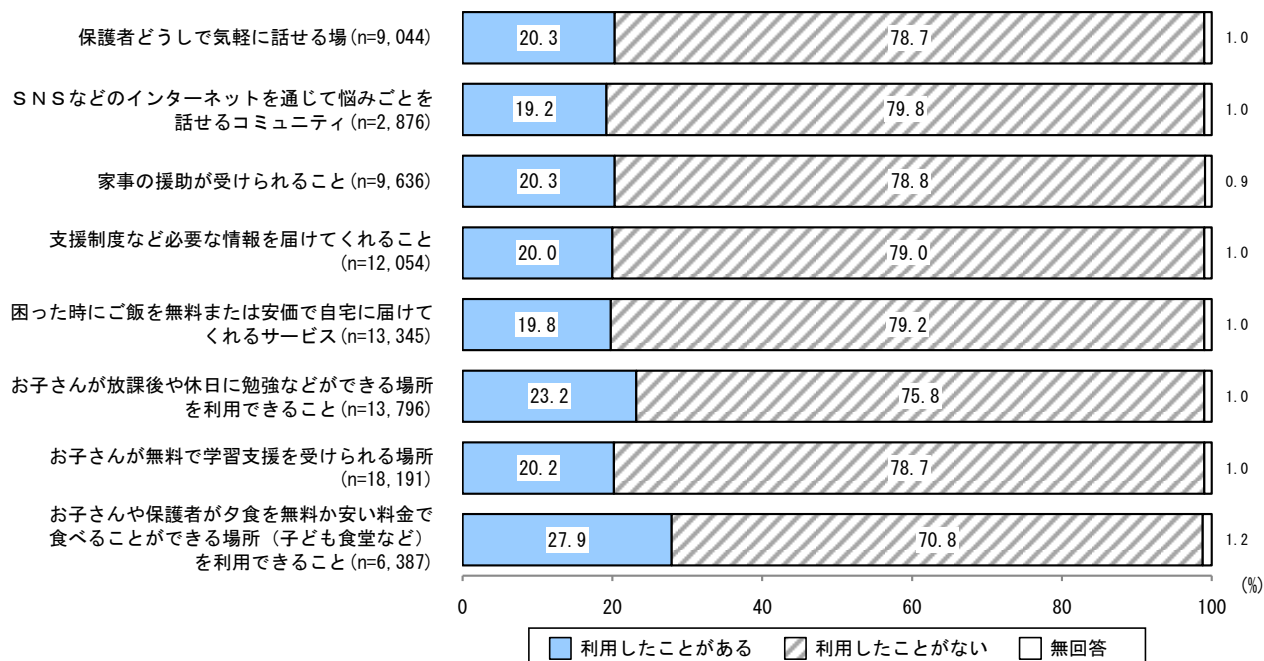


図 185. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所

身近にあるといいと思うこと別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が28.6%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無
(保護者票問 20×保護者票問 16(1))

<大阪府内全体>



<河内長野市>

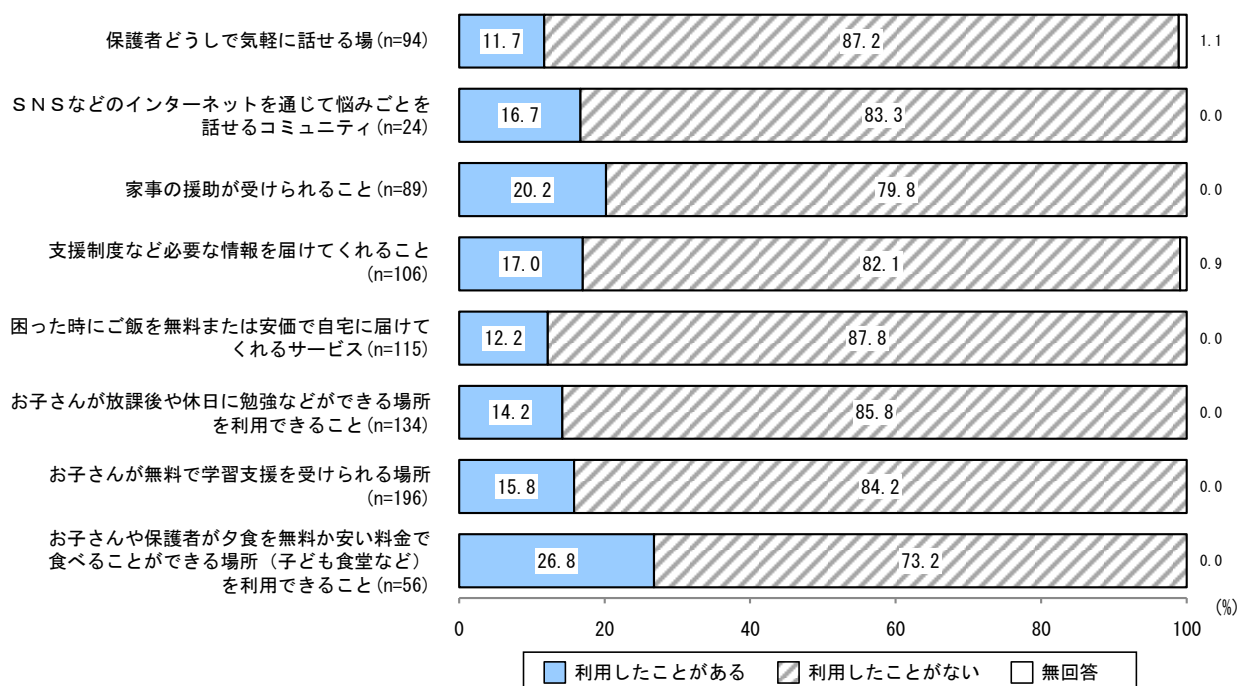
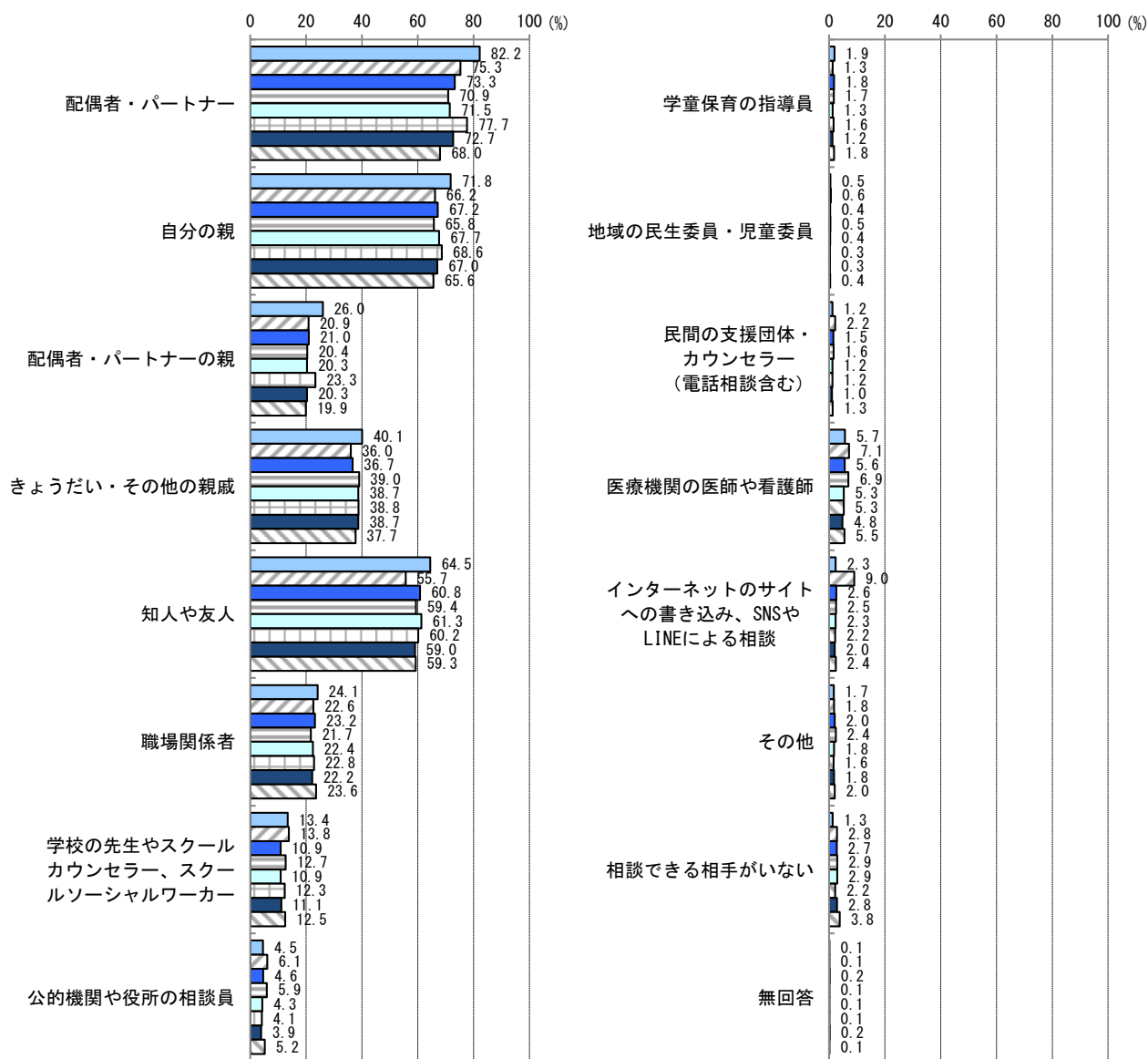


図 186. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無

身近にあるといいと思うこと別に子どもの居場所の利用有無を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が26.8%で最も高く、次いで「家事の援助が受けられること」が20.2%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 20×保護者票問 19）

<大阪府内全体>



- 保護者どうして気軽に話せる場 (n=9, 044)
- SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ (n=2, 876)
- 家事の援助が受けられること (n=9, 636)
- 支援制度など必要な情報を届けてくれること (n=12, 054)
- 困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス (n=13, 345)
- お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること (n=13, 796)
- お子さんが無料で学習支援を受けられる場所 (n=18, 191)
- お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること (n=6, 387)

<河内長野市>

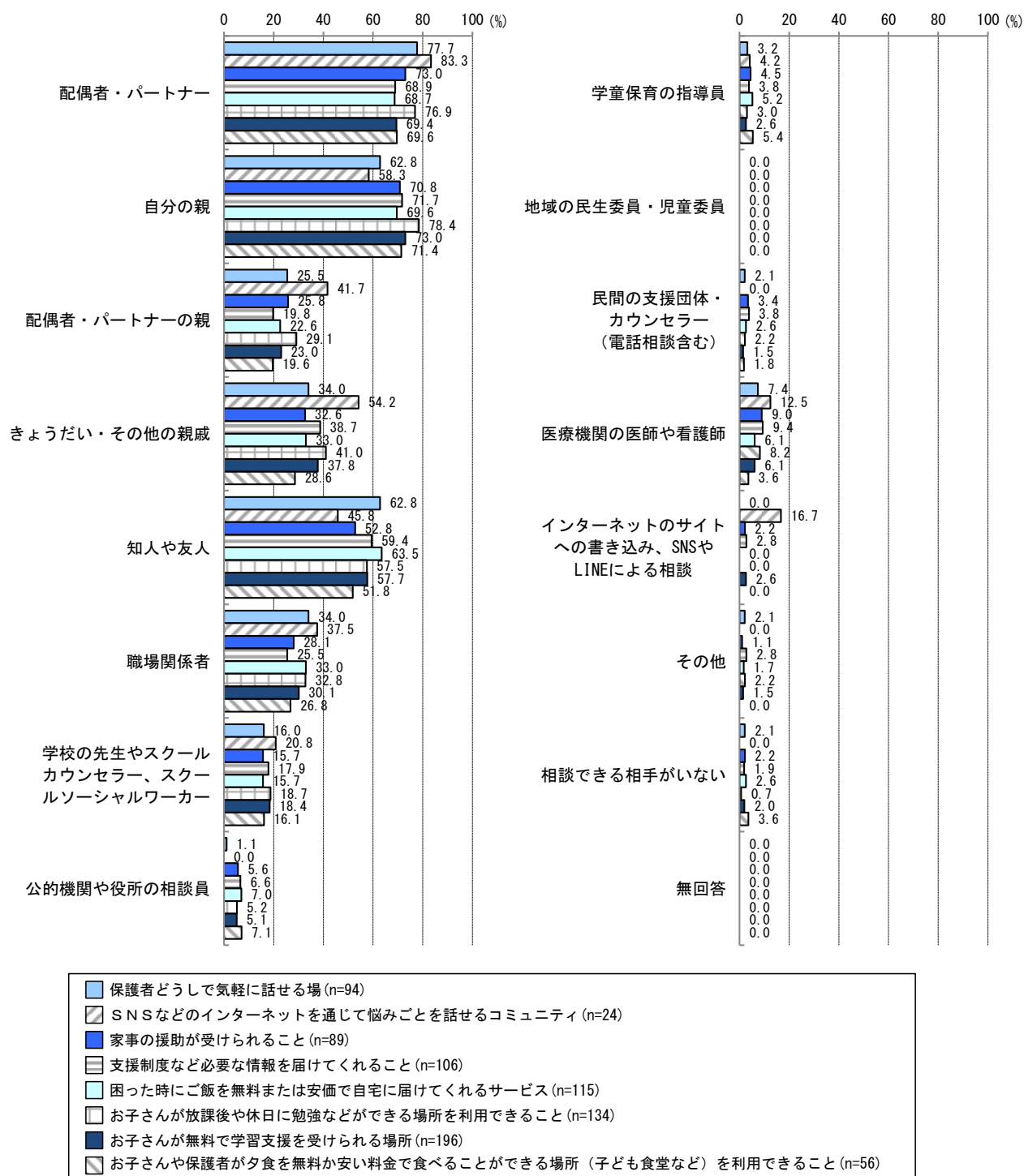


図 187. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

身近にあるといいと思うこと別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「配偶者・パートナー」と回答した人の割合は、「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が83.3%で最も高く、次いで「保護者どうして気軽に話せる場」が77.7%となっている。

<対人関係に関する考察>

中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目した分析結果を以下にまとめる。子どもが「放課後に過ごす場所」では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「習いごと」(38.3%対28.6%)、「ともだちの家」(19.5%対11.9%)、「公園・広場」(23.5%対16.7%)、「塾」(27.5%対21.4%)の利用率が高くなっている。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」(14.3%対8.1%)の利用率が高くなっている。子どもが「放課後に一緒に過ごしている人物」では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「学校のともだち」(53.7%対35.7%)、「クラブ活動・部活動の仲間」(32.2%対26.2%)と一緒に過ごす割合がいずれも高くなっている。更に、「毎日の生活で楽しいこと」と「悩んでいること」では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾や習いごとで過ごしているとき」(32.2%対11.9%)、「ともだちと一緒に過ごしているとき」(85.9%対78.6%)、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」(64.3%対55.7%)を「楽しいこと」として多くあげている。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「学校や勉強のこと」(16.7%対12.1%)、「進学・進路のこと」(13.4%対9.5%)、「ともだちのこと」(14.3%対10.1%)を「悩んでいること」として多くあげている。また、困窮度別に子どもの自己効力感をみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と大きな差が見られない(平均値8.82対8.81)。一方、放課後ひとりであることがある群は、そうでない群よりも自己効力感が低くなっている(平均値8.16対8.74)。これらの結果から、経済状況によって、子どもの教育的・社会的な活動が制限され、学業や進路に対する不安を抱えている可能性が伺える。また、子どもの家族以外の人間関係を構築する機会が制限されることは、子どもの社会性の発達に影響する可能性があり、子どもの自己効力感に影響を及ぼす可能性もあることが示唆される。

困窮度別に子どもの世話をしている人の有無をみると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、誰かの世話をしている割合が高くなっている(28.6%対15.4%)。また、子どもの世話をしている人の有無別に相談相手をみると、世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて、「親」(71.6%対68.1%)に相談する割合が高く、世話をしていない子どもは世話をしている子どもより「塾や習い事の先生」(6.0%対3.0%)、「学校の先生」(26.6%対22.4%)、「きょうだい」(18.8%対16.4%)に相談する割合が高くなっている。また、世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて、「勉強を無料か安い料金でみてる場所」(6.0%対2.8%)、「何でも相談できる場所」(4.5%対2.8%)といった居場所を利用している割合が高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、教育的活動へのアクセスが困難な為、信頼できる相談相手が少ないことが伺える。また、家族の世話をしている子どもにとって、周りのサポートが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆される。

一方、困窮度別に保護者の相談相手をみてみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「配偶者・パートナー」(84.7%対33.3%)に相談する割合が50ポイント以上も高くなっている。また、世帯構成別に保護者の相談相手をみてみると、父子世帯はふたり親世帯と比べ、「相談できる相手がいない」割合(16.7%対2.7%)は10ポイント以上高くなっている。これらの結果により、経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることを示している。

また、子どもの居場所の利用有無別に保護者の相談相手・相談先をみると、子どもが居場所を利用している家庭は、そうでない家庭と比べて、「民間の支援団体・カウンセラー(電話相談含む)」(4.8%対0.6%)、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」(14.5%対13.6%)、「公的機関や役所の相談員」(9.7%対2.5%)、「学童保育の指導員」(4.8%対1.5%)、「医療機関の医師や看護師」(11.3%対4.6%)に相談する割合が高くなっている。また、子どもが

居場所を利用していない家庭では、利用している家庭と比べて、「きょうだい・その他の親戚」（38.4%対27.4%）に相談する割合が高くなっている。これらの結果から、子どもが居場所を利用していないのは保護者が親戚などからの支援を受けている事が示唆され、子どもの居場所が様々なソーシャルサポートリソースを統合し、専門家や公的機関、民間団体との連携を可能にしており、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

Ⅲ 総合考察

本報告書における「子どもの貧困」概念の捉え方であるが、基本的に、2016年の調査で扱った貧困概念に基づいている。簡単に述べると、子どもの貧困を相対的貧困で捉えた上で、①所得や資産などの経済的資本、②健康や教育などのヒューマン・キャピタル、③つながりやネットワークなどのソーシャル・キャピタルの3つのキャピタルの欠如を枠組みとしている。この数年で、「子どもの貧困」「相対的貧困」概念も十分に知られるようになったことから、詳細な説明はここでは割愛するが、山野則子編著（2019）を参照されたい。

次に、総合考察においては、河内長野市が実施した調査の数値で検討を行う（大阪府は府が直接実施した25市町村分であり、前回比較は2016年度実施の30市町村分で行う）。各ページにはグラフコメントやクロス分析を考察したセクションコメント（経済状況、雇用、健康、家庭状況制度、家庭生活と学習、対人関係）を記載している。総合考察において、同じことを書くのではなく、総合考察として、これらセクションコメントを踏まえ、2016年度と比較し変化のあるものや新規項目など、まさに考察すべきものを中心に記載している（一部、要望により同傾向でも記載あり）。単純集計はセクションコメントに出てこないもので、可能な限り数字を入れて説明する。そして、全体はこれらの結果から政策の評価を行うものである。ただし、河内長野市は、2016年の1回目の調査に参加していないため、2016年度との比較ができない。しかし、河内長野市は2019年度に「子どもの生活に関する実態調査」を実施しており、総合考察においては、今回の調査結果と2019年度の結果と比較する。

1）大阪府共同調査の意義

本調査では、河内長野市の調査のみならず大阪府内43自治体を共同実施して把握したことは、その回答者数の多さにおいても都道府県レベルで域内すべての自治体の対象者が入っている点においても、意義がある。その上で、大阪府内全自治体の結果は、傾向として河内長野市の調査結果を裏付けるものであった。これは無作為抽出であっても全体と比較してみることで、傾向の把握が可能であり、信頼性があることを示すものとなった。

本報告では、すべての項目に大阪府内全自治体のグラフを入れることで、結果をわかりやすくしている。本調査は、子どもの貧困対策の評価につながる基礎調査である。

2）単純集計

<経済面・家庭状況制度面>

河内長野市でも、2019年度の前回調査（以後、前回調査とする）では20.5%の世帯が赤字であったが、今回は20.4%とほぼ変化がなかった。この数値は、前回は、中2の世帯が小5の世帯よりも高くなっており、約5ポイントの差があったが、今回は両者がほぼ同じ数値（19.9%対20.3%）となっている。この結果から、前回明らかにした、クラブや塾など小学生よりも中学生の方が家計を圧迫していることに対応がなされていることが示唆された。また、子どものための貯蓄をしたいができない状態が、今回も前回と同じく29.7%であった。持ち家率は前回86.6%だったのが、今回88.9%とわずかに上がっている。赤字・貯蓄ともにおおむね変化がみられない結果の中で、持ち家の傾向をどう見るのかはコロナも含め災害が多発することで持ち家への価値観が変化し、安定感を求める人が増加しているとも考えられる。

経済的な理由で経験できなかったこと（はく奪項目）について、レジャーの出費を減らすなどの多くの項目は、2019年に比較して該当率が下がっている。それに呼応して、どれにもあて

はまらないという回答は前回31.3%、今回32.6%と高くなっている。一方、「食費を切りつめた」「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」においては、2019年と比較して該当率が上がっている。全体を見たときに、2016年度から少しではあるが、好転しているようにとらえられる。一方、生活の見通しに対する不安が依然と減少していないことが示唆された。

ただし、経済的理由による子どもに関する経験（子どものはく奪）に関しては、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」が前回0.6%、今回0.5%とほぼ変化がみられなかった。ほかにはわずかであるが、好転した項目が多くみられた（「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」が前回7.8%、今回7.2%、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が前回11.7%、今回11.4%、「家族旅行（日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が前回17.3%、今回15.8%など）。それに呼応して、どれにもあてはまらないという回答は前回65.7%、今回70.5%と、約10ポイント以上伸びた。その中で、「お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった」は前回8.4%、今回11.4%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」が前回10.2%、今回12.4%、「お子さんの進路を変更した」が前回2.0%、今回2.6%など、進路に影響する項目で該当割合がわずかに高くなっている。

また、子どもが持っているものや使えるのを見ると、本は前回75.1%、今回74.4%、子ども部屋が前回78.6%、今回74.1%、インターネットにつながるパソコンが前回40.0%、今回36.9%、運動道具が前回77.2%、今回75.3%、自転車が前回84.8%、今回82.7%、習いごとなどの道具が前回59.3%、今回55.1%と下がっているものが多い中、極端に上がったのは、スマートフォンやタブレット（前回71.2%、今回76.4%）であり、これらは学校からの配布の成果であろう。やや上がったものは、ゲーム機が前回83.1%、今回86.1%、テレビ79.1%、今回84.9%、自分で選んだ服が前回74.4%、今回75.9%、キャラクターグッズが前回60.1%、今回66.8%であり、上述の割合が下がったものとあわせて考えると、子どもたちの遊びや過ごし方がよりインドアかつ個／孤なものとなっていることがうかがえる。

以上から、家計の状況は少し改善がみられるが、基本的には家計の改善を子どもに回す余裕には至っていない。経済的理由により子どもにできなかった経験（上記に挙げたようなこと）がどの家庭でも実現できるような方策が非常に重要である。

2019年度調査では養育費の取り決めについての設問を入れていなかったため、河内長野市での正確な比較はできないが、今回養育費の取り決めをして受け取っているのは約5割強であった。反面、養育費を取り決めているが、受け取っていないのは2割であった。2016年度全国ひとり親世帯等調査（厚生労働省2017）では、ひとり親家庭のうち養育費についての取り決めをしている割合が母子世帯で62.9%、父子世帯で20.8%、ひとり親家庭で養育費を受け取っていない子どもの割合が、母子世帯69.8%、父子世帯90.2%という値であり、今回の結果は、養育費関連の施策の成果はあったのではないかと想定できる。

<雇用・健康>

持ち家など居住形態など2019年度と大きな変化はない。学歴については、母親の学歴を上げると、高校卒業が前回23.1%、今回17.3%、約5ポイント減少しており、一方、大学卒業が前回16.2%、今回28.7%、約12ポイント上昇した。雇用状況では、何等かに仕事をしている母親は、前回80.8%、今回87.8%と約7ポイント上昇している。そのなかで、正規職員が前回22.8%、今回27.8%で約5ポイント増えている。これらは、世の中の人手不足と相まって働く人が増加したことにより、可処分所得も増加したことと関連するであろう。社会の認識の変化や政策による変化があったのではないかと考えられる。子どもの貧困の世論が広まり、各所に出された政策の効果と考えられよう。

支援制度の利用状況は、就学援助は前回11.0%、今回10.6%、児童扶養手当が前回11.3%、今回14.7%、生活保護が前回0.6%、今回0.3%であった。就学援助制度について、「利用したことがない」との回答が前回64.8%、今回83.5%であり、大幅に増加し、その理由を今回のみ聞いているが、「自身が該当しない」が89.8%でほぼ皆がそう思っていることがわかった。この数値は可処分所得の結果から考えてももっと受けることができる世帯があると思われるが、受けていない。前回も「あなたが受けることができる権利がある」メッセージを必要な人にどう届けるのか大きな課題であったが、改善に至っていない。各制度を正しく知らせ、他人ごとにせず、そこでのスティグマを無くし受けやすくする工夫がさらに必要である。

<健康・家庭生活・学習・対人関係>

まず食事から確認する。「朝食を食べない」(週に1回も食べていない)が前回2.0%、今回1.1%、約1ポイントではあるが減少している。食べない理由に「用意されていないから」が、前回3.8%、今回5.0%、「食べる習慣がない」が前回5.7%、今回0%であった。20名の子どもの毎日では食べていない。また、家族の人と食事をしていない子どもは、「ほとんどない」、「まったくない」を合計すると、小学5年生の子どもの約34名が家族の人と一緒に朝食を食べていない。

おうちの人と関わる設問は、2019年と傾向はほぼ変わらなかった。放課後過ごす場所は、「友だちの家」が前回32.9%、今回17.9%、「学校（クラブ活動など）」が前回29.8%、今回26.4%と減っており、コロナの影響による社会的交流が減ったことからの可能性が考えられる。友人との関係性が薄れることは、孤立や孤独へ向かう懸念も生じる。

勉強に関しては、今回調査から「授業がわからなくなった時期」小学生なら3・4年生(61.1%)、中学生なら1年生(53.8%)でつまづいていることがわかった。相談相手では、誰にも相談できない、相談したくないと感じている子どもは、前回11.0%、今回は7.1%と2019年よりも減っている。前は身体や気持ちで気になることを聞き、今回は身体の状態で気になること、「この1週間の気持ちの状況」で気になることを聞いているため単純に比較はできないが、「特に気になるところがない」が前回33.0%、今回は42.3%（体調）、「やる気が起きない」において「そんなことはない」が35.2%であった。

悩みについては、2019年度と数値も傾向も変わらない。上位3位が「学校や勉強のこと」「進学・進路のこと」「自分のこと（外見や体型のこと）」であった。

制度やサービスでいうと、子どもの居場所において、「平日の夜や休日過ごす居場所」の利用では小5が35.9%、中2が20.8%の子どもが利用したことがあり、「食事提供の居場所」は小5が9.2%、中2が8.4%、「学習支援の居場所」は小5が3.1%、中2が3.9%、「何でも相談できる場所」は、小5が2.1%、中2が4.5%の子どもが利用したことがあった。これら合わせて居場所の効果として「友だちの増加」が小学生で44.4%、中学生で29.2%、「気軽に話せる大人が増えた」は小5で22.2%、中2で12.5%、「生活の中に楽しみなことが増えた」は小5が16.0%、中2が6.3%という結果であった。このことは今後の展開に大きな意味をなすであろう。ただし、中学2年生は、友達が増えたと回答する反面、同じくらい「特に変化なし」(31.3%)と回答している。そのため、早期に居場所に繋ぎ、居場所が誰にとっても当たり前の選択肢にする必要がある。「平日の夜や休日過ごせる居場所」以外は、利用頻度は「食事提供の居場所」約10%、「学習支援の居場所」約3%、「何でも相談できる場所」は2~4%と少なくなり、将来の利用に関する積極的な利用希望も「食事提供の居場所」が小中合わせて23.0%、「学習支援の居場所」が小中合わせて21.9%ほどになる。子どもたちの希望があるととらえられ、「放課後過ごす場所」において、「友だちの家」や「学校（クラブ活動など）」が減少していることと併せて、子どもたちに多くの選択肢を提供できる方がよいと考えられること、自分には関係ないとする傾向があるかも

しれないこと、などから居場所の充実とより自然な提供が望まれる。

最後にヤングケアラーの項目である「家族に世話をしている人」がいるかどうかについては、厚生労働省の研究事業として実施された調査結果と比べると、小学生6.5%（日本総研2022）、中学生5.7%（MURC2021）という値よりはるかに高い、小5が19.0%、中2が18.2%であり、内容もきょうだいの世話が最も多く、小5は81.1%（小学6年生28.5%：日本総研2022）、中2が78.6%（中学生79.8%：MURC2021）である。小学生の世話が国に比べてきょうだいの世話の割合が高い。「家事」は、本調査では複数の質問にまたがっていることや複数回答可にしていることから単純に比較できないが、先述した厚生労働省の研究事業では、小6の世話の内容を家事と答えたのが、35.2%（日本総研2022）できょうだいの世話より高いが、本調査では逆であった。時間をみると1時間未満が最も多く、定義のあいまいさが子どもに答えにくくさせている可能性もあるであろう。今後、イギリスのように定義を明確にしていくことも検討を行う必要がある。

今回の調査で保護者が身近にあるといいと思うことは、上位3つが「無料で学習支援が受けられる場所」50.6%、「放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」34.6%、「困ったときにご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」29.7%であった。学習に関して最も気にしていることがわかり、これらのサービスを利用している率の低さから、身近に届けられるような工夫が必要である。

3) クロス集計

各セクションコメントでは、2023年度の項目のみで確認してきたが、ここでは可能な限り2019年と比較する。まず経済面では、できなかった経験、つまりはく奪指標として、2019年度も検討してきた項目でまず確認する。

経済面から確認する。困窮度Ⅰ群においては、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」「国民年金の支払いが滞ったことがある」「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」「趣味やレジャーの出費を減らした」の項目では、2019年度と比較して、該当率がいずれも5ポイント以上減少している。ただし、「食費を切りつめた」「新しい衣服・靴を買うのを控えた」「スマートフォンへの切替・利用を断念した」の項目では、2019年度と比較して、該当率が上昇しており、「生活の見通しが立たなくて不安になったことがある」の減少はそこまで大きくなく、将来への不安感の減少にまで至っていない。一方、子どものはく奪に関して、困窮度Ⅰ群においては、「お子さんの誕生日を祝えなかった」「お子さんにお年玉をあげることができなかった」「家族旅行」などの項目では、2019年度と比較して、該当率が減少している。経済状況の改善は、子どものはく奪の減少にもつながっていると考えられる。ただし、「お子さんの進路を変更した」「お子さんを習い事に通わすことができなかった」などの項目はほとんど変化していない。

世帯員の構成について困窮度別にみると、2019年度では、困窮度が高くなるにつれて、「母子世帯」の割合が高くなり、困窮度Ⅰ群では50.5%となっている。2023年度においても同じ傾向がみられ、困窮度Ⅰ群では、「母子世帯」の割合は64.4%と2019年度よりも高くなっている。これは、近年の経済状況の悪化や、コロナ禍の影響などにより、母子世帯の経済的な困窮がさらに深刻化していることを示唆している。

支援制度に関しては、まず就学支援制度は、申請すれば利用できるはずである困窮度Ⅰ群であっても利用したことがない人が、2019年度27.5%あり、これを減らすことを第一目的に考えたほどであったが、2023年度最も厳しい困窮度Ⅰ群において37.8%と増加している。現在利用している人にとってみても、2019年度52.9%だったところ2023年度は53.3%になっている。児童扶養手当

(ひとり親)も困窮度Ⅰ群で利用したことがない人が、2019年度6.1%、2023年度13.8%と約2倍となっている。「生活保護制度」について、困窮度Ⅰ群において「利用している」が2019年度3.9%であったが2023年度2.2%とやはり利用は少ない。これら設問の文言(例「受けたことがある」→「利用したことがある」など)の違いはあるものの、困窮度Ⅰ群にとって、つまり厳しい家庭にとって、制度利用は決して進んでおらず、さらに厳しい状況となったとも推察できる。

子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況は、本調査において全体で8.5%、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金は0.0%である(「現在利用していないが、以前利用したことがある」と答えた割合はそれぞれ2.3%、1.6%)。全国レベルのデータを見ると、2020年コロナ発生後の10月の調査(厚生労働科学特別研究)において、収入200万未満の世帯で35.6%(山野研究室2021)である。これらの数値を直接比較することはできないが、いずれにおいても割合の低さから、2016年以降子どもの貧困が周知されるようになり、コロナ禍となって、さらに支援制度の広がりや周知が今まで以上になされたが、大阪においてもその活用が広がりきれなかったと言わざるを得ない。これら最も厳しい世帯における利用が減少した要因を探る必要がある。

10代で親になった世帯の厳しさは2019年度同様であり、たとえば母親の最終学歴について初めて親となった年齢別では、高卒(高等学校中途退学)および「高等学校卒業」が6割程度であり、他の年齢群に比べて高い割合を示している。また、就労状況において正規社員の割合が、他の多くの年齢群と比べて低くなっている。出産などによって学業を中断せざるを得なかった10代への教育支援や就業支援もさることながら、そもそもの予防的支援として、自分を大切にすることや将来を見ずえるような教育的支援が必要である。例えば、小学生から高校生まで、性教育含む生きる教育(西澤・西岡ほか2022)の積極的な導入を進めるべきである。またスウェーデンで行われる、実際の社会問題と向き合い、制度を知り選択できる力を養う社会科授業の実施など、思い切った根本的な教育改革が必要である。

雇用に関しては、質問形態が違うため安易に2019年と比較できないが、困窮度が増すほど、非正規雇用の割合が高くなることや、最終学歴が高卒(「中学校卒業」と「高等学校中途退学」、「高等学校卒業」)の割合が高くなる傾向は2019年と同じである。世帯構成と就労状況の関係をみると、2019年と同様に、ふたり親世帯と比べて、ひとり親世帯の正規雇用率が低い。具体的には、母子世帯では、正規雇用率の割合は前回が45.6%、今回39.6%と低くなっており、非正規雇用の割合が前回37.9%、今回43.8%とやや高くなった。一方、父子世帯では正規雇用の割合が前回50.0%、今回83.3%と高くなったが、ふたり親世帯と比べると依然と低くなっている。ひとり親世帯へのさらなる重点支援を検討すべきである。

健康に関しては、2019年度と2023年度はほぼ変わらない。つまり困窮度が増すほど身体面、精神面不調が高くなる。セクションコメントで述べてきたように、毎日の規則正しい朝食・昼食摂取が、保護者と子どもがよりよい関係となって、子どもの自己効力感を高める可能性があり、自己肯定感や将来の夢や目標があるほど、日常生活の中で元気に過ごしているという傾向があることから、基本的な生活習慣を維持できるような取り組み、将来の夢や目標が持てるような取り組みの工夫が必要である。

家庭生活や学習に関する傾向も2019年度の調査と変わらない。経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。遅刻頻度の多さは保護者と子どものコミュニケーション不足を暗示しうる。経済的に困難な世帯の子どもは、通学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。また、子ども自身も保護者も大学以上の高いレベルの教育を望まなくなっており、これは経済的事情と学習理解の低さのいずれもが要因となっている可能性がある。子どもの将来に関して、困窮度Ⅰ群と中央値以上群の差は2019年から変わっていな

い。つまり、将来への希望が持てていない。

経済状況が生活習慣や学習習慣・読書習慣の形成に影響が出ている可能性が示唆された。また、生活習慣が身についていないと遅刻につながり、学習理解に影響が出ている可能性がある。こうした学習習慣と家庭状況は大きく関係するため、横断的に判断できて支援に繋ぐような、例えば家庭学習を補完するためにも、学習支援や学校での少し先輩である就学前児童なら小学生、小学生なら中学生、中学生なら高校生、など年齢の近い年上の子ども・若者を各所で導入する仕組みを作ったり、校内でサポートを展開するメンターの導入などが望ましい。(イギリスやアメリカで活用されるメンター制度など)

対人関係においても2019年の結果とクロスの傾向は変わらない。変わるところで述べると、放課後を一緒に過ごす人の回答は「学校のともだち」が前回、困窮度Ⅰ群が53.5%、中央値以上群が53.4%とほとんど変化がみられないのに対して、今回、困窮度Ⅰ群が35.7%、中央値以上群が53.7%と、差がはるかに広がった。また、場所としても、前は困窮度Ⅰ群対中央値以上群では、公園・広場が23.8%対20.5%と特徴的で困窮度Ⅰ群の方が高かったが、今回は公園・広場が16.7%対23.5%と逆転した。塾や習いごとは、前は困窮度Ⅰ群対中央値以上群では塾が14.9%対40.0%、習いごとが27.7%対46.6%、今回は同じく塾が21.4%対27.5%、習いごとが28.6%対38.3%と格差が縮まった。

経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されるだけでなく、子どもの自己効力感にも影響を及ぼす可能性があることが示唆された。また、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示された。子どもの居場所が様々な専門家や機関との連携を可能にしており、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

最後に、子どもが保護者以外に話せる機会が必要である。家庭と学校しかないソーシャルキャピタルの欠如がある子どもたちにとって、今回の調査において、おうちの人に関する悩みはおうちの人と学校の友達に話しにくいという結果であった。これは、ますます経済的に厳しい子どもたちを孤立させ、ソーシャルキャピタルを欠如させてしまう。おうちの人や学校の友達に相談すること自体難しいと考えられるが、おうちの人や友達に話せないという今回の結果から、自然と話せるような場や人材を学校から自然に流れるような仕組みを充実させる必要がある。

まとめ

今回の調査結果から、子どもの貧困に関する対策の結果として、親の就労や学歴、所得状況は改善がみられ、中央値は上昇する結果であった。これは2021年度の厚生労働省の国民生活基礎調査の結果をみても同様の傾向である。

しかし、その分が子どもに回っておらず、物価高の影響等々考えられる。肝心の困窮度Ⅰ群の世帯あるいは子どもの状況の改善は見られず、悪化している部分もあった。このことは子どもの貧困を考える立場にとっては厳しい結果である。この解決には、国が縦割りを解消しようとこども家庭庁を設立し、データ連携等々新たな動きをしているなか、同様に教育や福祉という既存の枠組みを越えて、子どもをまんやかに実行できる体制や制度設計を早急に考えるべきである。以下のような覚悟ある対策をとる必要がある。

① 経済面：母子世帯への支援や収入のアップを企業側が実行できるような施策が必要である。

- ② 学習面：学校だけでなく、すべての子どもが通う学校と連携した学びの保障を検討する。方策として、コミュニティスクールや学習支援、無料塾の創設などの活用である。保護者のニーズのある無料塾は、例えば沖縄で導入している。貧困調査の結果から支援員を投入し、訪問による給付や支援の申請書書きのサポートなどの人的支援方策を実施した。そういう方法を検討する必要がある。あるいはそれをクラウドデータで行えるようなデータ連携と社会資源を選択できるよう可視化と自治体内でどこかの部署でも所持するような共有化が必要である。
- ③ 無償化の対象にならない部活の費用などの補助を行う。塾代助成のような方策を検討し、かつ申請をしなくても必要な人には利用できるよう、塾側に措置費のような形で配分する枠組みの提示や方策の提案を行う。
- ④ 価値の創造：教育の力はすべての子どもに影響することが出来る。年齢に応じて子どもの人権や生きる価値など人間尊重の理念から獲得できるような学びとその方法を導入する。小学1年生から体験的に教育を受ける生きる教育（西澤・西岡 2022）やブレインストーミングのように子どもたちとの対話で進めるフィンランドの教育（北川 2005）、実際的な生活課題から制度やサービス、権利に関して体験的に学ぶスウェーデンの社会科（リンドクウィスト・ウェステル 1997）のように、その年齢に合わせて体験型であり、自身の意見を出し、周りの意見を聞きながら進めるレクチャー型ではない教育の進め方を根本から検討すべきである。そのことによって、10代の妊娠やいじめ、ヤングケアラーなど家庭状況を抱えるようになってからも早期にSOSが出せたり、自身で支援を選択できる力を養うことができる。
- ⑤ 地域資源：支援の場所を周知することである。自治体のパンフなど見やすい形で大阪府下全市に拡充する必要がある。子ども食堂に限らず、様々な機能（駄菓子屋や公園などほっと寄れるような場を使ったりたまり場など）を持つ居場所や体験交流できる場かつ子どもが自力で行ける小学校区に必要である。学校が場所を開放するのがベストである。その場所が子どもにとっても親にとってもわかりやすく、行きやすい場所にあり、選択肢が増え、可視化し利用しやすくする必要がある。相談機関を増やしても子どもや親からの相談の数値は決して上がらず、居場所などの場の方が有効である。
- ⑥ 連携の考え方：連携とは個人情報共有をしなければできないわけではない。個人情報は把握しないまま連携することが重要である。これが社会資源を知らない教師と個人情報を持ってない地域の居場所の新しい連携の方法であり、これらを周知徹底させることである。
- ⑦ すべての子どもを視野に入れ、そこから自然につながる仕組みなど、今までの縦割りとは次元の違う支援の仕組みが必要である。
- ⑧ 社会福祉協議会など居場所の中間支援を行う機関の役割を明確化し、機能的に促進させる。社会教育分野が持つ公民館や図書館や博物館なども場であり、さらなる協働を明確にする。（子ども食堂等居場所の活動団体が無料で入れる、利用できるなど）
- ⑨ 全数からの仕組み：必要な子どもが確実に発見され自然につながるためには、スクリーニングから繋ぐ機能まで持った、例えば文部科学省推奨（2020）のYOSSスクリーニング（山野研究室 2021）の仕組みが必要である。今回の調査で2016年からの比較によってアウトリーチでは乗り越えられなかった壁が明かになった。相談ではなく、自然に伴走する支援を厳しい家庭の保護者や子どもたちは求めていることがわかる。必要な子どもを早期に発見し、伴走しながら、必要な制度や仕組みを紹介し、利用を増やすことで生活の改善をはかることと、伴走することで子どもや保護者本人の力をアップさせ、資源を活用できるようにする機能が必要である。
- ⑩ システム化：洩れなく持続可能に巡回させるためには、人に頼るだけでなく、福祉と学校のデータ連携を推奨し、地域資源の可視化のためにクラウド化することも考慮すべき点である。

クラウドによっていち早く支援場所や居場所が学校にもすぐにわかり、地域活動と支援の必要な子どもを結び、支援提供を展開する必要がある。

- ⑪ 人材：これら学校においてすべての子どもの検討、発見から支援に繋ぐ校内の体制作りができる人材養成に力を入れる必要がある。スキルを取得する訓練講座の予算化や新たな認定制度になることも家庭ソーシャルワーカー養成制度の活用などである。
- ⑫ その専門職の1つがスクールソーシャルワーカーである。各校に1名配置できるよう、正規職化への働きかけ、あるいは各自治体での正職化計画を立てる必要がある。
- ⑬ 法制化：これらは連携ではなく仕組み作りであり、制度化である。要項や規定を作成し、自治体や機関として動きやすいように作成すべきである。
- ⑭ 制度設計：デジタル化のために補助金や助成金を検討することも必要である。なぜなら、どこに必要な子どもが存在するのかがわからない。データ連携することでどこに必要な子どもが存在し、様々な制度を活用してどうだったかを検証できるように作りこむことである。これらのシステム費用がベンダーロックにより莫大な金額がかかる課題がある。企業を巻き込むと同時に、自治体や政府からクラウド化に向けた助成制度を創設する必要がある。

引用・参考文献

- アーネ・リンドクウィスト&ヤン・ウェステル、川上 邦夫（翻訳）（1997）『あなた自身の社会：スウェーデンの中学教科書』新評論。
- 大阪府（2023）「大阪府子ども（子育て世帯）に対する食費支援事業（第2弾）」
(<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/20980/00457638/2-9.pdf>)
- 大阪府立大学（2017）「大阪府子どもの生活実態調査」
- 北川達夫（2005）「図解フィンランド・メソッド入門」経済界。
- 厚生労働省（2004）「ワークシェアリング導入促進に関する秘訣集及びリーフレットについて」
(<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/06/h0630-2.html>)
- 厚生労働省（2017）「平成28年度 全国ひとり親世帯等調査結果報告」
(<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11923000-Kodomokateikyoku-Kateifukishika/0000190325.pdf>)
- 厚生労働省（2022）「2022（令和4）年国民生活基礎調査の概況」
(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html>)
- 柴田悠（2016）『子育て支援が日本を救う—政策効果の統計分析』勁草書房。
- 内閣府（2010）「平成21年度インターネットによる子育て費用に関する調査」
(https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/13024511/www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/cyousa21/net_hiyo/mokuji_pdf.html)
- 西澤哲・西岡加名恵ほか（2022）『「『生きる』教育」：自己肯定感を育み、自分と相手を大切にする方法を学ぶ』日本標準。
- 日本総研（2022）「令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省。
- 三菱UFJリサーチコンサルティング（株）（2021）「令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省。
- 文部科学省（2023）「令和5年度就学援助の実施状況」
(https://www.mext.go.jp/content/20210324-mxt_shuugaku-000013450_27.pdf)

- 文部科学省・山野研究室（2020）「スクリーニング活用ガイド」
(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2020/03/27/20200327_mxt_kouhou02_2.pdf)
- 山野則子編著（2019）『子どもの貧困調査—子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの』明石書店.
- 山野則子（2018）『学校プラットフォーム』有斐閣.
- 山野則子研究室（2021）「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究 保護者調査・子ども調査報告書」厚生労働省.
- 山野則子研究室（2021）「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」文部科学省.
- 柳澤靖明・福島尚子（2019）『隠れ教育費：公立小中学校でかかるお金を徹底検証』太郎次郎社エディタス.
- UNESCO(2020) ‘International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach (jpn)’ (<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf00000374167>)

図表目次

図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験	160
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験	162
図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの.....	164
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均.....	165
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均.....	166
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均.....	167
図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成	168
図 8. 世帯構成別に見た、家計の状況	169
図 9. 困窮度別に見た、子どもの人数	170
図 10. 困窮度別に見た、住居形態	171
図 11. 困窮度別に見た、家計の状況	172
図 12. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況	173
図 13. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無	174
図 14. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況	177
図 15. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	178
図 16. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況	179
図 17. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）	180
図 18. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢	181
図 19. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）	182
図 20. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）	183
図 21. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）	184
図 22. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）	185
図 23. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）	187
図 24. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ） ...	189
図 25. 住居形態別に見た、家計の状況	190
図 26. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況	191
図 27. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況.....	192
図 28. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況.....	193
図 29. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況.....	194
図 30. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	195
図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	196
図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況 ...	197
図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況	198
図 34. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況.....	200
図 35. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況.....	202
図 36. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	204
図 37. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	206
図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	208
図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況	210
図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況	212
図 41. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況.....	213
図 42. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況.....	214
図 43. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	215
図 44. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	216
図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	217
図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況	218
図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況 ...	219

図 48. 困窮度別に見た、就労状況	221
図 49. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴	222
図 50. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴	223
図 51. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況	224
図 52. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況	225
図 53. 世帯構成別に見た、就労状況	226
図 54. 就労状況別に見た、家計の状況	227
図 55. 困窮度別に見た、朝食の頻度	229
図 56. 就労状況別に見た、朝食の頻度	230
図 57. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度	231
図 58. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度	232
図 59. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間	233
図 60. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間	234
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度	235
図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	236
図 63. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	237
図 64. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある	238
図 65. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ	239
図 66. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ	240
図 67. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる	241
図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする	242
図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる	243
図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる	244
図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない	245
図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする	246
図 73. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること	248
図 74. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある	249
図 75. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ	250
図 76. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ	251
図 77. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる	252
図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする	253
図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる	254
図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる	255
図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない	256
図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする	257
図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること	259
図 84. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること	261
図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること	263
図 86. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	264
図 87. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点	265
図 88. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）	266
図 89. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）	267
図 90. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）	268
図 91. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）	269
図 92. 困窮度別に見た、おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べているか	272
図 93. 困窮度別に見た、おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べているか	273
図 94. 困窮度別に見た、おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらうか	274
図 95. 困窮度別に見た、おうちの大人のひとと文化活動をするか	275

図 96. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	276
図 97. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	277
図 98. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間	278
図 99. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの	279
図 100. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がある日）	280
図 101. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がない日）	281
図 102. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	282
図 103. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	283
図 104. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	284
図 105. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	285
図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間	286
図 107. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間	287
図 108. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連	288
図 109. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連	289
図 110. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度	290
図 111. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度	291
図 112. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間	292
図 113. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間	293
図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度	294
図 115. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度	295
図 116. 困窮度別に見た、希望する進学先	296
図 117. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学	297
図 118. 困窮度別に見た、学校への遅刻	298
図 119. 困窮度別に見た、子どもの通学状況	299
図 120. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べているか	300
図 121. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べているか	301
図 122. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらうか	302
図 123. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとと学校のできごとについて話すか	303
図 124. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか	304
図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか	305
図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとと文化活動をするか	306
図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人のひとと一緒に外出するか	307
図 128. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること	309
図 129. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	310
図 130. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	311
図 131. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先	312
図 132. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの	313
図 133. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること	315
図 134. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合	316
図 135. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	317
図 136. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	318
図 137. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先	319
図 138. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯	320
図 139. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度	321
図 140. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度	322
図 141. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間	323
図 142. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間	324
図 143. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況	326

図 144.	自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	327
図 145.	自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	328
図 146.	困窮度別に見た、放課後を過ごす場所	332
図 147.	困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人	334
図 148.	困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと	336
図 149.	困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること	338
図 150.	困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	340
図 151.	困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先	342
図 152.	世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合	343
図 153.	困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	344
図 154.	子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	345
図 155.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか	346
図 156.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらうか	347
図 157.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校のできごとについて話すか	348
図 158.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか	349
図 159.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか	350
図 160.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと文化活動をするか	351
図 161.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと一緒に外出するか	352
図 162.	困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	353
図 163.	困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	354
図 164.	困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所	355
図 165.	困窮度別に見た、何でも相談できる場所	356
図 166.	困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験	357
図 167.	平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	359
図 168.	昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	361
図 169.	勉強を無料か安い料金でみてる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	363
図 170.	何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	365
図 171.	自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	367
図 172.	自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	368
図 173.	自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	369
図 174.	自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所	370
図 175.	自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所	371
図 176.	子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先	373
図 177.	学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	375
図 178.	学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	377
図 179.	学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	379
図 180.	学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所	381
図 181.	学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所	383
図 182.	身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	385
図 183.	身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	387
図 184.	身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてる場所	389
図 185.	身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所	391
図 186.	身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無	393
図 187.	身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先	395

IV 資料編

おおさかふ こ せいかつ かん じったいちようさ
大阪府子どもの生活に関する実態調査

しょうがくせい ちゅうがく せい む ちようさ ちようさひよう かわちながのし
小学生・中学生向け調査 調査票 【河内長野市】

＜ ちようさ きょうりよく ねが
調査への協力のお願い ＞

- ◆この調査は、大阪府内の小学生・中学生のみなさんの学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- ◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で答えてください。
- ◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- ◆答えたくない質問は答える必要はありません。
- ◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- ◆あなたが答えた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
- ◆大阪府と河内長野市はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月31日までに回答してください。

（1）Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- 回答方法は、16ページをござらんください。
- ※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。
- Webで回答された場合は、紙の調査票の返送は不要です。

（2）紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「小学生・中学生用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、おうちの人に渡してください。

◆期限： 令和5年7月31日（月曜日）◆

【調査に関するお問合せ先】

かわちながのし ふくしふ こそだ か
河内長野市 福祉部 子ども子育て課

でんわ 0721-53-1111（内線 171）※9:00～17:30 土・日曜日・祝日を除く
ふあくしみり 0721-55-1435

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などを書いてありますので、それにしたがってください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 小学生	2. 中学生
--------	--------

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 起きている	3. あまり、起きていない
2. どちらかといえば、起きている	4. 起きていない

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 午後9時より前	4. 午後11時台	7. きまっていない
2. 午後9時台	5. 午前0時台	
3. 午後10時台	6. 午前1時より後	

問4 朝食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問5 夕食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問6 お休みの日の昼食についておたずねします。

(1) あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日もふくみます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 必ず食べる	3. 食べないことが多い	5. わからない
2. 食べることが多い	4. 食べない	

(2) 前の質問で「1. 必ず食べる」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが、学校がお休みの日に昼食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問7 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 遅刻はしない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	



とい 問8 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。（①～⑩それぞれについて、あてはまる番号ばんごう
ひと まる
1つに○をつけてください）

	ほとんど毎日 まいにち	週に4～5回 しゅう かい	週に2～3回 しゅう かい	週に1回程度 しゅう かい いど	月に1～2回 つき かい	ほとんどない	まったくない
① おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
② おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③ おうちの大人のひとに朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④ おうちの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤ おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥ おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦ おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧ おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑨ おうちの大人のひとと文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑩ おうちの大人のひとと一緒に外出しますか。（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）	1	2	3	4	5	6	7

とい 問9 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいとおもいますか。

（あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください）

1. おうちのひとと一緒に過ごしているとき	5. 今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
2. ともだちと一緒に過ごしているとき	6. 塾や習いごとで過ごしているとき
3. 学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	7. 特に楽しいと思うときはない
4. ひとりで過ごしているとき	8. その他

とい
問10 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）
2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4. 学校のともだち
5. クラブ活動・部活動の仲間
6. 学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
7. ひとりでいる
8. その他の人

とい
問11 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 自分の家	9. コンビニエンスストア
2. おばあちゃん・おじいちゃんの家	10. ゲームセンター
3. ともだちの家	11. 図書館や公民館など公共の施設
4. 塾	12. 地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所）
5. 習いごと	13. 学童保育（※）
6. 学校（クラブ活動・部活動など）	14. その他
7. 公園・広場	
8. スーパーやショッピングモール	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

とい
問12 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1. 自分で勉強する	6. おうちの人に教えてもらう
2. 塾で勉強する	7. ともだちと勉強する
3. 学校の補習を受ける	8. その他
4. 家庭教師に教えてもらう	9. 学校の授業以外で勉強はしない
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

とい 問13 あなたは、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
 (塾などの時間もふくみます。)(①、②それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない
① 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	7
② 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	7

はんぶん
あと半分だよ。
がんばってね！

とい 問14 学校の勉強についておたずねします。
 (1) 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくわかる	3. あまりわからない	5. わからない
2. だいたいわかる	4. ほとんどわからない	

(2) 前の質問で「3. あまりわからない」「4. ほとんどわからない」「5. わからない」に○をつけた方に
 おたずねします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
 (あてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 小学1・2年生のころ	3. 小学5年生になってから	5. 中学1年生のころ
2. 小学3・4年生のころ	4. 小学6年生のころ	6. 中学2年生になってから

とい 問15 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。
 (教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

とい 問16 あなたは、^{がっこう}学校や^{がっこう}学校の^{ぎょうじ}行事等で次のようなことがありますか。

(^{ばんごう}あてはまる番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{じゅぎょう} 授業中に ^ね 寝てしまうことが多い	7. ^{うんどうかい} 運動会や ^{えんそく} 遠足などの ^{がっこうぎょうじ} 学校行事を ^{けっせき} 欠席する
2. ^{しゅくだい} 宿題ができていないことが多い	8. ^{ほけんしつ} 保健室で ^す 過ごすことが多い
3. ^も 持ち物の ^{わす} 忘れ物が ^も 多い	9. ^{がっこう} 学校では ^{ひとり} ひとりで ^す 過ごすことが多い
4. ^{なら} 新しいことを ^{やす} 休むことが ^{おほ} 多い	10. ^{ともだち} ともだちと ^{あそ} 遊んだり、 ^{おしゃべり} おしゃべりしたりする ^{じかん} 時間が
5. ^{ていしゅつぶつ} 提出物を ^だ 出すのが ^{おく} 遅れることが ^{おほ} 多い	^{すく} 少ない
6. ^{しゅうがくりょこう} 修学旅行などの ^{しゅくはくぎょうじ} 宿泊行事を ^{けっせき} 欠席する	11. ^{とく} 特にない

とい 問17 今、あなたは、^{いま}いやなことや^{なや}悩んでいることはありますか。

(^{ばんごう}あてはまる番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{うち} おうちのこと	6. ^す 好きな ^{ひと} 人のこと
2. ^{がっこう} 学校や ^{べんきょう} 勉強のこと	7. ^{しんがく} 進学・ ^{しんろ} 進路のこと
3. ^{くらぶ} クラブ活動や ^{ぶかつどう} 部活動のこと	8. ^た その他のこと
4. ^{じぶん} 自分のこと（ ^{がいけん} 外見や ^{たいけい} 体型など）	9. ^{なや} いやなことや悩んでいることはない
5. ^{ともだち} ともだちのこと	10. ^{わからぬ} わからない

とい 問18 あなたは、^{なや}いやなことや悩んでいることがあるとき、^{そうだん}だれかに相談しますか。（^{はな}だれに話しますか。）

(^{ばんごう}あてはまる番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{おや} 親	12. ^{いんたーねっと} インターネットや ^{さいと} サイトなどを ^{つうし} 通じて ^し 知りあった
2. ^{きょうだい} きょうだい	^{ちよくせつ} 直接 ^あ 会ったことの ^{ひと} ない人
3. ^{しん} 親せき	13. ^{きんじょ} 近所の ^{ひと} 人
4. ^{がっこう} 学校の ^{ともだち} ともだち	14. ^{ちいき} 地域の ^{しえんだんたい} 支援団体
5. ^{がっこう} 学校以外の ^い ともだち	^{がくしゅうしえん} （学習支援の ^ば 場や ^こ 子ども ^{しょくどう} 食堂など ^{ちいき} 地域で
6. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生	^{おなとし} 同じ ^こ 年ごろの ^{あつ} 子どもが ^{ひと} 集まるところの ^{ひと} 人）
7. ^{すくー} スクール ^{かうんせらー} カウンセラー、 ^{そーしゃるわーかー} ソーシャルワーカー	15. ^た その他の ^{ひと} 人
8. ^{じゅく} 塾や ^{なら} 習いごとの ^{せんせい} 先生	16. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談 ^{できない} できない
9. ^{がくどうほいく} 学童保育の ^{せんせい} 先生（※）	17. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談 ^{したくない} したくない
10. ^こ 子ども ^{せんよう} 専用の ^{でんわ} 電話 ^{そうだん} 相談	18. ^{わからぬ} わからない
11. ^{えすえぬえす} SNSなどの ^{いんたーねっと} インターネットや ^{らいん} LINEの ^{そうだん} 相談	

※「学童保育」とは、「^{がくどうほいく}放課後児童クラブ」、「^{ほしか}いきいき放課後児童クラブ」、「^{るす}留守家庭児童会（室）」、「^{がくどうくらぶ}学童クラブ」、「^{なかよ}仲良し^{くらぶ}クラブ」もふくみます。

問19 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。あなたが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。

(①～⑨それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	そう うっ だも	とき どき そう だ	そ ん な い こ と
① 楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
② 遊びにでかけるのが好きだ	1	2	3
③ 元気いっぱいだ	1	2	3
④ やろうと思ったことがうまくできる	1	2	3
⑤ 一人ぼっちのような気がする	1	2	3
⑥ 不安な気持ちになる	1	2	3
⑦ まわりが気になる	1	2	3
⑧ やる気が起きない	1	2	3
⑨ いらいらする	1	2	3

問20 あなたは、自分の体の状態で気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	6. よくかゆくなる
2. よく頭がいたくなる	7. とくに気になるところはない
3. 歯がいたい	8. その他
4. よくおなかがいたくなる	9. わからない
5. よくかぜをひく	



答えたくない質問は答える必要はないよ。

答えに迷うときは、あなたの気持ちや考えに

できるだけ近いものを選んでね。

とい 問21 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 本 (学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく)	8. テレビ
2. マンガ・雑誌	9. けいたい電話
3. 子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだいと 一緒に使っている部屋など)	10. スマートフォン・タブレット機器
4. インターネットにつながるパソコン (学校のパソコンはのぞく)	11. 化粧品・アクセサリ
5. 運動用具 (ボール・ラケットなど)	12. 習いごとなどの道具 (ピアノなど)
6. ゲーム機	13. 自分で選んだ服
7. 自転車	14. キャラクターグッズ
	15. その他
	16. あてはまるものはない

あなたが、ふだん 考 えていることについておたずねします。

とい 問22 あなたは、つらいことがあってもすぐ立ち直ることができますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというそう思わない
2. どちらかというそう思う	4. そう思わない

とい 問23 あなたがふだん 考 えていることについて、次の (1) ~ (3) について教えてください。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

(1) 自分に自信がある

1. ある	3. どちらかというたない
2. どちらかというとある	4. ない

(2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

1. できる	3. どちらかというとできない
2. どちらかというとできる	4. できない

(3) 自分の将来の夢や目標を持っている

1. 持っている	3. どちらかというと持っていない
2. どちらかというと持っている	4. 持っていない

とい 問24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	6. 留学 (外国で長い期間勉強すること)
2. 高校	7. 専門学校 (美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など) ・高等
3. 短期大学	せんもんがっこう 専門学校
4. 大学	8. 考えたことがない
5. 大学院	9. わからない

あともう少しだよ！

がんばってね！



©2014 大阪府もずやん

あなたのことについて、おたずねします。

問25 自分やともだちの家以外の場所についておたずねします。

- (1) あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

(①～④それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	利用 した こと が あ る	利用 した こと は な い (あ れ ば 利 用 し た い と 思 う)	利用 した こと は な い (今 後 も 利 用 し た い と 思 わ な い)	利用 した こと は な い (今 後 も 利 用 し た い か 分 か ら な い)
① 平日の夜や休日を過ごすことができる 場所 (学童保育など)	1	2	3	4
② 昼食や夕食、お弁当を無料か安い 料金で食べることができる場所 (子 ども食堂など)	1	2	3	4
③ 勉強を無料か安い料金でみてくれる 場所 (一般的な学習塾とはちがう 学習支援など)	1	2	3	4
④ 何でも相談できる場所 (電話や ネットの相談をふくむ。)	1	2	3	4

- (2) 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方におたずねします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ともだちが増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	8. その他
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

(3) 問25(1)の質問で、「利用したことがある」に○をつけた方以外におたずねします。利用したことがないのはなぜですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. どこにあるか知らないから	7. Wi-fi (インターネット通信環境) がないから
2. 家の近く(ひとりでいける場所)にないから	8. 行きたいと思わないから
3. 家で過ごしたいと思うから	9. 何をしているかわからないから
4. 楽しくなさそうだから	10. 利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから
5. 「行っはいいけない」と親などの大人にいわれるから	11. その他
6. 行きたい日・時間に開いていないから	

問26 あなたがうちでしているお世話の様子についておたずねします。

(1) うちの人のなかあなたが世話をしている人はいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. いる	2. いない
-------	--------

(2) 前の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。誰のお世話をしていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじいちゃん
2. お父さん	5. きょうだい
3. おばあちゃん	6. その他

(3) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 料理や買い物、食器洗いなど	5. 病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など
2. 洗濯など	6. その他
3. そうじやゴミ捨てなど	
4. きょうだいのめんどろを見ることや保育所のおむかえなど	

(4) 前の質問で「6. その他」に○をつけた方は、具体的な内容を書いてください。

--

(5) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をするのはどれくらいありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ほぼ毎日	3. 週に1日または2日
2. 週に3日～5日	4. 1か月に数日

(6) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。学校がある日に、お世話を1日のうちどれくらいしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1時間より少ない	4. 3時間以上、5時間より少ない
2. 1時間以上、2時間より少ない	5. 5時間以上、7時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない	6. 7時間より多い

(7) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をしていることによって次のようなことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちの人と話したり遊んだりすることが 増える	8. とても疲れることがある
2. 時間の使い方を工夫できる	9. いろいろしやすい
3. 家の中で気持ちよく過ごすことができる	10. 気持ちが落ち込む
4. おうちの人健康に過ごすことができる	11. 学校を欠席や遅刻、早退することがある
5. 「お世話」にやりがいを感じる	12. その他
6. おうちの人以外と話す時間が減る	13. 特になし
7. 自分のことをする時間がない	

問27 あなたの性別をえらんでください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子	3. その他
2. 女子	4. 答えたくない

質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。

「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、保護者の方に渡してください。

相談窓口のご案内

○親子やきょうだいのことなど家庭での悩みについては

＜子どもの悩み相談フリーダイヤル＞

TEL : 0 1 2 0 - 7 2 8 5 - 2 5

24時間 365日

LINE <https://www.pref.osaka.lg.jp/kateishien/sodanliner3/index.html>

＜親子のための相談LINE＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

○友人関係など学校での悩みについては

＜すこやかホットライン＞

TEL : 0 6 - 6 6 0 7 - 7 3 6 1

月曜日～金曜日 : 9時～17時30分（※祝日・年末年始を除く）

Eメール sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

【ひとりで悩まないで、相談してね。】



@2014 大阪府もずやん

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

■ WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。

■ 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700082>

- ◆ 最初の画面がでてきたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

お お さ か ふ こ せ い か つ か ん じ ャ っ た い ち ょ う さ
大阪府子どもの生活に関する実態調査
ほ ご し や む ち ょ う さ ち ょ う さ ひ ょ う か わ ち な が の し
保護者向け調査 調査票 【河内長野市】

ち ょ う さ き ょ う り ゃ く ね が
< 調査への協力をお願い >

- ◆この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、大阪府と河内長野市が共同で子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査への協力をお願いします。
- ◆調査の対象は、小学5年生と中学2年生の保護者の方です。
- ◆お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。
- ◆この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。
- ◆ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙（またはWebフォーム）に回答してください。
- ◆回答するときには、お子さんと別々に、お互いの回答を見ないように記入してください。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月31日までに回答してください。

う え ぶ か い と う
(1) Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- 回答方法は、16ページをごらんください。
- ※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。
- Webで回答された場合は、紙の調査票の返送は不要です。

か み ち ょ う さ ひ ょ う か い と う
(2) 紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがして封をしてください。お子さんの回答の入った「小学生・中学生用封筒」と「保護者用封筒」を返信用封筒にまとめて入れ、期限までに返信してください。切手は不要です。

き げ ん れ い わ ね ん が つ に ち げ つ よ う び
◆期限： 令和5年7月31日（月曜日）◆

ち ょ う さ か ん と い あ わ さ き
【調査に関するお問合せ先】

か わ ち な が の し ふ く し ぶ こ こ そ だ か
河内長野市 福祉部 子ども子育て課

で ん わ
電話 0721-53-1111（内線 171）※9:00～17:30 土・日曜日・祝日を除く

ふ あ く し み り
ファクシミリ 0721-55-1435

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしがってください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おじいさん・おばあさん	6. その他の人

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、令和5年4月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含みます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問2 あなたの世帯の構成と人数をお答えください。（①～⑧それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）（⑧は、あなたや対象のお子さんを含んだ人数をお答えください。）

①おばあさん	②おじいさん	③お母さん	④お父さん	⑧合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人	0. いない 1. 1人	1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人 6. 7人 7. 8人 8. 9人 9. 10人以上
⑤姉・兄	対象のお子さん (本人) (※)	⑥妹・弟	⑦その他	
0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	1人	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	

※「対象のお子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。

問3 お子さんと同居し、生計を共にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 結婚している（再婚や事実婚を含む。）	4. 未婚
2. 離婚	5. わからない
3. 死別	6. いない

問4 前の質問で「2. 離婚」に○をつけた方におたずねします。

離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。

また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 取り決めをしており、受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3. 取り決めをしているが、受け取っていない
4. 取り決めをしておらず、受け取っていない

問5 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

1. 持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	4. 民間の賃貸住宅
2. 府営・市営の住宅	5. 官舎・社宅
3. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	6. その他

問6 あなたの家計の収支状況についておたずねします。

（1） 前年（2022年）の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でもなく黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

（2） お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりはない
2. 貯蓄をしたいが、できていない	

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 食費を切りつめた	13. 鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした
2. 電気・ガス・水道などが止められた	14. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある
3. 医療機関を受診できなかった	15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある
4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	16. 趣味やレジャーの出費を減らした
5. 国民年金の支払いが滞ったことがある	17. 冷暖房の使用を控えた
6. 金融機関などに借金をしたことがある	18. 友人・知人との外食を控えた
7. クレジットカードの利用が停止になったことがある	19. 敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した
8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた	20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした
9. 新聞や雑誌を買うのを控えた	21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった
10. スマートフォンへの切替・利用を断念した	22. 1～21の項目には、どれもあてはまらない
11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた	
12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	

問8 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）（現在、ひとりでお子さんを育てている場合（ひとり親の場合）はあてはまる方だけに○をつけてください。）

お母さん	お父さん
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中途退学	2. 高等学校中途退学
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業	4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業	5. 大学卒業
6. 大学院修了	6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業	7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない	8. 答えたくない

問9 お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。（複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください）

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	1. いる	2. いない
------	-------	--------



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他
--	---

とう お父さん	1. いる	2. いない
------------	-------	--------



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他
---	--

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方（おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など）	
1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他
---	--

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚を含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

1. お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	4. お子さんが寝た後に帰ってくる
2. お子さんの夕食時間には家にいる	5. 帰宅時間が決まっていない
3. お子さんの寝る時間には家にいる	6. その他

問11 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

お子さんに関することについておたずねします。

問12 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。（おおむね1年の間で考えてください。）（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. お子さんを医療機関に受診させることができなかった	9. お子さんを学習塾に通わせることができなかった
2. お子さんの進路を変更した	10. お子さんの誕生日を祝えなかった
3. お子さんのための本や絵本が買えなかった	11. お子さんにお年玉をあげることができなかった
4. お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	12. お子さんの学校行事などに参加することができなかった
5. お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	13. 子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった
6. お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	14. 家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった
7. お子さんを習い事に通わすことができなかった	15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない
8. お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	

問13 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても信頼している	3. あまり信頼していない
2. 信頼している	4. 信頼していない

(2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくする	3. あまりしない
2. する	4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

平日	休日
1. 0～15分未満	1. 2時間未満
2. 15分～30分未満	2. 2時間～4時間未満
3. 30分～1時間未満	3. 4時間～6時間未満
4. 1時間～2時間未満	4. 6時間～8時間未満
5. 2時間～3時間未満	5. 8時間～10時間未満
6. 3時間～4時間未満	6. 10時間以上
7. 4時間以上	

(4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても期待している	3. あまり期待していない
2. 期待している	4. 期待していない

(5) お子さんの授業参観や運動会などの学校行事に参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よく参加している	3. あまり参加していない
2. ととき参加している	4. まったく参加していない

問14 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	4. 大学	7. 専門学校・高等専門学校
2. 高校	5. 大学院	8. 考えたことがない
3. 短期大学	6. 留学	9. わからない

問15 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日通っている
2. 欠席は年間30日未満である
3. 欠席が年間30日以上、60日未満である
4. 欠席が年間60日以上、1年未満である
5. 欠席が1年以上続いている
6. わからない

問16 子どもの居場所について、おたずねします。

- (1) あなたのお子さんは、次のような「子どもの居場所」を利用したことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- ・自宅や学校以外の場所で、子どもたちが本を読んだり、みんなで遊んだりできるような場所
- ・子どもが無料又は低額で食事ができる場所（子ども食堂）
- ・自宅や学校、塾以外の場所で、無料でボランティアの方などが勉強を教える学習支援の場

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことがない |
|--------------|--------------|

- (2) 前の質問で「1. 利用したことがある」と答えた方におたずねします。

お子さんが子どもの居場所を利用することで良いと思うことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|--|---|
| 1. 地域の人とつながれるから
2. お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから
3. 栄養バランスのとれた食事がとれるから
4. 運営者が相談に乗ってくれるから
5. 低額（または無料）でご飯が食べられるから | 6. 宿題など勉強を見ってくれるから
7. お子さんが楽しんでいるから
8. 特になし
9. その他 |
|--|---|

- (3) 問16(1)の質問で「2. 利用したことがない」と答えた方におたずねします。

子どもの居場所を利用しないのはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|--|--|
| 1. どこにあるかわからないから
2. 家の近く（小学校区内）にないから
3. 家で過ごしてほしいと思うから
4. 居場所のイメージがよくないから
5. お子さんが「行きたくない」と言っているから | 6. 行きたい日・時間に開いていないから
7. 利用したいと思わないから
8. 何をしているかわからないから
9. その他 |
|--|--|

あなたのことについておたずねします。

問17 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 10代	3. 24～26歳	5. 31～34歳	7. 40歳以上
2. 20～23歳	4. 27～30歳	6. 35～39歳	

問18 次の①～⑦について、おうちの方を含め（お子さんは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ お子さんとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ お子さんの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥ お子さんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問19 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 配偶者・パートナー	9. 学童保育の指導員(※)
2. 自分の親	10. 地域の民生委員・児童委員
3. 配偶者・パートナーの親	11. 民間の支援団体・カウンセラー(電話相談含む)
4. きょうだい・その他の親戚	12. 医療機関の医師や看護師
5. 知人や友人	13. インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談
6. 職場関係者	14. その他
7. 学校の先生やスクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー	15. 相談できる相手がいない
8. 公的機関や役所の相談員	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会(室)」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」も含みます。

とい 問20 次のうち、身近にあるといいと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 保護者^{ほごしや}どうして気軽に^{きがる}話せる^{はな}場^ば 2. SNS^{えすえぬえす}などのインターネット^{いんたーねっと}を通じて^{つう}悩み^{なや}ごとを話せる^{はな}コミュニティ^{こみゆにてい} 3. 家事^{かじ}の援助^{えんじよ}が受けられる^うこと 4. 支援^{しえん}制度^{せいど}など必要な^{ひつよう}情報^{じょうほう}を届^{とど}けてくれる^くこと 5. 困^{こま}った時^{とき}にご飯^{はん}を無料^{むりよう}または安価^{あんか}で自宅^{じたく}に届^{とど}けてくれる^くサービス^{さーびす}	6. お子^こさんが放課^{ほうか}後^ごや休日^{きゅうじつ}に勉強^{べんきょう}などができる^{できる}場所^{ばしょ}を利用^{りよう}できる^{できる}こと 7. お子^こさんが無料^{むりよう}で学習^{がくしゅう}支援^{しえん}を受けられる^う場所^{ばしょ} 8. お子^こさんや保護^{ほご}者^{しや}が夕食^{ゆうしよく}を無料^{むりよう}か安い^{やす}料金^{りょうきん}で食べる^たこととができる^{できる}場所^{ばしょ}（子ども食堂^{こどもしきどう}など）を利用^{りよう}できる^{できる}こと
--	--

とい 問21 あなたの心^{こころ}の状態^{じょうたい}についておたずねします。

（1）生活^{せいかつ}を楽し^{たの}んでいますか（仕事^{しごと}や家事^{かじ}、育児^{いくじ}など）。

（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても楽し ^{たの} んでいる	3. あまり楽し ^{たの} んでいない	5. わからない
2. 楽し ^{たの} んでいる	4. 楽し ^{たの} んでいない	

（2）将来^{しょうらい}に対して希望^{たい}を持^{きぼう}っていますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てる	3. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てない
2. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てるときもあれば、持 ^も てないときもある	4. わからない

（3）ストレス^{すとれす}を発散^{はつさん}できるものがありますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. ある	3. ない
2. あるときもあれば、ないときもある	4. わからない

（4）あなた^{じぶん}は、ご自分^{しあわ}が幸^{おも}せだと思^{おも}いますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	4. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない
2. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	5. わからない
3. あまり幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない	

とい
問22 あなたは、自分の^{じぶん}体^{からだ}や^き気^も持^きちで^き気^きになることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番^{まる}号^{ごう}すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	10. まわりが ^き 気 ^き になる
2. よく ^{あたま} 頭 ^{あたま} がいたくなる	11. やる ^き 気 ^き が ^お 起 ^お きない
3. ^は 歯 ^は がいたい	12. ^{いら} イ ^{いら} ラ ^{いら} する
4. 不安 ^{ふあん} な ^き 気 ^も 持 ^き ちになる	13. よく ^{かた} 肩 ^{かた} がこる
5. ものを見 ^み づらい	14. よく ^{こし} 腰 ^{こし} がいたくなる
6. ^き 聞 ^き こえにくい	15. とくに ^き 気 ^き になるところはない
7. よくおなかがいたくなる	16. その他 ^た
8. よくかぜをひく	17. わからない
9. よくかゆくなる	

^{こた}答^{こた}え^{しつもん}た^{こた}く^{ひつよう}ない^{ひつよう}質^{ひつよう}問^{ひつよう}に^{ひつよう}答^{ひつよう}え^{ひつよう}る^{ひつよう}必^{ひつよう}要^{ひつよう}は^{ひつよう}あ^{ひつよう}り^{ひつよう}ま^{ひつよう}せ^{ひつよう}ん。

^{こた}答^{こた}え^{まよ}に^{まよ}迷^{まよ}う^{まよ}場^{まよ}合^{まよ}い^{まよ}には、あ^{まよ}な^{まよ}た^{まよ}の^{まよ}気^{まよ}持^{まよ}ち^{まよ}や^{まよ}考^{まよ}え^{まよ}に^{まよ}で^{まよ}き^{まよ}る^{まよ}だ^{まよ}け^{まよ}近^{まよ}い^{まよ}も^{まよ}の^{まよ}を^{まよ}選^{まよ}ぶ^{まよ}よ^{まよ}う^{まよ}に^{まよ}し^{まよ}て^{まよ}く^{まよ}だ^{まよ}さ^{まよ}い。

問23 あなたの世帯では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～gそれぞれについて、1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまる番号1つに○をつけてください)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の 自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・ 自立支援センター ※5	f 低所得 の子育て世帯に対する子育て 世帯生活支援特別給付金 ※6	g 新型コロナウイルス感染症に伴う 生活福祉資金(貸付金) ※7
現在利用している	1	1	1	1	1	1	1
現在利用していないが、 以前利用したことがある	2	2	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3	3	3
制度の対象外 (収入などの条件を 満たさない) だと思う から	①	①	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に 利用したいと思わな かったから	②	②	②	②	②	②	②
利用したいが、今まで この支援制度を知ら なかったから	③	③	③	③	③	③	③
利用したいが、手続が わからなかったり、 利用しにくいから	④	④	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

3に○をつけた場合、
①～⑤のあてはまるもの1つに○をつけてください

(参考)

※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度。

- ※ 2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※ 3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※ 4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）
- ※ 5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けることができる。
- ※ 6 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金：新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯（児童扶養手当受給者など）に対し子育て世帯生活支援特別給付金を支給する制度。
- ※ 7 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）：新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業などにより、一時的又は継続的に収入減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度における生活支援費などを支給する制度。

世帯の経済状況についておたずねします。

問24 前年（2022年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

1. 50万円未満	12. 550～600万円未満	23. 1,200～1,300万円未満
2. 50～100万円未満	13. 600～650万円未満	24. 1,300～1,400万円未満
3. 100～150万円未満	14. 650～700万円未満	25. 1,400～1,500万円未満
4. 150～200万円未満	15. 700～750万円未満	26. 1,500～1,750万円未満
5. 200～250万円未満	16. 750～800万円未満	27. 1,750～2,000万円未満
6. 250～300万円未満	17. 800～850万円未満	28. 2,000～2,250万円未満
7. 300～350万円未満	18. 850～900万円未満	29. 2,250～2,500万円未満
8. 350～400万円未満	19. 900～950万円未満	30. 2,500～2,750万円未満
9. 400～450万円未満	20. 950～1,000万円未満	31. 2,750～3,000万円未満
10. 450～500万円未満	21. 1,000～1,100万円未満	32. 3,000万円以上
11. 500～550万円未満	22. 1,100～1,200万円未満	33. わからない

新型ウイルスの感染状況についておたずねします。

問25 この1年間でお子さんを含め、同居家族が新型コロナウイルスに感染したのべ回数を教えてください。
（例：母 1回、長男 1回 ⇒ 2回とお答えください。）

かい
回

問26 あなたの住居環境についておたずねします。

（1）あなたが住まいの住居の間取りは、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号1つに
まる
○をつけてください）

1. ワンルーム	3. 居室2部屋（2K、2DK、2LDK）
2. 居室1部屋（1K、1DK、1LDK）	4. 居室3部屋（3K、3DK、3LDK）以上

（2）その住居には、何人でお住まいですか。（□に数字をお書きください。）

にん
人

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

相談窓口のご案内

○生活困窮者自立支援相談窓口

https://www.pref.osaka.lg.jp/shakaiengo/seikon_gaiyou/index.html#jiritu

○大阪府立母子・父子福祉センター（大阪市、堺市、豊中市は各市の窓口）

<https://osakafu-boshiren.jp/>

○子育てや親子関係の悩みについては

<親子のための相談LINE>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

- WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。
- 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700081>

- ◆ 最初の画面が表示されたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

河内長野市子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

河内長野市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学